MITSUBISHI ELECTRIC ENGINEERING

三菱電機 汎用 シーケンサ
リニューアルツール

2019年2月版

三菱電機 汎用 シーケンサ用 リニューアルツールカタログ MELSEC-Q/Lシリーズ対応製品

Renewal Tool

MELSEC-Aシリーズ ⇒ MELSEC-Qシリーズ
MELSEC-AnSシリーズ ⇒ MELSEC-Lシリーズ
MELSEC-AnSシリーズ ⇒ MELSEC-Qシリーズ
SYSMAC Cシリーズ ⇒ MELSEC-Qシリーズ
ニューサテライトJWシリーズ ⇒ MELSEC-Qシリーズ
MEMOCON-SC GLシリーズ ⇒ MELSEC-Qシリーズ
他社PLC ⇒ MELSEC-Qシリーズ
リニューアルツール

オムロン・安川電機対応の
新シリーズが追加!
・▶4章 ・▶6章

三菱電機エンジニアリング株式会社

■リニューアルツール対応シリーズ

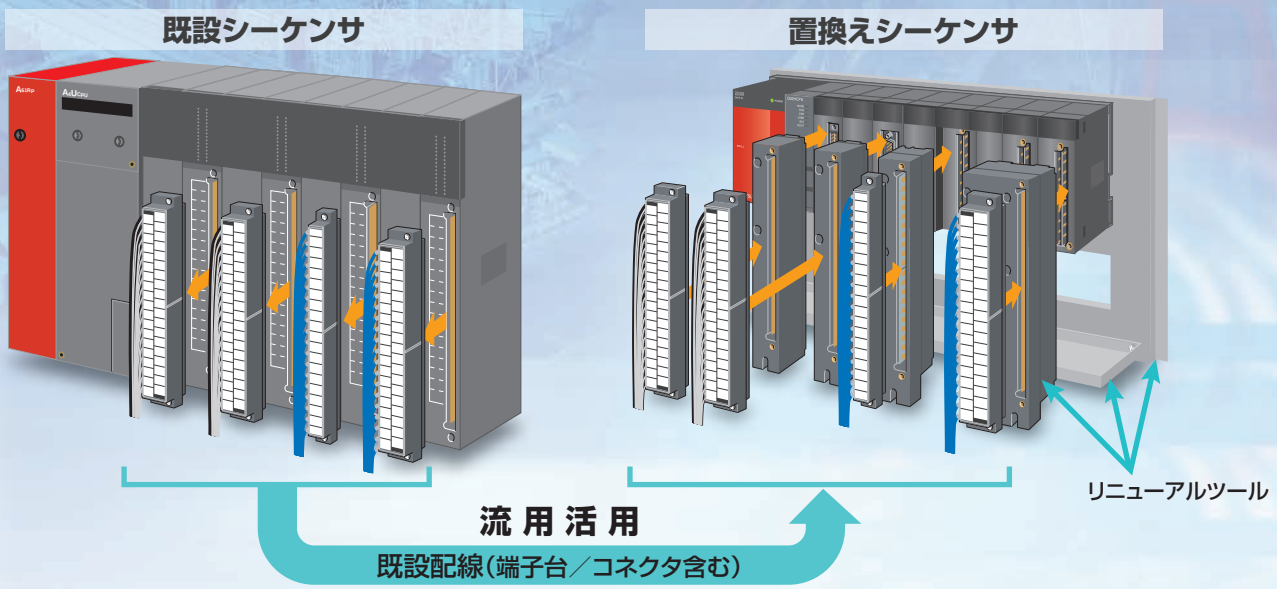
□MELSEC-Aシリーズ⇒MELSEC-Qシリーズ　□MELSEC-AnSシリーズ⇒MELSEC-Lシリーズ

□MELSEC-AnSシリーズ⇒MELSEC-Qシリーズ　□SYSMAC Cシリーズ⇒MELSEC-Qシリーズ

□ニューサテライト JWシリーズ⇒MELSEC-Qシリーズ　□MEMOCON-SC GLシリーズ⇒MELSEC-Qシリーズ

□他社PLC⇒MELSEC-Qシリーズ「ユニバーサル変換アダプタ」

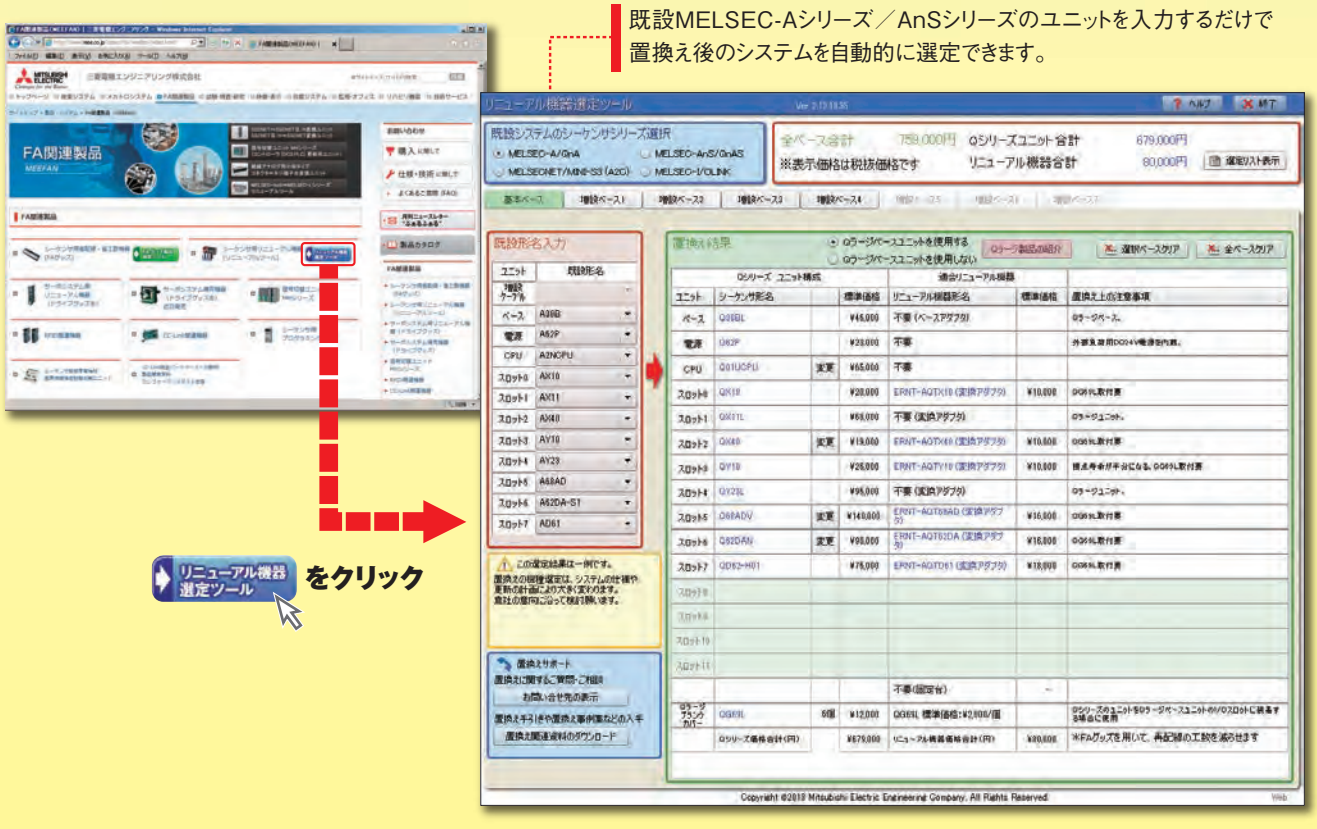
■既設の配線（端子台／コネクタ含む）をそのまま活用することで、リニューアル工事作業時間の大幅削減、配線ミスの大幅低減を実現します。（一部、接続の変更が必要）（ユニバーサル変換アダプタを除く）



■MELSEC-A／AnSシリーズのシーケンスプログラムはGX Developerおよび A／QnA⇒Q変換サポートツールにより、SYSMAC Cシリーズのシーケンスプログラムはプログラムコンバータにより、簡単に流用置換えができます。

Web情報サービスMEEFANにて提供している「リニューアル機器選定ツール」により、置換え後のMELSEC-Qシリーズ／Lシリーズユニットおよびリニューアルツールの選定が容易に行えます。（MELSEC⇒MELSECのみ）

Web情報サービス　MEEFAN®　www.mee.co.jp/sales/fa/meefan/



MELSECおよびGX Developer・GX Works2は三菱電機株式会社の日本における登録商標です。SYSMACはオムロン株式会社の登録商標です。Memoconは株式会社安川電機の登録商標です。
Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

A Q series 製品名 MELSEC-Aシリーズ⇨MELSEC-Qシリーズリニューアルツール

MELSEC-AシリーズからMELSEC-Qシリーズへリニューアルする場合

■MELSEC-Qシリーズへ置換えが容易
■入力／出力／アナログ／高速カウンタユニットへの配線作業時間の大幅短縮／配線ミスの大幅低減
■シーケンスプログラムの流用が可能

1章

AnS L series 製品名 MELSEC-AnSシリーズ⇨MELSEC-Lシリーズリニューアルツール

MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Lシリーズへリニューアルする場合

■MELSEC-Lシリーズへ置換えが容易
■入力／出力／アナログ／高速カウンタユニットへの配線作業時間の大幅短縮／配線ミスの大幅低減
■シーケンスプログラムの流用が可能

2章

AnS Q series 製品名 MELSEC-AnSシリーズ⇨MELSEC-Qシリーズリニューアルツール

MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズへリニューアルする場合

■MELSEC-Qシリーズへ置換えが容易
■入力／出力／アナログ／高速カウンタ／温度入力／温度調節ユニットへの配線作業時間の大幅短縮／配線ミスの大幅低減
■シーケンスプログラムの流用が可能

3章

C Q series 製品名 SYSMAC Cシリーズ⇨MELSEC-Qシリーズリニューアルツール

SYSMAC CシリーズからMELSEC-Qシリーズへリニューアルする場合

■MELSEC-Qシリーズへ置換えが容易
■入力／出力ユニットへの配線作業時間の大幅短縮／配線ミスの大幅低減
■シーケンスプログラムの流用が可能

4章 大形 小形 シーケンスプログラム

JW Q series 製品名 ニューサテライト JWシリーズ⇨MELSEC-Qシリーズリニューアルツール

ニューサテライト JWシリーズからMELSEC-Qシリーズへリニューアルする場合

■MELSEC-Qシリーズへ置換えが容易
■入力／出力ユニットへの配線作業時間の大幅短縮／配線ミスの大幅低減

5章 大形 小形

GL Q series 製品名 MEMOCON-SC GLシリーズ⇨MELSEC-Qシリーズリニューアルツール

MEMOCON-SC GLシリーズからMELSEC-Qシリーズへリニューアルする場合

■MELSEC-Qシリーズへ置換えが容易
■入力／出力ユニットへの配線作業時間の大幅短縮／配線ミスの大幅低減

6章 大形 小形

他社 Q series 製品名 他社PLC⇨MELSEC-Qシリーズリニューアルツール「ユニバーサル変換アダプタ」

他社PLCからMELSEC-Qシリーズへリニューアルする場合

■ユニバーサル変換アダプタ

7章 大形 小形

目 次

A Q series

MELSEC-Aシリーズ⇒MELSEC-Qシリーズ リニューアルツール

製品の概要 …… 1-1
機種一覧 …… 1-3
変換アダプタ …… 1-6
　仕様 …… 1-6
　　入力／出力ユニット用〈1スロットタイプ〉 …… 1-6
　　入力／出力ユニット用〈2スロットタイプ〉 …… 1-12
　　アナログユニット用〈1スロットタイプ〉 …… 1-15
　　アナログユニット用〈2スロットタイプ〉 …… 1-20
　　高速カウンタユニット用〈1スロットタイプ〉 …… 1-25
ベースアダプタ …… 1-27
　仕様 …… 1-27
　取付寸法 …… 1-27
　ベースアダプタを使用しない場合 …… 1-28
変換アダプタ固定台 …… 1-29
　仕様 …… 1-29
ご使用上の注意点 …… 1-30
　ユニット幅 …… 1-30
　奥行き …… 1-31
　変換アダプタ固定台・ベースアダプタ …… 1-31
　スロット位置 …… 1-32
外形寸法図 …… 1-34
　変換アダプタ …… 1-34
　ベースアダプタ …… 1-37
　変換アダプタ固定台 …… 1-37
FAグッズを活用したリニューアル方法 …… 1-39

AnS L series

MELSEC-AnSシリーズ⇒MELSEC-Lシリーズ リニューアルツール

製品の概要 …… 2-1
置換え時の取付方法の選定 …… 2-3
機種一覧 …… 2-5
変換アダプタ …… 2-7
　仕様 …… 2-7
　　入力／出力ユニット用〈1ユニットタイプ〉 …… 2-7
　　アナログユニット用〈1ユニットタイプ〉 …… 2-12
　　高速カウンタユニット用〈1ユニットタイプ〉 …… 2-14
ベースアダプタ …… 2-18
　仕様 …… 2-18
　取付寸法 …… 2-18
ご使用上の注意点 …… 2-19
　ユニット幅 …… 2-19
　奥行き・高さ …… 2-20
　端子台カバー …… 2-21
外形寸法図 …… 2-22
　変換アダプタ …… 2-22
　ベースアダプタ …… 2-24

AnS Q series

MELSEC-AnSシリーズ⇒MELSEC-Qシリーズ リニューアルツール

製品の概要 …… 3-1
機種一覧 …… 3-5
変換アダプタ …… 3-8
　仕様 …… 3-8
　　入力／出力ユニット用〈1スロットタイプ〉 …… 3-8
　　入力／出力ユニット用〈2スロットタイプ〉 …… 3-12
　　アナログユニット用〈1スロットタイプ〉 …… 3-15
　　高速カウンタユニット用〈1スロットタイプ〉 …… 3-21
　　温度入力ユニット用〈1スロットタイプ〉 …… 3-30
　　温度調節ユニット用〈1スロットタイプ〉 …… 3-33
　　断線検知機能付き温度調節ユニット用〈1スロットタイプ+断線検知コネクタ変換ケーブル〉 …… 3-39
ベースアダプタ …… 3-47
　仕様 …… 3-47
　取付寸法 …… 3-47
変換アダプタDINレール取付金具 …… 3-49

仕様 3-49
取付寸法 3-49
ご使用上の注意点 3-50
ユニット幅 3-50
奥行き・高さ 3-51
端子台カバー 3-53
ベースアダプタ／変換アダプタDINレール取付金具 3-53
スロット位置 3-53
外形寸法図 3-57
変換アダプタ 3-57
ベースアダプタ 3-61
変換アダプタDINレール取付金具 3-63
FAグッズを活用したリニューアル方法 3-65

C Q series

SYSMAC Cシリーズ⇒MELSEC-Qシリーズ リニューアルツール

〈Cシリーズ 大形タイプ (C500/C1000H/C2000H)〉
製品の概要 4-1
機種一覧 4-2
変換アダプタ 4-3
仕様 4-3
〈1スロットタイプ〉 4-3
〈2スロットタイプ〉 4-11
ベースアダプタ 4-13
仕様 4-13
取付寸法 4-13
ベースアダプタを使用しない場合 4-14
変換アダプタ固定台 4-15
仕様 4-15
ご使用上の注意点 4-16
ユニット幅 4-16
奥行き 4-16
変換アダプタ固定台・ベースアダプタ 4-17
スロット位置 4-18
外形寸法図 4-20
変換アダプタ 4-20
ベースアダプタ 4-23
変換アダプタ固定台 4-24

〈Cシリーズ 小形タイプ (C200H/CS/CQM1)〉
製品の概要 4-25
機種一覧 4-29
変換アダプタ 4-33
仕様 4-33
〈1スロットタイプ〉 4-33
三菱電機株式会社製 ベースユニット 4-43
C200Hシリーズ対応品 4-43
取付寸法 4-43
置換え時の外形寸法および取付穴寸法比較 4-44
スロット位置 4-45
〈基本ベースユニットを使用する場合〉 4-45
〈増設ベースユニットを使用する場合〉 4-46
CSシリーズ対応品 4-48
取付寸法 4-48
置換え時の外形寸法および取付穴寸法比較 4-49
スロット位置 4-50
〈基本ベースユニットを使用する場合〉 4-50
〈増設ベースユニットを使用する場合〉 4-52
CQM1シリーズ対応品 4-54
取付寸法 4-54
置換え時の外形寸法および取付穴寸法比較 4-55
スロット位置 4-56
〈基本ベースユニットを使用する場合〉 4-56
〈増設ベースユニットを使用する場合〉 4-60
ご使用上の注意点 4-63
ユニット幅 4-63
奥行き 4-63
置換え時のコネクタ向き 4-64
外形寸法図 4-65
変換アダプタ 4-65

目 次

プログラムコンバータ(ERNT-CQ1W2C) ····· 4-66
仕様一覧 ····· 4-66
変換の流れ ····· 4-67
動作環境 ····· 4-69
変換率 ····· 4-69

JW Q series

ニューサテライトJWシリーズ⇒MELSEC-Qシリーズ リニューアルツール

〈JWシリーズ 大形タイプ (JW50H/70H/100H)〉
製品の概要 ····· 5-1
機種一覧 ····· 5-3
変換アダプタ ····· 5-5
仕様 ····· 5-5
入力／出力ユニット用〈1スロットタイプ〉 ····· 5-5
入力／出力ユニット用〈2スロットタイプ〉 ····· 5-10
変換アダプタ固定台 (必須) ····· 5-12
仕様 ····· 5-12
ベースアダプタまたはQラージベースユニットを活用したリニューアル ····· 5-13
ベースアダプタ ····· 5-15
仕様 ····· 5-15
取付寸法 ····· 5-16
置換え時の外形寸法および取付穴寸法比較 ····· 5-17
〈基本ベースユニットを使用する場合〉 ····· 5-17
〈増設ベースユニットを使用する場合〉 ····· 5-18
スロット位置 ····· 5-19
〈基本ベースユニットを使用する場合〉 ····· 5-19
〈増設ベースユニットを使用する場合〉 ····· 5-21
ご使用上の注意点 ····· 5-24
ユニット幅 ····· 5-24
奥行き ····· 5-25
隣接ユニット干渉確認 ····· 5-26
変換アダプタ固定台・ベースアダプタ ····· 5-26
外形寸法図 ····· 5-27
変換アダプタ ····· 5-27

〈JWシリーズ 小形タイプ (JW30C/30H/20H)〉
製品の概要 ····· 5-31
三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニット(推奨) ····· 5-31
機種一覧 ····· 5-33
変換アダプタ ····· 5-34
仕様 ····· 5-34
入力／出力ユニット用〈1スロットタイプ〉 ····· 5-34
三菱電機株式会社製 ベースユニット ····· 5-39
取付寸法 ····· 5-39
置換え時の外形寸法および取付穴寸法比較 ····· 5-40
スロット位置 ····· 5-41
〈基本ベースユニットを使用する場合〉 ····· 5-41
〈増設ベースユニットを使用する場合〉 ····· 5-43
ご使用上の注意点 ····· 5-45
ユニット幅 ····· 5-45
奥行き ····· 5-46
隣接ユニット干渉確認 ····· 5-46
外形寸法図 ····· 5-47
変換アダプタ ····· 5-47

GL Q series

MEMOCON-SC GLシリーズ⇒MELSEC-Qシリーズ リニューアルツール

〈GLシリーズ 大形タイプ (2000シリーズI/O)〉
製品の概要 ····· 6-1
機種一覧 ····· 6-3
変換アダプタ ····· 6-5
仕様 ····· 6-5
入力／出力ユニット用〈1スロットタイプ〉 ····· 6-5
入力／出力ユニット用〈2スロットタイプ〉 ····· 6-11
変換アダプタ固定台 ····· 6-13
仕様 ····· 6-13
ベースアダプタまたはQラージベースユニットを活用したリニューアル ····· 6-15
ベースアダプタ ····· 6-17
仕様 ····· 6-17

取付寸法 …… 6-18
置換え時の外形寸法および取付穴寸法比較 …… 6-19
〈基本ベースユニットを使用する場合〉 …… 6-19
〈増設ベースユニットを使用する場合〉 …… 6-20
スロット位置 …… 6-21
〈基本ベースユニットを使用する場合〉 …… 6-21
〈増設ベースユニットを使用する場合〉 …… 6-25
ご使用上の注意点 …… 6-28
ユニット幅 …… 6-28
奥行き …… 6-29
隣接ユニット干渉確認 …… 6-30
変換アダプタ固定台・ベースアダプタ …… 6-30
外形寸法図 …… 6-31
変換アダプタ …… 6-31

〈GLシリーズ 小形タイプ（120シリーズI/O）〉
製品の概要 …… 6-35
機種一覧 …… 6-37
変換アダプタ …… 6-38
仕様 …… 6-38
〈1スロットタイプ〉 …… 6-38
三菱電機株式会社製 ベースユニット …… 6-42
取付寸法 …… 6-42
置換え時の外形寸法および取付穴寸法比較 …… 6-43
スロット位置 …… 6-44
〈基本ベースユニットを使用する場合〉 …… 6-44
〈増設ベースユニットを使用する場合〉 …… 6-46
ご使用上の注意点 …… 6-48
ユニット幅 …… 6-48
奥行き …… 6-48
外形寸法図 …… 6-49
変換アダプタ …… 6-49

他社 Q series

他社PLC⇒MELSEC-Qシリーズ リニューアルツール「ユニバーサル変換アダプタ」

製品の概要 …… 7-1
〈他社PLC（大形）からMELSEC-Qシリーズへの置換え〉
機種一覧 …… 7-13
ユニバーサル変換アダプタ …… 7-15
仕様 …… 7-15
変換アダプタ固定台 …… 7-29
仕様 …… 7-29
ベースアダプタを使用しない場合 …… 7-29
ベースアダプタ …… 7-31
仕様 …… 7-31
取付寸法 …… 7-32
ご使用上の注意点 …… 7-33
ユニット幅 …… 7-33
奥行き …… 7-34
変換アダプタ固定台・ベースアダプタ …… 7-34
スロット位置 …… 7-35
外形寸法図 …… 7-37
ユニバーサル変換アダプタ …… 7-37
ベースアダプタ …… 7-39
変換アダプタ固定台 …… 7-39
〈他社PLC（小形）からMELSEC-Qシリーズへの置換え〉
機種一覧 …… 7-40
ユニバーサル変換アダプタ …… 7-41
仕様 …… 7-41
ご使用上の注意点 …… 7-48
ユニット幅 …… 7-48
奥行き・高さ …… 7-49
外形寸法図 …… 7-50
ユニバーサル変換アダプタ …… 7-50

規格適合一覧表 …… 共通-1
製品構成・価格一覧表 …… 共通-5

A Q series MELSEC-Aシリーズ／MELSEC-Qシリーズ リニューアルツール

MELSEC-AシリーズからMELSEC-Qシリーズへリニューアルする場合

■MELSEC-Qシリーズへ置換えが容易

三菱電機株式会社製シーケンサMELSEC-AシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えることが容易にできます。

■入力／出力／アナログ／高速カウンタユニットへの配線作業時間の大幅短縮／配線ミスの大幅低減

●MELSEC-Aシリーズの入力／出力／アナログ／高速カウンタユニットに接続されていた配線は、変換アダプタを経由することで、MELSEC-Qシリーズにそのまま接続できます。(一部、電源およびコモン端子の接続変更が必要となります。)

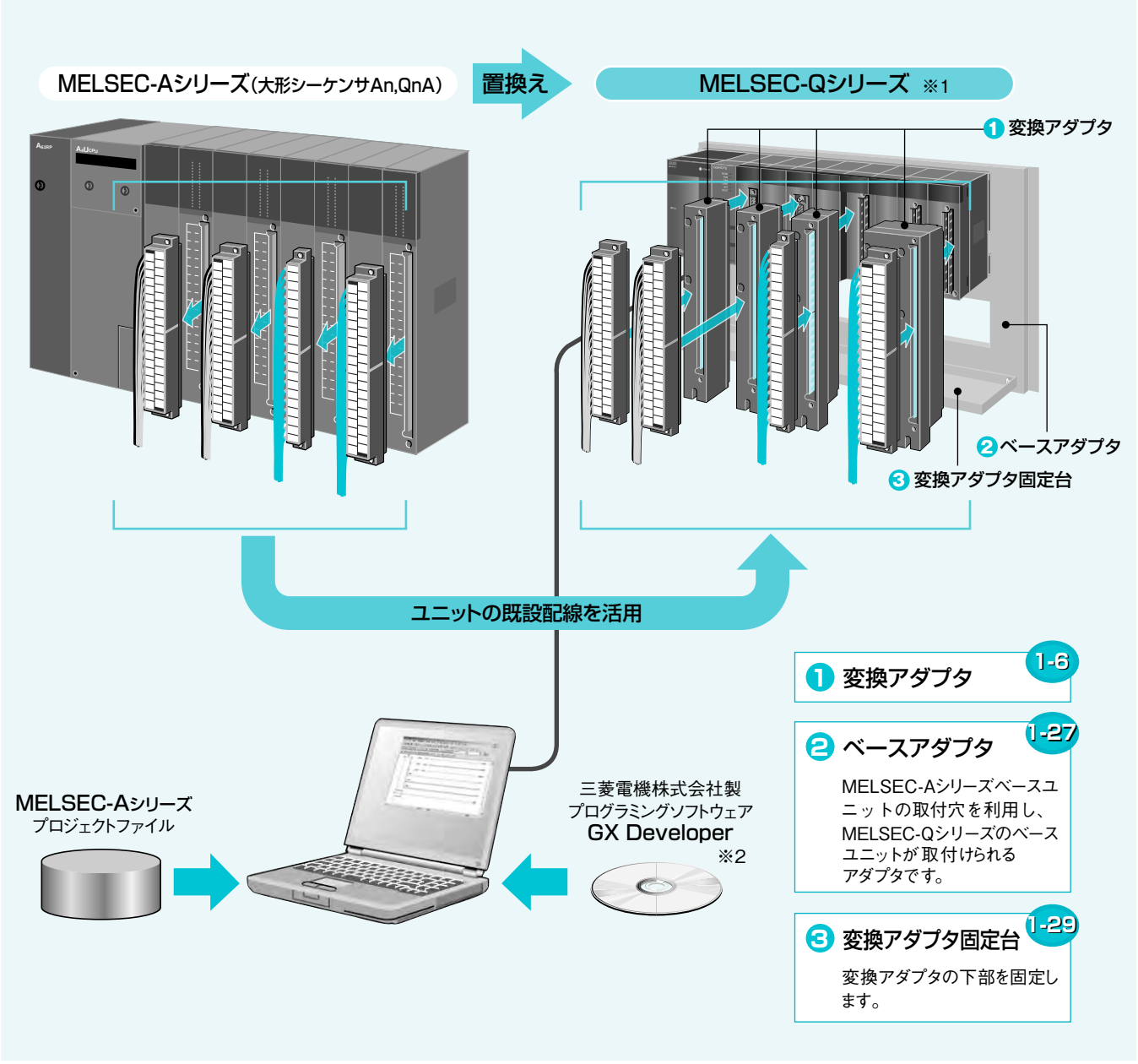
●ベースアダプタを使用することにより、MELSEC-Aシリーズのベースユニット取付穴を利用し、MELSEC-Qシリーズが設置可能です。 (追加穴加工不要)

■シーケンスプログラムの流用が可能

三菱電機株式会社製プログラミングソフトウェアGX Developerの PCタイプ変更により、MELSEC-AシリーズからMELSEC-Qシリーズに変更してプログラムを流用することが可能です。

製品の概要

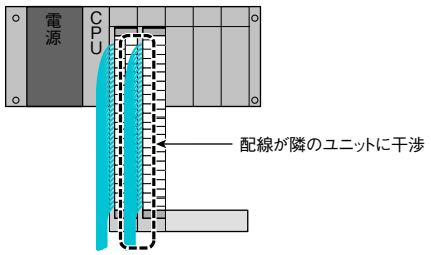
本製品は、三菱電機株式会社製シーケンサMELSEC-Aシリーズユニットに接続されていた既設配線をMELSEC-Qシリーズユニットに配線変更する「変換アダプタ」と、変換アダプタの下部を固定するための「変換アダプタ固定台」、MELSEC-Aシリーズベースユニットの取付穴を流用しMELSEC-Qシリーズが取付け可能な「ベースアダプタ」で構成されています。



※1:MELSEC-AシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニット幅寸法と奥行き寸法が変わるため、取付け上の確認が必要です。詳しくは「ご使用上の注意点」(1-30ページ)を参照してください。

※2:三菱電機株式会社製プログラミングソフトウェアGX Developerの PCタイプ変更により、MELSEC-Aシリーズ(既存プログラム)からMELSEC-Qシリーズに変更することでプログラムの流用が可能です。詳しくはGX Developerのオペレーティングマニュアルを参照してください。また、三菱電機株式会社ではQシリーズへのプログラムの置換えをサポートするツールを準備しています。

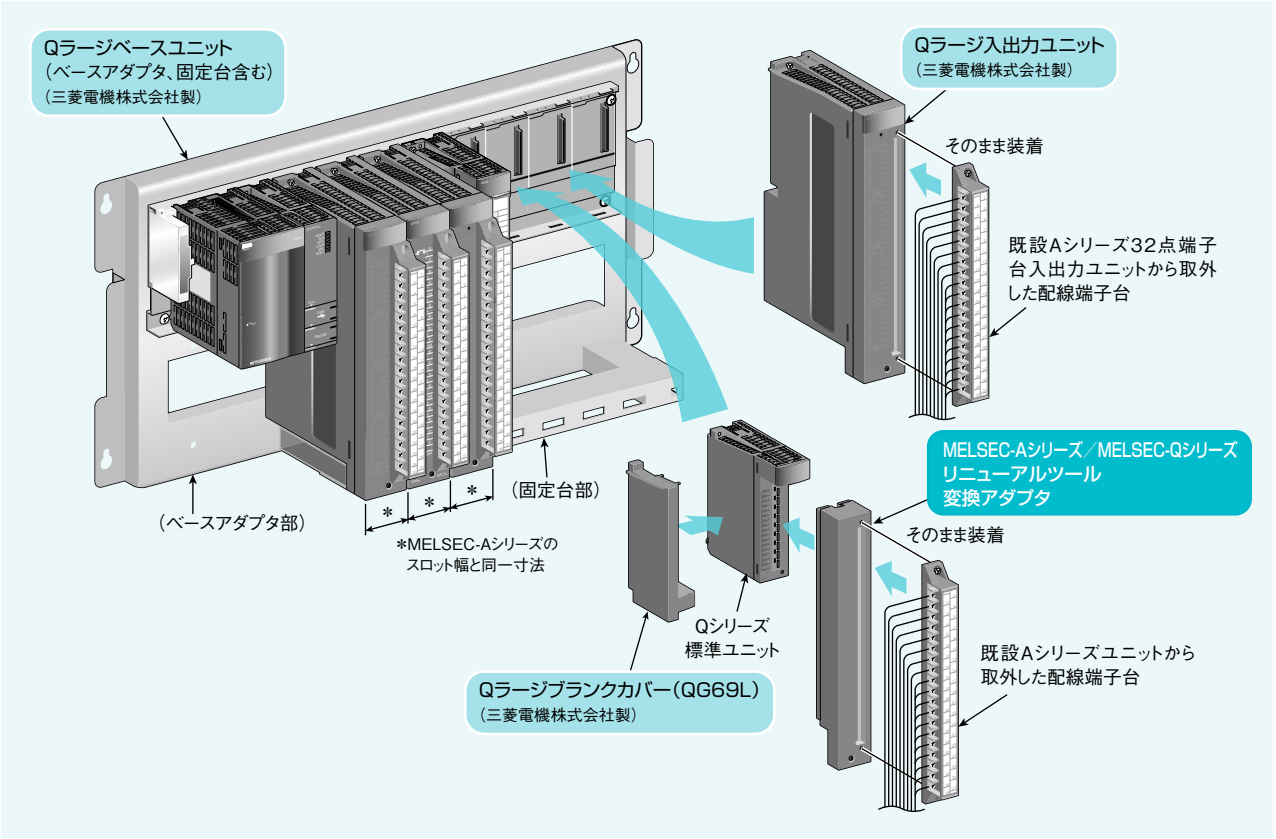
配線が隣のユニットに干渉する場合、Qラージベースユニットを用いることにより、配線領域の確保が可能になります。



三菱電機株式会社製 MELSEC-Aシリーズ(大形)⇨MELSEC-Qシリーズ用

Qラージベースユニットを活用したリニューアル

Qラージベースユニットのスロット幅は、MELSEC-Aシリーズ(大形)ベースユニットのスロット幅と同一寸法のため、隣のユニットとの配線の干渉を軽減できます。



●Qラージベースユニットの取付寸法はMELSEC-A大形シリーズと同一寸法のため、取付穴加工は不要です。
●Qラージ入出力ユニットとの混在使用が可能です。
●2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

ポイント Qラージベースユニットは、リニューアルツール変換アダプタを使用したQシリーズ標準ユニットとQラージ入出力ユニットを混在させて装着することができ、双方のユニットの使用メリットを活かしたリニューアルが可能です。

Qラージベースユニット一覧

Aシリーズ形名	Qラージベースユニット形名
A35B(-E、-UL)	Q35BL
A38B(-E、-UL)	Q38BL
A65B(-UL)	Q65BL
A68B(-UL)	Q68BL
A55B(-UL)	Q55BL

Qラージ入出力ユニット一覧

Aシリーズ形名	Qラージ入出力ユニット形名
AX11	QX11L
AX21	QX21L
AY10A	QY11AL
AY11A(EU)	
AY13(E、EU)	QY13L
AY23	QY23L
AY41(P)	QY51PL
AY51(-S1)	

Qラージブランクカバー

Aシリーズ形名	Qラージブランクカバー形名
—	QG69L

機種一覧

1 変換アダプタ

変換アダプタを選定する際は、1-6～1-26ページのユニット仕様比較表および（注）文を必ず参照ください。1コモンあたりの点数が異なる等の注意文が記載されています。
また、ユニット仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

入力／出力ユニット用

〈1スロットタイプ〉（三菱電機株式会社製 Qラージベースユニットにも取付け可能）

入力／出力	置換前 MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 MELSEC-Aシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力／出力点数	掲載ページ
入力	AX10、AX10-UL	QX10	ERNT-AQTX10	端子台（20点）	端子台（18点）	16点	1-6
	AX40、AX40-UL	QX40、QX70	ERNT-AQTX40				1-6
		QX40-S1					
	AX70、AX70-UL	QX70					
	AX50	QX50					
	AX50-S1						
	AX80、AX80-UL	QX80	ERNT-AQTX80				1-7
	AX41、AX41-UL	QX41、QX41-S2（※3）、QX71	ERNT-AQTX41	端子台（38点）	FCNコネクタ（40Pジャック）	32点	1-7 ～ 1-8
	AX31-S1	QX41、QX41-S2（※3）					
	AX41-S1	QX41-S1					
	AX71	QX71					
	AX81	QX81、QX81-S2（※3）	ERNT-AQTX81	端子台（38点）	D-Subコネクタ（37P）		1-8
	AX81-S1						
出力	AY10	QY10	ERNT-AQTY10	端子台（20点）	端子台（18点）	16点	1-9
	AY11、AY11-UL						
	AY11E						
	AY11EEU						
	AY22	QY22	ERNT-AQTY22				1-9
	AY40、AY40-UL	QY40P	ERNT-AQTY40				1-10
	AY40P						
	AY70、AY70-UL	QY70					
	AY50、AY50-UL	QY50	ERNT-AQTY50				1-10
	AY80	QY80	ERNT-AQTY80				1-11
	AY41、AY41-UL	QY41P	ERNT-AQTY41	端子台（38点）	FCNコネクタ（40Pジャック）	32点	1-11
	AY41P						
	AY71	QY71					
	AY81	QY81P	ERNT-AQTY81	端子台（38点）	D-Subコネクタ（37P）		1-12
	AY81EP						

※3:既存の製品と入力仕様（入力ディレーティングなど）が異なりますので、仕様をご確認の上ご使用ください。

〈2スロットタイプ〉（三菱電機株式会社製 Qラージベースユニットには使用できません。）

入力／出力	置換前 MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 MELSEC-Aシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力／出力点数	掲載ページ
入力	AX11	QX10 ×2台	ERNT-AQTX11	端子台（38点）	端子台（18点）×2	32点	1-12
	AX11EU						
出力	AY10A、AY10A-UL	QY18A ×2台	ERNT-AQTY10A			16点	1-13
	AY11A						
	AY11AEU						
	AY13	QY10 ×2台	ERNT-AQTY13			32点	1-13
	AY13E						
	AY13EU						
	AY23	QY22 ×2台	ERNT-AQTY23				1-14
	AY51、AY51-UL	QY50 ×2台	ERNT-AQTY51（※4）				1-14
	AY51-S1						
	AY81	QY80 ×2台					
	AY81EP						

※4:三菱電機株式会社ではAY81／AY81EPからの置換え機種をQY81Pとしていますが、定格負荷電流の差異によりAY81／AY81EP→QY80×2台へ置換える場合は、本変換アダプタを使用できます。

注)1.下表に示す入力／出力ユニットは変換アダプタ未対応ですので再配線が必要となります。なお、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

入力／出力	MELSEC-Aシリーズ入力／出力ユニット形名			MELSEC-Qシリーズ入力／出力ユニット形名				ユニバーサル変換アダプタの活用
	形　名	仕　様	点数	形　名	仕　様	点数	必要台数	
入力	AX20(-UL)	AC200-240V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台	(※5)
	AX21(EU)		32点	QX28			4台	(※5)
	AX80	DC12/24V ソースタイプ	16点	QX70	DC5V/12V シンク/ソースタイプ	16点	1台	(※5)
	AX80E	DC12/24V ソースタイプ	16点	QX70	DC24V ソースタイプ	16点		
				QX80H				
	AX81	DC12/24V ソースタイプ	32点	QX71	DC5V/12V シンク/ソースタイプ	32点	1台	(※5)
	AX81-S1	DC12/24V シンク/ソースタイプ						
	AX81-S3	DC12/24V ソースタイプ	32点	QX82-S1	DC24V ソースタイプ	64点		—
	AX82		64点	QX72	DC5V/12V シンク/ソースタイプ			
				QX82	DC24V ソースタイプ			
	AX31	DC12/24V AC12/24V	32点	QX41	DC24V	32点	1台	(※5)
				QX71	DC12V			(※5)
出力	AY20EU	AC100-240V	16点	QY22	AC100-240V	16点	1台	(※5)
	AY40A	DC12/24V 0.3A 独立		QY68A	DC5-24V 2A 独立	8点	2台	(※5)
	AY60	DC24V/(12/48V) 2A						
	AY60E							
	AY60EP	DC12/24V 2A						
	AY60S(-UL)	DC24/48V/(12V) 2A						
	AY15EU	AC240V 2A	24点	QY10	AC240V 2A	16点		
	AY82EP	DC12/24V ソースタイプ	64点	QY82P	DC12-24V ソースタイプ	64点	1台	—
入力	AX60(-S1)	MELSEC-Qシリーズに該当するユニットがありません。						
	AX81-S2							
	AX81B							
複合入出力	A42XY							

※5:ユニバーサル変換アダプタ(7-5参照)を置換えに活用いただけます。

2. 下表に示す入力／出力ユニットは既設配線をそのまま使用できます。なお、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

入力／出力	MELSEC-Aシリーズ 入力／出力ユニット形名	MELSEC-Qシリーズ 入力／出力ユニット形名
入力	AX42	QX42(DC24V時)
		QX72(DC12V時)
		QX41-S2(DC24V時)(※7)
	AX42-S1	QX42-S1(DC24V時)
	AX82	QX81-S2(DC24V時)(※7)

入力／出力	MELSEC-Aシリーズ 入力／出力ユニット形名	MELSEC-Qシリーズ 入力／出力ユニット形名
出力	AY42(-S1／S3／S4)(※6)	QY42P
	AY72	QY71　(※7)
	AY82EP	QY81P　(※7)
複合入出力	AH42	QH42P(入力DC24V時)
		QX41Y41P(入力DC24V時)

※6:AY42-S4は一部配線の変更が必要となります。
※7:置換えの際は2台必要となります。

アナログユニット用

〈1スロットタイプ〉(三菱電機株式会社製 Qラージベースユニットにも取付け可能)

入力／出力	置換前 MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-Aシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	チャンネル数	掲載ページ
入力	A68AD　(電圧入力)	Q68ADV	ERNT-AQT68AD	端子台(38点)	端子台(18点)	8チャンネル	1-15
	A68AD　(電流入力)	Q68ADI					
	A68AD-S2(電圧入力)	Q68ADV					
	A68AD-S2(電流入力)	Q68ADI					
	A68ADN　(電圧入力)	Q68ADV	ERNT-AQT68ADN			8チャンネル	1-16
	A68ADN　(電流入力)	Q68ADI					
出力	A62DA	Q62DAN	ERNT-AQT62DA	端子台(20点)		2チャンネル	1-17
	A62DA-S1						
	A68DAV	Q68DAVN	ERNT-AQT68DA	端子台(38点)		8チャンネル	1-18 ～ 1-19
	A68DAI	Q68DAIN					
	A68DAI-S1						

〈2スロットタイプ〉(三菱電機株式会社製 Qラージベースユニットには使用できません。)

入力／出力	置換前 MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-Aシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	チャンネル数	掲載ページ
入力	A68AD　(電圧／電流混在入力)	Q64AD-GH(※8)×2台	ERNT-AQT68AD-GH	端子台(38点)	端子台(18点)×2	8チャンネル	1-20 ～ 1-21
	A68AD-S2(電圧／電流混在入力)						
	A68ADN　(電圧／電流混在入力)						
	A616AD　(電圧入力)	Q68ADV(※9)　×2台	ERNT-AQT616AD			16チャンネル	1-22
	A616AD　(電流入力)	Q68ADI　×2台					
出力	A616DAV	Q68DAVN　×2台	ERNT-AQT616DA			16チャンネル	1-23 ～ 1-24
	A616DAI	Q68DAIN　×2台					

※8:A68AD、A68AD-S2、A68ADNを電圧入力と電流入力の両方接続している場合、チャンネル毎に電圧入力と電流入力が切換えられるQ64AD-GHを2台使用して置換えます。
※9:8CH毎に電圧入力と電流入力を統一していれば、Q68ADVとQ68ADIを混在した置換えが可能です。

高速カウンタユニット用

〈1スロットタイプ〉(三菱電機株式会社製 Qラージベースユニットにも取付け可能)

入力／出力	置換前 MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 MELSEC-Aシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	変換アダプタ チャンネル数	掲載ページ
入力	AD61	QD62-H01	ERNT-AQTD61	端子台(38点)	コネクタ(40p)	2チャンネル	1-25 ~ 1-26
	AD61-S1	QD62-H02					

注)3. 上記以外のインテリジェント機能ユニット(位置決めユニット、情報系ユニット、分散ユニット等)は、変換アダプタに対応していないため再配線が必要となります。

② ベースアダプタ

置換前MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	置換後MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	ベースアダプタ形名	取付け可能変換アダプタ固定台	掲載ページ
A38B、A38HB、A38HBEU	Q312B	ERNT-AQB38N	変換アダプタ固定台ERNT-AQF12、ERNT-AQF8が取付け可能。	1-27 ~ 1-28
A38B-UL、A38B-E	Q38B	ERNT-AQB38N	変換アダプタ固定台ERNT-AQF8が取付け可能。	
A68B、A68B-UL	Q612B	ERNT-AQB68N	変換アダプタ固定台ERNT-AQF12、ERNT-AQF8が取付け可能。	
	Q68B	ERNT-AQB68N	変換アダプタ固定台ERNT-AQF8が取付け可能。	
A58B、A58B-UL	Q68B (※9)	ERNT-AQB58N	変換アダプタ固定台ERNT-AQF8が取付け可能。	
A35B、A35B-UL、A35B-E	Q38B	ERNT-AQB35N	変換アダプタ固定台ERNT-AQF8、ERNT-AQF5が取付け可能。	
	Q35B	ERNT-AQB35N	変換アダプタ固定台ERNT-AQF5が取付け可能。	
A65B、A65B-UL	Q68B	ERNT-AQB65N	変換アダプタ固定台ERNT-AQF8、ERNT-AQF5が取付け可能。	
	Q65B、Q55B	ERNT-AQB65N	変換アダプタ固定台ERNT-AQF5が取付け可能。	
A55B、A55B-UL	Q65B、Q55B	ERNT-AQB55N	変換アダプタ固定台ERNT-AQF5が取付け可能。	
A32B、A32B-UL、A32B-E	Q33B	ERNT-AQB32	変換アダプタ固定台ERNT-AQF3が取付け可能。	
A62B	Q63B、Q52B	ERNT-AQB62	変換アダプタ固定台ERNT-AQF3が取付け可能。	
A52B	Q52B	ERNT-AQB52	変換アダプタ固定台ERNT-AQF3が取付け可能。	

※9:電源ユニットの装着が必要となるベースユニットへの置換え

③ 変換アダプタ固定台

変換アダプタ固定台形名	内容	備考	掲載ページ
ERNT-AQF12	12スロット分変換アダプタ固定台	変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台が必要となります。	1-29
ERNT-AQF8	8スロット分変換アダプタ固定台		
ERNT-AQF5	5スロット分変換アダプタ固定台		
ERNT-AQF3	3スロット分変換アダプタ固定台		

変換アダプタ

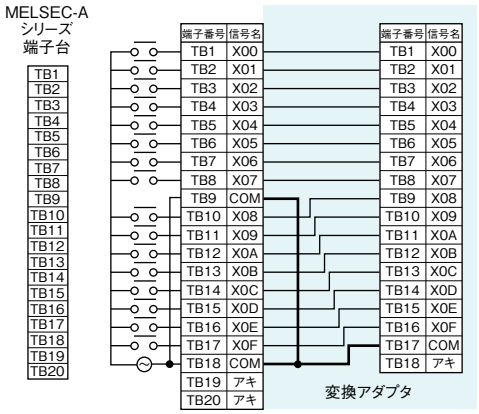
仕　様

入力／出力ユニット用

1スロットタイプ（三菱電機株式会社製 Qラージベースユニットにも取付け可能）

(1)ERNT-AQTX10　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-AQTX10	AX10 AX10-UL	16点	QX10



〈入力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名	MELSEC-Aシリーズ AX10	MELSEC-Aシリーズ AX10-UL	MELSEC-Qシリーズ QX10
入力点数	16点		16点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧	AC100-120V 50/60Hz	AC110-120V 50/60Hz	AC100-120V(+10/−15%) 50/60Hz(±3Hz)
定格入力電流	10mA (AC100V、60Hz)	11mA(AC110V) 12mA(AC120V)	約8mA(AC100V、60Hz) 約7mA(AC100V、50Hz)
突入電流	最大300mA 0.3ms以内(AC132V)		最大200mA 1ms以内(AC132V時)
ON電圧/ON電流	AC80V以上/6mA以上		AC80V以上/5mA以上(50Hz、60Hz)
OFF電圧/OFF電流	AC40V以下/4mA以下		AC30V以下/1.7mA以下(50Hz、60Hz)
入力インピーダンス	約10kΩ(60Hz)、約12kΩ(50Hz)		約12kΩ(60Hz)、約15kΩ(50Hz)
応答時間 OFF→ON	15ms以下		15ms以下(AC100V 50Hz、60Hz)
応答時間 ON→OFF	25ms以下		20ms以下(AC100V 50Hz、60Hz)
内部消費電流	55mA(TYP.全点ON)		50mA(TYP.全点ON)
コモン方式	16点1コモン		16点1コモン
外部接続方式	20点端子台		18点端子台

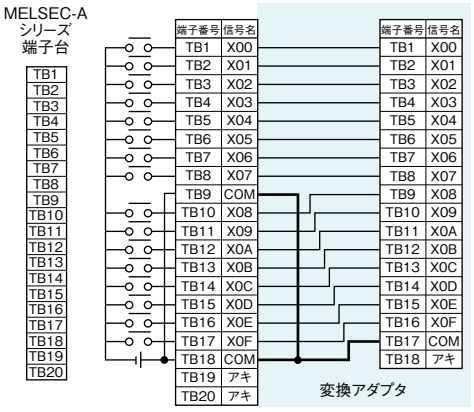
(注)1.入力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる入力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
2. □ は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

(2)ERNT-AQTX40　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-AQTX40	AX40 AX40-UL	16点	QX40 QX70
			QX40-S1
	AX70 AX70-UL		QX70
	AX50 AX50-S1		QX50

〈入力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名	MELSEC-Aシリーズ AX40、AX40-UL (シンクタイプ)		MELSEC-Qシリーズ QX40 (プラスコモンタイプ)	QX40-S1 (プラスコモンタイプ)	QX70 (プラス／マイナスコモン共用タイプ)	
入力点数	16点		16点	16点	16点	
絶縁方式	フォトカプラ絶縁		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	
定格入力電圧	DC12V	DC24V	DC24V (+20/−15%, リップル率5%以内)	DC24V (+20/−15%, リップル率5%以内)	DC5V	DC12V
定格入力電流	4mA	10mA	約4mA	約6mA	約1.2mA	約3.3mA
ON電圧/ON電流	DC9.5V以上/3mA以上		19V以上/3mA以上	19V以上/4.0mA以上	3.5V以上/1mA以上	
OFF電圧/OFF電流	DC6V以下/1.5mA以下		11V以下/1.7mA以下	11V以下/1.7mA以下	1V以下/0.1mA以下	
入力抵抗	約2.4kΩ		約5.6kΩ	約3.9kΩ	約3.3kΩ	
応答時間 OFF→ON	10ms以下		1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms	1/5/10/20/70ms以下	
応答時間 ON→OFF	10ms以下		1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms	1/5/10/20/70ms以下	
内部消費電流	55mA(TYP.全点ON)		50mA(TYP.全点ON)	60mA(TYP.全点ON)	55mA(TYP.全点ON)	
コモン方式	8点1コモン		16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン	
外部接続方式	20点端子台		18点端子台	18点端子台	18点端子台	



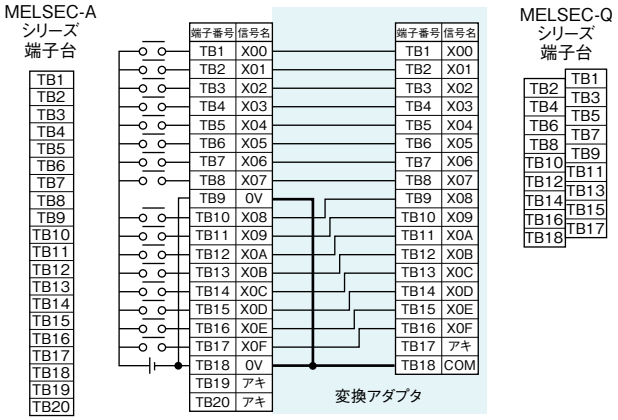
仕様＼形名	MELSEC-Aシリーズ AX70、AX70-UL (シンク／ソースタイプ)			MELSEC-Qシリーズ QX70 (プラス／マイナスコモン共用タイプ)	
入力点数	16点			16点	
絶縁方式	フォトカプラ絶縁			フォトカプラ絶縁	
定格入力電圧	DC5V	DC12V	DC24V	DC5V	DC12V
定格入力電流	3.5mA(TYP) 5.5mA(MAX)	2mA(TYP) 3mA(MAX)	4.5mA(TYP) 6mA(MAX)	約1.2mA	約3.3mA
ON電圧/ON電流	(SW ON)DC3.5V以上/1.0mA以上 (SW OFF)DC5V以上/1.0mA以上			3.5V以上/1mA以上	
OFF電圧/OFF電流	(SW ON)DC1.1V以下/0.2mA以下 (SW OFF)DC2V以下/0.2mA以下			1V以下/0.1mA以下	
入力抵抗	(SW ON)約1.4kΩ(SW OFF)約5.5kΩ			約3.3kΩ	
応答時間 OFF→ON	1.5ms以下			1/5/10/20/70ms以下	
応答時間 ON→OFF	3ms以下			1/5/10/20/70ms以下	
内部消費電流	55mA(TYP.全点ON)			55mA(TYP.全点ON)	
コモン方式	8点1コモン			16点1コモン	
外部接続方式	20点端子台			18点端子台	

仕様＼形名	MELSEC-Aシリーズ AX50 (シンクタイプ)	AX50-S1 (シンク／ソースタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QX50 (DC:プラス／マイナスコモン共用タイプ)	
入力点数	16点	16点	16点	
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	
定格入力電圧	DC48V	DC48V	DC48V	AC48V
定格入力電流	4mA	4mA	4mA	
ON電圧/ON電流	DC34V以上/3mA以上	DC34V以上/3mA以上	28V以上/2.5mA以上	
OFF電圧/OFF電流	DC10V以下/1mA以下	DC10V以下/1mA以下	10V以下/1.0mA以下	
入力抵抗	約11kΩ	約11kΩ	約11.2kΩ	
応答時間 OFF→ON	10ms以下	10ms以下	5ms以下	15ms以下
応答時間 ON→OFF	10ms以下	10ms以下	20ms以下	20ms以下
内部消費電流	55mA(TYP.全点ON)	55mA(TYP.全点ON)	50mA(TYP.全点ON)	
コモン方式	8点1コモン	8点1コモン	16点1コモン	
外部接続方式	20点端子台	20点端子台	18点端子台	

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB9、TB18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.AX40／AX40-ULを定格入力電圧DC24Vで使用している場合は、QX40／QX40-S1への置換えをご検討ください。
3.AX40／AX40-ULを定格入力電圧DC12Vで使用している場合は、QX70への置換えをご検討ください。
4.入力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる入力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
5. □ は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

(3)ERNT-AQTX80　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-AQTX80	AX80 AX80-UL	16点	QX80



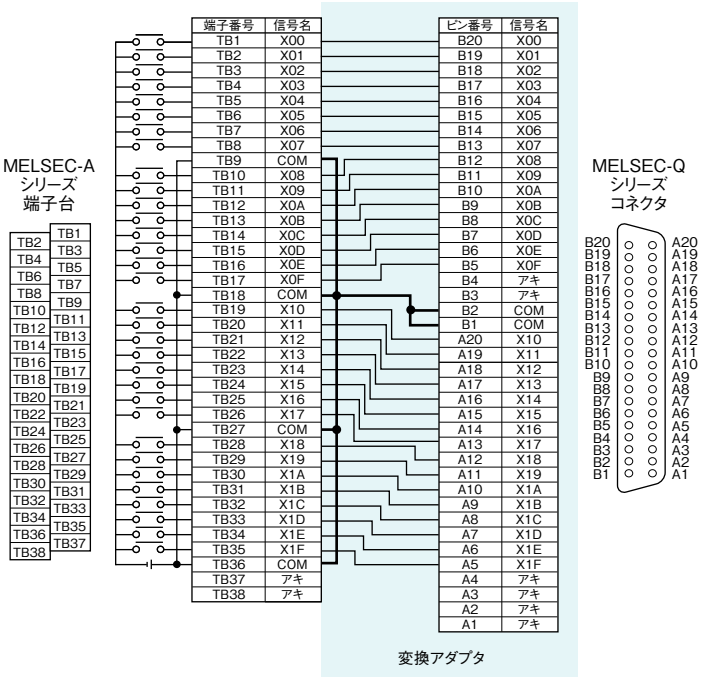
〈入力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-Aシリーズ AX80、AX80-UL (ソースタイプ)		MELSEC-Qシリーズ QX80 (マイナスコモンタイプ)
入力点数		16点		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC12V	DC24V	DC24V
定格入力電流		4mA	10mA	約4mA
ON電圧/ON電流		DC9.5V以上/3mA以上		19V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		DC6V以下/1.5mA以下		11V以下/1.7mA以下
入力抵抗		約2.4kΩ		約5.6kΩ
応答時間	OFF→ON	10ms以下		1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	10ms以下		1/5/10/20/70ms以下
内部消費電流		55mA(TYP.全点ON)		50mA(TYP.全点ON)
コモン方式		8点1コモン		16点1コモン
外部接続方式		20点端子台		18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB9、TB18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.定格入力電圧をDC12Vで使用している場合はDC24Vに変更する必要があります。
3.入力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる入力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
4.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

(4)ERNT-AQTX41　端子台(38P)→コネクタ(40P)

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズユニット形名
ERNT-AQTX41	AX41 AX41-UL	32点	QX41 QX41-S2 QX71
	AX31-S1		QX41 QX41-S2
	AX41-S1		QX41-S1
	AX71		QX71



〈入力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-Aシリーズ AX41、AX41-UL (シンクタイプ)		MELSEC-Qシリーズ QX41 (プラスコモンタイプ)	QX41-S2 (プラスコモンタイプ)	QX71 (プラス/マイナスコモン共用タイプ)	
入力点数		32点		32点	32点	32点	
絶縁方式		フォトカプラ絶縁		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	
定格入力電圧		DC12V	DC24V	DC24V	DC24V	DC5V	DC12V
定格入力電流		4mA	10mA	約4mA	約6mA	約1.2mA	約3.3mA
ON電圧/ON電流		DC9.5V以上/3mA以上		DC19V以上/3mA以上	DC15V以上/3mA以上	3.5V以上/1mA以上	
OFF電圧/OFF電流		DC6V以下/1.5mA以下		DC11V以下/1.7mA以下	DC5V以下/1.7mA以下	1V以下/0.1mA以下	
入力抵抗		約2.4kΩ		約5.6kΩ	約3.6kΩ	約3.3kΩ	
応答時間	OFF→ON	10ms以下		1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下	
	ON→OFF	10ms以下		1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下	
内部消費電流		110mA(TYP.全点ON)		75mA(TYP.全点ON)	75mA(TYP.全点ON)	70mA(TYP.全点ON)	
コモン方式		8点1コモン		32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	
外部接続方式		38点端子台		40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	

仕様＼形名		MELSEC-Aシリーズ AX31-S1 (シンク／ソースタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QX41 (プラスコモンタイプ)	QX41-S2 (プラスコモンタイプ)
入力点数		32点	32点	32点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC24V	DC24V	DC24V
定格入力電流		8.5mA	約4mA	約6mA
ON電圧/ON電流		DC16V以上/5mA以上	DC19V以上/3mA以上	DC15V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		DC8V以下/2mA以下	DC11V以下/1.7mA以下	DC5V以下/1.7mA以下
入力抵抗		約2.7kΩ	約5.6kΩ	約3.6kΩ
応答時間	OFF→ON	10ms以下	1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	10ms以下	1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下
内部消費電流		110mA(TYP.全点ON)	75mA(TYP.全点ON)	75mA(TYP.全点ON)
コモン方式		32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外部接続方式		38点端子台	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ

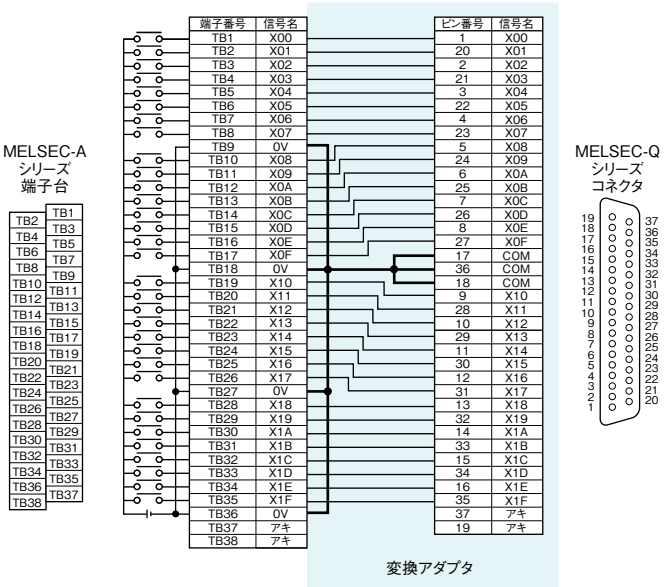
形名 / 仕様		MELSEC-Aシリーズ AX41-S1（シンクタイプ）		MELSEC-Qシリーズ QX41-S1（プラスコモンタイプ）
入力点数		32点		32点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC12V	DC24V	DC24V
定格入力電流		4mA	10mA	約4mA
ON電圧/ON電流		DC9.5V以上/3mA以上		19V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		DC6V以下/1.5mA以下		9.5V以下/1.5mA以下
入力抵抗		約2.4kΩ		約5.6kΩ
応答時間	OFF→ON	0.1ms以下		0.1/0.2/0.4/0.6/1ms
	ON→OFF	0.2ms以下		0.1/0.2/0.4/0.6/1ms
内部消費電流		110mA（TYP.全点ON）		75mA（TYP.全点ON）
コモン方式		8点1コモン		32点1コモン
外部接続方式		38点端子台		40ピンコネクタ

形名 / 仕様		MELSEC-Aシリーズ AX71（シンク/ソースタイプ）			MELSEC-Qシリーズ QX71（プラス/マイナスコモン共用タイプ）	
入力点数		32点			32点	
絶縁方式		フォトカプラ絶縁			フォトカプラ絶縁	
定格入力電圧		DC5V	DC12V	DC24V	DC5V	DC12V
定格入力電流		3.5mA（TYP）5.5mA（MAX）	2mA（TYP）3mA（MAX）	4.5mA（TYP）6mA（MAX）	約1.2mA	約3.3mA
ON電圧/ON電流		（SW ON）DC3.5V以上/1.0mA以上（SW OFF）DC5V以上/1.0mA以上			3.5V以上/1mA以上	
OFF電圧/OFF電流		（SW ON）DC1.1V以下/0.2mA以下（SW OFF）DC2V以下/0.2mA以下			1V以下/0.1mA以下	
入力抵抗		（SW ON）約1.4kΩ（SW OFF）約5.5kΩ			約3.3kΩ	
応答時間	OFF→ON	1.5ms以下			1/5/10/20/70ms以下	
	ON→OFF	3ms以下			1/5/10/20/70ms以下	
内部消費電流		110mA（TYP.全点ON）			70mA（TYP.全点ON）	
コモン方式		8点1コモン			32点1コモン	
外部接続方式		38点端子台			40ピンコネクタ	

（注）1.AX41／AX41-UL→QX41／QX41-S2／QX71、AX41-S1→QX41-S1、AX71→QX71への置換えの場合、1コモンあたりの点数が8点／1コモン（4回路）→32点／1コモンとなるため、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB9、TB18、TB27、TB36を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.AX41／AX41-UL→QX41、AX41-S1→QX41-S1に置換える際、定格入力電圧をDC12Vで使用している場合はDC24Vに変更する必要があります。
3.AX41／AX41-UL→QX71に置換える際、定格入力電圧をDC24Vで使用している場合はDC5VまたはDC12Vに変更する必要があります。
4.AX71→QX71に置換える際、定格入力電圧をDC24Vで使用している場合はDC5VまたはDC12Vに変更する必要があります。
5.入力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる入力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
6.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

(5)ERNT-AQTX81　端子台(38p)→コネクタ(37p)

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-AQTX81	AX81	32点	QX81
	AX81-S1		QX81-S2



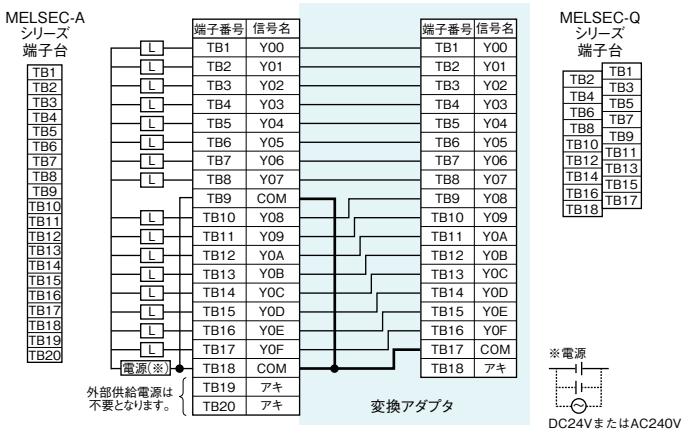
〈入力ユニット仕様比較表〉

形名 / 仕様		MELSEC-Aシリーズ AX81（ソースタイプ）		AX81-S1（シンク/ソースタイプ）		MELSEC-Qシリーズ QX81（マイナスコモンタイプ）	QX81-S2（マイナスコモンタイプ）
入力点数		32点		32点		32点	32点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁		フォトカプラ絶縁		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC12V	DC24V	DC12V	DC24V	DC24V	DC24V
定格入力電流		4mA	10mA	2.5mA	5mA	約4mA	約6mA
ON電圧/ON電流		DC9.5V以上/3mA以上		DC5.6V以上/1.1mA以上		DC19V以上/3mA以上	DC15V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		DC6V以下/1.5mA以下		DC2.4V以下/0.39mA以下		DC11V以下/1.7mA以下	DC5V以下/1.7mA以下
入力抵抗		約2.4kΩ		約4.8kΩ		約5.6kΩ	約3.6kΩ
応答時間	OFF→ON	10ms以下		10ms以下		1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	10ms以下		10ms以下		1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下
内部消費電流		110mA（TYP.全点ON）		105mA（TYP.全点ON）		75mA（TYP.全点ON）	75mA（TYP.全点ON）
コモン方式		8点1コモン		8点1コモン		32点1コモン	32点1コモン
外部接続方式		38点端子台		38点端子台		37ピンD-Subコネクタ	37ピンD-Subコネクタ

（注）1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン（4回路）→32点／1コモンとなるため、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB9、TB18、TB27、TB36を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.AX81-S1→QX81への置換えの場合は、ソースタイプのみ対応。
3.定格入力電圧をDC12Vで使用している場合はDC24Vに変更する必要があります。
4.入力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる入力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
5.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

(6)ERNT-AQTY10 端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-AQTY10	AY10	16点	QY10
	AY11 AY11-UL		
	AY11E		
	AY11EEU		



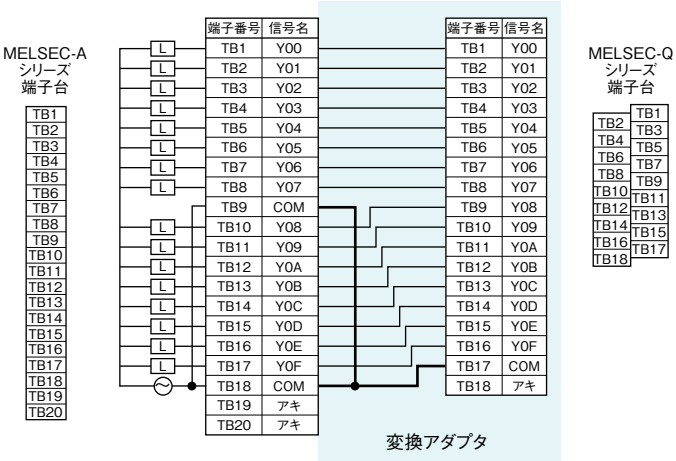
〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名	MELSEC-Aシリーズ AY10	AY11、AY11-UL	AY11E	AY11EEU	MELSEC-Qシリーズ QY10
出力点数	16点	16点	16点	16点	16点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	リレー絶縁
定格開閉電圧・電流	DC24V 2A/1点(抵抗負荷) AC240V 2A/1点(COSφ=1) 8A/1コモン	DC24V 2A/1点(抵抗負荷) AC240V 2A/1点(COSφ=1) 8A/1コモン	DC24V 2A/1点(抵抗負荷) AC240V 2A/1点(COSφ=1) 8A/1コモン	DC24V 2A/1点(抵抗負荷) AC24V 2A/1点(COSφ=1) 8A/1コモン	DC24V 2A/1点(抵抗負荷) AC240V 2A/1点(COSφ=1) 8A/1コモン
最小開閉負荷	DC5V 1mA	DC5V 1mA	DC5V 1mA	DC5V 1mA	DC5V 1mA
最大開閉電圧	AC264V DC125V	AC264V DC125V	AC250V DC125V	AC49.9V DC74.9V	AC264V DC125V
OFF時漏洩電流	—	0.1mA(AC200V、60Hz)	0.1mA(AC200V、60Hz)	0.1mA(AC49.9V、60Hz)	—
応答時間 OFF→ON	10ms以下	10ms以下	10ms以下	10ms以下	10ms以下
応答時間 ON→OFF	12ms以下	12ms以下	12ms以下	12ms以下	12ms以下
サージキラー	無	バリスタ(387～473V)	バリスタ(387～473V)	バリスタ(387～473V)	無
ヒューズ	無	無	有	有	無
内部消費電流	115mA(TYP.全点ON)	115mA(TYP.全点ON)	115mA(TYP.全点ON)	115mA(TYP.全点ON)	430mA(TYP.全点ON)
コモン方式	8点1コモン	8点1コモン	8点1コモン	8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式	20点端子台	20点端子台	20点端子台	20点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB9、TB18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB19、TB20に接続されていた外部供給電源は不要となります。ただし、変換アダプタ内部では未配線状態のため、接続したままの状態でも問題ありません。
3.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
4.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

(7)ERNT-AQTY22 端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-AQTY22	AY22	16点	QY22



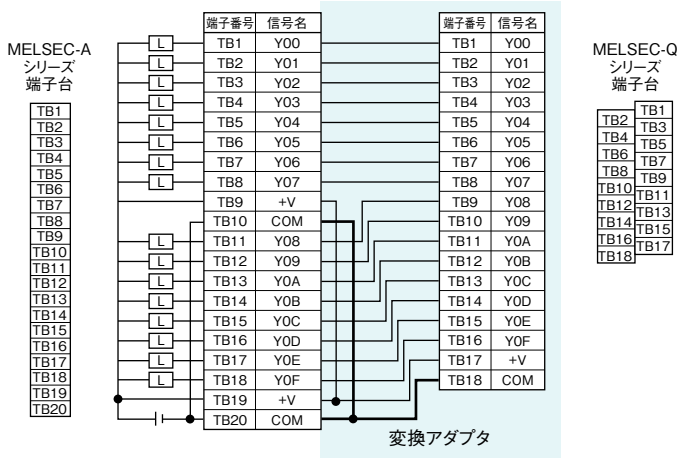
〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名	MELSEC-Aシリーズ AY22	MELSEC-Qシリーズ QY22
出力点数	16点	16点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧	AC100-240V 50/60Hz±5%	AC100-240V 50/60Hz±5%
最大負荷電流	2A/1点、3.3A/1コモン	0.6A/1点、4.8A/1コモン
最小負荷電圧・電流	AC24V 100mA、AC100V 10mA、AC240V 20mA	AC24V 100mA、AC100V 25mA、AC240V 25mA
最大突入電流	40A 10ms以下、15A100ms以下	20A 1サイクル以下
OFF時漏洩電流	1.5mA(AC120V 60Hz)、3mA(AC240V 60Hz)	1.5mA以下(120V 60Hz時)、3mA以下(240V 60Hz時)
ON時最大電圧降下	AC1.5V以下(1～2A)、AC1.8V以下(0.2～1A)、AC5V以下(0.2A以下)	1.5V以下
応答時間 OFF→ON	1ms以下	1ms+0.5サイクル以下
応答時間 ON→OFF	0.5CYCLE+1ms以下	1ms+0.5サイクル以下(定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー	CRアブソーバ(0.022μF+47Ω)、バリスタ(387～473V)	CRアブソーバ
ヒューズ	有	無(外部配線でのヒューズ取付け推奨)
内部消費電流	305mA(TYP.全点ON)	250mA(MAX.全点ON)
コモン方式	8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式	20点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(2回路)→16点／1コモン(1回路)となるため、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB9、TB18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
3.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

(8)ERNT-AQTY40　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-AQTY40	AY40 AY40-UL	16点	QY40P
	AY40P		
	AY70 AY70-UL		QY70



(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(2回路)→16点／1コモン(1回路)となるため、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB9、TB19およびTB10、TB20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
3. □ は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

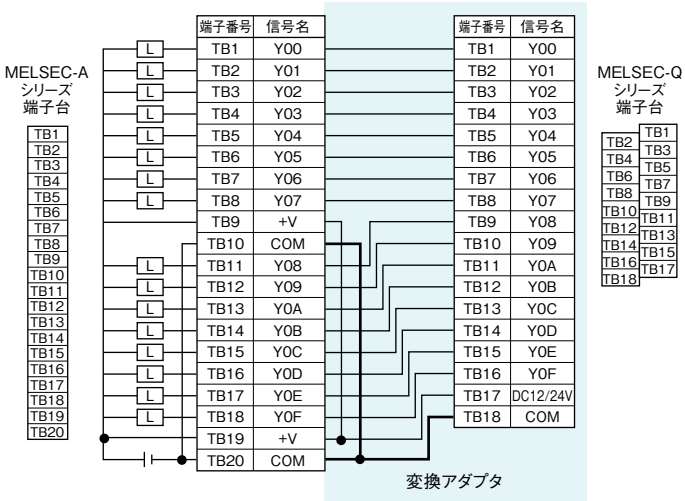
〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名	MELSEC-Aシリーズ		MELSEC-Qシリーズ
	AY40、AY40-UL (シンクタイプ)	AY40P (シンクタイプ)	QY40P (シンクタイプ)
出力点数	16点	16点	16点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧	DC12/24V	DC12/24V	DC12-24V
最大負荷電流	0.1A/1点、0.8A/1コモン	0.1A/1点、0.8A/1コモン	0.1A/1点、1.6A/1コモン
最大突入電流	0.4A	0.38A、5ms以下	0.7A、10ms以下
OFF時漏洩電流	0.1mA以下	0.1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下	DC2.5V(0.1A)、DC1.75V(5mA)、DC1.7V(1mA)	DC2.5V(0.1A)、DC1.75V(5mA)、DC1.7V(1mA)	DC0.1V(TYP)0.1A、DC0.2V(MAX)0.1A
応答時間 OFF→ON	2ms以下	2ms以下	1ms以下
応答時間 ON→OFF	2ms以下(抵抗負荷)	2ms以下(抵抗負荷)	1ms以下(定格負荷、抵抗負荷)
内部消費電流	115mA(TYP.全点ON)	115mA(TYP.全点ON)	65mA(TYP.全点ON)
サージキラー	クランプダイオード	クランプダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ	無	無	無
保護機能	無	有 (サーマルプロテクト、短絡プロテクト)	有 (サーマルプロテクト、短絡保護)
コモン方式	8点1コモン	8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式	20点端子台	20点端子台	18点端子台

仕様＼形名	MELSEC-Aシリーズ	MELSEC-Qシリーズ
	AY70、AY70-UL (シンクタイプ)	QY70 (シンクタイプ)
出力点数	16点	16点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧	DC5/12V	DC5-12V
最大負荷電流	16mA/1点、128mA/1コモン	16mA/1点、256mA/1コモン
最大突入電流	50mA、10ms	40mA、10ms以下
OFF時漏洩電流	V_{OH}:DC3.5V(V_{CC}=DC5V、I_{OH}=0.4mA)	V_{OH}:DC3.5V(V_{CC}=DC5V、I_{OH}=0.4mA)
ON時最大電圧降下	V_{OL}:DC0.2V(I_{OL}=16mA)	V_{OL}:DC0.3V
応答時間 OFF→ON	1ms以下	0.5ms以下
応答時間 ON→OFF	1ms以下	0.5ms以下(抵抗負荷)
内部消費電流	100mA(TYP.全点ON)	95mA(TYP.全点ON)
サージキラー	無	無
ヒューズ	無	有
コモン方式	8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式	20点端子台	18点端子台

(9)ERNT-AQTY50　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-AQTY50	AY50 AY50-UL	16点	QY50



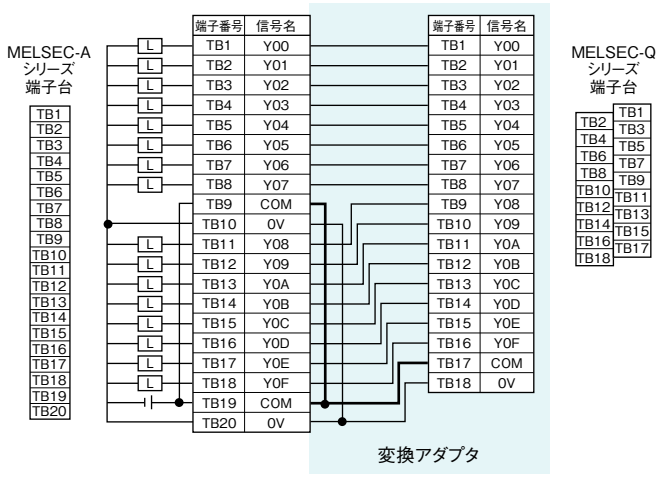
〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名	MELSEC-Aシリーズ	MELSEC-Qシリーズ
	AY50、AY50-UL (シンクタイプ)	QY50 (シンクタイプ)
出力点数	16点	16点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧	DC12/24V	DC12-24V
最大負荷電流	0.5A/1点、2A/1コモン	0.5A/1点、4A/1コモン
最大突入電流	7A 10ms以下、3.5A 100ms以下	4A 10ms以下
OFF時漏洩電流	0.1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下	DC0.9V(TYP)0.5A、DC1.5V(MAX)0.5A	DC0.2V(TYP)0.5A、DC0.3V(MAX)0.5A
応答時間 OFF→ON	2ms以下	1ms以下
応答時間 ON→OFF	2ms以下(抵抗負荷)	1ms以下(定格負荷、抵抗負荷)
内部消費電流	115mA(TYP.全点ON)	80mA(TYP.全点ON)
サージキラー	バリスタ(52～62V)	ツェナーダイオード
ヒューズ	有	有
コモン方式	8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式	20点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(2回路)→16点／1コモン(1回路)となるため、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB9、TB19およびTB10、TB20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
3. □ は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

(10)ERNT-AQTY80　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-AQTY80	AY80	16点	QY80



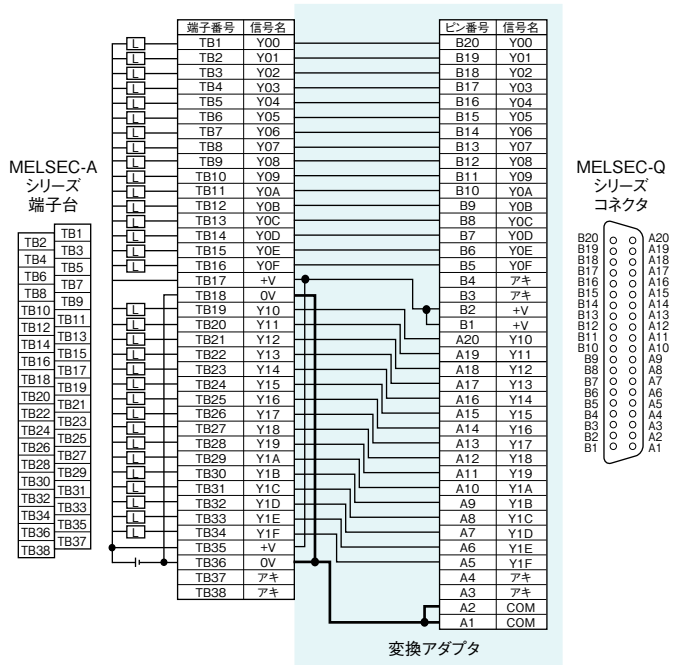
〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-Aシリーズ AY80 (ソースタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QY80 (ソースタイプ)
出力点数		16点	16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12/24V	DC12-24V
最大負荷電流		0.5A/1点、2A/1コモン	0.5A/1点、4A/1コモン
最大突入電流		7A 10ms以下、3.5A 100ms以下	4A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC1.5V(MAX)0.5A	DC0.2V(TYP)0.5A、DC0.3V(MAX)0.5A
応答時間	OFF→ON	2ms以下	1ms以下
	ON→OFF	2ms以下(抵抗負荷)	1ms以下(定格負荷、抵抗負荷)
内部消費電流		115mA(TYP.全点ON)	80mA(TYP.全点ON)
サージキラー		バリスタ(52~62V)	ツェナーダイオード
ヒューズ		有	有
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式		20点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(2回路)→16点／1コモン(1回路)となるため、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB9、TB19およびTB10、TB20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
3.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

(11)ERNT-AQTY41　端子台(38p)→コネクタ(40p)

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-AQTY41	AY41 AY41-UL	32点	QY41P
	AY41P		
	AY71		QY71



〈出力ユニット仕様比較表〉

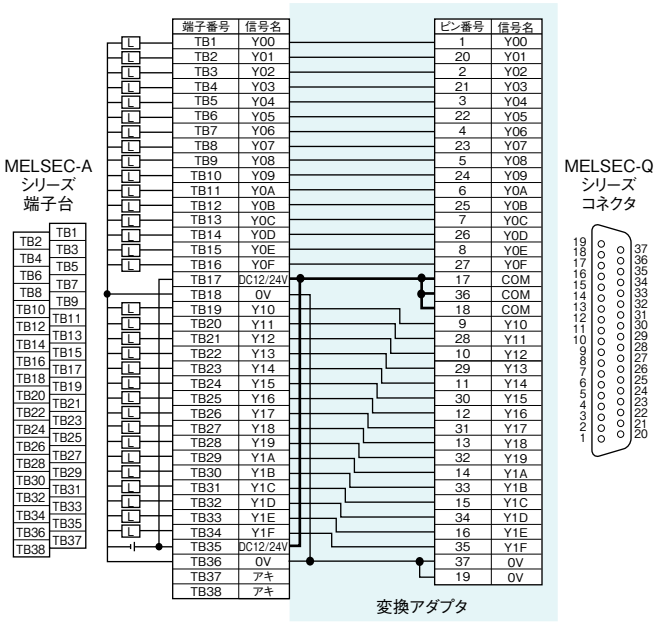
仕様＼形名		MELSEC-Aシリーズ AY41、AY41-UL (シンクタイプ)	MELSEC-Aシリーズ AY41P (シンクタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QY41P (シンクタイプ)
出力点数		32点	32点	32点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12/24V	DC12/24V	DC12-24V
最大負荷電流		0.1A/1点、1.6A/1コモン	0.1A/1点、1.0A/1コモン	0.1A/1点、2A/1コモン
最大突入電流		0.4A	0.38A、5ms以下	0.7A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下	0.1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC2.5V(0.1A)、DC1.75V(5mA)、DC1.7V(1mA)	DC2.5V(0.1A)、DC1.75V(5mA)、DC1.7V(1mA)	DC0.1V(TYP)0.1A、DC0.2V(MAX)0.1A
応答時間	OFF→ON	2ms以下	2ms以下	1ms以下
	ON→OFF	2ms以下(抵抗負荷)	2ms以下(抵抗負荷)	1ms以下(定格負荷、抵抗負荷)
内部消費電流		230mA(TYP.全点ON)	230mA(TYP.全点ON)	105mA(TYP.全点ON)
サージキラー		クランプダイオード	クランプダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		無	無(保護機能有り(サーマルプロテクト、短絡プロテクト))	無(保護機能有り(サーマルプロテクト、短絡保護))
コモン方式		16点1コモン	16点1コモン	32点1コモン
外部接続方式		38点端子台	38点端子台	40ピンコネクタ

仕様＼形名		MELSEC-Aシリーズ AY71 (シンクタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QY71 (シンクタイプ)
出力点数		32点	32点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC5/12V	DC5-12V
最大負荷電流		16mA/1点、256mA/1コモン(シンクロード)	16mA/1点、512mA/1コモン
最大突入電流		50mA 10ms	40mA 10ms以下
OFF時漏洩電流		V_{OH}:DC3.5V (V_{CC}=DC5V、I_{OH}=0.4mA)	V_{OH}:DC3.5V (V_{CC}=DC5V、I_{OH}=0.4mA)
ON時最大電圧降下		V_{OL}:DC0.2V (I_{OL}=16mA)	V_{OL}:DC0.3V
応答時間	OFF→ON	1ms以下	0.5ms以下
	ON→OFF	1ms以下	0.5ms以下(抵抗負荷)
内部消費電流		200mA(TYP.全点ON)	150mA(TYP.全点ON)
サージキラー		無	無
ヒューズ		無	有
コモン方式		16点1コモン	32点1コモン
外部接続方式		38点端子台	40ピンコネクタ

(注)1.1コモンあたりの点数が、16点／1コモン(2回路)→32点／1コモン(1回路)となるため、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB17、TB35およびTB18、TB36を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
3.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

(12)ERNT-AQTY81　端子台(38p)→コネクタ(37p)

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-AQTY81	AY81 AY81EP	32点	QY81P



〈出力ユニット仕様比較表〉

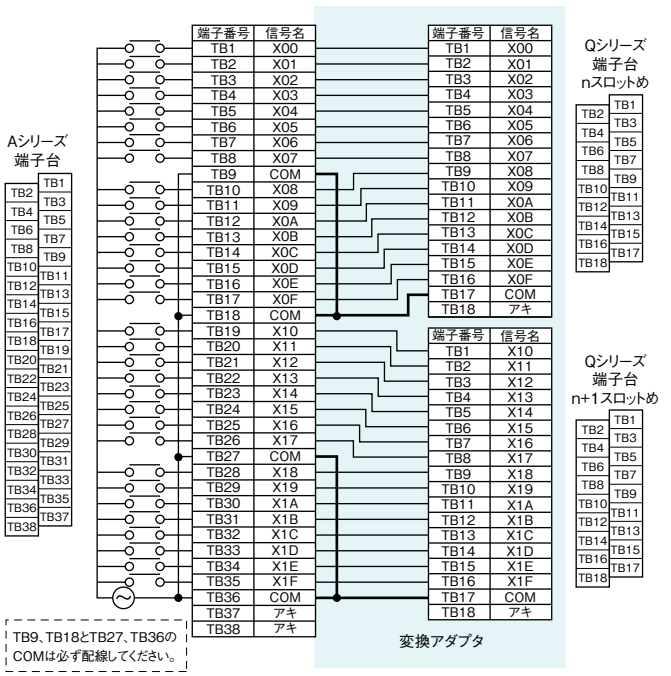
仕様＼形名		MELSEC-Aシリーズ AY81 (ソースタイプ)	MELSEC-Aシリーズ AY81EP (ソースタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QY81P (ソースタイプ)
出力点数		32点	32点	32点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12/24V	DC12/24V	DC12-24V
最大負荷電流		0.5A/1点、4A/1コモン	0.8A/1点、0.4A/1点 (60%ON、55℃)	0.1A/1点、2A/1コモン
最大突入電流		4A 10ms以下	制限なし(短絡プロテクト)	0.7A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下	1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC1.5V(MAX)0.5A	1.1V(TYP)0.8A、1.5V(MAX)0.8A	DC0.1V(TYP)0.1A、DC0.2V(MAX)0.1A
応答時間	OFF→ON	2ms以下	0.5ms以下	1ms以下
	ON→OFF	2ms以下(抵抗負荷)	1.5ms以下	1ms以下 (定格負荷、抵抗負荷)
内部消費電流		230mA(TYP.全点ON)	230mA(TYP.全点ON)	95mA(TYP.全点ON)
サージキラー		バリスタ(52~62V)	サージ吸収用ダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		無	無(保護機能有り (サーマルプロテクト、短絡プロテクト))	無(保護機能有り (サーマルプロテクト、短絡保護))
コモン方式		16点1コモン	16点1コモン	32点1コモン
外部接続方式		38点端子台	38点端子台	37ピンD-Subコネクタ

(注)1.1コモンあたりの点数が、16点／1コモン(2回路)→32点／1コモン(1回路)となるため、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB17、TB35およびTB18、TB36を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
尚、ERNT-AQTY51(1-14ページ、三菱電機株式会社製Qラージベースユニットには使用できません。)を使用してQY80 2台に置換えしていただければ、配線の変更は不要です。
2.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
3. □ は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

2スロットタイプ (三菱電機株式会社製 Qラージベースユニットには使用できません。)

(1)ERNT-AQTX11　端子台(38p)→端子台(18p)×2

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-AQTX11	AX11 AX11EU	32点	QX10	2台



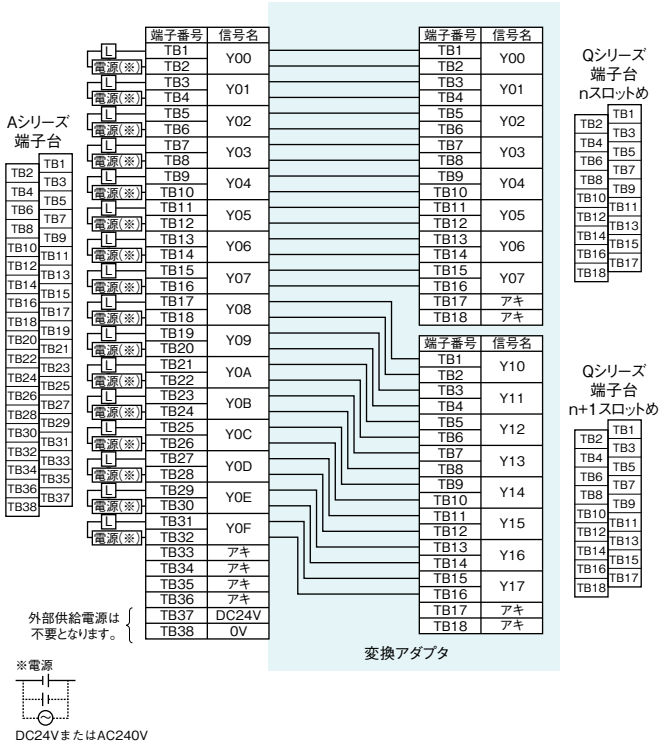
〈入力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-Aシリーズ AX11	MELSEC-Aシリーズ AX11EU	MELSEC-Qシリーズ QX10
入力点数		32点		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		AC100-120V 50/60Hz		AC100-120V (+10/−15%) 50/60Hz(±3Hz)
定格入力電流		10mA (AC100V、60Hz)	12mA (AC120V、60Hz)	約8mA(AC100V、60Hz) 約7mA(AC100V、50Hz)
突入電流		最大300mA 0.3ms以内 (AC132V時)	最大300mA 1ms以内 (AC132V時)	最大200mA 1ms以内 (AC132V時)
ON電圧/ON電流		AC80V以上/6mA以上	AC79V以上/6mA以上	AC80V以上/5mA以上 (50Hz、60Hz)
OFF電圧/OFF電流		AC40V以下/4mA以下		AC30V以下/1.7mA以下 (50Hz、60Hz)
入力インピーダンス		約10kΩ(60Hz)、約12kΩ(50Hz)		約12kΩ(60Hz)、約15kΩ(50Hz)
応答時間	OFF→ON	15ms以下	15ms以下 (AC100V、60Hz)	15ms以下 (AC100V 50Hz、60Hz)
	ON→OFF	25ms以下	25ms以下 (AC100V、60Hz)	20ms以下 (AC100V 50Hz、60Hz)
内部消費電流		110mA(TYP.全点ON)	150mA(TYP.全点ON)	50mA(TYP.全点ON)
コモン方式		32点1コモン		16点1コモン
外部接続方式		38点端子台		18点端子台

(注)1.入力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる入力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
2.MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB9、TB18とTB27、TB36のCOMは必ず配線してください。
3. □ は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

(2)ERNT-AQTY10A　端子台(38p)→端子台(18p)×2

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-AQTY10A	AY10A AY10A-UL AY11A AY11AEU	16点	QY18A	2台



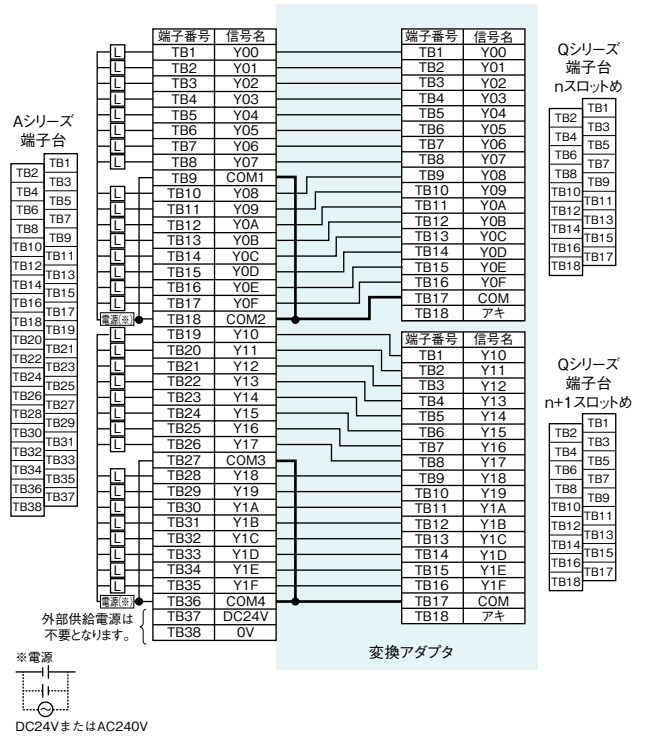
〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名	MELSEC-Aシリーズ AY10A AY10A-UL	AY11A	AY11AEU	MELSEC-Qシリーズ QY18A
出力点数	16点			8点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁			リレー絶縁
定格開閉電圧・電流	DC24V 2A/1点(抵抗負荷) AC240V 2A/1点(COSφ=1) 16A/全点		DC24V 2A/1点(抵抗負荷) AC24V 2A/1点(COSφ=1) 16A/全点	DC24V 2A/1点(抵抗負荷) AC240V 2A/1点(COSφ=1) 8A/1ユニット
最小開閉負荷	DC5V 1mA			DC5V 1mA
最大開閉電圧	AC264V DC125V		AC49.9V DC74.9V	AC264V DC125V
OFF時漏洩電流	—	0.1mA (AC200V、60Hz)	0.1mA (AC49.9V、60Hz)	—
応答時間 OFF→ON	10ms以下			10ms以下
応答時間 ON→OFF	12ms以下			12ms以下
サージキラー	無	バリスタ (387～473V)		無
ヒューズ	無			無
内部消費電流	115mA(TYP.全点ON)			240mA(TYP.全点ON)
コモン方式	無(全点独立接点)			無(全点独立接点)
外部接続方式	38点端子台			18点端子台

(注)1.MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB37、TB38に接続されていた外部供給電源は不要となります。ただし、変換アダプタ内部では未配線状態のため、接続したままの状態でも問題ありません。
2.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
3.QY18Aは16点占有ユニットのため、Y08～Y0FはY10～Y17へプログラムの変更が必要です。
4. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

(3)ERNT-AQTY13　端子台(38p)→端子台(18p)×2

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-AQTY13	AY13 AY13E AY13EU	32点	QY10	2台



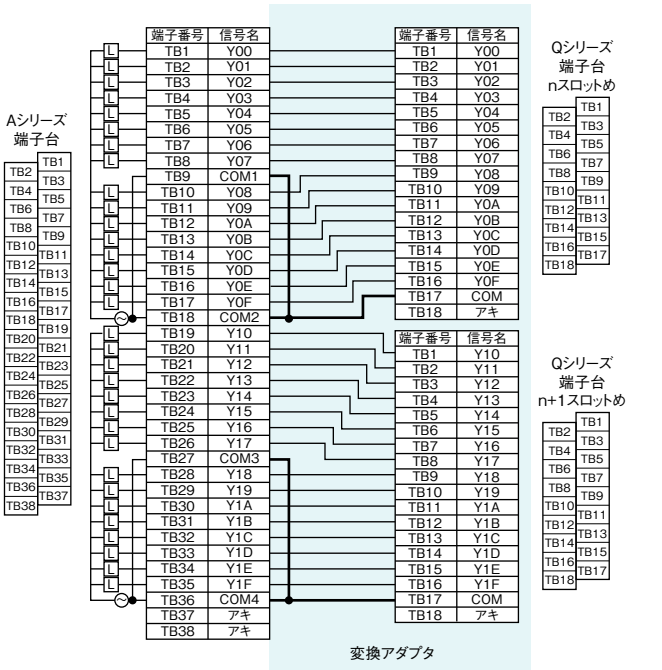
〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名	MELSEC-Aシリーズ AY13	AY13E	AY13EU	MELSEC-Qシリーズ QY10
出力点数	32点			16点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁			リレー絶縁
定格開閉電圧・電流	DC24V 2A/1点(抵抗負荷) AC240V 2A/1点(COSφ=1) 5A/1コモン		DC24V 2A/1点(抵抗負荷) AC24V 2A/1点(COSφ=1) 5A/1コモン	DC24V 2A/1点(抵抗負荷) AC240V 2A/1点(COSφ=1) 8A/1コモン
最小開閉負荷	DC5V 1mA			DC5V 1mA
最大開閉電圧	AC264V DC125V	AC250V DC125V	AC49.9V DC74.9V	AC264V DC125V
OFF時漏洩電流	—			—
応答時間 OFF→ON	10ms以下			10ms以下
応答時間 ON→OFF	12ms以下			12ms以下
サージキラー	無			無
ヒューズ	無	有	無	無
内部消費電流	230mA(TYP.全点ON)			430mA(TYP.全点ON)
コモン方式	8点1コモン			16点1コモン
外部接続方式	38点端子台			18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(4回路)→16点／1コモン(1回路)2台となるため、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB9とTB18および、TB27とTB36を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB37、TB38に接続されていた外部供給電源は不要となります。ただし、変換アダプタ内部では未配線状態のため、接続したままの状態でも問題ありません。
3.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
4. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

(4)ERNT-AQTY23　端子台(38p)→端子台(18p)×2

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-AQTY23	AY23	32点	QY22	2台



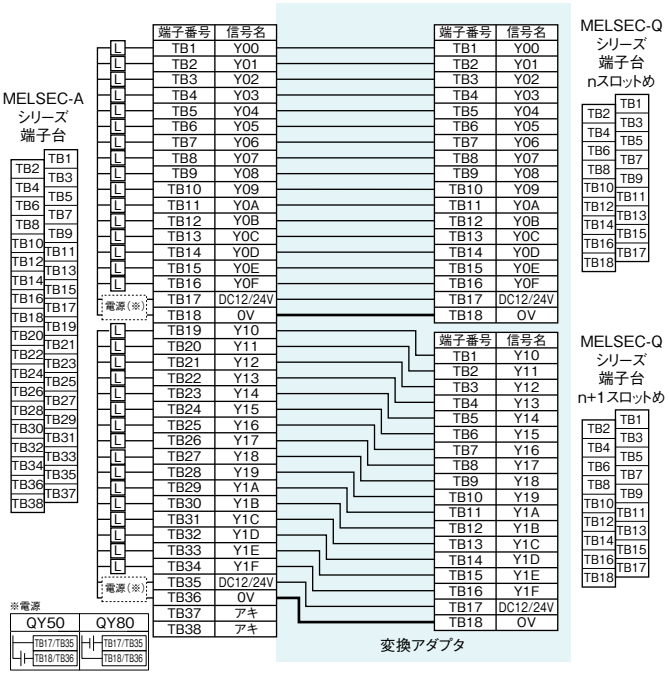
〈出力ユニット仕様比較表〉

形名 / 仕様		MELSEC-Aシリーズ AY23	MELSEC-Qシリーズ QY22
出力点数		32点	16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		AC100-240V 40～70Hz	AC100-240V 50/60Hz±5%
最大負荷電流		0.6A/1点、2.4A/1コモン	0.6A/1点、4.8A/1コモン
最小負荷電圧・電流		AC24V 100mA、AC100V 10mA、AC240V 10mA	AC24V 100mA、AC100V 25mA、AC240V 25mA
最大突入電流		20A 10ms以下、8A 100ms以下	20A 1サイクル以下
OFF時漏洩電流		1.5mA(AC120V 60Hz)、3mA以下(AC240V 60Hz)	1.5mA以下(120V 60Hz時)、3mA以下(240V 60Hz時)
ON時最大電圧降下		AC1.5V以下(100～600mA)、AC1.8V以下(50～100mA)、AC2V以下(10～50mA)	1.5V以下
応答時間	OFF→ON	1ms	1ms+0.5サイクル以下
	ON→OFF	0.5CYCLE+1ms以下	1ms+0.5サイクル以下(定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー		CRアブソーバ	CRアブソーバ
ヒューズ		有	無(外部配線でのヒューズ取付け推奨)
内部消費電流		590mA(TYP.全点ON)	250mA(MAX.全点ON)
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式		38点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(4回路)→16点／1コモン(1回路)2台となるため、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB9とTB18および、TB27とTB36を外離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
3. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

(5)ERNT-AQTY51　端子台(38p)→端子台(18p)×2

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-AQTY51	AY51 AY51-UL AY51-S1	32点	QY50	2台
	AY81 AY81EP		QY80	



〈出力ユニット仕様比較表〉

形名 / 仕様		MELSEC-Aシリーズ AY51、AY51-UL (シンクタイプ)	MELSEC-Aシリーズ AY51-S1 (シンクタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QY50 (シンクタイプ)
出力点数		32点		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁		フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12/24V		DC12-24V
最大負荷電流		0.5A/1点、4A/1コモン	0.3A/1点、2A/1コモン (1A/ヒューズコモン)	0.5A/1点、4A/1コモン
最大突入電流		4A 10ms以下	3A 10ms以下	4A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下		0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC0.9V(TYP)0.5A、DC1.5V(MAX)0.5A	DC1V(TYP)0.3A、DC1.5V(MAX)0.3A	DC0.2V(TYP)0.5A、DC0.3V(MAX)0.5A
応答時間	OFF→ON	2ms以下		1ms以下
	ON→OFF	2ms以下(抵抗負荷)		1ms以下(定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー		バリスタ(52～62V)	トランジスタ内蔵 ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		無	有	有
内部消費電流		230mA(TYP.全点ON)	310mA(TYP.全点ON)	80mA(TYP.全点ON)
コモン方式		16点1コモン		16点1コモン
外部接続方式		38点端子台		18点端子台

形名 / 仕様		MELSEC-Aシリーズ AY81 (ソースタイプ)	MELSEC-Aシリーズ AY81EP (ソースタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QY80 (ソースタイプ)
出力点数		32点		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁		フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12/24V		DC12-24V
最大負荷電流		0.5A/1点、4A/1コモン	0.8A/1点、0.4A/1点 (60%ON、55℃)	0.5A/1点、4A/1コモン
最大突入電流		4A 10ms以下	制限なし(短絡プロテクト)	4A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下	1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC1.5V(MAX)0.5A	1.1V(TYP)0.8A 1.5V(MAX)0.8A	DC0.2V(TYP)0.5A DC0.3V(MAX)0.5A
応答時間	OFF→ON	2ms以下	0.5ms以下	1ms以下
	ON→OFF	2ms以下(抵抗負荷)	1.5ms以下	1ms以下(定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー		バリスタ(52～62V)	サージ吸収用ダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		無	無(保護機能有り (サーマルプロテクト、短絡プロテクト))	有 (6.7A(交換不可)、ヒューズ遮断容量:50A)
内部消費電流		230mA(TYP.全点ON)		80mA(TYP.全点ON)
コモン方式		16点1コモン		16点1コモン
外部接続方式		38点端子台		18点端子台

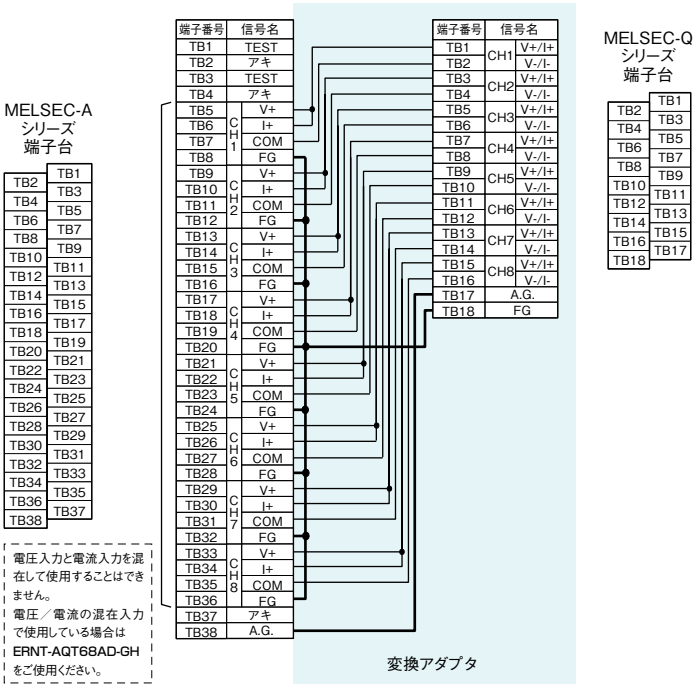
(注)1.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる入力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB17、TB35およびTB18、TB36を外離されていない(共通コモンである)場合、ERNT-AQTY81(1-12ページ)を使用してQY81P 1台に置換えいただくことも可能です。(配線の変更は不要)ただし、QY81Pの最大負荷電流は0.1A/1点、2A/1コモンとなるため、接続する機器、設備の仕様をご確認ください。

アナログユニット用

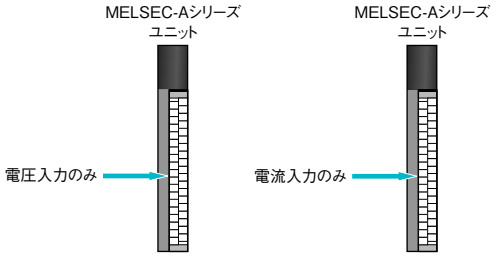
1スロットタイプ（三菱電機株式会社製 Qラージベースユニットにも取付け可能）

(1)ERNT-AQT68AD　端子台(38p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-AQT68AD	A68AD(電圧入力)	8チャンネル	Q68ADV
	A68AD(電流入力)		Q68ADI
	A68AD-S2(電圧入力)		Q68ADV
	A68AD-S2(電流入力)		Q68ADI



(注)1.電圧入力のみまたは電流入力のみでご使用されている場合にERNT-AQT68ADをご使用ください。



Q68ADV/Q68ADIのアナログ入力は、1ユニットで電圧入力と電流入力の混在使用ができません。電圧／電流の混在入力で使用されている場合は、ERNT-AQT68AD-GHをご使用ください。

2.Q68ADV/Q68ADIにオフセット・ゲイン設定用端子はありません。オフセット・ゲイン設定については、Q68ADV/Q68ADIのユーザーズマニュアルを参照してください。

3.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。また、三菱電機株式会社が発行している「L(名)08045:MELSEC-A/QnA(大形)シリーズからQシリーズへの置換えの手引き(インテリジェント機能ユニット編)」を参照されることをお勧めいたします。
なお、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

〈仕様比較表〉

<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2">仕様 ＼ 形名</th><th>MELSEC-Aシリーズ</th><th colspan="6">MELSEC-Qシリーズ</th></tr>
<tr><th>A68AD、A68AD-S2</th><th colspan="4">Q68ADV</th><th>Q68ADI</th></tr>
<tr><td rowspan="2">アナログ入力</td><td colspan="2">電圧</td><td>DC−10〜0〜10V
(入力抵抗ハードウェアバージョンK以降:1MΩ、
ハードウェアバージョンJ以前:30kΩ)</td><td colspan="4">DC−10〜10V(入力抵抗1MΩ)</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">電流</td><td>DC4〜20mA(入力抵抗250Ω)</td><td colspan="4">−</td><td>DC0〜20mA(入力抵抗250Ω)</td></tr>
<tr><td colspan="3">ディジタル出力</td><td>ACPU:16ビット符号付バイナリ(−2048〜+2047)
K2ACPU:符号+16ビットバイナリ(±2047)</td><td colspan="5">16 ビット符号付バイナリ
(通常分解能モード:−4096〜4095、高分解能モード:−12288〜12287、−16384〜16383)</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="6">入出力特性</td><td>アナログ入力 / ディジタル出力</td><td colspan="5" rowspan="2">アナログ入力レンジ</td><td colspan="2">通常分解能モード</td><td colspan="2">高分解能モード</td></tr>
<tr><td>+10V / +2000</td><td>ディジタル出力値</td><td>最大分解能</td><td>ディジタル出力値</td><td>最大分解能</td></tr>
<tr><td>+5V または+20mA / +1000</td><td rowspan="5">電圧</td><td>0〜10V</td><td rowspan="2">0〜4000</td><td>2.5mV</td><td>0〜16000</td><td>0.625mV</td></tr>
<tr><td>0V または+4mA / ±0</td><td>0〜5V</td><td>1.25mV</td><td rowspan="2">0〜12000</td><td>0.416mV</td></tr>
<tr><td>−5V または−12mA / −1000</td><td>1〜5V</td><td>1.0mV</td><td>0.333mV</td></tr>
<tr><td>−10V / −2000</td><td>−10〜10V</td><td>−4000〜4000</td><td>2.5mV</td><td>−16000〜16000</td><td>0.625mV</td></tr>
<tr><td>ユーザレンジ設定</td><td>0.375mV</td><td>−12000〜12000</td><td>0.333mV</td></tr>
<tr><td colspan="3">最大分解能</td><td colspan="2">電圧 5mV(1/2000)
電流 20μA(1/1000)</td><td rowspan="2">電流</td><td>0〜20mA</td><td>0〜4000</td><td>5μA</td><td>0〜12000</td><td>1.66μA</td></tr>
<tr><td colspan="3">総合精度</td><td colspan="2">±1.0%(±20)</td><td>4〜20mA</td><td>4μA</td><td>1.33μA</td></tr>
<tr><td colspan="3">最大変換速度</td><td colspan="2">最大2.5ms/チャンネル</td><td colspan="5">80μs/チャンネル(温度ドリフト補正ありのとき、使用チャンネル数にかかわらず160μs加算)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">絶対最大入力</td><td colspan="2">電圧</td><td colspan="2">±15V</td><td colspan="5">±15V</td></tr>
<tr><td colspan="2">電流</td><td colspan="2">±30mA</td><td colspan="5">±30mA</td></tr>
<tr><td colspan="3">アナログ入力点数</td><td colspan="2">8チャンネル/ユニット</td><td colspan="5">8チャンネル/ユニット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">絶縁方式</td><td colspan="2">入力端子とシーケンサ電源間</td><td colspan="2">フォトカプラ絶縁</td><td colspan="5">フォトカプラ絶縁</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャンネル間</td><td colspan="2">非絶縁</td><td colspan="5">非絶縁</td></tr>
<tr><td colspan="3">占有点数</td><td colspan="2">32点</td><td colspan="5">16点</td></tr>
<tr><td colspan="3">外部接続方式</td><td colspan="2">38点端子台</td><td colspan="5">18点端子台</td></tr>
<tr><td colspan="3">消費電流</td><td colspan="2">ハードウェアバージョンK以降:0.39A
ハードウェアバージョンJ以前:0.9A</td><td colspan="5">0.64A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">アナログ入力レンジ</th><th colspan="3">通常分解能モード</th><th colspan="3">高分解能モード</th></tr>
<tr><th>周囲温度0〜55℃
温度ドリフト補正あり</th><th>周囲温度0〜55℃
温度ドリフト補正なし</th><th>周囲温度
25±5℃</th><th>周囲温度0〜55℃
温度ドリフト補正あり</th><th>周囲温度0〜55℃
温度ドリフト補正なし</th><th>周囲温度
25±5℃</th></tr>
<tr><td rowspan="6">電圧</td><td>0〜10V</td><td rowspan="6">±0.3%以内
(±12digit)</td><td rowspan="6">±0.4%以内
(±16digit)</td><td rowspan="6">±0.1%以内
(±4digit)</td><td>±0.3%以内
(±48digit)</td><td>±0.4%以内
(±64digit)</td><td>±0.1%以内
(±16digit)</td></tr>
<tr><td>−10〜10V</td><td rowspan="5">±0.3%以内
(±36digit)</td><td rowspan="5">±0.4%以内
(±48digit)</td><td rowspan="5">±0.1%以内
(±12digit)</td></tr>
<tr><td>0〜5V</td></tr>
<tr><td>1〜5V</td></tr>
<tr><td>ユーザレンジ設定</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電流</td></tr>
<tr><td>0〜20mA</td></tr>
<tr><td>4〜20mA</td></tr>
<tr><td>ユーザレンジ設定</td><td colspan="6">−4000〜4000</td></tr>
</table>

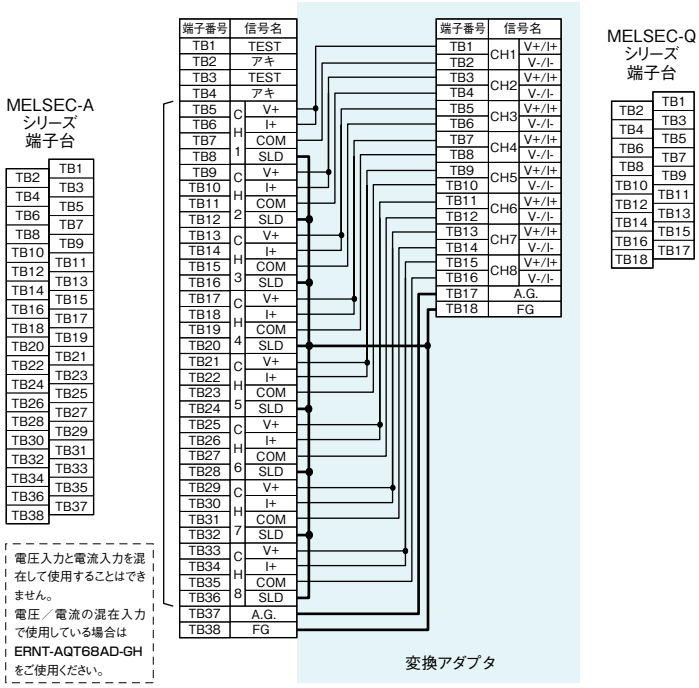
●プログラム上の注意

(1)A68AD/A68AD-S2とQ68ADV/Q68ADIでは、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

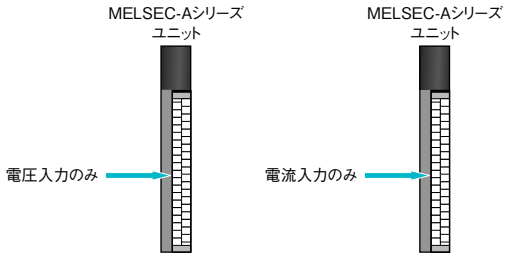
(2)A68AD、A68AD-S2に対してQ68ADV/Q68ADIは変換速度が速くなっています。このため、A68AD、A68AD-S2では取込まなかったノイズをQ68ADV/Q68ADIではアナログ信号として取込む可能性があります。このような場合は、平均処理機能を使用しノイズの影響を除去してください。

(2)ERNT-AQT68ADN　端子台(38p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-AQT68ADN	A68ADN(電圧入力)	8チャンネル	Q68ADV
	A68ADN(電流入力)		Q68ADI



(注)1.電圧入力のみまたは電流入力のみでご使用されている場合にERNT-AQT68ADNをご使用ください。



Q68ADV/Q68ADIのアナログ入力は、1ユニットで電圧入力と電流入力の混在使用ができません。電圧／電流の混在入力で使用されている場合は、ERNT-AQT68AD-GHをご使用ください。

2.Q68ADV/A68ADIにオフセット・ゲイン設定用端子はありません。オフセット・ゲイン設定については、Q68ADV/A68ADIのユーザーズマニュアルを参照してください。

3.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。また、三菱電機株式会社が発行している「L(名)08045:MELSEC-A/QnA(大形)シリーズからQシリーズへの置換えの手引き(インテリジェント機能ユニット編)」を参照されることをお勧めいたします。
なお、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-Aシリーズ A68ADN	MELSEC-Qシリーズ Q68ADV	MELSEC-Qシリーズ Q68ADI
アナログ入力	電圧	DC−10〜0〜10V(入力抵抗:1MΩ)	DC−10〜10V(入力抵抗1MΩ)	−
	電流	−20mA〜0〜20mA(入力抵抗250Ω)	−	DC0〜20mA(入力抵抗250Ω)
ディジタル出力		16ビット符号付バイナリ 1/4000 設定時 −4096〜4095 1/8000 設定時 −8192〜8191 1/12000 設定時 −12288〜12287	16ビット符号付バイナリ (通常分解能モード:−4096〜4095、高分解能モード:−12288〜12287、−16384〜16383)	

入出力特性

アナログ入力	ディジタル出力値(ゲイン5V/20mA、オフセット0V/0mAの場合) 1/4000設定時	1/8000設定時	1/12000設定時
10V	4000	8000	12000
5Vまたは20mA	2000	4000	6000
0Vまたは0mA	0	0	0
−5Vまたは−20mA	−2000	−4000	−6000
−10V	−4000	−8000	−12000

アナログ入力レンジ		通常分解能モード ディジタル出力値	通常分解能モード 最大分解能	高分解能モード ディジタル出力値	高分解能モード 最大分解能
電圧	0〜10V	0〜4000	2.5mV	0〜16000	0.625mV
	0〜5V		1.25mV	0〜12000	0.416mV
	1〜5V		1.0mV		0.333mV
	−10〜10V	−4000〜4000	2.5mV	−16000〜16000	0.625mV
	ユーザレンジ設定		0.375mV	−12000〜12000	0.333mV
電流	0〜20mA	0〜4000	5μA	0〜12000	1.66μA
	4〜20mA		4μA		1.33μA
	ユーザレンジ設定	−4000〜4000	1.37μA	−12000〜12000	1.33μA

最大分解能

	1/4000設定時	1/8000設定時	1/12000設定時
電圧入力	2.5mV	1.25mV	0.83mV
電流入力	10μA	5μA	3.33μA

総合精度

±1.0%(1/4000:±40、1/8000:±80、1/12000:±120)

アナログ入力レンジ		通常分解能モード 周囲温度0〜55℃ 温度ドリフト補正あり	通常分解能モード 周囲温度0〜55℃ 温度ドリフト補正なし	通常分解能モード 周囲温度25±5℃	高分解能モード 周囲温度0〜55℃ 温度ドリフト補正あり	高分解能モード 周囲温度0〜55℃ 温度ドリフト補正なし	高分解能モード 周囲温度25±5℃
電圧	0〜10V	±0.3%以内(±12digit)	±0.4%以内(±16digit)	±0.1%以内(±4digit)	±0.3%以内(±48digit)	±0.4%以内(±64digit)	±0.1%以内(±16digit)
	−10〜10V						
	0〜5V				±0.3%以内(±36digit)	±0.4%以内(±48digit)	±0.1%以内(±12digit)
	1〜5V						
	ユーザレンジ設定						
電流	0〜20mA						
	4〜20mA						
	ユーザレンジ設定						

最大変換速度		20ms/チャンネル	80μs/チャンネル(温度ドリフト補正ありのとき、使用チャンネル数にかかわらず160μs加算)
絶対最大入力	電圧	±15V	±15V
	電流	±30mA	±30mA
アナログ入力点数		8チャンネル/ユニット	8チャンネル/ユニット
絶縁方式	入力端子とシーケンサ電源間	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
	チャンネル間	非絶縁	非絶縁
占有点数		32点	16点
外部接続方式		38点端子台	18点端子台
消費電流		0.4A	0.64A

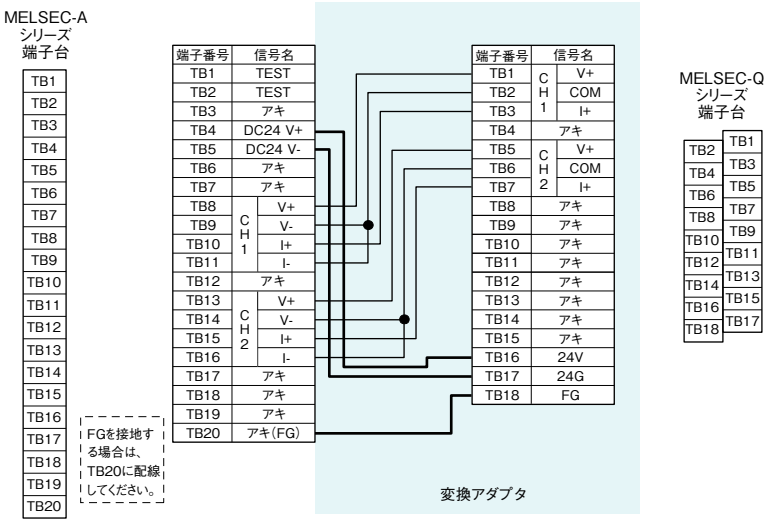
●プログラム上の注意

(1)A68ADNとQ68ADV/Q68ADIでは、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

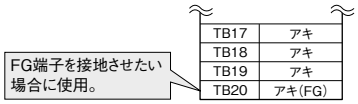
(2)A68ADNに対してQ68ADV/Q68ADIは変換速度が速くなっています。このため、A68ADNでは取込まなかったノイズをQ68ADV/Q68ADIではアナログ信号として取込む可能性があります。このような場合は、平均処理機能を使用しノイズの影響を除去してください。

(3)ERNT-AQT62DA　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-AQT62DA	A62DA A62DA-S1	2チャンネル	Q62DAN



(注)1.Q62DAN側のFG端子(TB18)を接地させたい場合は、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB20を使用し接地してください。



2.Q62DANにオフセット・ゲイン設定用端子はありません。オフセット・ゲイン設定については、Q62DANのユーザーズマニュアルを参照してください。

3.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。また、三菱電機株式会社が発行している「L(名)08045:MELSEC-A/QnA(大形)シリーズからQシリーズへの置換えの手引き(インテリジェント機能ユニット編)」を参照されることをお勧めいたします。
なお、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-Aシリーズ A62DA	MELSEC-Aシリーズ A62DA-S1	MELSEC-Qシリーズ Q62DAN
ディジタル入力		16 ビット符号付バイナリ (電圧:−2000〜2000、 電流:−1000〜1000)	16 ビット符号付バイナリ (0〜4000)	16 ビット符号付バイナリ (通常分解能モード:−4096〜4095、 高分解能モード:−12288〜12287、−16384〜16383)
アナログ出力	電圧	DC−10〜0〜10V (外部負荷抵抗値500Ω〜1MΩ)	DC0〜10V (外部負荷抵抗値500Ω〜1MΩ)	DC−10〜10V (外部負荷抵抗値1kΩ〜1MΩ)
	電流	DC4〜20mA (外部負荷抵抗値0Ω〜600Ω)	DC4〜20mA (外部負荷抵抗値0Ω〜600Ω)	DC0〜20mA (外部負荷抵抗値0Ω〜600Ω)

入出力特性

ディジタル入力	アナログ出力 電圧	アナログ出力 電流
2000	10V	−
1000	5V	20mA
0	0V	4mA
−1000	−5V	−12mA
−2000	−10V	−

出力範囲	ディジタル入力	アナログ出力
0〜10V	4000	10V
	0	0V
0〜5V	4000	5Vまたは20mA
0〜20mA	0	0Vまたは0mA
1〜5V	4000	5Vまたは20mA
4〜20mA	0	1Vまたは4mA

アナログ出力レンジ		通常分解能モード ディジタル入力値	通常分解能モード 最大分解能	高分解能モード ディジタル入力値	高分解能モード 最大分解能
電圧	0〜5V	0〜4000	1.25mV	0〜12000	0.416mV
	1〜5V		1.0mV		0.333mV
	−10〜10V	−4000〜4000	2.5mV	−16000〜16000	0.625mV
	ユーザレンジ設定		0.75mV	−12000〜12000	0.333mV
電流	0〜20mA	0〜4000	5μA	0〜12000	1.66μA
	4〜20mA		4μA		1.33μA
	ユーザレンジ設定	−4000〜4000	1.5μA	−12000〜12000	0.83μA

最大分解能	電圧:5mV(1/2000) 電流:20μA(1/1000)
	電圧 1〜5V :1mV(1/4000) 0〜5V :1.25mV(1/4000) 0〜10V :2.5mV(1/4000) 電流 4〜20mA:4μA(1/4000) 0〜20mA:5μA(1/4000)

総合精度

温度範囲＼出力範囲	1〜5V	0〜5V	0〜10V	4〜20mA	0〜20mA
25℃ (±0.5%以内)	±25 mV	±25 mV	±50 mV	±0.1 mA	±0.1 mA
0〜55℃ (±1%以内)	±50 mV	±50 mV	±100 mV	±0.2 mA	±0.2 mA

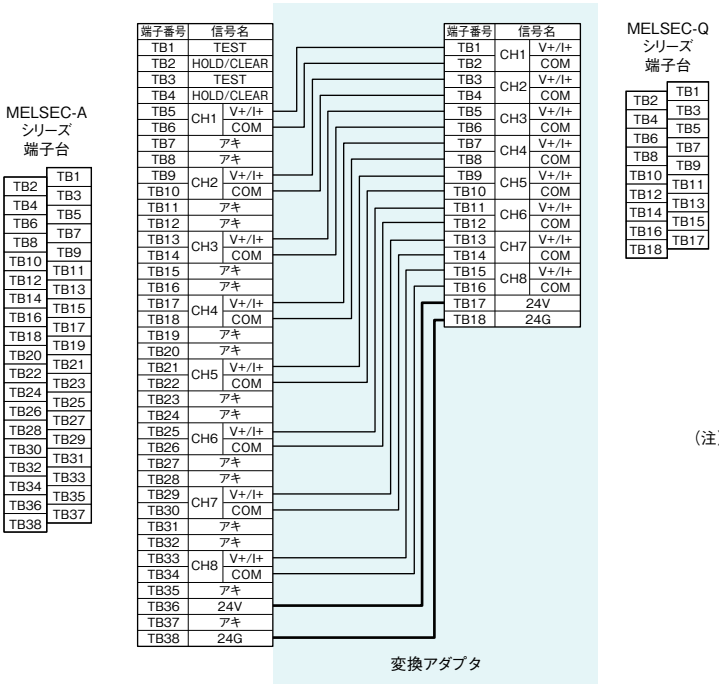
総合精度	±1.0%(電圧:±0.1V 電流:±0.2mA)	周囲温度25±5℃:±0.1%以内 (電圧:±10mV、電流:±20μA) 周囲温度0〜55℃:±0.3%以内 (電圧:±30mV、電流:±60μA)

最大変換速度		15ms以内/2チャンネル (1チャンネルも同一時間)	15ms以内/2チャンネル (1チャンネルも同一時間)	80μs/チャンネル
絶対最大出力	電圧	±12V	0〜12V	±12V
	電流	±28mA	0〜28mA	21mA
アナログ出力点数		2チャンネル/ユニット	2チャンネル/ユニット	2チャンネル/ユニット
絶縁方式	出力端子とシーケンサ電源間	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
	チャンネル間	非絶縁	非絶縁	非絶縁
	外部供給電源とアナログ出力間	−	−	トランス絶縁
占有点数		32点	32点	16点
外部接続方式		20点端子台	20点端子台	18点端子台
消費電流		0.60A	0.60A	0.33A
外部供給電源	電圧	DC21.6〜26.4V	DC21.6〜26.4V	DC24V +20%、−15%
	電流	0.35A	0.35A	0.15A

●プログラム上の注意
A62DA/A62DA-S1とQ62DANでは、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

(4)ERNT-AQT68DA　端子台(38p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-AQT68DA	A68DAV	8チャンネル	Q68DAVN
	A68DAI		Q68DAIN
	A68DAI-S1		



(注)1.Q68DAVN/Q68DAINにFGを接地させたい場合は、Q68DAVN/Q68DAINのFG端子から接地してください。
2.Q68DAVN/Q68DAINにオフセット・ゲイン設定用端子およびアナログ出力ホールド／クリア設定用端子はありません。アナログ出力ホールド／クリア設定は、Q68DAVN/Q68DAINのインテリジェント機能ユニットスイッチ設定で行う必要があります。
オフセット・ゲイン設定およびアナログ出力ホールド／クリア設定については、Q68DAVN/Q68DAINのユーザーズマニュアルを参照してください。
3.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。また、三菱電機株式会社が発行している「L(名)08045:MELSEC-A/QnA(大形)シリーズからQシリーズへの置換えの手引き(インテリジェント機能ユニット編)」を参照されることをお勧めいたします。
なお、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

〈仕様比較表〉

<table>
<tr><th colspan="3">形名 / 仕様</th><th colspan="5">MELSEC-Aシリーズ
A68DAV</th><th colspan="6">MELSEC-Qシリーズ
Q68DAVN</th></tr>
<tr><td colspan="3">ディジタル入力</td><td colspan="5">16ビット符号付バイナリ
(−4000〜4000、−8000〜8000、−12000〜12000)</td><td colspan="6">16ビット符号付バイナリ
(通常分解能モード:−4096〜4095、
高分解能モード:−12288〜12287、−16384〜16383)</td></tr>
<tr><td colspan="3">アナログ出力</td><td colspan="5">DC−10〜0〜10V(外部負荷抵抗値2kΩ〜1MΩ)</td><td colspan="6">DC−10〜10V(外部負荷抵抗値1kΩ〜1MΩ)</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="7">入出力特性</td><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">ディジタル値の分解能</td><td rowspan="2">アナログ
出力値</td><td colspan="2" rowspan="2">アナログ
出力レンジ</td><td colspan="2">通常分解能モード</td><td colspan="2">高分解能モード</td></tr>
<tr><td>1/4000</td><td>1/8000</td><td>1/12000</td><td>ディジタル
入力値</td><td>最大分解能</td><td>ディジタル
入力値</td><td>最大分解能</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ディジタル
入力値</td><td>4000</td><td>8000</td><td>12000</td><td>10V</td><td rowspan="4">電圧</td><td>0〜5V</td><td rowspan="2">0〜4000</td><td>1.25mV</td><td rowspan="2">0〜12000</td><td>0.416mV</td></tr>
<tr><td>2000</td><td>4000</td><td>6000</td><td>5V</td><td>1〜5V</td><td>1.0mV</td><td>0.333mV</td></tr>
<tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0V</td><td>−10〜10V</td><td rowspan="2">−4000〜4000</td><td>2.5mV</td><td>−16000〜16000</td><td>0.625mV</td></tr>
<tr><td>−2000</td><td>−4000</td><td>−6000</td><td>−5V</td><td>ユーザレンジ
設定</td><td>0.75mV</td><td>−12000〜12000</td><td>0.333mV</td></tr>
<tr><td>−4000</td><td>−8000</td><td>−12000</td><td>−10V</td></tr>
<tr><td colspan="5">オフセット値0V、ゲイン値10V設定の場合</td></tr>
<tr><td colspan="3">最大分解能</td><td colspan="5">2.5mV(1/4000)
1.25mV(1/8000)
0.83mV(1/12000)</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td colspan="3">総合精度</td><td colspan="5">±1.0%(±100mV)</td><td colspan="6">周囲温度25±5 ℃:±0.1%以内
(電圧:±10mV)
周囲温度0〜55 ℃:±0.3%以内
(電圧:±30mV)</td></tr>
<tr><td colspan="3">最大変換速度</td><td colspan="5">40ms以内/8チャンネル
(1チャンネルも同一時間)</td><td colspan="6">80μs/チャンネル</td></tr>
<tr><td colspan="2">絶対最大出力</td><td>電圧</td><td colspan="5">−12〜12V</td><td colspan="6">±12V</td></tr>
<tr><td colspan="3">アナログ出力点数</td><td colspan="5">8チャンネル/ユニット</td><td colspan="6">8チャンネル/ユニット</td></tr>
<tr><td rowspan="3">絶縁
方式</td><td colspan="2">出力端子とシーケンサ電源間</td><td colspan="5">フォトカプラ絶縁</td><td colspan="6">フォトカプラ絶縁</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャンネル間</td><td colspan="5">非絶縁</td><td colspan="6">非絶縁</td></tr>
<tr><td colspan="2">外部供給電源とアナログ出力間</td><td colspan="5">−</td><td colspan="6">トランス絶縁</td></tr>
<tr><td colspan="3">占有点数</td><td colspan="5">32点</td><td colspan="6">16点</td></tr>
<tr><td colspan="3">外部接続方式</td><td colspan="5">38点端子台</td><td colspan="6">18点端子台</td></tr>
<tr><td colspan="3">消費電流</td><td colspan="5">0.15A</td><td colspan="6">0.38A</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外部供給電源</td><td colspan="2">電圧</td><td colspan="5">DC21.6〜26.4V</td><td colspan="6">DC24V +20%、−15%</td></tr>
<tr><td colspan="2">電流</td><td colspan="5">0.2A</td><td colspan="6">0.2A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>形名
仕様</th><th colspan="6">MELSEC-Aシリーズ</th><th colspan="6">MELSEC-Qシリーズ</th></tr>
<tr><th colspan="6">A68DAI(-S1)</th><th colspan="6">Q68DAIN</th></tr>
<tr><td>ディジタル入力</td><td colspan="6">16ビット符号付バイナリ
(0～4000、0～8000、0～12000)</td><td colspan="6">16ビット符号付バイナリ
(通常分解能モード:−4096～4095、
高分解能モード:−12288～12287、−16384～16383)</td></tr>
<tr><td>アナログ出力</td><td colspan="6">DC0～20mA(外部負荷抵抗値0Ω～600Ω)</td><td colspan="6">DC0～20mA(外部負荷抵抗値0Ω～600Ω)</td></tr>
<tr><td rowspan="5">入出力特性</td><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">ディジタル値の分解能</td><td rowspan="2">アナログ
出力値</td><td colspan="2" rowspan="2">アナログ
出力レンジ</td><td colspan="2">通常分解能モード</td><td colspan="2">高分解能モード</td></tr>
<tr><td>1/4000</td><td>1/8000</td><td>1/12000</td><td>ディジタル入力値</td><td>最大分解能</td><td>ディジタル入力値</td><td>最大分解能</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ディジタル
入力値</td><td>4000</td><td>8000</td><td>12000</td><td>20mA</td><td rowspan="3">電流</td><td>0～20mA</td><td rowspan="2">0～4000</td><td>5μA</td><td>0～12000</td><td>1.66μA</td></tr>
<tr><td>2000</td><td>4000</td><td>6000</td><td>12mA</td><td>4～20mA</td><td>4μA</td><td rowspan="2">−12000～12000</td><td>1.33μA</td></tr>
<tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>4mA</td><td>ユーザレンジ
設定</td><td>−4000～4000</td><td>1.5μA</td><td>0.83μA</td></tr>
<tr><td colspan="6">オフセット値4mA、ゲイン値20mA設定の場合</td></tr>
<tr><td>最大分解能</td><td colspan="6">5.0μA(1/4000)
2.5μA(1/8000)
1.6μA(1/12000)</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>総合精度</td><td colspan="6">±1.0%(±200μA)</td><td colspan="6">周囲温度25±5℃:±0.1%以内
(電流:±20μA)
周囲温度0～55℃:±0.3%以内
(電流:±60μA)</td></tr>
<tr><td>最大変換速度</td><td colspan="6">40ms以内/8チャンネル
(1チャンネルも同一時間)</td><td colspan="6">80μs/チャンネル</td></tr>
<tr><td colspan="2">絶対最大出力</td><td>電流</td><td colspan="5">0～28mA</td><td colspan="6">21mA</td></tr>
<tr><td colspan="2">アナログ出力点数</td><td colspan="5">8チャンネル/ユニット</td><td colspan="6">8チャンネル/ユニット</td></tr>
<tr><td rowspan="3">絶縁
方式</td><td colspan="2">出力端子とシーケンサ電源間</td><td colspan="5">フォトカプラ絶縁</td><td colspan="6">フォトカプラ絶縁</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャンネル間</td><td colspan="5">非絶縁</td><td colspan="6">非絶縁</td></tr>
<tr><td colspan="2">外部供給電源とアナログ出力間</td><td colspan="5">−</td><td colspan="6">トランス絶縁</td></tr>
<tr><td colspan="3">占有点数</td><td colspan="5">32点</td><td colspan="6">16点</td></tr>
<tr><td colspan="3">外部接続方式</td><td colspan="5">38点端子台</td><td colspan="6">18点端子台</td></tr>
<tr><td colspan="3">消費電流</td><td colspan="5">0.15A</td><td colspan="6">0.38A</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外部供給電源</td><td>電圧</td><td colspan="5">DC21.6～26.4V</td><td colspan="6">DC24V +20%、−15%</td></tr>
<tr><td>電流</td><td colspan="5">0.4A</td><td colspan="6">0.27A</td></tr>
</table>

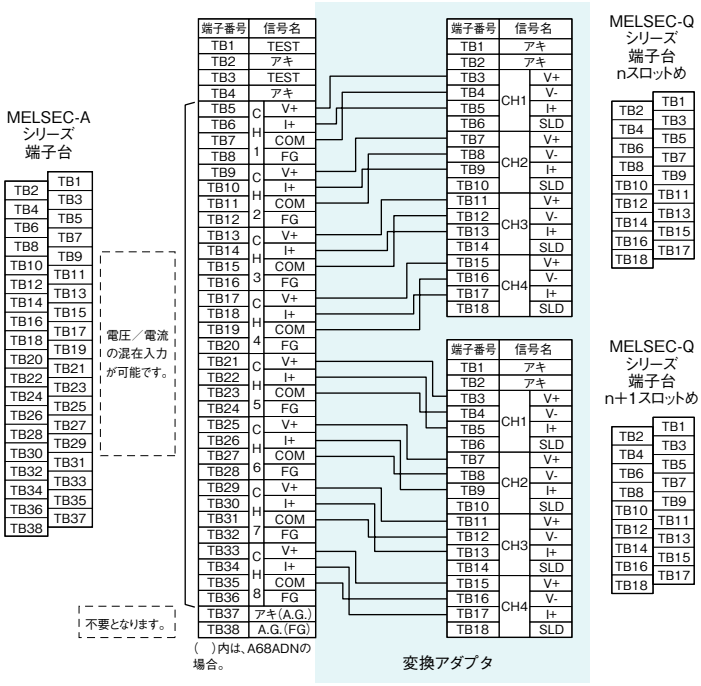
●プログラム上の注意

A68DAV/A68DAI/A68DAI-S1とQ68DAVN/Q68DAINでは、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

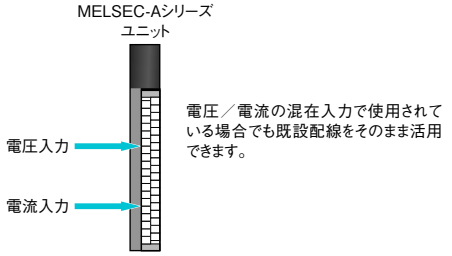
2スロットタイプ（三菱電機株式会社製 Qラージベースユニットには使用できません。）

(1)ERNT-AQT68AD-GH　端子台(38p)→端子台(18p)×2

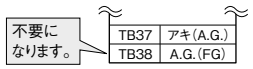
変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-AQT68AD-GH	A68AD(電圧／電流混在入力) A68AD-S2(電圧／電流混在入力) A68ADN(電圧／電流混在入力)	8チャンネル	Q64AD-GH	2台



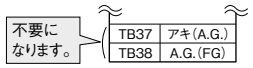
(注)1.アナログ入力は、電圧／電流の混在入力が可能です。



2.A68AD、A68AD-S2→Q64AD-GH　2台に置換える場合は、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB38に接続されていたA.G.は不要となります。



3.A68ADN→Q64AD-GH　2台に置換える場合は、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB37に接続されていたA.G.と端子番号TB38に接続されていたFGは不要となります。



4.Q64AD-GHにオフセット・ゲイン設定用端子はありません。オフセット・ゲイン設定については、Q64AD-GHのユーザーズマニュアルを参照してください。

5.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。また、三菱電機株式会社が発行している「L(名)08045:MELSEC-A/QnA(大形)シリーズからQシリーズへの置換えの手引き(インテリジェント機能ユニット編)」を参照されることをお勧めいたします。
なお、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-Aシリーズ	MELSEC-Qシリーズ
		A68AD、A68AD-S2	Q64AD-GH
アナログ入力	電圧	DC−10〜0〜10V (入力抵抗ハードウェアバージョンK以降:1MΩ、ハードウェアバージョンJ以前:30kΩ)	DC−10〜10V(入力抵抗1MΩ)
	電流	4〜20mA(入力抵抗250Ω)	DC0〜20mA(入力抵抗250Ω)
ディジタル出力		ACPU:16ビット符号付バイナリ(−2048〜+2047) K2ACPU:符号+16ビットバイナリ(±2047)	16ビット符号付バイナリ(−32768〜32767) 32ビット符号付バイナリ(−65536〜65535)

入出力特性

アナログ入力	ディジタル出力
+10V	+2000
+5V または+20mA	+1000
0V または+4mA	±0
−5V または−12mA	−1000
−10V	−2000

アナログ入力レンジ		最大分解能 32ビット	最大分解能 16ビット	ディジタル出力値(32ビット)	ディジタル出力値(16ビット)
電圧	0〜10V	156.3μV	312.6μV	0〜64000	0〜32000
	0〜5V	78.2μV	156.4μV		
	1〜5V	62.5μV	125.0μV		
	1〜5V(拡張モード)	62.5μV	−	−16000〜72000	−
	ユーザレンジ設定(ユニポーラ)	47.4μV	94.8μV	0〜64000	0〜32000
	−10〜10V	156.3μV	312.6μV	−64000〜64000	−32000〜32000
	ユーザレンジ設定(バイポーラ)	47.4μV	94.8μV		
電流	0〜20mA	312.5nA	625.0nA	0〜64000	0〜32000
	4〜20mA	250.0nA	500.0nA		
	4〜20mA(拡張モード)	250.0nA	−	−16000〜72000	−
	ユーザレンジ設定(ユニポーラ)	151.6nA	303.2nA	0〜64000	0〜32000

最大分解能		電圧　5mV(1/2000) 電流 20μA(1/1000)	
総合精度		±1.0%(±20)	基準精度:±0.05% ディジタル出力値(32 ビット):±32digit ディジタル出力値(16 ビット):±16digit 温度係数:±71.4ppm/℃(0.00714%/℃)
最大変換速度		2.5ms/チャンネル	10ms/4 チャンネル
絶対最大入力	電圧	±15V	±15V
	電流	±30mA	±30mA
アナログ入力点数		8チャンネル/ユニット	4チャンネル/ユニット
絶縁方式	入力端子とシーケンサ電源間	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
	チャンネル間	非絶縁	トランス絶縁
占有点数		32点	16点
外部接続方式		38点端子台	18点端子台
消費電流		ハードウェアバージョンK以降:0.39A ハードウェアバージョンJ以前:0.9A	0.89A

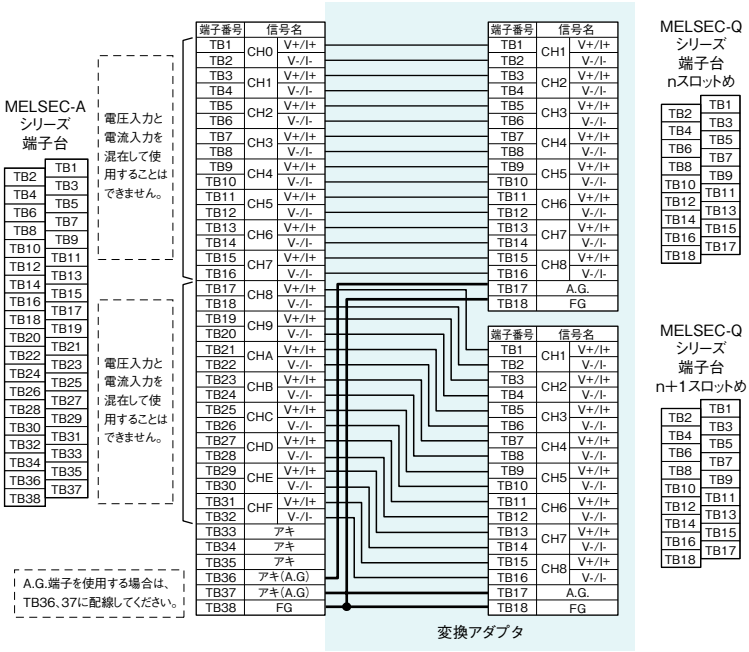
<table>
<tr><td colspan="3">形名
仕様</td><td colspan="5">MELSEC-Aシリーズ
A68ADN</td><td colspan="5">MELSEC-Qシリーズ
Q64AD-GH</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">アナログ入力</td><td>電圧</td><td colspan="5">DC−10〜0〜10V（入力抵抗:1MΩ）</td><td colspan="5">DC−10〜10V（入力抵抗1MΩ）</td></tr>
<tr><td>電流</td><td colspan="5">−20mA〜0〜20mA（入力抵抗250Ω）</td><td colspan="5">DC0〜20mA（入力抵抗250Ω）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ディジタル出力</td><td colspan="5">16ビット符号付バイナリ
1/4000　設定時　−4096〜4095
1/8000　設定時　−8192〜8191
1/12000　設定時　−12288〜12287</td><td colspan="5">16ビット符号付バイナリ（−32768〜32767）
32ビット符号付バイナリ（−65536〜65535）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="9">入出力特性</td><td colspan="2" rowspan="2">アナログ入力</td><td colspan="3">ディジタル出力値
（ゲイン5V/20mA、オフセット0V/0mAの場合）</td><td colspan="2" rowspan="2">アナログ入力レンジ</td><td colspan="2">最大分解能</td><td rowspan="2">ディジタル出力値
（32ビット）</td><td rowspan="2">ディジタル出力値
（16ビット）</td></tr>
<tr><td>1/4000設定時</td><td>1/8000設定時</td><td>1/12000設定時</td><td>32ビット</td><td>16ビット</td></tr>
<tr><td colspan="2">10V</td><td>4000</td><td>8000</td><td>12000</td><td rowspan="6">電圧</td><td>0〜10V</td><td>156.3μV</td><td>312.6μV</td><td rowspan="3">0〜64000</td><td rowspan="3">0〜32000</td></tr>
<tr><td colspan="2">5Vまたは20mA</td><td>2000</td><td>4000</td><td>6000</td><td>0〜5V</td><td>78.2μV</td><td>156.4μV</td></tr>
<tr><td colspan="2">0Vまたは0mA</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1〜5V</td><td>62.5μV</td><td>125.0μV</td></tr>
<tr><td colspan="2">−5Vまたは-20mA</td><td>−2000</td><td>−4000</td><td>−6000</td><td>1〜5V（拡張モード）</td><td>62.5μV</td><td>−</td><td>−16000〜72000</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">−10V</td><td>−4000</td><td>−8000</td><td>−12000</td><td>ユーザレンジ設定（ユニポーラ）</td><td>47.4μV</td><td>94.8μV</td><td>0〜64000</td><td>0〜32000</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="3"></td><td>−10〜10V</td><td>156.3μV</td><td>312.6μV</td><td rowspan="2">−64000〜64000</td><td rowspan="2">−32000〜32000</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">最大分解能</td><td></td><td>1/4000設定時</td><td>1/8000設定時</td><td>1/12000設定時</td><td>ユーザレンジ設定（バイポーラ）</td><td>47.4μV</td><td>94.8μV</td></tr>
<tr><td colspan="2">電圧入力</td><td>2.5mV</td><td>1.25mV</td><td>0.83mV</td><td rowspan="4">電流</td><td>0〜20mA</td><td>312.5nA</td><td>625.0nA</td><td>0〜64000</td><td>0〜32000</td></tr>
<tr><td colspan="2">電流入力</td><td>10μA</td><td>5μA</td><td>3.33μA</td><td>4〜20mA</td><td>250.0nA</td><td>500.0nA</td><td>0〜64000</td><td>0〜32000</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td>4〜20mA（拡張モード）</td><td>250.0nA</td><td>−</td><td>−16000〜72000</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td>ユーザレンジ設定（ユニポーラ）</td><td>151.6nA</td><td>303.2nA</td><td>0〜64000</td><td>0〜32000</td></tr>
<tr><td colspan="3">総合精度</td><td colspan="5">±1.0%以内</td><td colspan="5">基準精度:±0.05%
ディジタル出力値（32 ビット）:±32digit
ディジタル出力値（16 ビット）:±16digit
温度係数:±71.4ppm／℃（0.00714%／℃）</td></tr>
<tr><td colspan="3">最大変換速度</td><td colspan="5">20ms/チャンネル</td><td colspan="5">10ms/4チャンネル</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">絶対最大出力</td><td>電圧</td><td colspan="5">±15V</td><td colspan="5">±15V</td></tr>
<tr><td>電流</td><td colspan="5">±30mA</td><td colspan="5">±30mA</td></tr>
<tr><td colspan="3">アナログ入力点数</td><td colspan="5">8チャンネル/ユニット</td><td colspan="5">4チャンネル/ユニット</td></tr>
<tr><td>絶縁方式</td><td>入力端子とシーケンサ電源間</td><td></td><td colspan="5">フォトカプラ絶縁</td><td colspan="5">フォトカプラ絶縁</td></tr>
<tr><td></td><td>チャンネル間</td><td></td><td colspan="5">非絶縁</td><td colspan="5">トランス絶縁</td></tr>
<tr><td colspan="3">占有点数</td><td colspan="5">32点</td><td colspan="5">16点</td></tr>
<tr><td colspan="3">外部接続方式</td><td colspan="5">38点端子台</td><td colspan="5">18点端子台</td></tr>
<tr><td colspan="3">消費電流</td><td colspan="5">0.4A</td><td colspan="5">0.89A</td></tr>
</table>

●プログラム上の注意

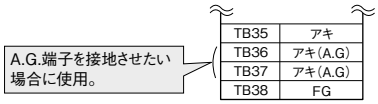
A68AD/A68AD-S2/A68ADNとQ64AD-GHでは、入出力信号（X、Y）およびバッファメモリの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

(2)ERNT-AQT616AD　端子台(38p)→端子台(18p)×2

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-AQT616AD	A616AD(電圧入力)	16チャンネル	Q68ADV	2台
	A616AD(電流入力)		Q68ADI	



(注)1.MELSEC-Qシリーズ側のA.G端子(TB17)を接地させたい場合は、MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB36、TB37を使用し接地してください。



2.Q68ADV/Q68ADIのアナログ入力は、1ユニットで電圧／電流の混在入力ができません。MELSEC-Aシリーズ側のCH0～7とCH8～Fを電圧／電流の混在入力で使用している場合は、本製品を使用することができません。ただし、8CH毎に電圧入力と電流入力を統一していれば、Q68ADVとQ68ADIを混在した置換えが可能です。

3.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。また、三菱電機株式会社が発行している「L(名)08045:MELSEC-A/QnA(大形)シリーズからQシリーズへの置換えの手引き(インテリジェント機能ユニット編)」を参照されることをお勧めいたします。
なお、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

〈入力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-Aシリーズ	MELSEC-Qシリーズ	
		A616AD	Q68ADV	Q68ADI
アナログ入力	電圧	DC−10～0～10V(入力抵抗:1MΩ)	DC−10～10V(入力抵抗1MΩ)	−
	電流	−20mA～0～20mA(入力抵抗250Ω)	−	DC0～20mA(入力抵抗250Ω)
ディジタル出力		16ビット(データ部12ビット)符号付バイナリ (−48～4047、−2048～2047) チャンネル毎に設定可	16ビット符号付バイナリ (通常分解能モード:−4096～4095、高分解能モード:−12288～12287、−16384～16383)	

入出力特性 最大分解能

入力	アナログ入力範囲	最大分解能	ディジタル出力値
電圧(V)	0～10	2.5mV(1/4000)	0～4000 −2000～2000
	0～5	1.25mV(1/4000)	
	1～5	1.0mV(1/4000)	
	−10～10	5.0mV(1/4000)	
	−5～5	2.5mV(1/4000)	
電流(mA)	0～20	10μA(1/2000)	0～2000 −2000～0
	0～20	5μA(1/4000)	0～4000
	4～20	4μA(1/4000)	−2000～2000
	−20～20	20μA(1/2000)	1000～3000 −1000～1000
	−20～20	10μA(1/4000)	0～4000 −2000～2000

アナログ入力レンジ		通常分解能モード ディジタル出力値	通常分解能モード 最大分解能	高分解能モード ディジタル出力値	高分解能モード 最大分解能
電圧	0～10V	0～4000	2.5mV	0～16000	0.625mV
	0～5V		1.25mV	0～12000	0.416mV
	1～5V		1.0mV		0.333mV
	−10～10V	−4000～4000	2.5mV	−16000～16000	0.625mV
	ユーザレンジ設定		0.375mV	−12000～12000	0.333mV
電流	0～20mA	0～4000	5μA	0～12000	1.66μA
	4～20mA		4μA		1.33μA
	ユーザレンジ設定	−4000～4000	1.37μA	−12000～12000	1.33μA

総合精度

		アナログ入力レンジ	通常分解能モード 周囲温度0～55℃ 温度ドリフト補正あり	通常分解能モード 周囲温度0～55℃ 温度ドリフト補正なし	通常分解能モード 周囲温度25±5℃	高分解能モード 周囲温度0～55℃ 温度ドリフト補正あり	高分解能モード 周囲温度0～55℃ 温度ドリフト補正なし	高分解能モード 周囲温度25±5℃
0～10V −10～10V −5V～5V −20mA～20mA	±0.3% (ディジタル出力値±12)	電圧 0～10V	±0.3%以内 (±12digit)	±0.4%以内 (±16digit)	±0.1%以内 (±4digit)	±0.3%以内 (±48digit)	±0.4%以内 (±64digit)	±0.1%以内 (±16digit)
		電圧 −10～10V						
		電圧 0～5V						
		電圧 1～5V						
		電圧 ユーザレンジ設定						
0～5V 1～5V 0～20mA 4mA～20mA	±0.6% (ディジタル出力値±24)	電流 0～20mA	±0.3%以内 (±36digit)	±0.4%以内 (±48digit)	±0.1%以内 (±12digit)			
		電流 4～20mA						
		電流 ユーザレンジ設定						

最大変換速度		1ms/チャンネル	80μs/チャンネル (温度ドリフト補正ありのとき、使用チャンネル数にかかわらず160μs加算)
絶対最大入力	電圧	±15V	±15V
	電流	±30mA	±30mA
アナログ入力点数		16チャンネル/ユニット	8チャンネル/ユニット
絶縁方式	入力端子とシーケンサ電源間	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
	チャンネル間	非絶縁	非絶縁
占有点数		32点	16点
外部接続方式		38点端子台	18点端子台
消費電流		1A	0.64A

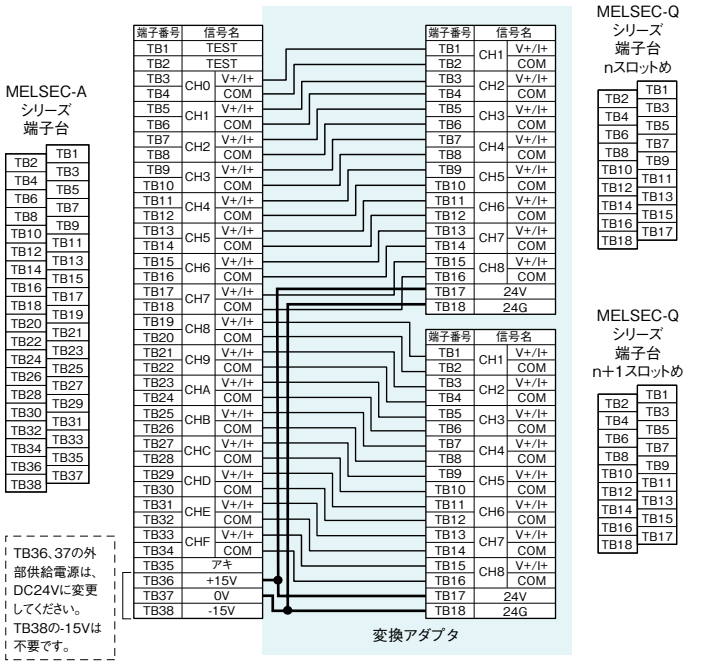
●プログラム上の注意

(1)A616ADとQ68ADV/Q68ADIでは、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

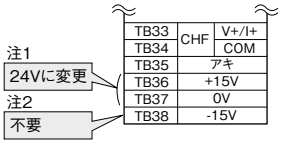
(2)A616ADに対してQ68ADV/Q68ADIは変換速度が速くなっています。このため、A616ADでは取込まなかったノイズをQ68ADV/Q68ADIではアナログ信号として取込む可能性があります。このような場合は、平均処理機能を使用しノイズの影響を除去してください。

(3)ERNT-AQT616DA　端子台(38p)→端子台(18p)×2

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-AQT616DA	A616DAV	16チャンネル	Q68DAVN	2台
	A616DAI		Q68DAIN	



(注)1.MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB36、TB37に接続されていた外部供給電源は、DC24Vに変更してください。
2.MELSEC-Aシリーズ側の端子番号TB38に接続されていた-15Vは不要となります。
3.Q68DAVN/Q68DAINにオフセット・ゲイン設定用端子はありません。オフセット・ゲイン設定についてはQ68DAVN/Q68DAINのユーザーズマニュアルを参照ください。
4.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。また、三菱電機株式会社が発行している「L(名)08045:MELSEC-A/QnA(大形)シリーズからQシリーズへの置換えの手引き(インテリジェント機能ユニット編)」を参照されることをお勧めいたします。
なお、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。



〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-Aシリーズ A616DAV	MELSEC-Qシリーズ Q68DAVN
ディジタル入力		16ビット符号付バイナリ (−4096〜4095)	16ビット符号付バイナリ (通常分解能モード:−4096〜4095、高分解能モード:−12288〜12287、−16384〜16383)
アナログ出力		出力電圧範囲設定が10Vのとき −10〜0〜10V(外部負荷抵抗値2kΩ〜1MΩ) 出力電圧範囲設定が5Vのとき −5〜0〜5V(外部負荷抵抗値2kΩ〜1MΩ)	DC−10〜10V(外部負荷抵抗値1kΩ〜1MΩ)
入出力特性		ディジタル入力 / アナログ出力 5V設定時 / 10V設定時: 4000 / 5V / 10V; 2000 / 2.5V / 5V; 0 / 0V / 0V; −2000 / −2.5V / −5V; −4000 / −5V / −10V	アナログ出力レンジ / 通常分解能モード ディジタル入力値 / 最大分解能 / 高分解能モード ディジタル入力値 / 最大分解能: 電圧 0〜5V / 0〜4000 / 1.25mV / 0〜12000 / 0.416mV; 電圧 1〜5V / 1.0mV / 0.333mV; 電圧 −10〜10V / −4000〜4000 / 2.5mV / −16000〜16000 / 0.625mV; 電圧 ユーザレンジ設定 / 0.75mV / −12000〜12000 / 0.333mV
最大分解能		1/4000	
総合精度		出力電圧範囲設定 / 10V / 5V; 周囲温度(0〜55℃) / ±0.6%(±60mV) / ±0.6%(±30mV); 周囲温度(25℃) / ±0.3%(±30mV) / ±0.3%(±15mV)	周囲温度25±5℃:±0.1%以内(電圧:±10mV) 周囲温度0〜55℃:±0.3%以内(電圧:±30mV)
最大変換速度		0.5ms (−10V→10V/10V→−10Vへの変換時間)	80μs/チャンネル
絶対最大出力	電圧	15V	±12V
アナログ出力点数		16チャンネル/ユニット	8チャンネル/ユニット
絶縁方式	出力端子とシーケンサ電源間	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
	チャンネル間	非絶縁	非絶縁
	外部供給電源とアナログ出力間	−	トランス絶縁
占有点数		32点	16点
外部接続方式		38点端子台	18点端子台
消費電流		0.38A	0.38A
外部供給電源	電圧	DC15V/DC−15V	DC24V +20%、−15%
	電流	DC15V:0.2A/DC−15V:0.17A	0.2A

●プログラム上の注意
A616DAV/A616DAIとQ68DAVN/Q68DAINでは、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

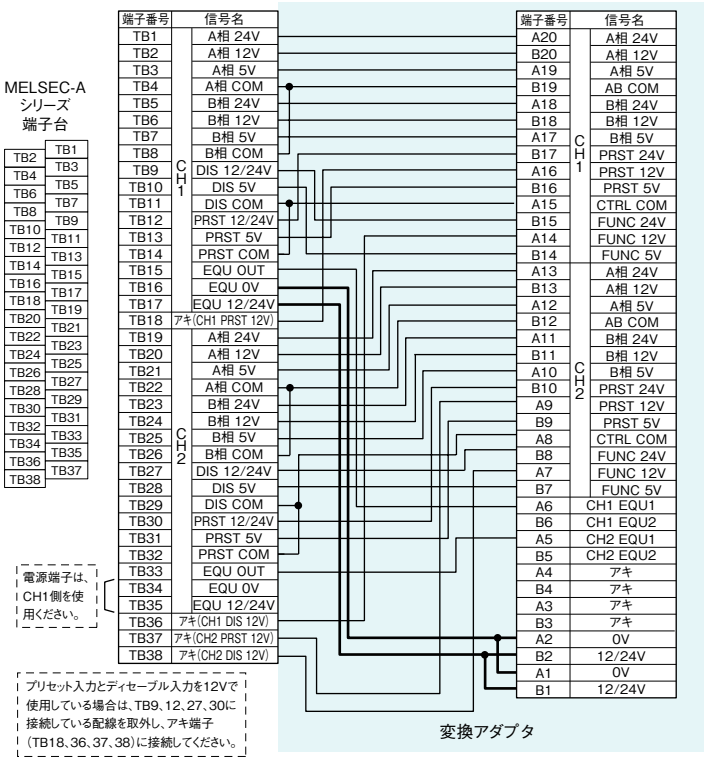
<table>
<tr><th colspan="3">形名
仕様</th><th colspan="2">MELSEC-Aシリーズ</th><th colspan="6">MELSEC-Qシリーズ</th></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td colspan="2">A616DAI</td><td colspan="6">Q68DAIN</td></tr>
<tr><td colspan="3">ディジタル入力</td><td colspan="2">16ビット符号付バイナリ
(0～4095)</td><td colspan="6">16ビット符号付バイナリ
(通常分解能モード:−4096～4095、
高分解能モード:−12288～12287、−16384～16383)</td></tr>
<tr><td colspan="3">アナログ出力</td><td colspan="2">DC0～20mA(外部負荷抵抗値0Ω～600Ω)</td><td colspan="6">DC0～20mA(外部負荷抵抗値0Ω～600Ω)</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="4">入出力特性</td><td>ディジタル入力</td><td>アナログ出力</td><td colspan="2" rowspan="2">アナログ
出力レンジ</td><td colspan="2">通常分解能モード</td><td colspan="2">高分解能モード</td></tr>
<tr><td>4000</td><td>20mA</td><td>ディジタル
入力値</td><td>最大分解能</td><td>ディジタル
入力値</td><td>最大分解能</td></tr>
<tr><td>2000</td><td>12mA</td><td rowspan="3">電
流</td><td>0～20mA</td><td rowspan="2">0～4000</td><td>5μA</td><td>0～12000</td><td>1.66μA</td></tr>
<tr><td>0</td><td>4mA</td><td>4～20mA</td><td>4μA</td><td rowspan="2">−12000～12000</td><td>1.33μA</td></tr>
<tr><td colspan="3">最大分解能</td><td colspan="2">1/4000</td><td>ユーザレンジ
設定</td><td>−4000～4000</td><td>1.5μA</td><td>0.83μA</td></tr>
<tr><td colspan="3">総合精度</td><td colspan="2">±0.6%(±120μA)
周囲温度が25℃の場合は±0.3%(±60μA)</td><td colspan="6">周囲温度25±5℃:±0.1%以内
(電流:±20μA)
周囲温度0～55℃:±0.3%以内
(電流:±60μA)</td></tr>
<tr><td colspan="3">最大変換速度</td><td colspan="2">0.5ms
(0mA→20mA、20mA→0mAへの変換時間)</td><td colspan="6">80μs/チャンネル</td></tr>
<tr><td colspan="2">絶対最大出力</td><td>電流</td><td colspan="2">−</td><td colspan="6">21mA</td></tr>
<tr><td colspan="3">アナログ出力点数</td><td colspan="2">16チャンネル/ユニット</td><td colspan="6">8 チャンネル/ユニット</td></tr>
<tr><td rowspan="3">絶縁
方式</td><td colspan="2">出力端子とシーケンサ電源間</td><td colspan="2">フォトカプラ絶縁</td><td colspan="6">フォトカプラ絶縁</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャンネル間</td><td colspan="2">非絶縁</td><td colspan="6">非絶縁</td></tr>
<tr><td colspan="2">外部供給電源とアナログ出力間</td><td colspan="2">−</td><td colspan="6">トランス絶縁</td></tr>
<tr><td colspan="3">占有点数</td><td colspan="2">32点</td><td colspan="6">16点</td></tr>
<tr><td colspan="3">外部接続方式</td><td colspan="2">38点端子台</td><td colspan="6">18点端子台</td></tr>
<tr><td colspan="3">消費電流</td><td colspan="2">0.3A</td><td colspan="6">0.38A</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">外部供給電源</td><td>電圧</td><td colspan="2">DC15V/DC−15V</td><td colspan="6">DC24V +20%、−15%</td></tr>
<tr><td>電流</td><td colspan="2">DC15V:0.53A/DC−15V:0.125A</td><td colspan="6">0.27A</td></tr>
</table>

高速カウンタユニット用

1スロットタイプ（三菱電機株式会社製 Qラージベースユニットにも取付け可能）

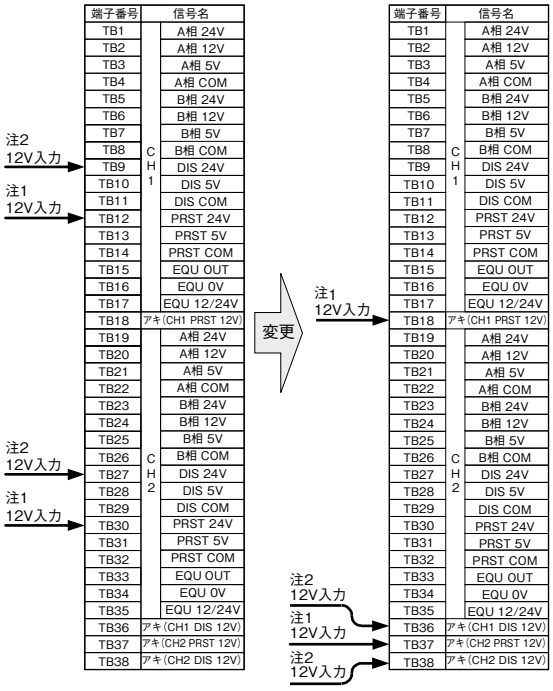
(1)ERNT-AQTD61　端子台(38p)→コネクタ(40p)

変換アダプタ形名	MELSEC-Aシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-AQTD61	AD61	2チャンネル	QD62-H01	1台
	AD61-S1		QD62-H02	

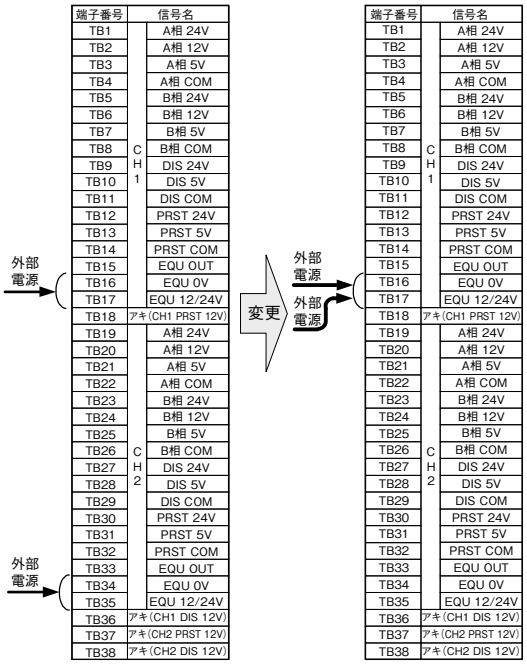


(注)1.MELSEC-Aシリーズ側のPRST12/24V(端子番号TB12、TB30)は、QD62-H01/-H02のPRST 24Vに接続されます。プリセット入力を12Vで使用している場合は、PRST12/24V(端子番号TB12、TB30)の配線を端子番号TB18、TB37へ接続することで使用可能となります。(下図参照)
また、外部入力の仕様が異なるため、外部機器の仕様を確認する必要があります。

2.MELSEC-Aシリーズ側のDIS12/24V(端子番号TB9、TB27)は、QD62-H01/-H02のFUNC 24Vに接続されます。ディセーブル入力を12Vで使用している場合は、DIS12/24V(端子番号TB9、TB27)の配線を端子番号TB36、TB38へ接続することで使用可能となります。(下図参照)
また、外部入力の仕様が異なるため、外部機器の仕様を確認する必要があります。



3.AD61の一致出力用の外部電源は、CH1側(端子番号TB17、16)のみを使用してください。CH2側の外部電源(端子番号TB35、34)を使用されている場合は、配線の変更が必要となります。(下図参照)
また、CH1側の外部電源(端子番号TB17、16)とCH2側の外部電源(端子番号TB35、34)を別電源で使用している場合は、同一電源に変更する必要があります。



4.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。また、三菱電機株式会社が発行している「L(名)08045:MELSEC-A/QnA(大形)シリーズからQシリーズへの置換えの手引き(インテリジェント機能ユニット編)」を参照されることをお勧めいたします。
なお、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

〈入力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名			MELSEC-Aシリーズ	MELSEC-Qシリーズ
			AD61	QD62-H01
チャンネル数			2チャンネル	2チャンネル
計数速度切換設定			−	−
1チャンネルあたりの性能仕様	カウント入力信号	相	1相入力、2相入力	1相入力、2相入力
		信号レベル(φA、φB)	DC5/12/24V 2〜5mA	DC5/12/24V 2〜5mA
	カウンタ	計数速度(最高)	1相入力:50kPPS 2相入力:50kPPS	1相入力:50kPPS 2相入力:50kPPS
		計数範囲	24ビットバイナリ (0〜16777215)	32ビット符号付バイナリ (−2147483648〜2147483647)
		型式	UP/DOWNプリセットカウンタ ＋ リングカウンタ機能	UP/DOWNプリセットカウンタ ＋ リングカウンタ機能
	大小比較	比較範囲	バイナリ形式(2進数)24 ビット	32ビット符号付バイナリ
		比較結果	設定値<カウント値 設定値=カウント値 設定値>カウント値	設定値<カウント値 設定値=カウント値 設定値>カウント値
	外部入力	プリセット	DC12/24V 3/6mA DC5V 5mA	DC5/12/24V 2〜5mA
		カウントディセーブル	DC12/24V 3/6mA DC5V 5mA	−
		ファンクションスタート	−	DC5/12/24V 2〜5mA
	外部出力	一致出力	トランジスタ(オープンコレクタ)出力 DC12/24V 0.5A	トランジスタ(シンクタイプ)出力 DC12/24V 0.5A/1点 2A/コモン
占有点数			32点	16点
消費電流			0.30A	0.30A

仕様＼形名			MELSEC-Aシリーズ	MELSEC-Qシリーズ
			AD61-S1	QD62-H02
チャンネル数			2チャンネル	2チャンネル
計数速度切換設定			−	−
1チャンネルあたりの性能仕様	カウント入力信号	相	1相入力、2相入力	1相入力、2相入力
		信号レベル(φA、φB)	DC5/12/24V 2〜5mA	DC5/12/24V 2〜5mA
	カウンタ	計数速度(最高)	1相入力:10kPPS 2相入力: 7kPPS	1相入力:10kPPS 2相入力: 7kPPS
		計数範囲	24ビットバイナリ (0〜16777215)	32ビット符号付バイナリ (-2147483648 〜2147483647)
		型式	UP/DOWNプリセットカウンタ+リングカウンタ機能	UP/DOWNプリセットカウンタ+リングカウンタ機能
	大小比較	比較範囲	バイナリ形式(2進数)24ビット	32ビット符号付バイナリ
		比較結果	設定値<カウント値 設定値=カウント値 設定値>カウント値	設定値<カウント値 設定値=カウント値 設定値>カウント値
	外部入力	プリセット	DC12/24V 3/6mA DC5V 5mA	DC5/12/24V 2〜5mA
		カウントディセーブル	DC12/24V 3/6mA DC5V 5mA	−
		ファンクションスタート	—	DC5/12/24V 2〜5mA
	外部出力	一致出力	トランジスタ(オープンコレクタ)出力 DC12/24V 0.5A	トランジスタ(シンクタイプ)出力 DC12/24V 0.5A/1点 2A/コモン
占有点数			32点	16点
消費電流			0.30A	0.30A

●プログラム上の注意

AD61/AD61-S1とQD62-H01/QD62-H02では、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

ベースアダプタ

仕　様

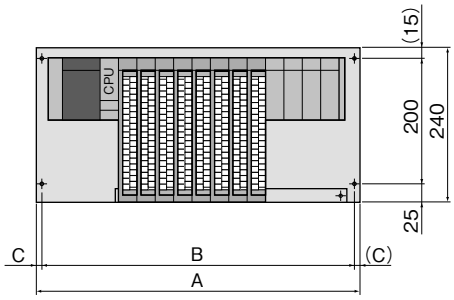
MELSEC-Aシリーズのベースユニットの取付穴を利用し、MELSEC-Qシリーズと変換アダプタ固定台を設置可能とするものです。
（追加穴加工不要）

ベースアダプタ形名	仕　様		
	MELSEC-Aシリーズ対応ユニット	MELSEC-Qシリーズ対応ユニット	取付け可能変換アダプタ固定台
ERNT-AQB38N	A38B、A38B-UL A38HB A38HBEU、A38B-E	Q312B	ERNT-AQF12 ERNT-AQF8
		Q38B	ERNT-AQF8
ERNT-AQB68N	A68B、A68B-UL	Q612B	ERNT-AQF12 ERNT-AQF8
		Q68B	ERNT-AQF8
ERNT-AQB58N	A58B、A58B-UL	Q68B	ERNT-AQF8
ERNT-AQB35N	A35B、A35B-UL A35B-E	Q38B	ERNT-AQF8 ERNT-AQF5
		Q35B	ERNT-AQF5
ERNT-AQB65N	A65B、A65B-UL	Q68B	ERNT-AQF8 ERNT-AQF5
		Q65B Q55B	ERNT-AQF5
ERNT-AQB55N	A55B、A55B-UL	Q65B Q55B	ERNT-AQF5
ERNT-AQB32	A32B、A32B-UL A32B-E	Q33B	ERNT-AQF3
ERNT-AQB62	A62B	Q63B Q52B	ERNT-AQF3
ERNT-AQB52	A52B	Q52B	ERNT-AQF3

取付寸法

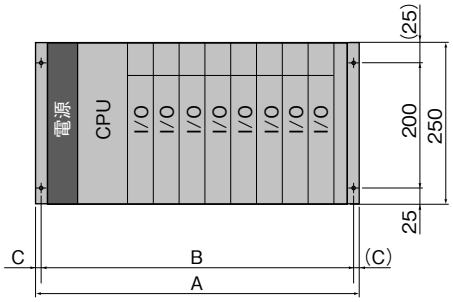
●MELSEC-Aシリーズより縦寸法が小さくなります。
（但し、ユニット幅寸法および奥行き寸法については、「ご使用上の注意点」（1-30ページ）を参照。）
●ベースアダプタの取付穴（4ヶ所）は、MELSEC-Aシリーズベースユニットと同一取付寸法ですので制御盤への追加ネジ穴加工は一切不要です。
●MELSEC-AシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

◎MELSEC-Qシリーズ



◎（参考）MELSEC-Aシリーズ

単位:mm



ベースアダプタ形名	A	B	C	MELSEC-Aシリーズベースユニット形名	A	B	C
ERNT-AQB38N	480	460	10	A38B(-UL/-E), A38HB(EU)	480	460	10
ERNT-AQB68N	466	446	10	A68B(-UL)	466	446	10
ERNT-AQB58N	411	391	10	A58B(-UL)	411	391	10
ERNT-AQB35N	382	362	10	A35B(-UL/-E)	382	362	10
ERNT-AQB65N	352	332	10	A65B(-UL)	352	332	10
ERNT-AQB55N	297	277	10	A55B(-UL)	297	277	10
ERNT-AQB32	247	227	10	A32B(-UL/-E)	247	227	10
ERNT-AQB62	238	218	10	A62B	238	218	10
ERNT-AQB52	183	163	10	A52B	183	163	10

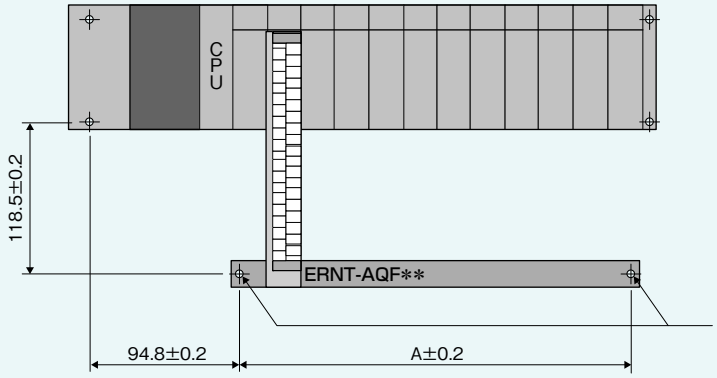
ベースアダプタを使用しない場合

ベースアダプタを使用しない場合は、下記のように変換アダプタ固定台を取付けるためのネジ穴加工（M4×2ケ所）が必要です。
尚、変換アダプタ固定台は必ず取付けてください。

基本ベースユニットを使用する場合

◎Q312B、Q38B、Q35B、Q33Bの場合

単位:mm



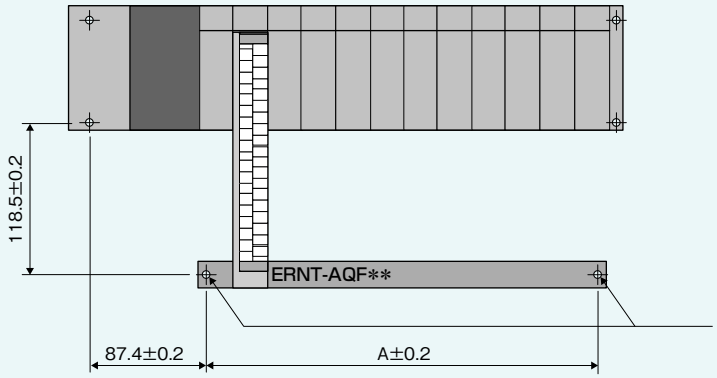
変換アダプタ固定台	A(mm)
ERNT-AQF12	321.2
ERNT-AQF8	210
ERNT-AQF5	126.6
ERNT-AQF3	71

この位置にネジ穴加工（M4×2ケ所）を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

増設ベースユニットを使用する場合

◎Q612B、Q68B、Q65B、Q63Bの場合

単位:mm

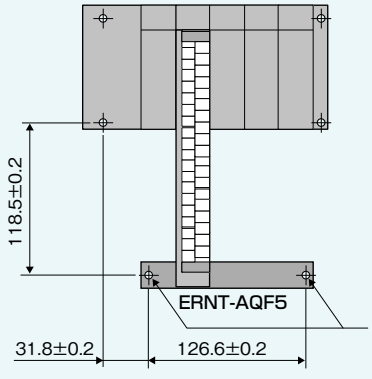


変換アダプタ固定台	A(mm)
ERNT-AQF12	321.2
ERNT-AQF8	210
ERNT-AQF5	126.6
ERNT-AQF3	71

この位置にネジ穴加工（M4×2ケ所を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

◎Q55Bの場合

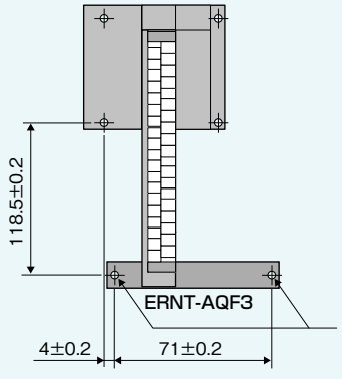
単位:mm



この位置にネジ穴加工（M4×2ケ所）を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

◎Q52Bの場合

単位:mm



この位置にネジ穴加工（M4×2ケ所）を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

変換アダプタ固定台

仕　様

変換アダプタの下部を固定するもので、変換アダプタ使用時に必要となります。また、1ベースユニットあたり1個必要となります。

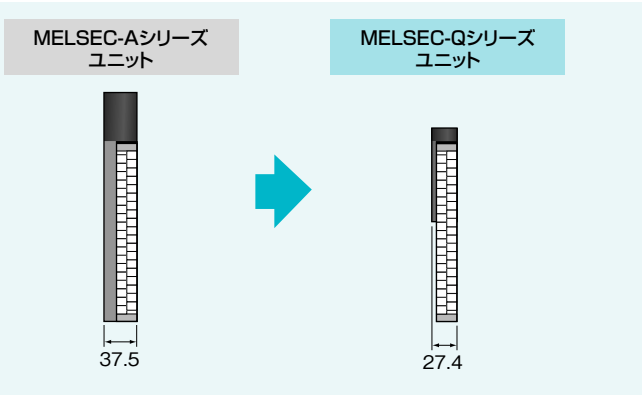
変換アダプタ固定台形名	仕　様
ERNT-AQF12	MELSEC-Qシリーズユニット12スロット分の変換アダプタ固定台
ERNT-AQF8	MELSEC-Qシリーズユニット8スロット分の変換アダプタ固定台
ERNT-AQF5	MELSEC-Qシリーズユニット5スロット分の変換アダプタ固定台
ERNT-AQF3	MELSEC-Qシリーズユニット3スロット分の変換アダプタ固定台

ご使用上の注意点

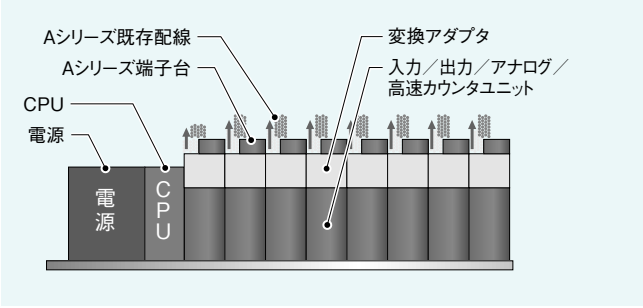
変換アダプタは、MELSEC-Aシリーズ大形ユニットからMELSEC-Qシリーズユニットのピンアサインの相違を変換する製品です。
MELSEC-AシリーズからMELSEC-Qシリーズへの置換えを行うときは、性能・機能・CPUに対する入出力信号・バッファメモリアドレス等の差異を確認するため、必ずMELSEC-Qシリーズの各ユニットのマニュアルを参照し、使用いただきますようお願いいたします。
また、三菱電機株式会社が発行している「MELSEC-A/QnA(大形)シリーズからQシリーズへの置換えの手引き」を参照されることをお勧めいたします。

ユニット幅

(1)ユニット幅寸法が小さくなり(37.5mm→27.4mm)配線領域が小さくなりますので、取付け上の確認が必要です。

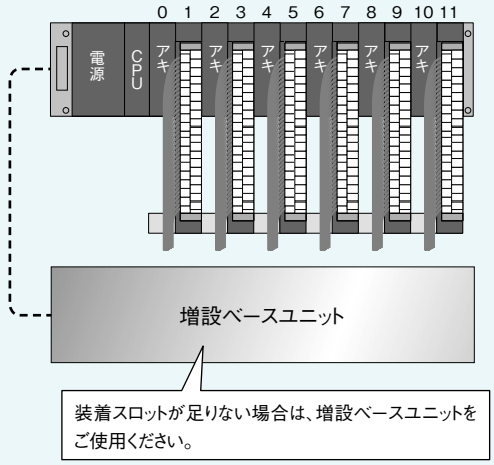


(2)装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3)配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例)Q312Bの場合



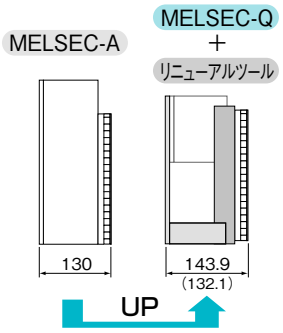
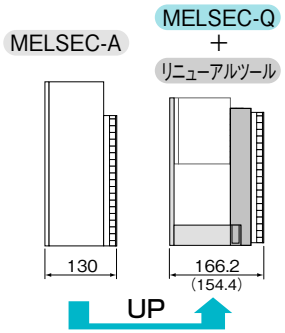
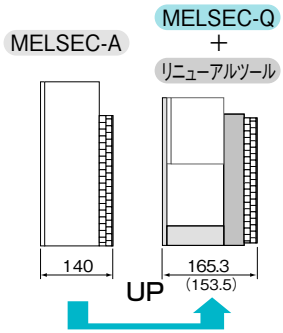
ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(QG60)を装着してください。

(4)左記(2)、(3)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製Qラージベースユニットの使用をご検討ください。▶1-2

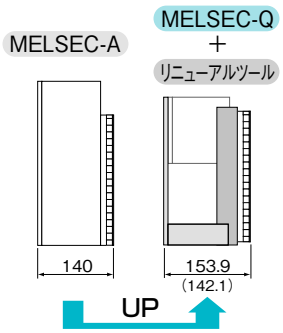
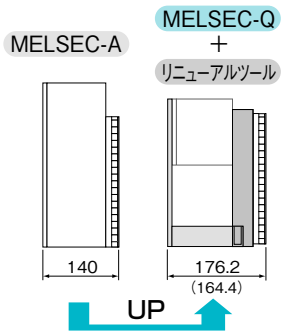
奥行き

奥行き寸法は以下のようになります。奥行き寸法が大きくなりますので取付け上の確認が必要です。
ベースアダプタを使用しない場合および、三菱電機株式会社製Qラージベースユニットを使用せず標準ベースユニットを使用する場合はカッコ内の数値（11.8mm小さい値）になります。

MELSEC-A :MELSEC-Aシリーズ　MELSEC-Q :MELSEC-Qシリーズ

変換アダプタ	ERNT-AQTX10　ERNT-AQTY80 ERNT-AQTX40 ERNT-AQTX80 ERNT-AQTY10 ERNT-AQTY40 ERNT-AQTY50	ERNT-AQTY22 ERNT-AQT62DA	ERNT-AQTX41 ERNT-AQTX81 ERNT-AQTY41 ERNT-AQTY81 ERNT-AQTD61
奥行き寸法	143.9mm (132.1mm)	166.2mm (154.4mm)	165.3mm (153.5mm)
取付図			

※:上記奥行き寸法は各々盤面からの寸法です。（MELSEC-Aシリーズはベースユニット＋入力／出力／アナログ／高速カウンタユニット＋端子台、MELSEC-Qシリーズ＋リニューアルツールは、ベースアダプタ＋ベースユニット＋入力／出力／アナログ／高速カウンタユニット＋変換アダプタ＋端子台）

変換アダプタ	ERNT-AQTX11　ERNT-AQT68AD ERNT-AQTY10A　ERNT-AQT68ADN ERNT-AQTY13　ERNT-AQT616AD ERNT-AQTY51	ERNT-AQTY23 ERNT-AQT68AD-GH ERNT-AQT68DA ERNT-AQT616DA
奥行き寸法	153.9mm (142.1mm)	176.2mm (164.4mm)
取付図		

※:上記奥行き寸法は各々盤面からの寸法です。（MELSEC-Aシリーズはベースユニット＋入力／出力／アナログユニット＋端子台、MELSEC-Qシリーズ＋リニューアルツールは、ベースアダプタ＋ベースユニット＋入力／出力／アナログユニット＋変換アダプタ＋端子台）

変換アダプタ固定台・ベースアダプタ

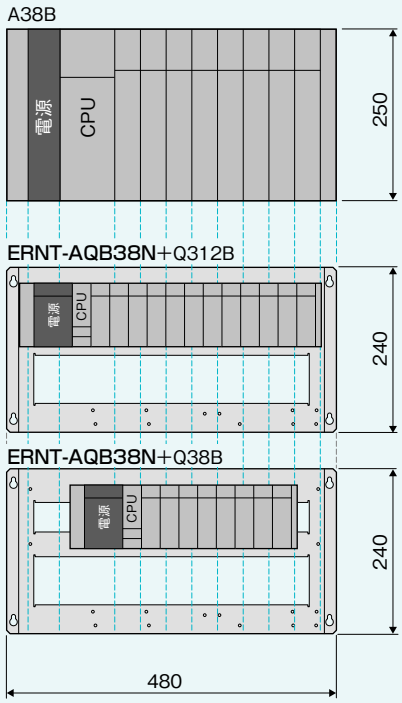
変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台が必要です。また、MELSEC-Aシリーズの取付穴を利用し、MELSEC-Qシリーズが設置可能（追加穴加工不要）なベースアダプタのご使用を推奨します。

スロット位置

MELSEC-AシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するスロット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

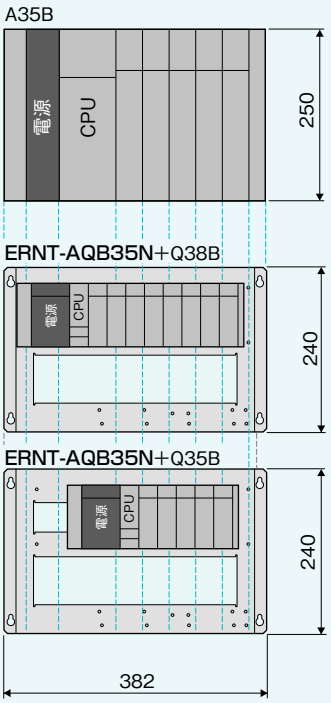
(1)A38B(-UL/-E)/A38HB(EU)⇒Q312B、Q38B

単位:mm



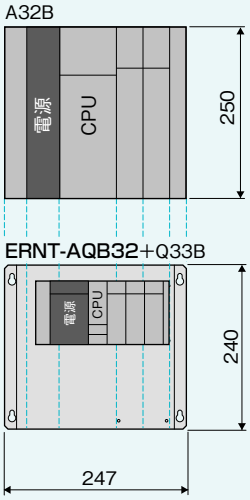
(2)A35B(-UL/-E)⇒Q38B、Q35B

単位:mm



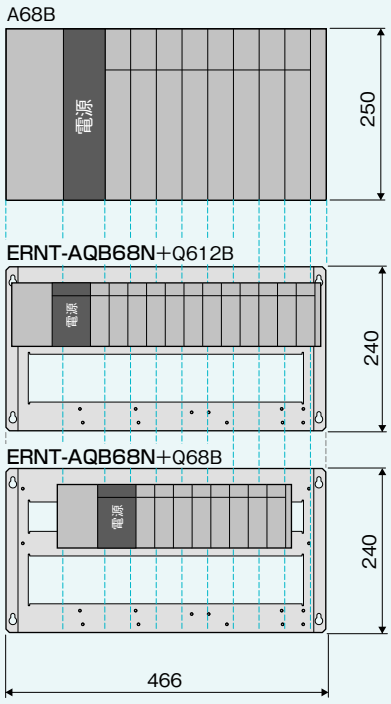
(3)A32B(-UL/-E)⇒Q33B

単位:mm



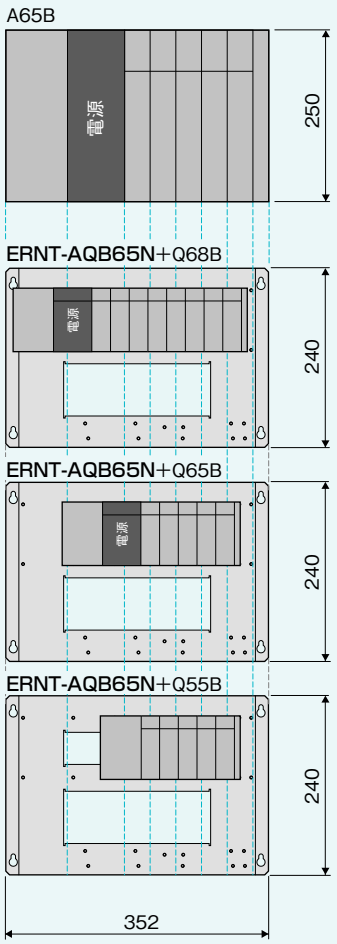
(4)A68B(-UL)⇒Q612B、Q68B

単位:mm



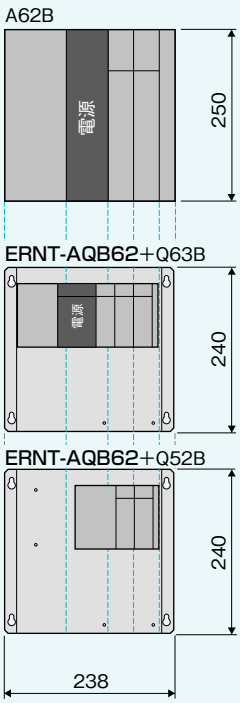
(5)A65B(-UL)⇒Q68B、Q65B、Q55B

単位:mm



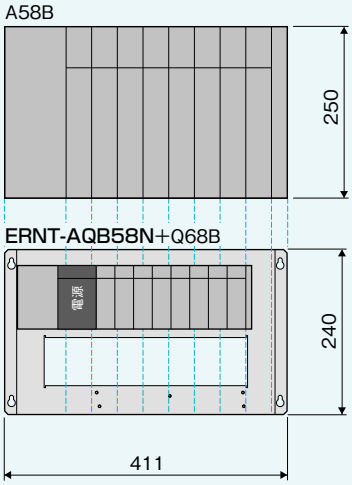
(6)A62B⇒Q63B、Q52B

単位:mm



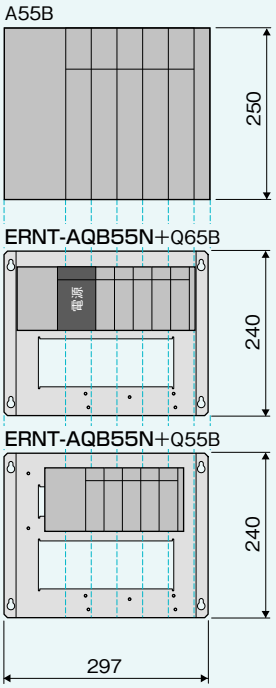
(7)A58B(-UL)⇒Q68B

単位:mm



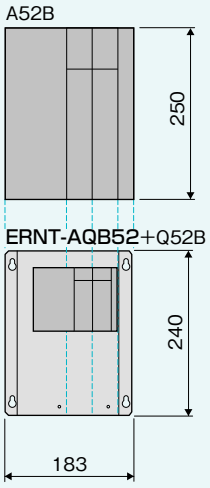
(8)A55B(-UL)⇒Q65B、Q55B

単位:mm



(9)A52B⇒Q52B

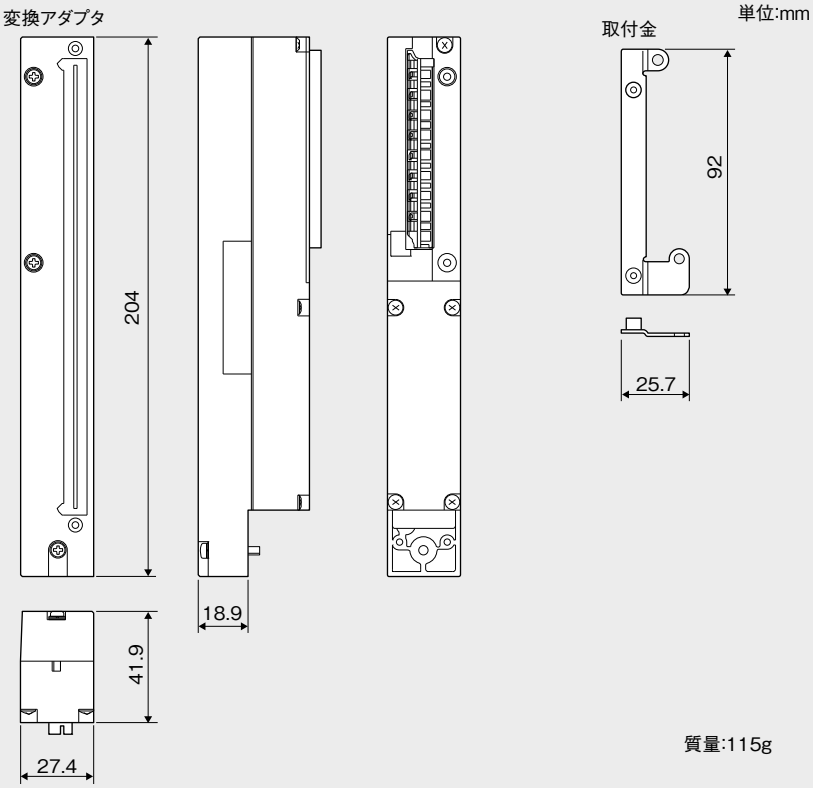
単位:mm



外形寸法図

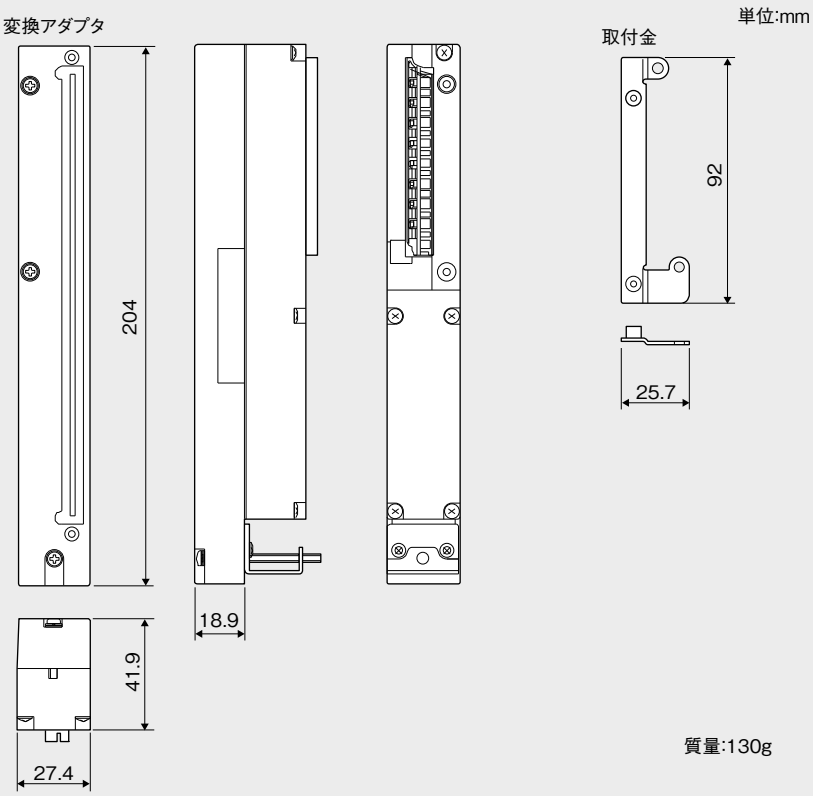
変換アダプタ

形名:
ERNT-AQTX10
ERNT-AQTX40
ERNT-AQTX80
ERNT-AQTY10
ERNT-AQTY40
ERNT-AQTY50
ERNT-AQTY80
ERNT-AQT68AD
ERNT-AQT68ADN



質量:115g

形名:
ERNT-AQTY22
ERNT-AQT62DA
ERNT-AQT68DA

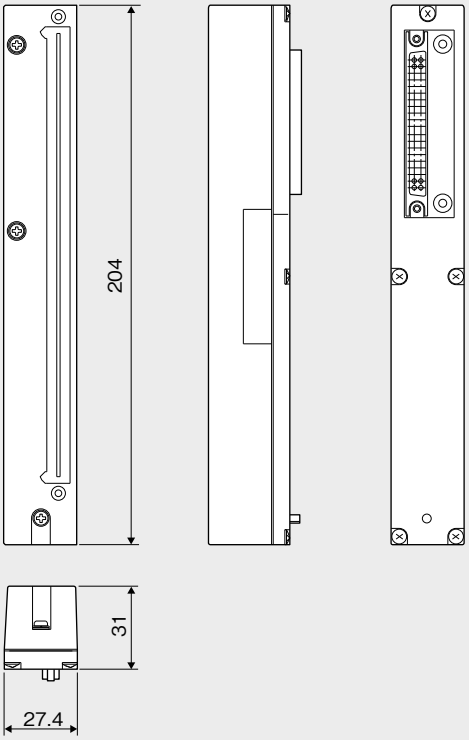


質量:130g

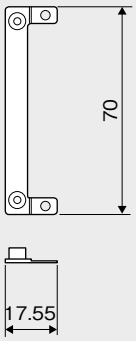
形名:
ERNT-AQTX41
ERNT-AQTY41
ERNT-AQTD61

単位:mm

変換アダプタ



取付金

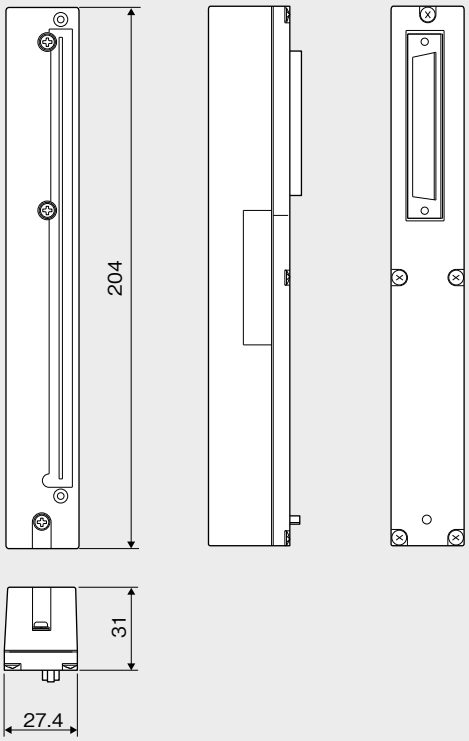


質量:105g

形名:
ERNT-AQTX81
ERNT-AQTY81

単位:mm

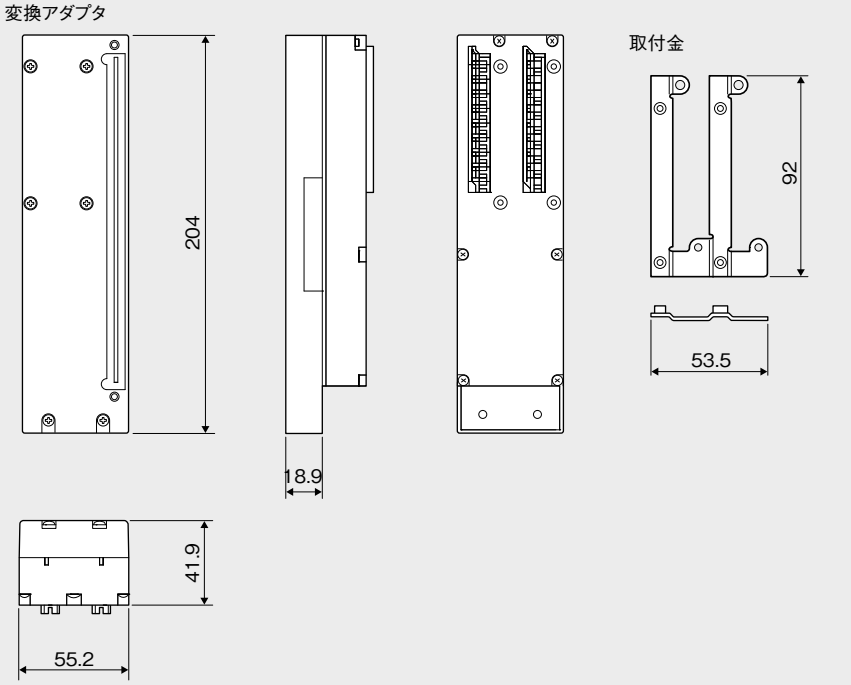
変換アダプタ



質量:110g

形名:
ERNT-AQTX11
ERNT-AQTY10A
ERNT-AQTY13
ERNT-AQTY51
ERNT-AQT616AD

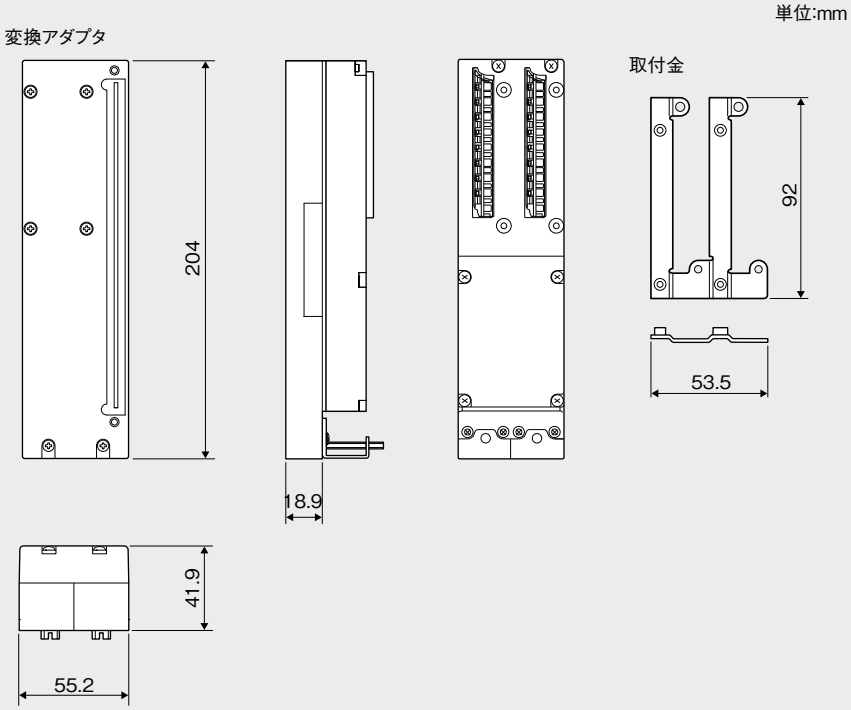
単位:mm



質量:250g

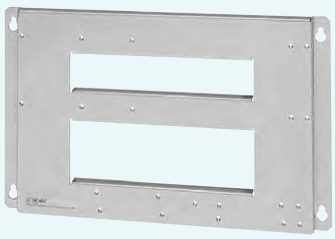
形名:
ERNT-AQTY23
ERNT-AQT68AD-GH
ERNT-AQT616DA

単位:mm



質量:280g

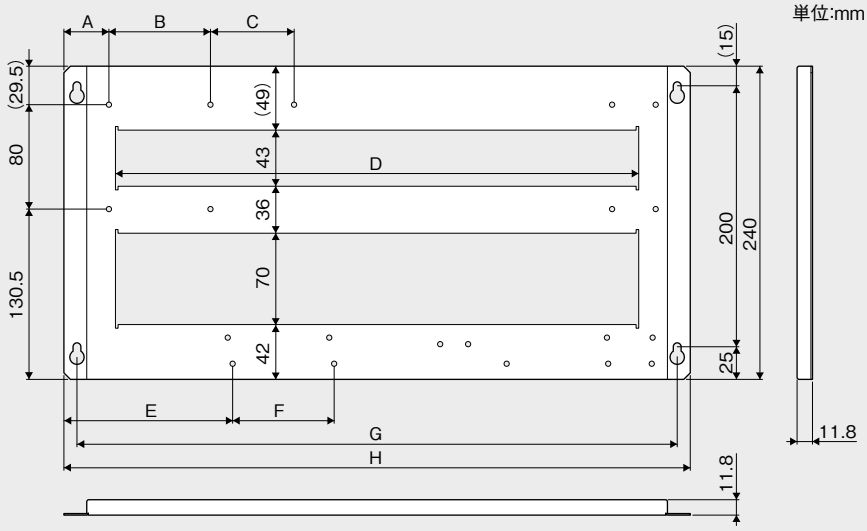
ベースアダプタ



形名:

ERNT-AQB38N
ERNT-AQB68N
ERNT-AQB58N
ERNT-AQB35N
ERNT-AQB65N
ERNT-AQB55N
ERNT-AQB32
ERNT-AQB62
ERNT-AQB52

単位:mm



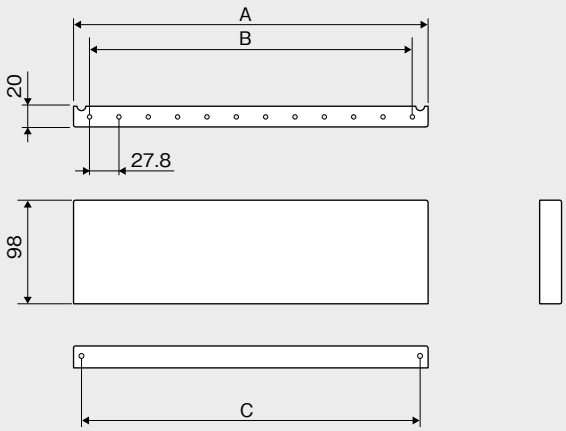
形　名	A	B	C	D	E	F	G	H	質量(g)
ERNT-AQB38N	34.5	77.8	—	401	129.3	77.8	460	480	970
ERNT-AQB68N	24.5	81.2	—	401	111.9	81.2	446	466	930
ERNT-AQB58N	50.7	—	—	296	138.1	—	391	411	870
ERNT-AQB35N	47.7	65.3	—	296	142.5	65.3	362	382	795
ERNT-AQB65N	23.1	67.3	55.6	197	110.5	67.3	332	352	790
ERNT-AQB55N	35.4	55.6	—	197	122.8	—	277	297	655
ERNT-AQB32	51.7	—	—	—	146.5	—	227	247	675
ERNT-AQB62	46.2	—	—	—	133.6	—	218	238	650
ERNT-AQB52	74.6	—	—	—	78.6	—	163	183	505

変換アダプタ固定台

形名:

ERNT-AQF12
ERNT-AQF8
ERNT-AQF5
ERNT-AQF3

単位:mm



形　名	A	B	C	質量(g)
ERNT-AQF12	335.8	305.8	321.2	590
ERNT-AQF8	224.6	194.6	210	410
ERNT-AQF5	141.2	111.2	126.6	275
ERNT-AQF3	85.6	55.6	71	185

Memo

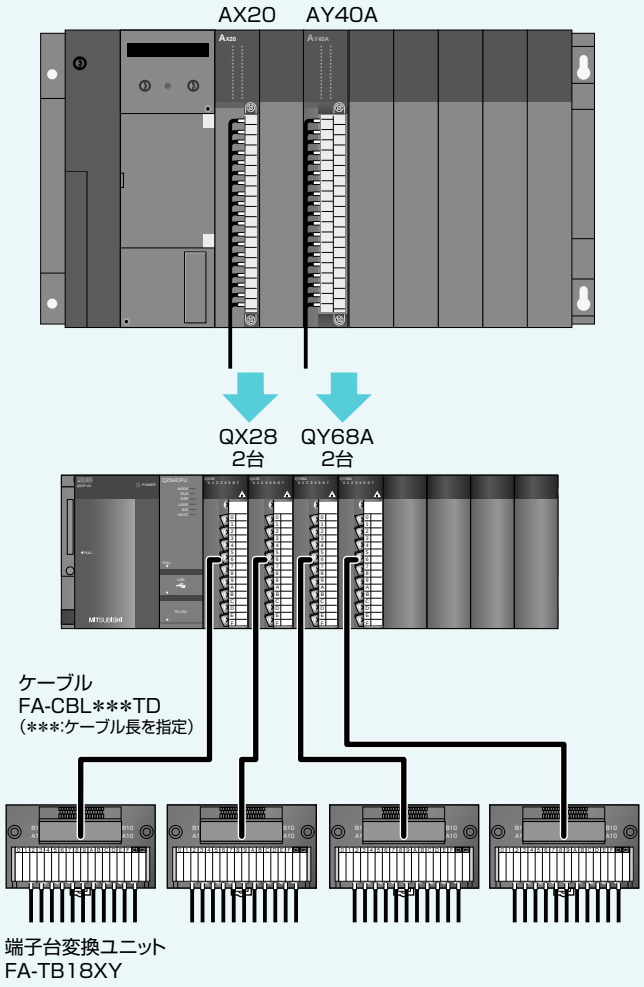
FAグッズを活用したリニューアル方法

変換アダプタ未対応の入力／出力ユニットについて、少しでも配線工数を削減するために、当社が発売しています「FAグッズ」を活用したリニューアル方法を、ご提案させて頂きますので是非ご検討ください。

提 案【1】
FAグッズ 端子台変換ユニットを使用

◎端子台変換ユニット使用例

例）AX20→QX28 × 2台で置換え、
AY40A→QY68A × 2台で置換え

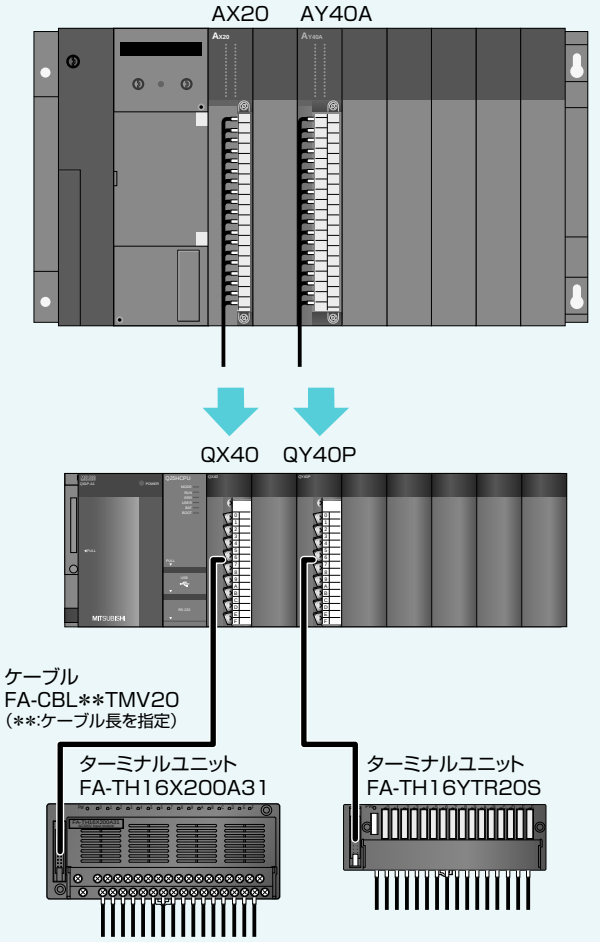


掲載頁
リニューアル方法 ▶1-40
置換え機種一覧 ▶1-43~1-44

提 案【2】
FAグッズ ターミナルユニットを使用

◎ターミナルユニット使用例

例）AX20→QX40 × 1台で置換え、
AY40A→QY40P × 1台で置換え

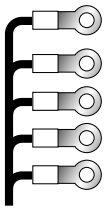


掲載頁
リニューアル方法 ▶1-41
入力タイプ置換え機種一覧 ▶1-43~1-44
出力タイプ置換え機種一覧 ▶1-43~1-44

端子台変換ユニット

Aシリーズ16点AC200V入力ユニットをFAグッズ端子台変換ユニットを使用して置換えた場合

②圧着端子の確認



・圧着端子形名もしくは寸法を確認します。
・FAグッズ適合圧着端子以外は変更が必要です。

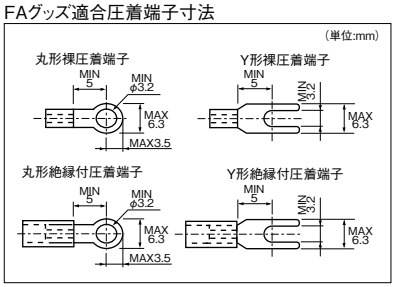
ユニット使用圧着端子

・R1.25-3
・RAV1.25-3

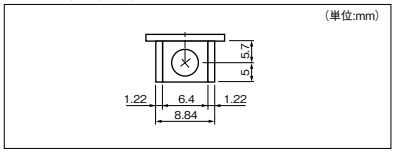
FAグッズ適合圧着端子

種類		丸形		Y形	
メーカー名	適合電線サイズ	裸圧着端子	絶縁付圧着端子	裸圧着端子	絶縁付圧着端子
株式会社ニチフ NTM	0.3~1.25mm²	R1.25-3N R1.25-3.5N	TGV1.25-3N TGV1.25-3.5N	1.25Y-3 1.25Y-3N 1.25Y-3L 1.25Y-3.5	TGV1.25Y-3 TGV1.25Y-3N TGV1.25Y-3L TGV1.25Y-3.5
	1.25~2.0mm²	R2-3N	TGV2-3N	2Y-3 2Y-3.5S	TGV2Y-3 TGV2Y-3.5S
日本圧着端子製造株式会社 JST	0.3~1.25mm²	1.25-MS3	V1.25-MS3	1.25-B3A 1.25-C3A 1.25-N3A 1.25-C3.5A	V1.25-B3A V1.25-N3A
	1.25~2.0mm²	2-MS3	V2-MS3	2-N3A 2-M3A	V2-N3A
日本端子株式会社 NTK	0.3~1.25mm²	1.25-3ML 1.25-3.5SL	RAV1.25-3ML RAP1.25-3ML	VD1.25-3L VD1.25-3.5SS VD1.25-3.5S	VDAV1.25-3L VDAV1.25-3.5SS VDAV1.25-3.5S
	1.25~2.0mm²	2-3SL	RAV2-3SL RAP2-3SL	VD2-3S VD2-3.5SS VD2-3.5S	VDAV2-3S VDAV2-3.5SS VDAV2-3.5S

FAグッズ適合圧着端子寸法

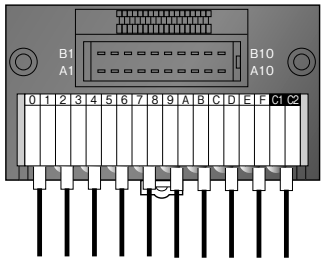


FAグッズ端子台寸法

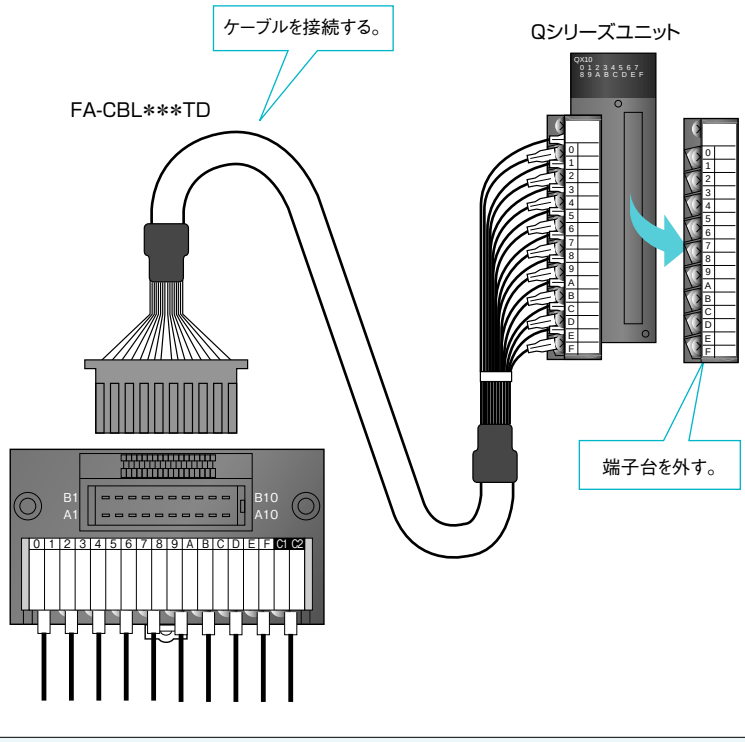


③変換ユニットに配線

FA-TB18XY



④ユニット間をケーブルで接続

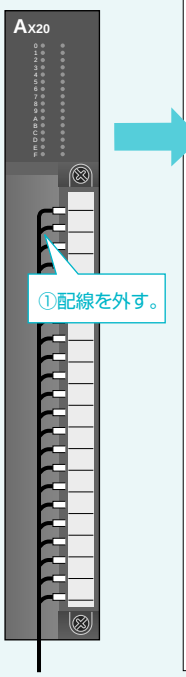


注意事項

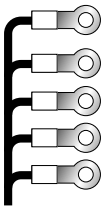
●各ユニットの仕様等に関しては、FAグッズ総合カタログ(産C015・019)を参照ください。
●各ユニットがシステムの仕様範囲内であることを十分ご確認のうえ、ご使用ください。
●FAグッズは、UL、CEには対応しておりません。

ターミナルユニット

Aシリーズ16点AC200V入力ユニットをFAグッズターミナルユニットを使用して置換えた場合



②圧着端子の確認



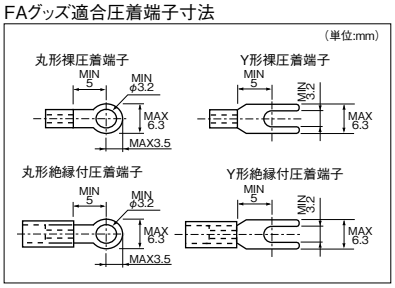
・圧着端子形名もしくは寸法を確認します。
・FAグッズ適合圧着端子以外は変更が必要です。
圧着端子が適合しなかった場合
AX60-S1をリニューアルする場合（適合するターミナルユニットがM3.5のため）

ユニット使用圧着端子
・R1.25-3
・RAV1.25-3

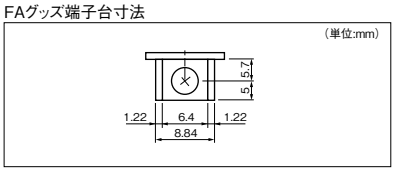
FAグッズM3ネジ 7.62mmピッチ適合圧着端子

種　類		丸　形		Y　形	
メーカー名	適合電線サイズ	裸圧着端子	絶縁付圧着端子	裸圧着端子	絶縁付圧着端子
株式会社ニチフ NTM	0.3～1.25mm²	R1.25-3N R1.25-3.5N	TGV1.25-3N TGV1.25-3.5N	1.25Y-3 1.25Y-3N 1.25Y-3L 1.25Y-3.5	TGV1.25Y-3 TGV1.25Y-3N TGV1.25Y-3L TGV1.25Y-3.5
	1.25～2.0mm²	R2-3N	TGV2-3N	2Y-3 2Y-3.5S	TGV2Y-3 TGV2Y-3.5S
日本圧着端子製造株式会社 JST	0.3～1.25mm²	1.25-MS3	V1.25-MS3	1.25-B3A 1.25-C3A 1.25-N3A 1.25-C3.5A	V1.25-B3A V1.25-N3A
	1.25～2.0mm²	2-MS3	V2-MS3	2-N3A 2-M3A	V2-N3A
日本端子株式会社 NTK	0.3～1.25mm²	1.25-3ML 1.25-3.5SL	RAV1.25-3ML RAP1.25-3ML	VD1.25-3L VD1.25-3.5SS VD1.25-3.5S	VDAV1.25-3L VDAV1.25-3.5SS VDAV1.25-3.5S
	1.25～2.0mm²	2-3SL	RAV2-3SL RAP2-3SL	VD2-3S VD2-3.5SS VD2-3.5S	VDAV2-3S VDAV2-3.5SS VDAV2-3.5S

FAグッズ適合圧着端子寸法

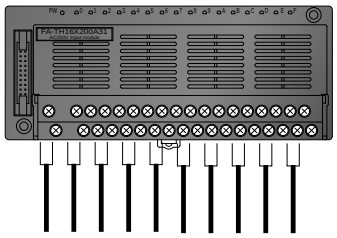


FAグッズ端子台寸法

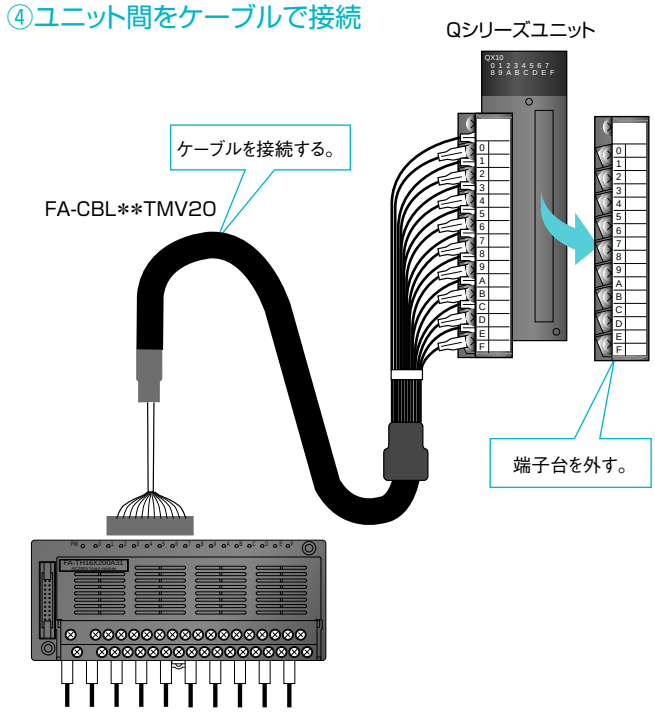


③ターミナルユニットに配線

FA-TH16X200A31



④ユニット間をケーブルで接続

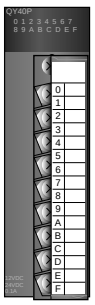
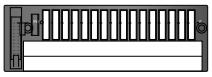


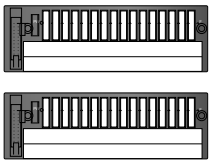
注意事項

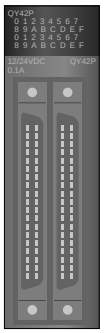
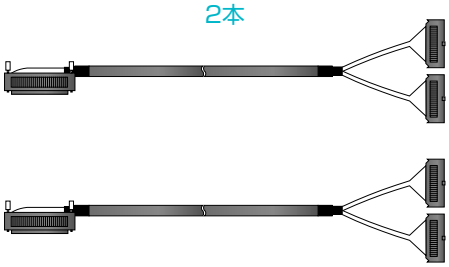
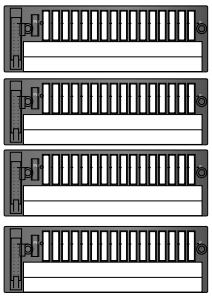
●各ユニットの仕様等に関しては、FAグッズ総合カタログ（産C015・019）を参照ください。
●各ユニットがシステムの仕様範囲内であることを十分ご確認のうえ、ご使用ください。
●FAグッズは、UL、CEには対応しておりません。

入出力点数によるユニット・ケーブル使用数

Qシリーズ入出力ユニット使用時のターミナルユニット・接続ケーブルの使用数について
ターミナルユニットは16点のため、シーケンサのI/O点数により接続ケーブルとユニットの使用数が変わります。
16点タイプ、32点タイプ、64点タイプシーケンサI/Oに対する使用数を以下に記します。

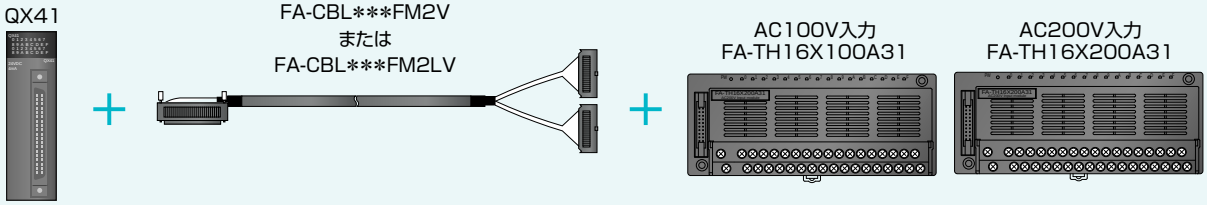
Qシリーズ16点ユニット	接続ケーブル FA-CBL***TMV20 1本	ターミナルユニット FA-TH16*** 1台
		

Qシリーズ32点ユニット	接続ケーブル FA-CBL***FM2V または FA-CBL***FM2LV 1本	ターミナルユニット FA-TH16*** 2台
		

Qシリーズ64点ユニット	接続ケーブル FA-CBL***FM2V または FA-CBL***FM2LV 2本	ターミナルユニット FA-TH16*** 4台
		

ターミナルユニットを使用するメリット

●ターミナルユニットは16点ユニットでシーケンサ側と外線側で絶縁されています。
そのため、16点毎に異なるターミナルユニットを使用することも可能です。



FAグッズ〈端子台変換ユニット〉を活用した場合の置換え機種一覧表

MELSEC-Aシリーズユニット					FAグッズを使用した置換え MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕　様	点数	端子	形　名	仕　様	点数	必要台数
入力	AX20	AC200V、16点／1コモン	16点	20P	QX28	AC100-240V、8点／1コモン	8点	2
	AX21	AC200V、32点／1コモン	32点	38P				4
出力	AY40A	トランジスタ出力、DC12／24V 0.3A、独立コモン、シンクタイプ	16点	38P	QY68A	トランジスタ出力、DC5-24V 2A、独立コモン、シンク／ソース共用	8点	2
	AY60	トランジスタ出力、DC24／(12／48)V 2A、8点／1コモン、シンクタイプ、ヒューズ付	16点	20P	QY68A	トランジスタ出力、DC5-24V 2A、独立コモン、シンク／ソース共用	8点	2
	AY60E	トランジスタ出力、DC24／(12)V 2A、DC48V 0.8A、8点／1コモン、ソースタイプ、ヒューズ付	16点	20P	QY68A	トランジスタ出力、DC5-24V 2A、独立コモン、シンク／ソース共用	8点	2
	AY60S	トランジスタ出力、DC24／48／(12)V 2A、8点／1コモン、シンクタイプ、ヒューズ付	16点	20P	QY68A	トランジスタ出力、DC5-24V 2A、独立コモン、シンク／ソース共用	8点	2

注）各ユニットの仕様詳細は、MELSECシーケンサマニュアル、FAグッズ総合カタログ（産C015・019）を参照ください。

FAグッズ〈入力タイプターミナルユニット〉を活用した場合の置換え機種一覧表

MELSEC-Aシリーズ入力ユニット					FAグッズを使用した置換え MELSEC-Qシリーズユニット			FAグッズインタフェースターミナルユニット			
入力タイプ	形　名	仕　様	点数	台数	形　名	点数	必要台数	ケーブル形名	必要本数	ユニット形名	必要台数
AC200V入力	AX20	AC200-240V入力、16点/1コモン 入力電流10mA	16点	1	QX40	16点	1	FA-CBL**TMV20	1	FA-TH16X200A31	1
				2	QX41	32点	1	FA-CBL***FM2V	1		2
				4	QX42	64点	1	FA-CBL***FM2V	2		4
	AX21	AC200-240V入力、32点/1コモン 入力電流10mA	32点	1	QX41	32点	1	FA-CBL***FM2V	1	FA-TH16X200A31	2
				2	QX42	64点	1	FA-CBL***FM2V	2		4
DC100V入力	AX60-S1	DC100/110/125V入力、8点1コモン 入力電流2mA	16点	1	QX40	16点	1	FA-CBL**TMV20	1	FA-TH16X100D31L	1
				2	QX41	32点	1	FA-CBL***FM2V	1		2
				4	QX42	64点	1	FA-CBL***FM2V	2		4

FAグッズ〈出力タイプターミナルユニット〉を活用した場合の置換え機種一覧表

MELSEC-Aシリーズ入力ユニット					FAグッズを使用した置換え MELSEC-Qシリーズユニット			FAグッズインタフェースターミナルユニット			
出力タイプ	形　名	仕　様	点数	台数	形　名	点数	必要台数	ケーブル形名	必要本数	ユニット形名	必要台数
トランジスタ出力	AY40A	DC12／24V 0.3A、独立コモン シンクタイプ	16点	1	QY40P	16点	1	FA-CBL**TMV20	1	FA-TH16YTR20S	1
				2	QY41P	32点	1	FA-CBL***FM2V	1		2
				4	QY42P	64点	1	FA-CBL***FM2V	2		4

***:ケーブル長です。

FAグッズを使用した置換え								
	FAグッズコネクター端子台変換ユニット							
	ケーブル形名	必要本数	ユニット形名	必要台数	仕　様	点数	端子	備　　考
	FA-CBL***TD	2	FA-TB18XY	2	18点端子変換(8点変換、1線式)	8点	18P	・8点のため2台必要
		4		4				・8点のため4台必要
	FA-CBL***TD	2	FA-TB18XY	2	18点端子変換(8点変換、独立コモン)	8点	18P	・8点のため2台必要 ・DC48Vは使用不可
	FA-CBL***TD	2	FA-TB18XY	2	18点端子変換(8点変換、独立コモン)	8点	18P	・8点のため2台必要 ・独立コモンのため別途渡り線が必要 ・ヒューズ無 ・DC48Vは使用不可
	FA-CBL***TD	2	FA-TB18XY	2	18点端子変換(8点変換、独立コモン)	8点	18P	・8点のため2台必要 ・独立コモンのため別途渡り線が必要 ・ヒューズ無 ・DC48Vは使用不可
	FA-CBL***TD	2	FA-TB18XY	2	18点端子変換(8点変換、独立コモン)	8点	18P	・8点のため2台必要 ・独立コモンのため別途渡り線が必要 ・ヒューズ無 ・DC48Vは使用不可

***:ケーブル長です。

FAグッズを使用した置換え			
FAグッズインタフェースターミナルユニット			
	仕　様	配線上の注意事項	備　　考
	AC200-220V入力、16点/1コモン 入力電流約7.5mA		・入力電圧200-220Vとなります。 ・入力電流10mAに対し、7.5mAとなります。 ・DC24V外部供給電源が必要となります。
	AC200-220V入力、16点/1コモン 入力電流約7.5mA		
	DC100/110V入力、16点/1コモン 入力電流2.5mA	・8点1コモンとして使用することはできません。 ・端子台はM3.5ネジを使用しています。	・入力電圧DC100/110Vとなります。 ・入力電流2mAに対し、2.5mAとなります。 ・DC24V外部供給電源が必要となります。

***:ケーブル長です。

FAグッズを使用した置換え		
FAグッズインタフェースターミナルユニット		
	仕　様	備　　考
	DC3-30V 1A、独立コモン (ソケットタイプでトランジスタ交換可能)	・DC12V出力として使用する場合は、別途DC24V外部供給電源が必要となります。

AnS L series MELSEC-AnSシリーズ／MELSEC-Lシリーズ リニューアルツール

MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Lシリーズへリニューアルする場合

■MELSEC-Lシリーズへ置換えが容易

三菱電機株式会社製シーケンサMELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Lシリーズに置換えることが容易にできます。

■入力／出力／アナログ／高速カウンタユニットへの配線作業時間の大幅短縮／配線ミスの大幅低減

●MELSEC-AnSシリーズの入力／出力／アナログ／高速カウンタユニットに接続されていた配線は、変換アダプタを経由することで、MELSEC-Lシリーズにそのまま接続できます。（一部、電源およびコモン端子の接続変更が必要となります。）

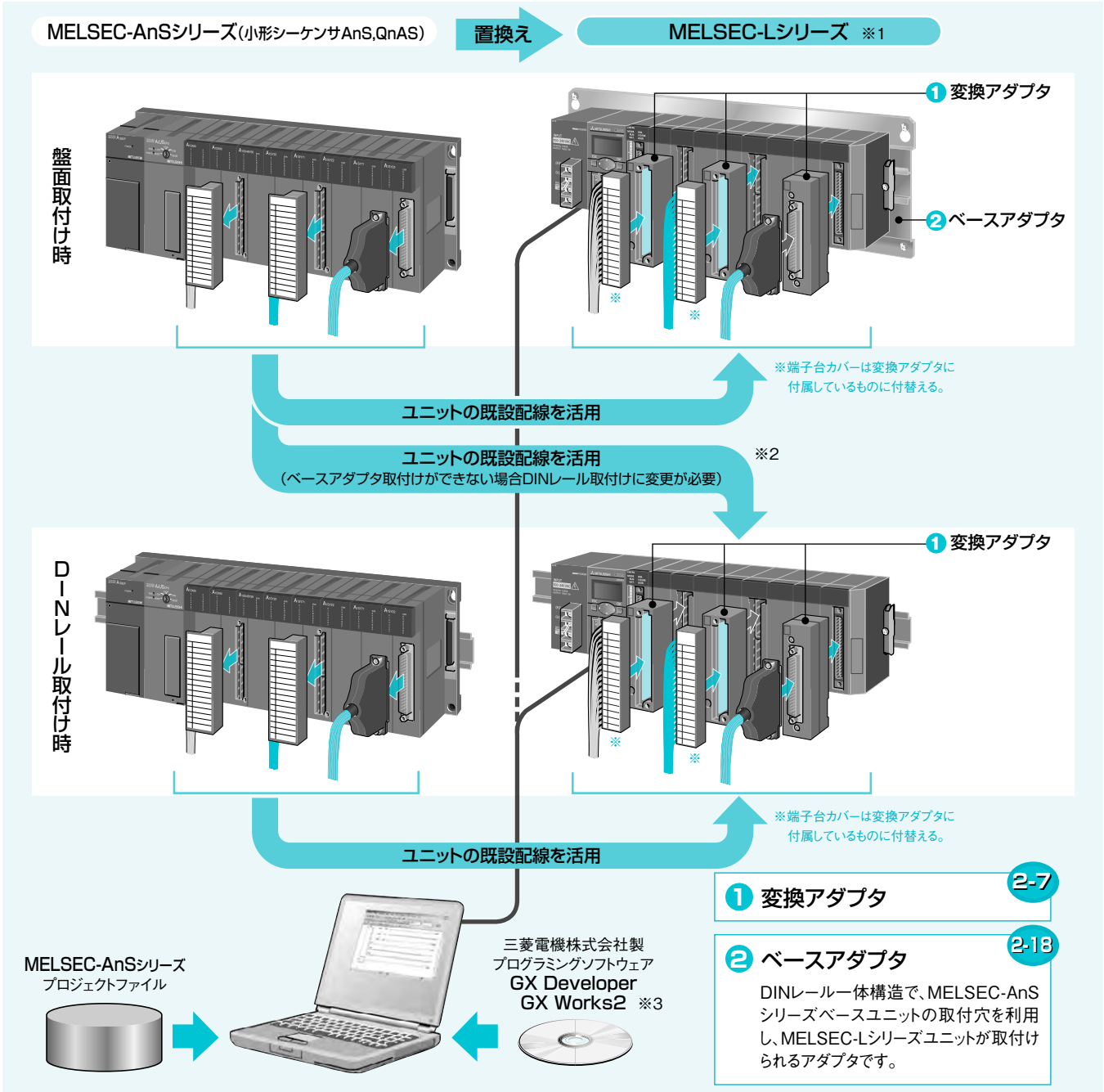
●ベースアダプタを使用することにより、MELSEC-AnSシリーズのベースユニット取付穴を利用し、MELSEC-Lシリーズが設置可能です。（追加穴加工不要）
DINレール取付け時にも対応可能です。

■シーケンスプログラムの流用が可能

三菱電機株式会社製プログラミングソフトウェアGX Developer（一部のCPUタイプではGX Works2が必要）のPCタイプ変更により、MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Lシリーズに変更してプログラムを流用することが可能です。

製品の概要

本製品は、三菱電機株式会社製シーケンサMELSEC-AnSシリーズユニットに接続されていた既設配線をMELSEC-Lシリーズユニットに配線変更する「変換アダプタ」と、MELSEC-AnSシリーズベースユニットの取付穴を流用しMELSEC-Lシリーズが取付け可能な「ベースアダプタ」で構成されています。



1 変換アダプタ 2-7

2 ベースアダプタ 2-18

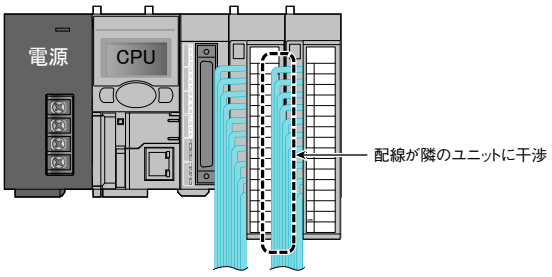
DINレール一体構造で、MELSEC-AnSシリーズベースユニットの取付穴を利用し、MELSEC-Lシリーズユニットが取付けられるアダプタです。

※1:MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Lシリーズに置換えた際、ユニット幅寸法と奥行き寸法が変わるため、取付け上の確認が必要です。詳しくは「ご使用上の注意点」（2-19ページ）を参照してください。

※2:置換え後のMELSEC-Lシステムがベースアダプタ横幅寸法に収まらない場合。「置換え時の取付方法の選定」（2-3ページ）によりご確認ください。

※3:三菱電機株式会社製プログラミングソフトウェアGX DeveloperのPCタイプ変更により、MELSEC-AnSシリーズ（既存プログラム）からMELSEC-Lシリーズに変更することでプログラムの流用が可能です。なお、L02CPU（-P）、L26CPU-（P）BT以外に変更する場合、GX DeveloperでPCタイプ変更後、GX Works2でPCタイプ変更する必要があります。詳しくはGX DeveloperおよびGX Works2のオペレーティングマニュアルを参照してください。また、三菱電機株式会社ではLシリーズへのプログラムの置換えをサポートするツールを準備しています。

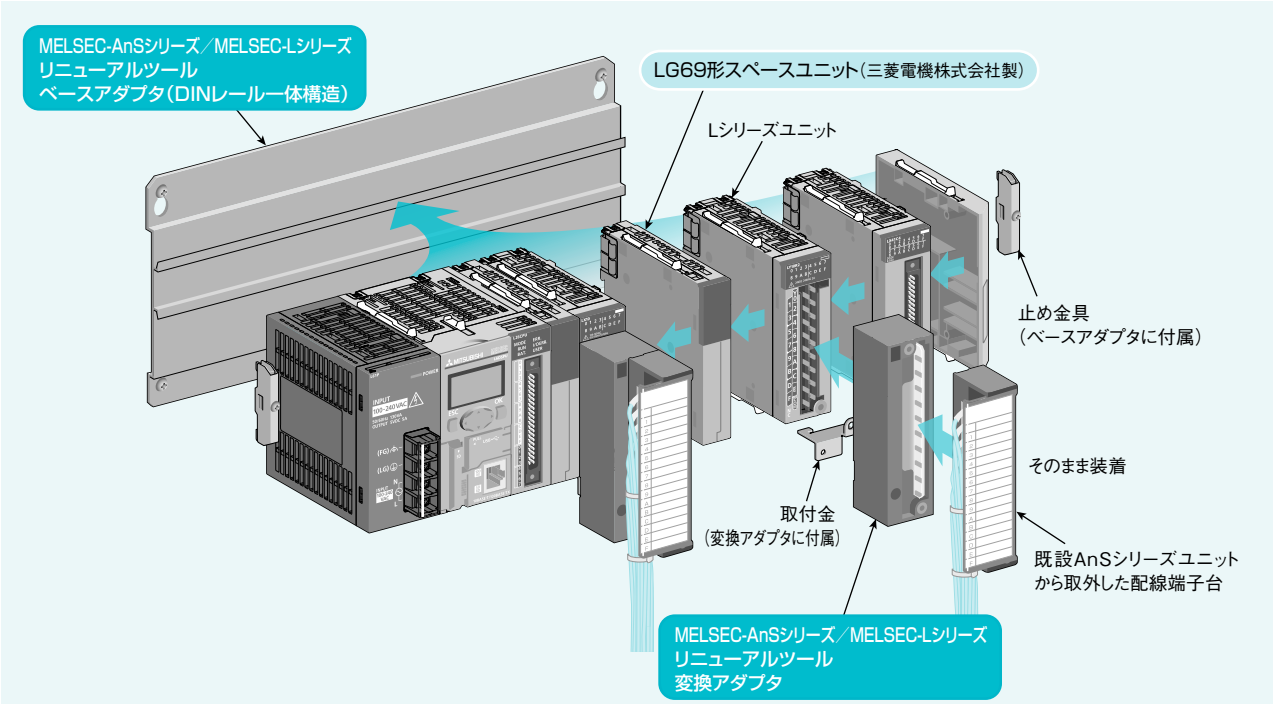
端子台タイプのユニットを置換える場合、配線が隣のユニットに干渉する可能性がありますので、三菱電機株式会社製LG69形スペースユニットの使用を推奨します。



三菱電機株式会社製

LG69形スペースユニット

配線領域を確保できるため、隣のユニットとの配線の干渉を軽減できます。



注　意

●LG69形スペースユニットを使用する場合、装着台数に制約があります。詳しくは三菱電機株式会社発行「MELSEC-L　CPUユニットユーザーズマニュアル（ハードウェア設計・保守点検編）」を参照してください。

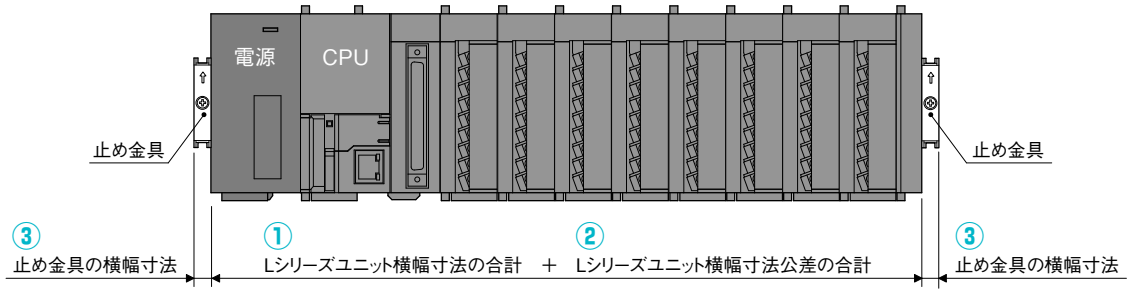
●システム構成により横幅寸法が大きくなり、ベースアダプタを使用できない場合があります。次頁の「置換え時の取付方法の選定」によりご確認ください。

置換え時の取付方法の選定

MELSEC-Lシリーズは、ベースレスによるユニット同士を連結する構造です。そのため各ユニットの横幅寸法公差を考慮して、置換え後システムの横幅寸法を計算する必要があります。横幅寸法の計算結果により取付方法（ベースアダプタまたはDINレール）が決まります。

◎置換え後システムの横幅寸法の計算

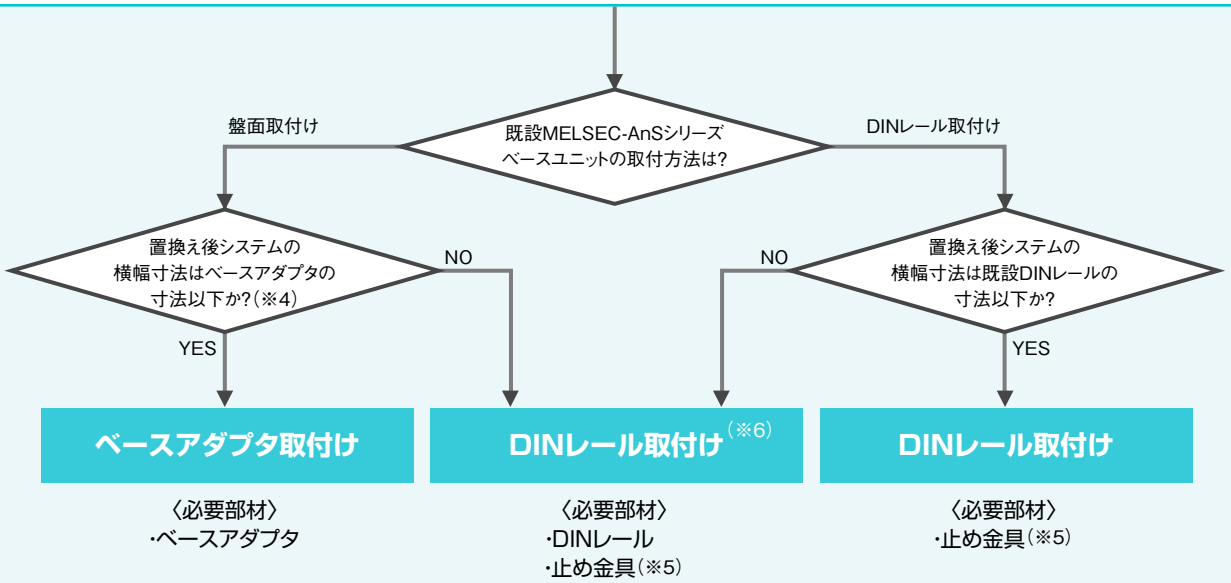
システムの横幅寸法を下式により計算してください。



① Lシリーズユニット横幅寸法の合計（※1） ＋ ② Lシリーズユニット横幅寸法公差の合計（※2） ＋ ③ 止め金具の横幅寸法（※3）

横幅寸法の自動計算

Web情報サービスMEEFANにて提供している「リニューアル機器選定ツール」により、機種を選定するだけで自動的に横幅寸法を計算できます。



※1:Lシリーズユニットのマニュアルに記載の寸法

※2:Lシリーズユニット横幅寸法に対する寸法公差（ユニット1台あたりの値）

Lシリーズユニット横幅寸法	寸法公差
28.5mm以下	+0.5mm（ユニット1台あたり）
28.5mmを超える	+1.0mm（ユニット1台あたり）

※3:使用する止め金具の横幅寸法（ベースアダプタに付属の止め金具の場合は1個あたり9mmのため2個で18mm）

※4:各ベースアダプタの横幅寸法は外形寸法図（2-24ページ）A寸法を参照してください。
（例）ERNT-ASLB38の場合 430mm

※5:DINレールに装着できる止め金具（ユーザ手配品）を使用してください。

※6:置換え後システムが取付スペース（横幅）に収まらない場合、システムの一部を増設ブロックに分割して接続することをご検討ください。

(例)入出力ユニット8台装着したA1S38Bから置換える場合

◎スペースユニットを使用しない置換えの場合

(a)ベースアダプタERNT-ASLB38の横幅寸法:430mm

(b)置換え後の横幅寸法

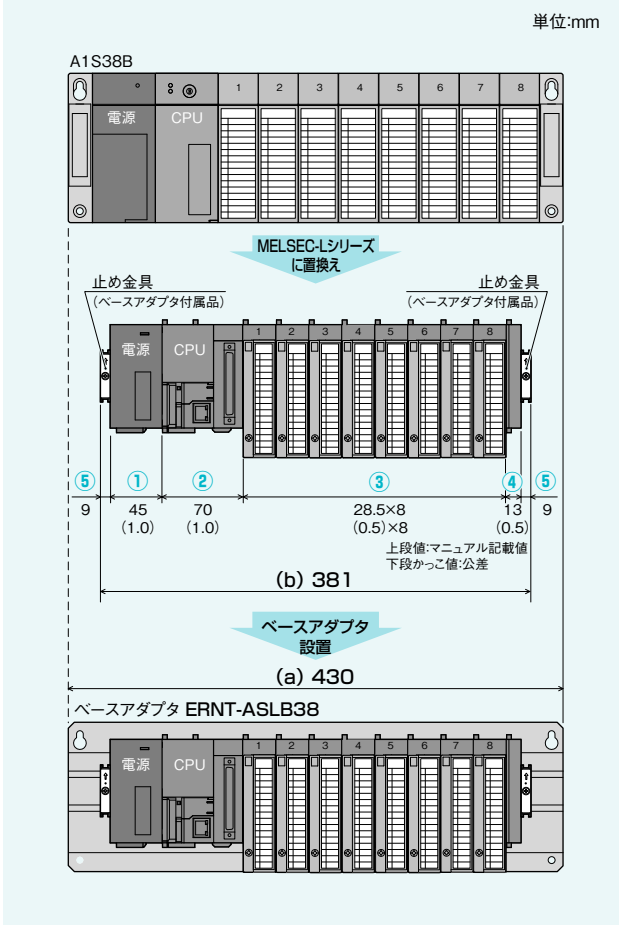
①電源ユニット　:　45mm(寸法公差+1.0mm)
②CPUユニット　:　70mm(寸法公差+1.0mm)
③入出力ユニット:28.5mm(寸法公差+0.5mm) ×8台
④ENDカバー　:　13mm(寸法公差+0.5mm)
⑤止め金具　:　9mm　×2個

(45+70+28.5×8+13)+(1.0+1.0+0.5×8+0.5)+(9×2)
Lシリーズユニット横幅寸法の合計　Lシリーズユニット横幅寸法公差の合計　止め金具横幅寸法

=356+6.5+18
=380.5mm≒Max.381mm

(a)430mm ≧ (b)381mm

ベースアダプタERNT-ASLB38の寸法430mm以下のためベースアダプタによる取付けが可能です。



◎スペースユニットを使用する置換えの場合

(a)ベースアダプタERNT-ASLB38の横幅寸法:430mm

(b)置換え後の横幅寸法

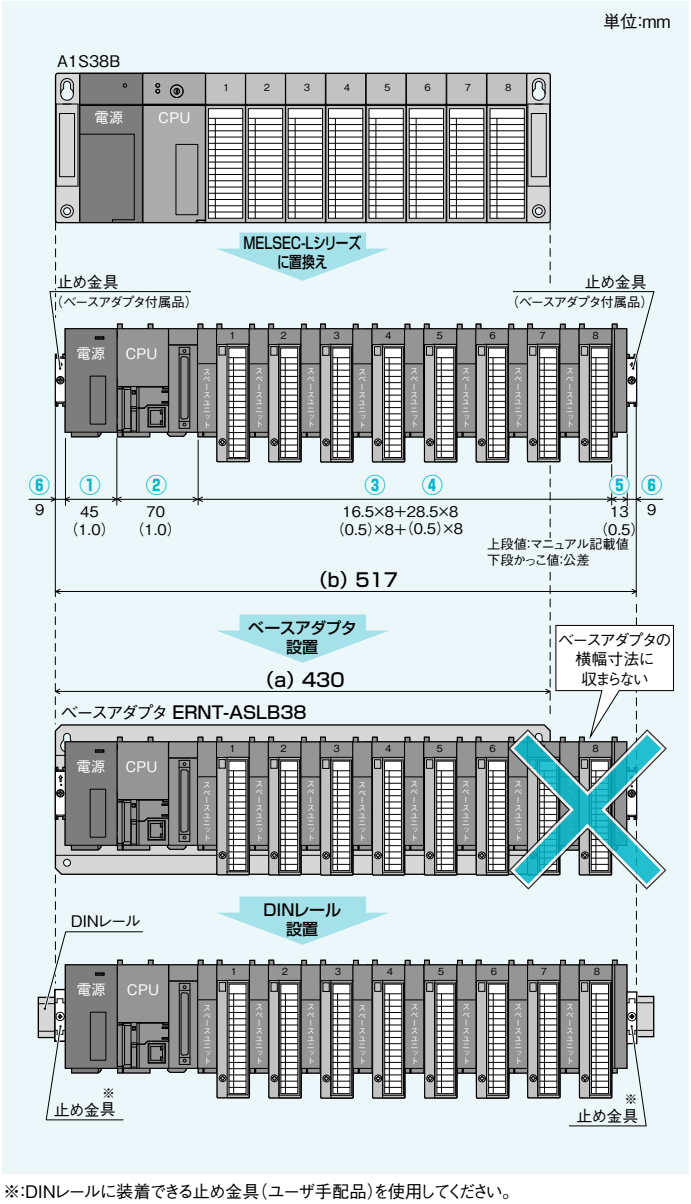
①電源ユニット　:　45mm(寸法公差+1.0mm)
②CPUユニット　:　70mm(寸法公差+1.0mm)
③スペースユニット:16.5mm(寸法公差+0.5mm) ×8台
④入出力ユニット　:28.5mm(寸法公差+0.5mm) ×8台
⑤ENDカバー　:　13mm(寸法公差+0.5mm)
⑥止め金具　:　9mm　×2個

(45+70+16.5×8+28.5×8+13)+(1.0+1.0+0.5×8+0.5×8+0.5)+(9×2)
Lシリーズユニット横幅寸法の合計　Lシリーズユニット横幅寸法公差の合計　止め金具横幅寸法

=488+10.5+18
=516.5mm≒Max.517mm

(a)430mm < (b)517mm

ベースアダプタERNT-ASLB38の寸法430mmを超えるためDINレール取付けになります。



※:DINレールに装着できる止め金具(ユーザ手配品)を使用してください。

機種一覧

❶ 変換アダプタ

変換アダプタを選定する際は、2-7～2-17ページのユニット仕様比較表および(注)文を必ず参照ください。
1コモンあたりの点数が異なる等の注意文が記載されています。またユニット仕様比較表に記載されていない詳細仕様、一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。なお、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Lシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

入力／出力ユニット用

〈1ユニットタイプ〉

入力／出力	置換前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Lシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 MELSEC-AnSシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Lシリーズ	入力／出力点数	掲載ページ
入力	A1SX10	LX10	ERNT-ASLTXY10	端子台(20点)	端子台(18点)	16点	2-7
	A1SX10EU						
出力	A1SY10	LY10R2					
	A1SY10EU						
入力	A1SX40	LX40C6	ERNT-ASLTX40				2-8
	A1SX40-S1						
	A1SX40-S2						
	A1SX80	LX40C6	ERNT-ASLTX80				2-8
	A1SX80-S1						
	A1SX80-S2						
出力	A1SY22	LY20S6	ERNT-ASLTY22				2-9
	A1SY40	LY40NT5P	ERNT-ASLTY40				2-9
	A1SY40P						
	A1SY50	LY40NT5P	ERNT-ASLTY50				2-10
	A1SY80	LY40PT5P	ERNT-ASLTY80				2-10
入力	A1SX81	LX41C4	ERNT-ASLCXY81	D-Subコネクタ(37p)	コネクタ(40p)	32点	2-11
	A1SX81-S2						
出力	A1SY81	LY41PT1P					
	A1SY81EP						

注)1.以下に示す入力／出力ユニットは変換アダプタ未対応ですので再配線が必要となります。なお、MELSEC-Lシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

入力／出力	置換前MELSEC-AnSシリーズユニット 形名	置換前MELSEC-AnSシリーズユニット 点数	置換後MELSEC-Lシリーズユニット 形名	置換後MELSEC-Lシリーズユニット 点数	置換後MELSEC-Lシリーズユニット 必要台数
入力	A1SX20	16点	LX28	8点	2台
	A1SX20EU				
	A1SX30	16点	LX40C6(DC24V時)	16点	1台
出力	A1SY14EU	12点	LY10R2	16点	1台
複合入出力	A1SX48Y18	入力8点+出力8点	LX40C6+LY10R2	16点+16点	1台+1台
	A1SX48Y58	入力8点+出力8点	LX40C6+LY40NT5P	16点+16点	1台+1台
出力	A1SY18A	8点	LY18R2A	8点	1台
	A1SY18AEU				
	A1SY28A	8点	LY28S1A	8点	1台
	A1SY28EU				
	A1SY60	16点	MELSEC-Lシリーズに該当するユニットがありません。		
	A1SY60E				
	A1SY68A	8点			
	A1SY71	32点			
ダイナミック入力	A1S42X	16/32/48/64点			
ダイナミック出力	A1S42Y	16/32/48/64点			

注)2.以下に示す入力／出力ユニットは、既設配線をそのまま使用できます。なお、MELSEC-Lシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

入力／出力	置換前MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換後MELSEC-Lシリーズ ユニット形名
入力	A1SX41	LX41C4(DC24V時)
	A1SX41-S1	LX41C4
	A1SX41-S2	
	A1SX42	LX42C4(DC24V時)
	A1SX42-S1	LX42C4
	A1SX42-S2	
	A1SX71	LX41C4(DC24V時)
	A1SX82-S1	LX42C4
出力	A1SY41	LY41NT1P
	A1SY41P	
	A1SY42	LY42NT1P
	A1SY42P	
	A1SY82	LY42PT1P

入力／出力	置換前MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換後MELSEC-Lシリーズ ユニット形名
複合入出力	A1SH42	LH42C4NT1P(DC24V時)
	A1SH42P	
	A1SH42-S1	LH42C4NT1P
	A1SH42P-S1	

アナログユニット用

〈1ユニットタイプ〉

入力／出力	置換前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Lシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 MELSEC-AnSシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Lシリーズ	チャンネル数	掲載ページ
入力	A1S64AD	L60AD4	ERNT-ASLT64AD	端子台(20点)	端子台(18点)	4チャンネル	2-12
出力	A1S62DA	L60DA4	ERNT-ASLT62DA			2チャンネル	2-13

注)3.上記のインテリジェント機能ユニット以外は変換アダプタ未対応ですので、再配線が必要となります。

高速カウンタユニット用

〈1ユニットタイプ〉

置換前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Lシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 MELSEC-AnSシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Lシリーズ	チャンネル数	掲載ページ
A1SD61	LD62	ERNT-ASLTD61	端子台(20点)	コネクタ(40p)	1チャンネル	2-14～2-15
A1SD62	LD62	ERNT-ASLTD62			2チャンネル	2-16～2-17

② ベースアダプタ

MELSEC-AnSシリーズベースユニットの取付穴を利用し、MELSEC-Lシリーズユニットを設置可能とするものです。
ベースアダプタの横幅寸法は、置換え前のMELSEC-AnSシリーズベースユニットと同じです。そのため、スペースユニット(LG69)を使用しない場合でも、以下の注意事項があります。

基本／増設	置換前MELSEC-AnSシリーズ ベースユニット形名	ベースアダプタ形名	置換え時の注意事項	掲載ページ
基本	A1S38B	ERNT-ASLB38	—	2-18
	A1S38HB			
	A1S35B	ERNT-ASLB35	—	
	A1S33B	ERNT-ASLB33	増設ブロックを接続する場合、装着できるユニット数は2ユニット(※1)となります。	
	A1S32B	ERNT-ASLB32	増設ブロックを接続する場合、装着できるユニット数は1ユニット(※1)となります。	
	A1SJCPU	ERNT-ASLBJ	—	
	A1SJCPU-S3			
	A1SJHCPU			
増設	A1S68B	ERNT-ASLB68	—	
	A1S65B	ERNT-ASLB65	—	
	A1S58B	ERNT-ASLB58	—	
	A1S55B	ERNT-ASLB55	—	
	A1S52B	ERNT-ASLB52	装着できるユニット数は1ユニット(※1)となります。	

※1:横幅寸法が28.5mmのユニット

変換アダプタ

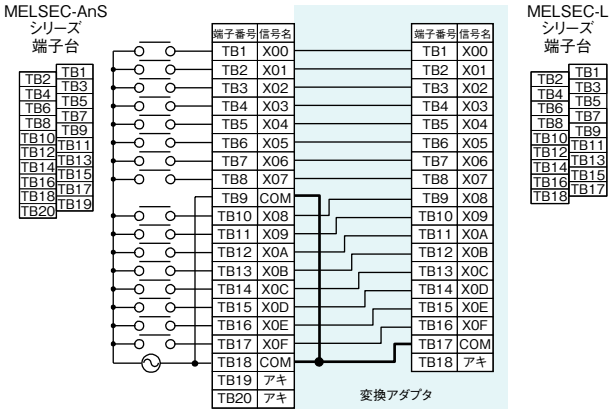
仕　様

入力／出力ユニット用
1ユニットタイプ

(1)ERNT-ASLTXY10　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	入力／出力 点数	MELSEC-Lシリーズ ユニット形名
ERNT-ASLTXY10	A1SX10	16点	LX10
	A1SX10EU		
	A1SY10	16点	LY10R2
	A1SY10EU		

A1SX10/A1SX10EU→LX10の場合

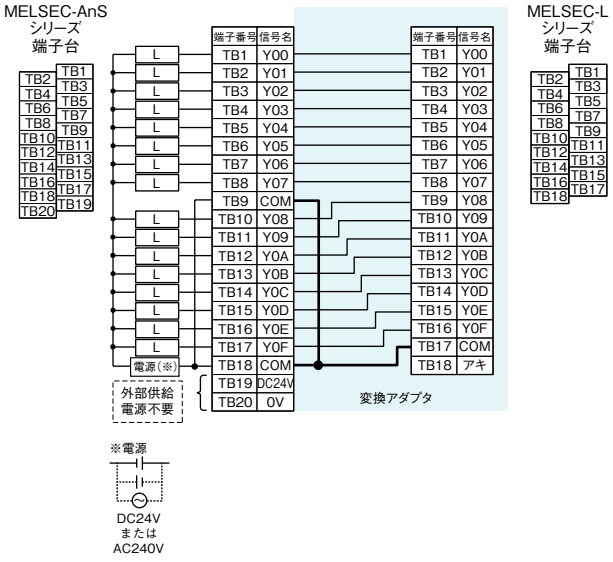


〈仕様比較表〉

形名 / 仕様		MELSEC-AnSシリーズ A1SX10	MELSEC-AnSシリーズ A1SX10EU	MELSEC-Lシリーズ LX10
入力点数		16点	16点	16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		AC100−120V 50/60Hz	AC100−120V 50/60Hz	AC100−120V(+10/−15%) 50/60Hz(±3Hz)
定格入力電流		約6mA(AC100V、60Hz)	約7mA(AC120V、60Hz)	8.2mA(AC100V、60Hz) 6.8mA(AC100V、50Hz)
突入電流		最大200mA 1ms以内 (AC132V)	最大200mA 1ms以内 (AC132V)	最大200mA 1ms以内
ON電圧/ON電流		AC80V以上/5mA以上	AC80V以上/5mA以上	AC80V以上/5mA以上 (50Hz、60Hz)
OFF電圧/OFF電流		AC30V以下/1.4mA以下	AC30V以下/1.4mA以下	AC30V以下/1.7mA以下 (50Hz、60Hz)
入力インピーダンス		約18kΩ(60Hz) 約21kΩ(50Hz)	約18kΩ(60Hz) 約21kΩ(50Hz)	12.2kΩ(60Hz) 14.6kΩ(50Hz)
応答時間	OFF→ON	20ms以下	20ms以下	15ms以下
	ON→OFF	35ms以下	35ms以下	20ms以下
内部消費電流		50mA(TYP.全点ON)	50mA(TYP.全点ON)	90mA(TYP.全点ON)
コモン方式		16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン
外部接続方式		20点端子台	20点端子台	18点端子台

(注)1. □は、MELSEC-Lシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
2.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Lシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

A1SY10/A1SY10EU→LY10R2の場合



※電源
DC24V または AC240V

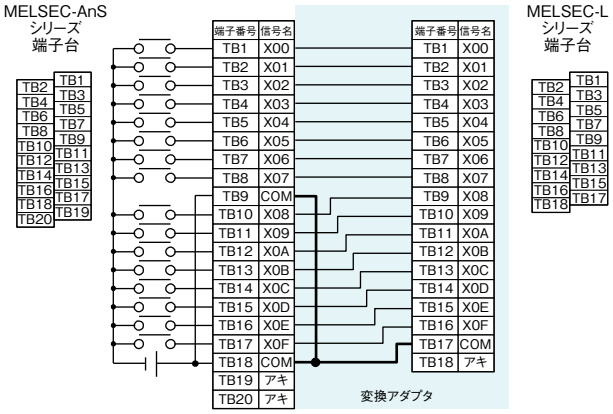
〈仕様比較表〉

形名 / 仕様		MELSEC-AnSシリーズ A1SY10	MELSEC-AnSシリーズ A1SY10EU	MELSEC-Lシリーズ LY10R2
出力点数		16点	16点	16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	リレー絶縁
定格開閉電圧・電流		AC240/2A (cosφ=1) DC24V/2A(抵抗負荷) 8A/1コモン	AC120/2A (cosφ=1) DC24V/2A(抵抗負荷) 8A/1コモン	AC240/2A (cosφ=1) DC24V/2A(抵抗負荷) 8A/1コモン
最小開閉負荷		DC5V 1mA	DC5V 1mA	DC5V 1mA
最大開閉電圧		AC264V DC125V	AC132V DC125V	AC264V DC125V
応答時間	OFF→ON	10ms以下	10ms以下	10ms以下
	ON→OFF	12ms以下	12ms以下	12ms以下
サージキラー		無	無	無
ヒューズ		無	無	無
内部消費電流		120mA(TYP.全点ON)	120mA(TYP.全点ON)	460mA(TYP.全点ON)
コモン方式		8点1コモン	8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式		20点端子台	20点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB9とTB18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB19、TB20に接続されていた外部供給電源は不要となります。ただし、変換アダプタ内部では未配線状態のため、接続したままの状態でも問題ありません。
3. □は、MELSEC-Lシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Lシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(2)ERNT-ASLTX40　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Lシリーズ ユニット形名
ERNT-ASLTX40	A1SX40	16点	LX40C6
	A1SX40-S1		
	A1SX40-S2		



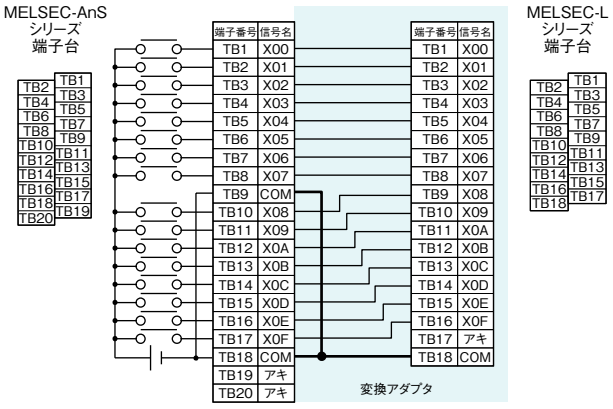
〈仕様比較表〉

仕様＼形名	MELSEC-AnSシリーズ A1SX40 (シンクタイプ)	A1SX40-S1 (シンクタイプ)	A1SX40-S2 (シンクタイプ)	MELSEC-Lシリーズ LX40C6 (プラスコモン/マイナスコモン共用)
入力点数	16点	16点	16点	16点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格入力電圧	DC12V/DC24V	DC24V	DC24V	DC24V
定格入力電流	約3mA/約7mA	約7mA	約7mA	6mA TYP.
ON電圧/ON電流	DC8V以上 /2mA以上	DC14V以上 /4mA以上	DC14V以上 /3.5mA以上	DC15V以上/4mA以上
OFF電圧/OFF電流	DC4V以下 /1mA以下	DC6.5V以下 /1.7mA以下	DC6.5V以下 /1.7mA以下	DC8V以下/2mA以下
入力抵抗	約3.3kΩ	約3.3kΩ	約3.3kΩ	3.8kΩ
応答時間 OFF→ON	10ms以下	0.1ms以下	10ms以下	1/5/10/20/70ms以下
応答時間 ON→OFF	10ms以下	0.2ms以下	10ms以下	1/5/10/20/70ms以下
内部消費電流	50mA (TYP.全点ON)	50mA (TYP.全点ON)	50mA (TYP.全点ON)	90mA (TYP.全点ON)
コモン方式	16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン
外部接続方式	20点端子台	20点端子台	20点端子台	18点端子台

(注)1.A1SX40から置換える際、定格入力電圧をDC12Vで使用している場合はDC24Vに変更する必要があります。
2. □は、MELSEC-Lシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Lシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(3)ERNT-ASLTX80　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Lシリーズ ユニット形名
ERNT-ASLTX80	A1SX80	16点	LX40C6
	A1SX80-S1		
	A1SX80-S2		



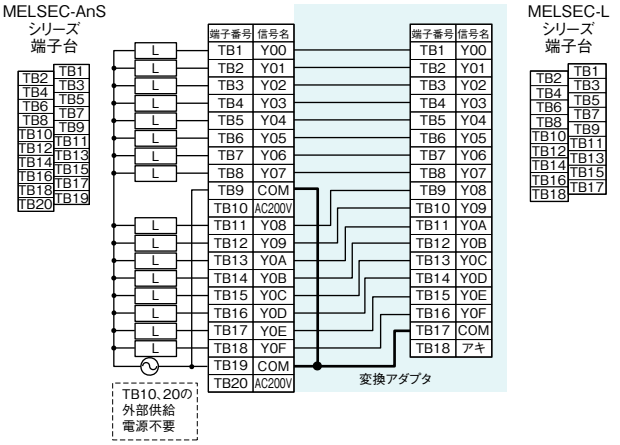
〈仕様比較表〉

仕様＼形名	MELSEC-AnSシリーズ A1SX80 (シンク/ソースタイプ)	A1SX80-S1 (シンク/ソースタイプ)	A1SX80-S2 (シンク/ソースタイプ)	MELSEC-Lシリーズ LX40C6 (プラスコモン/マイナスコモン共用)
入力点数	16点	16点	16点	16点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格入力電圧	DC12V/DC24V	DC24V	DC24V	DC24V
定格入力電流	約3mA/約7mA	約7mA	約7mA	6mA TYP.
ON電圧/ON電流	DC8V以上 /2mA以上	DC17V以上 /5mA以上	DC13V以上 /3.5mA以上	DC15V以上/4mA以上
OFF電圧/OFF電流	DC4V以下 /1mA以下	DC5V以下 /1.7mA以下	DC6V以下 /1.7mA以下	DC8V以下/2mA以下
入力抵抗	約3.3kΩ	約3.3kΩ	約3.3kΩ	3.8kΩ
応答時間 OFF→ON	10ms以下	0.4ms以下	10ms以下	1/5/10/20/70ms以下
応答時間 ON→OFF	10ms以下	0.5ms以下	10ms以下	1/5/10/20/70ms以下
内部消費電流	50mA (TYP.全点ON)	50mA (TYP.全点ON)	50mA (TYP.全点ON)	90mA (TYP.全点ON)
コモン方式	16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン
外部接続方式	20点端子台	20点端子台	20点端子台	18点端子台

(注)1.A1SX80から置換える際、定格入力電圧をDC12Vで使用している場合は、DC24Vに変更する必要があります。
2. □は、MELSEC-Lシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Lシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(4)ERNT-ASLTY22　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Lシリーズ ユニット形名
ERNT-ASLTY22	A1SY22	16点	LY20S6



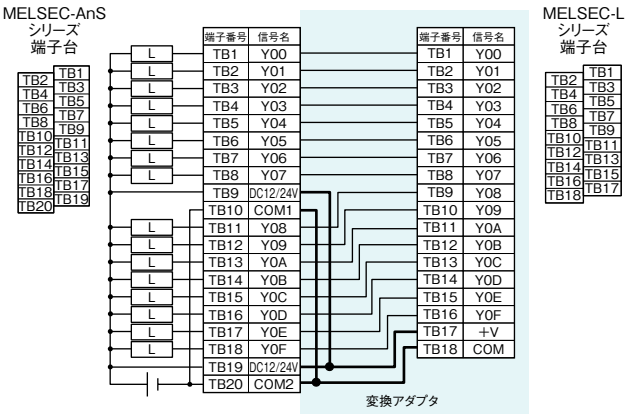
〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ A1SY22	MELSEC-Lシリーズ LY20S6
出力点数		16点	16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		AC100-240V 50/60Hz±3Hz	AC100-240V(+10/−15%) 50/60Hz(±3Hz)
最大負荷電流		0.6A/1点 2.4A/1コモン	0.6A/1点 4.8A/1コモン
最小負荷電圧・電流		AC24V 100mA AC100V 10mA AC240V 20mA	AC24V 100mA AC100V 25mA AC240V 25mA
最大突入電流		20A 10ms以下、8A 100ms以下	20A 1サイクル以下
OFF時漏洩電流		1.5mA(AC120V 60Hz) 3mA(AC240V 60Hz)	1.5mA(AC120V 60Hz時) 3mA以下(AC240V 60Hz時)
ON時最大電圧降下		AC1.5V以下(0.1～0.6A) AC1.8V以下(50～100mA) AC2V以下(10～50mA)	1.5V以下 (負荷電流 0.6A時)
応答時間	OFF→ON	1ms以下	1ms以下+0.5サイクル以下
	ON→OFF	1ms+0.5サイクル以下	1ms+0.5サイクル以下 (定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー		CRアブソーバ	CRアブソーバ
ヒューズ		5A(1コモン/1個)交換不可	無(外部配線1点毎にヒューズ取付け推奨)
内部消費電流		270mA(TYP.全点ON)	300mA(TYP.全点ON)
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式		20点端子台	18点端子台

(注)1.コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB9とTB19を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB10、TB20に接続されていた外部供給電源は不要となります。ただし、変換アダプタ内部では未配線状態のため、接続したままの状態でも問題ありません。
3. □は、MELSEC-Lシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Lシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(5)ERNT-ASLTY40　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Lシリーズ ユニット形名
ERNT-ASLTY40	A1SY40 A1SY40P	16点	LY40NT5P



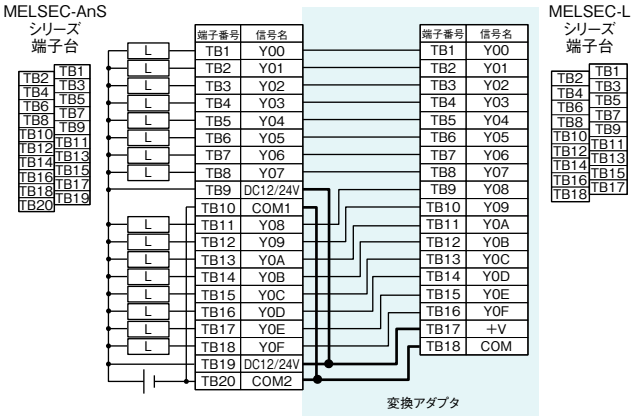
〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ A1SY40 (シンクタイプ)	MELSEC-AnSシリーズ A1SY40P (シンクタイプ)	MELSEC-Lシリーズ LY40NT5P (シンクタイプ)
出力点数		16点	16点	16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12V/24V	DC12V/24V	DC12/24V
最大負荷電流		0.1A/1点 0.8A/1コモン	0.1A/1点 0.8A/1コモン	0.5A/1点 5A/1コモン
最大突入電流		0.4A 10ms以下	0.7A 10ms以下	過負荷保護機能による電流制限あり
OFF時漏洩電流		0.1mA以下	0.1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC1.0V(TYP) 0.1A DC2.5V(MAX) 0.1A	DC0.1V(TYP) 0.1A DC0.2V(MAX) 0.1A	DC0.2V(TYP) 0.5A DC0.3V(MAX) 0.5A
応答時間	OFF→ON	2ms以下	1ms以下	0.5ms以下
	ON→OFF	2ms以下 (抵抗負荷)	1ms以下 (定格負荷、抵抗負荷)	1ms以下 (定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー		ツェナーダイオード	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		1.6A(1コモン/1個)交換不可	無	無
内部消費電流		270mA(TYP.全点ON)	79mA(TYP.全点ON)	100mA(TYP.全点ON)
保護機能		無	有 (過熱保護、過負荷保護)	有 (過熱保護、過負荷保護)
コモン方式		8点1コモン	8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式		20点端子台	20点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB9とTB19およびTB10、TB20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Lシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Lシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(6)ERNT-ASLTY50　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Lシリーズ ユニット形名
ERNT-ASLTY50	A1SY50	16点	LY40NT5P



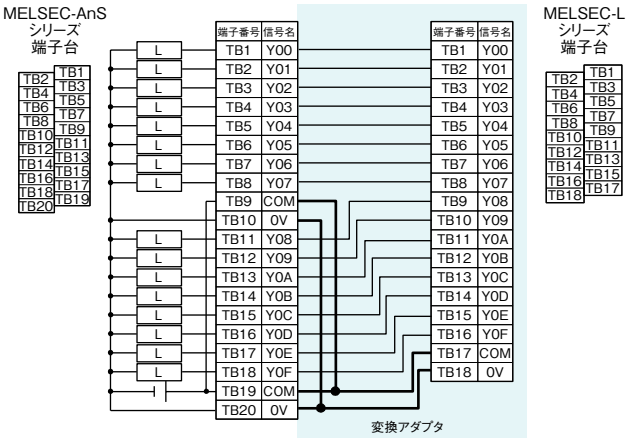
〈仕様比較表〉

形名 / 仕様	MELSEC-AnSシリーズ A1SY50 (シンクタイプ)	MELSEC-Lシリーズ LY40NT5P (シンクタイプ)
出力点数	16点	16点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧	DC12V/24V	DC12/24V
最大負荷電流	0.5A/1点 2A/1コモン	0.5A/1点 5A/1コモン
最大突入電流	4A 10ms以下	過負荷保護機能による電流制限あり
OFF時漏洩電流	0.1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下	DC0.9V(TYP)　0.5A DC1.5V(MAX)　0.5A	DC0.2V(TYP)　0.5A DC0.3V(MAX)　0.5A
応答時間 OFF→ON	2ms以下	0.5ms以下
応答時間 ON→OFF	2ms以下(抵抗負荷)	1ms以下(定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ	3.2A(1コモン/1個)交換不可	無
保護機能	無	有(過熱保護、過負荷保護)
内部消費電流	120mA(TYP.全点ON)	100mA(TYP.全点ON)
コモン方式	8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式	20点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB9とTB19およびTB10、TB20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Lシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Lシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(7)ERNT-ASLTY80　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Lシリーズ ユニット形名
ERNT-ASLTY80	A1SY80	16点	LY40PT5P



〈仕様比較表〉

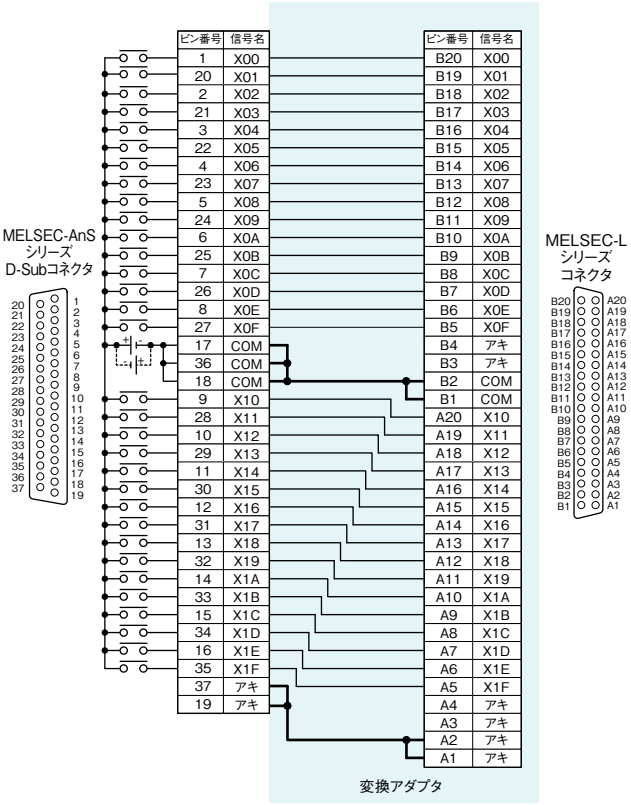
形名 / 仕様	MELSEC-AnSシリーズ A1SY80 (ソースタイプ)	MELSEC-Lシリーズ LY40PT5P (ソースタイプ)
出力点数	16点	16点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧	DC12V/24V	DC12/24V
最大負荷電流	0.8A/1点 3.2A/1コモン	0.5A/1点 5A/1コモン
最大突入電流	8A 10ms以下	過負荷保護機能による電流制限あり
OFF時漏洩電流	0.1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下	DC1.5V(MAX)　0.8A	DC0.2V(TYP)　0.5A DC0.3V(MAX)　0.5A
応答時間 OFF→ON	2ms以下	0.5ms以下
応答時間 ON→OFF	2ms以下(抵抗負荷)	1ms以下(定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ	5A(1コモン/1個) 交換不可	無
保護機能	無	有(過熱保護、過負荷保護)
内部消費電流	120mA(TYP.全点ON)	100mA(TYP.全点ON)
コモン方式	8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式	20点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB9とTB19およびTB10、TB20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Lシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Lシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(8)ERNT-ASLCXY81　D-Subコネクタ(37p)→コネクタ(40p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	入力／出力 点数	MELSEC-Lシリーズ ユニット形名
ERNT-ASLCXY81	A1SX81	32点	LX41C4
	A1SX81-S2		
	A1SY81	32点	LY41PT1P
	A1SY81EP		

A1SX81/A1SX81-S2→LX41C4の場合



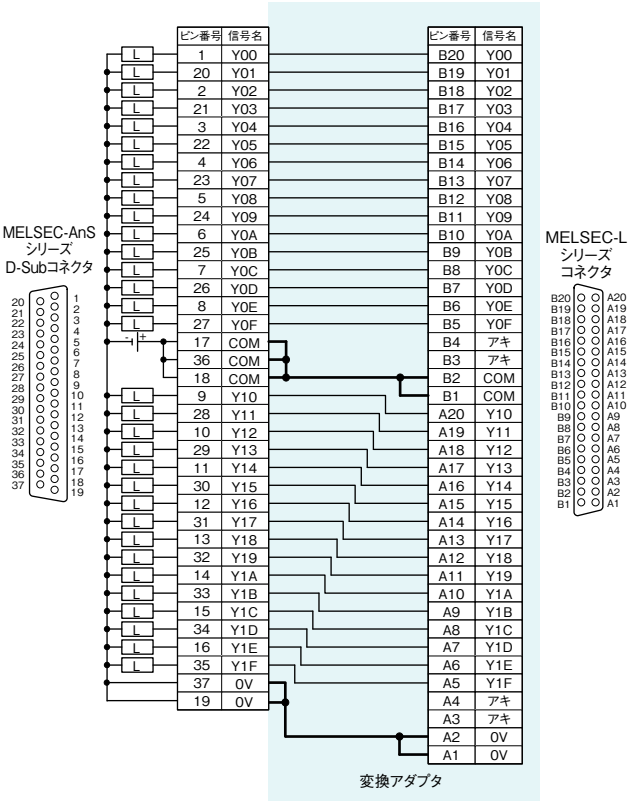
ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	X00	B20	X00
20	X01	B19	X01
2	X02	B18	X02
21	X03	B17	X03
3	X04	B16	X04
22	X05	B15	X05
4	X06	B14	X06
23	X07	B13	X07
5	X08	B12	X08
24	X09	B11	X09
6	X0A	B10	X0A
25	X0B	B9	X0B
7	X0C	B8	X0C
26	X0D	B7	X0D
8	X0E	B6	X0E
27	X0F	B5	X0F
17	COM	B4	アキ
36	COM	B3	アキ
18	COM	B2	COM
9	X10	B1	COM
28	X11	A20	X10
10	X12	A19	X11
29	X13	A18	X12
11	X14	A17	X13
30	X15	A16	X14
12	X16	A15	X15
31	X17	A14	X16
13	X18	A13	X17
32	X19	A12	X18
14	X1A	A11	X19
33	X1B	A10	X1A
15	X1C	A9	X1B
34	X1D	A8	X1C
16	X1E	A7	X1D
35	X1F	A6	X1E
37	アキ	A5	X1F
19	アキ	A4	アキ
		A3	アキ
		A2	アキ
		A1	アキ

〈仕様比較表〉

形名 / 仕様		MELSEC-AnSシリーズ A1SX81 (シンク/ソース共用)	MELSEC-AnSシリーズ A1SX81-S2 (シンク/ソース共用)	MELSEC-Lシリーズ LX41C4 (プラスコモン/マイナスコモン共用)
入力点数		32点	32点	32点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC12V　DC24V	DC24V	DC24V
定格入力電流		約3mA　約7mA	約7mA	4mA TYP.
ON電圧/ON電流		DC8V以上 /2mA以上	DC13V以上 /3.5mA以上	DC19V以上 /3mA以上
OFF電圧/OFF電流		DC4V以下 /1mA以下	DC6V以下 /1.7mA以下	DC9V以下 /1.7mA以下
入力抵抗		約3.3kΩ	約3.3kΩ	5.7kΩ
応答時間	OFF→ON	10ms以下(DC24V)	10ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	10ms以下(DC24V)	10ms以下	1/5/10/20/70ms以下
内部消費電流		80mA(TYP.全点ON)	80mA(TYP.全点ON)	100mA(TYP.全点ON)
コモン方式		32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外部接続方式		37ピンD-Subコネクタ	37ピンD-Subコネクタ	40ピンコネクタ

(注)1.A1SX81から置換える際、定格入力電圧をDC12Vで使用している場合はDC24Vに変更する必要があります。
2. □は、MELSEC-Lシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。なお、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Lシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

A1SY81/A1SY81EP→LY41PT1Pの場合



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	Y00	B20	Y00
20	Y01	B19	Y01
2	Y02	B18	Y02
21	Y03	B17	Y03
3	Y04	B16	Y04
22	Y05	B15	Y05
4	Y06	B14	Y06
23	Y07	B13	Y07
5	Y08	B12	Y08
24	Y09	B11	Y09
6	Y0A	B10	Y0A
25	Y0B	B9	Y0B
7	Y0C	B8	Y0C
26	Y0D	B7	Y0D
8	Y0E	B6	Y0E
27	Y0F	B5	Y0F
17	COM	B4	アキ
36	COM	B3	アキ
18	COM	B2	COM
9	Y10	B1	COM
28	Y11	A20	Y10
10	Y12	A19	Y11
29	Y13	A18	Y12
11	Y14	A17	Y13
30	Y15	A16	Y14
12	Y16	A15	Y15
31	Y17	A14	Y16
13	Y18	A13	Y17
32	Y19	A12	Y18
14	Y1A	A11	Y19
33	Y1B	A10	Y1A
15	Y1C	A9	Y1B
34	Y1D	A8	Y1C
16	Y1E	A7	Y1D
35	Y1F	A6	Y1E
37	0V	A5	Y1F
19	0V	A4	アキ
		A3	アキ
		A2	0V
		A1	0V

〈仕様比較表〉

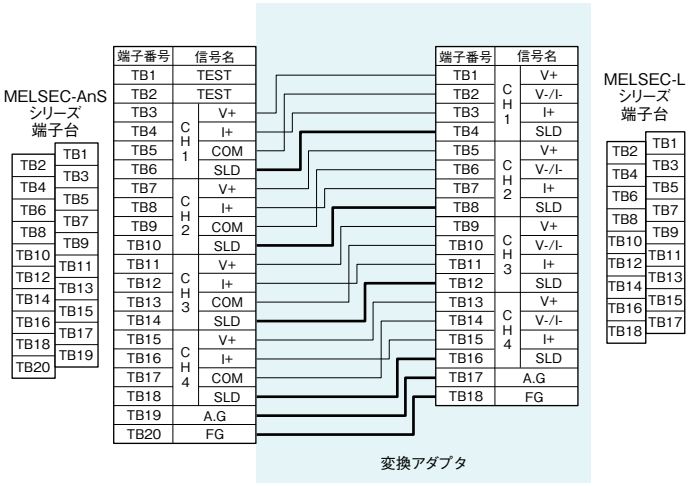
形名 / 仕様		MELSEC-AnSシリーズ A1SY81 (ソースタイプ)	MELSEC-AnSシリーズ A1SY81EP (ソースタイプ)	MELSEC-Lシリーズ LY41PT1P (ソースタイプ)
出力点数		32点	32点	32点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12/24V	DC12/24V	DC12/24V
最大負荷電流		0.1A/1点 2A/1コモン	0.1A/1点 2A/1コモン(25℃) 0.05A/1点 1.6A/1コモン(55℃)	0.1A/1点 2A/1コモン
最大突入電流		0.4A　10ms以下	制限なし (過負荷保護機能)	過負荷保護機能による 電流制限あり
OFF時漏洩電流		0.1mA以下	0.1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC1.0V(TYP) 0.1A DC2.5V(MAX) 0.1A	DC2.5V(0.1A Min) DC3.5V(0.1A Max)	DC0.1V(TYP) 0.1A DC0.2V(MAX) 0.1A
応答時間	OFF→ON	2ms以下	0.5ms以下	0.5ms以下
	ON→OFF	2ms以下 (抵抗負荷)	1.5ms以下 (抵抗負荷)	1ms以下 (定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー		ツェナーダイオード	クランプダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		3.2A(1コモン/1個) 交換不可	無	無
保護機能		無	有 (過熱保護、過負荷保護)	有 (過熱保護、過負荷保護)
内部消費電流		500mA (TYP.全点ON)	500mA (TYP.全点ON)	140mA (TYP.全点ON)
コモン方式		32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外部接続方式		37ピンD-Subコネクタ	37ピンD-Subコネクタ	40ピンコネクタ

(注)1. □は、MELSEC-Lシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
2.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。なお、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Lシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

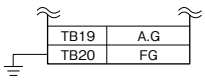
アナログユニット用
1ユニットタイプ

(1)ERNT-ASLT64AD　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Lシリーズ ユニット形名
ERNT-ASLT64AD	A1S64AD	4チャンネル	L60AD4



(注)1.FG端子(TB20)は必ず接地してください。



2.L60AD4にオフセット・ゲイン設定用端子はありません。オフセット・ゲイン設定については、L60AD4のユーザーズマニュアルを参照してください。

〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ A1S64AD			MELSEC-Lシリーズ L60AD4			
アナログ入力	電圧	DC−10〜0〜10V(入力抵抗:1MΩ)			DC−10〜10V(入力抵抗1MΩ)			
	電流	−20mA〜0〜20mA(入力抵抗250Ω)			DC0〜20mA(入力抵抗250Ω)			
ディジタル出力		16ビット符号付バイナリ 1/4000　設定時　−4096〜4095 1/8000　設定時　−8192〜8191 1/12000　設定時　−12288〜12287			−20480〜20479 (スケーリング機能使用時　−32768〜32767)			
入出力特性	アナログ入力	ディジタル出力値(ゲイン5V/20mA、オフセット0V/0mAの場合)			アナログ入力レンジ		ディジタル出力値	分解能
		1/4000設定時	1/8000設定時	1/12000設定時	電圧	0〜10V	0〜20000	500μV
						0〜5V		250μV
						1〜5V		200μV
	10V	4000	8000	12000		−10〜10V	−20000〜20000	500μV
	5Vまたは20mA	2000	4000	6000		1〜5V(拡張モード)	−5000〜22500	200μV
	0Vまたは0mA	0	0	0		ユーザレンジ設定	−20000〜20000	307μV
	−5Vまたは−20mA	−2000	−4000	−6000	電流	0〜20mA	0〜20000	1000nA
	−10V	−4000	−8000	−12000		4〜20mA		800nA
最大分解能		1/4000設定時	1/8000設定時	1/12000設定時		4〜20mA(拡張モード)	−5000〜22500	800nA
	電圧入力	2.5mV	1.25mV	0.83mV		ユーザレンジ設定	−20000〜20000	1230nA
	電流入力	10μA	5μA	3.33μA				
総合精度		1/4000設定時	1/8000設定時	1/12000設定時	周囲温度 25±5℃:±0.1%(±20digit)以内 周囲温度 0〜55℃:±0.2%(±40digit)以内			
	±1.0%以内	±40	±80	±120				
最大変換速度		20ms/チャンネル			高速:20μs/チャンネル　中速:80μs/チャンネル　低速:1ms/チャンネル			
絶対最大入力	電圧	±15V			±15V			
	電流	±30mA			30mA			
アナログ入力点数		4チャンネル/ユニット			4チャンネル/ユニット			
絶縁方式	入力端子とシーケンサ電源間	フォトカプラ絶縁			フォトカプラ絶縁			
	チャンネル間	非絶縁			非絶縁			
占有点数		32点			16点			
外部接続方式		20点端子台			18点端子台			
消費電流		0.4A			0.52A			

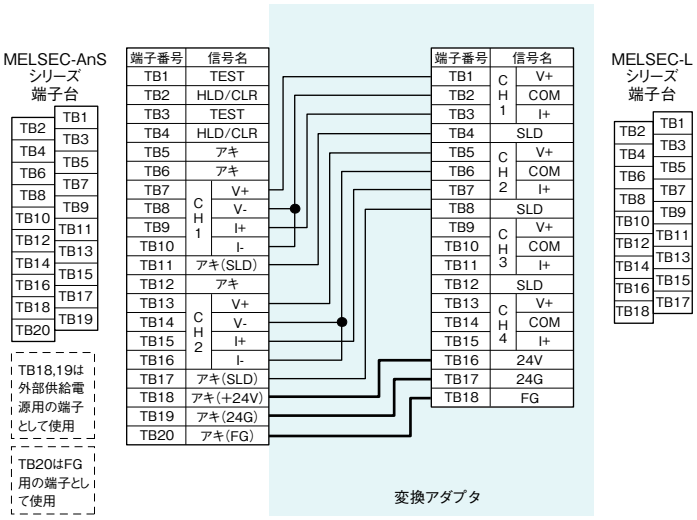
(注)3. □は、MELSEC-Lシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Lシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

●プログラム上の注意

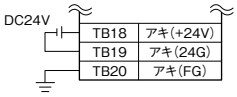
(1)A1S64ADとL60AD4では、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。
(2)A1S64ADに対してL60AD4は変換速度が速くなります。このため、A1S64ADでは取込まなかったノイズをL60AD4ではアナログ信号として取込む可能性があります。このような場合は、平均処理機能を使用しノイズの影響を除去してください。

(2)ERNT-ASLT62DA　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Lシリーズ ユニット形名
ERNT-ASLT62DA	A1S62DA	2チャンネル	L60DA4



(注)1.L60DA4側の電源供給端子(TB16、TB17)は、MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB18、TB19を使用し電源供給してください。



2.L60DA4側のFG端子(TB18)は、MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB20を使用し接地してください。

3.L60DA4にオフセット・ゲイン設定用端子およびアナログ出力ホールド／クリア設定用端子はありません。アナログ出力ホールド／クリア設定は、L60DA4のインテリジェント機能ユニットスイッチ設定で行う必要があります。
オフセット・ゲイン設定およびアナログ出力ホールド／クリア設定については、L60DA4のユーザーズマニュアルを参照してください。

〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ A1S62DA	MELSEC-Lシリーズ L60DA4
ディジタル入力		16ビット符号付バイナリ 1/4000：電圧出力 −4000～4000／電流出力 0～4000 1/8000：電圧出力 −8000～8000／電流出力 0～8000 1/12000：電圧出力 −12000～12000／電流出力 0～12000	−20480～20479 (スケーリング機能使用時　−32768～32767)
アナログ出力	電圧	DC−10～0～10V(外部負荷抵抗値2kΩ～1MΩ)	DC−10～10V(外部負荷抵抗値1kΩ～1MΩ)
	電流	DC0～20mA(外部負荷抵抗値0Ω～600Ω)	DC0～20mA(外部負荷抵抗値0Ω～600Ω)
入出力特性		電圧：ディジタル入力値 4000／2000／0／−2000／−4000／−6000／−5V／−10V 電流：ディジタル入力値 4000／2000／0／8000／4000／0／12000／6000／0／20mA／12mA／4mA 分解能 1/4000 1/8000 1/12000 アナログ出力値 10V 5V 0V	アナログ出力レンジ：電圧 0～5V／1～5V／−10～10V／ユーザレンジ設定／電流 0～20mA／4～20mA／ユーザレンジ設定 ディジタル値：0～20000／−20000～20000／0～20000／−20000～20000 分解能：250μV／200μV／500μV／333μV／1000nA／800nA／700nA
最大分解能		1/4000：電圧出力 2.5mV(10V)／電流出力 5μA(20mA) 1/8000：電圧出力 1.25mV(10V)／電流出力 2.5μA(20mA) 1/12000：電圧出力 0.83mV(10V)／電流出力 1.7μA(20mA)	
総合精度		電圧:±1.0%(±100mV) 電流:±1.0%(±200μA)	周囲温度25±5 ℃:±0.1%以内 (電圧:±10mV、電流:±20μA) 周囲温度0～55 ℃:±0.3%以内 (電圧:±30mV、電流:±60μA)
最大変換速度		25ms以内/2チャンネル (1チャンネルも同一時間)	20μs/チャンネル
絶対最大出力	電圧	±12V	−
	電流	28mA	−
アナログ出力点数		2チャンネル/ユニット	4チャンネル/ユニット
絶縁方式	出力端子とシーケンサ電源間	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
	チャンネル間	非絶縁	非絶縁
	外部供給電源とアナログ出力間	−	トランス絶縁
占有点数		32点	16点
外部接続方式		20点端子台	18点端子台
消費電流		0.80A	0.16A
外部供給電源	電圧	−	DC24V +20%、−15%
	電流	−	0.18A

(注)4.□は、MELSEC-Lシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

5.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Lシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

●プログラム上の注意

(1)A1S62DAとL60DA4では、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

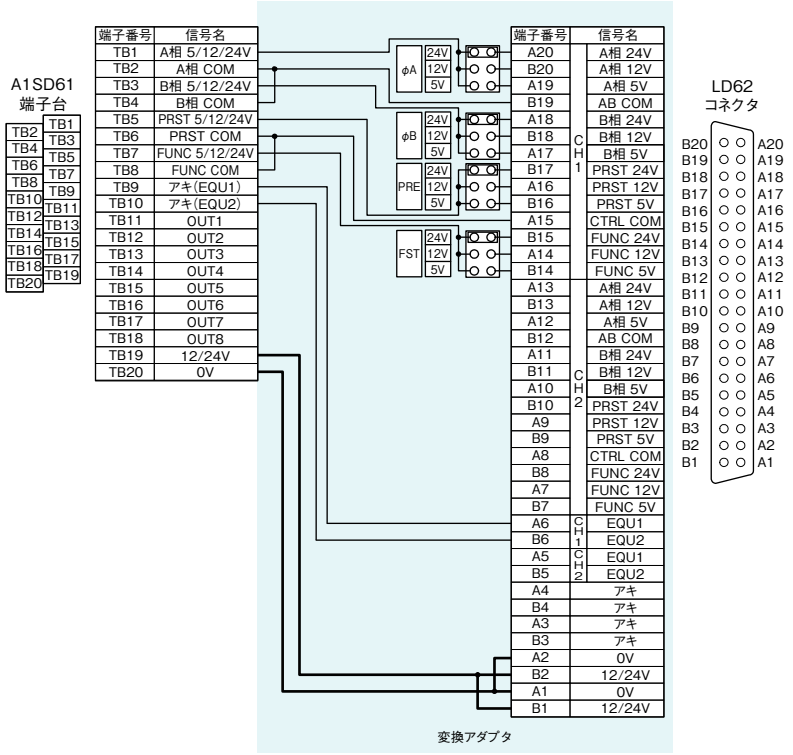
(2)L60DA4のCH3およびCH4は使用できません。

高速カウンタユニット用

1ユニットタイプ

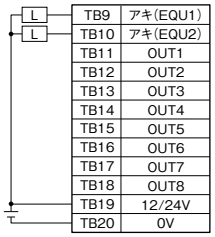
(1)ERNT-ASLTD61　端子台(20p)→コネクタ(40p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Lシリーズ ユニット形名
ERNT-ASLTD61	A1SD61	1チャンネル	LD62



(注)1.A相パルス入力 φA 、B相パルス入力 φB 、プリセット入力 PRE 、ファンクション・スタート入力 FST の入力電圧に合せて、変換アダプタ内部にある設定ピンの短絡片を、24V時は 24V 、12V時は 12V 、5V時は 5V に設定してください。尚、工場出荷時は全て 24V になっています。

2.LD62には、A1SD61のリミットスイッチ出力機能がありませんので、OUT1端子(TB11)～OUT8端子(TB18)は使用できません。
LD62の一致出力機能(CH1 EQU1端子(A6)、CH1 EQU2端子(B6))で代用する場合は、A1SD61のアキ端子(EQU1端子(TB9)、EQU2端子(TB10))を使用してください。
なお設定数が少ないなど仕様が異なります。



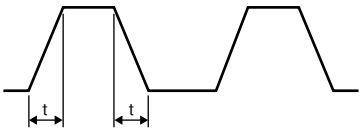
3.電圧切替設定ピンを設定後、外部配線を接続してください。

〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ		MELSEC-Lシリーズ		
		A1SD61		LD62		
計数速度切換設定		設定ピンによる切換え		インテリジェント機能ユニットスイッチ設定による切換え		
		50k側	10k側	200k（100k～200kPPS）	100k（10k～100kPPS）	10k（10kPPS以下）
チャンネル数		1チャンネル		2 チャンネル		
カウント入力信号	相	1相入力 2相入力		1相入力（1逓倍/2逓倍） 2相入力（1逓倍/2逓倍/4逓倍） CW/CCW入力		
	信号レベル（φA,φB）	DC5/12/24V 2～5mA				
カウンタ	計数速度（最高）	1相入力:50kPPS 2相入力:50kPPS	1相入力:10kPPS 2相入力:7kPPS	200kPPS（※1）	100kPPS（※1）	10kPPS（※1）
	計数範囲	32 ビット符号付バイナリ −2147483648～2147483647				
	型式	UP/DOWNプリセットカウンタ+リングカウンタ機能				
	最小カウントパルス幅（デューティー比50%）	20μs 10μs 10μs （1、2相入力）	100μs 50μs 50μs （1相入力） 142μs 71μs 71μs （2相入力）	5μs 2.5μs 2.5μs 2相入力時 最小位相差1.25μs	10μs 5μs 5μs 2相入力時 最小位相差2.5μs	100μs 50μs 50μs 2相入力時 最小位相差25μs
リミットスイッチ出力	比較範囲	32ビット符号付バイナリ		−		
	比較結果	a接点動作:ドグONアドレス≦カウント値≦ドグOFFアドレス b接点動作:ドグOFFアドレス≦カウント値≦ドグONアドレス		−		
一致出力	比較範囲	−		32ビット符号付バイナリ		
	比較結果	−		設定値<カウント値 設定値=カウント値 設定値>カウント値		
外部入力	プリセット ファンクションスタート	DC5/12/24V 2～5mA				
外部出力	リミットスイッチ出力	トランジスタ（オープンコレクタ）出力 DC12/24V 0.1A/1点 0.8A/1コモン		−		
	一致出力	−		トランジスタ（シンクタイプ）出力 2点/チャンネル DC12/24V 0.5A/1点 2A/1コモン		
入出力占有点数		32点		16点		
接続方式		20点端子台		40ピンコネクタ		
内部消費電流（DC5V）		0.35A		0.31A		

※1:計数速度はパルスの立上がり、立下がり時間（t）に影響されます。カウント可能な計数速度は下表のとおりです。
立上がり、立下がり時間が大きいパルスをカウントすると、誤カウントになる恐れがあるため注意が必要です。

立上がり、立下がり時間＼計数速度切換設定	1相入力、2相入力共通		
	200k	100k	10k
t=1.25μs以下	200kPPS	100kPPS	10kPPS
t=2.5μs以下	100kPPS	100kPPS	10kPPS
t=25μs以下	−	10kPPS	10kPPS
t=500μs	−	−	500PPS



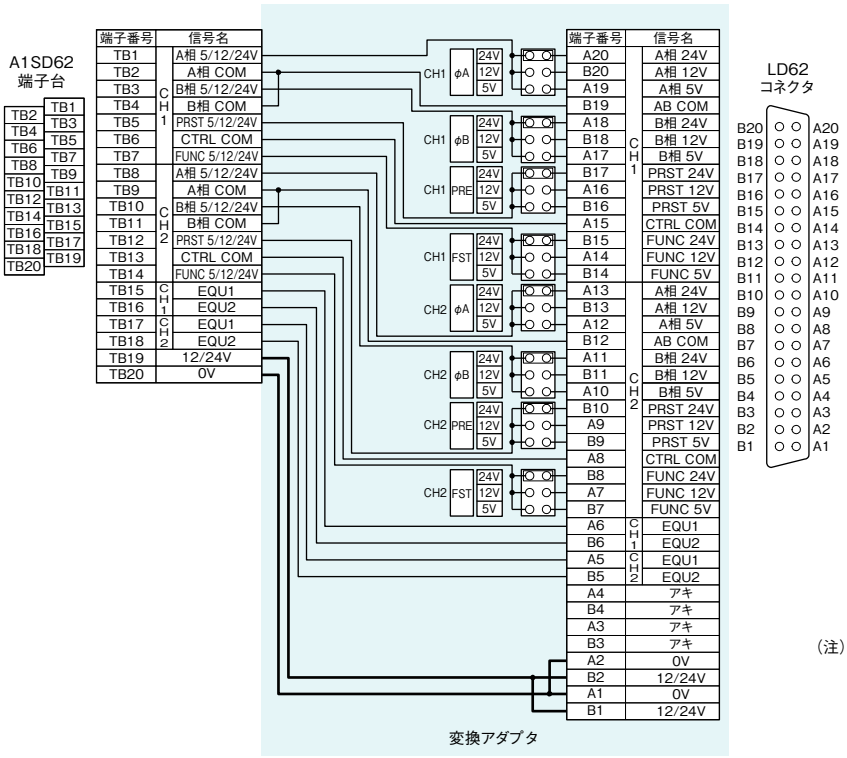
（注）4. □は、MELSEC-Lシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
5.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Lシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

●プログラム上の注意

（1）A1SD61とLD62では、入出力信号（X、Y）およびバッファメモリアドレスの割付けが異なるため、シーケンスプログラムの変更が必要です。
（2）A1SD61のリミットスイッチ出力機能は、LD62の一致出力機能で代用することになりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。
（3）LD62では、CH1の入出力信号（X、Y）およびバッファメモリアドレスを使用してください。CH2では動作しません。
（4）A1SD61において設定ピンで行っていた計数速度設定は、LD62ではインテリジェント機能ユニットスイッチ設定にて行います。

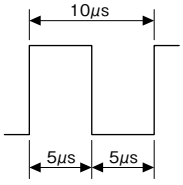
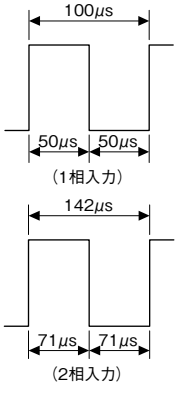
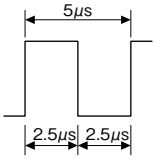
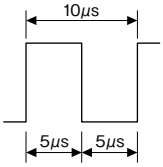
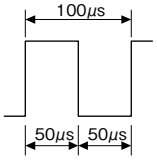
(2)ERNT-ASLTD62　端子台(20p)→コネクタ(40p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Lシリーズ ユニット形名
ERNT-ASLTD62	A1SD62	2チャンネル	LD62



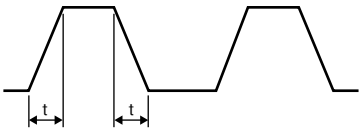
(注)1.A相パルス入力 φA 、B相パルス入力 φB 、プリセット入力 PRE 、ファンクション・スタート入力 FST の入力電圧に合せて、変換アダプタ内部にある設定ピンの短絡片を、24V時は 24V 、12V時は 12V 、5V時は 5V に設定してください。
尚、工場出荷時は全て 24V になっています。
2.電圧切替設定ピンを設定後、外部配線を接続してください。

〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ		MELSEC-Lシリーズ		
		A1SD62		LD62		
計数速度切換設定		設定ピンによる切換え		インテリジェント機能ユニットスイッチ設定による切換え		
		100k側	10k側	200k（100k～200kPPS）	100k（10k～100kPPS）	10k（10kPPS以下）
チャンネル数		2 チャンネル				
カウント入力信号	相	1相入力 2相入力		1相入力（1逓倍/2逓倍） 2相入力（1逓倍/2逓倍/4逓倍） CW/CCW入力		
	信号レベル（φA,φB）	DC5/12/24V 2～5mA				
カウンタ	計数速度（最高）	1相入力:100kPPS 2相入力:100kPPS	1相入力:10kPPS 2相入力:7kPPS	200kPPS（※1）	100kPPS（※1）	10kPPS（※1）
	計数範囲	24ビットバイナリ 0～16777215		32 ビット符号付バイナリ −2147483648～2147483647		
	型式	UP/DOWNプリセットカウンタ+リングカウンタ機能				
	最小カウントパルス幅（デューティー比50%）	 （1、2相入力）	 （1相入力） （2相入力）	 2相入力時 最小位相差1.25μs	 2相入力時 最小位相差2.5μs	 2相入力時 最小位相差25μs
一致出力	比較範囲	24ビットバイナリ		32ビット符号付バイナリ		
	比較結果	設定値<カウント値 設定値=カウント値 設定値>カウント値				
外部入力	プリセット ファンクションスタート	DC5/12/24V 2～5mA				
外部出力	一致出力	トランジスタ（シンクタイプ）出力 2点/チャンネル DC12/24V 0.5A/1点 2A/1コモン				
入出力占有点数		32点		16点		
接続方式		20点端子台		40ピンコネクタ		
内部消費電流（DC5V）		0.1A		0.31A		

※1:計数速度はパルスの立上がり、立下がり時間（t）に影響されます。カウント可能な計数速度は下表のとおりです。
立上がり、立下がり時間が大きいパルスをカウントすると、誤カウントになる恐れがあるため注意が必要です。

立上がり、立下がり時間＼計数速度切換設定	1相入力、2相入力共通		
	200k	100k	10k
t=1.25μs以下	200kPPS	100kPPS	10kPPS
t=2.5μs以下	100kPPS	100kPPS	10kPPS
t=25μs以下	−	10kPPS	10kPPS
t=500μs	−	−	500PPS



（注）3. □は、MELSEC-Lシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Lシリーズで仕様が異なる部分は、リニューアルで、仕様上の制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

●プログラム上の注意

（1）A1SD62とLD62では、入出力信号（X、Y）およびバッファメモリアドレスの割付けが異なるため、シーケンスプログラムの変更が必要です。
（2）A1SD62において設定ピンで行っていた計数速度設定は、LD62ではインテリジェント機能ユニットスイッチ設定にて行います。

ベースアダプタ

仕　様

●MELSEC-AnSシリーズベースユニットの取付穴を利用し、MELSEC-Lシリーズを設置可能とするものです。(追加ネジ穴加工不要)
●ベースアダプタの横幅寸法は、置換え前のMELSEC-AnSシリーズベースユニットと同じです。そのため、スペースユニット(LG69)を使用しない場合でも、以下の注意事項があります。

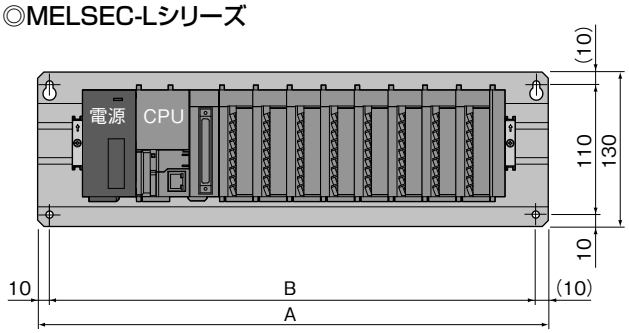
ベースアダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ対応ベースユニット形名	置換え時の注意事項
ERNT-ASLB38	A1S38B	—
	A1S38HB	
ERNT-ASLB35	A1S35B	—
ERNT-ASLB33	A1S33B	増設ブロックを接続する場合、装着できるユニット数は2ユニット(※1)となります。
ERNT-ASLB32	A1S32B	増設ブロックを接続する場合、装着できるユニット数は1ユニット(※1)となります。
ERNT-ASLBJ	A1SJCPU	—
	A1SJCPU-S3	
	A1SJHCPU	
ERNT-ASLB68	A1S68B	—
ERNT-ASLB65	A1S65B	—
ERNT-ASLB58	A1S58B	—
ERNT-ASLB55	A1S55B	—
ERNT-ASLB52	A1S52B	装着できるユニット数は1ユニット(※1)となります。

※1:横幅寸法が28.5mmのユニット

取付寸法

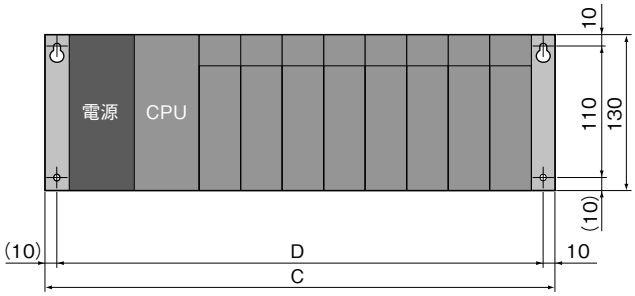
●ベースアダプタの取付穴(4ヶ所)は、MELSEC-AnSシリーズベースユニットと同一取付寸法ですので制御盤への追加ネジ穴加工は一切不要です。
●MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Lシリーズに置換えた際、ユニット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

◎MELSEC-Lシリーズ



◎(参考)MELSEC-AnSシリーズ

単位:mm



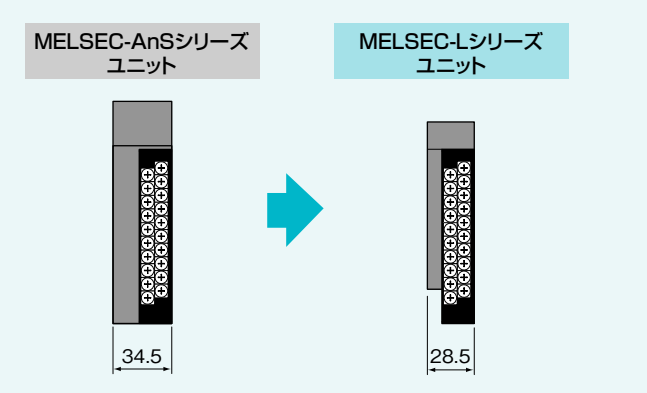
ベースアダプタ形名	A	B	MELSEC-AnSシリーズ ベースユニット形名	C	D
ERNT-ASLB38	430	410	A1S38B A1S38HB	430	410
ERNT-ASLB35	325	305	A1S35B	325	305
ERNT-ASLB33	255	235	A1S33B	255	235
ERNT-ASLB32	220	200	A1S32B	220	200
ERNT-ASLBJ	330	310	A1SJCPU A1SJCPU-S3 A1SJHCPU	330	310
ERNT-ASLB68	420	400	A1S68B	420	400
ERNT-ASLB65	315	295	A1S65B	315	295
ERNT-ASLB58	365	345	A1S58B	365	345
ERNT-ASLB55	260	240	A1S55B	260	240
ERNT-ASLB52	155	135	A1S52B	155	135

ご使用上の注意点

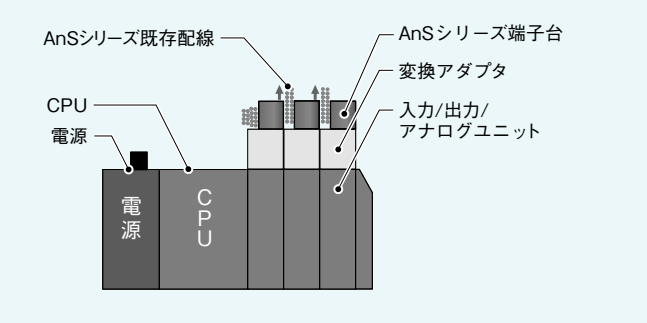
変換アダプタは、MELSEC-AnSシリーズユニットからMELSEC-Lシリーズユニットのピンアサインの相違を変換する製品です。
MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Lシリーズへの置換えを行うときは、性能・機能・CPUに対する入出力信号・バッファメモリアドレス等の差異を確認するため、必ずMELSEC-Lシリーズの各ユニットのマニュアルを参照し、使用いただきますようお願いいたします。
また、三菱電機株式会社が発行している「MELSEC-AnS/QnAS(小形)シリーズからLシリーズへの置換えの手引き」を参照されることをお勧めいたします。

ユニット幅

(1)ユニット幅寸法が小さくなり(34.5mm→28.5mm)配線領域が小さくなりますので、取付け上の確認が必要です。

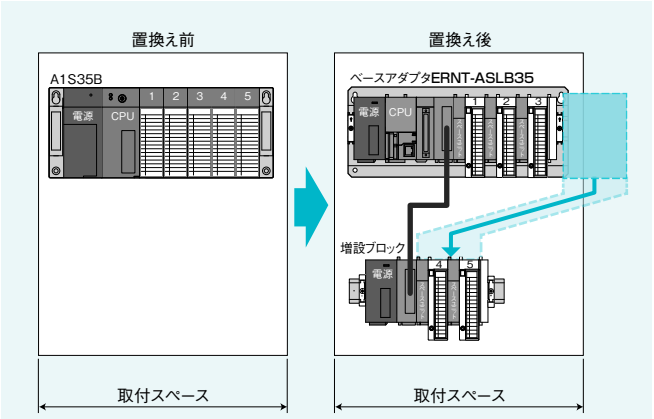


(2)配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。

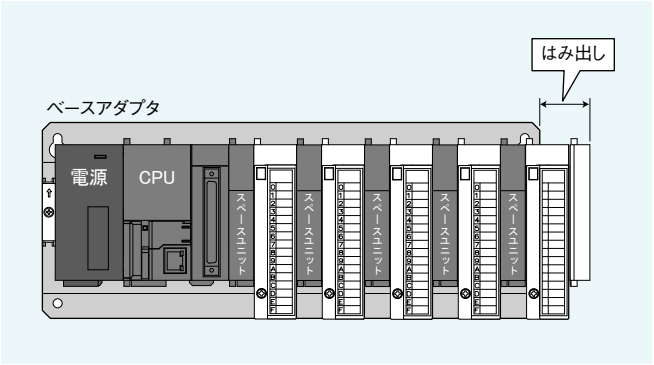


(3)上記(2)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製スペースユニット(LG69)の使用をご検討ください。2-2

(4)置換え後システムが取付スペース(横幅)に収まらない場合、増設ブロックに分岐接続する構成をご検討ください。



(5)MELSEC-Lシリーズシステムがベースアダプタの横幅寸法をはみ出した状態で使用しないでください。

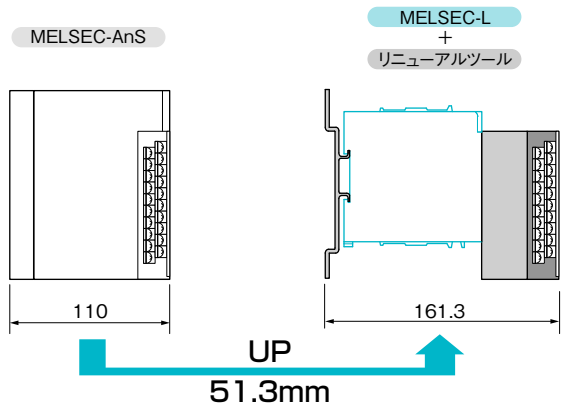
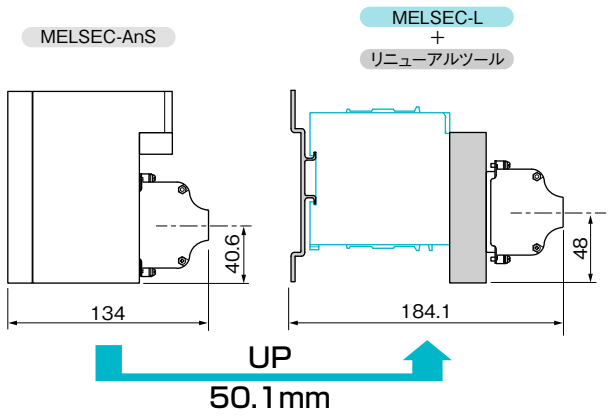


奥行き・高さ

ベースアダプタ取付け時

奥行き寸法が50.1～51.3mm大きくなります。

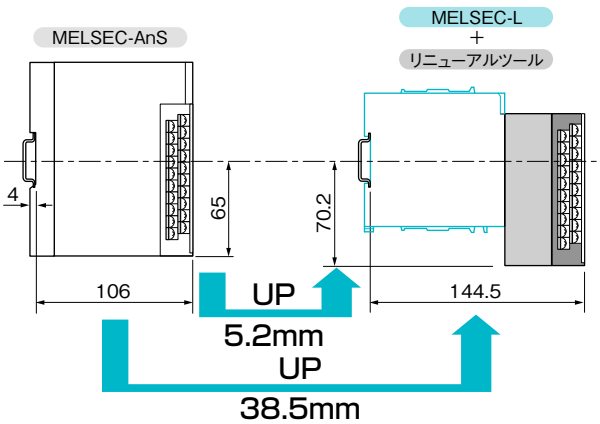
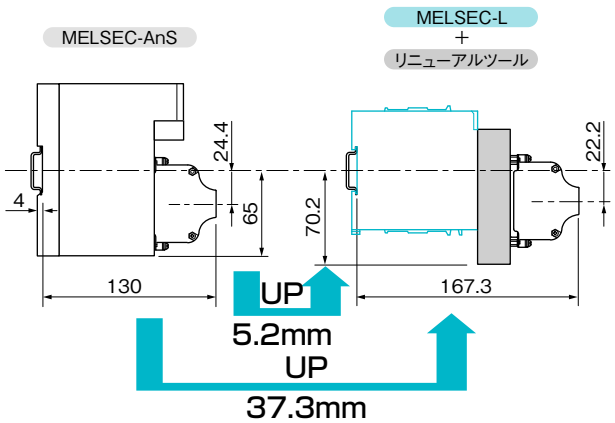
MELSEC-AnS :MELSEC-AnSシリーズ　MELSEC-L :MELSEC-Lシリーズ

変換アダプタ	ERNT-ASLTXY10 ERNT-ASLTX40 ERNT-ASLTX80 ERNT-ASLTY22 ERNT-ASLTY40 ERNT-ASLTY50 ERNT-ASLTY80 ERNT-ASLT64AD ERNT-ASLT62DA ERNT-ASLTD61 ERNT-ASLTD62	ERNT-ASLCXY81
寸法 奥行き	51.3mm UP	50.1mm UP
取付図		

DINレール取付け時

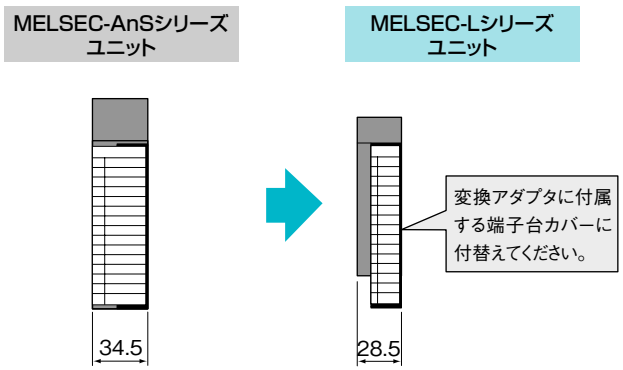
奥行き寸法が37.3～38.5mm大きくなります。
高さ寸法が下側へ5.2mm大きくなります。

MELSEC-AnS :MELSEC-AnSシリーズ　MELSEC-L :MELSEC-Lシリーズ

変換アダプタ	ERNT-ASLTXY10 ERNT-ASLTX40 ERNT-ASLTX80 ERNT-ASLTY22 ERNT-ASLTY40 ERNT-ASLTY50 ERNT-ASLTY80 ERNT-ASLT64AD ERNT-ASLT62DA ERNT-ASLTD61 ERNT-ASLTD62	ERNT-ASLCXY81
寸法 奥行き	38.5mm UP	37.3mm UP
寸法 高さ	5.2mm UP	5.2mm UP
取付図		

端子台カバー

MELSEC-AnSシリーズの端子台カバーはMELSEC-Lシリーズのユニット幅よりも大きいため、変換アダプタに付属の端子台カバーに付替える必要があります。

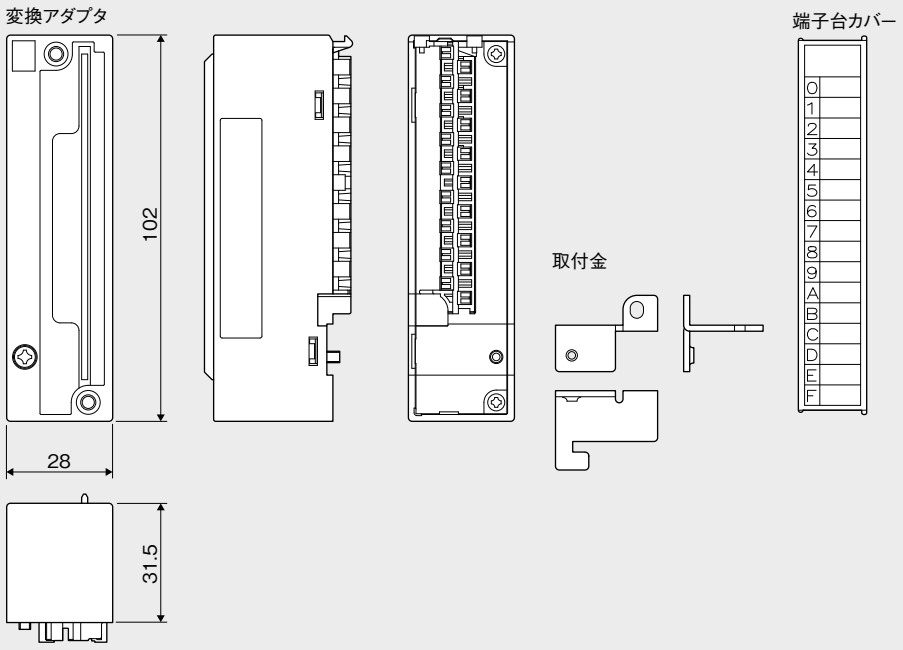


外形寸法図

変換アダプタ

形名:
ERNT-ASLTXY10
ERNT-ASLTX40
ERNT-ASLTX80
ERNT-ASLTY22
ERNT-ASLTY40
ERNT-ASLTY50
ERNT-ASLTY80
ERNT-ASLT64AD
ERNT-ASLT62DA

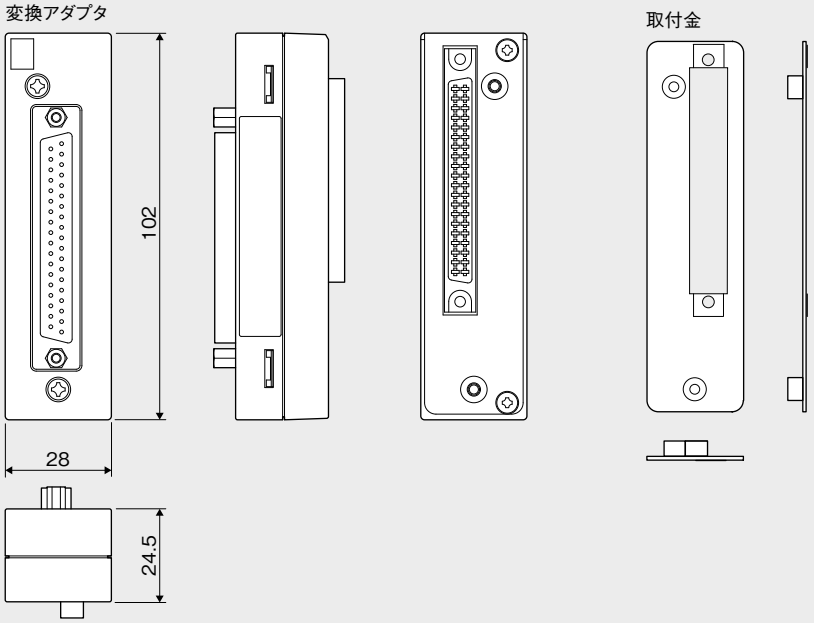
単位:mm



質量:75g

形名:
ERNT-ASLCXY81

単位:mm

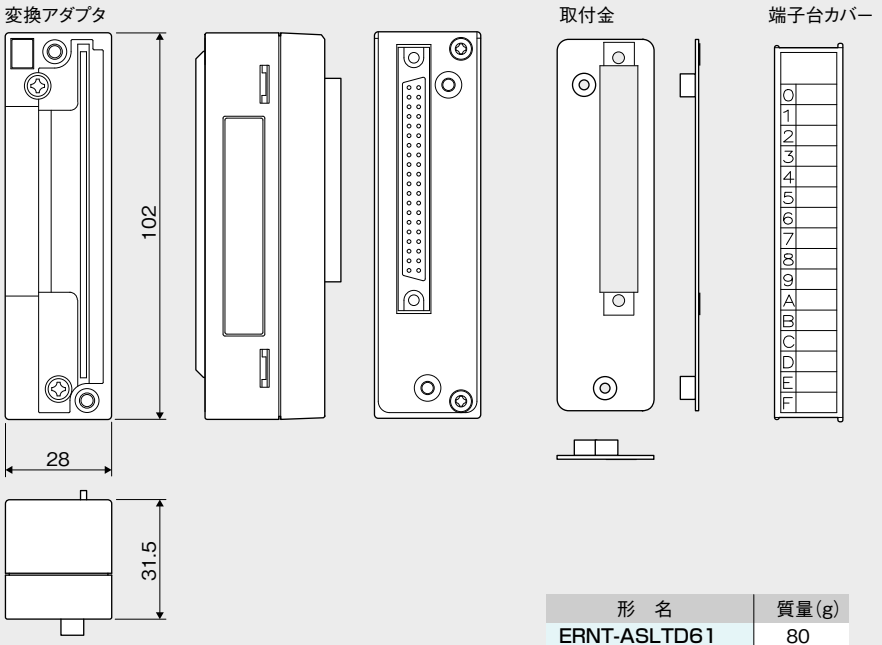


質量:95g

形名:

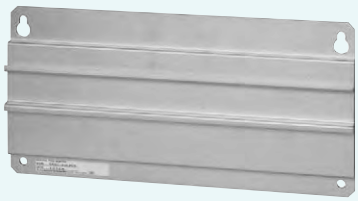
ERNT-ASLTD61
ERNT-ASLTD62

単位:mm



形　名	質量(g)
ERNT-ASLTD61	80
ERNT-ASLTD62	85

ベースアダプタ

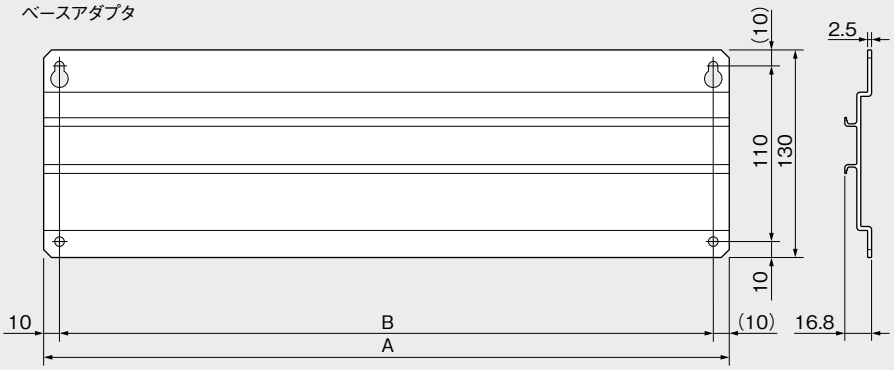


形名:

ERNT-ASLB38
ERNT-ASLB35
ERNT-ASLB33
ERNT-ASLB32
ERNT-ASLBJ
ERNT-ASLB68
ERNT-ASLB65
ERNT-ASLB58
ERNT-ASLB55
ERNT-ASLB52

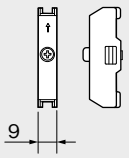
単位:mm

ベースアダプタ



形　名	A	B	質量(g)
ERNT-ASLB38	430	410	485
ERNT-ASLB35	325	305	375
ERNT-ASLB33	255	235	300
ERNT-ASLB32	220	200	265
ERNT-ASLBJ	330	310	380
ERNT-ASLB68	420	400	475
ERNT-ASLB65	315	295	365
ERNT-ASLB58	365	345	415
ERNT-ASLB55	260	240	305
ERNT-ASLB52	155	135	200

止め金具



AnS Q series MELSEC-AnSシリーズ／MELSEC-Qシリーズ リニューアルツール

MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズへリニューアルする場合

■MELSEC-Qシリーズへ置換えが容易

三菱電機株式会社製シーケンサMELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えることが容易にできます。

■入力／出力／アナログ／高速カウンタ／温度入力／温度調節ユニットへの配線作業時間の大幅短縮／配線ミスの大幅低減

●MELSEC-AnSシリーズの入力／出力／アナログ／高速カウンタ／温度入力／温度調節ユニットに接続されていた配線は、変換アダプタを経由することで、MELSEC-Qシリーズにそのまま接続できます。(一部、電源およびコモン端子の接続変更が必要となります。)

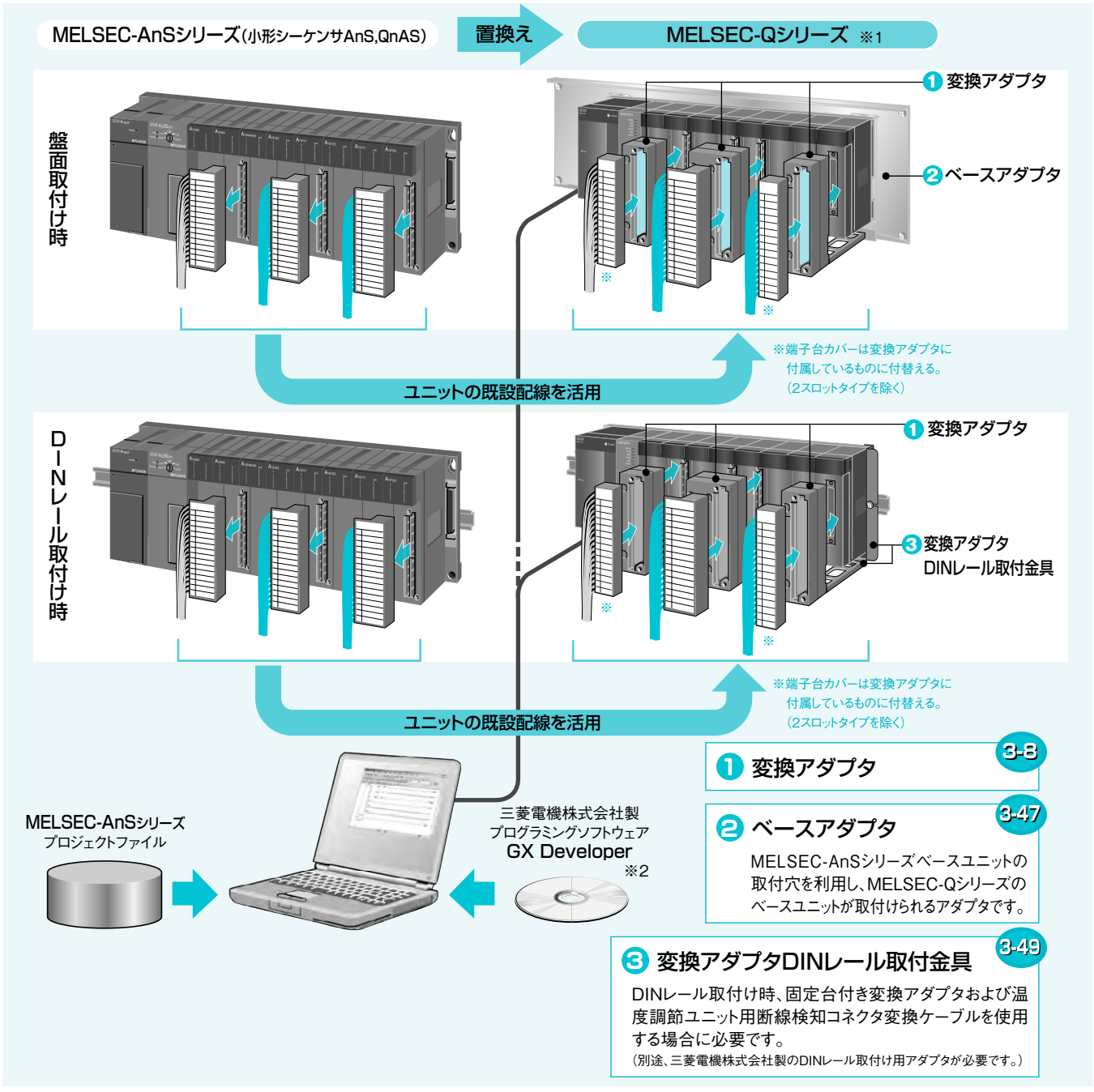
●ベースアダプタを使用することにより、MELSEC-AnSシリーズのベースユニット取付穴を利用し、MELSEC-Qシリーズが設置可能です。(追加穴加工不要)
DINレール取付け時にも対応可能です。

■シーケンスプログラムの流用が可能

三菱電機株式会社製プログラミングソフトウェアGX DeveloperのPCタイプ変更により、MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズに変更してプログラムを流用することが可能です。

製品の概要

本製品は、三菱電機株式会社製シーケンサMELSEC-AnSシリーズユニットに接続されていた既設配線をMELSEC-Qシリーズユニットに配線変更する「変換アダプタ」と、MELSEC-AnSシリーズベースユニットの取付穴を流用しMELSEC-Qシリーズが取付け可能な「ベースアダプタ」で構成されています。また、DINレール取付け時は、固定台付き変換アダプタを使用する場合に必要となる「変換アダプタDINレール取付金具」で構成されています。



❶ 変換アダプタ 3-8

❷ ベースアダプタ 3-47

MELSEC-AnSシリーズベースユニットの取付穴を利用し、MELSEC-Qシリーズのベースユニットが取付けられるアダプタです。

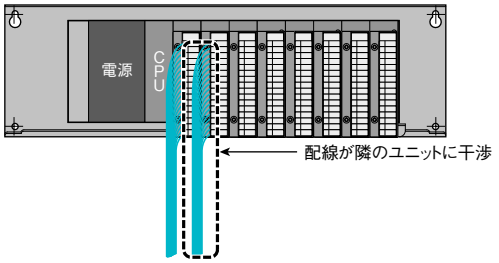
❸ 変換アダプタDINレール取付金具 3-49

DINレール取付け時、固定台付き変換アダプタおよび温度調節ユニット用断線検知コネクタ変換ケーブルを使用する場合に必要です。
(別途、三菱電機株式会社製のDINレール取付け用アダプタが必要です。)

※1:MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニット幅寸法と奥行き寸法が変わるため、取付け上の確認が必要です。詳しくは「ご使用上の注意点」(3-50ページ)を参照してください。

※2:三菱電機株式会社製プログラミングソフトウェアGX DeveloperのPCタイプ変更により、MELSEC-AnSシリーズ(既存プログラム)からMELSEC-Qシリーズに変更することでプログラムの流用が可能です。詳しくはGX Developerのオペレーティングマニュアルを参照してください。また、三菱電機株式会社ではQシリーズへのプログラムの置換えをサポートするツールを準備しています。

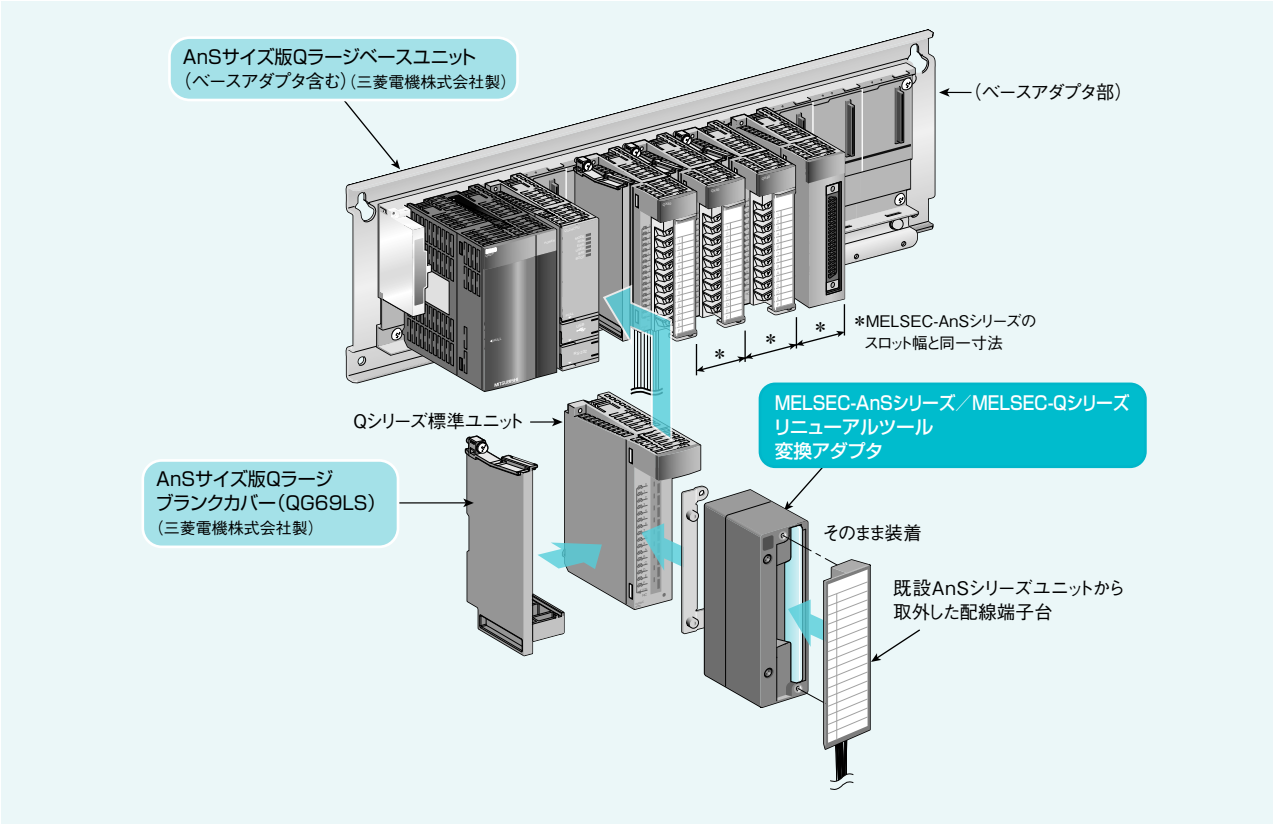
配線が隣のユニットに干渉する場合、AnSサイズ版Qラージベースユニットを用いることにより、配線領域の確保が可能になります。



三菱電機株式会社製 MELSEC-AnSシリーズ(小形)⇨MELSEC-Qシリーズ用

AnSサイズ版Qラージベースユニットを活用したリニューアル

AnSサイズ版Qラージベースユニットのスロット幅は、MELSEC-AnSシリーズ(小形)ベースユニットのスロット幅と同一寸法のため、隣のユニットとの配線の干渉を軽減できます。



●AnSサイズ版Qラージベースユニット(盤面取付タイプ)の取付寸法は、MELSEC-AnS(小形)シリーズと同一寸法のため、取付穴加工は不要です。
●AnSサイズ版Qラージベースユニットには、固定台付き変換アダプタの固定台を固定するネジ穴が設けられています。
●2スロットタイプ変換アダプタおよび一部の1スロットタイプ変換アダプタは使用できません。詳しくは「機種一覧」(3-5～3-6ページ)を参照してください。

AnSサイズ版Qラージベースユニット一覧

〈盤面取付タイプ〉

AnSシリーズ形名	Qラージベースユニット形名
A1S35B	Q35BLS
A1S38B	Q38BLS
A1S65B	Q65BLS
A1S68B	Q68BLS
A1S55B	Q55BLS

〈DINレール取付タイプ〉

AnSシリーズ形名	Qラージベースユニット形名
A1S35B	Q35BLS-D
A1S38B	Q38BLS-D
A1S65B	Q65BLS-D
A1S68B	Q68BLS-D
A1S55B	Q55BLS-D

AnSサイズ版Qラージブランクカバー

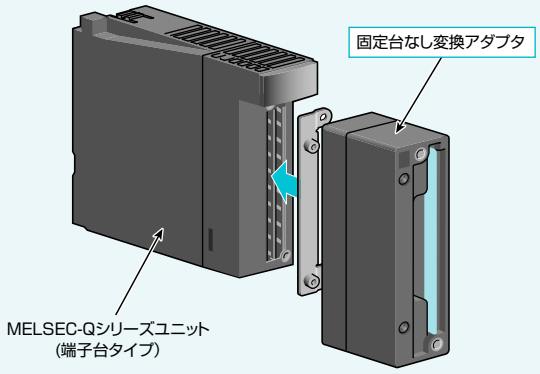
AnSシリーズ形名	Qラージブランクカバー形名
—	QG69LS

変換アダプタの種類

変換アダプタには端子台タイプ用の“固定台なし変換アダプタ”とコネクタタイプ用の“固定台付き変換アダプタ”の2種類があります。

置換え後MELSEC-Qシリーズユニットが「端子台タイプ」の場合

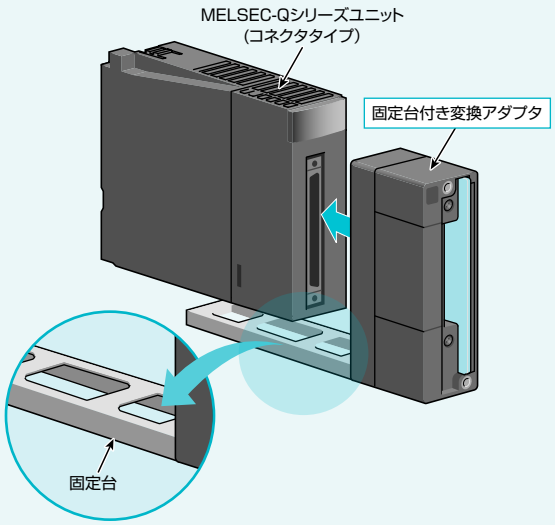
固定台なし変換アダプタ



ベースアダプタ ..... 必要に応じて使用
変換アダプタDINレール取付金具 ..... 不要

置換え後MELSEC-Qシリーズユニットが「コネクタタイプ」の場合

固定台付き変換アダプタ

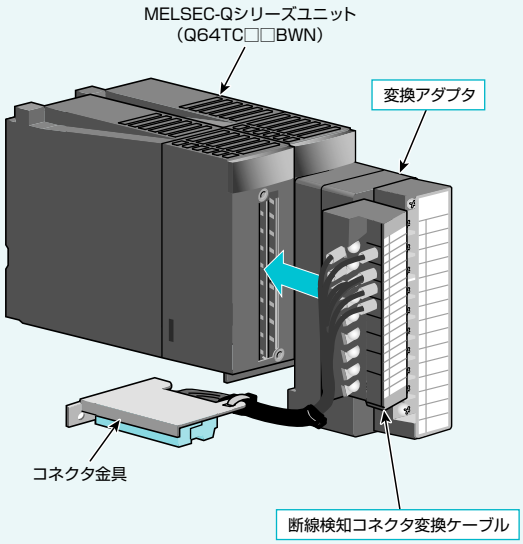


ベースアダプタ(盤面取付け時)または変換アダプタDINレール取付金具(DINレール取付け時)により、変換アダプタの固定台を固定させる必要があります。

また断線検知機能付き温度調節ユニット用では、MELSEC-Qシリーズユニット(Q64TC□□BWN)の左スロット側を“断線検知コネクタ変換ケーブル”にて配線を変換します。

MELSEC-Qシリーズユニット(Q64TC□□BWN)の左スロット側

断線検知コネクタ変換ケーブル

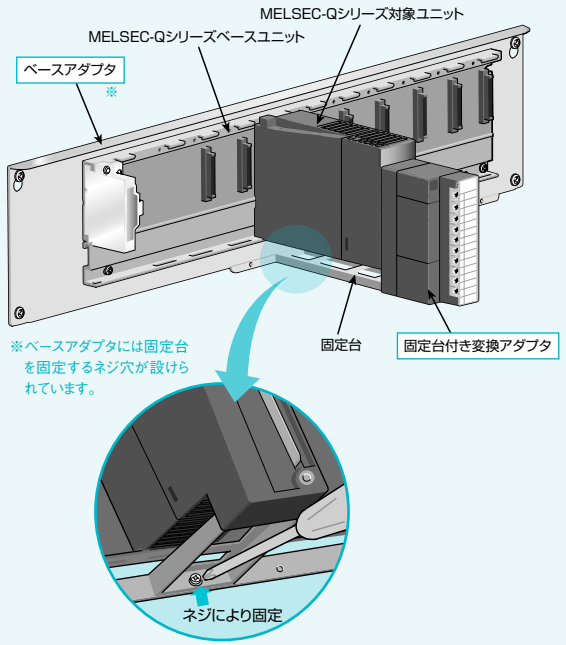


ベースアダプタ(盤面取付け時)または変換アダプタDINレール取付金具(DINレール取付け時)により、断線検知コネクタ変換ケーブルのコネクタ金具を固定させる必要があります。

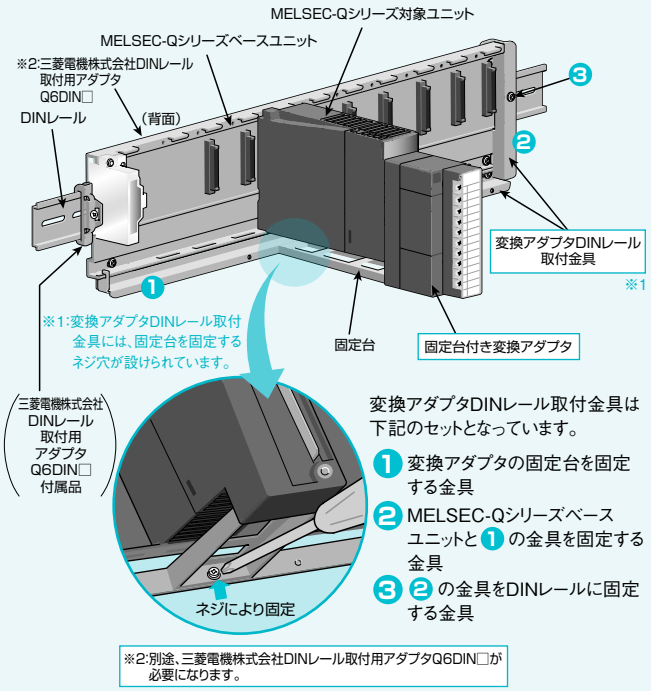
固定台付き変換アダプタの取付け

固定台付き変換アダプタを使用する場合は、固定台をベースアダプタ（盤面取付け時）または変換アダプタDINレール取付金具（DINレール取付け時）へ、ネジにより固定する必要があります。

盤面取付け時



DINレール取付け時



変換アダプタDINレール取付金具は下記のセットとなっています。

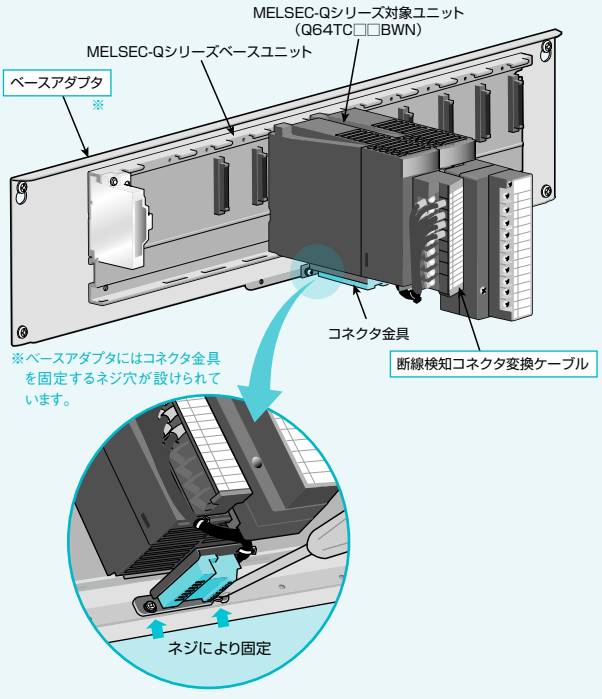
1. 変換アダプタの固定台を固定する金具
2. MELSEC-Qシリーズベースユニットと1の金具を固定する金具
3. 2の金具をDINレールに固定する金具

※2:別途、三菱電機株式会社DINレール取付用アダプタQ6DIN□が必要になります。

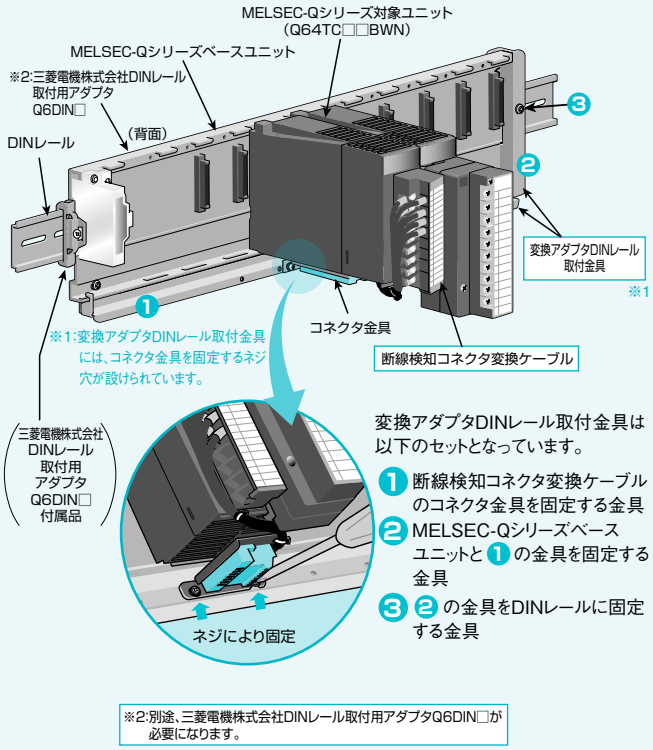
断線検知コネクタ変換ケーブルの取付け

断線検知コネクタ変換ケーブルは、コネクタ金具をベースアダプタ（盤面取付け時）または変換アダプタDINレール取付金具（DINレール取付け時）へ、ネジに固定する必要があります。

盤面取付け時



DINレール取付け時



変換アダプタDINレール取付金具は以下のセットとなっています。

1. 断線検知コネクタ変換ケーブルのコネクタ金具を固定する金具
2. MELSEC-Qシリーズベースユニットと1の金具を固定する金具
3. 2の金具をDINレールに固定する金具

※2:別途、三菱電機株式会社DINレール取付用アダプタQ6DIN□が必要になります。

機種一覧

① 変換アダプタ

変換アダプタを選定する際は、3-8～3-46ページのユニット仕様比較表および（注）文を必ず参照ください。
1コモンあたりの点数が異なる等の注意文が記載されています。また、ユニット仕様比較表に記載されていない詳細仕様、一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

入力／出力ユニット用

〈1スロットタイプ〉

○:MELSEC-Qラージベース（MELSEC-AnSサイズ版）に使用可能

入力／出力	置換前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	Qラージベース使用可否	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-AnSシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	形状 固定台	入力／出力点数	掲載ページ
入力	A1SX10	QX10	○	ERNT-ASQTXY10	端子台（20点）	端子台（18点）	なし	16点	3-8
	A1SX10EU								
出力	A1SY10	QY10	○						
	A1SY10EU								
入力	A1SX40	QX40、QX70	○	ERNT-ASQTX40			なし		3-9
	A1SX40-S2	QX40	○						
	A1SX40-S1	QX40-S1	○						
	A1SX80	QX80	○	ERNT-ASQTX80			なし		
	A1SX80-S1								
	A1SX80-S2								
出力	A1SY22	QY22	○	ERNT-ASQTY22			なし		3-10
	A1SY40	QY40P	○	ERNT-ASQTY40			なし		
	A1SY40P								
	A1SY50	QY50	○	ERNT-ASQTY50			なし		3-11
	A1SY80	QY80	○	ERNT-ASQTY80			なし		

〈2スロットタイプ〉

×:MELSEC-Qラージベース（MELSEC-AnSサイズ版）に使用不可

入力／出力	置換前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	Qラージベース使用可否	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-AnSシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	形状 固定台	入力／出力点数	掲載ページ
入力	A1SX20	QX28 ×2台	×	ERNT-ASQTX20	端子台（20点）	端子台（18点）×2	なし	16点	3-12
	A1SX20EU								
出力	A1SY60	QY68A ×2台	×	ERNT-ASQTY60			なし		3-13
	A1SY60E	QY68A ×2台	×	ERNT-ASQTY60E			なし		3-14

注）1.下表に示す入力／出力ユニットは変換アダプタ未対応ですので再配線が必要となります（一部を除く）。なお、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

入力／出力	置換前MELSEC-AnSシリーズユニット 形名	点数	置換後MELSEC-Qシリーズユニット 形名	点数	必要台数	ユニバーサル変換アダプタの活用
出力	A1SY14EU	12点	QY10	16点	1台	（※2）（※1）
	A1SY18A（EU）	8点	QY18A	8点	1台	
	A1SY68A	8点	QY68A	8点	1台	
複合入出力	A1SX48Y58	入力8点＋出力8点	QX48Y57	入力8点＋出力7点	1台	
入力	A1SX30	16点	QX40（DC24V プラスコモン時）	16点	1台	
複合入出力	A1SX48Y18	入力8点＋出力8点	QX40＋QY10	16点＋16点	1台＋1台	
出力	A1SY28A	8点	MELSEC-Qシリーズに該当するユニットがありません。			–
	A1SY28EU					
ダイナミック入力	A1S42X	16/32/48/64点				
ダイナミック出力	A1S42Y	16/32/48/64点				

※1:ユニバーサル変換アダプタ（7-5ページ参照）を置換えに活用いただけます。
※2:ユニバーサル変換アダプタに付属の端子台への再配線は不要で、既設の端子台をユニバーサル変換アダプタに取付可能です。

注）2.下表に示す入力／出力ユニットは、既設配線をそのまま使用できます。なお、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

入力／出力	置換前MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換後MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
入力	A1SX41	QX41（DC24V時）
		QX41-S2（DC24V時）
		QX71（DC12V時）
	A1SX41-S1	QX41-S1
	A1SX41-S2	QX41
		QX41-S2
	A1SX71	QX71（DC5V、12V時）
		QX41-S1（DC24V プラスコモン時）
	A1SX81	QX81（DC24V マイナスコモン時）
		QX81-S2（DC24V マイナスコモン時）
	A1SX81-S2	QX81（マイナスコモン時）
		QX81-S2（マイナスコモン時）
	A1SX42	QX42（DC24V時）
		QX41-S2（2台必要）（DC24V時）
		QX72（DC12V時）
	A1SX42-S2	QX42
		QX41-S2（2台必要）

入力／出力	置換前MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換後MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
入力	A1SX42-S1	QX42-S1
	A1SX82-S1	QX82-S1（マイナスコモン時）
出力	A1SY41	QY41P
	A1SY41P	
	A1SY81	QY81P
	A1SY81EP	
	A1SY71	QY71
	A1SY42	QY42P
	A1SY42P	
	A1SY82	QY82P
複合入出力	A1SH42	QH42P（入力DC24V時）
	A1SH42P	
	A1SH42-S1	QH42P
	A1SH42P-S1	

アナログユニット用〈1スロットタイプ〉

○:MELSEC-Qラージベース(MELSEC-AnSサイズ版)に使用可能
×:MELSEC-Qラージベース(MELSEC-AnSサイズ版)に使用不可

入力／出力	置換前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	Qラージベース使用可否	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-AnSシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	固定台	チャンネル数	掲載ページ
入力	A1S64AD	Q64AD	○	ERNT-ASQT64AD	端子台(20点)	端子台(18点)	なし	4チャンネル	3-15
入力	A1S68AD(電圧入力)	Q68ADV	○	ERNT-ASQT68AD	端子台(20点)	端子台(18点)	なし	8チャンネル	3-16
入力	A1S68AD(電流入力)	Q68ADI	○	ERNT-ASQT68AD	端子台(20点)	端子台(18点)	なし	8チャンネル	3-16
入力	A1S68AD(電圧/電流入力混在)	Q68AD-G	×(※2)	ERNT-ASQT68AD-G	端子台(20点)	コネクタ(40P)	付き	8チャンネル	3-17
出力	A1S62DA	Q62DAN	○	ERNT-ASQT62DA	端子台(20点)	端子台(18点)	なし	2チャンネル	3-18
出力	A1S68DAV	Q68DAVN	○	ERNT-ASQT68DA	端子台(20点)	端子台(18点)	なし	8チャンネル	3-19
出力	A1S68DAI	Q68DAIN	○	ERNT-ASQT68DA	端子台(20点)	端子台(18点)	なし	8チャンネル	3-19
入出力	A1S63ADA	Q64AD2DA	×(※2)	ERNT-ASQT63ADA	端子台(20点)	端子台(18点)	なし	3チャンネル	3-20〜3-21

※2:MELSEC-Qラージブランクカバー QG69LS(MELSEC-AnSシリーズサイズ版)がMELSEC-Qシリーズユニットに装着できないため。

高速カウンタユニット用〈1スロットタイプ〉

○:MELSEC-Qラージベース(MELSEC-AnSサイズ版)に使用可能

入力／出力	置換前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	Qラージベース使用可否	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-AnSシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	固定台	チャンネル数	掲載ページ
入力	A1SD61	QD62	○	ERNT-ASQTD61	端子台(20点)	コネクタ(40p)	付き	1チャンネル	3-21〜3-24
入力	A1SD61	QD62-H01	○	ERNT-ASQTD61	端子台(20点)	コネクタ(40p)	付き	1チャンネル	3-21〜3-24
入力	A1SD61	QD62-H02	○	ERNT-ASQTD61	端子台(20点)	コネクタ(40p)	付き	1チャンネル	3-21〜3-24
入力	A1SD62	QD62	○	ERNT-ASQTD62	端子台(20点)	コネクタ(40p)	付き	2チャンネル	3-25〜3-27
入力	A1SD62E	QD62E	○	ERNT-ASQTD62	端子台(20点)	コネクタ(40p)	付き	2チャンネル	3-25〜3-27
入力	A1SD62D	QD62D	○	ERNT-ASQTD62D	端子台(20点)	コネクタ(40p)	付き	2チャンネル	3-28〜3-29

温度入力ユニット用〈1スロットタイプ〉

○:MELSEC-Qラージベース(MELSEC-AnSサイズ版)に使用可能
×:MELSEC-Qラージベース(MELSEC-AnSサイズ版)に使用不可

入力／出力	置換前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	Qラージベース使用可否	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-AnSシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	固定台	チャンネル数	掲載ページ
入力	A1S68TD	Q68TD-G-H01	○	ERNT-ASQT68TD-H01	端子台(20点)	コネクタ(40p)	付き	8チャンネル	3-30
入力	A1S68TD	Q68TD-G-H02	×(※3)	ERNT-ASQT68TD-H02	端子台(20点)	コネクタ(40p)	付き	8チャンネル	3-30
入力	A1S62RD3(N)	Q64RD	○	ERNT-ASQT62RD	端子台(20点)	端子台(18点)	なし	2チャンネル	3-32
入力	A1S62RD4(N)	Q64RD	○	ERNT-ASQT62RD	端子台(20点)	端子台(18点)	なし	2チャンネル	3-32

※3:MELSEC-Qラージブランクカバー QG69LS(MELSEC-AnSシリーズサイズ版)がMELSEC-Qシリーズユニットに装着できないため。

温度調節ユニット用〈1スロットタイプ〉

○:MELSEC-Qラージベース(MELSEC-AnSサイズ版)に使用可能

置換前 MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	Qラージベース使用可否	変換アダプタ 形名	形状 MELSEC-AnSシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	固定台	チャンネル数	掲載ページ
A1S64TCTT-S1 A1S64TCTRT (※4)	Q64TCTTN	○	ERNT-ASQT64TCTT	端子台(20点)	端子台(18点)	なし	4チャンネル	3-33
A1S64TCRT-S1 A1S64TCTRT (※5)	Q64TCRTN	○	ERNT-ASQT64TCRT	端子台(20点)	端子台(18点)	なし	4チャンネル	3-35
A1S62TCTT-S2 A1S64TCTRT (※6)	Q64TCTTN	○	ERNT-ASQT62TCTT	端子台(20点)	端子台(18点)	なし	2チャンネル	3-36
A1S62TCRT-S2 A1S64TCTRT (※7)	Q64TCRTN	○	ERNT-ASQT62TCRT	端子台(20点)	端子台(18点)	なし	2チャンネル	3-38

※4:標準制御、熱電対入力にて使用時
※5:標準制御、白金測温抵抗体入力にて使用時
※6:加熱冷却制御、熱電対入力にて使用時
※7:加熱冷却制御、白金測温抵抗体入力にて使用時

断線検知機能付き温度調節ユニット用〈1スロットタイプ+断線検知コネクタ変換ケーブル〉

温度調節ユニット用変換アダプタ(1スロットタイプ)と断線検知コネクタ変換ケーブルがセットになった製品です。セット形名がお客様ご注文形名となります。

×:MELSEC-Qラージベース(MELSEC-AnSサイズ版)に使用不可

置換前 MELSEC-AnS シリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Q シリーズ ユニット形名	Qラージベース使用可否	セット形名	温度調節ユニット用変換アダプタ 形名	温度調節ユニット用変換アダプタ 形状 MELSEC-AnS シリーズ	温度調節ユニット用変換アダプタ 形状 MELSEC-Q シリーズ	温度調節ユニット用変換アダプタ 固定台	チャンネル数	断線検知コネクタ変換ケーブル 形状 MELSEC-AnS シリーズ	断線検知コネクタ変換ケーブル 形状 MELSEC-Q シリーズ	掲載ページ
A1S64TCTTBW-S1 A1S64TCTRTBW (※8)	Q64TCTTBWN	×(※12)	ERNT-ASQT64TCTTBW	ERNT-ASQT64TCTT	端子台(20点)	端子台(18点)	なし	4チャンネル	コネクタ(8p)	端子台(18点)	3-39
A1S64TCRTBW-S1 A1S64TCTRTBW (※9)	Q64TCRTBWN	×(※12)	ERNT-ASQT64TCRTBW	ERNT-ASQT64TCRT			なし	4チャンネル			3-41
A1S62TCTTBW-S2 A1S64TCTRTBW (※10)	Q64TCTTBWN	×(※12)	ERNT-ASQT62TCTTBW	ERNT-ASQT62TCTT			なし	2チャンネル			3-42 ～ 3-43
A1S62TCRTBW-S2 A1S64TCTRTBW (※11)	Q64TCRTBWN	×(※12)	ERNT-ASQT62TCRTBW	ERNT-ASQT62TCRT			なし	2チャンネル			3-45 ～ 3-46

※8:標準制御、熱電対入力にて使用時
※9:標準制御、白金測温抵抗体入力にて使用時
※10:加熱冷却制御、熱電対入力にて使用時
※11:加熱冷却制御、白金測温抵抗体入力にて使用時
※12:MELSEC-Qシリーズユニットが2スロットタイプのため

注)3.上記以外のインテリジェント機能ユニット(位置決めユニット、情報系ユニット、分散ユニット等)は変換アダプタ未対応ですので再配線が必要となります。

② ベースアダプタ

MELSEC-AnSシリーズベースユニットの取付穴を利用し、MELSEC-Qシリーズベースユニットを設置可能とするものです。

基本/増設	置換前MELSEC-AnSシリーズ ベースユニット形名	置換後MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名	ベースアダプタ形名	備考	掲載ページ
基本	A1S38B/A1S38HB/A1S38HBEU	Q38B	ERNT-ASQB38N	Q7BAT-SETをご使用の際は、ベースアダプタへCPUユニット(Q7BAT-SET装着前)が装着されたベースユニットを取付けた状態で、Q7BAT-SETをCPUユニットへ装着してください。	3-47 ～ 3-48
	A1S35B	Q35B	ERNT-ASQB35N		
	A1S33B	Q33B	ERNT-ASQB33N		
	A1S32B	Q33B	ERNT-ASQB32N		
	A1SJCPU	Q00JCPU Q00UJCPU Q35B	ERNT-ASQB00JN		
	A1SJCPU-S3				
	A1SJHCPU				
増設	A1S68B	Q68B	ERNT-ASQB68N		
	A1S65B	Q65B	ERNT-ASQB65N		
	A1S58B	Q68B(※13)	ERNT-ASQB58N		
	A1S55B	Q55B	ERNT-ASQB55N		
	A1S52B	Q52B	ERNT-ASQB52N		

※13:電源ユニットの装着が必要となるベースユニットへの置換え

以下は基本ベースユニットとQA増設ベースユニットQA1S51Bを同時に設置可能とするものです。

置換前MELSEC-AnSシリーズ ベースユニット形名	置換後MELSEC-Qシリーズベースユニット形名 基本	置換後MELSEC-Qシリーズベースユニット形名 増設	ベースアダプタ形名	備考	掲載ページ
A1S38B/A1S38HB/A1S38HBEU	Q38B/Q35B/Q33B	QA1S51B	ERNT-ASQB38N-S1	Q7BAT-SETをご使用の際は、ベースアダプタへCPUユニット(Q7BAT-SET装着前)が装着されたベースユニットを取付けた状態で、Q7BAT-SETをCPUユニットへ装着してください。	3-47 ～ 3-48
A1S35B	Q35B/Q33B		ERNT-ASQB35N-S1		
A1S33B	Q33B		ERNT-ASQB33N-S1		

③ 変換アダプタDINレール取付金具

MELSEC-QシリーズベースユニットのDINレール取付け時に、固定台付き変換アダプタおよび温度調節ユニット用断線検知コネクタ変換ケーブルを使用する場合に必要となります。固定台付き変換アダプタおよび温度調節ユニット用断線検知コネクタ変換ケーブルを使用しない場合は不要となります。

基本/増設	置換前MELSEC-AnSシリーズ ベースユニット形名	置換後MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名	変換アダプタ DINレール取付金具形名	備考	掲載ページ
基本	A1S38B/A1S38HB/A1S38HBEU	Q38B	ERNT-ASQDIN3868	・別途、三菱電機株式会社製のDINレール取付用アダプタが必要となります。 ・Q7BAT-SETをご使用の際は、ベースユニットへCPUユニット(Q7BAT-SET装着前)を装着および変換アダプタDINレール取付金具を取付けた状態で、Q7BAT-SETをCPUユニットへ装着してください。	3-49
増設	A1S68B	Q68B			
	A1S58B				
基本	A1S35B	Q35B	ERNT-ASQDIN356500J		
増設	A1S65B	Q65B			
基本	A1SJCPU	Q00JCPU Q00UJCPU Q35B			
	A1SJCPU-S3				
	A1SJHCPU				
基本	A1S33B	Q33B	ERNT-ASQDIN3355		
	A1S32B				
増設	A1S55B	Q55B			
	A1S52B	Q52B	ERNT-ASQDIN52		

変換アダプタ

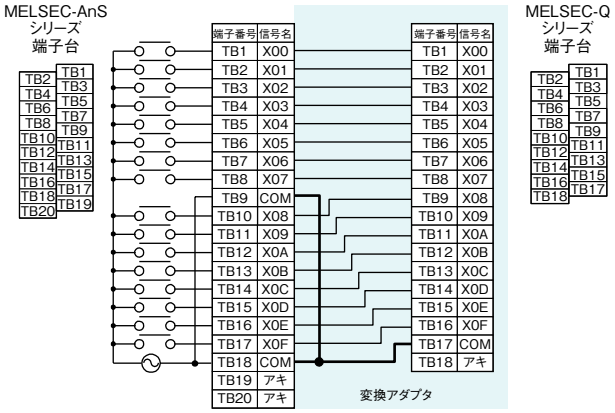
仕　様

入力／出力ユニット用
1スロットタイプ

(1)ERNT-ASQTXY10　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	入力／出力 点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQTXY10	A1SX10	16点	QX10
	A1SX10EU		
	A1SY10	16点	QY10
	A1SY10EU		

A1SX10/A1SX10EU→QX10の場合

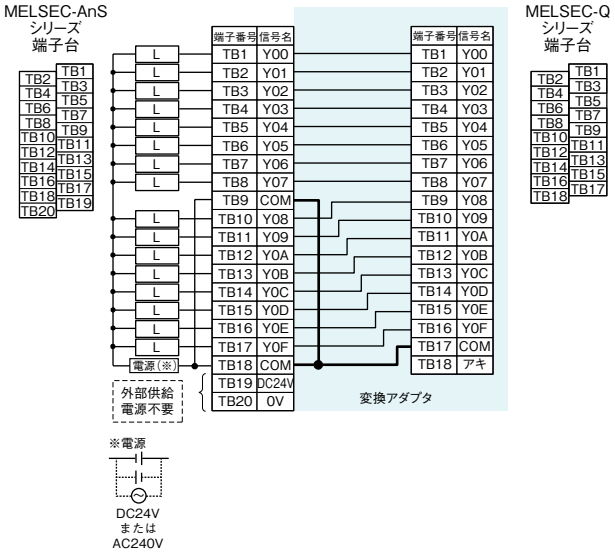


〈仕様比較表〉

形名 / 仕様		MELSEC-AnSシリーズ A1SX10	MELSEC-AnSシリーズ A1SX10EU	MELSEC-Qシリーズ QX10
入力点数		16点	16点	16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		AC100−120V 50/60Hz	AC100−120V 50/60Hz	AC100−120V(+10/−15%) 50/60Hz(±3Hz)
定格入力電流		約6mA(AC100V、60Hz)	約7mA(AC120V、60Hz)	約8mA(AC100V、60Hz) 約7mA(AC100V、50Hz)
突入電流		最大200mA 1ms以内 (AC132V)	最大200mA 1ms以内 (AC132V)	最大200mA 1ms以内 (AC132V)
ON電圧/ON電流		AC80V以上/5mA以上	AC80V以上/5mA以上	AC80V以上/5mA以上
OFF電圧/OFF電流		AC30V以下/1.4mA以下	AC30V以下/1.4mA以下	AC30V以下/1.7mA以下
入力インピーダンス		約18kΩ(60Hz) 約21kΩ(50Hz)	約18kΩ(60Hz) 約21kΩ(50Hz)	約12kΩ(60Hz) 約15kΩ(50Hz)
応答時間	OFF→ON	20ms以下	20ms以下	15ms以下
	ON→OFF	35ms以下	35ms以下	20ms以下
内部消費電流		50mA(TYP.全点ON)	50mA(TYP.全点ON)	50mA(TYP.全点ON)
コモン方式		16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン
外部接続方式		20点端子台	20点端子台	18点端子台

(注)1. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
2.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

A1SY10/A1SY10EU→QY10の場合



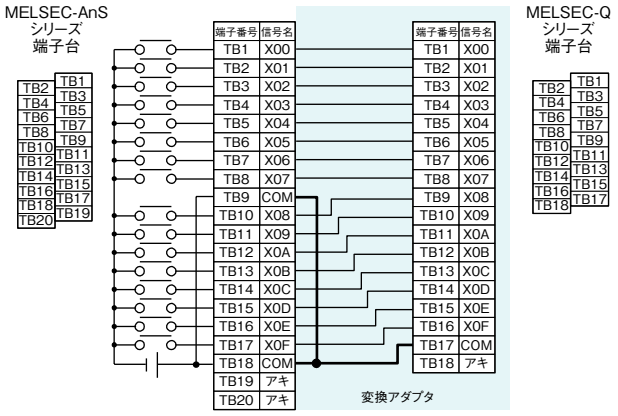
〈仕様比較表〉

形名 / 仕様	MELSEC-AnSシリーズ A1SY10	MELSEC-AnSシリーズ A1SY10EU	MELSEC-Qシリーズ QY10
出力点数	16点	16点	16点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	リレー絶縁
定格開閉電圧・電流	AC240/2A (cosφ=1) DC24V/2A(抵抗負荷) (8A/1コモン)	AC120/2A (cosφ=1) DC24V/2A(抵抗負荷) (8A/1コモン)	AC240/2A (cosφ=1) DC24V/2A(抵抗負荷) (8A/1コモン)
最小開閉負荷	DC5V 1mA	DC5V 1mA	DC5V 1mA
最大開閉電圧	AC264V DC125V	AC132V DC125V	AC264V DC125V
応答時間 OFF→ON	10ms以下	10ms以下	10ms以下
応答時間 ON→OFF	12ms以下	12ms以下	12ms以下
サージキラー	無	無	無
ヒューズ	無	無	無
内部消費電流	120mA(TYP.全点ON)	120mA(TYP.全点ON)	430mA(TYP.全点ON)
コモン方式	8点1コモン	8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式	20点端子台	20点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB9とTB18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB19、TB20に接続されていた外部供給電源は不要となります。ただし、変換アダプタ内部では未配線状態のため、接続したままの状態でも問題ありません。
3. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(2)ERNT-ASQTX40　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQTX40	A1SX40	16点	QX40 QX70
	A1SX40-S2	16点	QX40
	A1SX40-S1	16点	QX40-S1



〈仕様比較表〉

仕様＼形名	MELSEC-AnSシリーズ A1SX40 (シンクタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QX40 (プラスコモンタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QX70 (プラス/マイナスコモン共用タイプ)	
入力点数	16点	16点	16点	
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	
定格入力電圧	DC12V/DC24V	DC24V (+20/−15%、リップル率5%以内)	DC5V	DC12V
定格入力電流	約3mA/約7mA	約4mA	約1.2mA	約3.3mA
ON電圧/ON電流	DC8V以上/2mA以上	DC19V以上/3mA以上	3.5V以上/1mA以上	
OFF電圧/OFF電流	DC4V以下/1mA以下	DC11V以下/1.7mA以下	1V以下/0.1mA以下	
入力抵抗	約3.3kΩ	約5.6kΩ	約3.3kΩ	
応答時間 OFF→ON	10ms以下	1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下	
応答時間 ON→OFF	10ms以下	1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下	
内部消費電流	50mA(TYP.全点ON)	50mA(TYP.全点ON)	55mA(TYP.全点ON)	
コモン方式	16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン	
外部接続方式	20点端子台	18点端子台	18点端子台	

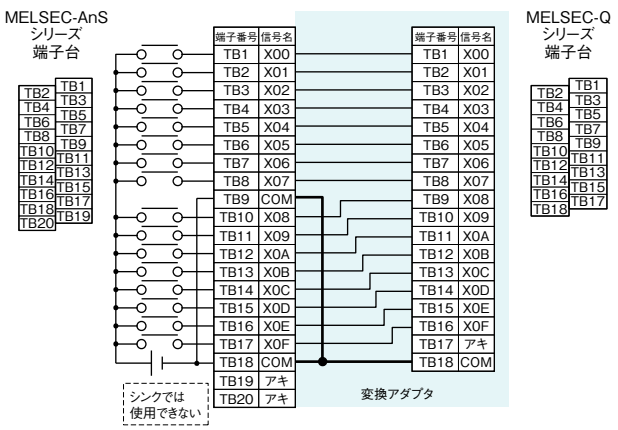
仕様＼形名	MELSEC-AnSシリーズ A1SX40-S2 (シンクタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QX40 (プラスコモンタイプ)
入力点数	16点	16点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格入力電圧	DC24V	DC24V (+20/−15%、リップル率5%以内)
定格入力電流	約7mA	約4mA
ON電圧/ON電流	DC14V以上/3.5mA以上	DC19V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流	DC6.5V以下/1.7mA以下	DC11V以下/1.7mA以下
入力抵抗	約3.3kΩ	約5.6kΩ
応答時間 OFF→ON	10ms以下	1/5/10/20/70ms以下
応答時間 ON→OFF	10ms以下	1/5/10/20/70ms以下
内部消費電流	50mA(TYP.全点ON)	50mA(TYP.全点ON)
コモン方式	16点1コモン	16点1コモン
外部接続方式	20点端子台	18点端子台

仕様＼形名	MELSEC-AnSシリーズ A1SX40-S1 (シンクタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QX40-S1 (プラスコモンタイプ)
入力点数	16点	16点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格入力電圧	DC24V	DC24V (+20/−15%、リップル率5%以内)
定格入力電流	約7mA	約6mA
ON電圧/ON電流	DC14V以上/4mA以上	DC19V以上/4mA以上
OFF電圧/OFF電流	DC6.5V以下/1.7mA以下	DC11V以下/1.7mA以下
入力抵抗	約3.3kΩ	約3.9kΩ
応答時間 OFF→ON	0.1ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms
応答時間 ON→OFF	0.2ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms
内部消費電流	50mA(TYP.全点ON)	60mA(TYP.全点ON)
コモン方式	16点1コモン	16点1コモン
外部接続方式	20点端子台	18点端子台

(注)1.A1SX40を定格入力電圧DC24Vで使用している場合は、QX40への置換えをご検討ください。
2.A1SX40を定格入力電圧DC12Vで使用している場合は、QX70への置換えをご検討ください。
3.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(3)ERNT-ASQTX80　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQTX80	A1SX80	16点	QX80
	A1SX80-S1		
	A1SX80-S2		



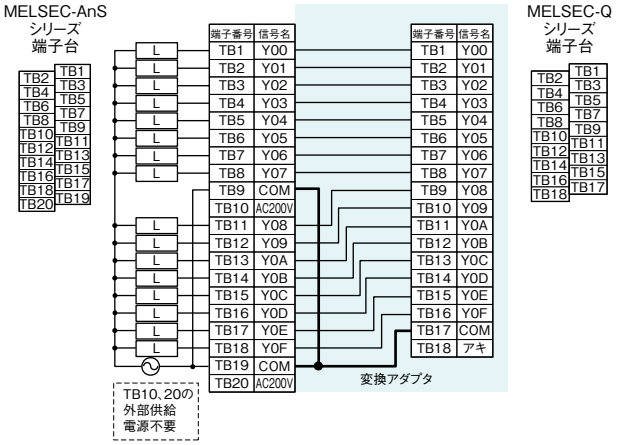
〈仕様比較表〉

仕様＼形名	MELSEC-AnSシリーズ A1SX80 (シンク/ソースタイプ)	MELSEC-AnSシリーズ A1SX80-S1 (シンク/ソースタイプ)	MELSEC-AnSシリーズ A1SX80-S2 (シンク/ソースタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QX80 (マイナスコモンタイプ)
入力点数	16点	16点	16点	16点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格入力電圧	DC12V/DC24V	DC24V	DC24V	DC24V (+20/−15%、リップル率5%以内)
定格入力電流	約3mA/約7mA	約7mA	約7mA	約4mA
ON電圧/ON電流	DC8V以上/2mA以上	DC17V以上/5mA以上	DC13V以上/3.5mA以上	DC19V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流	DC4V以下/1mA以下	DC5V以下/1.7mA以下	DC6V以下/1.7mA以下	DC11V以下/1.7mA以下
入力抵抗	約3.3kΩ	約3.3kΩ	約3.3kΩ	約5.6kΩ
応答時間 OFF→ON	10ms以下	0.4ms以下	10ms以下	1/5/10/20/70ms以下
応答時間 ON→OFF	10ms以下	0.5ms以下	10ms以下	1/5/10/20/70ms以下
内部消費電流	50mA(TYP.全点ON)	50mA(TYP.全点ON)	50mA(TYP.全点ON)	50mA(TYP.全点ON)
コモン方式	16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン
外部接続方式	20点端子台	20点端子台	20点端子台	18点端子台

(注)1.ソース入力にて使用してください。(シンク入力での使用はできません。)
2.A1SX80→QX80へ置換える際、定格入力電圧をDC12Vで使用している場合は、DC24Vに変更する必要があります。
3.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(4)ERNT-ASQTY22　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQTY22	A1SY22	16点	QY22



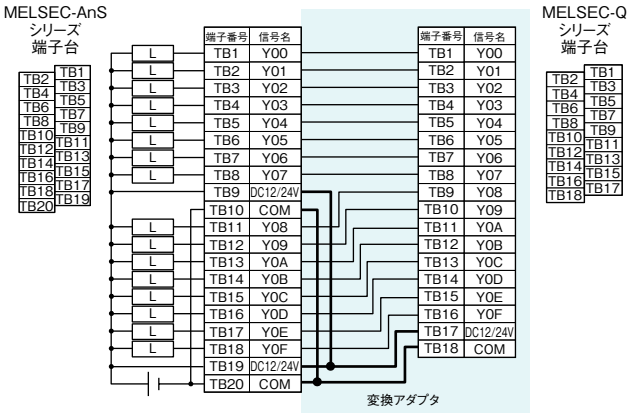
〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ A1SY22	MELSEC-Qシリーズ QY22
出力点数		16点	16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		AC100−240V 50/60Hz ±3Hz	AC100−240V 50/60Hz ±5%
最大負荷電流		0.6A/1点 2.4A/1コモン	0.6A/1点 4.8A/1コモン
最小負荷電圧・電流		AC24V 100mA AC100V 10mA AC240V 20mA	AC24V 100mA AC100V 25mA AC240V 25mA
最大突入電流		20A 10ms以下、8A 100ms以下	20A 1サイクル以下
OFF時漏洩電流		1.5mA(AC120V 60Hz) 3mA(AC240V 60Hz)	1.5mA(AC120V 60Hz時) 3mA以下(AC240V 60Hz時)
ON時最大電圧降下		AC1.5V以下(0.1〜0.6A) AC1.8V以下(50〜100mA) AC2V以下(10〜50mA)	1.5V以下
応答時間	OFF→ON	1ms以下	1ms以下
	ON→OFF	1ms+0.5サイクル以下	1ms+0.5サイクル以下(定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー		CRアブソーバ	CRアブソーバ
ヒューズ		5A(1コモン/1個)交換不可	無(外部配線でのヒューズ取付け推奨)
内部消費電流		270mA(TYP.全点ON)	250mA(TYP.全点ON)
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式		20点端子台	18点端子台

(注)1.コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB9とTB19を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB10、TB20に接続されていた外部供給電源は不要となります。ただし、変換アダプタ内部では未配線状態のため、接続したままの状態でも問題ありません。
3. □ は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(5)ERNT-ASQTY40　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQTY40	A1SY40 A1SY40P	16点	QY40P



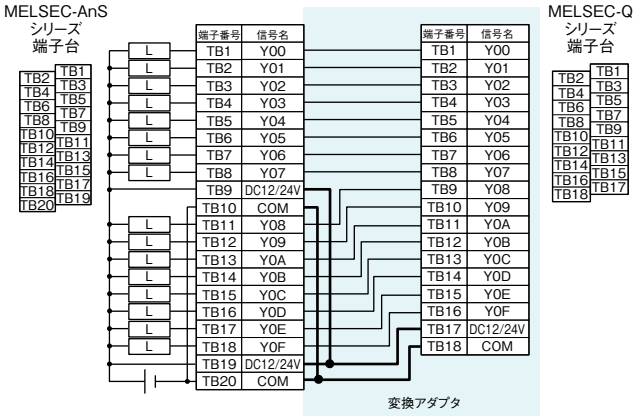
〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ A1SY40 (シンクタイプ)	MELSEC-AnSシリーズ A1SY40P (シンクタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QY40P (シンクタイプ)
出力点数		16点	16点	16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12V/24V	DC12V/24V	DC12-24V
最大負荷電流		0.1A/1点 0.8A/1コモン	0.1A/1点 0.8A/1コモン	0.1A/1点 1.6A/1コモン
最大突入電流		0.4A 10ms以下	0.7A 10ms以下	0.7A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下	0.1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC1.0V(TYP) 0.1A DC2.5V(MAX) 0.1A	DC0.1V(TYP) 0.1A DC0.2V(MAX) 0.1A	DC0.1V(TYP) 0.1A DC0.2V(MAX) 0.1A
応答時間	OFF→ON	2ms以下	1ms以下	1ms以下
	ON→OFF	2ms以下 (抵抗負荷)	1ms以下 (定格負荷、抵抗負荷)	1ms以下 (定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー		ツェナーダイオード	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		1.6A(1コモン/1個)交換不可	無	無
内部消費電流		270mA(TYP.全点ON)	79mA(TYP.全点ON)	65mA(TYP.全点ON)
保護機能		無	有 (過熱保護機能、過負荷保護)	有 (過熱保護機能、過負荷保護)
コモン方式		8点1コモン	8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式		20点端子台	20点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB9とTB19およびTB10、TB20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □ は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(6)ERNT-ASQTY50　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQTY50	A1SY50	16点	QY50



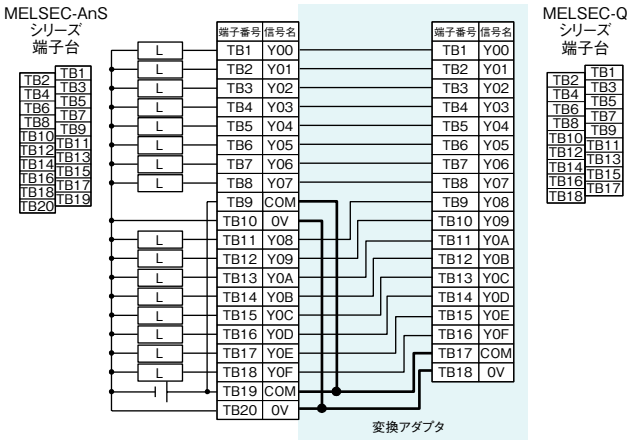
〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ A1SY50 (シンクタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QY50 (シンクタイプ)
出力点数		16点	16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12V/24V	DC12-24V
最大負荷電流		0.5A/1点 2A/1コモン	0.5A/1点 4A/1コモン
最大突入電流		4A 10ms以下	4A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC0.9V(TYP)　0.5A DC1.5V(MAX)　0.5A	DC0.2V(TYP)　0.5A DC0.3V(MAX)　0.5A
応答時間	OFF→ON	2ms以下	1ms以下
	ON→OFF	2ms以下(抵抗負荷)	1ms以下(定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー		ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		有	6.7A(交換不可)
内部消費電流		120mA(TYP.全点ON)	80mA(TYP.全点ON)
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式		20点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB9とTB19およびTB10、TB20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(7)ERNT-ASQTY80　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQTY80	A1SY80	16点	QY80



〈仕様比較表〉

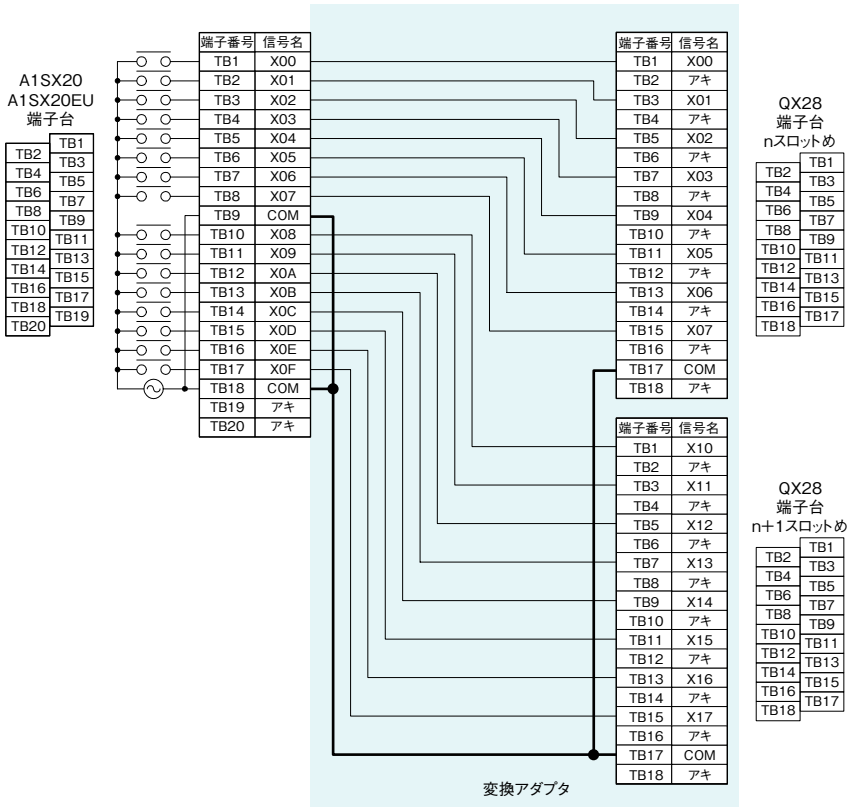
仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ A1SY80 (ソースタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QY80 (ソースタイプ)
出力点数		16点	16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12V/24V	DC12-24V
最大負荷電流		0.8A/1点 3.2A/1コモン	0.5A/1点 4A/1コモン
最大突入電流		8A 10ms以下	4A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC1.5V(MAX)　0.8A	DC0.2V(TYP)　0.5A DC0.3V(MAX)　0.5A
応答時間	OFF→ON	2ms以下	1ms以下
	ON→OFF	2ms以下(抵抗負荷)	1ms以下(定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー		ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		5A(1コモン/1個) 交換不可	6.7A(交換不可)
内部消費電流		120mA(TYP.全点ON)	80mA(TYP.全点ON)
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式		20点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB9とTB19およびTB10、TB20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

2スロットタイプ

(1)ERNT-ASQTX20　端子台(20p)→端子台(18p)×2

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-ASQTX20	A1SX20 A1SX20EU	16点	QX28	2



〈仕様比較表〉

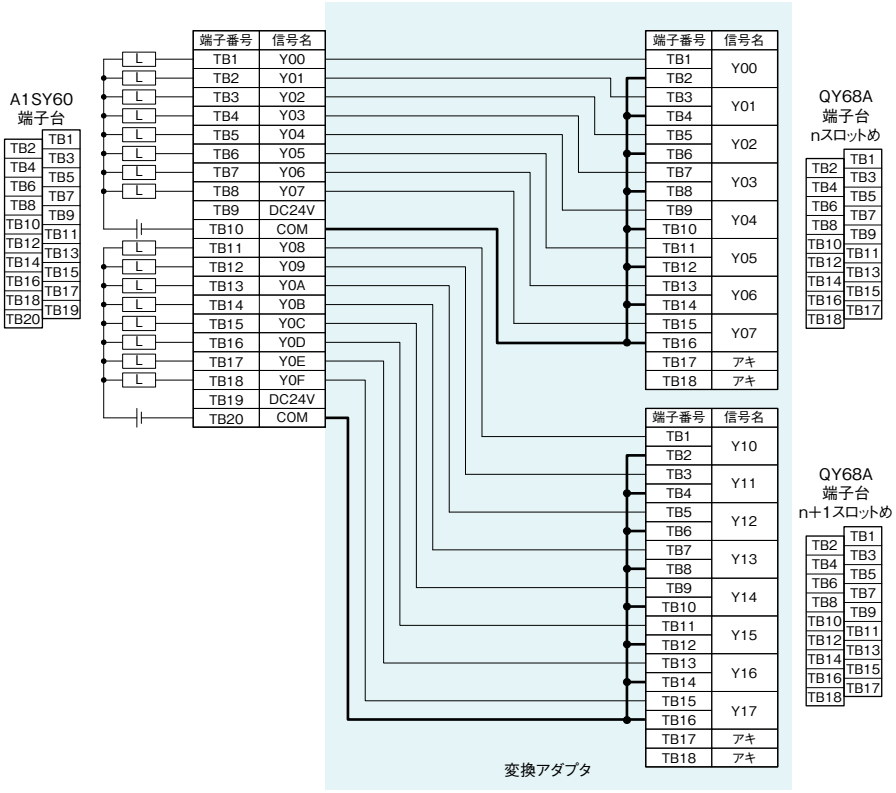
仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ A1SX20	MELSEC-AnSシリーズ A1SX20EU	MELSEC-Qシリーズ QX28
入力点数		16点	16点	8点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		AC200−240V 50/60Hz	AC200−240V 50/60Hz	AC100−240V(+10%/−15%) 50/60Hz(±3Hz)
定格入力電流		約9mA(AC200V 60Hz)	約11mA(AC240V 60Hz)	約17mA(AC200V 60Hz)、約14mA(AC200V 50Hz) 約8mA(AC100V 60Hz)、約7mA(AC100V 50Hz)
突入電流		最大500mA 1ms以内(AC264V)	最大500mA 1ms以内(AC264V)	最大950mA 1ms以内(AC264V)
ON電圧／ON電流		AC80V以上/4mA以上	AC80V以上/4mA以上	AC80V以上/5mA以上(50Hz、60Hz)
OFF電圧／OFF電流		AC30V以下/1mA以下	AC30V以下/1mA以下	AC30V以下/1.7mA以下(50Hz、60Hz)
入力インピーダンス		約22kΩ(60Hz)、約27kΩ(50Hz)	約22kΩ(60Hz)、約27kΩ(50Hz)	約12kΩ(60Hz)、約15kΩ(50Hz)
応答時間	OFF→ON	30ms以下(AC200V 60Hz)	30ms以下(AC200V 60Hz)	10ms以下(AC100V 50Hz、60Hz)
	ON→OFF	55ms以下(AC200V 60Hz)	55ms以下(AC200V 60Hz)	20ms以下(AC100V 50Hz、60Hz)
内部消費電流		50mA(TYP.全点ON)	50mA(TYP.全点ON)	50mA(TYP.全点ON)
コモン方式		16点1コモン	16点1コモン	8点1コモン
外部接続方式		20点端子台	20点端子台	18点端子台

(注)1.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
2.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

●プログラム上の注意
QX28は16点占有ユニットのため、A1SX20/A1SX20EUで使用していた後半8点のX08〜X0Fは、X10〜X17へプログラムの変更が必要です。

(2)ERNT-ASQTY60　端子台(20p)→端子台(18p)×2

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-ASQTY60	A1SY60	16点	QY68A	2



(注)1.MELSEC-AnS側のDC24V端子(TB9、TB19)に接続されていた配線は不要となります。ただし、変換アダプタ内部では未配線状態のため、接続したままの状態でも問題ありません。

〈仕様比較表〉

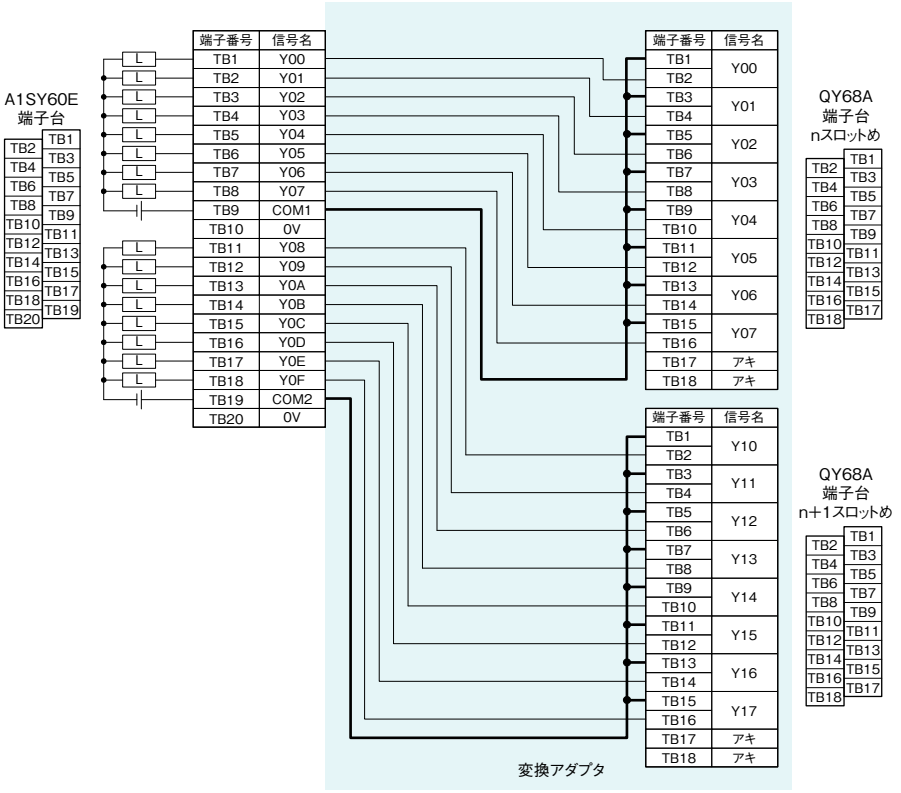
形名 / 仕様		MELSEC-AnSシリーズ A1SY60(シンクタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QY68A(シンク/ソースタイプ)
出力点数		16点	8点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC24V	DC5−24V(+20/−10%)
最大負荷電流		2A/1点 4A/1コモン(25℃) 1.8A/1点 3.6A/1コモン(45℃) 1.6A/1点 3.2A/1コモン(55℃)	2A/1点 8A/ユニット
最大突入電流		8A 10ms以下	8A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC0.9V(TYP)2A DC1.5V(MAX)0.5A	DC0.3V(MAX)2A
応答時間	OFF→ON	2ms以下	3ms以下
	ON→OFF	2ms以下(抵抗負荷)	10ms以下(抵抗負荷)
サージキラー		ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		有	無
内部消費電流		120mA(TYP.全点ON)	110mA(TYP.全点ON)
コモン方式		8点1コモン	全点独立
外部接続方式		20点端子台	18点端子台

(注)2.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

●プログラム上の注意
QY68Aは16点占有ユニットのため、A1SY60で使用していた後半8点のY08〜Y0Fは、Y10〜Y17へプログラムの変更が必要です。

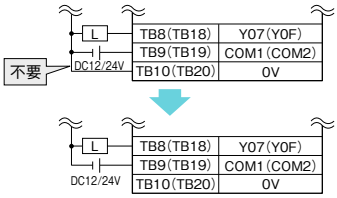
(3)ERNT-ASQTY60E 端子台(20p)→端子台(18p)×2

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-ASQTY60E	A1SY60E	16点	QY68A	2

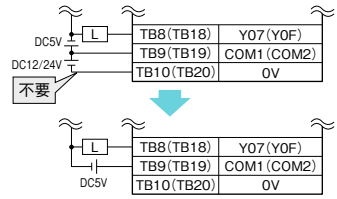


(注)1.MELSEC-AnS側の0V端子(TB10、TB20)に接続されていた配線は不要となります。また、負荷電圧がDC5Vの場合、接続されていたDC12/24V電源も不要となります。ただし、変換アダプタ内部では未配線状態のため、接続したままの状態でも問題ありません。

【負荷電圧DC12/24Vの場合】



【負荷電圧DC5Vの場合】



〈仕様比較表〉

形名 / 仕様		MELSEC-AnSシリーズ A1SY60E(ソースタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QY68A(シンク/ソースタイプ)
出力点数		16点	8点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC5/12/24V	DC5−24V(+20/−10%)
最大負荷電流		2A/1点(条件:$\tau=\frac{L}{R}\leqq$2.5ms) 4A/1コモン	2A/1点 8A/ユニット
最大突入電流		8A 10ms以下	8A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC0.2V(MAX)1A DC0.4V(MAX)2A	DC0.3V(MAX)2A
応答時間	OFF→ON	3ms以下	3ms以下
	ON→OFF	10ms以下(抵抗負荷)	10ms以下(抵抗負荷)
サージキラー		ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		有	無
内部消費電流		200mA(TYP.全点ON)	110mA(TYP.全点ON)
コモン方式		8点1コモン	全点独立
外部接続方式		20点端子台	18点端子台

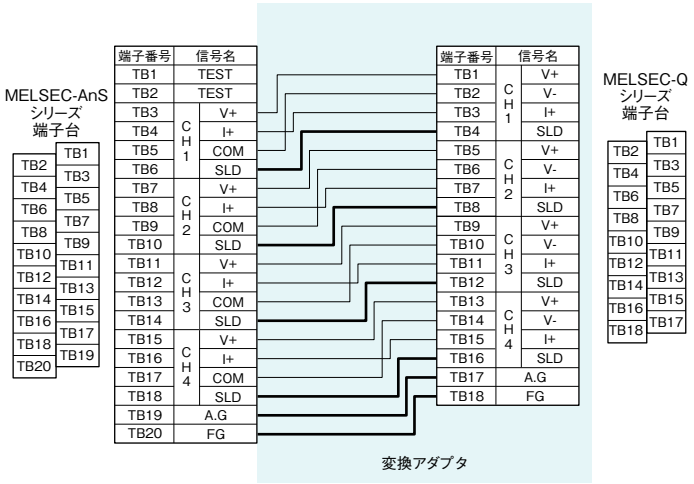
(注)2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

●プログラム上の注意
QY68Aは16点占有ユニットのため、A1SY60Eで使用していた後半8点のY08～Y0Fは、Y10～Y17へプログラムの変更が必要です。

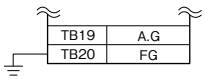
アナログユニット用
1スロットタイプ

(1)ERNT-ASQT64AD　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQT64AD	A1S64AD	4チャンネル	Q64AD



(注)1.FG端子(TB20)は必ず接地してください。



2.Q64ADにオフセット・ゲイン設定用端子はありません。オフセット・ゲイン設定については、Q64ADのユーザーズマニュアルを参照してください。

〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ A1S64AD	MELSEC-Qシリーズ Q64AD
アナログ入力	電圧	DC−10〜0〜10V(入力抵抗:1MΩ)	DC−10〜10V(入力抵抗1MΩ)
	電流	−20mA〜0〜20mA(入力抵抗250Ω)	DC0〜20mA(入力抵抗250Ω)
ディジタル出力		16ビット符号付バイナリ 1/4000　設定時　−4096〜4095 1/8000　設定時　−8192〜8191 1/12000　設定時　−12288〜12287	16ビット符号付バイナリ (通常分解能モード:−4096〜4095、高分解能モード:−12288〜12287、−16384〜16383)

入出力特性

アナログ入力	ディジタル出力値(ゲイン5V/20mA、オフセット0V/0mAの場合) 1/4000設定時	1/8000設定時	1/12000設定時
10V	4000	8000	12000
5Vまたは20mA	2000	4000	6000
0Vまたは0mA	0	0	0
−5Vまたは−20mA	−2000	−4000	−6000
−10V	−4000	−8000	−12000

最大分解能

	1/4000設定時	1/8000設定時	1/12000設定時
電圧入力	2.5mV	1.25mV	0.83mV
電流入力	10μA	5μA	3.33μA

アナログ入力レンジ		通常分解能モード ディジタル出力値	通常分解能モード 最大分解能	高分解能モード ディジタル出力値	高分解能モード 最大分解能
電圧	0〜10V	0〜4000	2.5mV	0〜16000	0.625mV
	0〜5V		1.25mV	0〜12000	0.416mV
	1〜5V		1.0mV		0.333mV
	−10〜10V	−4000〜4000	2.5mV	−16000〜16000	0.625mV
	ユーザレンジ設定		0.375mV	−12000〜12000	0.333mV
電流	0〜20mA	0〜4000	5μA	0〜12000	1.66μA
	4〜20mA		4μA		1.33μA
	ユーザレンジ設定	−4000〜4000	1.37μA	−12000〜12000	1.33μA

総合精度

	1/4000設定時	1/8000設定時	1/12000設定時
±1.0%以内	±40	±80	±120

アナログ入力レンジ		通常分解能モード 周囲温度0〜55℃ 温度ドリフト補正あり	通常分解能モード 周囲温度0〜55℃ 温度ドリフト補正なし	通常分解能モード 周囲温度25±5℃	高分解能モード 周囲温度0〜55℃ 温度ドリフト補正あり	高分解能モード 周囲温度0〜55℃ 温度ドリフト補正なし	高分解能モード 周囲温度25±5℃
電圧	0〜10V	±0.3%以内(±12digit)	±0.4%以内(±16digit)	±0.1%以内(±4digit)	±0.3%以内(±48digit)	±0.4%以内(±64digit)	±0.1%以内(±16digit)
	−10〜10V						
	0〜5V				±0.3%以内(±36digit)	±0.4%以内(±48digit)	±0.1%以内(±12digit)
	1〜5V						
	ユーザレンジ設定						
電流	0〜20mA						
	4〜20mA						
	ユーザレンジ設定						

最大変換速度		20ms/チャンネル	80μs/チャンネル(温度ドリフト補正ありのとき、使用チャンネル数にかかわらず160μs加算)
絶対最大入力	電圧	±15V	±15V
	電流	±30mA	±30mA
アナログ入力点数		4チャンネル/ユニット	4チャンネル/ユニット
絶縁方式	入力端子とシーケンサ電源間	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
	チャンネル間	非絶縁	非絶縁
占有点数		32点	16点
外部接続方式		20点端子台	18点端子台
消費電流		0.4A	0.63A

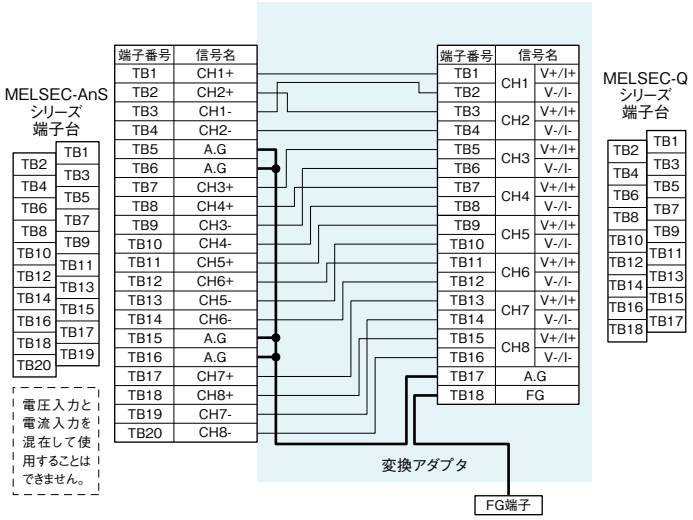
(注)3. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

●プログラム上の注意

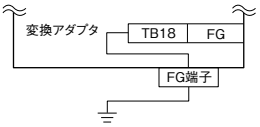
(1)A1S64ADとQ64ADでは、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。
(2)A1S64ADに対してQ64ADは変換速度が速くなります。このため、A1S64ADでは取込まなかったノイズをQ64ADではアナログ信号として取込む可能性があります。このような場合は、平均処理機能を使用しノイズの影響を除去してください。

(2)ERNT-ASQT68AD 端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQT68AD	A1S68AD(電圧入力)	8チャンネル	Q68ADV
	A1S68AD(電流入力)	8チャンネル	Q68ADI



(注)1.Q68ADV/Iのアナログ入力は、1ユニットで電圧入力と電流入力の混在使用はできません。A1S68AD(1ユニット)で電圧入力と電流入力を混在使用している場合は、変換アダプタが使用できませんので電圧入力用ユニット(Q68ADVなど)と電流入力用ユニット(Q68ADIなど)へ直接配線を行ってください。または、変換アダプタERNT-ASQT68AD-G(3-17ページ)を使用したQ68AD-Gへの置換えを検討してください。
2.FG端子は必ず接地してください。



〈仕様比較表〉

仕様 \ 形名		MELSEC-AnSシリーズ A1S68AD	MELSEC-Qシリーズ Q68ADV	Q68ADI
アナログ入力	電圧	DC−10〜0〜10V(入力抵抗:1MΩ)	DC−10〜10V(入力抵抗1MΩ)	−
	電流	0〜20mA(入力抵抗250Ω)	−	DC0〜20mA(入力抵抗250Ω)
ディジタル出力		16ビット符号付バイナリ	16ビット符号付バイナリ (通常分解能モード:−4096〜4095、高分解能モード:−12288〜12287、−16384〜16383)	

入出力特性

アナログ入力	ディジタル出力
0〜10V	0〜4000
−10〜10V	−2000〜2000
0〜5V または0〜20mA	0〜4000
1〜5V または4〜20mA	0〜4000

最大分解能

アナログ入力	ディジタル出力
0〜10V	2.5mV
−10〜10V	5mV
0〜5V	1.25mV
1〜5V	1.0mV
0〜20mA	5μA
4〜20mA	4μA

アナログ入力レンジ		通常分解能モード ディジタル出力値	通常分解能モード 最大分解能	高分解能モード ディジタル出力値	高分解能モード 最大分解能
電圧	0〜10V	0〜4000	2.5mV	0〜16000	0.625mV
	0〜5V		1.25mV	0〜12000	0.416mV
	1〜5V		1.0mV		0.333mV
	−10〜10V	−4000〜4000	2.5mV	−16000〜16000	0.625mV
	ユーザレンジ設定		0.375mV	−12000〜12000	0.333mV
電流	0〜20mA	0〜4000	5μA	0〜12000	1.66μA
	4〜20mA		4μA		1.33μA
	ユーザレンジ設定	−4000〜4000	1.37μA	−12000〜12000	1.33μA

総合精度: ±1.0%以内 (ディジタル出力値±40)

アナログ入力レンジ		通常分解能モード 周囲温度0〜55℃ 温度ドリフト補正あり	通常分解能モード 周囲温度0〜55℃ 温度ドリフト補正なし	通常分解能モード 周囲温度25±5℃	高分解能モード 周囲温度0〜55℃ 温度ドリフト補正あり	高分解能モード 周囲温度0〜55℃ 温度ドリフト補正なし	高分解能モード 周囲温度25±5℃
電圧	0〜10V	±0.3%以内 (±12digit)	±0.4%以内 (±16digit)	±0.1%以内 (±4digit)	±0.3%以内 (±48digit)	±0.4%以内 (±64digit)	±0.1%以内 (±16digit)
	−10〜10V						
	0〜5V						
	1〜5V				±0.3%以内 (±36digit)	±0.4%以内 (±48digit)	±0.1%以内 (±12digit)
	ユーザレンジ設定						
電流	0〜20mA						
	4〜20mA						
	ユーザレンジ設定						

最大変換速度		0.5ms/チャンネル(1チャンネルでも平均処理を設定したチャンネルがある場合、全チャンネルに対し1ms/チャンネルとなる)	80μs/チャンネル(温度ドリフト補正ありのとき、使用チャンネル数にかかわらず160μs加算)
絶対最大入力	電圧	±35V	±15V
	電流	±30mA	±30mA
アナログ入力点数		8チャンネル/ユニット	8チャンネル/ユニット
絶縁方式	入力端子とシーケンサ電源間	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
	チャンネル間	非絶縁	非絶縁
占有点数		32点	16点
外部接続方式		20点端子台	18点端子台
消費電流		0.4A	0.64A

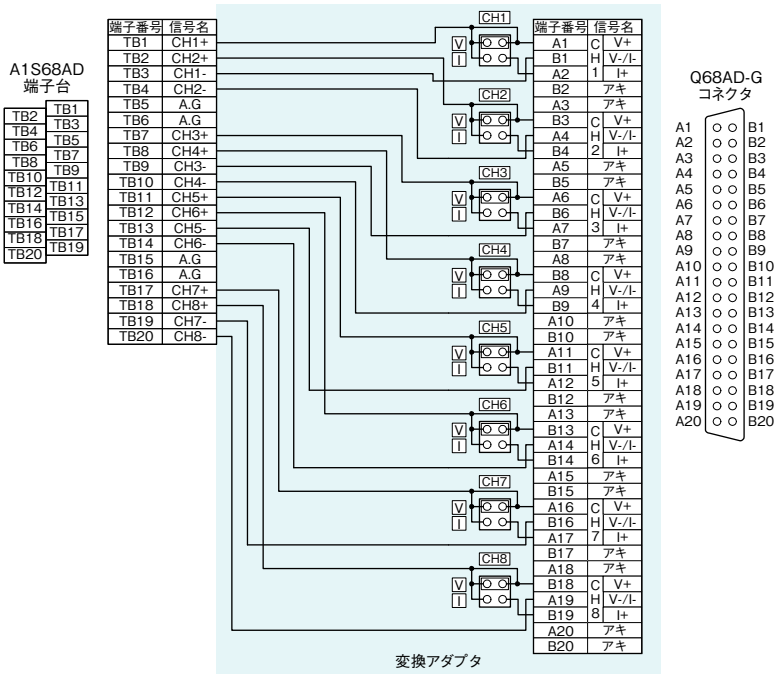
(注)3. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

●プログラム上の注意

(1)A1S68ADとQ68ADV/Q68ADIでは、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。
(2)A1S68ADに対してQ68ADV/Q68ADIは変換速度が速くなります。このため、A1S68ADでは取込まなかったノイズをQ68ADV/Q68ADIではアナログ信号として取込む可能性があります。このような場合は、平均処理機能を使用しノイズの影響を除去してください。

(3)ERNT-ASQT68AD-G　端子台(20p)→コネクタ(40p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQT68AD-G	A1S68AD(電圧/電流入力混在)	8チャンネル	Q68AD-G



(注)1.各チャンネル CH1 ～ CH8 の入力に合せて、変換アダプタ内部にある設定ピンの短絡片を、電圧入力時は V 側に、電流入力時は I 側に設定してください。
尚、工場出荷時は全チャンネルが電圧入力(V側)になっています。
2.Q68AD-GにはAG端子が無いため、MELSEC-AnS側のAG端子(TB5、TB6、TB15、TB16)に接続されていた配線は不要です。ただし、変換アダプタ内部では、未配線状態のため接続したままの状態でも問題ありません。
3.V/I切替設定ピンを設定後、外部配線を接続してください。

〈仕様比較表〉

仕様 \ 形名		MELSEC-AnSシリーズ A1S68AD		MELSEC-Qシリーズ Q68AD-G					
アナログ入力	電圧	DC−10～0～+10V(入力抵抗1MΩ以上)							
	電流	DC0～20mA(入力抵抗250Ω)							
ディジタル入力		16ビット符号付バイナリ		16ビット符号付バイナリ (通常分解能モード:−4096～4095、高分解能モード:−12288～12287、−16384～16383)					
	スケーリング機能使用時	−		16ビット符号付バイナリ (−32768～32767)					
入出力特性		アナログ入力	ディジタル出力	入力	アナログ入力レンジ	通常分解能モード ディジタル出力値	通常分解能モード 分解能	高分解能モード ディジタル出力値	高分解能モード 分解能
		0～10V	0～4000	電圧	0～10V	0～4000	2.5mV	0～16000	0.625mV
		−10～10V	−2000～2000		0～5V		1.25mV	0～12000	0.416mV
		0～5V または0～20mA	0～4000		1～5V		1.0mV		0.333mV
		1～5V または4～20mA	0～4000		1～5V (拡張モード)	−1000～4500	1.0mV	−3000～13500	0.333mV
					−10～10V	−4000～4000	2.5mV	−16000～16000	0.625mV
					ユーザレンジ設定		0.375mV	−12000～12000	0.333mV
最大分解能		アナログ入力	ディジタル出力						
		0～10V	2.5mV	電流	0～20mA	0～4000	5μA	0～12000	1.66μA
		−10～10V	5mV		4～20mA		4μA		1.33μA
		0～5V	1.25mV		4～20mA (拡張モード)	−1000～4500	4μA	−3000～13500	1.33μA
		1～5V	1mV						
		0～20mA	5μA		ユーザレンジ設定	−4000～4000	1.37μA	−12000～12000	1.33μA
		4～20mA	4μA						
総合精度	基準精度(※1)	±1%以内(ディジタル出力値±40)		±0.1% (通常分解能モード:±4digit(※2) 高分解能モード(0～10V、−10～10V):±16digit(※2) 高分解能モード(上記レンジ以外):±12digit(※2))					
	温度係数(※3)	−		±71.4ppm/℃(0.00714%/℃)					
最大変換速度(サンプリング周期(※4))		0.5ms/1チャンネル(※6)		10ms/1チャンネル					
応答時間(※5)		−		20ms					
絶対最大入力		電圧:±35V 電流:±30mA		電圧:±15V 電流:±30mA					
アナログ入力点数		8チャンネル/1ユニット							
絶縁方式	入力端子ーシーケンサ電源間	フォトカプラ絶縁		トランス絶縁					
	アナログ入力チャンネル間	非絶縁		トランス絶縁					
入出力占有点数		32点		16点					
接続方式		20点端子台		40ピンコネクタ					
内部消費電流(DC5V)		0.4A		0.46A					

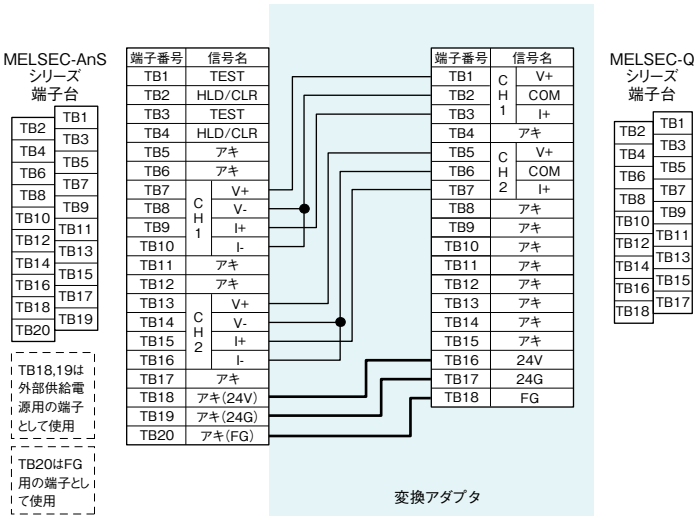
※1:オフセット・ゲイン設定時の周囲温度における精度
※2:digitはディジタル値を示す
※3:温度変化1℃あたりの精度
※4:A/D変換値が更新される周期
※5:入力信号がQ68AD-G内部のADコンバータに到達するまでの時間
※6:1チャンネルでも平均処理を設定したチャンネルがある場合、全チャンネルに対し1ms／チャンネルとなる。

(注)4. □ は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
5.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

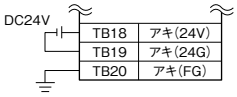
●プログラム上の注意
(1)A1S68ADとQ68AD-Gでは、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリアドレスの割付けが異なるため、シーケンスプログラムの変更が必要です。
(2)A1S68ADにおいてディップスイッチで設定していた入力レンジは、Q68AD-Gではインテリジェント機能ユニットスイッチ設定にて行います。

(4)ERNT-ASQT62DA 端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQT62DA	A1S62DA	2チャンネル	Q62DAN



(注)1.Q62DAN側の電源供給(電源供給端子(TB16、TB17))は、MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB18、TB19を使用し電源供給してください。



2.Q62DAN側のFG端子(TB18)は、MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB20を使用し接地してください。

3.Q62DANにオフセット・ゲイン設定用端子およびアナログ出力ホールド/クリア設定用端子はありません。アナログ出力ホールド/クリア設定は、Q62DANのインテリジェント機能ユニットスイッチ設定で行う必要があります。
オフセット・ゲイン設定およびアナログ出力ホールド/クリア設定については、Q62DANのユーザーズマニュアルを参照してください。

〈仕様比較表〉

仕様 \ 形名		MELSEC-AnSシリーズ A1S62DA	MELSEC-Qシリーズ Q62DAN
ディジタル入力		16ビット符号付バイナリ 1/4000: 電圧出力 −4000〜4000, 電流出力 0〜4000 1/8000: 電圧出力 −8000〜8000, 電流出力 0〜8000 1/12000: 電圧出力 −12000〜12000, 電流出力 0〜12000	16ビット符号付バイナリ (通常分解能モード:−4096〜4095、 高分解能モード:−12288〜12287、−16384〜16383)
アナログ出力	電圧	DC−10〜0〜10V(外部負荷抵抗値2kΩ〜1MΩ)	DC−10〜10V(外部負荷抵抗値1KΩ〜1MΩ)
	電流	DC0〜20mA(外部負荷抵抗値0Ω〜600Ω)	DC0〜20mA(外部負荷抵抗値0Ω〜600Ω)
入出力特性		分解能 1/4000 / 1/8000 / 1/12000 / アナログ出力値 電圧 ディジタル入力値: 4000 8000 12000 10V; 2000 4000 6000 5V; 0 0 0 0V; −2000 −4000 −6000 −5V; −4000 −8000 −12000 −10V 電流 ディジタル入力値: 4000 8000 12000 20mA; 2000 4000 6000 12mA; 0 0 0 4mA	アナログ出力レンジ / 通常分解能モード(ディジタル入力値 / 最大分解能) / 高分解能モード(ディジタル入力値 / 最大分解能) 電圧 0〜5V: 0〜4000 / 1.25mV / 0〜12000 / 0.416mV 電圧 1〜5V: 1.0mV / 0.333mV 電圧 −10〜10V: −4000〜4000 / 2.5mV / −16000〜16000 / 0.625mV 電圧 ユーザレンジ設定: −4000〜4000 / 0.75mV / −12000〜12000 / 0.333mV 電流 0〜20mA: 0〜4000 / 5μA / 0〜12000 / 1.66μA 電流 4〜20mA: 4μA / 1.33μA 電流 ユーザレンジ設定: −4000〜4000 / 1.5μA / −12000〜12000 / 0.83μA
最大分解能		1/4000: 電圧出力 2.5mV(10V) 電流出力 5μA(20mA) 1/8000: 1.25mV(10V) 2.5μA(20mA) 1/12000: 0.83mV(10V) 1.7μA(20mA)	
総合精度		電圧:±1.0%(±100mV) 電流:±1.0%(±200μA)	周囲温度25±5 ℃:±0.1%以内 (電圧:±10mV、電流:±20μA) 周囲温度0〜55 ℃:±0.3%以内 (電圧:±30mV、電流:±60μA)
最大変換速度		25ms以内/2チャンネル (1チャンネルも同一時間)	80μs/チャンネル
絶対最大出力	電圧	±12V	±12V
	電流	28mA	21mA
アナログ出力点数		2チャンネル/ユニット	2チャンネル/ユニット
絶縁方式	出力端子とシーケンサ電源間	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
	チャンネル間	非絶縁	非絶縁
	外部供給電源とアナログ出力間	−	トランス絶縁
占有点数		32点	16点
外部接続方式		20点端子台	18点端子台
消費電流		0.80A	0.33A
外部供給電源	電圧	−	DC24V +20%、−15%
	電流	−	0.15A

(注)4. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

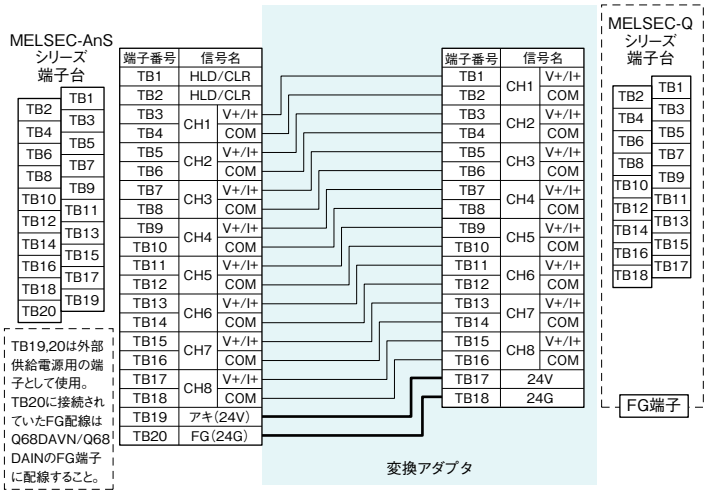
5.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

●プログラム上の注意

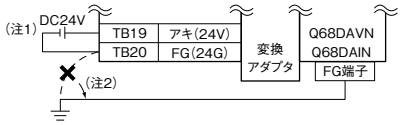
A1S62DAとQ62DANでは、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

(5)ERNT-ASQT68DA　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQT68DA	A1S68DAV	8チャンネル	Q68DAVN
	A1S68DAI	8チャンネル	Q68DAIN



(注)1.Q68DAVN/Q68DAIN側への電源供給(電源供給端子(TB17、TB18))は、MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB19、TB20を使用し電源供給してください。
2.MELSEC-AnSシリーズ側の端子番号TB20に接続されていたFG配線は、Q68DAVN/Q68DAIN側のFG端子に配線してください。



3.Q68DAVN/Q68DAINにアナログ出力ホールド／クリア設定用端子はありません。アナログ出力ホールド／クリア設定は、Q68DAVN/Q68DAINのインテリジェント機能ユニットスイッチ設定で行う必要があります。

〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ A1S68DAV	MELSEC-Qシリーズ Q68DAVN
ディジタル入力		16ビット符号付バイナリ −2048～2047	16ビット符号付バイナリ(通常分解能モード:−4096～4095、高分解能モード:−12288～12287、−16384～16383)
アナログ出力		DC−10～0～10V(外部負荷抵抗値2KΩ～1MΩ)	DC−10～10V(外部負荷抵抗値1KΩ～1MΩ)
入出力特性		ディジタル入力 / アナログ出力 2000 / 10V 1000 / 5V 0 / 0V −1000 / −5V −2000 / −10V	アナログ出力レンジ: 電圧 0～5V / 1～5V / −10～10V / ユーザレンジ設定 通常分解能モード: ディジタル入力値 0～4000 / −4000～4000; 最大分解能 1.25mA / 1.0mA / 2.5mA / 0.75mV 高分解能モード: ディジタル入力値 0～12000 / −16000～16000 / −12000～12000; 最大分解能 0.416mV / 0.333mV / 0.625mV / 0.333mV
最大分解能		5mV	
総合精度		電圧:±1.0%(±100mV)	周囲温度25±5℃:±0.1%以内(電圧:±10mV) 周囲温度0～55℃:±0.3%以内(電圧:±30mV)
最大変換速度		4ms以内/8チャンネル	80μs/チャンネル
絶対最大出力		−	±12V
アナログ出力点数		8チャンネル/ユニット	8チャンネル/ユニット
絶縁方式	出力端子とシーケンサ電源間	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
	チャンネル間	非絶縁	非絶縁
	外部供給電源とアナログ出力間	−	トランス絶縁
占有点数		32点	16点
外部接続方式		20点端子台	18点端子台
消費電流		0.65A	0.38A
外部供給電源	電圧	−	DC24V +20%、−15%
	電流	−	0.2A

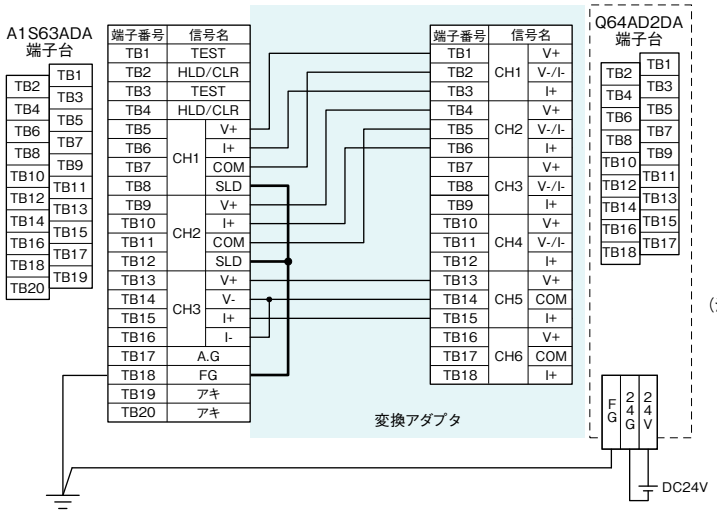
仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ A1S68DAI	MELSEC-Qシリーズ Q68DAIN
ディジタル入力		16ビット符号付バイナリ 0～4096	16ビット符号付バイナリ(通常分解能モード:−4096～4095、高分解能モード:−12288～12287、−16384～16383)
アナログ出力		DC4～20mA(外部負荷抵抗値0～600Ω)	DC0～20mA(外部負荷抵抗値0～600Ω)
入出力特性		ディジタル入力 / アナログ出力 4000 / 20mA 2000 / 12mA 0 / 4mA	アナログ出力レンジ: 電流 0～20mA / 4～20mA / ユーザレンジ設定 通常分解能モード: ディジタル入力値 0～4000 / −4000～4000; 最大分解能 5μA / 4μA / 1.5μA 高分解能モード: ディジタル入力値 0～12000 / −12000～12000; 最大分解能 1.66μA / 1.33μA / 0.83μA
最大分解能		4μA	
総合精度		電流:±1.0%(±200μA)	周囲温度25±5℃:±0.1%以内(電流:±20μA) 周囲温度0～55℃:±0.3%以内(電流:±60μA)
最大変換速度		4ms以内/8チャンネル	80μs/チャンネル
絶対最大出力		−	21mA
アナログ出力点数		8チャンネル/ユニット	8チャンネル/ユニット
絶縁方式	出力端子とシーケンサ電源間	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
	チャンネル間	非絶縁	非絶縁
	外部供給電源とアナログ出力間	−	トランス絶縁
占有点数		32点	16点
外部接続方式		20点端子台	18点端子台
消費電流		0.85A	0.38A
外部供給電源	電圧	−	DC24V +20%、−15%
	電流	−	0.27A

(注)4. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
5.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

●プログラム上の注意
A1S68DAV/A1S68DAIとQ68DAVN/Q68DAINでは、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

(6)ERNT-ASQT63ADA 端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQT63ADA	A1S63ADA	入力:2チャンネル 出力:1チャンネル	Q64AD2DA



(注)1.Q64AD2DAにオフセット・ゲイン設定用端子およびアナログ出力ホールド／クリア設定用端子はありません。アナログ出力ホールド／クリア設定は、Q64AD2DAのインテリジェント機能ユニットスイッチ設定で行う必要があります。
オフセット・ゲイン設定およびアナログ出力ホールド／クリア設定については、Q64AD2DAのユーザーズマニュアルを参照ください。
2.A1S63ADAのFG端子(TB18)は必ず接地してください。
3.Q64AD2DAユニット下部にある外部供給電源コネクタへ、DC24V電源およびFGの接続が必要です。
4.Q64AD2DAにはAG端子が無いため、MELSEC-AnS側のSLD端子(TB12)とAG端子(TB17)に接続されていた配線は不要となります。ただし、変換アダプタ内部では未配線状態のため接続したままの状態でも問題ありません。

〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ A1S63ADA	MELSEC-Qシリーズ Q64AD2DA
A/D変換	アナログ入力点数	2 チャンネル	4チャンネル
	アナログ入力 電圧	DC −10〜0〜10V(入力抵抗値1MΩ)	
	アナログ入力 電流	DC−20〜0〜20mA(入力抵抗250Ω)	DC0〜20mA(入力抵抗値250Ω)
	ディジタル出力値	−4096〜4095(分解能1/4000設定時) −8192〜8191(分解能1/8000設定時) −12288〜12287(分解能1/12000設定時)	通常分解能モード:−96〜4095、−4096〜4095、−1096〜4595 高分解能モード:−384〜16383、−288〜12287、−16384〜16383、−3288〜13787

入出力特性

アナログ入力	ディジタル出力値 1/4000	1/8000	1/12000
10V	4000	8000	12000
5V または20mA	2000	4000	6000
0V または4mA	0	0	0
−5V または−12mA	−2000	−4000	−6000
−10V	−4000	−8000	−12000

最大分解能

	1/4000	1/8000	1/12000
電圧	2.5mV	1.25mV	0.83mV
電流	10μA	5μA	3.33μA

入力	アナログ入力レンジ	通常分解能モード ディジタル出力値	通常分解能モード 最大分解能	高分解能モード ディジタル出力値	高分解能モード 最大分解能
電圧	0〜10V	0〜4000	2.5mV	0〜16000	0.625mV
	0〜5V		1.25mV	0〜12000	0.416mV
	1〜5V		1.0mV		0.333mV
	−10〜10V	−4000〜4000	2.5mV	−16000〜16000	0.625mV
	1〜5V (拡張モード)	−1000〜4500	1.0mV	−3000〜13500	0.333mV
電流	0〜20mA	0〜4000	5μA	0〜12000	1.66μA
	4〜20mA		4μA		1.33μA
	4〜20mA (拡張モード)	−1000〜4500	4μA	−3000〜13500	1.33μA

変換速度	1ms(分解能1/4000設定時)、2ms(分解能1/8000設定時)、3ms(分解能1/12000設定時)	500μs／チャンネル

総合精度

±1%

±40(分解能1/4000設定時)
±80(分解能1/8000設定時)
±120(分解能1/12000設定時)

入力	アナログ入力レンジ	通常分解能モード 0〜55℃	通常分解能モード 25±5℃	高分解能モード 0〜55℃	高分解能モード 25±5℃
電圧	0〜10V	±0.4% (±16digit)	±0.1% (±4digit)	±0.4% (±64digit)	±0.1% (±16digit)
	−10〜10V				
	0〜5V			±0.4% (±48digit)	±0.1% (±12digit)
	1〜5V				
	1〜5V (拡張モード)				
電流	0〜20mA				
	4〜20mA				
	4〜20mA (拡張モード)				

絶対最大入力	電圧:±15V 電流:±30mA	
D/A変換 アナログ出力点数	1チャンネル	2チャンネル

ディジタル入力

	電圧出力	電流出力
分解能1/4000設定時	−4000〜4000	0〜4000
分解能1/8000設定時	−8000〜8000	0〜8000
分解能1/12000設定時	−12000〜12000	0〜12000

通常分解能モード:−96〜4095、−4096〜4095
高分解能モード:−288〜12287、−16384〜16383

アナログ出力 電圧	DC−10〜10V(外部負荷抵抗2kΩ〜1MΩ)	DC−10〜10V(外部負荷抵抗1kΩ〜1MΩ)
アナログ出力 電流	DC0〜20mA(外部負荷抵抗0Ω〜600Ω)	

入出力特性

1/4000	1/8000	1/12000	アナログ出力値 電圧出力	アナログ出力値 電流出力
4000	8000	12000	10V	20mA
2000	4000	6000	5V	12mA
0	0	0	0V	4mA
−2000	−4000	−6000	−5V	−
−4000	−8000	−12000	−10V	−

出力	アナログ出力レンジ	通常分解能モード ディジタル入力値	通常分解能モード 最大分解能	高分解能モード ディジタル入力値	高分解能モード 最大分解能
電圧	0〜5V	0〜4000	1.25mV	0〜12000	0.416mV
	1〜5V		1.0mV		0.333mV
	−10〜10V	−4000〜4000	2.5mV	−16000〜16000	0.625mV
電流	0〜20mA	0〜4000	5μA	0〜12000	1.66μA
	4〜20mA		4μA		1.33μA

最大分解能

	電圧出力	電流出力
分解能1/4000設定時	2.5mV	5μA
分解能1/8000設定時	1.25mV	2.5μA
分解能1/12000設定時	0.83mV	1.7μA

(次ページへつづく)

（前ページからのつづき）

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ	MELSEC-Qシリーズ		
		A1S63ADA	Q64AD2DA		
D/A変換	変換速度	1ms（分解能1/4000設定時）、2ms（分解能1/8000設定時）、3ms（分解能1/12000設定時）	500μs/チャンネル		
	総合精度	電圧出力:±1%（±0.1V） 電流出力:±1%（±0.2mA）	アナログ出力レンジ	0～55 ℃	25±5℃
			電圧 0～5V	±0.3%（±30mV）	±0.1%（±10mV）
			電圧 1～5V	±0.3%（±30mV）	±0.1%（±10mV）
			電圧 −10～10V	±0.3%（±30mV）	±0.1%（±10mV）
			電流 0～20mA	±0.3%（±60μA）	±0.1%（±20μA）
			電流 4～20mA	±0.3%（±60μA）	±0.1%（±20μA）
	絶対最大出力	電圧:±12V 電流:+28mA	電圧:±12V 電流:+21mA		
	出力短絡保護	あり			
絶縁方式	入出力端子ーシーケンサ電源間	フォトカプラ絶縁			
	チャンネル間	非絶縁			
	外部供給電源ーアナログ入出力間	−	非絶縁		
外部供給電源	電圧	−	DC24V±15%		
	突入電流	−	2.5A 150μs以下		
	消費電流	−	0.19A		
入出力占有点数		32点	16点		
接続方式		20点端子台	18点端子台		
内部消費電流（DC5V）		0.8A	0.17A		

（注）5. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
6.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

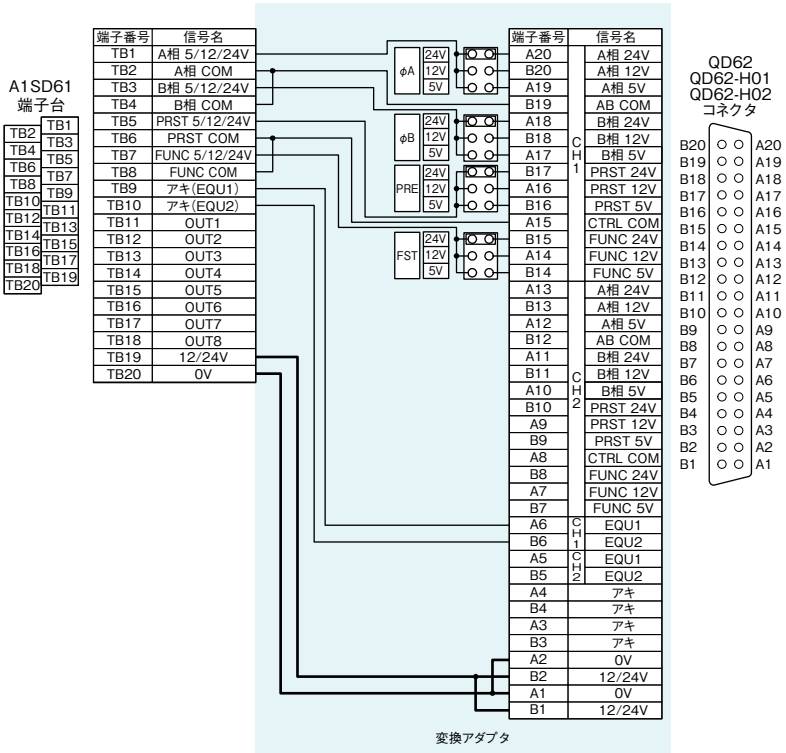
●プログラム上の注意

（1）A1S63ADAとQ64AD2DAでは、入出力信号（X、Y）およびバッファメモリアドレスの割付けが異なるため、シーケンスプログラムの変更が必要です。
（2）A1S63ADAに対してQ64AD2DAはA/D変換速度が速くなります。このため、A1S63ADAでは取込まなかったノイズをQ64AD2DAではアナログ信号として取込む可能性があります。このような場合は、平均処理機能を使用しノイズの影響を除去してください。
（3）A1S63ADAのアナログ出力CH3は、Q64AD2DAのCH5を使用してください。
（4）簡易ループ制御は、シーケンスプログラムにより対応してください。

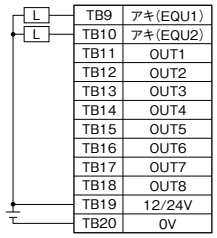
高速カウンタユニット用
1スロットタイプ

（1）ERNT-ASQTD61　端子台（20p）→コネクタ（40p）

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQTD61	A1SD61	1チャンネル	QD62
			QD62-H01
			QD62-H02

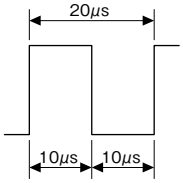
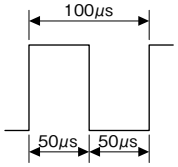
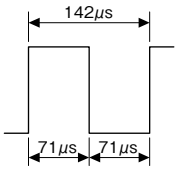
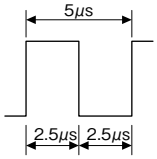
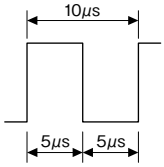
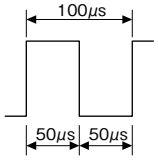


（注）1.A相パルス入力 φA、B相パルス入力 φB、プリセット入力 PRE、ファンクション・スタート入力 FST の入力電圧に合せて、変換アダプタ内部にある設定ピンの短絡片を、24V時は 24V、12V時は 12V、5V時は 5V に設定してください。尚、工場出荷時は全て 24V になっています。
2.QD62/QD62-H01/QD62-H02には、A1SD61のリミットスイッチ出力機能がありませんので、OUT1端子（TB11）～OUT8端子（TB18）は使用できません。
QD62の一致出力機能（CH1 EQU1端子（A6）、CH1 EQU2端子（B6））で代用する場合は、A1SD61のアキ端子（EQU1端子（TB9）、EQU2端子（TB10））を使用してください。
なお設定数が少ないなど仕様が異なります。



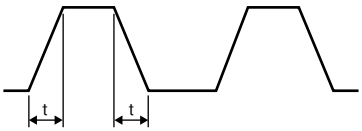
3.電圧切替設定ピンを設定後、外部配線を接続してください。

〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ		MELSEC-Qシリーズ		
		A1SD61		QD62		
計数速度切換設定		設定ピンによる切換え		インテリジェント機能ユニットスイッチ設定による切換え		
		50k側	10k側	200k（100k～200kPPS）	100k（10k～100kPPS）	10k（10kPPS以下）
チャンネル数		1チャンネル		2 チャンネル		
カウント入力信号	相	1相入力 2相入力		1相入力（1逓倍/2逓倍） 2相入力（1逓倍/2逓倍/4逓倍） CW/CCW入力		
	信号レベル（φA,φB）	DC5/12/24V 2～5mA				
カウンタ	計数速度（最高）	1相入力:50kPPS 2相入力:50kPPS	1相入力:10kPPS 2相入力:7kPPS	200kPPS（※1）	100kPPS（※1）	10kPPS（※1）
	計数範囲	32 ビット符号付バイナリ −2147483648～2147483647				
	型式	UP/DOWNプリセットカウンタ+リングカウンタ機能				
	最小カウントパルス幅（デューティー比50%）	 （1、2相入力）	 （1相入力）  （2相入力）	 2相入力時 最小位相差1.25μs	 2相入力時 最小位相差2.5μs	 2相入力時 最小位相差25μs
リミットスイッチ出力	比較範囲	32ビット符号付バイナリ		−		
	比較結果	a接点動作:ドグONアドレス≦カウント値≦ドグOFFアドレス b接点動作:ドグOFFアドレス≦カウント値≦ドグONアドレス		−		
一致出力	比較範囲	−		32ビット符号付バイナリ		
	比較結果	−		設定値<カウント値 設定値=カウント値 設定値>カウント値		
外部入力	プリセット ファンクションスタート	DC5/12/24V 2～5mA				
外部出力	リミットスイッチ出力	トランジスタ（オープンコレクタ）出力 DC12/24V 0.1A/1点 0.8A/1コモン		−		
	一致出力	−		トランジスタ（シンクタイプ）出力　2点/チャンネル DC12/24V 0.5A/1点 2A/1コモン		
入出力占有点数		32点		16点		
接続方式		20点端子台		40ピンコネクタ		
内部消費電流（DC5V）		0.35A		0.30A		

※1:計数速度はパルスの立上がり、立下がり時間（t）に影響されます。カウント可能な計数速度は下表のとおりです。
立上がり、立下がり時間が大きいパルスをカウントすると、誤カウントになる恐れがあるため注意が必要です。

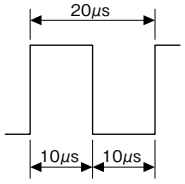
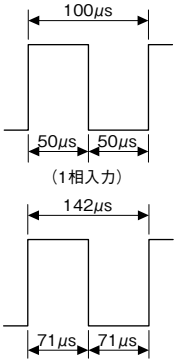
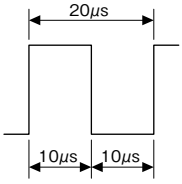
立上がり、立下がり時間＼計数速度切換設定	1相入力、2相入力共通		
	200k	100k	10k
t=1.25μs以下	200kPPS	100kPPS	10kPPS
t=2.5μs以下	100kPPS	100kPPS	10kPPS
t=25μs以下	−	10kPPS	10kPPS
t=500μs	−	−	500PPS



（注）4. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
5.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

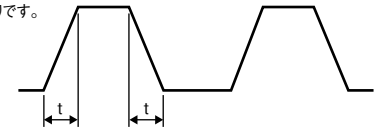
●プログラム上の注意

（1）A1SD61とQD62では、入出力信号（X、Y）およびバッファメモリアドレスの割付けが異なるため、シーケンスプログラムの変更が必要です。
（2）A1SD61のリミットスイッチ出力機能は、QD62の一致出力機能で代用することになりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。
（3）QD62では、CH1の入出力信号（X、Y）およびバッファメモリアドレスを使用してください。CH2では動作しません。
（4）A1SD61において設定ピンで行っていた計数速度設定は、QD62ではインテリジェント機能ユニットスイッチ設定にて行います。

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ		MELSEC-Qシリーズ
		A1SD61		QD62-H01
計数速度切換設定		設定ピンによる切換え		インテリジェント機能ユニットスイッチ設定による設定
		50k側	10k側	50k固定
チャンネル数		1チャンネル		2チャンネル
カウント入力信号	相	1相入力 2相入力		1相入力(1逓倍/2逓倍) 2相入力(1逓倍/2逓倍/4逓倍) CW/CCW入力
	信号レベル(φA,φB)	DC5/12/24V 2~5mA		
カウンタ	計数速度(最高)	1相入力:50kPPS 2相入力:50kPPS	1相入力:10kPPS 2相入力:7kPPS	1相入力:50kPPS (※2) 2相入力:50kPPS (※2)
	計数範囲	32 ビット符号付バイナリ −2147483648~2147483647		
	型式	UP/DOWNプリセットカウンタ+リングカウンタ機能		
	最小カウントパルス幅(デューティー比50%)	 (1、2相入力)	 (2相入力)	 (1、2相入力)
リミットスイッチ出力	比較範囲	32ビット符号付バイナリ		−
	比較結果	a接点動作:ドグONアドレス≦カウント値≦ドグOFFアドレス b接点動作:ドグOFFアドレス≦カウント値≦ドグONアドレス		−
一致出力	比較範囲	−		32 ビット符号付バイナリ
	比較結果	−		設定値<カウント値 設定値=カウント値 設定値>カウント値
外部入力	プリセット ファンクションスタート	DC5/12/24V 2~5mA		
外部出力	リミットスイッチ出力	トランジスタ(オープンコレクタ)出力 DC12/24V 0.1A/1点 0.8A/1コモン		−
	一致出力	−		トランジスタ(シンクタイプ)出力 2点/チャンネル DC12/24V 0.5A/1点 2A/1コモン
入出力占有点数		32点		16点
接続方式		20点端子台		40ピンコネクタ
内部消費電流(DC5V)		0.35A		0.30A

※2:計数速度はパルスの立上がり、立下がり時間(t)に影響されます。カウント可能な計数速度は下表のとおりです。
t=50μsより大きいパルスをカウントすると、誤カウントになる恐れがあるため注意が必要です。

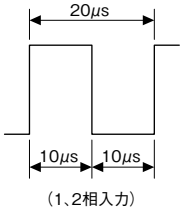
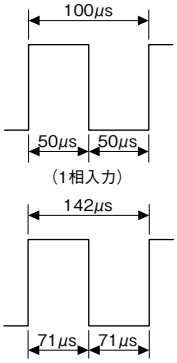
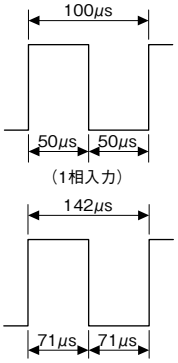
立上がり、立下がり時間	1相入力、2相入力共通
t=5μs	50kPPS
t=50μs	5kPPS



(注)6. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
7.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

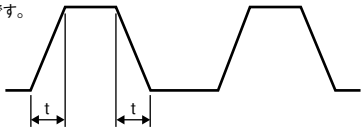
●プログラム上の注意

(1)A1SD61とQD62-H01では、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリアドレスの割付けが異なるため、シーケンスプログラムの変更が必要です。
(2)A1SD61のリミットスイッチ出力機能は、QD62-H01の一致出力機能で代用することになりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。
(3)QD62-H01では、CH1の入出力信号(X、Y)およびバッファメモリアドレスを使用してください。CH2では動作しません。
(4)A1SD61において設定ピンで行っていた計数速度設定は、QD62-H01ではインテリジェント機能ユニットスイッチ設定にて行います。

形名 / 仕様		MELSEC-AnSシリーズ		MELSEC-Qシリーズ
		A1SD61		QD62-H02
計数速度切換設定		設定ピンによる切換え		インテリジェント機能ユニットスイッチ設定による設定
		50k側	10k側	10k固定
チャンネル数		1チャンネル		2 チャンネル
カウント入力信号	相	1相入力 2相入力		1相入力(1逓倍/2逓倍) 2相入力(1逓倍/2逓倍/4逓倍) CW/CCW入力
	信号レベル(φA,φB)	DC5/12/24V 2～5mA		
カウンタ	計数速度(最高)	1相入力:50kPPS 2相入力:50kPPS	1相入力:10kPPS 2相入力:7kPPS	1相入力:10kPPS (※3) 2相入力:7kPPS (※3)
	計数範囲	32ビット符号付バイナリ −2147483648～2147483647		
	型式	UP/DOWNプリセットカウンタ+リングカウンタ機能		
	最小カウントパルス幅(デューティー比50%)	 (1、2相入力)	 (1相入力) (2相入力)	 (1相入力) (2相入力)
リミットスイッチ出力	比較範囲	32ビット符号付バイナリ		−
	比較結果	a接点動作:ドグONアドレス≦カウント値≦ドグOFFアドレス b接点動作:ドグOFFアドレス≦カウント値≦ドグONアドレス		−
一致出力	比較範囲	−		32ビット符号付バイナリ
	比較結果	−		設定値<カウント値 設定値=カウント値 設定値>カウント値
外部入力	プリセット ファンクションスタート	DC5/12/24V 2～5mA		
外部出力	リミットスイッチ出力	トランジスタ(オープンコレクタ)出力 DC12/24V 0.1A/1点 0.8A/1コモン		−
	一致出力	−		トランジスタ(シンクタイプ)出力 2点/チャンネル DC12/24V 0.5A/1点 2A/1コモン
入出力占有点数		32点		16点
接続方式		20点端子台		40ピンコネクタ
内部消費電流(DC5V)		0.35A		0.30A

※3:計数速度はパルスの立上がり、立下がり時間(t)に影響されます。カウント可能な計数速度は下表のとおりです。
t=500μsより大きいパルスをカウントすると、誤カウントになる恐れがあるため注意が必要です。

立上がり、立下がり時間	1相入力	2相入力
t=5μs	10kPPS	7kPPS
t=500μs	500PPS	250PPS



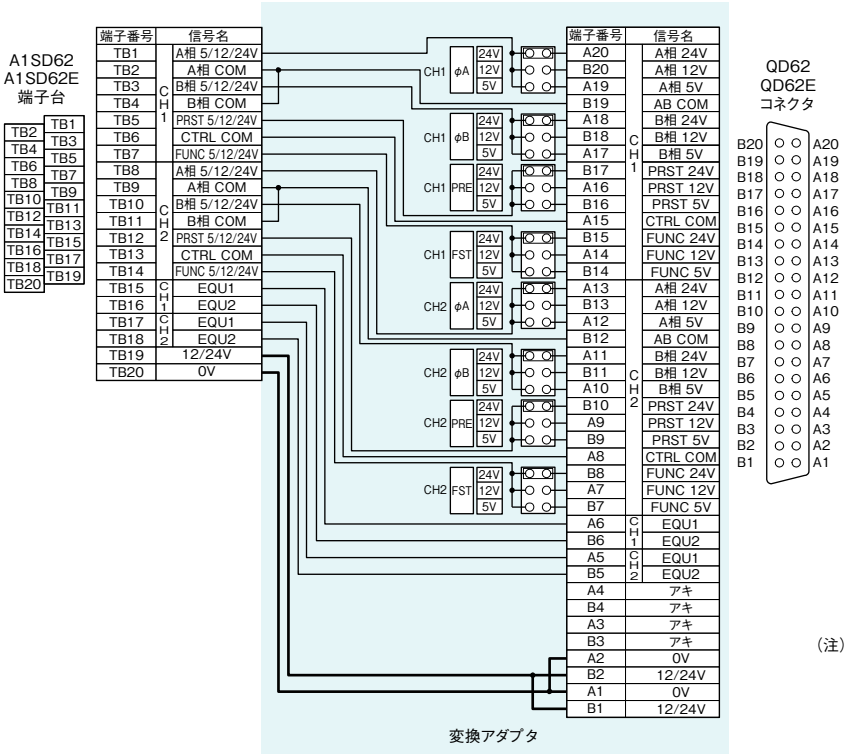
(注)8. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
9.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

●プログラム上の注意

(1)A1SD61とQD62-H02では、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリアドレスの割付けが異なるため、シーケンスプログラムの変更が必要です。
(2)A1SD61のリミットスイッチ出力機能は、QD62-H02の一致出力機能で代用することになりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。
(3)QD62-H02では、CH1の入出力信号(X、Y)およびバッファメモリアドレスを使用してください。CH2では動作しません。
(4)A1SD61において設定ピンで行っていた計数速度設定は、QD62-H02ではインテリジェント機能ユニットスイッチ設定にて行います。

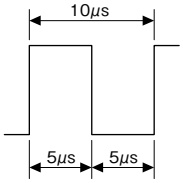
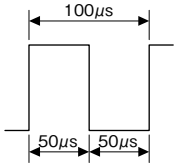
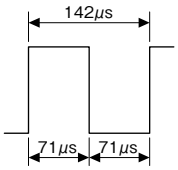
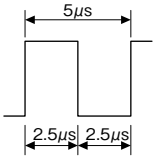
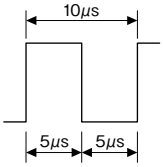
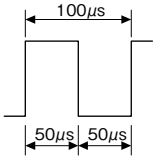
(2)ERNT-ASQTD62　端子台(20p)→コネクタ(40p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQTD62	A1SD62	2チャンネル	QD62
	A1SD62E		QD62E



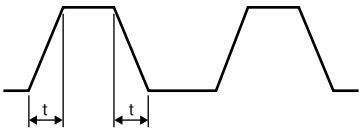
(注)1.A相パルス入力[φA]、B相パルス入力[φB]、プリセット入力[PRE]、ファンクション・スタート入力[FST]の入力電圧に合せて、変換アダプタ内部にある設定ピンの短絡片を、24V時は[24V]、12V時は[12V]、5V時は[5V]に設定してください。
尚、工場出荷時は全て[24V]になっています。
2.電圧切替設定ピンを設定後、外部配線を接続してください。

〈仕様比較表〉

形名 / 仕様		MELSEC-AnSシリーズ		MELSEC-Qシリーズ		
		A1SD62		QD62		
計数速度切換設定		設定ピンによる切換え		インテリジェント機能ユニットスイッチ設定による切換え		
		100k側	10k側	200k（100k～200kPPS）	100k（10k～100kPPS）	10k（10kPPS以下）
チャンネル数		2 チャンネル				
カウント入力信号	相	1相入力 2相入力		1相入力（1逓倍/2逓倍） 2相入力（1逓倍/2逓倍/4逓倍） CW/CCW入力		
	信号レベル（φA,φB）	DC5/12/24V 2～5mA				
カウンタ	計数速度（最高）	1相入力:100kPPS 2相入力:100kPPS	1相入力:10kPPS 2相入力:7kPPS	200kPPS（※1）	100kPPS（※1）	10kPPS（※1）
	計数範囲	24ビットバイナリ 0～16777215		32 ビット符号付バイナリ −2147483648～2147483647		
	型式	UP/DOWNプリセットカウンタ+リングカウンタ機能				
	最小カウントパルス幅（デューティー比50%）	 （1、2相入力）	 （1相入力）  （2相入力）	 2相入力時 最小位相差1.25μs	 2相入力時 最小位相差2.5μs	 2相入力時 最小位相差25μs
一致出力	比較範囲	24ビットバイナリ		32ビット符号付バイナリ		
	比較結果	設定値<カウント値 設定値=カウント値 設定値>カウント値				
外部入力	プリセット ファンクションスタート	DC5/12/24V 2～5mA				
外部出力	一致出力	トランジスタ（シンクタイプ）出力　2点/チャンネル DC12/24V 0.5A/1点 2A/1コモン				
入出力占有点数		32点		16点		
接続方式		20点端子台		40ピンコネクタ		
内部消費電流（DC5V）		0.1A		0.30A		

※1:計数速度はパルスの立上がり、立下がり時間（t）に影響されます。カウント可能な計数速度は下表のとおりです。
立上がり、立下がり時間が大きいパルスをカウントすると、誤カウントになる恐れがあるため注意が必要です。

立上がり、立下がり時間 ＼ 計数速度切換設定	1相入力、2相入力共通		
	200k	100k	10k
t=1.25μs以下	200kPPS	100kPPS	10kPPS
t=2.5μs以下	100kPPS	100kPPS	10kPPS
t=25μs以下	−	10kPPS	10kPPS
t=500μs	−	−	500PPS



（注）3.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

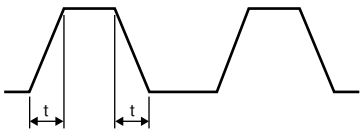
●プログラム上の注意

（1）A1SD62とQD62では、入出力信号（X、Y）およびバッファメモリアドレスの割付けが異なるため、シーケンスプログラムの変更が必要です。
（2）A1SD62において設定ピンで行っていた計数速度設定は、QD62ではインテリジェント機能ユニットスイッチ設定にて行います。

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ		MELSEC-Qシリーズ		
		A1SD62E		QD62E		
計数速度切換設定		設定ピンによる切換え		インテリジェント機能ユニットスイッチ設定による切換え		
		100k側	10k側	200k（100k～200kPPS）	100k（10k～100kPPS）	10k（10kPPS以下）
チャンネル数		2 チャンネル				
カウント入力信号	相	1相入力 2相入力		1相入力（1逓倍/2逓倍） 2相入力（1逓倍/2逓倍/4逓倍） CW/CCW入力		
	信号レベル（φA,φB）	DC5/12/24V 2～5mA				
カウンタ	計数速度（最高）	1相入力:100kPPS 2相入力:100kPPS	1相入力:10kPPS 2相入力:7kPPS	200kPPS（※2）	100kPPS（※2）	10kPPS（※2）
	計数範囲	24ビットバイナリ 0～16777215		32ビット符号付バイナリ −2147483648～2147483647		
	型式	UP/DOWNプリセットカウンタ+リングカウンタ機能				
	最小カウントパルス幅（デューティー比50%）	10μs 5μs 5μs （1、2相入力）	100μs 50μs 50μs （1相入力） 142μs 71μs 71μs （2相入力）	5μs 2.5μs 2.5μs 2相入力時 最小位相差1.25μs	10μs 5μs 5μs 2相入力時 最小位相差2.5μs	100μs 50μs 50μs 2相入力時 最小位相差25μs
一致出力	比較範囲	24ビットバイナリ		32ビット符号付バイナリ		
	比較結果	設定値<カウント値 設定値=カウント値 設定値>カウント値				
外部入力	プリセット ファンクションスタート	DC5/12/24V 2～5mA				
外部出力	一致出力	トランジスタ（ソースタイプ）出力　2点/チャンネル DC12/24V 0.1A/1点 0.4A/1コモン				
入出力占有点数		32点		16点		
接続方式		20点端子台		40ピンコネクタ		
内部消費電流（DC5V）		0.1A		0.33A		

※2:計数速度はパルスの立上がり、立下がり時間（t）に影響されます。カウント可能な計数速度は下表のとおりです。
立上がり、立下がり時間が大きいパルスをカウントすると、誤カウントになる恐れがあるため注意が必要です。

立上がり、立下がり時間＼計数速度切換設定	1相入力、2相入力共通		
	200k	100k	10k
t=1.25μs以下	200kPPS	100kPPS	10kPPS
t=2.5μs以下	100kPPS	100kPPS	10kPPS
t=25μs以下	−	10kPPS	10kPPS
t=500μs	−	−	500PPS

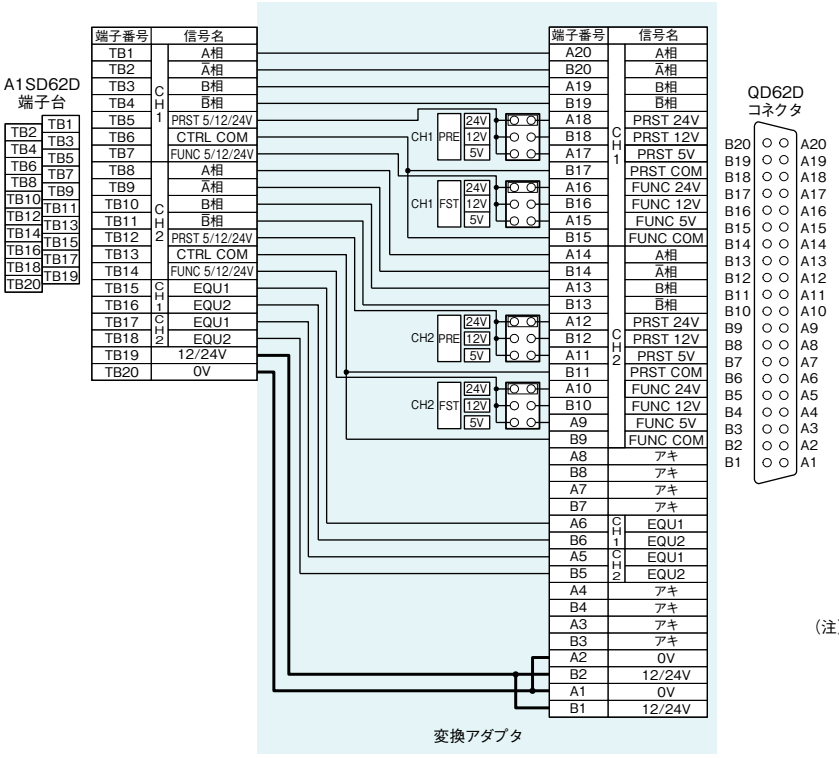


（注）5. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
6.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

●プログラム上の注意
（1）A1SD62EとQD62Eでは、入出力信号（X、Y）およびバッファメモリアドレスの割付けが異なるため、シーケンスプログラムの変更が必要です。
（2）A1SD62Eにおいて設定ピンで行っていた計数速度設定は、QD62Eではインテリジェント機能ユニットスイッチ設定にて行います。

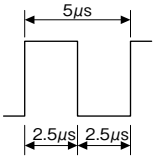
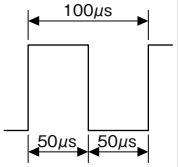
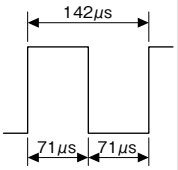
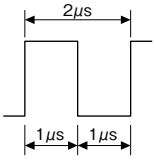
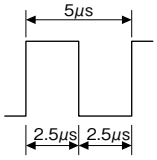
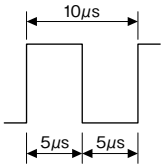
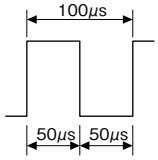
(3)ERNT-ASQTD62D 端子台(20p)→コネクタ(40p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQTD62D	A1SD62D	2チャンネル	QD62D



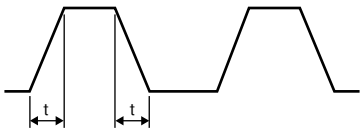
(注)1.プリセット入力PRE、ファンクション・スタート入力FSTの入力電圧に合せて、変換アダプタ内部にある設定ピンの短絡片を、24V時は24V、12V時は12V、5V時は5Vに設定してください。
尚、工場出荷時は全て24Vになっています。
2.電圧切替設定ピンを設定後、外部配線を接続してください。
3.シンクロードタイプでご使用の際、A1SD62D端子台のCTRL COM端子(TB6,TB13)をマイナスコモンに変更する必要があります。

〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ		MELSEC-Qシリーズ			
		A1SD62D		QD62D			
計数速度切換設定		設定ピンによる切換え		インテリジェント機能ユニットスイッチ設定による切換え			
		200k側	10k側	500k（200k～500kPPS）	200k（100k～200kPPS）	100k（10k～100kPPS）	10k（10kPPS以下）
チャンネル数		2 チャンネル					
カウント入力信号	相	1相入力 2相入力		1相入力（1逓倍/2逓倍） 2相入力（1逓倍/2逓倍/4逓倍） CW/CCW入力			
	信号レベル（φA,φB）	EIA規格　RS-422-A 差動形ラインドライバレベル（AM26LS31（日本テキサス・インスツルメンツ株式会社製）相当）					
カウンタ	計数速度（最高）	1相入力:200kPPS 2相入力:200kPPS	1相入力:10kPPS 2相入力:7kPPS	500kPPS（※1）	200kPPS（※1）	100kPPS（※1）	10kPPS（※1）
	計数範囲	24ビットバイナリ 0～16777215		32ビット符号付バイナリ −2147483648～2147483647			
	型式	UP/DOWNプリセットカウンタ+リングカウンタ機能					
	最小カウントパルス幅（デューティー比50%）	 （1、2相入力）	 （1相入力）  （2相入力）	 2相入力時 最小位相差0.5μs	 2相入力時 最小位相差1.25μs	 2相入力時 最小位相差2.5μs	 2相入力時 最小位相差25μs
一致出力	比較範囲	24ビットバイナリ		32ビット符号付バイナリ			
	比較結果	設定値<カウント値 設定値=カウント値 設定値>カウント値					
外部入力	プリセット ファンクション スタート	DC5/12/24V 2～5mA		DC5/12/24V 2～5mA （EIA規格　RS-422-A 差動形ラインドライバ接続可能）			
外部出力	一致出力	トランジスタ（シンクタイプ）出力　2点/チャンネル DC12/24V 0.5A/1点 2A/1コモン					
入出力占有点数		32点		16点			
接続方式		20点端子台		40ピンコネクタ			
内部消費電流（DC5V）		0.25A		0.38A			

※1:計数速度はパルスの立上がり、立下がり時間（t）に影響されます。カウント可能な計数速度は下表のとおりです。
立上がり、立下がり時間が大きいパルスをカウントすると、誤カウントになる恐れがあるため注意が必要です。

立上がり、立下がり時間＼計数速度切換設定	1相入力、2相入力共通			
	500k	200k	100k	10k
t=0.5μs以下	500kPPS	200kPPS	100kPPS	10kPPS
t=1.25μs以下	200kPPS	200kPPS	100kPPS	10kPPS
t=2.5μs以下	−	100kPPS	100kPPS	10kPPS
t=25μs以下	−	−	10kPPS	10kPPS
t=500μs	−	−	−	500PPS



（注）4.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
5.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

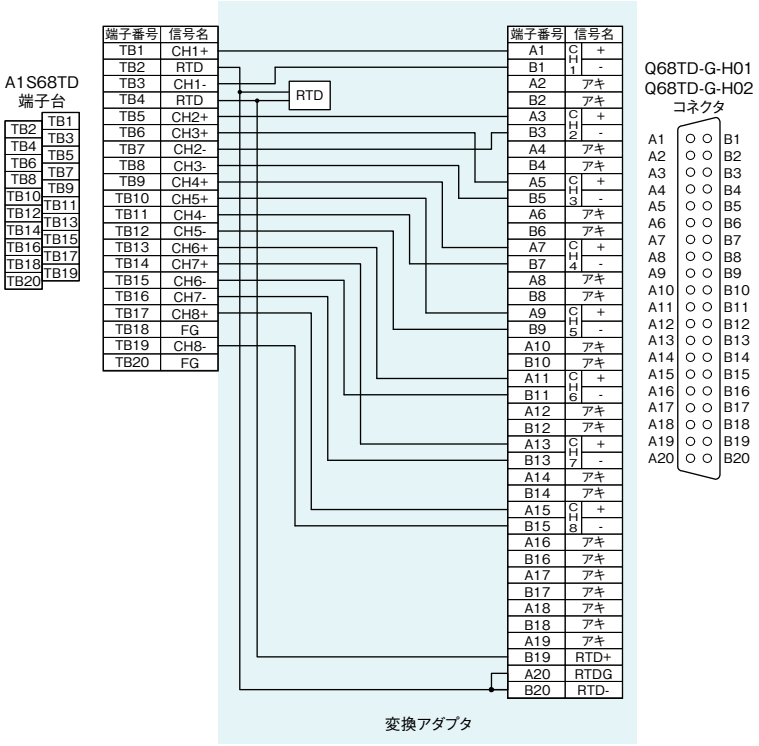
●プログラム上の注意

（1）A1SD62DとQD62Dでは、入出力信号（X、Y）およびバッファメモリアドレスの割付けが異なるため、シーケンスプログラムの変更が必要です。
（2）A1SD62Dにおいて設定ピンで行っていた計数速度設定は、QD62Dではインテリジェント機能ユニットスイッチ設定にて行います。

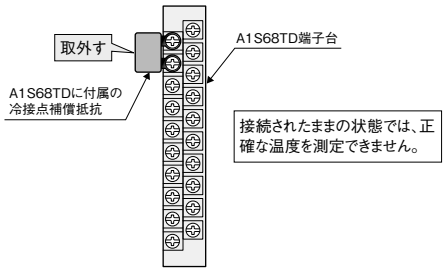
温度入力ユニット用
1スロットタイプ

(1)ERNT-ASQT68TD-H01　端子台(20p)→コネクタ(40p)
ERNT-ASQT68TD-H02　端子台(20p)→コネクタ(40p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQT68TD-H01	A1S68TD	8チャンネル	Q68TD-G-H01
ERNT-ASQT68TD-H02			Q68TD-G-H02



(注)1.変換アダプタに冷接点補償抵抗(RTD)を内蔵していますので、A1S68TD端子台(TB2、TB4)に接続されている冷接点補償抵抗(RTD)は必ず取外してください。



2.Q68TD-G-H01/Q68TD-G-H02にはFG端子が無いため、MELSEC-AnS側のFG端子(TB18、TB20)に接続されていたFG線は不要となります。
ただし、変換アダプタ内部では未配線状態のため、接続したままの状態でも問題ありません。

〈仕様比較表〉

仕様 \ 形名		MELSEC-AnSシリーズ	MELSEC-Qシリーズ	
		A1S68TD	Q68TD-G-H02	Q68TD-G-H01
入力温度		0～1700℃	−270～1820℃	
出力	温度変換値	16ビット符号付バイナリ (0～17000:小数点以下第1位までの値×10)	16ビット符号付バイナリ (−2700～18200:小数点以下第1位までの値×10)	
	スケーリング値	16ビット符号付バイナリ (0～2000)	16ビット符号付バイナリ	
熱電対準拠規格		JIS C1602-1981	JIS C 1602-1995、IEC 60584-1(1995)、IEC 60584-2(1982)	
使用可能熱電対と変換精度		次頁表参照	次頁表参照	
冷接点補償精度		±1.0 ℃		
総合精度		変換精度+(温度特性×使用周囲温度変化)+冷接点補償精度		
分解能		B、R、S:0.3℃ K、E、J、T:0.1℃	B、R、S、N:0.3℃ K、E、J、T:0.1℃	
変換速度		400ms/8チャンネル	640ms/8チャンネル	320ms/8チャンネル
温度入力点数		8チャンネル+Pt100 冷接点補償/1ユニット		
断線検出		チャンネルごと検出		なし (※1)
絶縁方式	熱電対入力ーシーケンサ電源間	トランス絶縁		
	熱電対入力ーチャンネル間			
	冷接点補償ーシーケンサ電源間	非絶縁		
入出力占有点数		32点	16点	
接続方式		20点端子台	40ピンコネクタ	
内部消費電流(DC5V)		0.32A	0.65A	0.49A

※1:Q68TD-G-H01には断線モニタ機能があります。

(注)3.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

〈使用可能熱電対と変換精度〉

	MELSEC-AnSシリーズ			MELSEC-Qシリーズ			
	A1S68TD			Q68TD-G-H02 Q68TD-G-H01			
熱電対	測定温度範囲	変換精度 (使用周囲温度25±5℃時)	温度特性 (使用周囲温度変化1℃につき)	測定温度範囲 (※2)	変換精度 (使用周囲温度25±5℃時)	温度特性 (使用周囲温度変化1℃につき)	周囲温度55℃時の 最大温度誤差
B	−	−	−	0～600℃	(※3)	(※3)	(※3)
				600～800℃	±3.0℃	±0.4℃	±13.0℃
	800～1700℃	±2.5℃	±0.4℃	800～1700℃	±2.5℃		±12.5℃
	−	−	−	1700～1820℃	(※3)	(※3)	(※3)
R	−	−	−	−50～0℃	(※3)	(※3)	(※3)
				0～300℃	±2.5℃	±0.4℃	±12.5℃
	300～1600℃	±2℃	±0.3℃	300～1600℃	±2.0℃	±0.3℃	±9.5℃
	−	−	−	1600～1760℃	(※3)	(※3)	(※3)
S	−	−	−	−50～0℃	(※3)	(※3)	(※3)
				0～300℃	±2.5℃	±0.4℃	±12.5℃
	300～1600℃	±2℃	±0.3℃	300～1600℃	±2.0℃	±0.3℃	±9.5℃
	−	−	−	1600～1760℃	(※3)	(※3)	(※3)
K	−	−	−	−270～−200℃	(※3)	(※3)	(※3)
				−200～0℃	±0.5℃または測定温度の±0.5%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の±0.2%のいずれか大きい方	±11.0℃
	0～1200℃	±0.5℃または測定温度の±0.25%のいずれか大きい方	±0.07℃または測定温度の±0.02%のいずれか大きい方	0～1200℃	±0.5℃または測定温度の±0.25%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の±0.02%のいずれか大きい方	±9.0℃
	−	−	−	1200～1370℃	(※3)	(※3)	(※3)
E	−	−	−	−270～−200℃	(※3)	(※3)	(※3)
				−200～0℃	±0.5℃または測定温度の±0.5%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の±0.15%のいずれか大きい方	±8.5℃
	0～800℃	±0.5℃または測定温度の±0.25%のいずれか大きい方	±0.07℃または測定温度の±0.02%のいずれか大きい方	0～900℃	±0.5℃または測定温度の±0.25%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の±0.02%のいずれか大きい方	±6.75℃
	−	−	−	900～1000℃	(※3)	(※3)	(※3)
J	−	−	−	−210～−40℃	(※3)	(※3)	(※3)
	0～750℃	±0.5℃または測定温度の±0.25%のいずれか大きい方	±0.07℃または測定温度の±0.02%のいずれか大きい方	−40～750℃	±0.5℃または測定温度の±0.25%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の±0.02%のいずれか大きい方	±5.625℃
	−	−	−	750～1200℃	(※3)	(※3)	(※3)
T	−	−	−	−270～−200℃	(※3)	(※3)	(※3)
				−200～0℃	±0.5℃または測定温度の±0.5%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の±0.1%のいずれか大きい方	±6.0℃
	0～350℃	±0.5℃または測定温度の±0.25%のいずれか大きい方	±0.07℃または測定温度の±0.02%のいずれか大きい方	0～350℃	±0.5℃または測定温度の±0.25%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の±0.02%のいずれか大きい方	±2.625℃
	−	−	−	350～400℃	(※3)	(※3)	(※3)
N	使用不可			−270～−200℃	(※3)	(※3)	(※3)
				−200～0℃	±0.5℃または測定温度の±0.5%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の±0.2%のいずれか大きい方	±11.0℃
				0～1250℃	±0.5℃または測定温度の±0.25%のいずれか大きい方	±0.06℃または測定温度の±0.02%のいずれか大きい方	±9.375℃
				1250～1300℃	(※3)	(※3)	(※3)

※2:記載された測定温度範囲外の値が熱電対より入力された場合は、測定温度範囲の最大値／最小値として扱います。
※3:温度測定はできるが、精度の保証はできません。

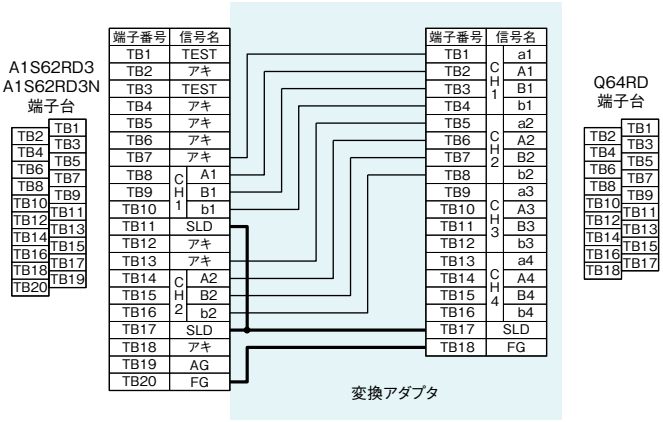
●プログラム上の注意

(1)A1S68TDとQ68TD-G-H02/Q68TD-G-H01では、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリアドレスの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。
(2)A1S68TDに対してQ68TD-G-H01は変換速度が速くなります。このため、A1S68TDでは取込まなかったノイズをQ68TD-G-H01ではアナログ信号として取込む可能性がある。このような場合は、平均処理機能を使用しノイズの影響を除去してください。
(3)A1S68TDにおいてディップスイッチで設定していた熱電対タイプは、Q68TD-G-H01/A68TD-G-H02では、インテリジェント機能ユニットスイッチ設定で行います。

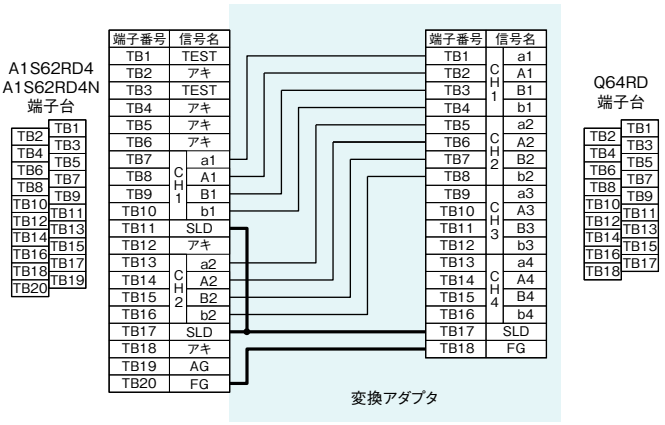
(2)ERNT-ASQT62RD　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQT62RD	A1S62RD3	2チャンネル	Q64RD
	A1S62RD3N		
	A1S62RD4		
	A1S62RD4N		

A1S62RD3／RD3N→Q64RDの場合



A1S62RD4／RD4N→Q64RDの場合



(注)1.4線式ユニット(A1S62RD4、A1S62RD4N)を置換えるときは、下記の端子間の配線を必ず取外してください。
①1チャンネルのみ使用時…b1端子(TB10)⇔b2端子(TB16)間の配線
②2チャンネル使用時……b1端子(TB10)⇔a2端子(TB13)間の配線

接続されたままの状態では、正確な温度を測定できません。

2.Q64RDのFG端子(TB18)は、A1S62RD3/A1S62RD4/A1S62RD3N/A1S62RD4NのFG端子(TB20)を使用して接地してください。
3.Q64RD側にはAG端子が無いため、MELSEC-AnS側のAG端子(TB19)に接続されていた配線は不要となります。
ただし、変換アダプタ内部では未配線状態のため、接続したままの状態でも問題ありません。

〈仕様比較表〉

形名 / 仕様		MELSEC-AnSシリーズ				MELSEC-Qシリーズ
		A1S62RD3	A1S62RD4	A1S62RD3N	A1S62RD4N	Q64RD
測定方法		3線式	4線式	3線式	4線式	3線式/4線式
使用可能白金測温抵抗体		Pt100 (JIS C 1604-1989、DIN 43760-1980) JPt100 (JIS C 1604-1981)		Pt100 (JIS C 1604-1989、DIN 43760-1980、JIS C 1604-1997、IEC 751-am2) JPt100 (JIS C 1604-1981)		Pt100 (JIS C 1604-1997、IEC 751 1983) JPt100 (JIS C 1604-1981)
温度検出用出力電流		4.2mA(MIN) 4.7mA(MAX)		1mA		
測定温度範囲	Pt100	−180〜600℃				−200〜850℃
	JPt100	−180〜600℃				
レンジ切換え	Pt100	−				−20〜120℃/−200〜850℃
	JPt100	−				−20〜120℃/−180〜600℃
出力(温度変換値)		16ビット符号付バイナリ (−1800〜6000:小数点以下第1位までの値×10) 32ビット符号付バイナリ (−180000〜600000:小数点以下第3位までの値×1000)				16ビット符号付バイナリ (−2000〜8500:小数点以下第1位までの値×10) 32ビット符号付バイナリ (−200000〜850000:小数点以下第3位までの値×1000)
精度		±1% (フルスケールに対する精度)				周囲温度0〜55℃:±0.25%(最大値(※1)に対する精度) 周囲温度25±5℃:±0.08%(最大値(※1)に対する精度)
分解能		0.025℃				
変換速度		40ms/1チャンネル				
温度入力点数		2チャンネル/1ユニット				4チャンネル/1ユニット
断線検出		チャンネルごと検出	全チャンネル一括検出	チャンネルごと検出	全チャンネル一括検出	チャンネルごと検出
絶縁方式	白金測温抵抗体入力ーシーケンサ電源間	フォトカプラ絶縁				
	白金測温抵抗体入力ーチャンネル間	非絶縁				
入出力占有点数		32点				16点
接続方式		20点端子台				18点端子台
内部消費電流(DC5V)		0.54A	0.44A	0.49A	0.39A	0.60A

※1:設定されたレンジの最大値

(注)4. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
5.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

●プログラム上の注意
A1S62RD3/A1S62RD4/A1S62RD3N/A1S62RD4NとQ64RDでは、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリアドレスの割付けが異なるため、シーケンスプログラムの変更が必要です。

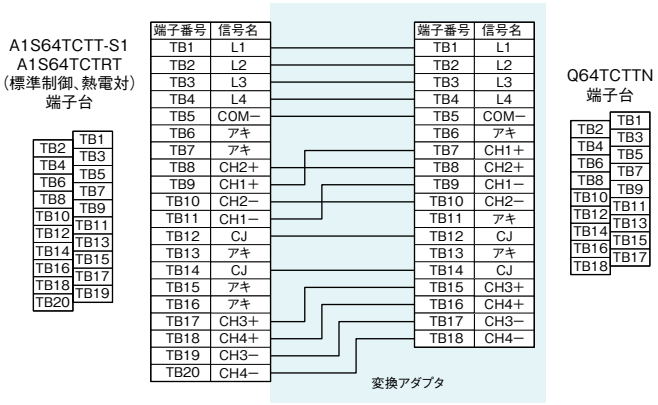
ポイント
使用可能白金測温抵抗体の準拠基準が異なりますので、Q64RDで使用可能な白金測温抵抗体に変更してください。

MELSEC-AnSシリーズ ユニット	白金測温抵抗体		
	Q64RDにて使用可能	Q64RDにて使用不可	
A1S62RD3/A1S62RD4	JPt100(JIS C 1604-1981)	Pt100(JIS C 1604-1989、DIN 43760-1980)	Q64RDで使用可能な白金測温抵抗体に変更が必要
A1S62RD3N/A1S63RD4N	Pt100(JIS C 1604-1997)、JPt100(JIS C 1604-1981)	Pt100(JIS C 1604-1989、DIN 43760-1980、IEC 751-am2)	

温度調節ユニット用
1スロットタイプ

(1)ERNT-ASQT64TCTT　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQT64TCTT	A1S64TCTT-S1 A1S64TCTRT(標準制御、熱電対)	4チャンネル	Q64TCTTN



(注)1.MELSEC-AnSシリーズユニット端子台(TB12、TB14)に接続されている冷接点温度補償抵抗(CJ)が隣接するユニットに当たる場合、製品に付属の冷接点温度補償抵抗(CJ)へ交換してください。
隣接するユニットに当たらない場合、製品に付属の冷接点温度補償抵抗(CJ)への交換は不要です。

〈仕様比較表〉

仕様 \ 形名			MELSEC-AnSシリーズ A1S64TCTT-S1	MELSEC-AnSシリーズ A1S64TCTRT(標準制御時)	MELSEC-Qシリーズ Q64TCTTN(標準制御時)
制御出力			トランジスタ出力		
温度入力点数			4チャンネル		
使用可能な熱電対			次頁 表1参照		
精度	指示精度	周囲温度23℃±5℃	フルスケール×(±0.3%)±1digit	−	
		周囲温度25℃±5℃	−	フルスケール×(±0.3%)±1digit	フルスケール×(±0.3%)
		周囲温度0℃～55℃	フルスケール×(±0.7%)±1digit		フルスケール×(±0.7%)
	冷接点温度補償精度(周囲温度:0℃～55℃)	温度測定値:−100℃以上	±1.0℃以内		
		温度測定値:−150℃～−100℃	±2.0℃以内		
		温度測定値:−200℃～−150℃	±3.0℃以内		
サンプリング周期			500ms/4チャンネル(使用チャンネル数に関係なく一定)		
制御出力周期			1～100s		
配線抵抗1Ω当たりの影響			次頁 表1参照		
入力インピーダンス			1MΩ		
入力フィルタ			0～100s(0:入力フィルタOFF)		
センサ補正値設定			ソフトウェアバージョンA:−5.00～5.00% ソフトウェアバージョンB以降:−50.00～50.00%	−50.00～50.00%	
センサ入力断線時の動作			アップスケール処理		
温度制御方式			PID　ON/OFFパルスまたは2位置制御		
PID定数範囲	PID定数設定		オートチューニングによる設定が可能	オートチューニングとセルフチューニングによる設定が可能	オートチューニングによる設定が可能
	比例帯(P)		0.0～1000.0%(0:2位置制御)		
	積分時間(I)		1～3600s		0～3600s(0:P制御、PD制御)
	微分時間(D)		0～3600s(0:PI制御)		0～3600s(0:P制御、PI制御)
目標値設定範囲			使用する温度センサで設定した温度範囲内		
不感帯設定範囲			0.1～10.0%	0.0～10.0%	0.1～10.0%
トランジスタ出力	出力信号		ON/OFFパルス		
	定格負荷電圧		DC10.2～30V		DC10～30V
	最大負荷電流		0.1A／1点　0.4A／コモン		
	最大突入電流		0.4A　10ms		
	OFF時漏洩電流		0.1mA以下		
	ON時最大電圧降下		DC1.0V(TYP)　0.1A　DC2.5V(MAX)　0.1A		
	応答時間		OFF→ON:2ms以下　ON→OFF:2ms以下		
絶縁方式			入力ーアース間:トランス絶縁 入力ーチャンネル間:トランス絶縁	入力端子ーシーケンサ電源間:トランス絶縁 入力チャンネル間:トランス絶縁	
入出力占有点数			32点		16点
接続方式			20点端子台		18点端子台
内部消費電流(DC5V)			0.33A		0.29A

表1 使用可能な熱電対および配線抵抗1Ω当たりの影響

熱電対種類	℃					℉				
	測定温度範囲	データ分解能	配線抵抗1Ω当たりの影響			測定温度範囲	データ分解能	配線抵抗1Ω当たりの影響		
			A1S64TCTT-S1	A1S64TCTRT	Q64TCTTN			A1S64TCTT-S1	A1S64TCTRT	Q64TCTTN
R	0～1700	1	0.35μV/Ω	0.15μV/Ω	0.030(℃/Ω)	0～3000	1	0.35μV/Ω	0.15μV/Ω	0.054(℉/Ω)
K	0～500 0～800 0～1300	1			0.005(℃/Ω)	0～1000 0～2400	1			0.008(℉/Ω)
	−200.0～400.0 0.0～400.0 0.0～500.0 0.0～800.0	0.1				0.0～1000.0	0.1			
J	0～500 0～800 0～1200	1			0.003(℃/Ω)	0～1000 0～1600 0～2100	1			0.006(℉/Ω)
	0.0～400.0 0.0～500.0 0.0～800.0	0.1				0.0～1000.0	0.1			
T	−200～400 −200～200 0～200 0～400	1			0.004(℃/Ω)	0～700 −300～400	1			0.008(℉/Ω)
	−200.0～400.0 0.0～400.0	0.1				0.0～700.0	0.1			
S	0～1700	1			0.030(℃/Ω)	0～3000	1			0.054(℉/Ω)
B（※1）	MELSEC-AnSシリーズユニット 400～1800 MELSEC-Qシリーズユニット 0～1800	1			0.038(℃/Ω)	MELSEC-AnSシリーズユニット 800～3000 MELSEC-Qシリーズユニット 0～3000	1			0.068(℉/Ω)
E	0～400 0～1000	1			0.003(℃/Ω)	0～1800	1			0.005(℉/Ω)
	0.0～700.0	0.1				−	−			−
N	0～1300	1			0.006(℃/Ω)	0～2300	1			0.011(℉/Ω)
U	0～400 −200～200	1			0.004(℃/Ω)	0～700 −300～400	1			0.009(℉/Ω)
	0.0～600.0	0.1				−	−			−
L	0～400 0～900	1			0.003(℃/Ω)	0～800 0～1600	1			0.006(℉/Ω)
	0.0～400.0 0.0～900.0	0.1				−	−			−
PLⅡ	0～1200	1			0.005(℃/Ω)	0～2300	1			0.010(℉/Ω)
W5Re/W26Re	0～2300	1			0.017(℃/Ω)	0～3000	1			0.021(℉/Ω)

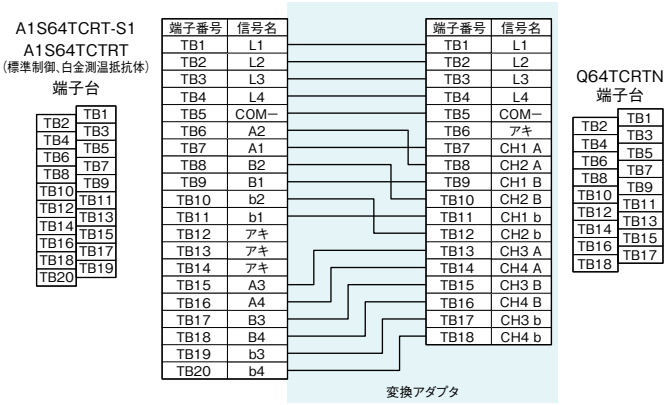
※1:MELSEC-AnSシリーズユニットとMELSEC-Qシリーズユニットでは測定温度範囲が異なります。MELSEC-Qシリーズユニットでは400℃未満／800℉未満の範囲は、温度測定はできますが精度は保証されません。

●プログラム上の注意

AnSシリーズユニットとQシリーズユニットでは、入出力信号（X、Y）およびバッファメモリアドレスの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

(2)ERNT-ASQT64TCRT　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQT64TCRT	A1S64TCRT-S1 A1S64TCTRT(標準制御、白金測温抵抗体)	4チャンネル	Q64TCRTN



〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ		MELSEC-Qシリーズ
		A1S64TCRT-S1	A1S64TCTRT (標準制御時)	Q64TCRTN (標準制御時)
制御出力		トランジスタ出力		
温度入力点数		4チャンネル		
使用可能な白金測温抵抗体		表2参照		
指示精度	周囲温度23℃±5℃	フルスケール×(±0.3%)±1digit	−	
	周囲温度25℃±5℃	−	フルスケール×(±0.3%)±1digit	フルスケール×(±0.3%)
	周囲温度0℃～55℃	フルスケール×(±0.7%)±1digit		フルスケール×(±0.7%)
サンプリング周期		500ms／4チャンネル(使用チャンネル数に関係なく一定)		
制御出力周期		1～100s		
センサ電流		約0.25mA	約0.3mA	−
許容入力導線抵抗の影響		20Ω以下	10Ω以下	−
入力インピーダンス		−		1MΩ
入力フィルタ		0～100s(0:入力フィルタOFF)		
センサ補正値設定		ソフトウェアバージョンA:−5.00～5.00% ソフトウェアバージョンB以降:−50.00～50.00%	−50.00～50.00%	−50.00～50.00%
センサ入力断線時の動作		アップスケール処理		
センサ入力短絡時の動作		−	ダウンスケール処理	−
温度制御方式		PID　ON/OFFパルスまたは2位置制御		
PID定数範囲	PID定数設定	オートチューニングによる設定が可能	オートチューニングとセルフチューニングによる設定が可能	オートチューニングによる設定が可能
	比例帯(P)	0.0～1000.0%(0:2位置制御)		
	積分時間(I)	1～3600s		0～3600s(0:P制御、PD制御)
	微分時間(D)	0～3600s(0:PI制御)		0～3600s(0:P制御、PI制御)
目標値設定範囲		使用する温度センサで設定した温度範囲内		
不感帯設定範囲		0.1～10.0%	0.0～10.0%	0.1～10.0%
トランジスタ出力	出力信号	ON/OFFパルス		
	定格負荷電圧	DC10.2～30V		DC10～30V
	最大負荷電流	0.1A／1点　0.4A／コモン		
	最大突入電流	0.4A　10ms		
	OFF時漏洩電流	0.1mA以下		
	ON時最大電圧降下	DC1.0V(TYP) 0.1A　DC2.5V(MAX) 0.1A		
	応答時間	OFF→ON:2ms以下　ON→OFF:2ms以下		
絶縁方式		入力ーアース間:トランス絶縁 入力ーチャンネル間:トランス絶縁	入力端子ーシーケンサ電源間:トランス絶縁 入力チャンネル間:トランス絶縁	
入出力占有点数		32点		16点
接続方式		20点端子台		18点端子台
内部消費電流(DC5V)		0.33A		0.29A

表2 使用可能な白金測温抵抗体

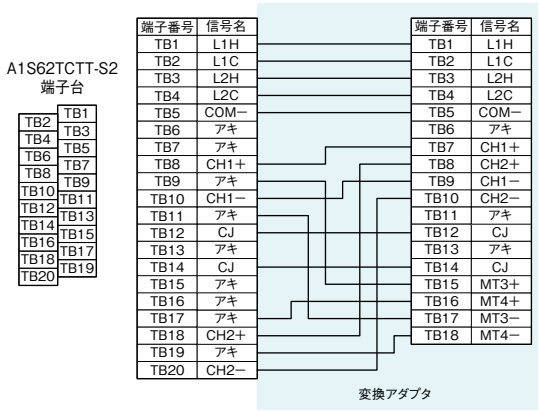
白金測温抵抗体種類	℃		℉	
	測定温度範囲	データ分解能	測定温度範囲	データ分解能
Pt100	−200.0～600.0	0.1	−300～1100	1
	−200.0～200.0		−300.0～300.0	0.1
JPt100	−200.0～500.0	0.1	−300～900	1
	−200.0～200.0		−300.0～300.0	0.1

●プログラム上の注意
AnSシリーズユニットとQシリーズユニットでは、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリアドレスの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

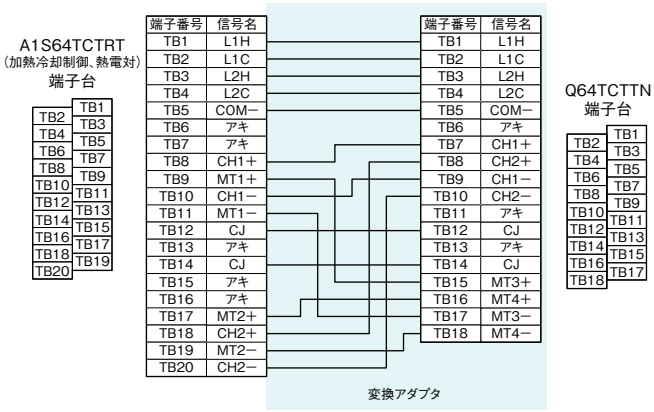
(3)ERNT-ASQT62TCTT　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQT62TCTT	A1S62TCTT-S2 A1S64TCTRT(加熱冷却制御、熱電対)	2チャンネル	Q64TCTTN

A1S62TCTT-S2 → Q64TCTTNの場合



A1S64TCTRT → Q64TCTTNの場合



(注)1.MELSEC-AnSシリーズユニット端子台(TB12、TB14)に接続されている冷接点温度補償抵抗(CJ)が隣接するユニットに当たる場合、製品に付属の冷接点温度補償抵抗(CJ)へ交換してください。
隣接するユニットに当たらない場合、製品に付属の冷接点温度補償抵抗(CJ)への交換は不要です。

〈仕様比較表〉

仕様＼形名			MELSEC-AnSシリーズ		MELSEC-Qシリーズ
			A1S62TCTT-S2	A1S64TCTRT (加熱冷却制御時)	Q64TCTTN (加熱冷却制御時)
制御出力			トランジスタ出力		
温度入力点数			2チャンネル		
使用可能な熱電対			次頁 表3参照		
精度	指示精度	周囲温度23℃±5℃	フルスケール×(±0.3%)±1digit	−	
		周囲温度25℃±5℃	−	フルスケール×(±0.3%)±1digit	フルスケール×(±0.3%)
		周囲温度0℃～55℃	フルスケール×(±0.7%)±1digit		フルスケール×(±0.7%)
	冷接点温度補償精度 (周囲温度:0℃～55℃)	温度測定値:−100℃以上	±1.0℃以内		
		温度測定値:−150℃～−100℃	±2.0℃以内		
		温度測定値:−200℃～−150℃	±3.0℃以内		
サンプリング周期			500ms/2チャンネル(使用チャンネル数に関係なく一定)		
加熱制御出力周期			1～100s		
冷却制御出力周期					
配線抵抗1Ω当たりの影響			次頁 表3参照		
入力インピーダンス			1MΩ		
入力フィルタ			0～100s(0:入力フィルタOFF)		
センサ補正値設定			−50.00～50.00%		
センサ入力断線時の動作			アップスケール処理		
温度制御方式			PID　ON/OFFパルス		PID　ON/OFFパルスまたは2位置制御
PID定数範囲		PID定数設定	オートチューニングによる設定が可能		
		加熱比例帯(Ph)	0.1～1000.0%		0.0～1000.0%
		冷却比例帯(Pc)			0.1～1000.0%
		積分時間(I)	1～3600s		0～3600s(0:P制御、PD制御)
		微分時間(D)	0～3600s(0:PI制御)		0～3600s(0:P制御、PI制御)
目標値設定範囲			使用する温度センサで設定した温度範囲内		
冷却方式設定			空冷/水冷		空冷/水冷/リニア
トランジスタ出力		出力信号	ON/OFFパルス		
		定格負荷電圧	DC10.2～30V		DC10～30V
		最大負荷電流	0.1A/1点　0.4A/コモン		
		最大突入電流	0.4A　10ms		
		OFF時漏洩電流	0.1mA以下		
		ON時最大電圧降下	DC1.0V(TYP) 0.1A　DC2.5V(MAX) 0.1A		
		応答時間	OFF→ON:2ms以下　ON→OFF:2ms以下		
絶縁方式			入力ーアース間:トランス絶縁 入力ーチャンネル間:トランス絶縁	入力端子ーシーケンサ電源間:トランス絶縁 入力チャンネル間:トランス絶縁	
入出力占有点数			32点		16点
接続方式			20点端子台		18点端子台
内部消費電流(DC5V)			0.19A	0.33A	0.29A

表3 使用可能な熱電対および配線抵抗1Ω当たりの影響

熱電対種類	℃					℉				
	測定温度範囲	データ分解能	配線抵抗1Ω当たりの影響			測定温度範囲	データ分解能	配線抵抗1Ω当たりの影響		
			A1S62TCTT-S2	A1S64TCTRTW	Q64TCTTN			A1S62TCTT-S2	A1S64TCTRT	Q64TCTTN
R	0～1700	1	0.35μV/Ω	0.15μV/Ω	0.030(℃/Ω)	0～3000	1	0.35μV/Ω	0.15μV/Ω	0.054(℉/Ω)
K	0～500 0～800 0～1300	1			0.005(℃/Ω)	0～1000 0～2400	1			0.008(℉/Ω)
	−200.0～400.0 0.0～400.0 0.0～500.0 0.0～800.0	0.1				0.0～1000.0	0.1			
J	0～500 0～800 0～1200	1			0.003(℃/Ω)	0～1000 0～1600 0～2100	1			0.006(℉/Ω)
	0.0～400.0 0.0～500.0 0.0～800.0	0.1				0.0～1000.0	0.1			
T	−200～400 −200～200 0～200 0～400	1			0.004(℃/Ω)	0～700 −300～400	1			0.008(℉/Ω)
	−200.0～400.0 0.0～400.0	0.1				0.0～700.0	0.1			
S	0～1700	1			0.030(℃/Ω)	0～3000	1			0.054(℉/Ω)
B（※1）	MELSEC-AnSシリーズユニット 400～1800 MELSEC-Qシリーズユニット 0～1800	1			0.038(℃/Ω)	MELSEC-AnSシリーズユニット 800～3000 MELSEC-Qシリーズユニット 0～3000	1			0.068(℉/Ω)
E	0～400 0～1000	1			0.003(℃/Ω)	0～1800	1			0.005(℉/Ω)
	0.0～700.0	0.1				−	−			−
N	0～1300	1			0.006(℃/Ω)	0～2300	1			0.011(℉/Ω)
U	0～400 −200～200	1			0.004(℃/Ω)	0～700 −300～400	1			0.009(℉/Ω)
	0.0～600.0	0.1				−	−			−
L	0～400 0～900	1			0.003(℃/Ω)	0～800 0～1600	1			0.006(℉/Ω)
	0.0～400.0 0.0～900.0	0.1				−	−			−
PLⅡ	0～1200	1			0.005(℃/Ω)	0～2300	1			0.010(℉/Ω)
W5Re/W26Re	0～2300	1			0.017(℃/Ω)	0～3000	1			0.021(℉/Ω)

※1:MELSEC-AnSシリーズユニットとMELSEC-Qシリーズユニットでは測定温度範囲が異なります。MELSEC-Qシリーズユニットでは400℃未満／800℉未満の範囲は、温度測定はできますが精度は保証されません。

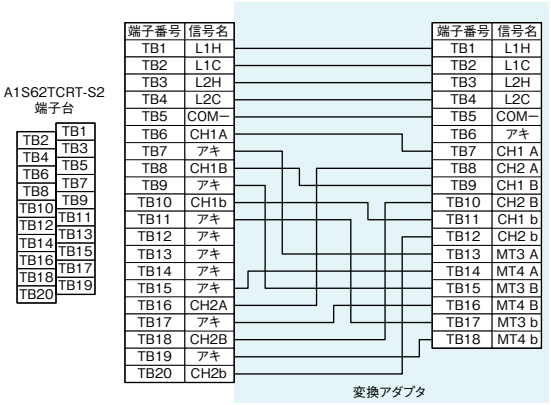
●プログラム上の注意

AnSシリーズユニットとQシリーズユニットでは、入出力信号（X、Y）およびバッファメモリアドレスの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

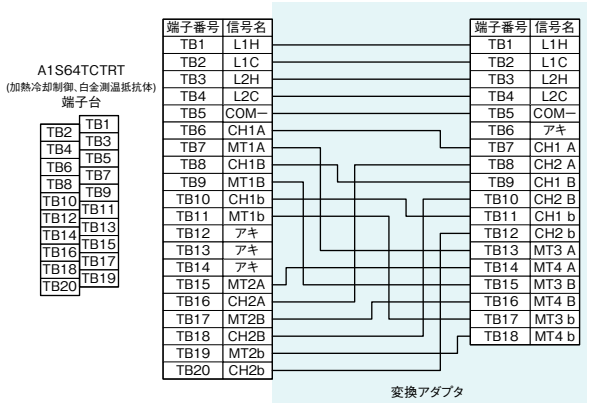
(4)ERNT-ASQT62TCRT　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQT62TCRT	A1S62TCRT-S2	2チャンネル	Q64TCRTN
	A1S64TCTRT(加熱冷却制御、白金測温抵抗体)		

A1S62TCRT-S2 → Q64TCRTNの場合



A1S64TCTRT → Q64TCRTNの場合



〈仕様比較表〉

仕様 \ 形名		MELSEC-AnSシリーズ A1S62TCRT-S2	MELSEC-AnSシリーズ A1S64TCTRT(加熱冷却制御時)	MELSEC-Qシリーズ Q64TCRTN(加熱冷却制御時)
制御出力		トランジスタ出力		
温度入力点数		2チャンネル		
使用可能な白金測温抵抗体		表4参照		
指示精度	周囲温度23℃±5℃	フルスケール×(±0.3%)±1digit	−	
	周囲温度25℃±5℃	−	フルスケール×(±0.3%)±1digit	フルスケール×(±0.3%)
	周囲温度0℃～55℃	フルスケール×(±0.7%)±1digit		フルスケール×(±0.7%)
サンプリング周期		500ms/2チャンネル(使用チャンネル数に関係なく一定)		
加熱制御出力周期		1～100s		
冷却制御出力周期				
センサ電流		約0.25mA	約0.3mA	−
許容入力導線抵抗の影響		20Ω以下	10Ω以下	−
入力インピーダンス		−		1MΩ
入力フィルタ		0～100s(0:入力フィルタOFF)		
センサ補正値設定		−50.00～50.00%		
センサ入力断線時の動作		アップスケール処理		
センサ入力短絡時の動作		−	ダウンスケール処理	−
温度制御方式		PID　ON/OFFパルス		PID　ON/OFFパルスまたは2位置制御
PID定数範囲	PID定数設定	オートチューニングによる設定が可能		
	加熱比例帯(Ph)	0.1～1000.0%		0.0～1000.0%
	冷却比例帯(Pc)			0.1～1000.0%
	積分時間(I)	1～3600s		0～3600s(0:P制御、PD制御)
	微分時間(D)	0～3600s(0:PI制御)		0～3600s(0:P制御、PI制御)
目標値設定範囲		使用する温度センサで設定した温度範囲内		
冷却方式設定		空冷/水冷		空冷/水冷/リニア
トランジスタ出力	出力信号	ON/OFFパルス		
	定格負荷電圧	DC10.2～30V		DC10～30V
	最大負荷電流	0.1A/1点　0.4A/コモン		
	最大突入電流	0.4A　10ms		
	OFF時漏洩電流	0.1mA以下		
	ON時最大電圧降下	DC1.0V(TYP) 0.1A　DC2.5V(MAX) 0.1A		
	応答時間	OFF→ON:2ms以下　ON→OFF:2ms以下		
絶縁方式		入力ーアース間:トランス絶縁 入力ーチャンネル間:トランス絶縁	入力端子ーシーケンサ電源間:トランス絶縁 入力チャンネル間:トランス絶縁	
入出力占有点数		32点		16点
接続方式		20点端子台		18点端子台
内部消費電流(DC5V)		0.19A	0.33A	0.29A

表4 使用可能な白金測温抵抗体

白金測温抵抗体種類	℃ 測定温度範囲	℃ データ分解能	°F 測定温度範囲	°F データ分解能
Pt100	−200.0～600.0	0.1	−300～1100	1
	−200.0～200.0		−300.0～300.0	0.1
JPt100	−200.0～500.0	0.1	−300～900	1
	−200.0～200.0		−300.0～300.0	0.1

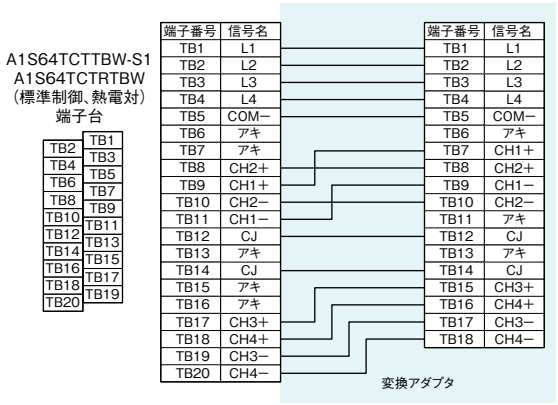
●プログラム上の注意
AnSシリーズユニットとQシリーズユニットでは、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリアドレスの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

断線検知機能付き温度調節ユニット用
1スロットタイプ+断線検知コネクタ変換ケーブル

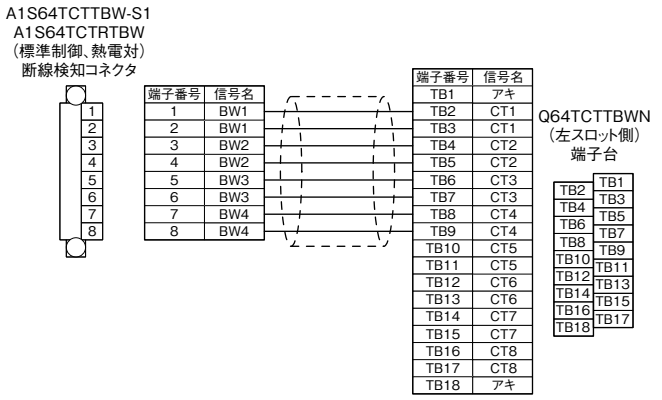
(1)ERNT-ASQT64TCTTBW　端子台(20p)+コネクタ(8p)→端子台(18p)×2

セット形名	変換アダプタ形名	断線検知コネクタ変換ケーブル	MELSEC-AnSシリーズ ユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-ASQT64TCTTBW	ERNT-ASQT64TCTT	あり	A1S64TCTTBW-S1 A1S64TCTRTBW(標準制御、熱電対)	4チャンネル	Q64TCTTBWN

変換アダプタ(ERNT-ASQT64TCTT)



断線検知コネクタ変換ケーブル



(注)1.MELSEC-Qシリーズユニットには、必ず左側に断線検知コネクタ変換ケーブル、右側に変換アダプタを取付けてください。
逆に取付けて使用するとMELSEC-Qシリーズユニットの故障の原因になります。

〈仕様比較表〉

仕様＼形名			MELSEC-AnSシリーズ A1S64TCTTBW-S1	MELSEC-AnSシリーズ A1S64TCTRTBW(標準制御時)	MELSEC-Qシリーズ Q64TCTTBWN(標準制御時)
制御出力			トランジスタ出力		
温度入力点数			4チャンネル		
使用可能な熱電対			次頁 表5参照		
精度	指示精度	周囲温度23℃±5℃	フルスケール×(±0.3%)±1digit	−	
		周囲温度25℃±5℃	−	フルスケール×(±0.3%)±1digit	フルスケール×(±0.3%)
		周囲温度0℃～55℃	フルスケール×(±0.7%)±1digit		フルスケール×(±0.7%)
	冷接点温度補償精度(周囲温度:0℃～55℃)	温度測定値:−100℃以上	±1.0℃以内		
		温度測定値:−150℃～−100℃	±2.0℃以内		
		温度測定値:−200℃～−150℃	±3.0℃以内		
サンプリング周期			500ms/4チャンネル(使用チャンネル数に関係なく一定)		
制御出力周期			1～100s		
配線抵抗1Ω当たりの影響			次頁 表5参照		
入力インピーダンス			1MΩ		
入力フィルタ			0～100s(0:入力フィルタOFF)		
センサ補正値設定			ソフトウェアバージョンA:−5.00～5.00% ソフトウェアバージョンB以降:−50.00～50.00%	−50.00～50.00%	
センサ入力断線時の動作			アップスケール処理		
温度制御方式			PID　ON/OFFパルスまたは2位置制御		
PID定数範囲	PID定数設定		オートチューニングによる設定が可能	オートチューニングとセルフチューニングによる設定が可能	オートチューニングによる設定が可能
	比例帯(P)		0.0～1000.0%(0:2位置制御)		
	積分時間(I)		1～3600s		0～3600s(0:P制御、PD制御)
	微分時間(D)		0～3600s(0:PI制御)		0～3600s(0:P制御、PI制御)
目標値設定範囲			使用する温度センサで設定した温度範囲内		
不感帯設定範囲			0.1～10.0%	0.0～10.0%	0.1～10.0%
トランジスタ出力	出力信号		ON/OFFパルス		
	定格負荷電圧		DC10.2～30V		DC10～30V
	最大負荷電流		0.1A／1点　0.4A／コモン		
	最大突入電流		0.4A　10ms		
	OFF時漏洩電流		0.1mA以下		
	ON時最大電圧降下		DC1.0V(TYP)　0.1A　DC2.5V(MAX)　0.1A		
	応答時間		OFF→ON:2ms以下　ON→OFF:2ms以下		
絶縁方式			入力ーアース間:トランス絶縁 入力ーチャンネル間:トランス絶縁	入力端子ーシーケンサ電源間:トランス絶縁 入力チャンネル間:トランス絶縁	
ヒータ断線検知仕様	電流センサ		株式会社ユー・アール・ディー社製 CTL-12-S36-8(0.0～100.0A) CTL-6-P(-H)(0.00～20.00A)		株式会社ユー・アール・ディー社製 CTL-12-S36-8(0.0～100.0A) CTL-12-S36-10(0.0～100.0A) CTL-12-S56-10(0.0～100.0A) CTL-6-P(-H)(0.00～20.00A)
	入力方法		マルチプレクサ方式 A/D変換		−
	入力精度		−	フルスケール×(±1.0%)	
	警報遅延回数		3～255		
入出力占有点数			32点		
接続方式			20点端子台+8ピンコネクタ		18点端子台×2
内部消費電流(DC5V)			0.42A	0.39A	0.33A

表5 使用可能な熱電対および配線抵抗1Ω当たりの影響

熱電対種類	℃					℉				
	測定温度範囲	データ分解能	配線抵抗1Ω当たりの影響			測定温度範囲	データ分解能	配線抵抗1Ω当たりの影響		
			A1S64TCTTBW-S1	A1S64TCTRTBW	Q64TCTTBWN			A1S64TCTTBW-S1	A1S64TCTRTBW	Q64TCTTBWN
R	0～1700	1	0.35μV/Ω	0.15μV/Ω	0.030(℃/Ω)	0～3000	1	0.35μV/Ω	0.15μV/Ω	0.054(℉/Ω)
K	0～500 0～800 0～1300	1			0.005(℃/Ω)	0～1000 0～2400	1			0.008(℉/Ω)
	−200.0～400.0 0.0～400.0 0.0～500.0 0.0～800.0	0.1				0.0～1000.0	0.1			
J	0～500 0～800 0～1200	1			0.003(℃/Ω)	0～1000 0～1600 0～2100	1			0.006(℉/Ω)
	0.0～400.0 0.0～500.0 0.0～800.0	0.1				0.0～1000.0	0.1			
T	−200～400 −200～200 0～200 0～400	1			0.004(℃/Ω)	0～700 −300～400	1			0.008(℉/Ω)
	−200.0～400.0 0.0～400.0	0.1				0.0～700.0	0.1			
S	0～1700	1			0.030(℃/Ω)	0～3000	1			0.054(℉/Ω)
B（※1）	MELSEC-AnSシリーズユニット 400～1800 MELSEC-Qシリーズユニット 0～1800	1			0.038(℃/Ω)	MELSEC-AnSシリーズユニット 800～3000 MELSEC-Qシリーズユニット 0～3000	1			0.068(℉/Ω)
E	0～400 0～1000	1			0.003(℃/Ω)	0～1800	1			0.005(℉/Ω)
	0.0～700.0	0.1				−	−			−
N	0～1300	1			0.006(℃/Ω)	0～2300	1			0.011(℉/Ω)
U	0～400 −200～200	1			0.004(℃/Ω)	0～700 −300～400	1			0.009(℉/Ω)
	0.0～600.0	0.1				−	−			−
L	0～400 0～900	1			0.003(℃/Ω)	0～800 0～1600	1			0.006(℉/Ω)
	0.0～400.0 0.0～900.0	0.1				−	−			−
PLⅡ	0～1200	1			0.005(℃/Ω)	0～2300	1			0.010(℉/Ω)
W5Re/W26Re	0～2300	1			0.017(℃/Ω)	0～3000	1			0.021(℉/Ω)

※1:MELSEC-AnSシリーズユニットとMELSEC-Qシリーズユニットでは測定温度範囲が異なります。MELSEC-Qシリーズユニットでは400℃未満／800℉未満の範囲は、温度測定はできますが精度は保証されません。

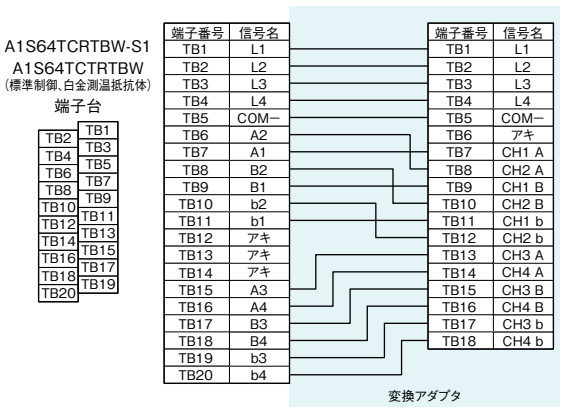
●プログラム上の注意

AnSシリーズユニットとQシリーズユニットでは、入出力信号（X、Y）およびバッファメモリアドレスの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

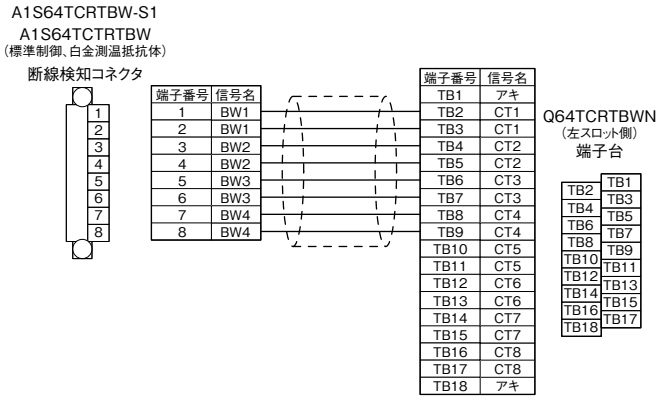
(2)ERNT-ASQT64TCRTBW　端子台(20p)+コネクタ(8p)→端子台(18p)×2

セット形名	変換アダプタ形名	断線検知コネクタ変換ケーブル	MELSEC-AnSシリーズユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズユニット形名
ERNT-ASQT64TCRTBW	ERNT-ASQT64TCRT	あり	A1S64TCRTBW-S1 A1S64TCTRTBW(標準制御、白金測温抵抗体)	4チャンネル	Q64TCRTBWN

変換アダプタ(ERNT-ASQT64TCRT)



断線検知コネクタ変換ケーブル



(注)1.MELSEC-Qシリーズユニットには、必ず左側に断線検知コネクタ変換ケーブル、右側に変換アダプタを取付けてください。
逆に取付けて使用するとMELSEC-Qシリーズユニットの故障の原因になります。

〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ		MELSEC-Qシリーズ
		A1S64TCRTBW-S1	A1S64TCTRTBW(標準制御時)	Q64TCRTBWN(標準制御時)
制御出力		トランジスタ出力		
温度入力点数		4チャンネル		
使用可能な白金測温抵抗体		次頁 表6参照		
指示精度	周囲温度23℃±5℃	フルスケール×(±0.3%)±1digit	−	
	周囲温度25℃±5℃	−	フルスケール×(±0.3%)±1digit	フルスケール×(±0.3%)
	周囲温度0℃～55℃	フルスケール×(±0.7%)±1digit		フルスケール×(±0.7%)
サンプリング周期		500ms／4チャンネル(使用チャンネル数に関係なく一定)		
制御出力周期		1～100s		
センサ電流		約0.25mA	約0.3mA	−
許容入力導線抵抗の影響		20Ω以下	10Ω以下	−
入力インピーダンス		−		1MΩ
入力フィルタ		0～100s(0:入力フィルタOFF)		
センサ補正値設定		ソフトウェアバージョンA:−5.00～5.00% ソフトウェアバージョンB以降:−50.00～50.00%	−50.00～50.00%	
センサ入力断線時の動作		アップスケール処理		
センサ入力短絡時の動作		−	ダウンスケール処理	−
温度制御方式		PID　ON/OFFパルスまたは2位置制御		
PID定数範囲	PID定数設定	オートチューニングによる設定が可能	オートチューニングとセルフチューニングによる設定が可能	オートチューニングによる設定が可能
	比例帯(P)	0.0～1000.0%(0:2位置制御)		
	積分時間(I)	1～3600s		0～3600s(0:P制御、PD制御)
	微分時間(D)	0～3600s(0:PI制御)		0～3600s(0:P制御、PI制御)
目標値設定範囲		使用する温度センサで設定した温度範囲内		
不感帯設定範囲		0.1～10.0%	0.0～10.0%	0.1～10.0%
トランジスタ出力	出力信号	ON/OFFパルス		
	定格負荷電圧	DC10.2～30V		DC10～30V
	最大負荷電流	0.1A／1点　0.4A／コモン		
	最大突入電流	0.4A　10ms		
	OFF時漏洩電流	0.1mA以下		
	ON時最大電圧降下	DC1.0V(TYP) 0.1A　DC2.5V(MAX) 0.1A		
	応答時間	OFF→ON:2ms以下　ON→OFF:2ms以下		
絶縁方式		入力ーアース間:トランス絶縁 入力ーチャンネル間:トランス絶縁	入力端子ーシーケンサ電源間:トランス絶縁 入力チャンネル間:トランス絶縁	
ヒータ断線検知仕様	電流センサ	株式会社ユー・アール・ディー社製 CTL-12-S36-8(0.0～100.0A) CTL-6-P(-H)(0.00～20.00A)		株式会社ユー・アール・ディー社製 CTL-12-S36-8(0.0～100.0A) CTL-12-S36-10(0.0～100.0A) CTL-12-S56-10(0.0～100.0A) CTL-6-P(-H)(0.00～20.00A)
	入力方法	マルチプレクサ方式 A/D変換		−
	入力精度	−	フルスケール×(±1.0%)	
	警報遅延回数	3～255		
入出力占有点数		32点		
接続方式		20点端子台+8ピンコネクタ		18点端子台×2
内部消費電流(DC5V)		0.42A	0.39A	0.33A

表6 使用可能な白金測温抵抗体

白金測温抵抗体種類	℃		℉	
	測定温度範囲	データ分解能	測定温度範囲	データ分解能
Pt100	−200.0～600.0	0.1	−300～1100	1
	−200.0～200.0		−300.0～300.0	0.1
JPt100	−200.0～500.0	0.1	−300～900	1
	−200.0～200.0		−300.0～300.0	0.1

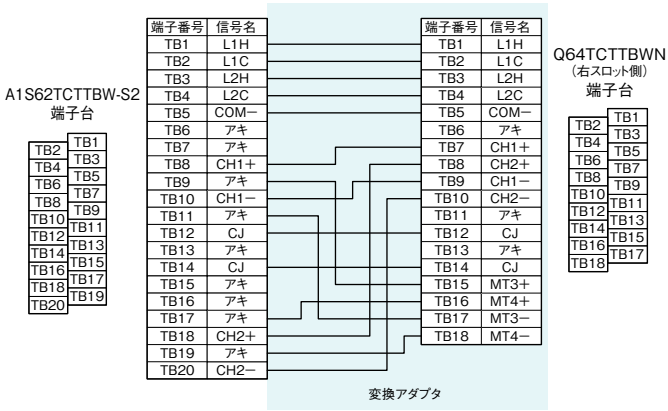
●プログラム上の注意
AnSシリーズユニットとQシリーズユニットでは、入出力信号（X、Y）およびバッファメモリアドレスの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

(3)ERNT-ASQT62TCTTBW 端子台(20p)+コネクタ(8p)→端子台(18p)×2

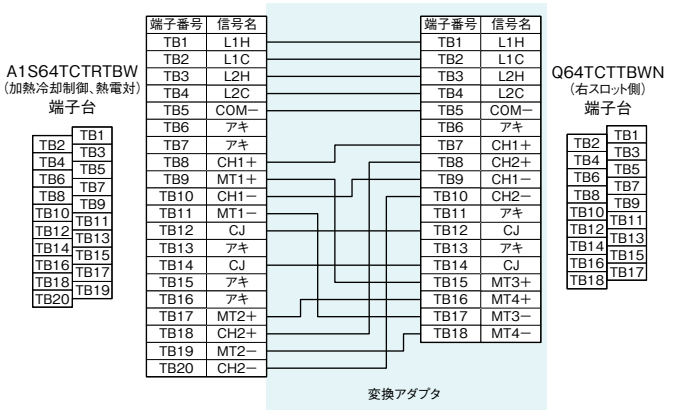
セット形名	変換アダプタ形名	断線検知コネクタ変換ケーブル	MELSEC-AnSシリーズユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズユニット形名
ERNT-ASQT62TCTTBW	ERNT-ASQT62TCTT	あり	A1S62TCTTBW-S2 A1S64TCTRTBW（加熱冷却制御、熱電対）	2チャンネル	Q64TCTTBWN

変換アダプタ(ERNT-ASQT62TCTT)

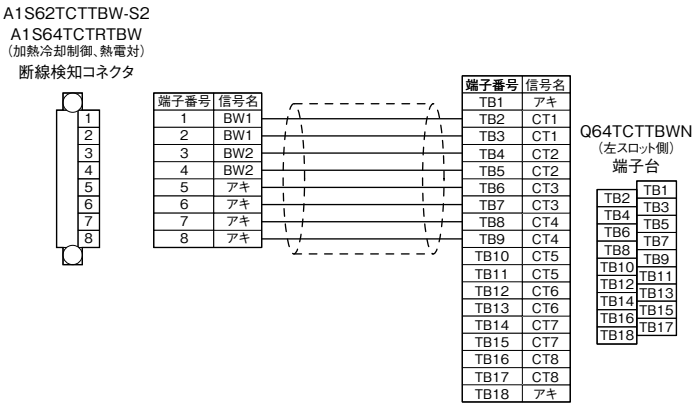
A1S62TCTTBW-S2 → Q64TCTTBWNの場合



A1S64TCTRTBW → Q64TCTTBWNの場合



断線検知コネクタ変換ケーブル



（注）1.MELSEC-Qシリーズユニットには、必ず左側に断線検知コネクタ変換ケーブル、右側に変換アダプタを取付けてください。
逆に取付けて使用するとMELSEC-Qシリーズユニットの故障の原因になります。

〈仕様比較表〉

仕様＼形名			MELSEC-AnSシリーズ		MELSEC-Qシリーズ
			A1S62TCTTBW-S2	A1S64TCTRTBW（加熱冷却制御時）	Q64TCTTBWN（加熱冷却制御時）
制御出力			トランジスタ出力		
温度入力点数			2チャンネル		
使用可能な熱電対			次頁 表7参照		
精度	指示精度	周囲温度23℃±5℃	フルスケール×（±0.3%）±1digit	−	
		周囲温度25℃±5℃	−	フルスケール×（±0.3%）±1digit	フルスケール×（±0.3%）
		周囲温度0℃～55℃	フルスケール×（±0.7%）±1digit		フルスケール×（±0.7%）
	冷接点温度補償精度（周囲温度:0℃～55℃）	温度測定値:−100℃以上	±1.0℃以内		
		温度測定値:−150℃～−100℃	±2.0℃以内		
		温度測定値:−200℃～−150℃	±3.0℃以内		
サンプリング周期			500ms/2チャンネル（使用チャンネル数に関係なく一定）		
加熱制御出力周期			1～100s		
冷却制御出力周期					
配線抵抗1Ω当たりの影響			次頁 表7参照		
入力インピーダンス			1MΩ		
入力フィルタ			0～100s（0:入力フィルタOFF）		
センサ補正値設定			−50.00～50.00%		
センサ入力断線時の動作			アップスケール処理		
温度制御方式			PID　ON/OFFパルス		PID　ON/OFFパルスまたは2位置制御
PID定数範囲		PID定数設定	オートチューニングによる設定が可能		
		加熱比例帯（Ph）	0.1～1000.0%		0.0～1000.0%
		冷却比例帯（Pc）			0.1～1000.0%
		積分時間（I）	1～3600s		0～3600s（0:P制御、PD制御）
		微分時間（D）	0～3600s（0:PI制御）		0～3600s（0:P制御、PI制御）
目標値設定範囲			使用する温度センサで設定した温度範囲内		
冷却方式設定			空冷/水冷		空冷/水冷/リニア
トランジスタ出力		出力信号	ON/OFFパルス		
		定格負荷電圧	DC10.2～30V		DC10～30V
		最大負荷電流	0.1A/1点　0.4A/コモン		
		最大突入電流	0.4A　10ms		
		OFF時漏洩電流	0.1mA以下		
		ON時最大電圧降下	DC1.0V（TYP）0.1A　DC2.5V（MAX）0.1A		
		応答時間	OFF→ON:2ms以下　ON→OFF:2ms以下		
絶縁方式			入力ーアース間:トランス絶縁 入力ーチャンネル間:トランス絶縁	入力端子ーシーケンサ電源間:トランス絶縁 入力チャンネル間:トランス絶縁	
ヒータ断線検知仕様		電流センサ	株式会社ユー・アール・ディー社製 CTL-12-S36-8（0.0～100.0A） CTL-6-P（-H）（0.00～20.00A）		株式会社ユー・アール・ディー社製 CTL-12-S36-8（0.0～100.0A） CTL-12-S36-10（0.0～100.0A） CTL-12-S56-10（0.0～100.0A） CTL-6-P（-H）（0.00～20.00A）
		入力方法	マルチプレクサ方式 A/D変換		−
		入力精度	−	フルスケール×（±1.0%）	
		警報遅延回数	3～255		
入出力占有点数			32点		
接続方式			20点端子台+8ピンコネクタ		18点端子台×2
内部消費電流（DC5V）			0.28A	0.39A	0.33A

表7 使用可能な熱電対および配線抵抗1Ω当たりの影響

熱電対種類	℃					℉				
	測定温度範囲	データ分解能	配線抵抗1Ω当たりの影響			測定温度範囲	データ分解能	配線抵抗1Ω当たりの影響		
			A1S62TCTTBW-S2	A1S64TCTRTBW	Q64TCTTBWN			A1S62TCTTBW-S2	A1S64TCTRTBW	Q64TCTTBWN
R	0～1700	1	0.35μV/Ω	0.15μV/Ω	0.030(℃/Ω)	0～3000	1	0.35μV/Ω	0.15μV/Ω	0.054(℉/Ω)
K	0～500 0～800 0～1300	1			0.005(℃/Ω)	0～1000 0～2400	1			0.008(℉/Ω)
	−200.0～400.0 0.0～400.0 0.0～500.0 0.0～800.0	0.1				0.0～1000.0	0.1			
J	0～500 0～800 0～1200	1			0.003(℃/Ω)	0～1000 0～1600 0～2100	1			0.006(℉/Ω)
	0.0～400.0 0.0～500.0 0.0～800.0	0.1				0.0～1000.0	0.1			
T	−200～400 −200～200 0～200 0～400	1			0.004(℃/Ω)	0～700 −300～400	1			0.008(℉/Ω)
	−200.0～400.0 0.0～400.0	0.1				0.0～700.0	0.1			
S	0～1700	1			0.030(℃/Ω)	0～3000	1			0.054(℉/Ω)
B（※1）	MELSEC-AnSシリーズユニット 400～1800 MELSEC-Qシリーズユニット 0～1800	1			0.038(℃/Ω)	MELSEC-AnSシリーズユニット 800～3000 MELSEC-Qシリーズユニット 0～3000	1			0.068(℉/Ω)
E	0～400 0～1000	1			0.003(℃/Ω)	0～1800	1			0.005(℉/Ω)
	0.0～700.0	0.1				−	−			−
N	0～1300	1			0.006(℃/Ω)	0～2300	1			0.011(℉/Ω)
U	0～400 −200～200	1			0.004(℃/Ω)	0～700 −300～400	1			0.009(℉/Ω)
	0.0～600.0	0.1				−	−			−
L	0～400 0～900	1			0.003(℃/Ω)	0～800 0～1600	1			0.006(℉/Ω)
	0.0～400.0 0.0～900.0	0.1				−	−			−
PLⅡ	0～1200	1			0.005(℃/Ω)	0～2300	1			0.010(℉/Ω)
W5Re/W26Re	0～2300	1			0.017(℃/Ω)	0～3000	1			0.021(℉/Ω)

※1:MELSEC-AnSシリーズユニットとMELSEC-Qシリーズユニットでは測定温度範囲が異なります。MELSEC-Qシリーズユニットでは400℃未満／800℉未満の範囲は、温度測定はできますが精度は保証されません。

●プログラム上の注意

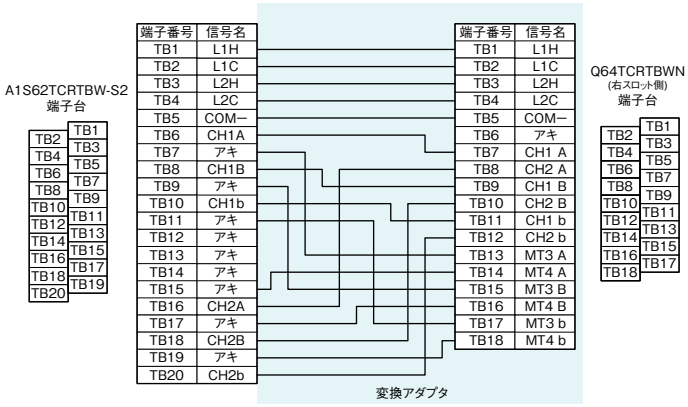
AnSシリーズユニットとQシリーズユニットでは、入出力信号（X、Y）およびバッファメモリアドレスの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

(4)ERNT-ASQT62TCRTBW 端子台(20p)+コネクタ(8p)→端子台(18p)×2

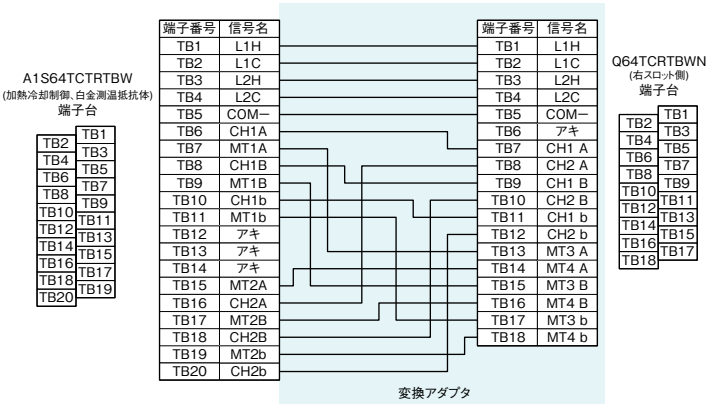
セット形名	変換アダプタ形名	断線検知コネクタ変換ケーブル	MELSEC-AnSシリーズユニット形名	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズユニット形名
ERNT-ASQT62TCRTBW	ERNT-ASQT62TCRT	あり	A1S62TCRTBW-S2 A1S64TCTRTBW(加熱冷却制御、白金測温抵抗体)	2チャンネル	Q64TCRTBWN

変換アダプタ(ERNT-ASQT62TCRT)

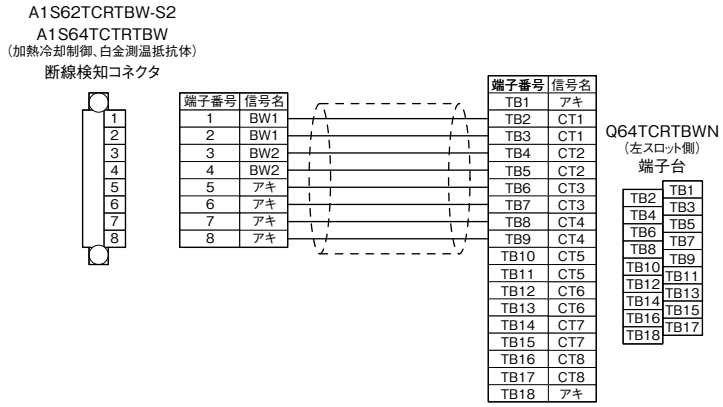
A1S62TCRTBW-S2 → Q64TCRTBWNの場合



A1S64TCTRTBW → Q64TCRTBWNの場合



断線検知コネクタ変換ケーブル



(注)1.MELSEC-Qシリーズユニットには、必ず左側に断線検知コネクタ変換ケーブル、右側に変換アダプタを取付けてください。
逆に取付けて使用するとMELSEC-Qシリーズユニットの故障の原因になります。

〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MELSEC-AnSシリーズ		MELSEC-Qシリーズ
		A1S62TCRTBW-S2	A1S64TCTRTBW（加熱冷却制御時）	Q64TCRTBWN（加熱冷却制御時）
制御出力		トランジスタ出力		
温度入力点数		2チャンネル		
使用可能な白金測温抵抗体		表8参照		
指示精度	周囲温度23℃±5℃	フルスケール×（±0.3%）±1digit	−	
	周囲温度25℃±5℃	−	フルスケール×（±0.3%）±1digit	フルスケール×（±0.3%）
	周囲温度0℃～55℃	フルスケール×（±0.7%）±1digit		フルスケール×（±0.7%）
サンプリング周期		500ms/2チャンネル（使用チャンネル数に関係なく一定）		
加熱制御出力周期		1～100s		
冷却制御出力周期				
センサ電流		約0.25mA	約0.3mA	−
許容入力導線抵抗の影響		20Ω以下	10Ω以下	−
入力インピーダンス		−		1MΩ
入力フィルタ		0～100s（0:入力フィルタOFF）		
センサ補正値設定		−50.00～50.00%		
センサ入力断線時の動作		アップスケール処理		
センサ入力短絡時の動作		−	ダウンスケール処理	−
温度制御方式		PID　ON/OFFパルス		PID　ON/OFFパルスまたは2位置制御
PID定数範囲	PID定数設定	オートチューニングによる設定が可能		
	加熱比例帯（Ph）	0.1～1000.0%		0.0～1000.0%
	冷却比例帯（Pc）			0.1～1000.0%
	積分時間（I）	1～3600s		0～3600s（0:P制御、PD制御）
	微分時間（D）	0～3600s（0:PI制御）		0～3600s（0:P制御、PI制御）
目標値設定範囲		使用する温度センサで設定した温度範囲内		
冷却方式設定		空冷/水冷		空冷/水冷/リニア
トランジスタ出力	出力信号	ON/OFFパルス		
	定格負荷電圧	DC10.2～30V		DC10～30V
	最大負荷電流	0.1A/1点　0.4A/コモン		
	最大突入電流	0.4A　10ms		
	OFF時漏洩電流	0.1mA以下		
	ON時最大電圧降下	DC1.0V（TYP）0.1A　DC2.5V（MAX）0.1A		
	応答時間	OFF→ON:2ms以下　ON→OFF:2ms以下		
絶縁方式		入力ーアース間:トランス絶縁 入力ーチャンネル間:トランス絶縁	入力端子ーシーケンサ電源間:トランス絶縁 入力チャンネル間:トランス絶縁	
ヒータ断線検知仕様	電流センサ	株式会社ユー・アール・ディー社製 CTL-12-S36-8（0.0～100.0A） CTL-6-P（-H）（0.00～20.00A）		株式会社ユー・アール・ディー社製 CTL-12-S36-8（0.0～100.0A） CTL-12-S36-10（0.0～100.0A） CTL-12-S56-10（0.0～100.0A） CTL-6-P（-H）（0.00～20.00A）
	入力方法	マルチプレクサ方式 A/D変換		−
	入力精度	−	フルスケール×（±1.0%）	
	警報遅延回数	3～255		
入出力占有点数		32点		
接続方式		20点端子台＋8ピンコネクタ		18点端子台×2
内部消費電流（DC5V）		0.28A	0.39A	0.33A

表8 使用可能な白金測温抵抗体

白金測温抵抗体種類	℃		˚F	
	測定温度範囲	データ分解能	測定温度範囲	データ分解能
Pt100	−200.0～600.0	0.1	−300～1100	1
	−200.0～200.0		−300.0～300.0	0.1
JPt100	−200.0～500.0	0.1	−300～900	1
	−200.0～200.0		−300.0～300.0	0.1

●プログラム上の注意

AnSシリーズユニットとQシリーズユニットでは、入出力信号（X、Y）およびバッファメモリアドレスの割付けが異なりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。

ベースアダプタ

仕　様

MELSEC-AnSシリーズの取付穴を利用し、MELSEC-Qシリーズを設置可能とするものです。(追加ネジ穴加工不要)
ERNT-ASQB□□N-S1ベースアダプタは、基本ベースユニットとQA増設ベースユニットQA1S51Bを同時に設置可能でとするものです。

ベースアダプタ形名	仕　様		備　考
	MELSEC-AnSシリーズ対応ユニット	MELSEC-Qシリーズ対応ユニット	
ERNT-ASQB38N	A1S38B/A1S38HB/A1S38HBEU	Q38B	Q7BAT-SETをご使用の際は、ベースアダプタへCPUユニット(Q7BAT-SET装着前)が装着されたベースユニットを取付けた状態で、Q7BAT-SETをCPUユニットへ装着してください。
ERNT-ASQB35N	A1S35B	Q35B	
ERNT-ASQB33N	A1S33B	Q33B	
ERNT-ASQB32N	A1S32B	Q33B	
ERNT-ASQB00JN	A1SJCPU A1SJCPU-S3 A1SJHCPU	Q00JCPU Q00UJCPU Q35B	
ERNT-ASQB68N	A1S68B	Q68B	
ERNT-ASQB65N	A1S65B	Q65B	
ERNT-ASQB58N	A1S58B	Q68B(※)	
ERNT-ASQB55N	A1S55B	Q55B	
ERNT-ASQB52N	A1S52B	Q52B	

※:電源ユニットの装着が必要となるベースユニット

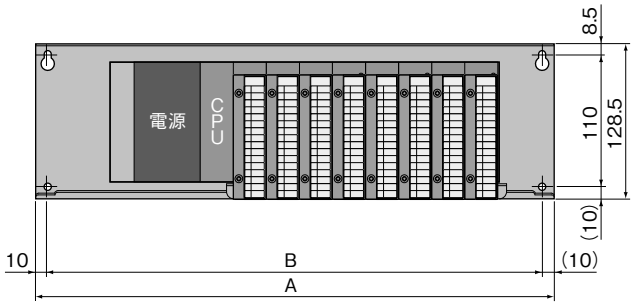
ベースアダプタ形名	仕　様			備　考
	MELSEC-AnSシリーズ対応ユニット	MELSEC-Qシリーズ対応ユニット		
		基 本	増 設	
ERNT-ASQB38N-S1	A1S38B/A1S38HB/A1S38HBEU	Q38B/Q35B/Q33B	QA1S51B	Q7BAT-SETをご使用の際は、ベースアダプタへCPUユニット(Q7BAT-SET装着前)が装着されたベースユニットを取付けた状態で、Q7BAT-SETをCPUユニットへ装着してください。
ERNT-ASQB35N-S1	A1S35B	Q35B/Q33B		
ERNT-ASQB33N-S1	A1S33B	Q33B		

取付寸法

ERNT-ASQB□□Nベースアダプタによる置換えの場合

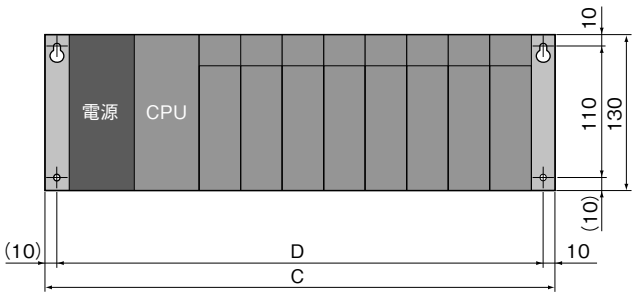
●ベースアダプタの取付穴(4ヶ所)は、MELSEC-AnSシリーズベースユニットと同一取付寸法ですので制御盤への追加ネジ穴加工は一切不要です。
●MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

◎MELSEC-Qシリーズ



◎(参考)MELSEC-AnSシリーズ

単位:mm



ベースアダプタ形名	A	B	MELSEC-AnSシリーズ ベースユニット形名	C	D
ERNT-ASQB38N	430	410	A1S38B/A1S38HB/A1S38HBEU	430	410
ERNT-ASQB35N	325	305	A1S35B	325	305
ERNT-ASQB33N	255	235	A1S33B	255	235
ERNT-ASQB32N	220	200	A1S32B	220	200
ERNT-ASQB00JN	330	310	A1SJCPU	330	310
			A1SJCPU-S3		
			A1SJHCPU		
ERNT-ASQB68N	420	400	A1S68B	420	400
ERNT-ASQB65N	315	295	A1S65B	315	295
ERNT-ASQB58N	365	345	A1S58B	365	345
ERNT-ASQB55N	260	240	A1S55B	260	240
ERNT-ASQB52N	155	135	A1S52B	155	135

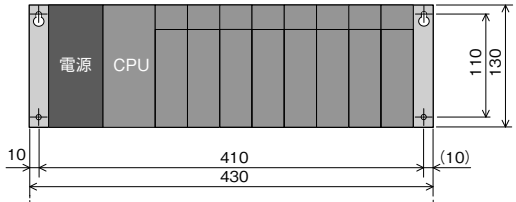
ERNT-ASQB□□N-S1ベースアダプタによる置換えの場合

●ベースアダプタの取付穴（4ヶ所）は、MELSEC-AnSシリーズベースユニットと同一取付寸法ですので制御盤への追加ネジ穴加工は一切不要です。
●MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。
●ERNT-ASQB35N-S1では22mm、ERNT-ASQB33N-S1では36mm横幅が大きくなります。取付スペースを確認してください。

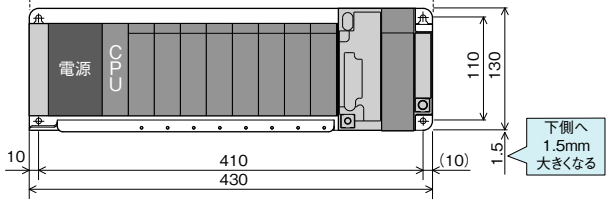
単位:mm

ERNT-ASQB38N-S1

◎(参考)MELSEC-AnSシリーズ A1S38B/A1S38HB/A1S38HBEU



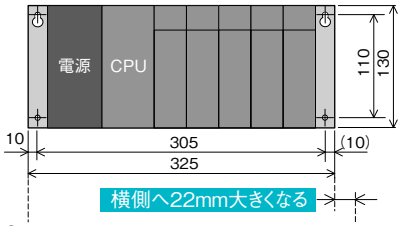
◎ERNT-ASQB38N-S1 + Q38B + QA1S51B



ERNT-ASQB35N-S1

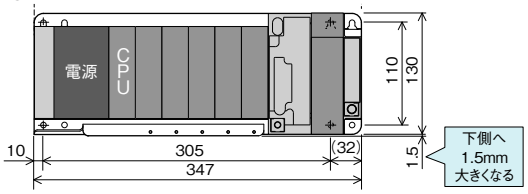
左側を基準に取付け

◎(参考)MELSEC-AnSシリーズ A1S35B



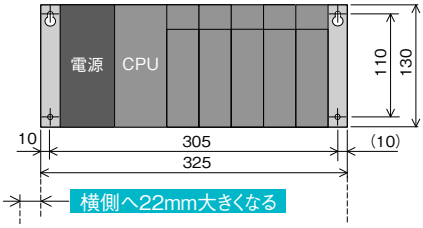
横側へ22mm大きくなる

◎ERNT-ASQB35N-S1 + Q35B + QA1S51B



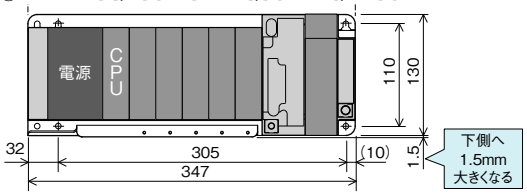
右側を基準に取付け

◎(参考)MELSEC-AnSシリーズ A1S35B



横側へ22mm大きくなる

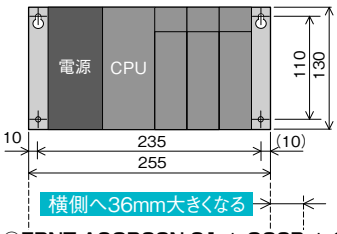
◎ERNT-ASQB35N-S1 + Q35B + QA1S51B



ERNT-ASQB33N-S1

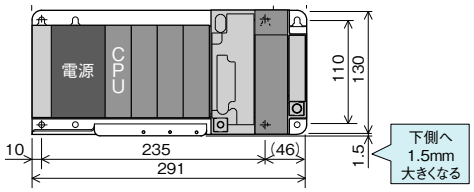
左側を基準に取付け

◎(参考)MELSEC-AnSシリーズ A1S33B



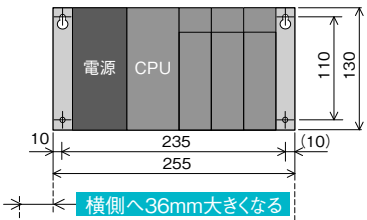
横側へ36mm大きくなる

◎ERNT-ASQB33N-S1 + Q33B + QA1S51B



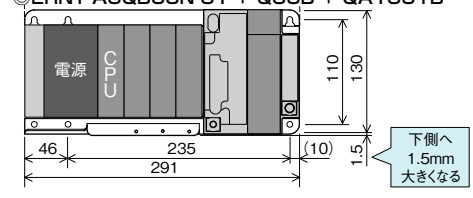
右側を基準に取付け

◎(参考)MELSEC-AnSシリーズ A1S33B



横側へ36mm大きくなる

◎ERNT-ASQB33N-S1 + Q33B + QA1S51B



変換アダプタDINレール取付金具

仕　様

●DINレール取付け時に、固定台付き変換アダプタ(※1)および温度調節ユニット用断線検知コネクタ変換ケーブル(※2)を使用可能にします。

※1:固定台付き変換アダプタ

	変換アダプタ形名
アナログ入力	ERNT-ASQT68AD-G
高速カウンタ	ERNT-ASQTD61、ERNT-ASQTD62、ERNT-ASQTD62D
温度入力	ERNT-ASQT68TD-H01、ERNT-ASQT68TD-H02

※2:断線検知コネクタ変換ケーブル

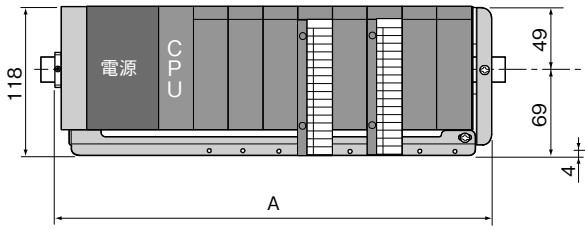
	変換アダプタ形名
温度調節	ERNT-ASQT64TCTTBW、ERNT-ASQT64TCRTBW、 ERNT-ASQT62TCTTBW、ERNT-ASQT62TCRTBW

変換アダプタDINレール取付金具形名	対応MELSEC-Qシリーズベースユニット		備　考
	基　本	増　設	
ERNT-ASQDIN3868	Q38B	Q68B	・別途、三菱電機株式会社製のDINレール取付用アダプタが必要となります。 ・Q7BAT-SETをご使用の際は、ベースユニットへCPUユニット(Q7BAT-SET装着前)を装着および変換アダプタDINレール取付金具を取付けた状態で、Q7BAT-SETをCPUユニットへ装着してください。
ERNT-ASQDIN356500J	Q35B	Q65B	
	Q00JCPU Q00UJCPU		
ERNT-ASQDIN3355	Q33B	Q55B	
ERNT-ASQDIN52	—	Q52B	

取付寸法

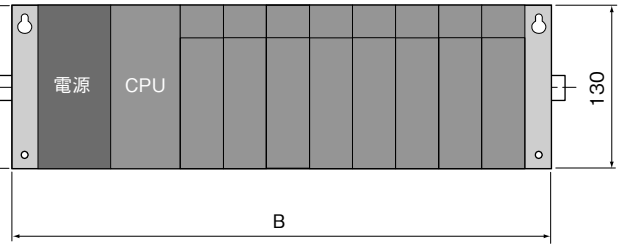
●DINレールの位置を変更せずにMELSEC-Qシリーズを設置する場合、下側に4mm大きくなります。

◎MELSEC-Qシリーズ



◎(参考)MELSEC-AnSシリーズ

単位:mm



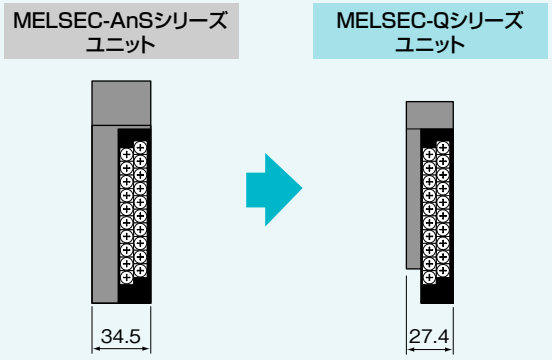
MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名	A	MELSEC-AnSシリーズ ベースユニット形名	B
Q38B	352	A1S38B/A1S38HB/A1S38HBEU	430
Q35B	268.5	A1S35B	325
Q33B	213	A1S33B	255
		A1S32B	220
Q00JCPU Q00UJCPU Q35B	268.4	A1SJCPU A1SJCPU-S3 A1SJHCPU	330
Q68B	350	A1S68B	420
		A1S58B	365
Q65B	266.5	A1S65B	315
Q55B	211	A1S55B	260
Q52B	127.5	A1S52B	155

ご使用上の注意点

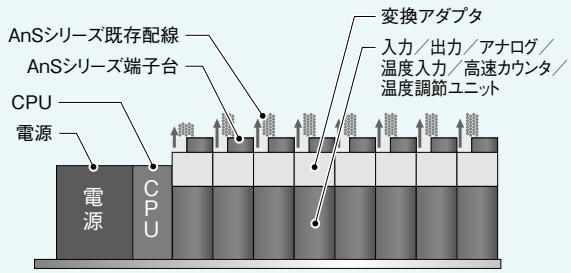
変換アダプタは、MELSEC-AnSシリーズユニットからMELSEC-Qシリーズユニットのピンアサインの相違を変換する製品です。
MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズへの置換えを行うときは、性能・機能・CPUに対する入出力信号・バッファメモリアドレス等の差異を確認するため、必ずMELSEC-Qシリーズの各ユニットのマニュアルを参照し、使用いただきますようお願いいたします。
また、三菱電機株式会社が発行している「MELSEC-AnS/QnAS(小形)シリーズからQシリーズへの置換えの手引き」を参照されることをお勧めいたします。

ユニット幅

(1)ユニット幅寸法が小さくなり(34.5mm→27.4mm)配線領域が小さくなりますので、取付け上の確認が必要です。

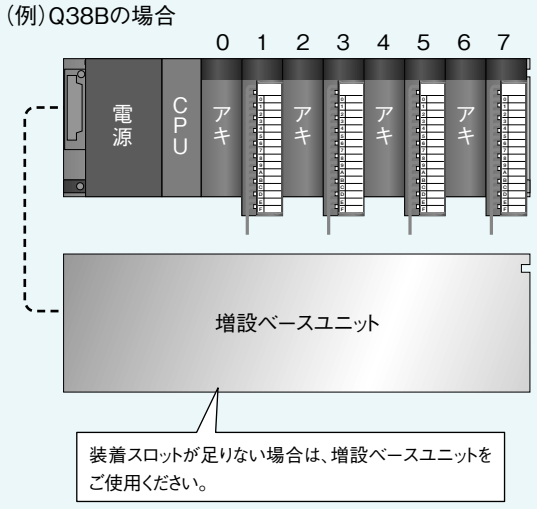


(2)装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



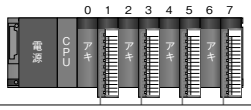
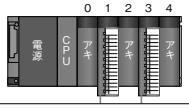
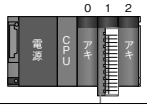
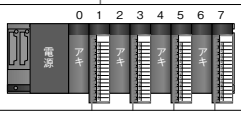
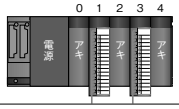
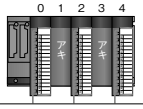
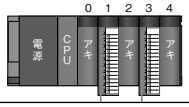
(3)配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例)Q38Bの場合



ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(QG60)を装着してください。

(4)配線領域を考慮した場合、以下の置換え可能ユニット台数になります。

MELSEC-AnS シリーズ ベースユニット形名	置換え先		
	MELSEC-Q シリーズ ベースユニット形名	装着方法	置換え可能 ユニット台数
A1S38B A1S38HB A1S38HBEU	Q38B		4台
A1S35B	Q35B		2台
A1S33B A1S32B	Q33B		1台
A1S68B A1S58B	Q68B		4台
A1S65B	Q65B		2台
A1S55B	Q55B		3台
A1S52B	Q52B		1台
A1SJCPU A1SJCPU-S3 A1SJHCPU	Q00JCPU Q00UJCPU Q35B		2台

(5)前記(2)、(3)、(4)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニットの使用をご検討ください。▶3-2

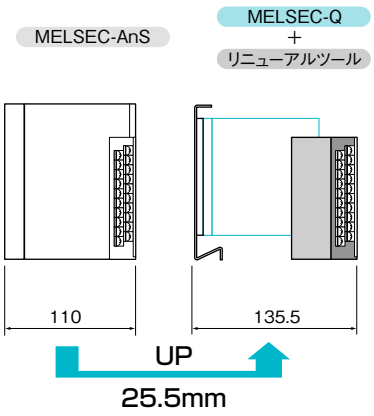
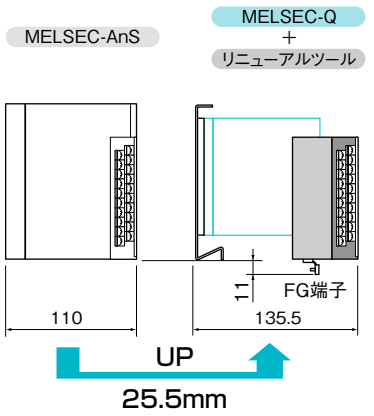
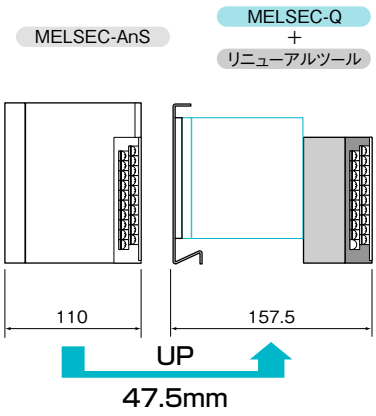
奥行き・高さ

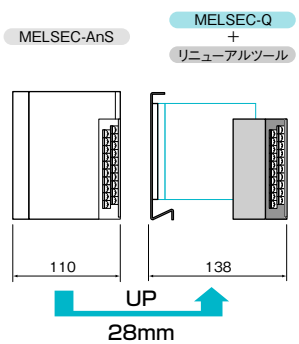
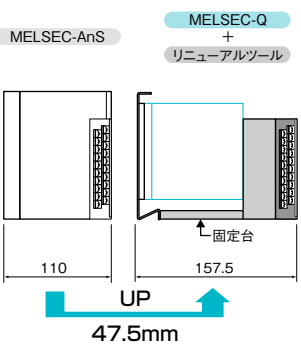
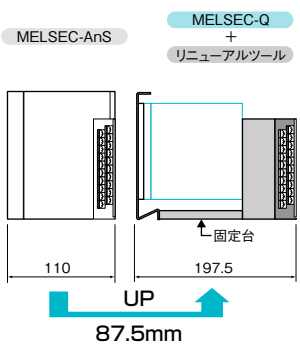
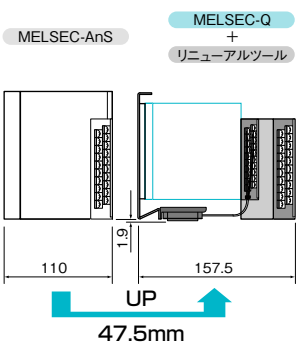
ベースアダプタ取付け時

奥行き寸法が25.5～87.5mm大きくなります。

高さ寸法が、ERNT-ASQT68ADは下側へ11mm、ERNT-ASQT6□TC□□BWは下側へ1.9mm大きくなります。

MELSEC-AnS :MELSEC-AnSシリーズ　MELSEC-Q :MELSEC-Qシリーズ

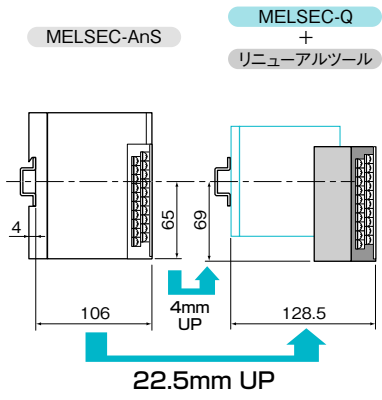
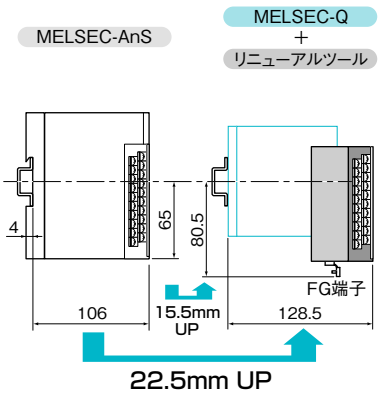
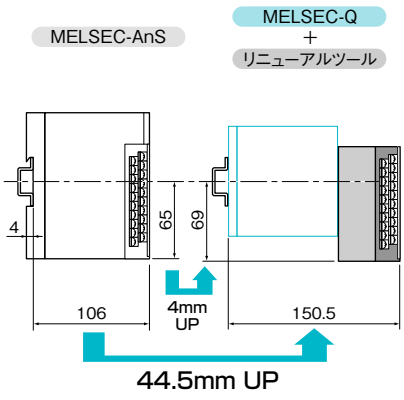
変換アダプタ	ERNT-ASQTXY10　ERNT-ASQTY50 ERNT-ASQTX40　ERNT-ASQTY80 ERNT-ASQTX80　ERNT-ASQT64AD ERNT-ASQTY40　ERNT-ASQT62RD	ERNT-ASQT68AD	ERNT-ASQTY22　ERNT-ASQT64TCTT ERNT-ASQT62DA　ERNT-ASQT64TCRT ERNT-ASQT68DA　ERNT-ASQT62TCTT ERNT-ASQT63ADA　ERNT-ASQT62TCRT
寸法 奥行き	25.5mm UP	25.5mm UP	47.5mm UP
寸法 高さ	UPなし	11mm UP	UPなし
取付図			

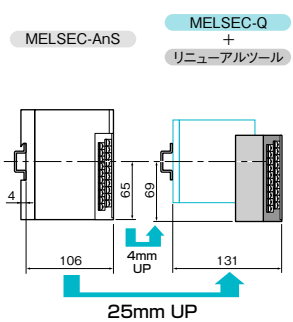
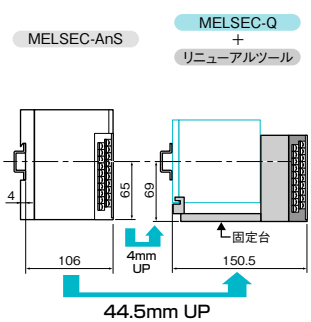
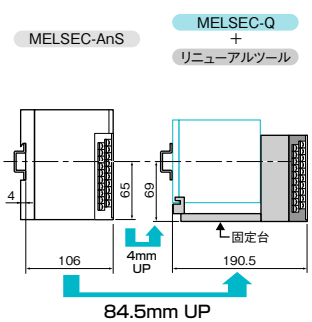
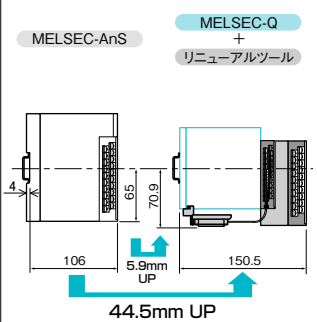
変換アダプタ	ERNT-ASQTX20 ERNT-ASQTY60 ERNT-ASQTY60E	ERNT-ASQT68AD-G ERNT-ASQTD61 ERNT-ASQTD62 ERNT-ASQTD62D ERNT-ASQT68TD-H01	ERNT-ASQT68TD-H02	ERNT-ASQT64TCTTBW ERNT-ASQT64TCRTBW ERNT-ASQT62TCTTBW ERNT-ASQT62TCRTBW
寸法 奥行き	28mm UP	47.5mm UP	87.5mm UP	47.5mm UP
寸法 高さ	UPなし	UPなし	UPなし	1.9mm UP
取付図				

DINレール取付け時

奥行き寸法が22.5～84.5mm、高さ寸法が下側へ4～15.5mm大きくなります。

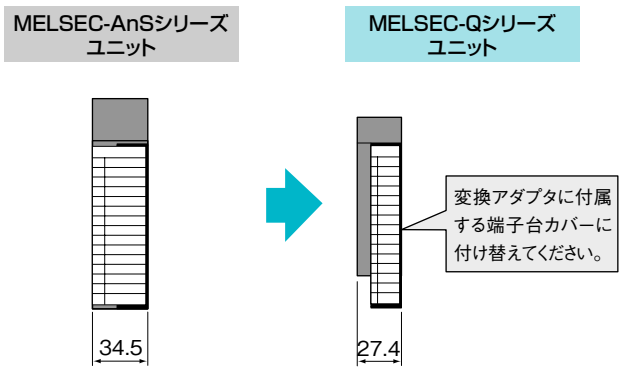
MELSEC-AnS :MELSEC-AnSシリーズ　MELSEC-Q :MELSEC-Qシリーズ

変換アダプタ	ERNT-ASQTXY10　ERNT-ASQTY50 ERNT-ASQTX40　ERNT-ASQTY80 ERNT-ASQTX80　ERNT-ASQT64AD ERNT-ASQTY40　ERNT-ASQT62RD	ERNT-ASQT68AD	ERNT-ASQTY22　ERNT-ASQT64TCTT ERNT-ASQT62DA　ERNT-ASQT64TCRT ERNT-ASQT68DA　ERNT-ASQT62TCTT ERNT-ASQT63ADA　ERNT-ASQT62TCRT
寸法 奥行き	22.5mm UP	22.5mm UP	44.5mm UP
寸法 高さ	4mm UP	15.5mm UP	4mm UP
取付図			

変換アダプタ	ERNT-ASQTX20 ERNT-ASQTY60 ERNT-ASQTY60E	ERNT-ASQT68AD-G ERNT-ASQTD61 ERNT-ASQTD62 ERNT-ASQTD62D ERNT-ASQT68TD-H01	ERNT-ASQT68TD-H02	ERNT-ASQT64TCTTBW ERNT-ASQT64TCRTBW ERNT-ASQT62TCTTBW ERNT-ASQT62TCRTBW
寸法 奥行き	25mm UP	44.5mm UP	84.5mm UP	44.5mm UP
寸法 高さ	4mm UP	4mm UP	4mm UP	5.9mm UP
取付図				

端子台カバー

MELSEC-AnSシリーズの端子台カバーはMELSEC-Qシリーズのユニット幅よりも大きいため、変換アダプタに付属の端子台カバーに付け替える必要があります。(2スロットタイプを除く)



ベースアダプタ／変換アダプタDINレール取付金具

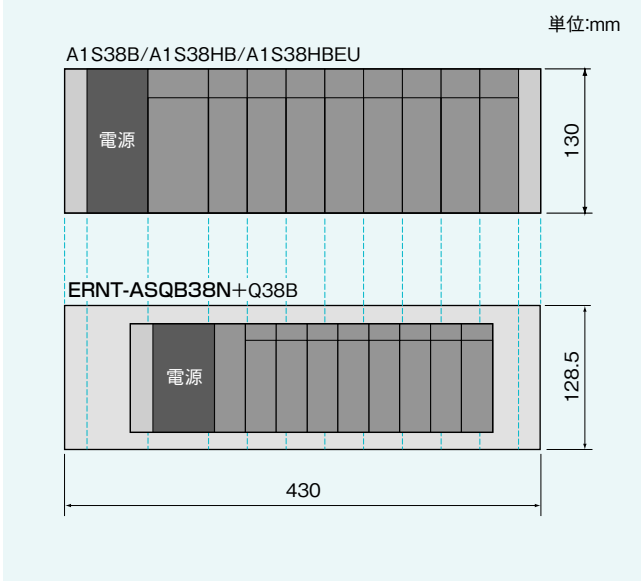
固定台付き変換アダプタおよび温度調節ユニット用断線検知コネクタ変換ケーブルを使用の際は、必ずベースアダプタまたは変換アダプタDINレール取付金具が必要となります。なお、MELSEC-Qシリーズベースユニットを DINレールに取付ける際は、三菱電機株式会社製のDINレール取付用アダプタが別途必要となります。

取付方法	変換アダプタ	断線検知コネクタ変換ケーブル	ベースアダプタ ERNT-ASQB□N	変換アダプタDINレール取付金具 ERNT-ASQDIN□	備　考
盤面取付け	固定台あり	あり	必要	–	—
	固定台なし	なし	必要(※)	–	※MELSEC-AnSシリーズベースユニットの取付穴を利用しない場合は不要
DINレール取付け	固定台あり	あり	–	必要(※)	※別途、三菱電機株式会社製DINレール取付用アダプタが必要
	固定台なし	なし	–	不要	—

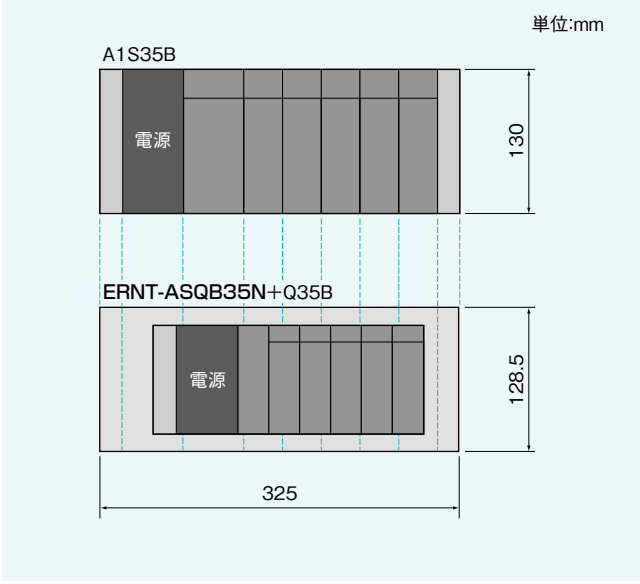
スロット位置

MELSEC-AnSシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するスロット位置の変更(空きスロットがある場合)や配線長を調節してご使用ください。

(1)A1S38B/A1S38HB/A1S38HBEU⇒Q38B

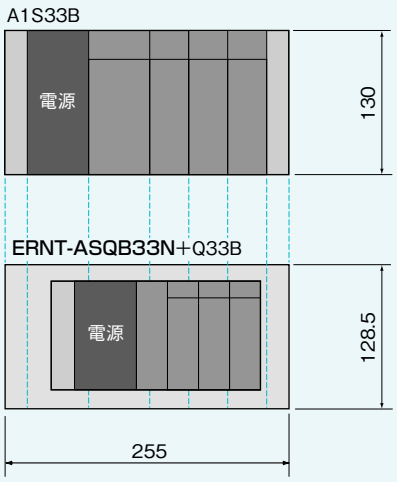


(2)A1S35B⇒Q35B



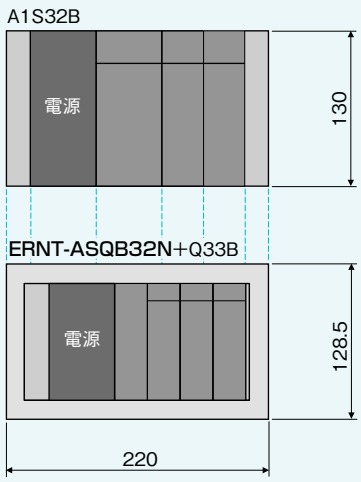
(3)A1S33B⇒Q33B

単位:mm



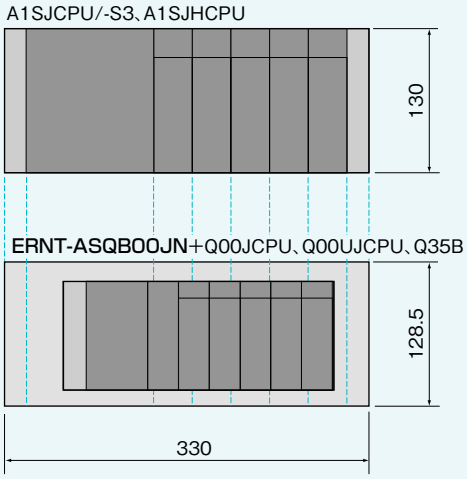
(4)A1S32B⇒Q33B

単位:mm



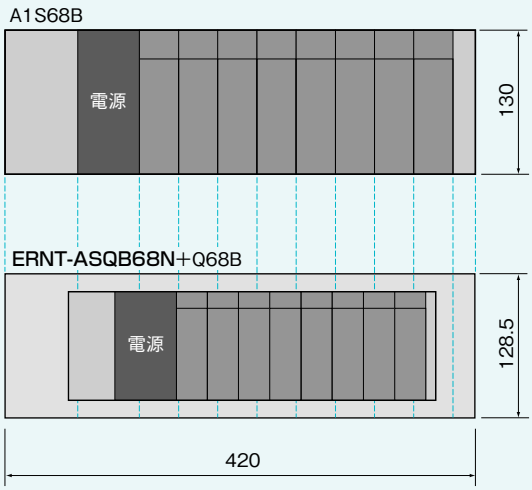
(5)A1SJCPU/-S3、A1SJHCPU⇒Q00JCPU、Q00UJCPU、Q35B

単位:mm



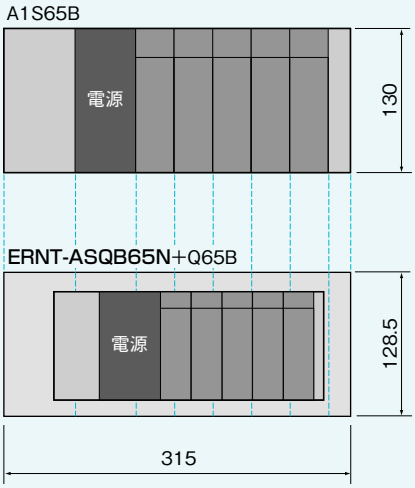
(6)A1S68B⇒Q68B

単位:mm



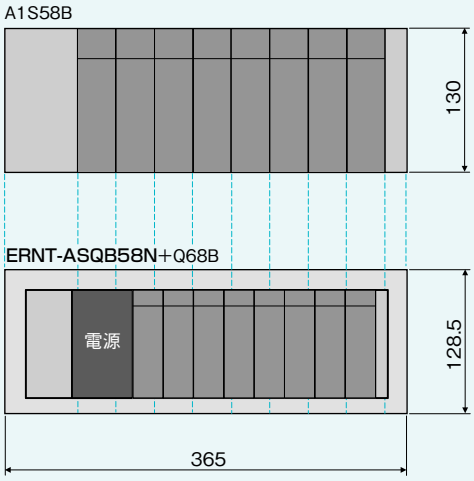
(7)A1S65B⇒Q65B

単位:mm



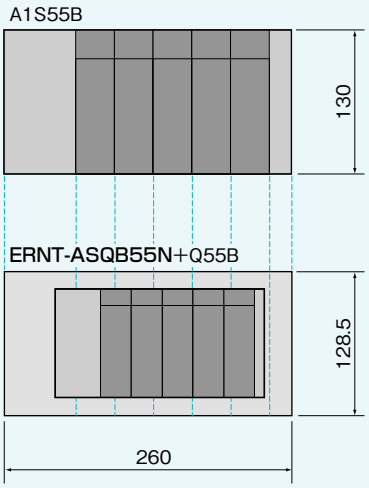
(8)A1S58B⇒Q68B

単位:mm



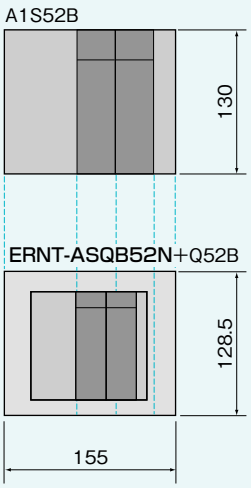
(9)A1S55B⇒Q55B

単位:mm



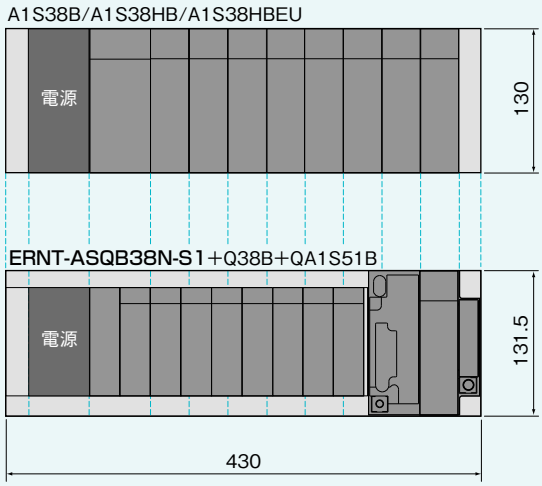
(10)A1S52B⇒Q52B

単位:mm



(11)A1S38B/A1S38HB/A1S38HBEU⇒Q38B+QA1S51B

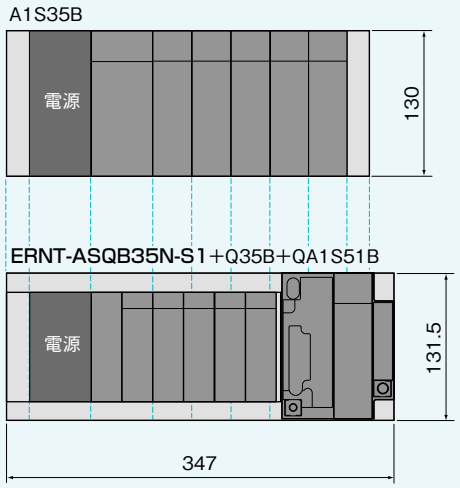
単位:mm



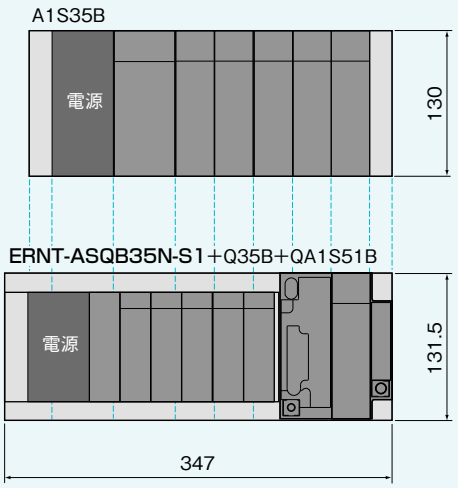
(12)A1S35B⇒Q35B+QA1S51B

単位:mm

左側を基準に取付け



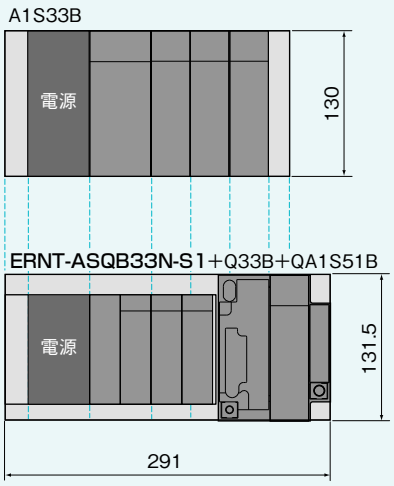
右側を基準に取付け



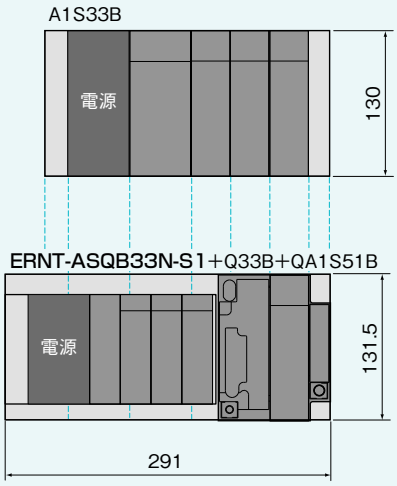
(13)A1S33B⇒Q33B+QA1S51B

単位:mm

左側を基準に取付け



右側を基準に取付け

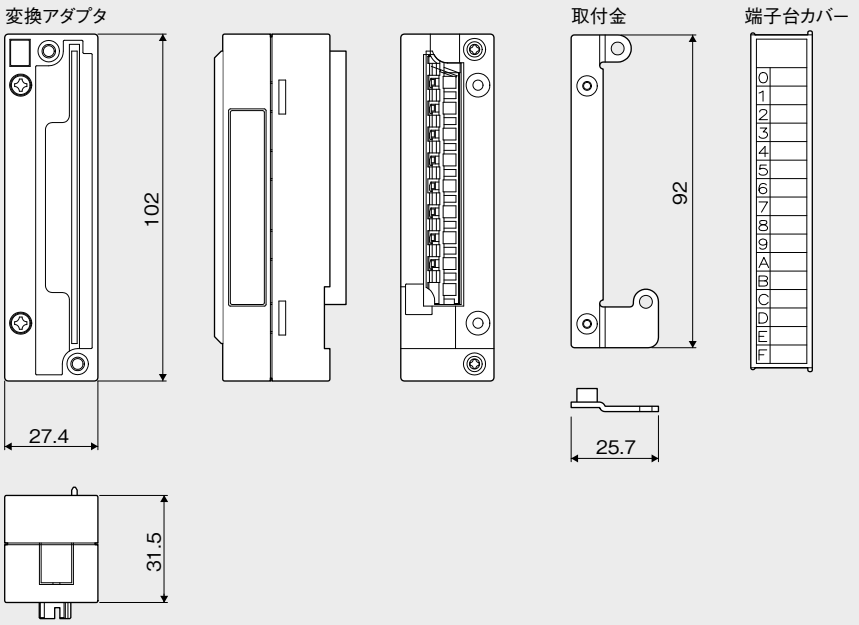


外形寸法図

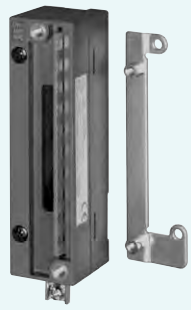
変換アダプタ

形名:
ERNT-ASQTXY10
ERNT-ASQTX40
ERNT-ASQTX80
ERNT-ASQTY22
ERNT-ASQTY40
ERNT-ASQTY50
ERNT-ASQTY80
ERNT-ASQT64AD
ERNT-ASQT62DA
ERNT-ASQT68DA
ERNT-ASQT63ADA
ERNT-ASQT62RD

単位:mm

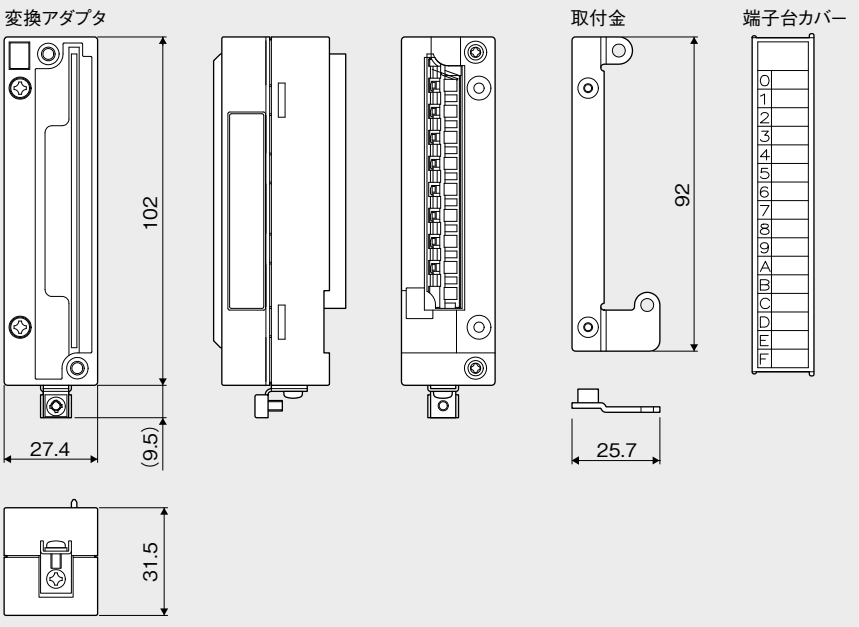


質量:75g

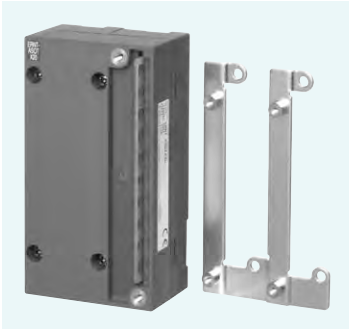


形名:
ERNT-ASQT68AD

単位:mm

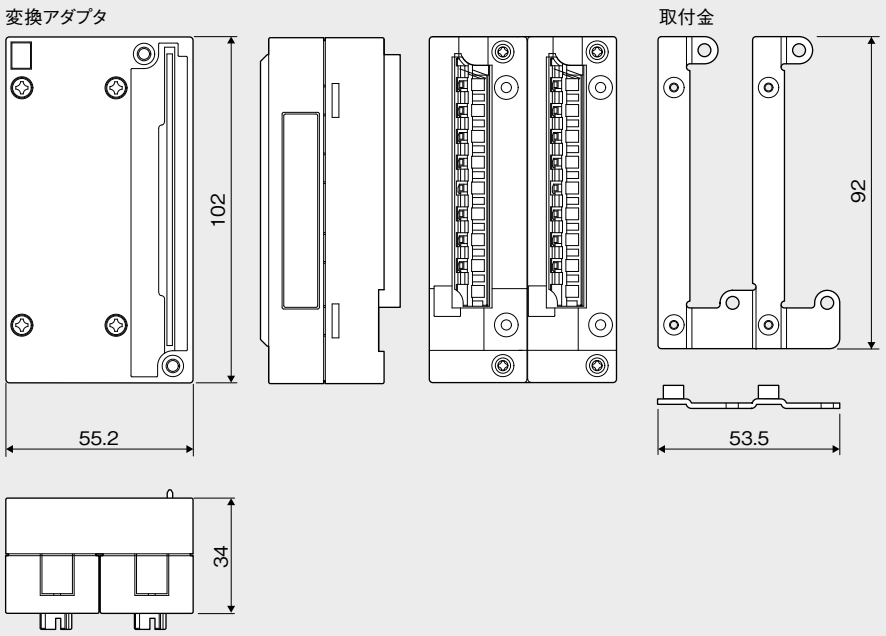


質量:80g



形名:
ERNT-ASQTX20
ERNT-ASQTY60
ERNT-ASQTY60E

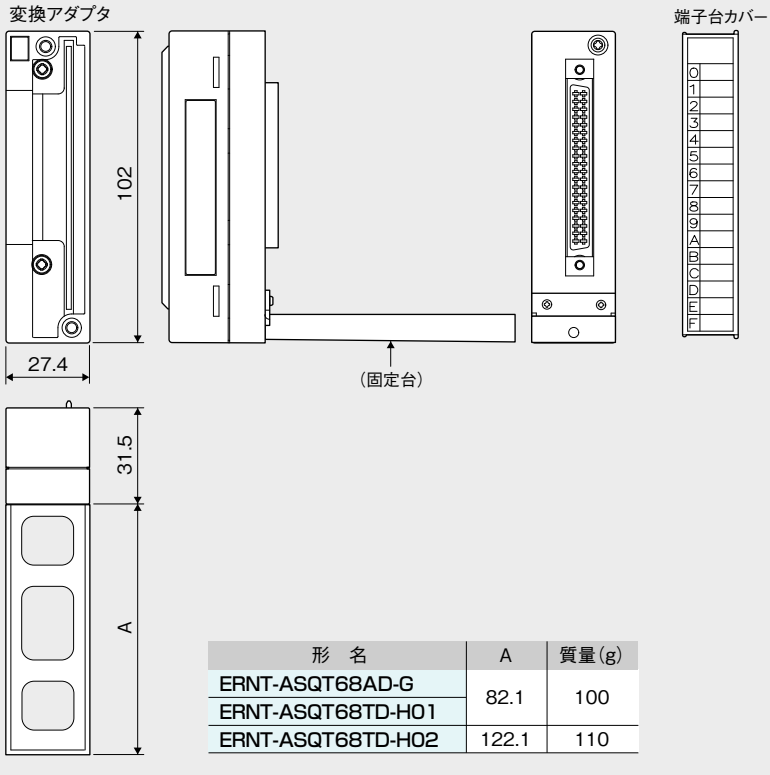
単位:mm



質量:155g

形名:
ERNT-ASQT68AD-G
ERNT-ASQT68TD-H01
ERNT-ASQT68TD-H02

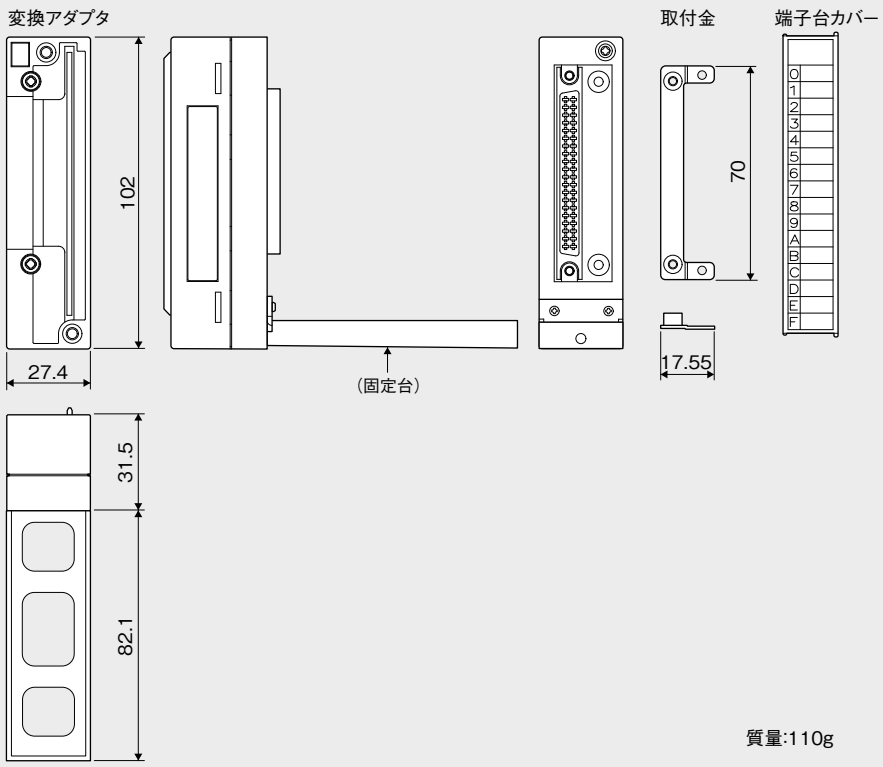
単位:mm



形　名	A	質量(g)
ERNT-ASQT68AD-G	82.1	100
ERNT-ASQT68TD-H01		
ERNT-ASQT68TD-H02	122.1	110

形名:
ERNT-ASQTD61
ERNT-ASQTD62
ERNT-ASQTD62D

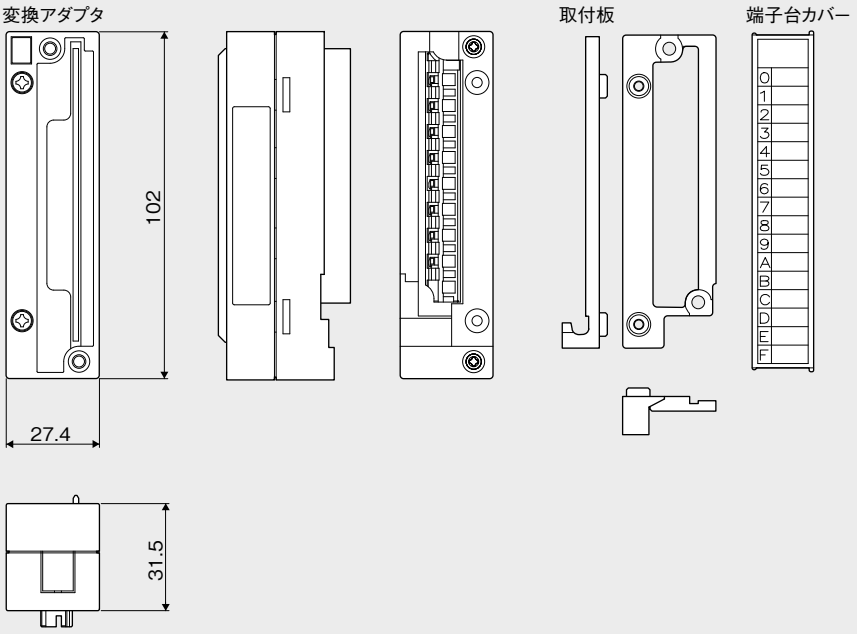
単位:mm



質量:110g

形名:
ERNT-ASQT64TCTT
ERNT-ASQT64TCRT
ERNT-ASQT62TCTT
ERNT-ASQT62TCRT

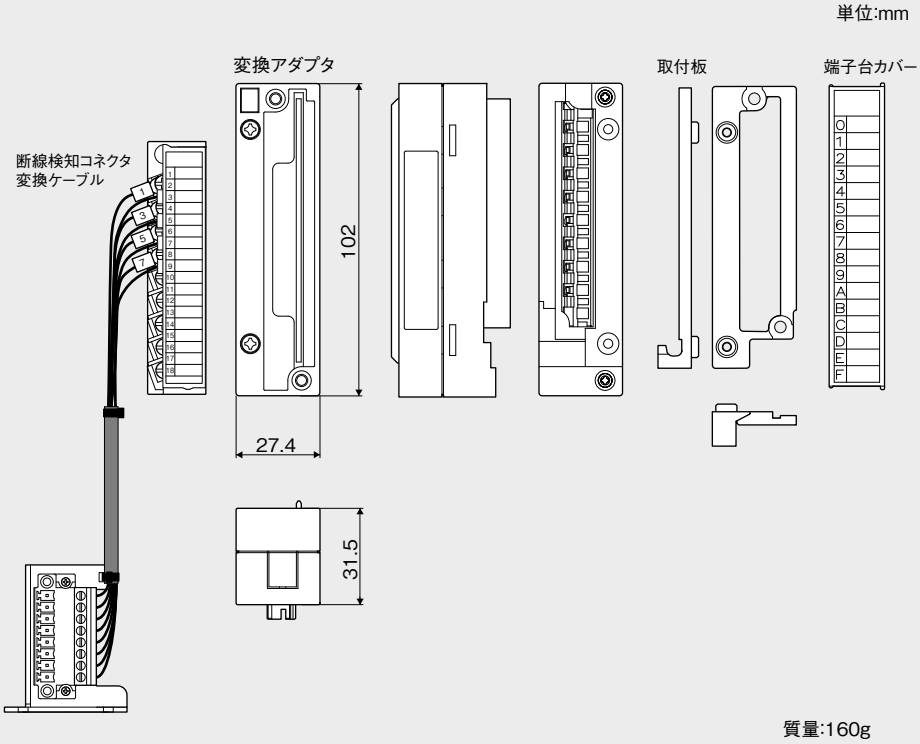
単位:mm



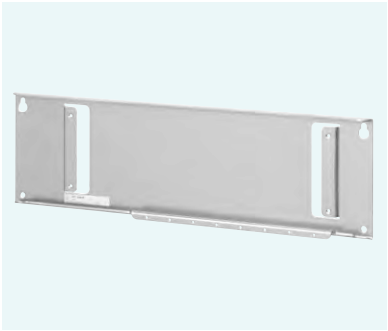
質量:70g

形名:

ERNT-ASQT64TCTTBW
ERNT-ASQT64TCRTBW
ERNT-ASQT62TCTTBW
ERNT-ASQT62TCRTBW



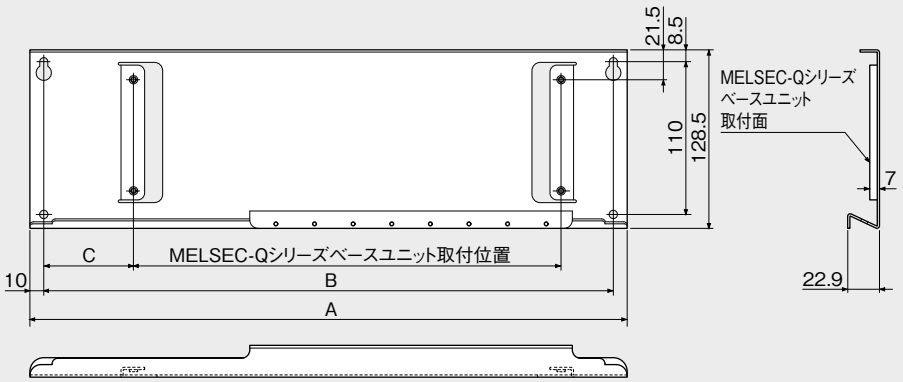
ベースアダプタ



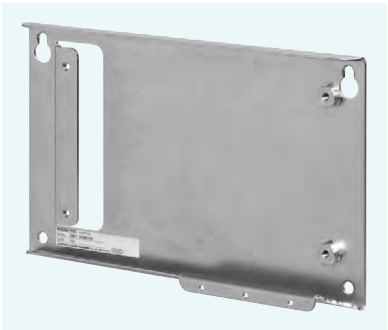
形名:

ERNT-ASQB38N
ERNT-ASQB35N
ERNT-ASQB33N
ERNT-ASQB00JN
ERNT-ASQB68N
ERNT-ASQB65N
ERNT-ASQB58N
ERNT-ASQB55N
ERNT-ASQB52N

単位:mm



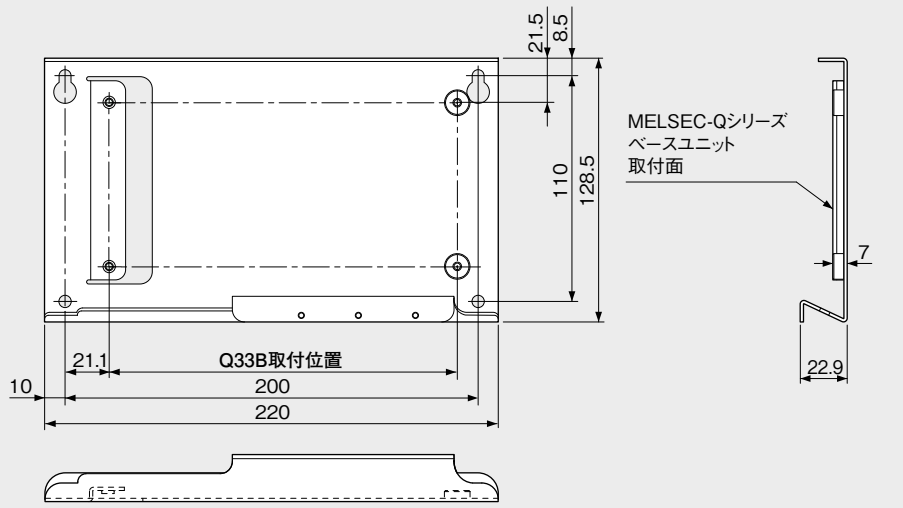
形　名	A	B	C	質量(g)
ERNT-ASQB38N	430	410	64.6	840
ERNT-ASQB35N	325	305	53.8	635
ERNT-ASQB33N	255	235	46.6	490
ERNT-ASQB00JN	330	310	58.8	640
ERNT-ASQB68N	420	400	62	820
ERNT-ASQB65N	315	295	51.2	615
ERNT-ASQB58N	365	345	21.1	700
ERNT-ASQB55N	260	240	51.8	510
ERNT-ASQB52N	155	135	30.3	270



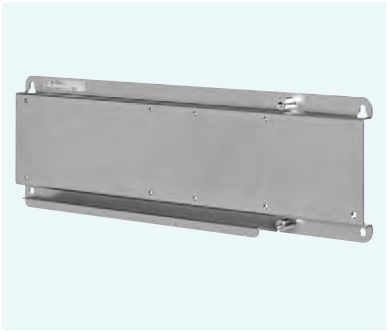
形名:

ERNT-ASQB32N

単位:mm



質量:420g

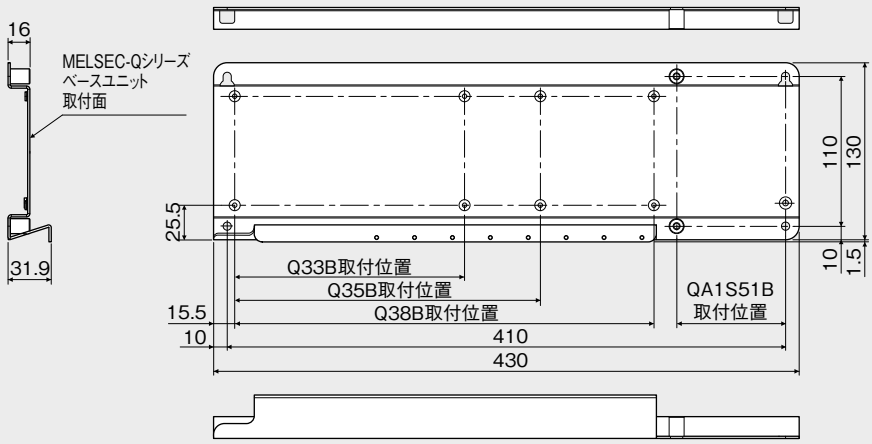


形名:

ERNT-ASQB38N-S1
ERNT-ASQB35N-S1
ERNT-ASQB33N-S1

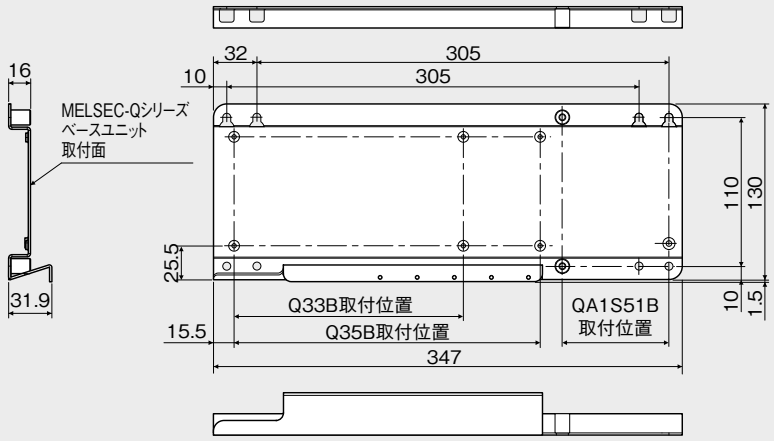
単位:mm

ERNT-ASQB38N-S1



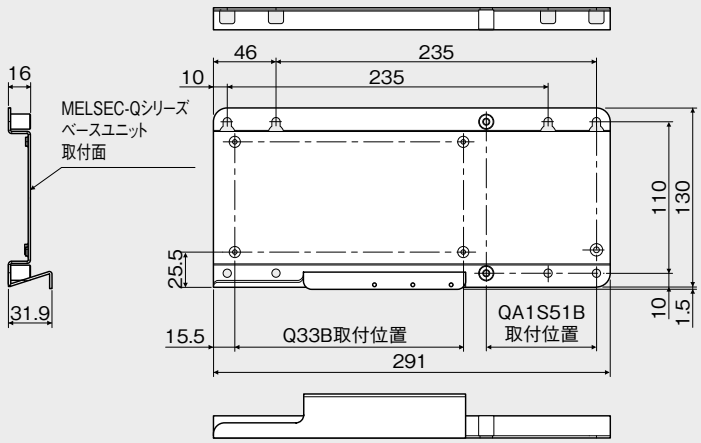
質量:975g

ERNT-ASQB35N-S1



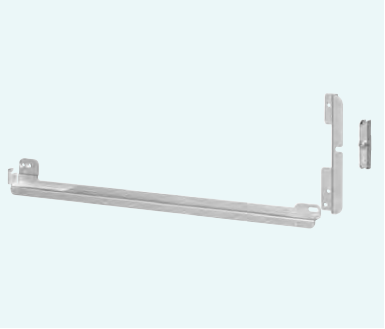
質量:765g

ERNT-ASQB33N-S1



質量:630g

変換アダプタDINレール取付金具

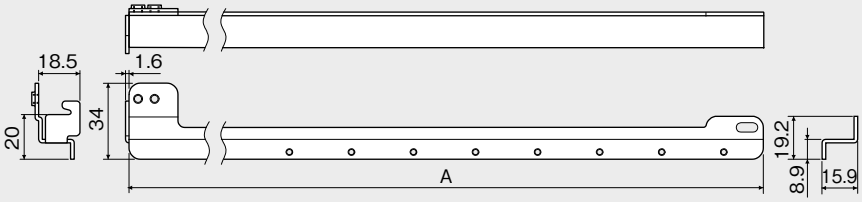


形名:

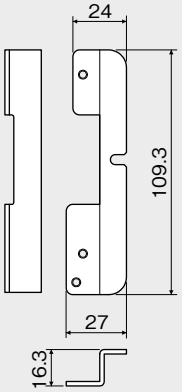
ERNT-ASQDIN3868
ERNT-ASQDIN356500J
ERNT-ASQDIN3355

単位:mm

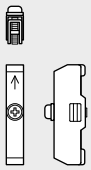
変換アダプタDINレール取付金具(下)



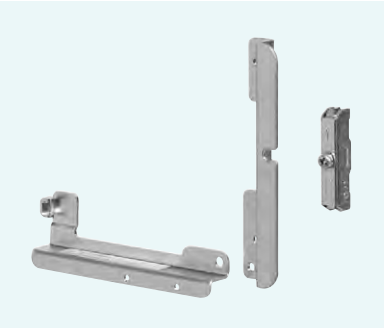
変換アダプタDINレール取付金具(右)



止め金具(右)



形　名	A	質量(g)
ERNT-ASQDIN3868	318.8	195
ERNT-ASQDIN356500J	235.4	165
ERNT-ASQDIN3355	179.8	150

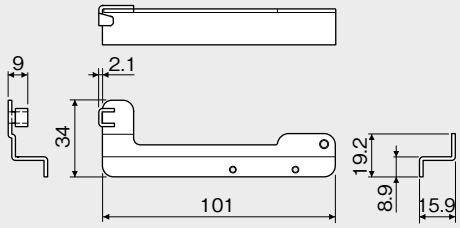


形名:

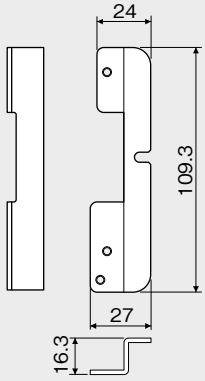
ERNT-ASQDIN52

単位:mm

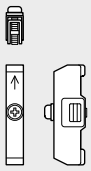
変換アダプタDINレール取付金具(下)



変換アダプタDINレール取付金具(右)



止め金具(右)



質量:115g

Memo

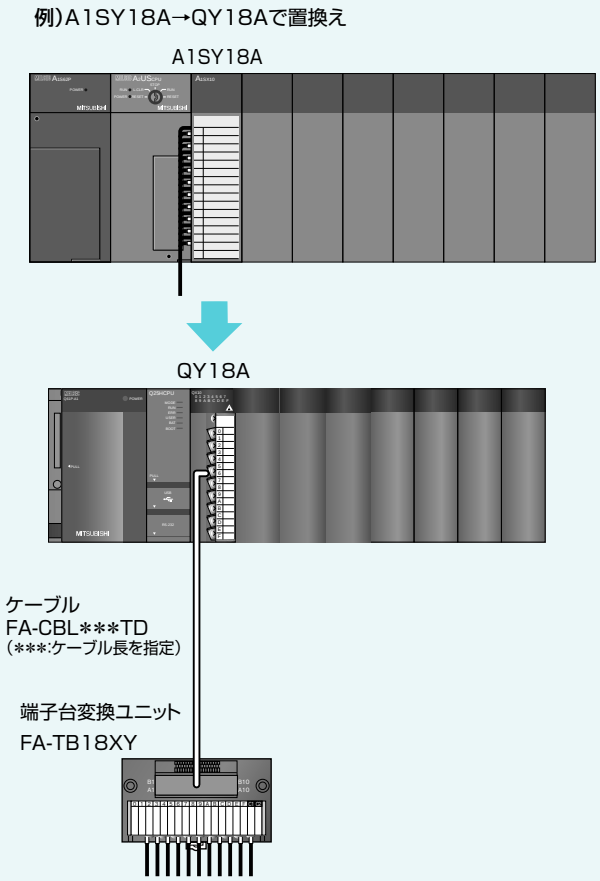
FAグッズを活用したリニューアル方法

変換アダプタ未対応の入力／出力ユニットについて、少しでも配線工数を削減するために、当社が発売しています「FAグッズ」を活用したリニューアル方法を、ご提案させて頂きますので是非ご検討ください。

提 案

FAグッズ 端子台変換ユニットを使用

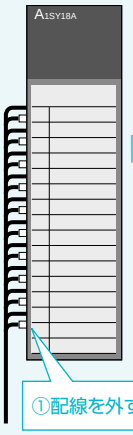
◎端子台変換ユニット使用例



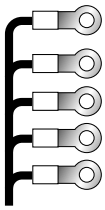
掲載頁
リニューアル方法 ▶ 3-66
置換え機種一覧 ▶ 3-67～3-68

端子台変換ユニット

AnSシリーズ独立8点DC24V／AC240V出力ユニットをFAグッズ端子台変換ユニットを使用して置換えた場合



②圧着端子の確認



・圧着端子形名もしくは寸法を確認します。
・FAグッズ適合圧着端子以外は変更が必要です。

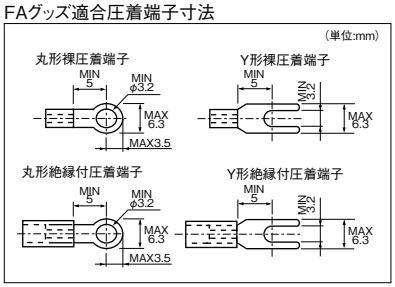
ユニット使用圧着端子

・R1.25-3.5、R2-3.5
・RAV1.25-3.5、RAV2-3.5

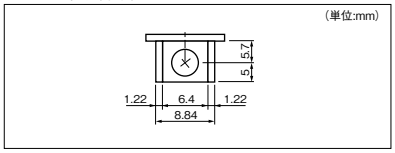
FAグッズ適合圧着端子（M3ネジ 7.62mmピッチ例）

種類		丸形		Y形	
メーカー名	適合電線サイズ	裸圧着端子	絶縁付圧着端子	裸圧着端子	絶縁付圧着端子
株式会社ニチフ NTM	0.3～1.25mm²	R1.25-3N R1.25-3.5N	TGV1.25-3N TGV1.25-3.5N	1.25Y-3 1.25Y-3N 1.25Y-3L 1.25Y-3.5	TGV1.25Y-3 TGV1.25Y-3N TGV1.25Y-3L TGV1.25Y-3.5
	1.25～2.0mm²	R2-3N	TGV2-3N	2Y-3 2Y-3.5S	TGV2Y-3 TGV2Y-3.5S
日本圧着端子製造株式会社 JST	0.3～1.25mm²	1.25-MS3	V1.25-MS3	1.25-B3A 1.25-C3A 1.25-N3A 1.25-C3.5A	V1.25-B3A V1.25-N3A
	1.25～2.0mm²	2-MS3	V2-MS3	2-N3A 2-M3A	V2-N3A
日本端子株式会社 NTK	0.3～1.25mm²	R1.25-3ML R1.25-3.5SL	RAV1.25-3ML RAP1.25-3ML	VD1.25-3L VD1.25-3.5SS VD1.25-3.5S	VDAV1.25-3L VDAV1.25-3.5SS VDAV1.25-3.5S
	1.25～2.0mm²	R2-3SL	RAV2-3SL RAP2-3SL	VD2-3S VD2-3.5SS VD2-3.5S	VDAV2-3.5SS VDAV2-3.5S

FAグッズ適合圧着端子寸法

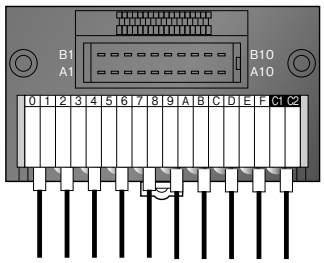


FAグッズ端子台寸法

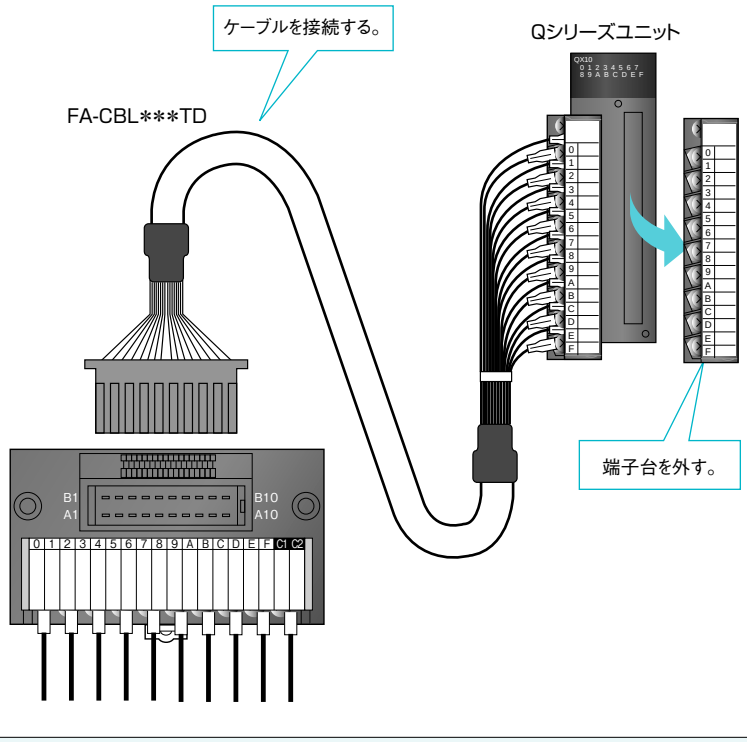


③変換ユニットに配線

FA-TB18XY



④ユニット間をケーブルで接続



注意事項

●各ユニットの仕様等に関しては、FAグッズ総合カタログ（産C015・019）を参照ください。
●各ユニットがシステムの仕様範囲内であることを十分ご確認のうえ、ご使用ください。
●FAグッズは、UL、CEには対応しておりません。

FAグッズ〈端子台変換ユニット〉を活用した場合の置換え機種一覧表

MELSEC-AnSシリーズユニット					FAグッズを使用した置換え MELSEC-Qシリーズユニット				
	形　名	仕　様	点数	端子	形　名	仕　様	点数	必要台数	
出力	A1SY18A	接点出力、DC24V／AC240V 2A、独立コモン	8点	20P	QY18A	接点出力、DC24V／AC240V 2A、独立コモン	8点	1	
	A1SY28A	トライアック出力、AC100-240V 1A 独立コモン、サージキラー付	8点	20P	QY22	トライアック出力、AC100-240V 0.6A 16点／1コモン、サージキラー付	16点	1	
	A1SY68A	トランジスタ出力、DC5/12/24/48V 2A 独立コモン、シンク／ソースタイプ	8点	20P	QY68A	トランジスタ出力、DC5-24V 2A 独立コモン、シンク／ソースタイプ	8点	1	
混合	A1SX48Y58	入力:DC24V 、8点／1コモン 出力:トランジスタ出力、DC12／24V 0.5A 8点／1コモン、シンクタイプ	入力8点 出力8点	20P	QX48Y57	入力:DC24V 、8点／1コモン 出力:トランジスタ出力、DC12／24V 0.5A 7点／1コモン、シンクタイプ	入力8点 出力7点	1	

注）各ユニットの仕様詳細は、MELSECシーケンサマニュアル、FAグッズ総合カタログ（産C015･019）を参照ください。

**:ケーブル長です。

FAグッズを使用した置換え								
	FAグッズコネクター端子台変換ユニット							
	ケーブル形名	必要台数	ユニット形名	必要台数	仕　様	点数	端子	備　　考
	FA-CBL**TD	1	FA-TB18XY	1	18点端子変換(8点変換、独立コモン)	8点	18P	外部供給電源接続不要
	FA-CBL**TD	1	FA-TB161AC	1	16点変換、1線式	16点	18P	・16点1コモンのため独立コモンでの使用不可
	FA-CBL**TD	1	FA-TB161ACC2	1	16点変換、2線式	16点	34P	・出力電流1Aに対し0.6Aとなります。
	FA-CBL**TD	1	FA-TB18XY	1	18点端子変換(8点変換、独立コモン)	8点	18P	
	FA-CBL**TD	1	FA-TB18XY	1	18点端子変換(8点変換、1線式)	8点	18P	出力が8点→7点

C Q series SYSMAC Cシリーズ／MELSEC-Qシリーズ リニューアルツール

Cシリーズ 大形タイプ（C500/C1000H/C2000H）

SYSMAC CシリーズからMELSEC-Qシリーズへリニューアルする場合

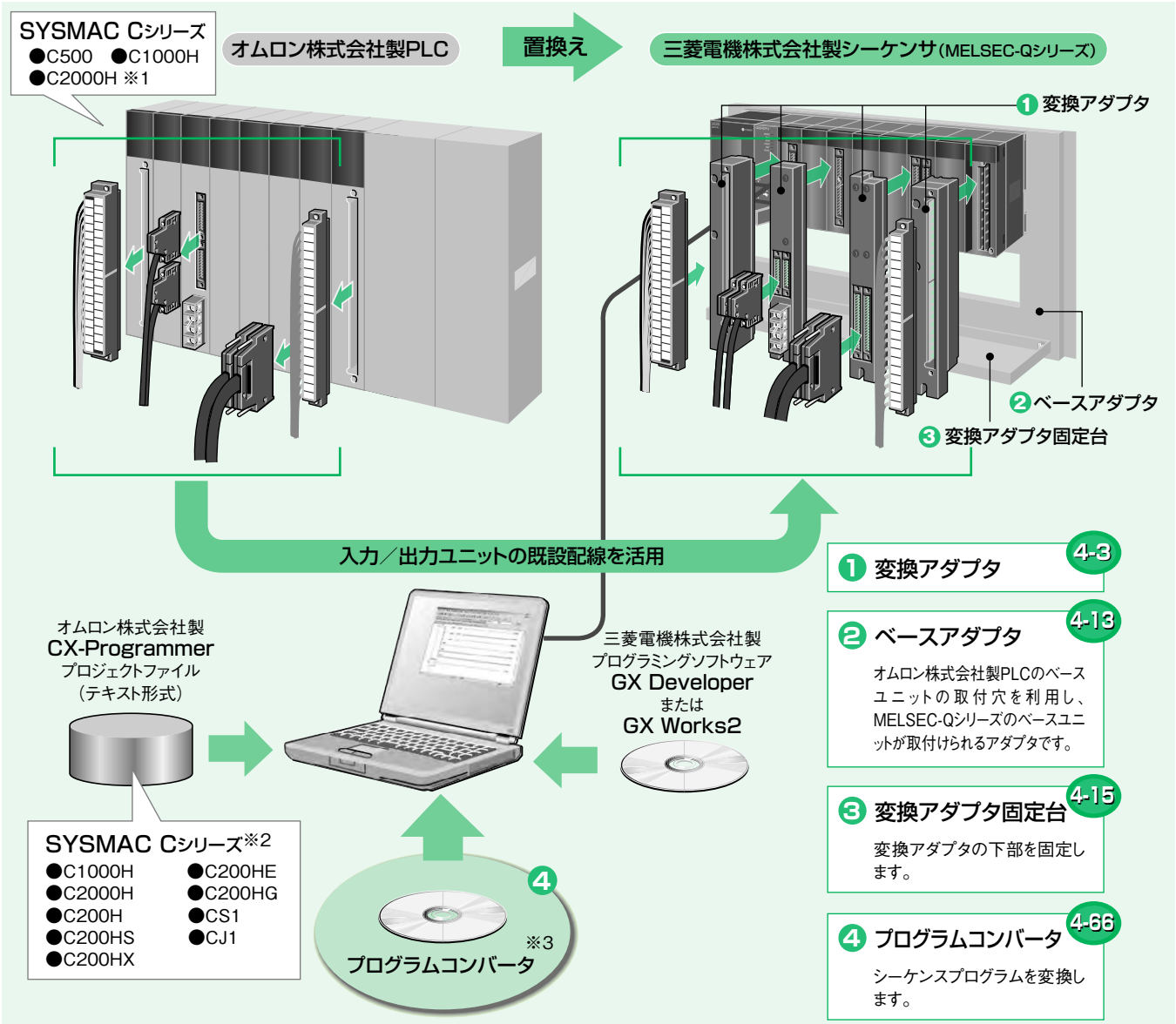
■MELSEC-Qシリーズへ置換えが容易
オムロン株式会社製SYSMAC CシリーズPLCから、三菱電機株式会社製MELSEC-Qシリーズに置換えることが容易にできます。

■入力／出力ユニットへの配線作業時間の大幅短縮／配線ミスの大幅低減
●SYSMAC Cシリーズの入力／出力ユニットに接続されていた配線は、変換アダプタを経由することで、MELSEC-Qシリーズにそのまま接続できます。
（一部、電源およびコモン端子の接続変更が必要となります。）
●ベースアダプタを使用することにより、SYSMAC Cシリーズの取付穴を利用し、MELSEC-Qシリーズが設置可能です。（追加穴加工不要）

■シーケンスプログラムの流用が可能
●プログラムコンバータにより、SYSMAC Cシリーズのプログラムは、MELSEC-Qシリーズのプログラムに自動的に変換できます。
●自動変換ができない命令については、オンラインヘルプに表示される対処方法やサンプルプログラムを参照しながら置換えできます。

製品の概要

本製品は、オムロン株式会社製PLC SYSMAC Cシリーズ（大形:C500/C1000H/C2000H）の入力／出力ユニットに接続されていた既設配線を三菱電機株式会社製シーケンサMELSEC-Qシリーズの入力／出力ユニットに配線変更する「変換アダプタ」と、変換アダプタの下部を固定するための「変換アダプタ固定台」、SYSMAC Cシリーズベースユニットの取付穴を流用しMELSEC-Qシリーズのベースユニットの取付けを可能にする「ベースアダプタ」、シーケンスプログラムを変換するための「プログラムコンバータ」から構成しています。



※1:変換アダプタはC500のみとなります。
※2:変換するオムロンPLCのプロジェクトファイルが旧機種（C500等）の場合は、CX-Programmerでは読出せないため、CX-Programmer付属のファイル変換ユーティリティでC1000H、C2000H、C200H対応のプログラムファイルに変換する必要があります。
※3:プログラムコンバータは、SYSMAC Cシリーズ用シーケンスプログラムと制御機能が同じMELSEC-Qシリーズ用シーケンスプログラムの生成を手助けするものであって、ハードウェア面での性能、機能、制御方法の差異を吸収するものではありません。

特に、SYSMAC Cシリーズ用高機能I/OユニットやネットワークユニットにCPUユニットから関連するシーケンス命令やそれらユニットに指令を出すシーケンスプログラムは、そのハードウェア構成や制御方法の違いから、MELSEC-Qシリーズに同機能のユニットが揃っていても変換後のシーケンスプログラムでは制御できない場合があります。
以上のように、プログラムコンバータで変換されたシーケンスプログラムによって、制御する機器・設備の動作が保証されるものではありませんので、変換後のシーケンスプログラムの運用前には充分な機能確認をお客様にて実施していただくようお願いします。

機種一覧

❶ 変換アダプタ

1スロットタイプ

入力／出力	置換前 SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	形状 SYSMAC Cシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	入力／出力点数	掲載ページ
入力	C500-IA121	QX10	ERNT-CQTX121	端子台(20点)	端子台(18点)	16点	4-3
	C500-ID112	QX70	ERNT-CQTX112213				4-3
	C500-ID213	QX40、QX40-S1					
	C500-ID215	QX41	ERNT-CQTX215218	端子台(38点)	コネクタ(40P)	32点	4-4
	C500-ID218	QX41、QX41-S1					
	C500-ID218CN	QX41、QX41-S1	ERNT-CQCX218501	コネクタ(24P)×2 ＋ 端子台(4点)	コネクタ(40P)		4-4
	C500-ID501CN	QX71					
	C500-ID114	QX72	ERNT-CQCX114219	コネクタ(40P)×2	コネクタ(40P)×2	64点	4-5
	C500-ID219	QX42、QX42-S1、QX82					
出力	C500-OC221	QY10	ERNT-CQTY221	端子台(20点)	端子台(18点)	16点	4-6
	C500-OA121	QY22	ERNT-CQTY226				4-6
	C500-OA222	QY22					
	C500-OA226	QY22					
	C500-OD219	QY40P、QY50	ERNT-CQTY219217				4-7
	C500-OD217	QY40P、QY50					
	C500-OD411	QY40P、QY50	ERNT-CQTY411				4-7
	C500-OD412	QY41P	ERNT-CQTY412	端子台(38点)	コネクタ(40P)	32点	4-8
	C500-OD414	QY41P	ERNT-CQTY414218 (※4)				4-8
	C500-OD218	QY41P					
	C500-OD415CN	QY41P	ERNT-CQCY415	コネクタ(24P)×2 ＋ 端子台(4点)	コネクタ(40P)		4-9
	C500-OD501CN	QY71	ERNT-CQCY501				4-9
	C500-OD213	QY42P	ERNT-CQCY213	コネクタ(40P)×2	コネクタ(40P)×2	64点	4-10

2スロットタイプ

入力／出力	置換前 SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	形状 SYSMAC Cシリーズ	形状 MELSEC-Qシリーズ	入力／出力点数	掲載ページ
入力	C500-IA122	QX10 ×2台	ERNT-CQTX122	端子台(38点)	端子台(18点) ×2	32点	4-11
出力	C500-OC224	QY10 ×2台	ERNT-CQTY224				4-11
	C500-OA225	QY22 ×2台	ERNT-CQTY225				4-12
	C500-OD218	QY50 ×2台	ERNT-CQTY218 (※4)				4-12
	C500-OD414						

※4:開閉能力(負荷電流)が1スロットタイプ(QY41P)において満足できない場合、2スロットタイプ(QY50×2台)を使用することで満足することができます。

ポイント 上記に記載のないユニット(C500-IA222/IA223/OC223/OD215/OD212/OA223)では、ユニバーサル変換アダプタ(7-5ページ参照)を置換えに活用いただけます。

❷ ベースアダプタ

基本/増設	置換前SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	置換後MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	ベースアダプタ形名	取付け可能 変換アダプタ固定台形名	掲載ページ
基本	C500-BC081/082/091 C2000-BC061	Q312B	ERNT-CQB081N	ERNT-QF12/QF8	4-13 ～ 4-14
		Q38B		ERNT-QF8	
増設	C500-BI081 C2000-BI083	Q612B		ERNT-QF12/QF8	
		Q68B		ERNT-QF8	
基本	C500-BC051/052/061	Q38B	ERNT-CQB051N	ERNT-QF8/QF5	
		Q35B		ERNT-QF5	
増設	C500-BI051	Q68B		ERNT-QF8/QF5	
		Q65B、Q55B		ERNT-QF5	
基本	C500-BC031	Q35B、Q33B	ERNT-CQB031N	ERNT-QF5	

❸ 変換アダプタ固定台

変換アダプタ固定台形名	内容	備考	掲載ページ
ERNT-QF12	12スロット分 変換アダプタ固定台	変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台が必要となります。	4-15
ERNT-QF8	8スロット分 変換アダプタ固定台		
ERNT-QF5	5スロット分 変換アダプタ固定台		

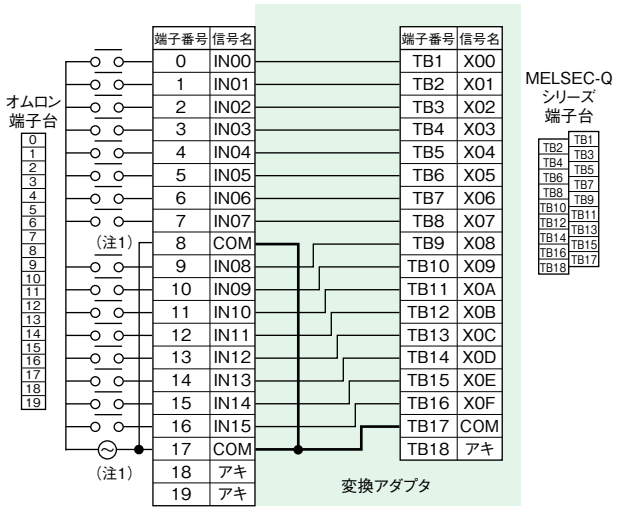
変換アダプタ

仕　様

1スロットタイプ

(1)ERNT-CQTX121　端子台(20P)→端子台(18P)

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-CQTX121	C500-IA121	16点	QX10



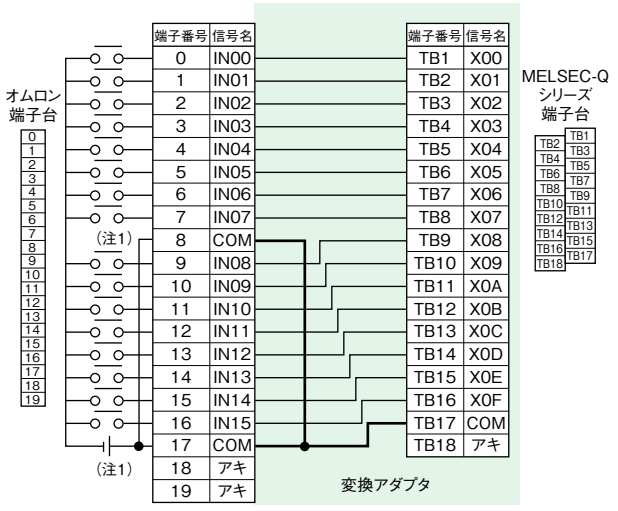
〈入力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-IA121	MELSEC-Qシリーズ QX10
入力点数		16点	16点
入力電圧		AC100～120V	AC100～120V
入力電流		10mA/AC100V	約8mA/AC100V
動作電圧	ON電圧	AC60V以上	AC80V以上
	OFF電圧	AC20V以下	AC30V以下
入力応答時間	ON応答時間	35ms以下	15ms以下
	OFF応答時間	55ms以下	20ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
外部接続		20P端子台	18P端子台
1コモンあたりの点数（注1）		8点(2回路)	16点(1回路)
内部消費電流		180mA以下	50mA

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、SYSMAC Cシリーズ側の端子番号8、17を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.入力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる入力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(2)ERNT-CQTX112213　端子台(20P)→端子台(18P)

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-CQTX112213	C500-ID112	16点	QX70
	C500-ID213		QX40、QX40-S1



〈入力ユニット仕様比較表〉

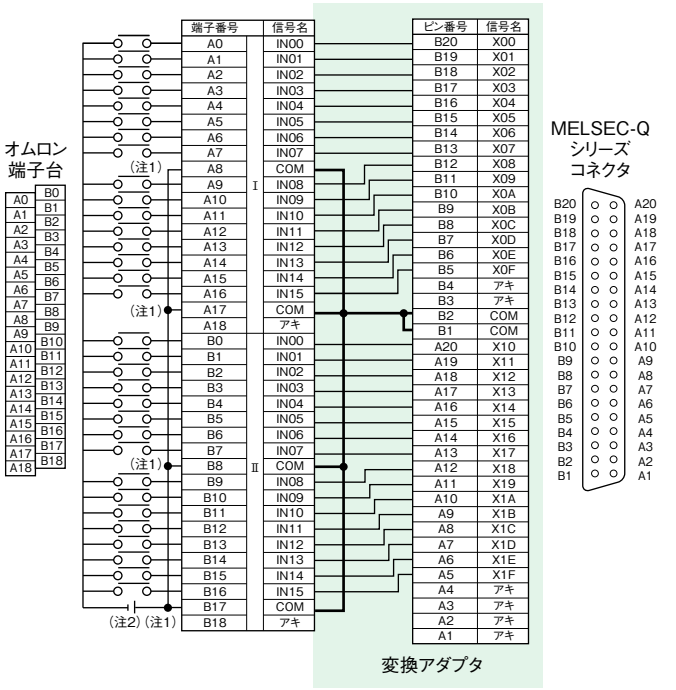
仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-ID112 (シンクタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QX70 (シンク/ソース共用タイプ)
入力点数		16点	16点
入力電圧		DC5～12V	DC5/DC12V
入力電流		16mA/DC12V	約3.3mA/DC12V
動作電圧	ON電圧	DC4V以上	DC3.5V以上
	OFF電圧	DC1.5V以下	DC1V以下
入力応答時間	ON応答時間	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	OFF応答時間	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
外部接続		20P端子台	18P端子台
1コモンあたりの点数		8点(2回路)	16点(1回路)
内部消費電流		10mA以下	55mA

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-ID213 (シンクタイプ)	MELSEC-Qシリーズ QX40 (シンクタイプ)	QX40-S1 (シンクタイプ)
入力点数		16点	16点	16点
入力電圧		DC12～24V	DC24V	DC24V
入力電流		10mA/DC24V	約4mA/DC24V	約6mA/DC24V
動作電圧	ON電圧	DC10.2V以上	DC19V以上	DC19V以上
	OFF電圧	DC3V以下	DC11V以下	DC11V以下
入力応答時間	ON応答時間	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms
	OFF応答時間	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
外部接続		20P端子台	18P端子台	18P端子台
1コモンあたりの点数(注1)		8点(2回路)	16点(1回路)	16点(1回路)
内部消費電流		20mA以下	50mA	60mA

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、SYSMAC Cシリーズ側の端子番号8、17を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.入力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる入力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(3)ERNT-CQTX215218　端子台(38P)→コネクタ(40P)

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-CQTX215218	C500-ID215	32点	QX41
	C500-ID218		QX41、QX41-S1



〈入力ユニット仕様比較表〉

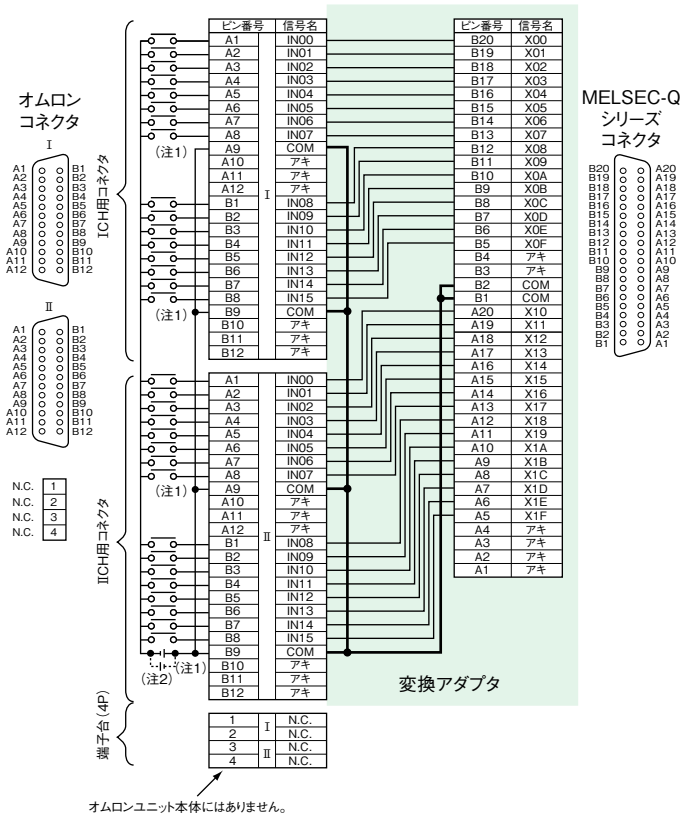
仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-ID215 (シンク/ソース共用タイプ)	MELSEC-Qシリーズ QX41 (シンクタイプ)
入力点数		32点	32点
入力電圧		DC12～24V	DC24V
入力電流		10mA/DC24V	約4mA/DC24V
動作電圧	ON電圧	DC10.2V以上	DC19V以上
	OFF電圧	DC3V以下	DC11V以下
入力応答時間	ON応答時間	15ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	OFF応答時間	15ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
外部接続		38P端子台	40Pコネクタ
1コモンあたりの点数(注1)		8点(4回路)	32点(1回路)
内部消費電流		160mA以下	75mA

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-ID218 (シンク/ソース共用タイプ)	MELSEC-Qシリーズ QX41 (シンクタイプ)	QX41-S1 (シンクタイプ)
入力点数		32点	32点	32点
入力電圧		DC12～24V	DC24V	DC24V
入力電流		10mA/DC24V	約4mA/DC24V	約4mA/DC24V
動作電圧	ON電圧	DC10.2V以上	DC19V以上	DC19V以上
	OFF電圧	DC3V以下	DC11V以下	DC9.5V以下
入力応答時間	ON応答時間	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms
	OFF応答時間	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
外部接続		38P端子台	40Pコネクタ	40Pコネクタ
1コモンあたりの点数(注1)		8点(4回路)	32点(1回路)	32点(1回路)
内部消費電流		260mA以下	75mA	75mA

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(4回路)→32点／1コモンとなるため、SYSMAC Cシリーズ側の端子番号A8、A17、B8、B17を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.シンクタイプのみ対応。
3. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.入力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる入力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(4)ERNT-CQCX218501　コネクタ(24P)×2+端子台(4P)→コネクタ(40P)

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-CQCX218501	C500-ID218CN	32点	QX41、QX41-S1
	C500-ID501CN		QX71



〈入力ユニット仕様比較表〉

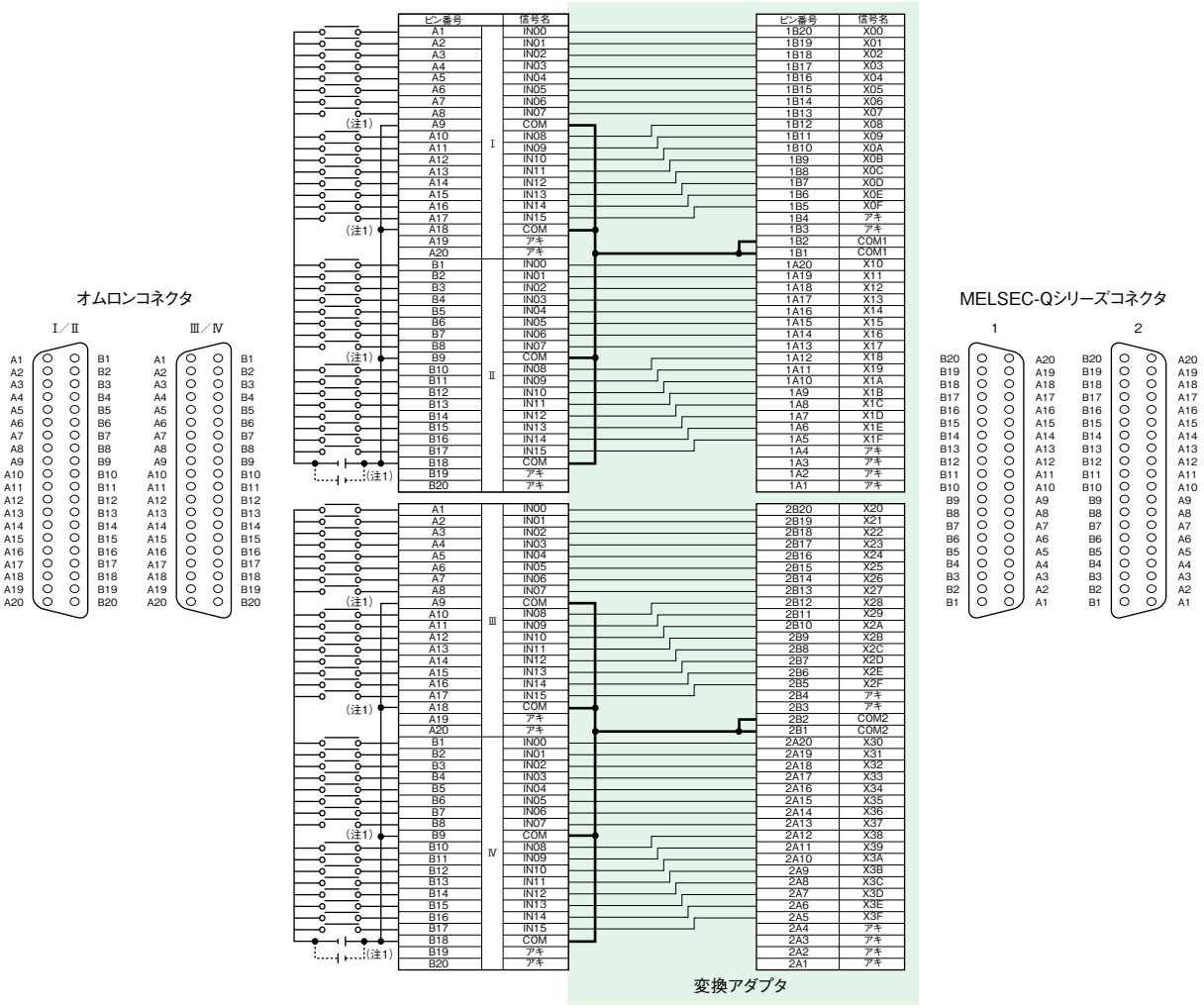
仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-ID218CN (シンク/ソース共用タイプ)	MELSEC-Qシリーズ QX41 (シンクタイプ)	QX41-S1 (シンクタイプ)
入力点数		32点	32点	32点
入力電圧		DC12～24V	DC24V	DC24V
入力電流		10mA/DC24V	約4mA/DC24V	約4mA/DC24V
動作電圧	ON電圧	DC10.2V以上	DC19V以上	DC19V以上
	OFF電圧	DC3V以下	DC11V以下	DC9.5V以下
入力応答時間	ON応答時間	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms
	OFF応答時間	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
外部接続		24Pコネクタ×2	40Pコネクタ	40Pコネクタ
1コモンあたりの点数(注1)		8点(4回路)	32点(1回路)	32点(1回路)
内部消費電流		200mA以下	75mA	75mA

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-ID501CN (シンク/ソース共用タイプ)	MELSEC-Qシリーズ QX71 (シンク/ソース共用タイプ)
入力点数		32点	32点
入力電圧		DC5V	DC5V/DC12V
入力電流		3.5mA/DC5V	約1.2mA/DC5V
動作電圧	ON電圧	DC3V以上	DC3.5V以上
	OFF電圧	DC1V以下	DC1V以下
入力応答時間	ON応答時間	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	OFF応答時間	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
外部接続		24Pコネクタ×2	40Pコネクタ
1コモンあたりの点数(注1)		8点(4回路)	32点(1回路)
内部消費電流		200mA以下	70mA

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(4回路)→32点／1コモンとなるため、SYSMAC Cシリーズ側のピン番号IのA9、B9、IIのA9、B9を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.C500-ID218CN→QX41、QX41-S1への変換の場合は、シンクタイプにのみ対応。
3. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.入力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる入力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(5)ERNT-CQCX114219　コネクタ(40P)×2→コネクタ(40P)×2

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-CQCX114219	C500-ID114	64点	QX72
	C500-ID219		QX42、QX42-S1、QX82



〈入力ユニット仕様比較表〉

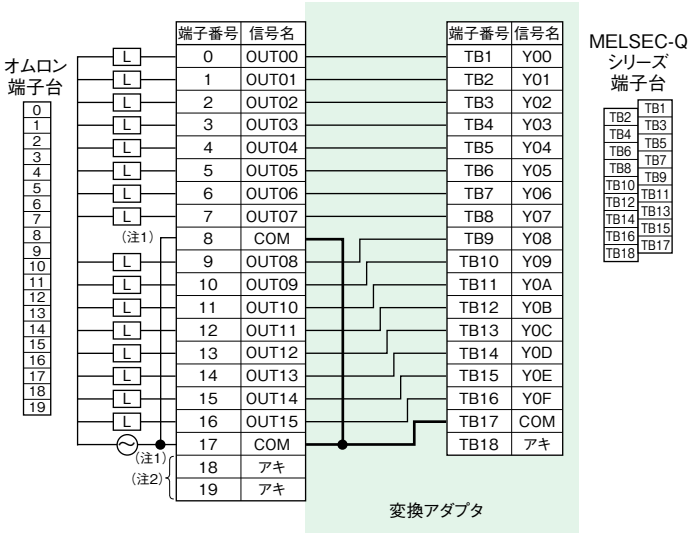
仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-ID114 (シンク/ソース共用タイプ)	MELSEC-Qシリーズ QX72 (シンク/ソース共用タイプ)
入力点数		64点	64点
入力電圧		DC12V	DC5/12V
入力電流		7mA/DC12V	約3.3mA/DC12V
動作電圧	ON電圧	DC8V以上	DC3.5V以上
	OFF電圧	DC3V以下	DC1V以下
入力応答時間	ON応答時間	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	OFF応答時間	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
外部接続		40Pコネクタ×2	40Pコネクタ×2
1コモンあたりの点数（注1）		8点(8回路)	32点(2回路)
内部消費電流		340mA以下	85mA

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-ID219 (シンク/ソース共用タイプ)	MELSEC-Qシリーズ QX42 (シンクタイプ)	QX42-S1 (シンクタイプ)	QX82 (ソースタイプ)
入力点数		64点	64点	64点	64点
入力電圧		DC24V	DC24V	DC24V	DC24V
入力電流		7mA/DC24V	約4mA/DC24V	約4mA/DC24V	約4mA/DC24V
動作電圧	ON電圧	DC16V以上	DC19V以上	DC19V以上	DC19V以上
	OFF電圧	DC5V以下	DC11V以下	DC9.5V以下	DC11V以下
入力応答時間	ON応答時間	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms	1/5/10/20/70ms以下
	OFF応答時間	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
外部接続		40Pコネクタ×2	40Pコネクタ×2	40Pコネクタ×2	40Pコネクタ×2
1コモンあたりの点数（注1）		8点(8回路)	32点(2回路)	32点(2回路)	32点(2回路)
内部消費電流		340mA以下	90mA	90mA	90mA

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(8回路)→32点／1コモン(2回路)となるため、SYSMAC Cシリーズ側のピン番号IのA9、A18、IIのB9、B18および、IIIのA9、A18、IVのB9、B18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.入力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる入力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(6)ERNT-CQTY221　端子台(20P)→端子台(18P)

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-CQTY221	C500-OC221	16点	QY10



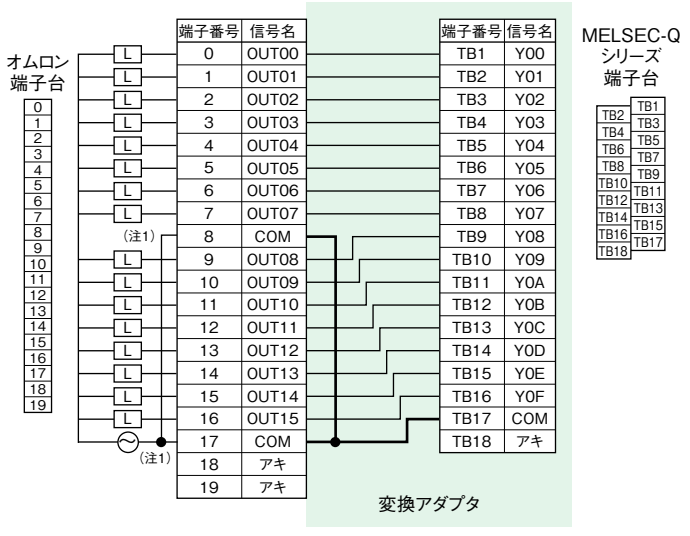
〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-OC221	MELSEC-Qシリーズ QY10
出力点数		16点	16点
開閉能力		AC250V/2A(COSφ=1) AC250V/0.5A(COSφ=0.4) DC24V/2A(8A/1コモン、16A/ユニット)	AC240V/2A(COSφ=1) DC24V/2A(抵抗負荷) (8A /1コモン)
出力応答時間	ON応答時間	15ms 以下	10ms 以下
	OFF応答時間	15ms 以下	12ms 以下
外部接続		20P端子台	18P端子台
1コモンあたりの点数 (注1)		8点(2回路)	16点(1回路)
漏れ電流		—	—
サージキラー		無	無
ヒューズ		無	無
内部消費電流		100mA以下	430mA

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(2回路)→16点／1コモン(1回路)となるため、SYSMAC Cシリーズ側の端子番号8、17を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.SYSMAC Cシリーズ側の端子番号18、19に接続されていた外部供給電源は、不要となります。
3. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(7)ERNT-CQTY226　端子台(20P)→端子台(18P)

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-CQTY226	C500-OA121 C500-OA222 C500-OA226	16点	QY22



〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-OA121	MELSEC-Qシリーズ QY22
出力点数		16点	16点
開閉能力		AC132V/1A (4A/1コモン、5A/ユニット)	AC100～240V/0.6A (4.8A/1コモン)
出力応答時間	ON応答時間	1ms以下	1ms+0.5サイクル以下
	OFF応答時間	負荷周波数の1/2 以下	1ms+0.5サイクル以下(定格負荷、抵抗負荷)
外部接続		20P端子台	18P端子台
1コモンあたりの点数 (注1)		8点(2回路)	16点(1回路)
漏れ電流		3mA以下/AC100V	1.5mA以下/AC120V 3mA以下/AC240V
サージキラー		有	有
ヒューズ		有	無
内部消費電流		300mA以下	250mA

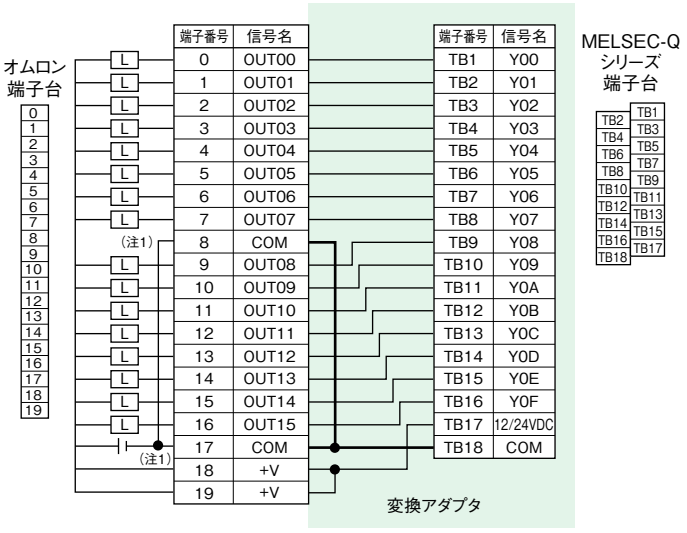
仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-OA222	MELSEC-Qシリーズ QY22
出力点数		16点	16点
開閉能力		AC250V/1A (4A/1コモン、5A/ユニット)	AC100～240V/0.6A (4.8A/1コモン)
出力応答時間	ON応答時間	1ms以下	1ms+0.5サイクル以下
	OFF応答時間	負荷周波数の1/2以下	1ms+0.5サイクル以下(定格負荷、抵抗負荷)
外部接続		20P端子台	18P端子台
1コモンあたりの点数 (注1)		8点(2回路)	16点(1回路)
漏れ電流		3mA以下/AC100V 6mA以下/AC200V	1.5mA以下/AC120V 3mA以下/AC240V
サージキラー		有	有
ヒューズ		有	無
内部消費電流		300mA以下	250mA

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-OA226	MELSEC-Qシリーズ QY22
出力点数		16点	16点
開閉能力		AC250V/1.2A (4A/1コモン、5A/ユニット)	AC100～240V/0.6A (4.8A/1コモン)
出力応答時間	ON応答時間	1ms以下	1ms+0.5サイクル以下
	OFF応答時間	負荷周波数の1/2+1ms以下	1ms+0.5サイクル以下(定格負荷、抵抗負荷)
外部接続		20P端子台	18P端子台
1コモンあたりの点数 (注1)		8点(2回路)	16点(1回路)
漏れ電流		1.5mA以下/AC120V 3mA以下/AC240V	1.5mA以下/AC120V 3mA以下/AC240V
サージキラー		有	有
ヒューズ		有	無
内部消費電流		450mA以下	250mA

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(2回路)→16点／1コモン(1回路)となるため、SYSMAC Cシリーズ側の端子番号8、17を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(8)ERNT-CQTY219217　端子台(20P)→端子台(18P)

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-CQTY219217	C500-OD219 C500-OD217	16点	QY40P、QY50



〈出力ユニット仕様比較表〉

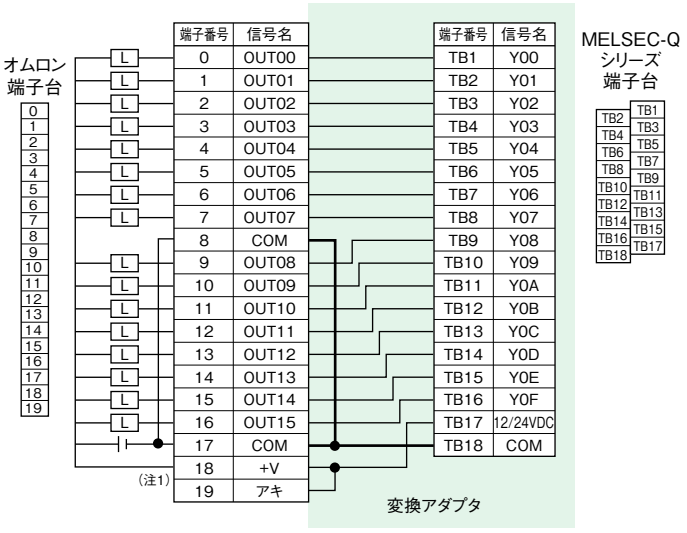
仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-OD219	MELSEC-Qシリーズ QY40P	MELSEC-Qシリーズ QY50
出力点数		16点	16点	16点
開閉能力		DC12～24V/2.1A (8A/1コモン、16A/ユニット)	DC12～24V/0.1A (1.6A/1コモン)	DC12～24V/0.5A (4A/1コモン)
出力	ON応答時間	0.2ms以下	1ms以下	1ms以下
応答時間	OFF応答時間	0.4ms以下	1ms以下	1ms以下
外部接続		20P端子台	18P端子台	18P端子台
1コモンあたりの点数（注1）		8点(2回路)	16点(1回路)	16点(1回路)
漏れ電流		0.1mA以下	0.1mA以下	0.1mA以下
サージキラー		有	有	有
ヒューズ		有	無(プロテクト有)	有
内部消費電流		160mA以下	65mA	80mA

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-OD217	MELSEC-Qシリーズ QY40P	MELSEC-Qシリーズ QY50
出力点数		16点	16点	16点
開閉能力		DC12～24V/1A (4A/1コモン、5A/ユニット)	DC12～24V/0.1A (1.6A/1コモン)	DC12～24V/0.5A (4A/1コモン)
出力	ON応答時間	0.2ms 以下	1ms 以下	1ms 以下
応答時間	OFF応答時間	0.3ms 以下	1ms 以下	1ms 以下
外部接続		20P端子台	18P端子台	18P端子台
1コモンあたりの点数（注1）		8点(2回路)	16点(1回路)	16点(1回路)
漏れ電流		0.1mA以下	0.1mA以下	0.1mA以下
サージキラー		有	有	有
ヒューズ		有	無(プロテクト有)	有
内部消費電流		160mA以下	65mA	80mA

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、SYSMAC Cシリーズ側の端子番号8、17および18、19を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.入力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる入力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(9)ERNT-CQTY411　端子台(20P)→端子台(18P)

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-CQTY411	C500-OD411	16点	QY40P、QY50



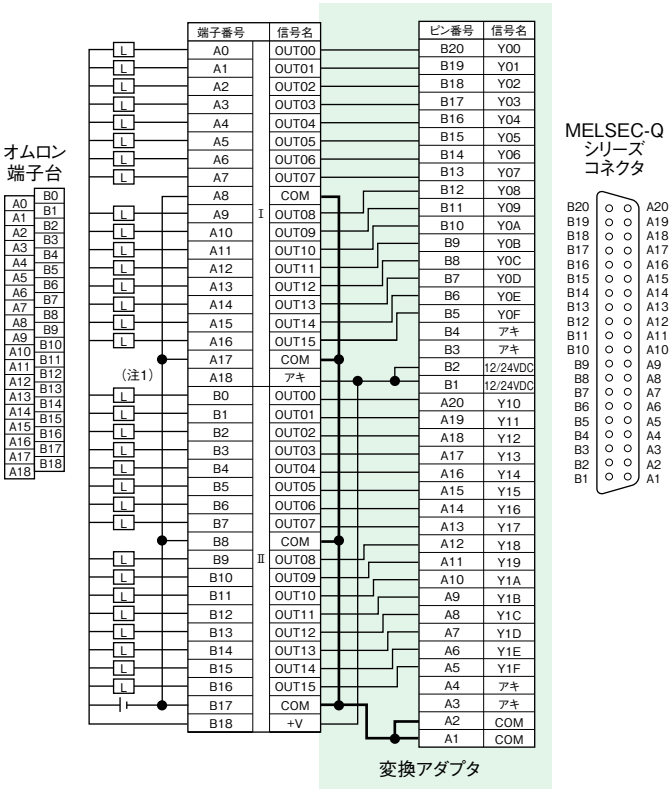
〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-OD411	MELSEC-Qシリーズ QY40P	MELSEC-Qシリーズ QY50
出力点数		16点	16点	16点
開閉能力		DC12～48V/1A (4A/1コモン、5A/ユニット)	DC12～24V/0.1A (1.6A/1コモン)	DC12～24V/0.5A (4A/1コモン)
出力	ON応答時間	0.2ms 以下	1ms 以下	1ms 以下
応答時間	OFF応答時間	0.3ms 以下	1ms 以下	1ms 以下
外部接続		20P端子台	18P端子台	18P端子台
1コモンあたりの点数（注1）		16点(1回路)	16点(1回路)	16点(1回路)
漏れ電流		0.1mA以下	0.1mA以下	0.1mA以下
サージキラー		無	有	有
ヒューズ		有	無(プロテクト有)	有
内部消費電流		160mA以下	65mA	80mA

(注)1.SYSMAC Cシリーズ端子台の端子番号19 は、必ずアキ端子(未接続状態)としてください。(変換アダプタ内部で端子番号18、19 が短絡されているため)
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(10)ERNT-CQTY412　端子台(38P)→コネクタ(40P)

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-CQTY412	C500-OD412	32点	QY41P



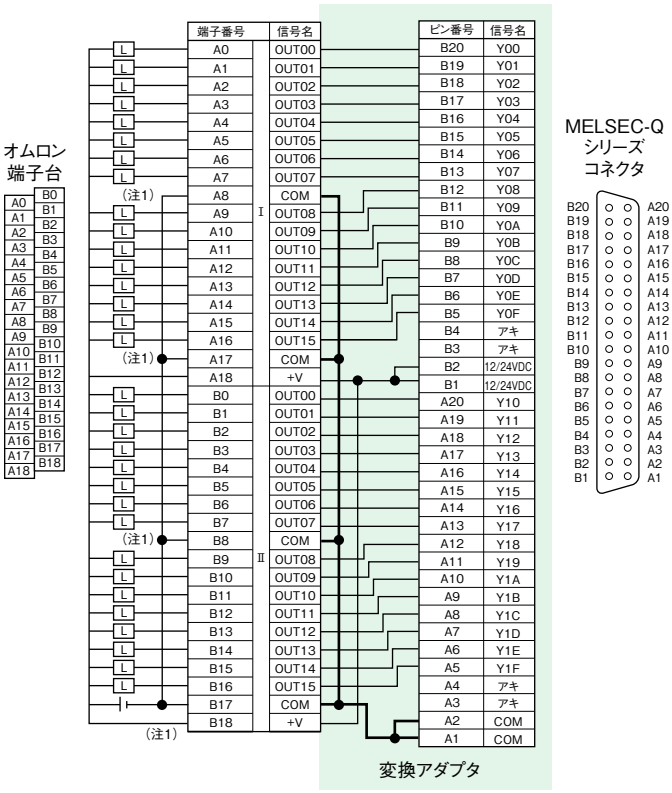
〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-OD412	MELSEC-Qシリーズ QY41P
出力点数		32点	32点
開閉能力		DC12～48V/0.3A (4.8A/ユニット)	DC12～24V/0.1A (2A/1コモン)
出力応答時間	ON応答時間	0.2ms以下	1ms以下
	OFF応答時間	0.3ms以下	1ms以下
外部接続		38P端子台	40Pコネクタ
1コモンあたりの点数 (注1)		32点(1回路)	32点(1回路)
漏れ電流		0.1mA以下	0.1mA以下
サージキラー		無	有
ヒューズ		有	無(プロテクト有)
内部消費電流		230mA以下	105mA

(注)1.SYSMAC Cシリーズ端子台の端子番号A18は、必ずアキ端子(未接続状態)としてください。
(変換アダプタ内部で端子番号A18、B18が短絡されているため)
2.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(11)ERNT-CQTY414218　端子台(38P)→コネクタ(40P)

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-CQTY414218	C500-OD414 C500-OD218	32点	QY41P



〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-OD414	MELSEC-Qシリーズ QY41P
出力点数		32点	32点
開閉能力		DC12～48V/0.3A (2.4A/1コモン、4.8A/ユニット)	DC12～24V/0.1A (2A/1コモン)
出力応答時間	ON応答時間	0.2ms以下	1ms以下
	OFF応答時間	0.3ms以下	1ms以下
外部接続		38P端子台	40Pコネクタ
1コモンあたりの点数 (注1)		16点(2回路)	32点(1回路)
漏れ電流		0.1mA以下	0.1mA以下
サージキラー		無	有
ヒューズ		無	無(プロテクト有)
内部消費電流		230mA以下	105mA

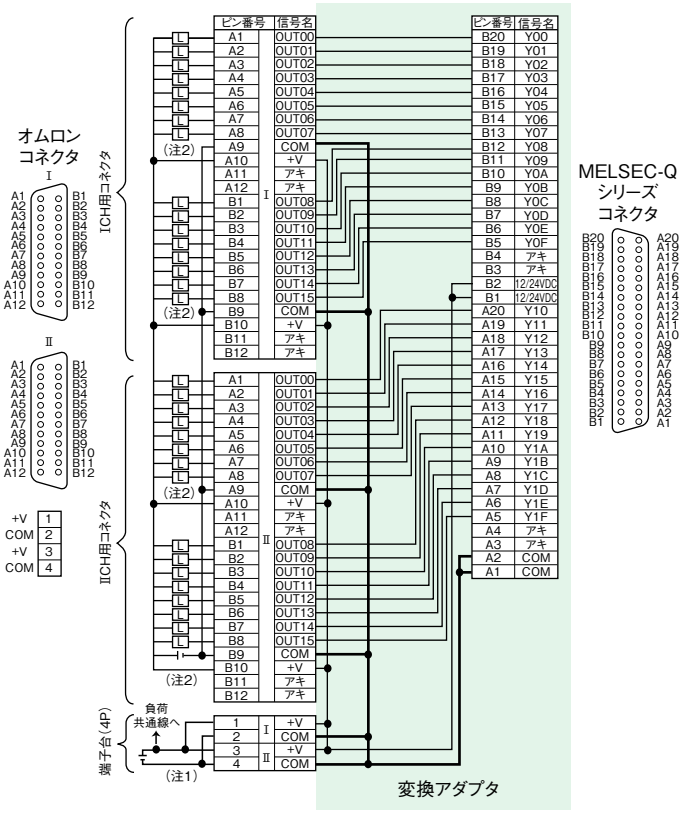
〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-OD218	MELSEC-Qシリーズ QY41P
出力点数		32点	32点
開閉能力		DC12～24V/0.3A (2.4A/1コモン、4.8A/ユニット)	DC12～24V/0.1A (2A/1コモン)
出力応答時間	ON応答時間	0.2ms以下	1ms以下
	OFF応答時間	0.3ms以下	1ms以下
外部接続		38P端子台	40Pコネクタ
1コモンあたりの点数 (注1)		16点(2回路)	32点(1回路)
漏れ電流		0.1mA以下	0.1mA以下
サージキラー		有	有
ヒューズ		有	無(プロテクト有)
内部消費電流		230mA以下	105mA

(注)1.1コモンあたりの点数が、16点／1コモン(2回路)→32点／1コモン(1回路)となるため、SYSMAC Cシリーズ側の端子番号A8、A17、B8、B17とA18、B18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(12)ERNT-CQCY415　コネクタ(24P)×2+端子台(4P)→コネクタ(40P)

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-CQCY415	C500-OD415CN	32点	QY41P



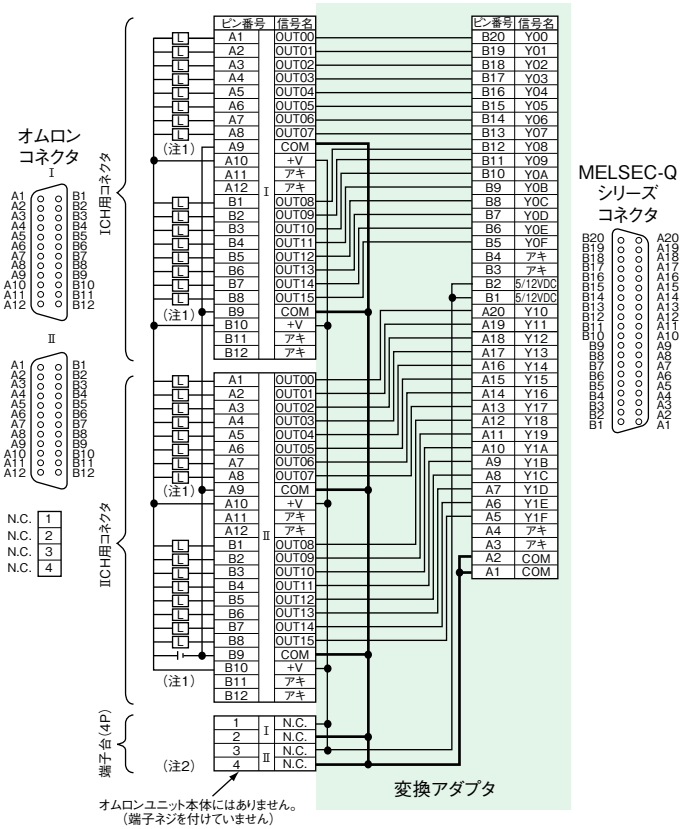
〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-OD415CN	MELSEC-Qシリーズ QY41P
出力点数		32点	32点
開閉能力		DC12～48V/0.3A (2.4A/1コモン、4.8A/ユニット)	DC12～24V/0.1A (2A/1コモン)
出力応答時間	ON応答時間	0.2ms以下	1ms以下
	OFF応答時間	0.3ms以下	1ms以下
外部接続		24Pコネクタ×2+端子台	40Pコネクタ
1コモンあたりの点数(注1)		16点(2回路)	32点(1回路)
漏れ電流		0.1mA以下	0.1mA以下
サージキラー		無	有
ヒューズ		無	無(プロテクト有)
内部消費電流		230mA以下	105mA

(注)1.C500-OD415CNを使用していた際の電源コモン線の配線が、端子台(4P)を使用していた場合には電源コモン線を端子台から取外し、本変換アダプタの端子台(4P)に再配線する必要があります。
2.1コモンあたりの点数が、16点／1コモン(2回路)→32点／1コモン(1回路)となるため、SYSMAC Cシリーズ側のピン番号IのA9、B9、ⅡのA9、B9と、IのA10、B10、ⅡのA10、B10または端子台(4P)の1、3と2、4を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
3. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(13)ERNT-CQCY501　コネクタ(24P)×2+端子台(4P)→コネクタ(40P)

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-CQCY501	C500-OD501CN	32点	QY71



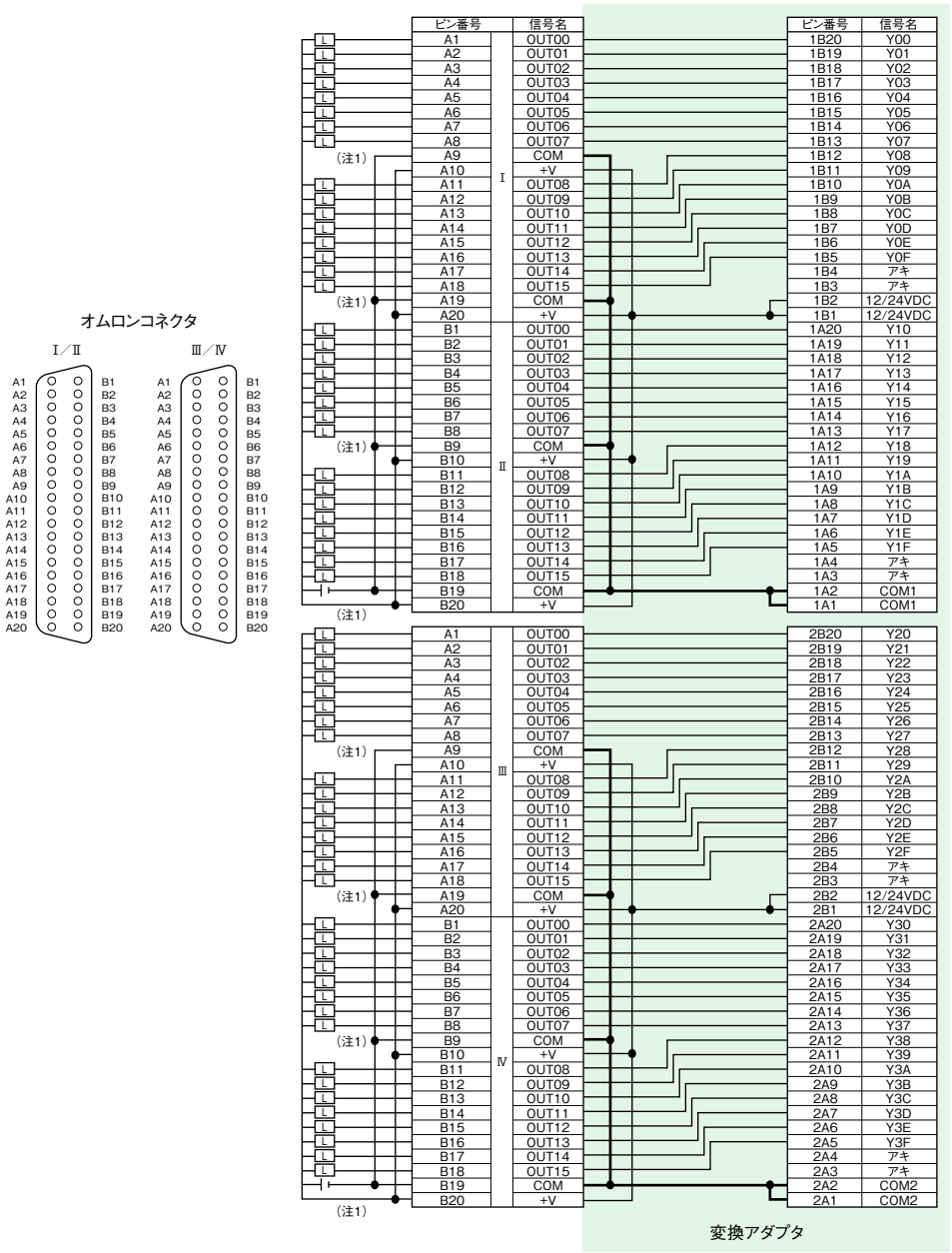
〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-OD501CN	MELSEC-Qシリーズ QY71
出力点数		32点	32点
開閉能力		DC5V/35mA	DC5～12V/16mA 512mA/1コモン
出力応答時間	ON応答時間	0.2ms以下	0.5ms以下
	OFF応答時間	0.3ms以下	0.5ms以下
外部接続		24Pコネクタ×2	40Pコネクタ
1コモンあたりの点数(注1)		8点(4回路)	32点(1回路)
漏れ電流		0.1mA以下	−
サージキラー		無	無
ヒューズ		無	有
内部消費電流		250mA以下	150mA

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(4回路)→32点／1コモン(1回路)となるため、SYSMAC Cシリーズ側のピン番号IのA9、B9、ⅡのA9、B9と、IのA10、B10、ⅡのA10、B10を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.変換アダプタのSYSMAC Cシリーズ側の端子台(4P)は、必ずアキ端子(未接続状態)としてください。誤接続防止のために端子ネジを付けていません。
(変換アダプタ内部で電源・コモンと短絡されているため)
3. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(14)ERNT-CQCY213　コネクタ(40P)×2→コネクタ(40P)×2

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-CQCY213	C500-OD213	64点	QY42P



〈出力ユニット仕様比較表〉

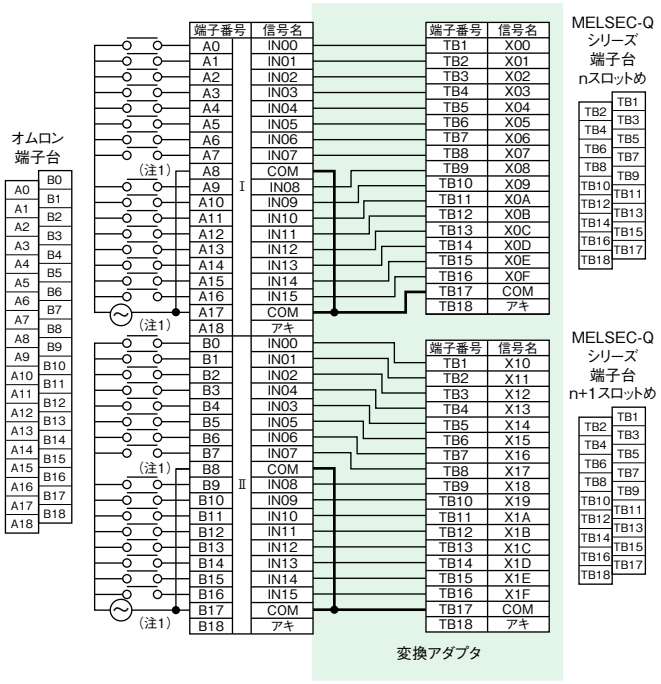
仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ C500-OD213	MELSEC-Qシリーズ QY42P
出力点数		64点	64点
開閉能力		DC4.5V/16mA～26.4V/100mA (800mA/1コモン、6.4A/ユニット)	DC12～24V/0.1A (2A/1コモン)
出力応答時間	ON応答時間	0.2ms以下	1ms以下
	OFF応答時間	0.3ms以下	1ms以下
外部接続		40Pコネクタ×2	40Pコネクタ×2
1コモンあたりの点数（注1）		8点(8回路)	32点(2回路)
漏れ電流		0.1mA以下	0.1mA以下
サージキラー		無	有
ヒューズ		有	無(プロテクト有)
内部消費電流		460mA以下	150mA

(注)1.コモン方式が、8点／1コモン(8回路)→32点／1コモン(2回路)となるため、SYSMAC Cシリーズ側のピン番号IのA9、A10、A19、A20、IIのB9、B10、B19、B20とIIIのA9、A10、A19、A20、IVのB9、B10、B19、B20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.出力ユニット仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になる出力ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

2スロットタイプ

(1)ERNT-CQTX122　端子台(38P)→端子台(18P)×2

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-CQTX122	C500-IA122	32点	QX10	2台



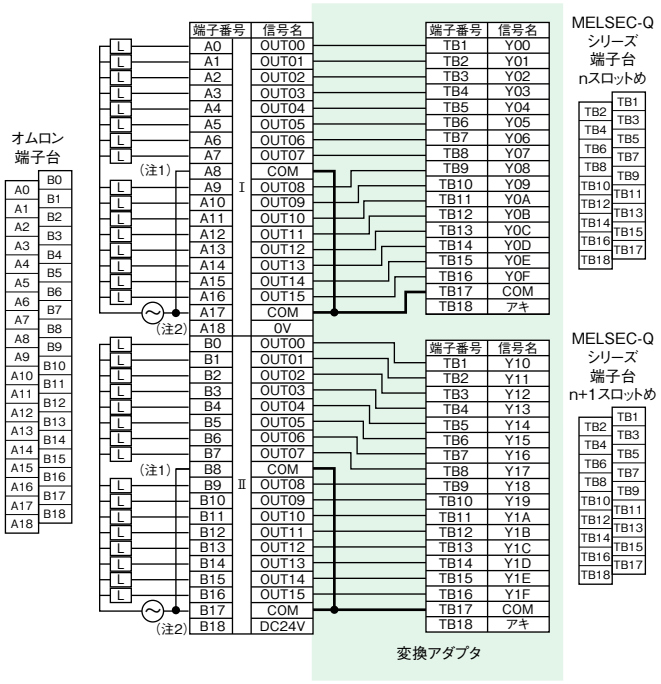
〈入力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名	SYSMAC Cシリーズ C500-IA122	MELSEC-Qシリーズ QX10
入力点数	32点	16 点
定格入力電圧	AC100-120V(+10/−15%) 50/60Hz	AC100-120V(+10/−15%) 50/60Hz(±3Hz)
定格入力電流	10mA TYP(AC100V)	約8mA(AC100V、60Hz) 約7mA(AC100V、50Hz)
ON電圧	最小AC60V	AC80V以上
OFF電圧	最大AC20V	AC30V以下
応答時間 OFF→ON	35ms以下	15ms以下(AC100V 50Hz、60Hz)
応答時間 ON→OFF	55ms以下	20ms以下(AC100V 50Hz、60Hz)
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
内部消費電流	DC5V 180mA以下	50mA(TYP.全点ON)
1コモンあたりの点数	8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式	38点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(4回路)→16点／1コモン(2ユニット)となるため、SYSMAC Cシリーズ側の端子番号A8とA17および、B8とB17を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

(2)ERNT-CQTY224　端子台(38P)→端子台(18P)×2

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-CQTY224	C500-OC224	32点	QY10	2台



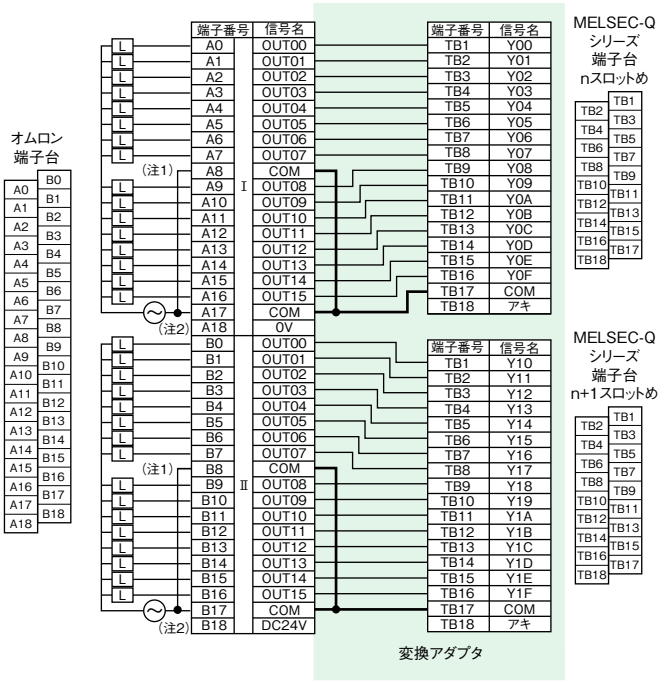
〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名	SYSMAC Cシリーズ C500-OC224	MELSEC-Qシリーズ QY10
出力点数	32点	16 点
開閉能力	AC250V/2A(COS φ=1)、AC250V/0.5A(COS φ=0.4) DC24V/2A(8A/コモン、32A/ユニット)	DC24V2A/1点(抵抗負荷) AC240V2A/1点(COS φ=1) 8A/1コモン
応答時間 OFF→ON	15ms以下	10ms以下
応答時間 ON→OFF	15ms以下	12ms以下
サージキラー	無	無
ヒューズ	無	無
漏れ電流	−	−
内部消費電流	DC5V 200mA以下	430mA(TYP.全点ON)
1コモンあたりの点数	8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式	38点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(4回路)→16点／1コモン(2ユニット)となるため、SYSMAC Cシリーズ側の端子番号A8とA17および、B8とB17を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.SYSMAC Cシリーズ側の端子番号A18、B18に接続されていた外部供給電源は不要となります。
3.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

(3)ERNT-CQTY225　端子台(38P)→端子台(18P)×2

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-CQTY225	C500-OA225	32点	QY22	2台



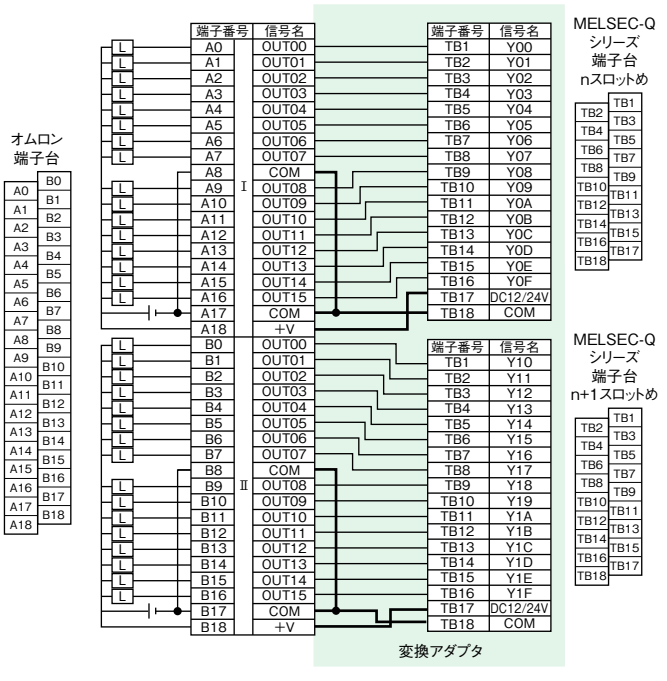
〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名	SYSMAC Cシリーズ C500-OA225	MELSEC-Qシリーズ QY22
出力点数	32点	16点
開閉能力	AC250V 1A(制約有り)50/60Hz	AC100-240V 50/60Hz ±5% 0.6A/1点、4.8A/1コモン
応答時間 OFF→ON	1ms以下	1ms+0.5サイクル以下
応答時間 ON→OFF	負荷周波数の1/2以下	1ms+0.5サイクル以下(定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー	—	CRアブソーバ
ヒューズ	無	無(外部配線でのヒューズ取付け推奨)
漏れ電流	2mA(AC100V)以下、5mA(AC200V)以下	1.5mA以下(120V 60Hz時)、3mA以下(240V 60Hz時)
内部消費電流	DC5V 200mA以下	250mA(MAX.全点ON)
1コモンあたりの点数	8点1コモン	16点1コモン
外部接続方式	38点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が、8点／1コモン(4回路)→16点／1コモン(2ユニット)となるため、SYSMAC Cシリーズ側の端子番号A8とA17および、B8とB17を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.SYSMAC Cシリーズ側の端子番号A18、B18に接続されていた外部供給電源は不要となります。
3. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

(4)ERNT-CQTY218　端子台(38P)→端子台(18P)×2

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-CQTY218	C500-OD218 C500-OD414	32点	QY50	2台



〈出力ユニット仕様比較表〉

仕様＼形名	SYSMAC Cシリーズ C500-OD218	SYSMAC Cシリーズ C500-OD414	MELSEC-Qシリーズ QY50
出力点数	32点		16点
開閉能力	DC12～24V +10%、−15% 0.3A(2.4A/コモン、4.8A/ユニット)	DC12 ～48V +10%、−15% 0.3A(2.4A/コモン、4.8A/ユニット)	DC12-24V 0.5A/1点、4A/1コモン
応答時間 OFF→ON	0.2ms以下		1ms以下
応答時間 ON→OFF	0.3ms以下		1ms以下(定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー	有	無	ツェナーダイオード
ヒューズ	有	無	有
漏れ電流	0.1mA以下		0.1mA以下
内部消費電流	DC5V 230mA以下		80mA(TYP.全点ON)
1コモンあたりの点数	16点1コモン		16点1コモン
外部接続方式	38点端子台		18点端子台

(注)1. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

ベースアダプタ

仕　様

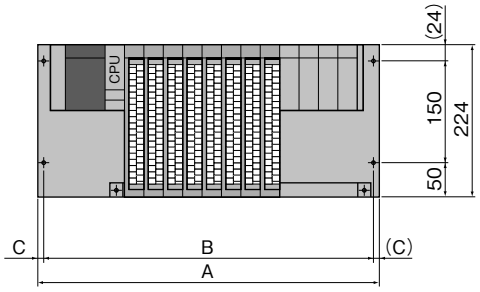
SYSMAC Cシリーズのベースユニットの取付穴を利用し、MELSEC-Qシリーズと変換アダプタ固定台を設置可能とするものです。
（追加穴加工不要）

ベースアダプタ形名	基本/増設	置換前SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	置換後MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	取付け可能 変換アダプタ固定台形名
ERNT-CQB081N	基本	C500-BC081/082/091 C2000-BC061	Q312B	ERNT-QF12/QF8
			Q38B	ERNT-QF8
	増設	C500-BI081 C2000-BI083	Q612B	ERNT-QF12/QF8
			Q68B	ERNT-QF8
ERNT-CQB051N	基本	C500-BC051/052/061	Q38B	ERNT-QF8/QF5
			Q35B	ERNT-QF5
	増設	C500-BI051	Q68B	ERNT-QF8/QF5
			Q65B、Q55B	ERNT-QF5
ERNT-CQB031N	基本	C500-BC031	Q35B、Q33B	ERNT-QF5

取付寸法

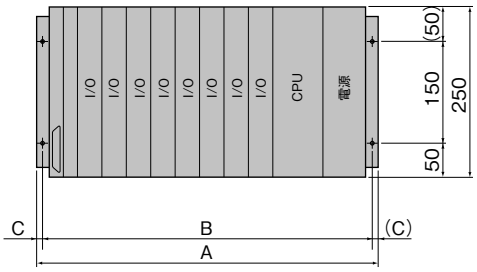
●SYSMAC Cシリーズより縦寸法が小さくなります。（但し、ユニット幅寸法および奥行き寸法については、「ご使用上の注意点」（4-16ページ）を参照。）
●ベースアダプタの取付穴（4ヶ所）は、SYSMAC Cシリーズベースユニットと同一取付寸法ですので制御盤への追加ネジ穴加工は一切不要です。
●SYSMAC CシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

◎MELSEC-Qシリーズ



◎（参考）SYSMAC Cシリーズ

単位:mm



ベースアダプタ形名	A	B	C	オムロンベースユニット形名	A	B	C
ERNT-CQB081N	480	465	7.5	C500-BC081/082	480	465	7.5
				C2000-BC061	480	465	7.5
				C500-BI081	480	465	7.5
				C2000-BI083	480	465	7.5
				C500-BC091	486	465	10.5
ERNT-CQB051N	375	360	7.5	C500-BC051/052	375	360	7.5
				C500-BI051	375	360	7.5
				C500-BC061	381	360	10.5
ERNT-CQB031N	276	255	10.5	C500-BC031	276	255	10.5

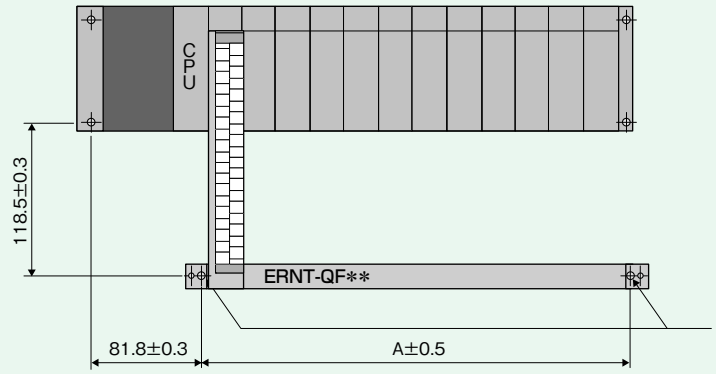
ベースアダプタを使用しない場合

ベースアダプタを使用しない場合は、下記のように変換アダプタ固定台を取付けるためのネジ穴加工（M4×2ケ所）が必要です。
尚、変換アダプタ固定台は必ず取付けてください。

基本ベースユニットを使用する場合

◎Q312B、Q38B、Q35B、Q33Bの場合

単位:mm



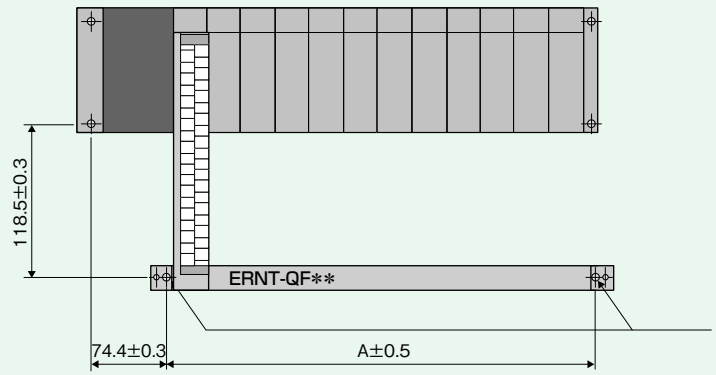
変換アダプタ固定台	A(mm)
ERNT-QF12	347.2
ERNT-QF8	236
ERNT-QF5	152.6

この位置にネジ穴加工（M4×2ケ所）を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

増設ベースユニットを使用する場合

◎Q612B、Q68B、Q65Bの場合

単位:mm

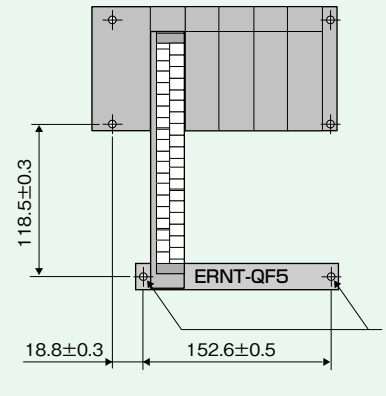


変換アダプタ固定台	A(mm)
ERNT-QF12	347.2
ERNT-QF8	236
ERNT-QF5	152.6

この位置にネジ穴加工（M4×2ケ所）を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

◎Q55Bの場合

単位:mm



この位置にネジ穴加工（M4×2ケ所）を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

変換アダプタ固定台

仕　様

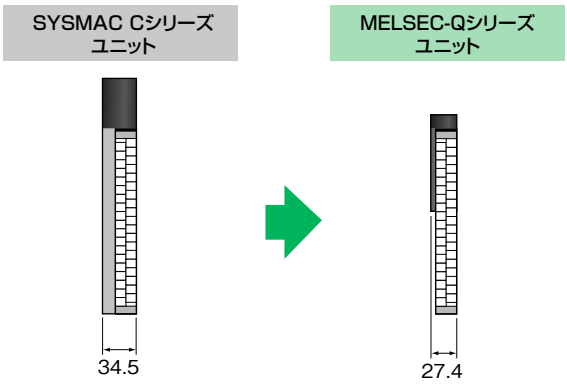
変換アダプタの下部を固定するもので、変換アダプタ使用時に必要となります。また、1ベースユニットあたり1個必要となります。

変換アダプタ固定台形名	仕　様
ERNT-QF12	MELSEC-Qシリーズユニット12スロット分変換アダプタ固定台
ERNT-QF8	MELSEC-Qシリーズユニット8スロット分変換アダプタ固定台
ERNT-QF5	MELSEC-Qシリーズユニット5スロット分変換アダプタ固定台

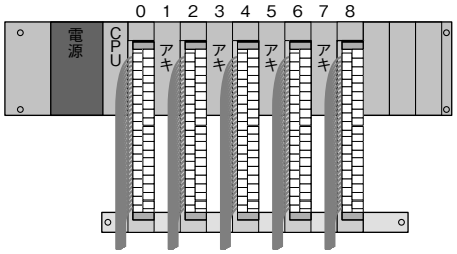
ご使用上の注意点

ユニット幅

ユニット幅寸法が小さくなり（34.5mm→27.4mm）配線領域が小さくなりますので、取付け上の確認が必要です。



配線が隣のユニットに干渉する場合、1スロットおきに装着（例えば、0、2、4、6、8スロットに装着し、1、3、5、7スロットは空き）する等、配線領域を確保する考慮が必要です。

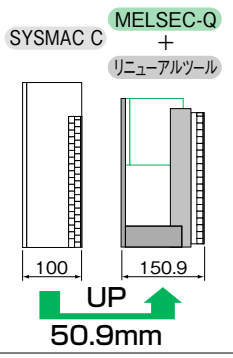
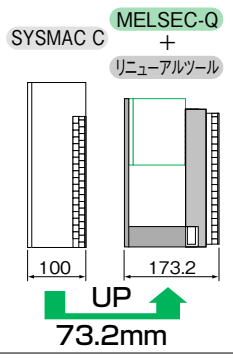
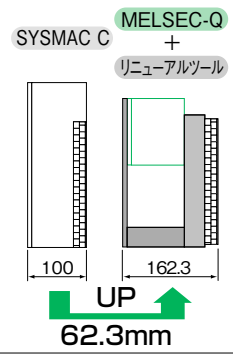
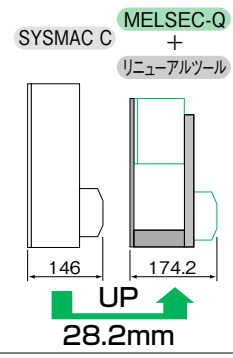
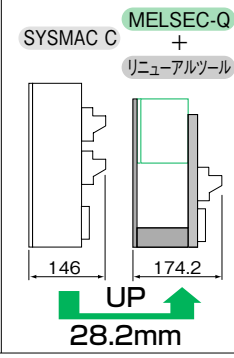


奥行き

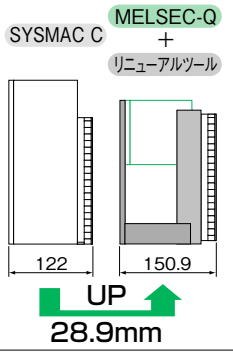
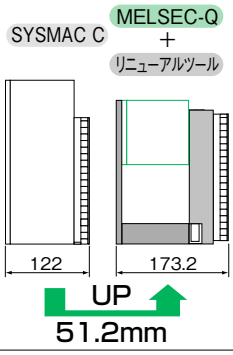
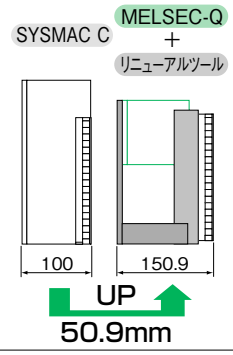
奥行き寸法が大きくなりますので、取付け上の確認が必要です。

SYSMAC C :SYSMAC Cシリーズ　MELSEC-Q :MELSEC-Qシリーズ

1スロットタイプ

変換アダプタ	ERNT-CQTX121 ERNT-CQTX112213 ERNT-CQTY411 ERNT-CQTY219217 ERNT-CQTY221	ERNT-CQTY226	ERNT-CQTX215218 ERNT-CQTY412 ERNT-CQTY414218	ERNT-CQCX114219 ERNT-CQCY213	ERNT-CQCX218501 ERNT-CQCY415 ERNT-CQCY501
奥行き寸法	150.9mm	173.2mm	162.3mm	174.2mm	174.2mm
取付図					
	UP 50.9mm	UP 73.2mm	UP 62.3mm	UP 28.2mm	UP 28.2mm

2スロットタイプ

変換アダプタ	ERNT-CQTX122 ERNT-CQTY224	ERNT-CQTY225	ERNT-CQTY218
奥行き寸法	150.9mm	173.2mm	150.9mm
取付図			
	UP 28.9mm	UP 51.2mm	UP 50.9mm

※:上記奥行き寸法は各々盤面からの寸法です。（SYSMAC Cシリーズはベースユニット＋入力／出力ユニット＋端子台、MELSEC-Qシリーズ＋リニューアルツールは、ベースアダプタ＋ベースユニット＋入力／出力ユニット＋変換アダプタ＋端子台）

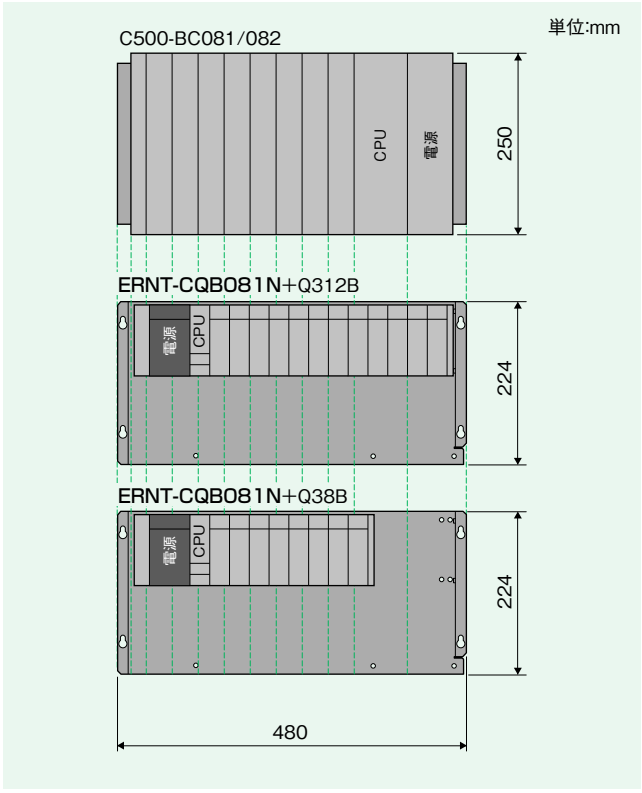
変換アダプタ固定台・ベースアダプタ

変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台が必要です。また、SYSMAC Cシリーズの取付穴を利用し、MELSEC-Qシリーズが設置可能（追加穴加工不要）なベースアダプタのご使用を推奨します。

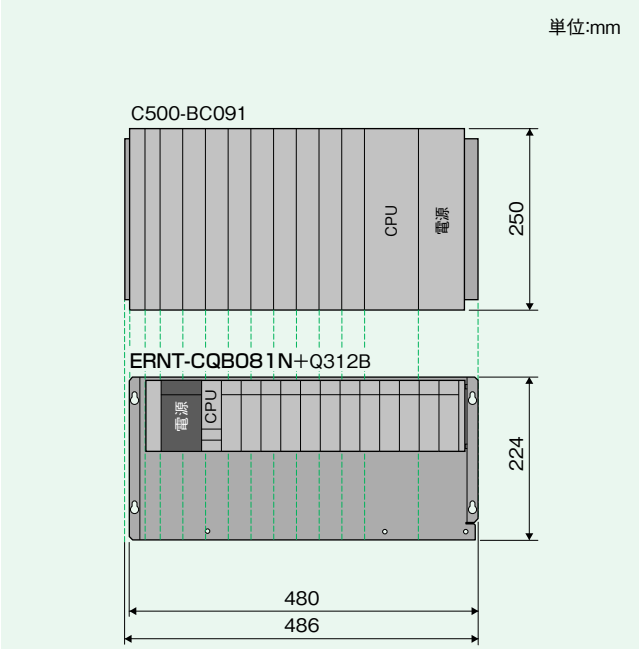
スロット位置

SYSMAC CシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するスロット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

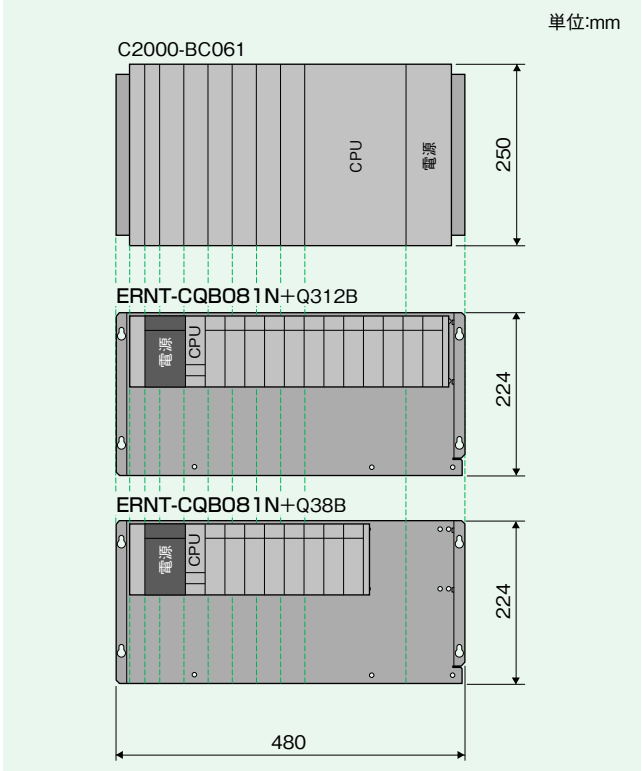
(1)C500-BC081/082⇒Q312B/Q38B



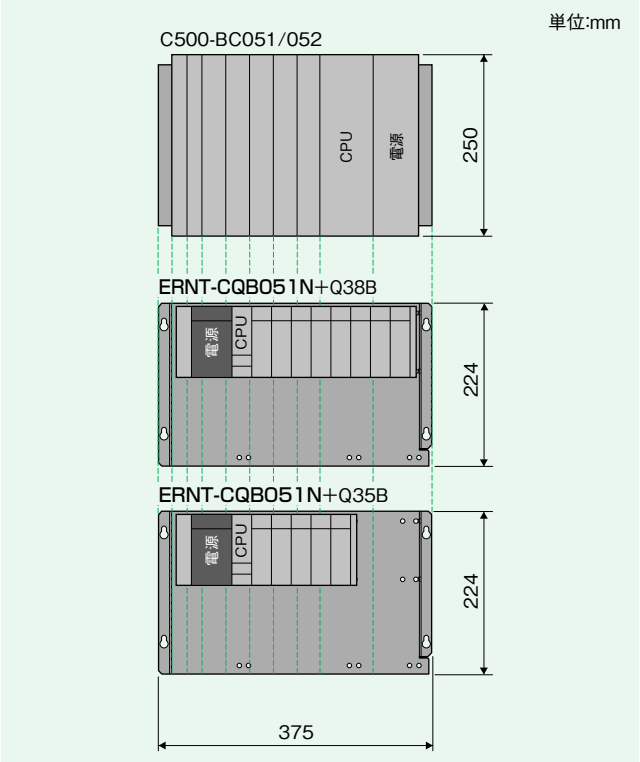
(2)C500-BC091⇒Q312B



(3)C2000-BC061⇒Q312B/Q38B

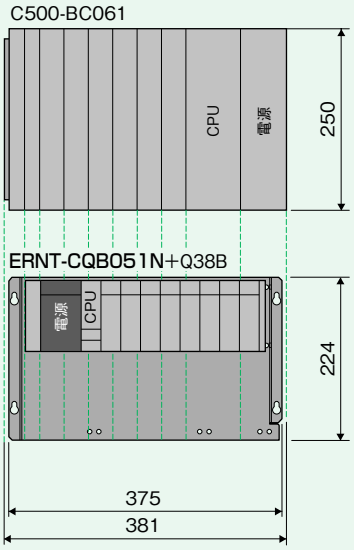


(4)C500-BC051/052⇒Q38B/Q35B



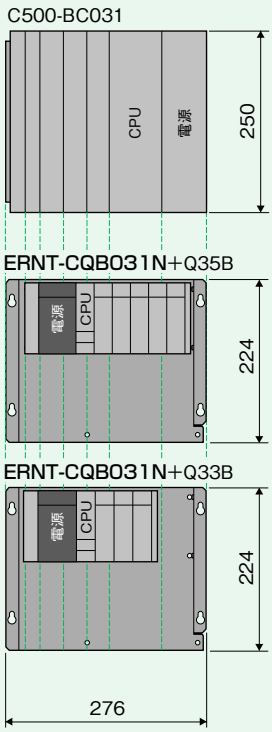
(5)C500-BC061⇒Q38B

単位:mm



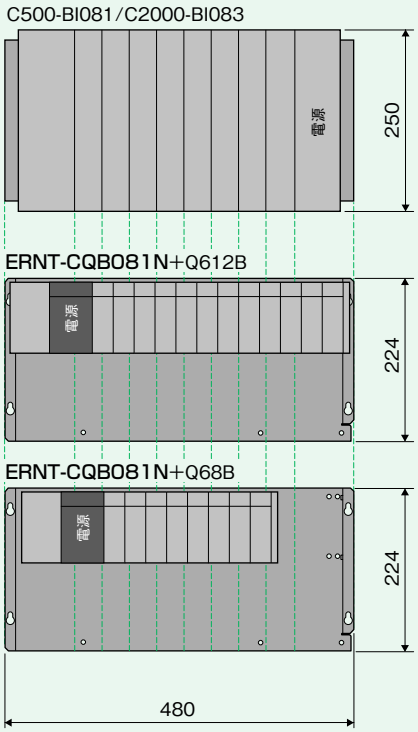
(6)C500-BC031⇒Q35B/Q33B

単位:mm



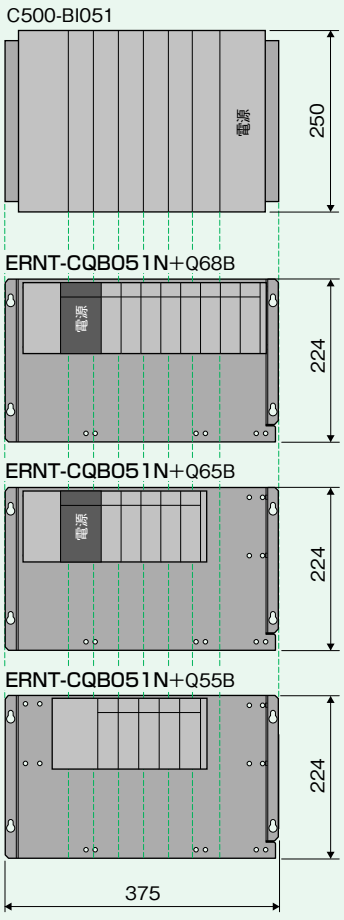
(7)C500-BI081/C2000-BI083 ⇒Q612B/Q68B

単位:mm



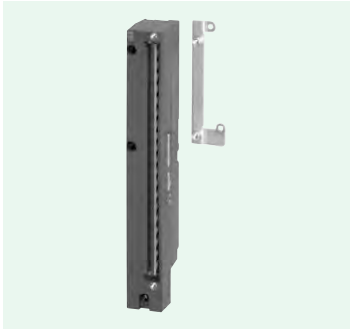
(8)C500-BI051⇒Q68B/Q65B/Q55B

単位:mm

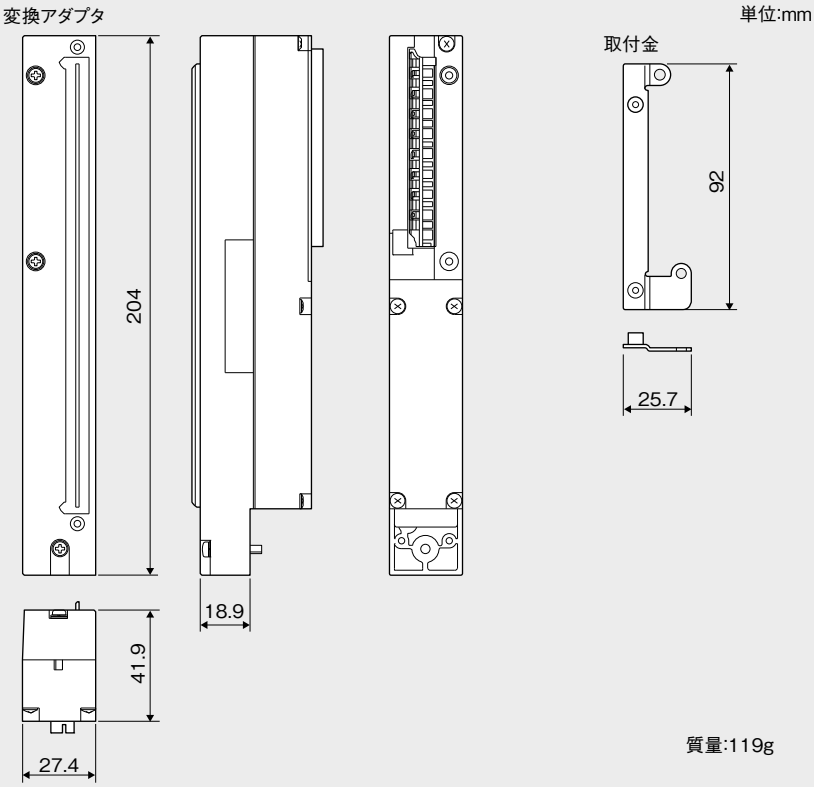


外形寸法図

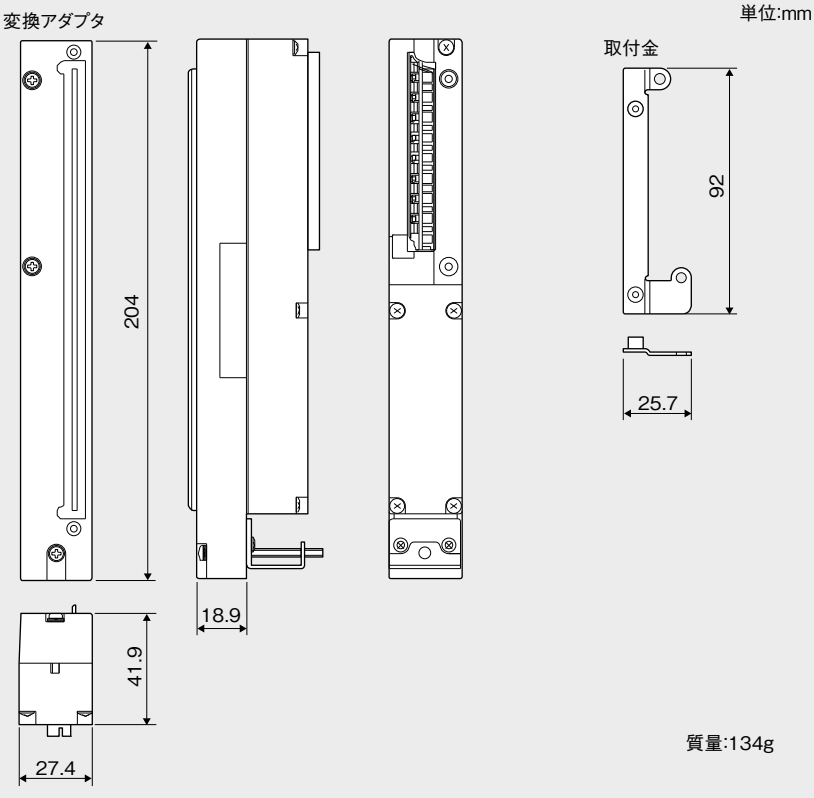
変換アダプタ



形名:
ERNT-CQTX121
ERNT-CQTX112213
ERNT-CQTY411
ERNT-CQTY219217
ERNT-CQTY221



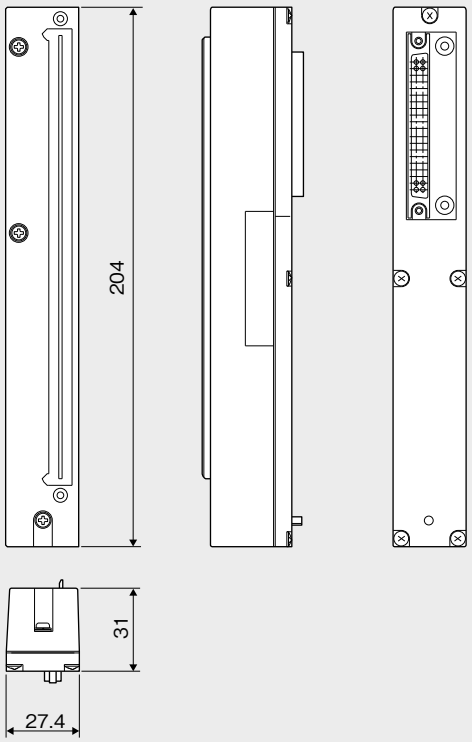
形名:
ERNT-CQTY226



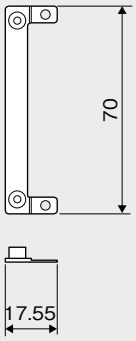
形名:
ERNT-CQTX215218
ERNT-CQTY412
ERNT-CQTY414218

単位:mm

変換アダプタ



取付金

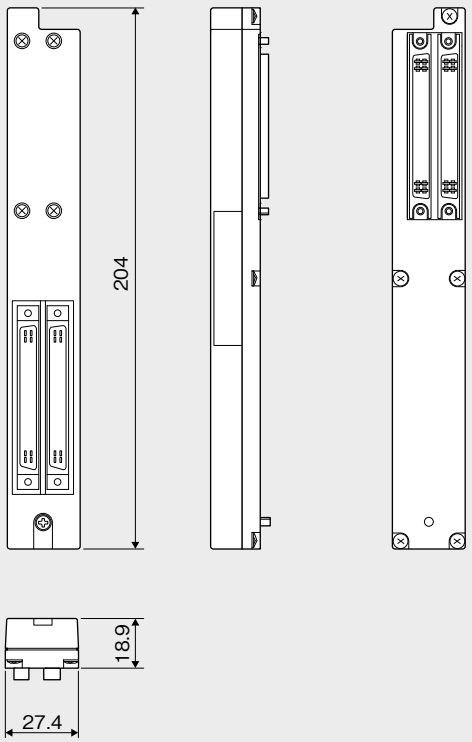


質量:109g

形名:
ERNT-CQCX114219
ERNT-CQCY213

単位:mm

変換アダプタ

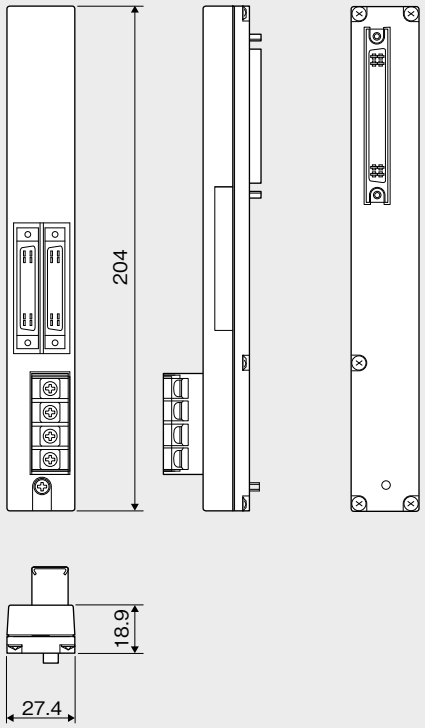


質量:102g

形名:
ERNT-CQCX218501
ERNT-CQCY415
ERNT-CQCY501

単位:mm

変換アダプタ



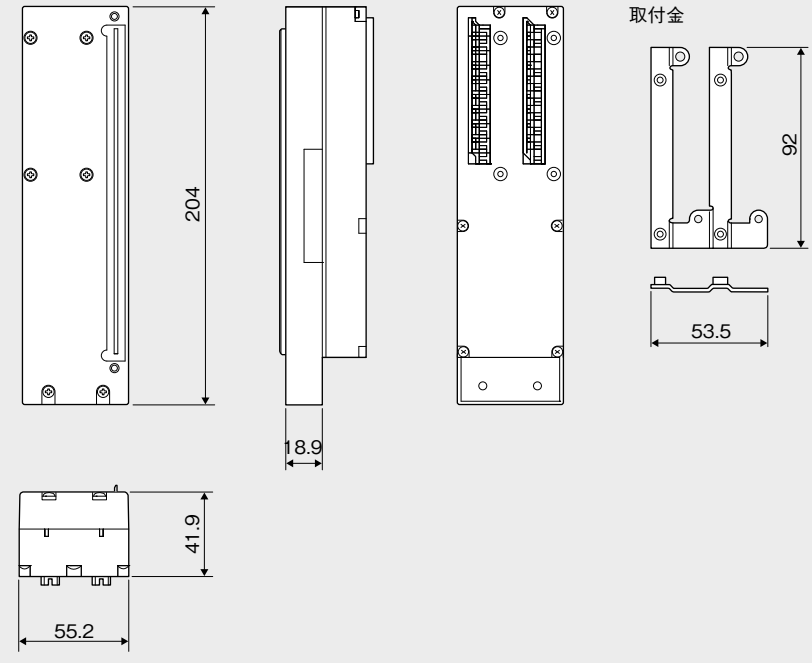
質量:101g

形名:
ERNT-CQTX122
ERNT-CQTY224
ERNT-CQTY218

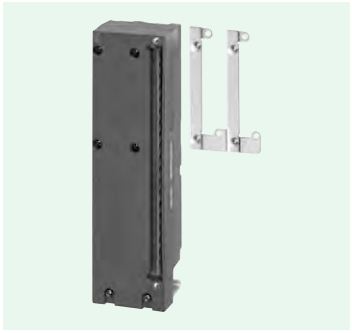
単位:mm

変換アダプタ

取付金



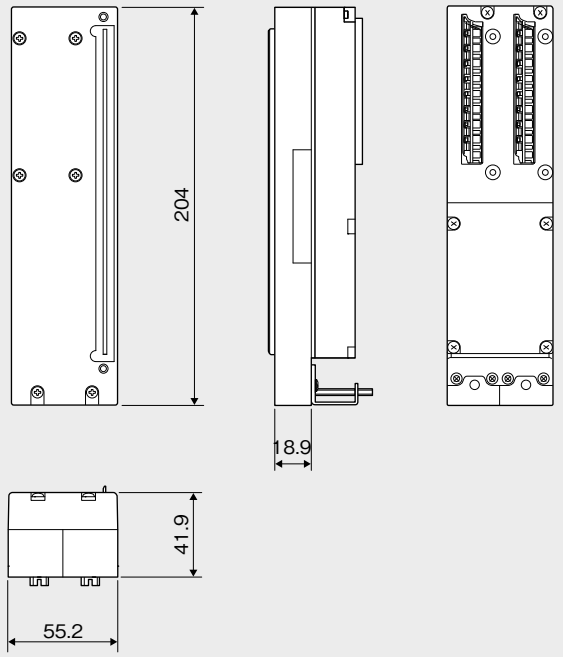
質量:250g



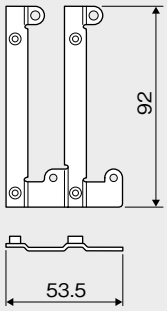
形名:
ERNT-CQTY225

単位:mm

変換アダプタ

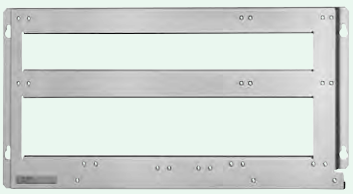


取付金



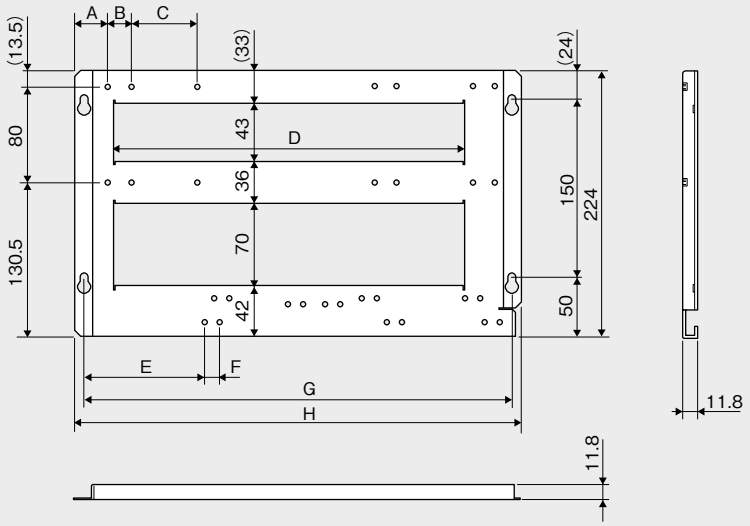
質量:280g

ベースアダプタ



形名:
ERNT-CQB081N
ERNT-CQB051N
ERNT-CQB031N

単位:mm

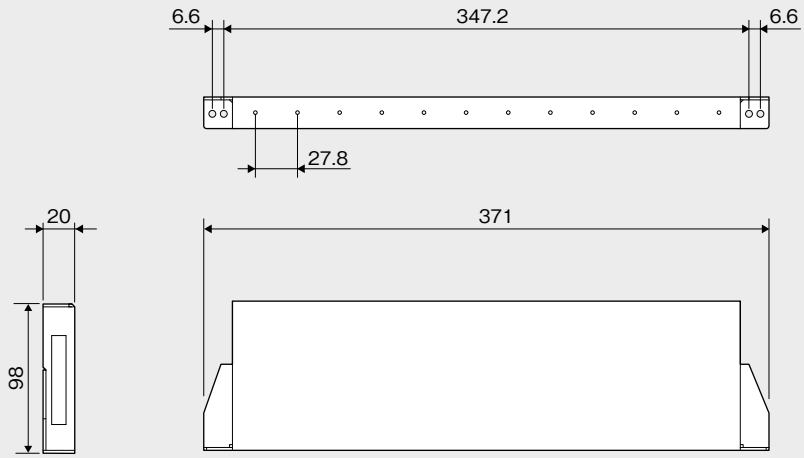


形　名	A	B	C	D	E	F	G	H	質量(g)
ERNT-CQB081N	27	14	–	401	108.8	–	465	480	892
ERNT-CQB051N	27	20.2	55.6	296	108.8	12.8	360	375	710
ERNT-CQB031N	29.3	–	–	197	111.1	–	255	276	542

変換アダプタ固定台

形名:
ERNT-QF12

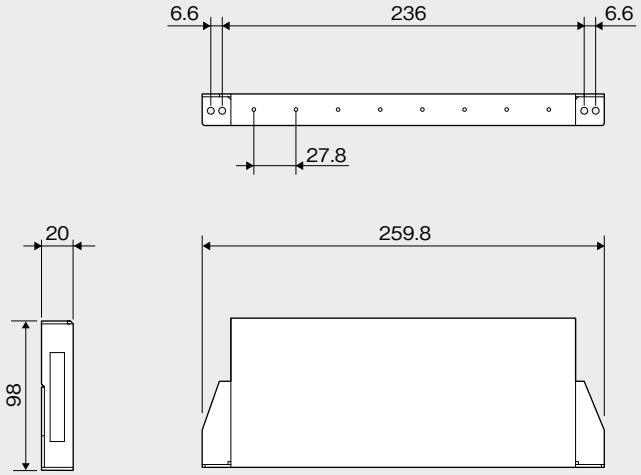
単位:mm



質量:620g

形名:
ERNT-QF8

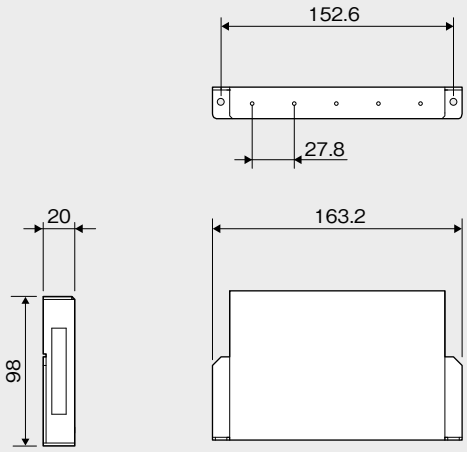
単位:mm



質量:435g

形名:
ERNT-QF5

単位:mm



質量:290g

Cシリーズ 小形タイプ（C200H/CS/CQM1）

SYSMAC CシリーズからMELSEC-Qシリーズへリニューアルする場合

■MELSEC-Qシリーズへ置換えが容易
オムロン株式会社製SYSMAC CシリーズPLCから、三菱電機株式会社製MELSEC-Qシリーズに置換えることが容易にできます。

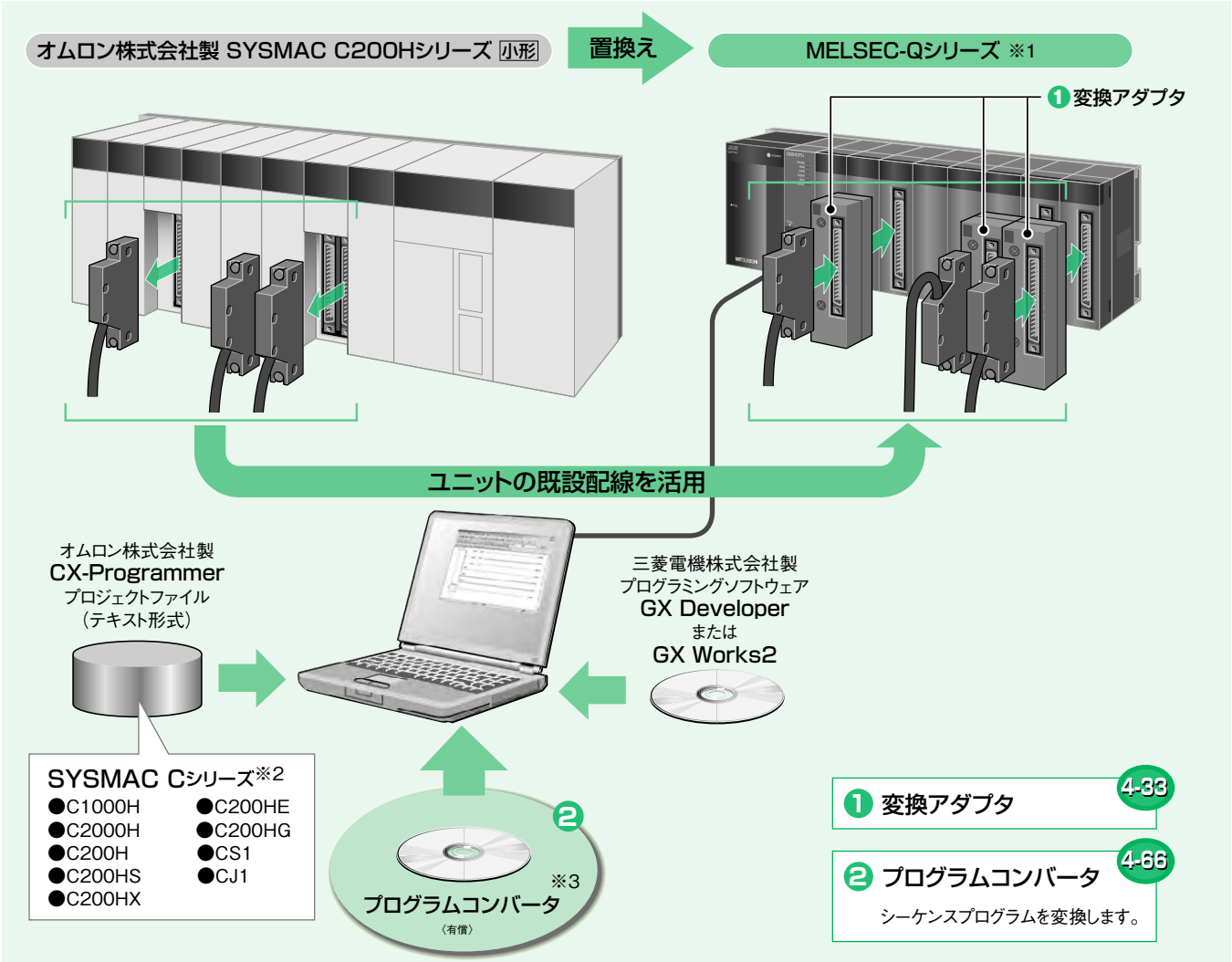
■入力／出力ユニットへの配線作業時間の大幅短縮／配線ミスの大幅低減
●SYSMAC Cシリーズの入力／出力ユニットに接続されていた配線は、変換アダプタを経由することで、MELSEC-Qシリーズにそのまま接続できます。
（一部、電源およびコモン端子の接続変更が必要となります。）

■シーケンスプログラムの流用が可能
●プログラムコンバータにより、SYSMAC Cシリーズのプログラムは、MELSEC-Qシリーズのプログラムに自動的に変換できます。
●自動変換ができない命令については、オンラインヘルプに表示される対処方法やサンプルプログラムを参照しながら置換えできます。

製品の概要

C200Hシリーズ対応品

本製品は、オムロン株式会社製SYSMAC Cシリーズ（小形タイプ:C200Hシリーズ）の入力/出力ユニットに接続されていたコネクタ既設配線を三菱電機株式会社製シーケンサMELSEC-Qシリーズの入力/出力ユニットに配線変更する「変換アダプタ」です。
「プログラムコンバータ」も使用することで、より簡単に置換えることが可能です。



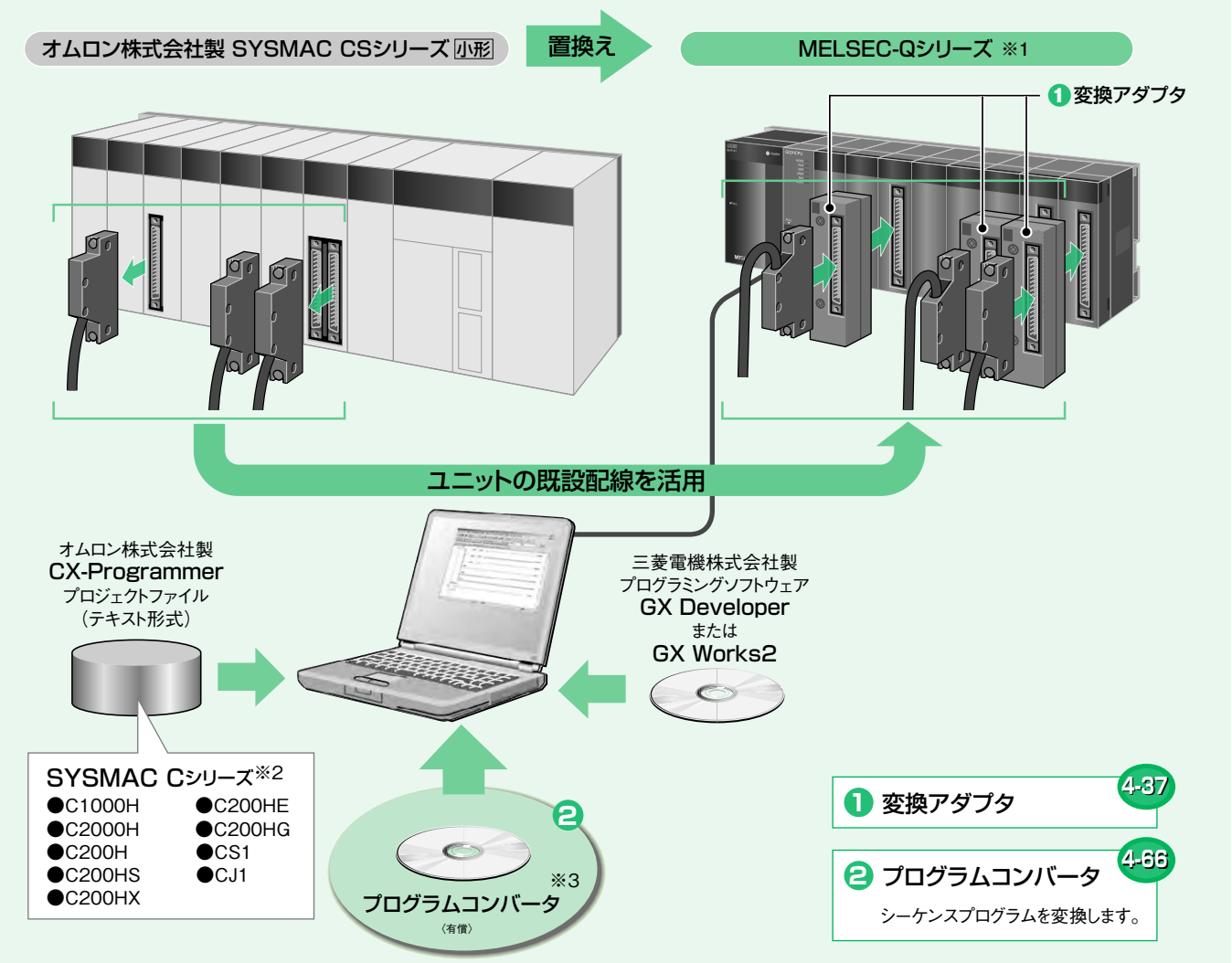
※1:オムロン株式会社製SYSMAC Cシリーズ（小形:C200H）からMELSEC-Qシリーズに置換える場合、ユニット幅寸法と奥行き寸法が異なりますので、取付け可否を確認してください。詳しくは、「ご使用上の注意点」（4-63ページ）を参照してください。

※2:変換するオムロンPLCのプロジェクトファイルが旧機種（C500等）の場合は、CX-Programmerでは読出せないため、CX-Programmer付属のファイル変換ユーティリティでプログラムコンバータに対応可能なシリーズのプログラムファイルに変換してください。

※3:プログラムコンバータは、SYSMAC Cシリーズ用シーケンスプログラムと制御機能が同じMELSEC-Qシリーズ用シーケンスプログラムの生成を手助けするものであって、ハードウェア面での性能、機能、制御方法の差異を吸収するものではありません。特に、SYSMAC Cシリーズ用高機能I/Oユニットやネットワークユニットに関連するシーケンス命令やそれらユニットに指令を出すシーケンスプログラムは、そのハードウェア構成や制御方法の違いから、MELSEC-Qシリーズに同機能のユニットが揃っていても変換後のシーケンスプログラムでは制御できない場合があります。以上のように、プログラムコンバータで変換されたシーケンスプログラムによって、制御する機器・設備の動作が保証されるものではありませんので、変換後のシーケンスプログラムの運用前には充分な機能確認をお客様にて実施していただくようお願いします。

CSシリーズ対応品

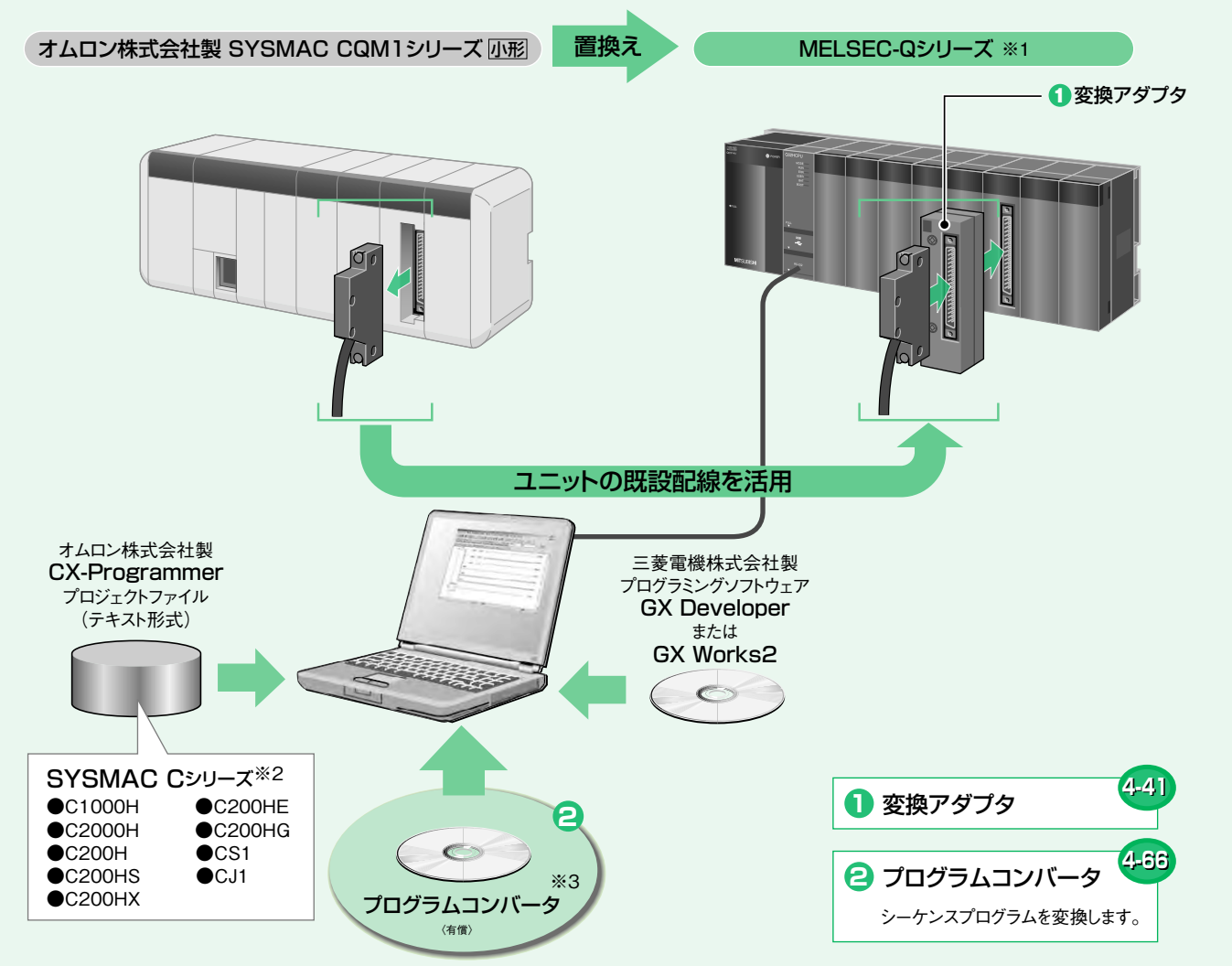
本製品は、オムロン株式会社製SYSMAC　Cシリーズ（小形タイプ:CSシリーズ）の入力/出力/入出力混合ユニットに接続されていたコネクタ既設配線を三菱電機株式会社製シーケンサMELSEC-Qシリーズの入力/出力ユニットに配線変更する「変換アダプタ」です。
「プログラムコンバータ」も使用することで、より簡単に置換えることが可能です。



※1:オムロン株式会社製SYSMAC　Cシリーズ（小形:CS）からMELSEC-Qシリーズに置換える場合、ユニット幅寸法と奥行き寸法が異なりますので、取付け可否を確認してください。詳しくは「ご使用上の注意点」（4-63ページ）を参照してください。
※2:変換するオムロンPLCのプロジェクトファイルが旧機種（C500等）の場合は、CX-Programmerでは読出せないため、CX-Programmer付属のファイル変換ユーティリティでプログラムコンバータに対応可能なシリーズのプログラムファイルに変換してください。
※3:プログラムコンバータは、SYSMAC Cシリーズ用シーケンスプログラムと制御機能が同じMELSEC-Qシリーズ用シーケンスプログラムの生成を手助けするものであって、ハードウェア面での性能、機能、制御方法の差異を吸収するものではありません。特に、SYSMAC Cシリーズ用高機能I/Oユニットやネットワークユニットに関連するシーケンス命令やそれらユニットに指令を出すシーケンスプログラムは、そのハードウェア構成や制御方法の違いから、MELSEC-Qシリーズに同機能のユニットが揃っていても変換後のシーケンスプログラムでは制御できない場合があります。以上のように、プログラムコンバータで変換されたシーケンスプログラムによって、制御する機器・設備の動作が保証されるものではありませんので、変換後のシーケンスプログラムの運用前には充分な機能確認をお客様にて実施していただくようお願いします。

CQM1シリーズ対応品

本製品は、オムロン株式会社製SYSMAC　Cシリーズ（小形タイプ:CQM1シリーズ）の入力/出力ユニットに接続されていたコネクタ既設配線を三菱電機株式会社製シーケンサMELSEC-Qシリーズの入力/出力ユニットに配線変更する「変換アダプタ」です。
「プログラムコンバータ」も使用することで、より簡単に置換えることが可能です。

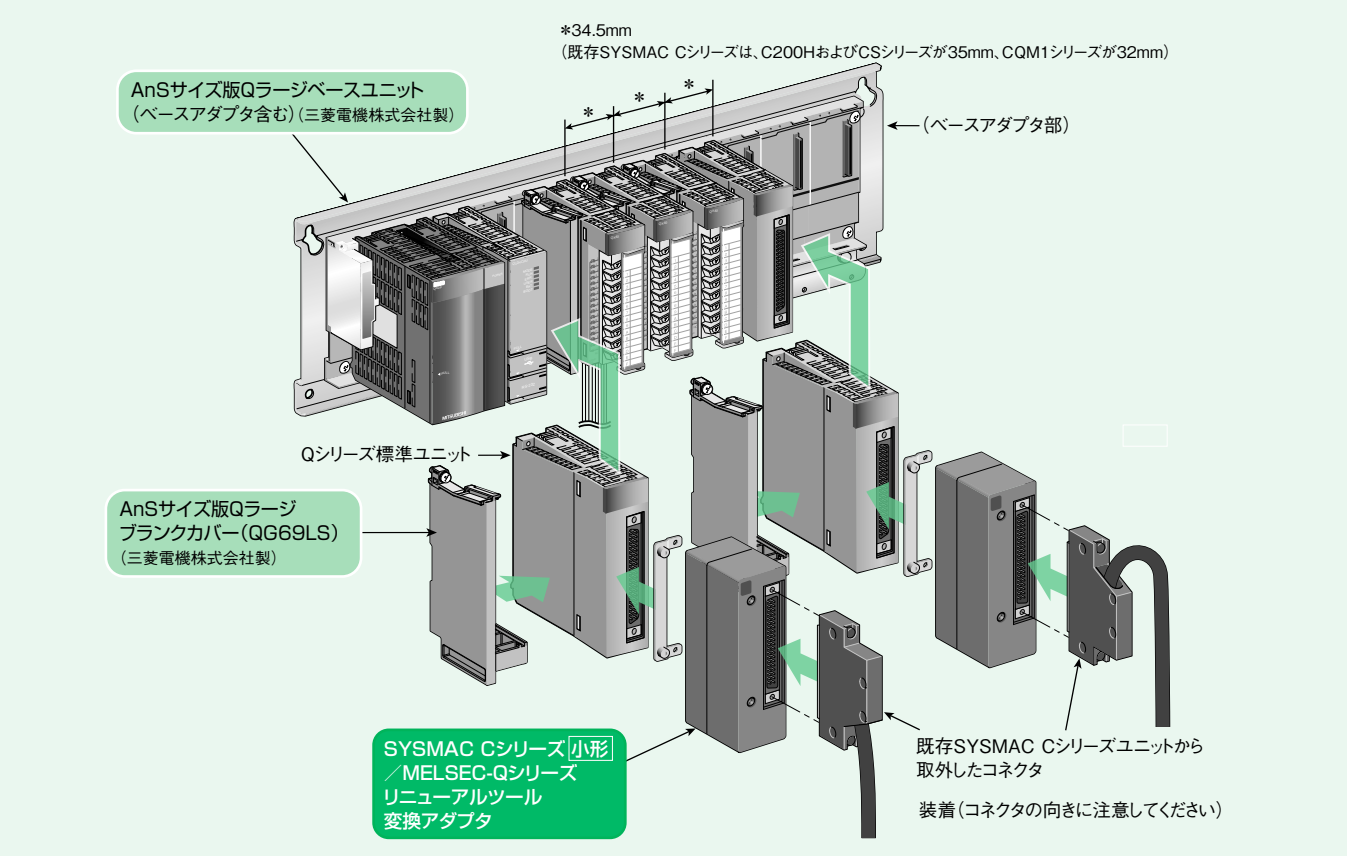


※1:オムロン株式会社製SYSMAC Cシリーズ（小形:CQM1）からMELSEC-Qシリーズに置換える場合、ユニット幅寸法と奥行き寸法が異なりますので、取付け可否を確認してください。詳しくは「ご使用上の注意点」（4-63ページ）を参照してください。
※2:変換するオムロンPLCのプロジェクトファイルが旧機種（C500等）の場合は、CX-Programmerでは読出せないため、CX-Programmer付属のファイル変換ユーティリティでプログラムコンバータに対応可能なシリーズのプログラムファイルに変換してください。
※3:プログラムコンバータは、SYSMAC Cシリーズ用シーケンスプログラムと制御機能が同じMELSEC-Qシリーズ用シーケンスプログラムの生成を手助けするものであって、ハードウェア面での性能、機能、制御方法の差異を吸収するものではありません。特に、SYSMAC Cシリーズ用高機能I/Oユニットやネットワークユニットに関連するシーケンス命令やそれらユニットに指令を出すシーケンスプログラムは、そのハードウェア構成や制御方法の違いから、MELSEC-Qシリーズに同機能のユニットが揃っていても変換後のシーケンスプログラムでは制御できない場合があります。以上のように、プログラムコンバータで変換されたシーケンスプログラムによって、制御する機器・設備の動作が保証されるものではありませんので、変換後のシーケンスプログラムの運用前には充分な機能確認をお客様にて実施していただくようお願いします。

三菱電機株式会社製

AnSサイズ版Qラージベースユニットを活用したリニューアル

三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニット（Q□□BLS、Q□□BLS-D）を使用することで、MELSEC-Qシリーズ端子台ユニットへの再配線領域がMELSEC-Qシリーズベースユニット使用時（27.4mm）と比較して広く確保できます。



AnSサイズ版Qラージベースユニット一覧

形名		内容	スロット数
盤面取付タイプ	DINレール取付タイプ		
Q38BLS	Q38BLS-D	基本ベースユニット	8
Q35BLS	Q35BLS-D		5
Q68BLS	Q68BLS-D	増設ベースユニット（電源あり）	8
Q65BLS	Q65BLS-D		5
Q55BLS	Q55BLS-D	増設ベースユニット（電源なし）	5

AnSサイズ版Qラージブランクカバー

形　名	内　容
QG69LS	ユニット間の隙間調整用備品

機種一覧

❶ 変換アダプタ

入力/出力ユニット用〈1スロットタイプ〉

C200Hシリーズ対応品

入力/出力	置換前 SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	注意事項		変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 SYSMAC Cシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力/出力点数	掲載ページ
入力	C200H-ID216 C200H-ID218	QX41、QX41-S1、QX41-S2	※3	※1	ERNT-2CQ216X218X	コネクタ(40P)	コネクタ(40P)	32点	4-33
	C200H-ID217 C200H-ID219	QX41 × 2台、QX41-S1 × 2台、QX41-S2 × 2台		※2 ※4	ERNT-2CQ216X218X × 2台	コネクタ(40P) × 2	コネクタ(40P) × 2台	64点	4-33
	C200H-ID111	QX71 × 2台		※2					
出力	C200H-OD218	QY41P、QY71		—	ERNT-2CQ218Y	コネクタ(40P)	コネクタ(40P)	32点	4-35
	C200H-OD219	QY41P × 2台、QY71 × 2台		※2	ERNT-2CQ218Y × 2台	コネクタ(40P) × 2	コネクタ(40P) × 2台	64点	4-35

※1：既存ユニットをDC24V マイナスコモンで使用の場合は、QX81またはQX81-S2への再配線をご検討ください。
※2：C200H-ID217、C200H-ID219、C200H-ID111およびC200H-OD219からの置換えの場合、MELSEC-Qユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要です。
※3：SYSMAC Cシリーズの各ユニット形名末尾に「-N」が付加する機種は、付属コネクタの有無の差となりますので省略しています。
※4：既存ユニットをDC24V マイナスコモンで使用の場合は、QX82またはQX82-S2への再配線をご検討ください。

CSシリーズ対応品

入力/出力	置換前 SYSMAC Cシリーズ ユニット形名		置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	注意事項		変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 SYSMAC Cシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力/出力点数	掲載ページ
入力	CS1W-ID231		QX41、QX41-S1、QX41-S2	※5	※6	ERNT-2CQ216X218X	コネクタ(40P)	コネクタ(40P)	32点	4-37
	CS1W-ID261		QX41 × 2台、QX41-S1 × 2台、QX41-S2 × 2台		※7	ERNT-2CQ216X218X × 2台	コネクタ(40P) × 2	コネクタ(40P) × 2台	64点	4-37
出力	CS1W-OD231		QY41P、QY71		※8	ERNT-2CQ218Y	コネクタ(40P)	コネクタ(40P)	32点	4-39
	CS1W-OD261		QY41P × 2台、QY71 × 2台		※9	ERNT-2CQ218Y × 2台	コネクタ(40P) × 2	コネクタ(40P) × 2台	64点	4-39
入出力混合	CS1W-MD261	入力部	QX41、QX41-S1、QX41-S2		※6	ERNT-2CQ216X218X	コネクタ(40P)	コネクタ(40P)	32点	4-37
		出力部	QY41P、QY71		※5	ERNT-2CQ218Y				4-39
	CS1W-MD561	入力部	QX71		※10	ERNT-2CQ216X218X				4-37
		出力部	QY71		—	ERNT-2CQ218Y				4-39
	CS1W-MD262	入力部	QX41、QX41-S1、QX41-S2		※6	ERNT-2CQ216X218X				4-37
		出力部	QY81P		—	—（再配線が必要）	—	—	—	

※5：1コモンあたりのI/O点数が、16点/1コモン→32点/1コモン となるため、既存ユニットのコモン接続をご確認ください。
※6：既存ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、QX40 2台、またはQX80 2台への再配線をご検討ください。
既存ユニットをマイナスコモンで使用の場合は、QX81またはQX81-S2への再配線をご検討ください。
※7：CS1W-ID261からの置換えの場合、MELSEC-Qユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要です。
既存ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、QX40 4台またはQX80 4台への再配線をご検討ください。
既存ユニットをマイナスコモンで使用の場合は、QX82またはQX82-S1への再配線をご検討ください。
※8：CS1W-OD231/CS1W-MD261（出力部）→QY41P/QY71への置換えで、既存ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、QY40P 2台またはQY70 2台への再配線をご検討ください。
※9：CS1W-OD261からの置換えの場合、MELSEC-Qユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要です。
また、CS1W-OD261→ QY41P/QY71 2台への置換えで、既存ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、QY40P 4台またはQY70 4台への再配線をご検討ください。
※10：既存ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、QX70 2台への再配線をご検討ください。

CQM1シリーズ対応品

入力/出力	置換前 SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	注意事項	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 SYSMAC Cシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力/出力点数	掲載ページ
入力	CQM1-ID213 CQM1-ID214	QX41、QX41-S1、QX41-S2	※11	ERNT-2CQ216X218X	コネクタ(40P)	コネクタ(40P)	32点	4-41
	CQM1-ID112	QX71	—					
出力	CQM1-OD213	QY41P、QY71	—	ERNT-2CQ218Y				4-42

※11：既存ユニットをマイナスコモンで使用の場合は、QX81、またはQX81-S2への再配線をご検討ください。

☆ユニバーサル変換アダプタの活用

下表に示す入力/出力ユニットは非対応となります。但し、ユニバーサル変換アダプタの活用をいただくことで、再配線が必要となりますがご使用いただけます。
なお、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

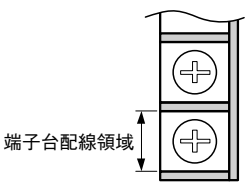
入力/出力ユニット用

入力/出力	置換前 SYSMAC Cシリーズユニット			置換後 MELSEC-Qシリーズユニット				ユニバーサル変換アダプタの活用
	形　名	仕　様	点数	形　名	仕　様	点数	必要台数	
入力	C200H-IA121	AC100～120V	8点	QX10	AC100-120V	16点	1台	※16
	C200H-IA122		16点					
	C200H-IA122V							
	C200H-IA221	AC200～240V	8点	QX28	AC100-240V	8点	1台	
	C200H-IA222		16点				2台	
	C200H-IA222V							
	C200H-ID001※13※14	無電圧接点入力 NPNタイプ出力用	8点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台	
	C200H-ID002※13※14	無電圧接点入力 PNPタイプ出力用		QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台	
	C200H-ID211※12	DC12～24V プラス/マイナスコモン共用	8点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台	
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台	
				QX70	DC5/12V プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	
	C200H-ID212	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台	
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台	
	C200H-IM211※12	AC/DC12～24V	8点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台	
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台	
				QX70	DC5/12V プラス/マイナスコモン共用	16点	1台	
	C200H-IM212	AC/DC24V	16点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台	
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台	
	CS1W-IA111	AC/DC100～120V	16点	QX10	AC100-120V	16点	1台	
	CS1W-IA211	AC200～240V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台	
	CS1W-ID211	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台	
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台	
出力	C200H-OA221	最大AC250V 1A	8点	QY22	AC100-240V	16点	1台	
	C200H-OA222	最大AC250V 0.5A	12点					
	C200H-OA222V	最大AC250V 0.3A	12点					
	C200H-OA223	最大AC250V 1.2A	8点					
	C200H-OA224	最大AC250V 0.5A	12点					
	C200H-OC221※12	最大AC250V/DC24V 2A	8点	QY10	AC240V DC24V	16点	1台	
	C200H-OC222		12点					
	C200H-OC222N							
	C200H-OC222V							
	C200H-OC225		16点					
	C200H-OC226							
	C200H-OC226N							
	C200H-OC223	最大AC250V/DC24V 2A 独立接点	5点	QY18A	AC240V DC24V 独立	8点	1台	
	C200H-OC224		8点					
	C200H-OC224N							
	C200H-OC224V							
	C200H-OD411※12	DC12～48V 1A シンク	8点	QY40P	DC12-24V シンク	16点	1台	
	C200H-OD211	DC24V 0.3A シンク	12点					
	C200H-OD212		16点					
	C200H-OD213※12	DC24V 2.1A シンク	8点					
	C200H-OD214	DC24V 0.8A ソース	8点	QY80	DC12-24V ソース	16点	1台	
	C200H-OD216※15	DC5～24V 0.3A ソース	8点					
	C200H-OD217※15		12点					
	C200H-OD21A	DC24V 1A ソース	16点					
	CS1W-OC201	AC250V/DC24V 2A、DC120V 0.1A 独立接点	8点	QY18A	AC240V DC24V 独立	8点	1台	
	CS1W-OC211	AC250V/DC24V 2A、DC120V 0.1A	16点	QY10	AC240V DC24V	16点	1台	
	CS1W-OA201	AC250V 1.2A	8点	QY22	AC100-240V	16点	1台	
	CS1W-OA211	AC250V 0.5A	16点					
	CS1W-OD211	DC12～24V 0.5A シンク	16点	QY40P	DC12-24V シンク	16点	1台	
	CS1W-OD212	DC24V 0.5A ソース	16点	QY80	DC12-24V ソース	16点	1台	

※12：DC24V/8点/プラスコモンの入力ユニットとDC12-24V/8点/シンクタイプの出力ユニットを1台ずつご使用の場合は、
QX48Y57（入力8点、出力7点の入出力混合ユニット）への置換えを検討してください。ただし、出力は7点しかないため注意してください。
※13：配線側にて追加電源入力が必要です。
※14：DC5Vまたは12Vで使用する場合は、QX70（プラス/マイナスコモン共用）への置換えをご検討ください。
※15：定格入力電圧をDC12～24Vで使用していない場合は電源電圧を変更する必要があります。
※16：ユニバーサル変換アダプタ（7-6ページ参照）を置換えに活用いただけます。

〈参考：圧着端子および電線仕様〉

項　目	置換前 SYSMAC Cシリーズユニット	置換後 MELSEC-Qシリーズユニット	ユニバーサル変換アダプタ
圧着端子サイズ	M3.5	M3	M3.5
端子台配線領域	7mm	6mm	7.3mm



☆変換アダプタ非対応機種の置換え案

下表に示す入力/出力ユニットは変換アダプタ非対応のため、再配線による置換えをご検討ください。

入力/出力ユニット用

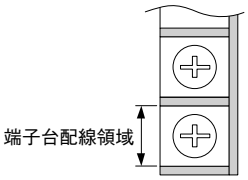
入力/出力	置換前 SYSMAC Cシリーズユニット			置換後 MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕　様	点数	形　名	仕　様	点数	必要台数
入力	CQM1H-CPU61※16 CQM1H-CPU51※16 CQM1H-CPU21※16 CQM1H-CPU11※16	DC24V プラス/マイナス コモン共用	16点	QX40、QX40-S1、 QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台
	CQM1-ID211	DC12～24V 独立コモン	8点	なし			
	CQM1-ID111	DC12V プラス/マイナス コモン共用	16点	QX70	DC5/12V プラス/マイナス コモン共用	16点	1台
	CQM1-ID212	DC24V プラス/マイナス コモン共用	16点	QX40、QX40-S1、 QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台
	CQM1-IA121	AC100～120V	8点	QX10	AC100-120V	16点	1台
	CQM1-IA221	AC200～240V	8点	QX28	AC100-240V	8点	1台
出力	CQM1-OC221 CQM1-OC224	AC250V/DC24V 2A 独立コモン	8点	QY18A	AC240V DC24V 独立	8点	1台
	CQM1-OC222	AC250V/DC24V 2A	16点	QY10	AC240V DC24V	16点	1台
	CQM1-OD211	DC24V 2A シンク	8点	QY40P	DC12-24V シンク	16点	1台
	CQM1-OD212	DC4.5V～26.4V シンク	16点	QY40P	DC12-24V シンク	16点	1台
				QY70	DC5-12V シンク	16点	1台
	CQM1-OD214※17	DC4.5V～26.4V ソース	16点	QY80	DC12-24V ソース	16点	1台
	CQM1-OD215	DC24V 1.0A ソース	8点				
	CQM1-OA221 CQM1-OA222	AC100～240V 0.4A	8点	QY22	AC100-240V	16点	1台

※16：置換え後として示しているユニットは入力ユニットです。CPUユニットについては、別途ご選定ください。
※17：定格入力電圧をDC12～24Vで使用していない場合は電源電圧を変更する必要があります。

〈参考：圧着端子および電線仕様〉

項　目	置換前 SYSMAC Cシリーズユニット	置換後 MELSEC-Qシリーズユニット
圧着端子サイズ	M3※18	M3
端子台配線領域	6.2mm※18	6mm

※18：横幅6.2mm以下の圧着端子が指定されているため、MELSEC-Qの端子台に入らない可能性があるため、ご注意ください。



Memo

変換アダプタ

仕　様

入力／出力ユニット用

1スロットタイプ（三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニット（Q□□BLS、Q□□BLS-D）にも取付け可能）

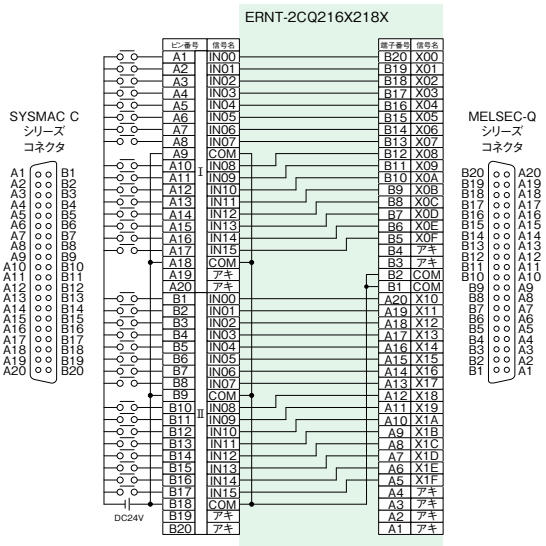
C200Hシリーズ対応品

(1)ERNT-2CQ216X218X

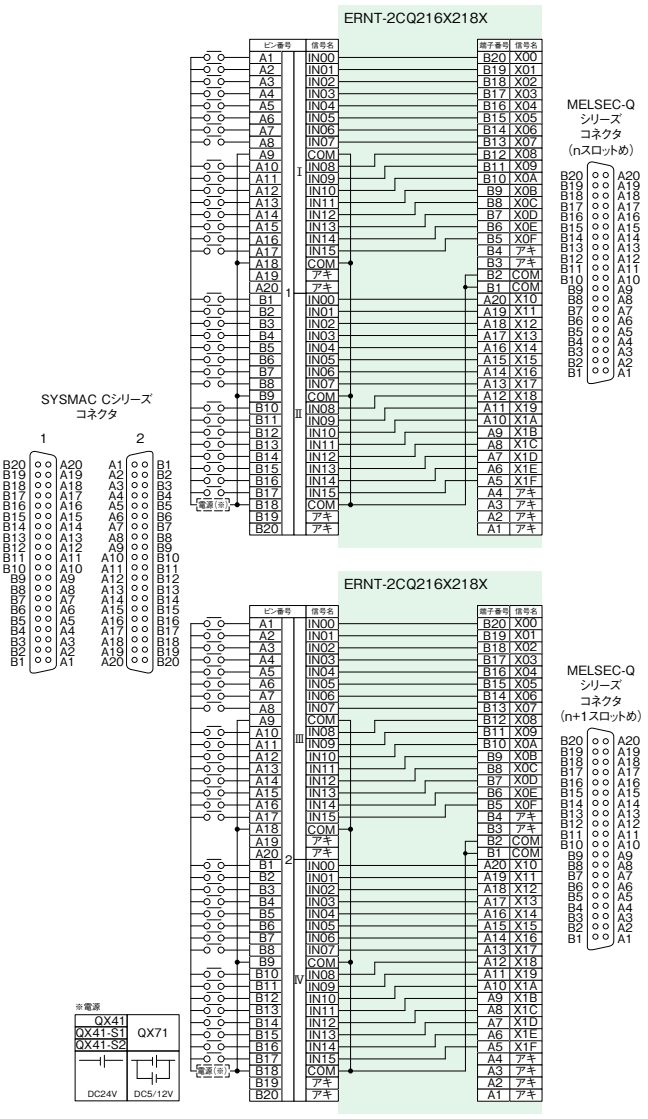
変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-2CQ216X218X	C200H-ID216 C200H-ID218	32点	QX41 QX41-S1 QX41-S2
ERNT-2CQ216X218X × 2台	C200H-ID217 C200H-ID219	64点	QX41 × 2台 QX41-S1 × 2台 QX41-S2 × 2台
	C200H-ID111		QX71 × 2台

（注）C200H-ID217、C200H-ID219およびC200H-ID111からの置換えの場合、MELSEC-Qシリーズユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要となります。

C200H-ID216/C200H-ID218
→QX41/QX41-S1/QX41-S2 の場合



C200H-ID217/C200H-ID219
→ QX41/QX41-S1/QX41-S2 × 2 台の場合
C200H-ID111 → QX71 ×2 台の場合



〈仕様比較表〉

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ				MELSEC-Qシリーズ		
		C200H-ID216（プラス/マイナスコモン共用タイプ）	C200H-ID218（プラス/マイナスコモン共用タイプ）	C200H-ID217（プラス/マイナスコモン共用タイプ）	C200H-ID219（プラス/マイナスコモン共用タイプ）	QX41（プラスコモンタイプ）	QX41-S1（プラスコモンタイプ）	QX41-S2（プラスコモンタイプ）
入力点数		32点	32点	64点	64点	32点	32点	32点
定格入力電圧		DC24V	DC24V	DC24V	DC24V	DC24V	DC24V	DC24V
定格入力電流		約4.1mA	約6mA	約4.1mA	約6mA	約4mA	約4mA	約6mA
入力インピーダンス		5.6kΩ	3.9kΩ	5.6kΩ	3.9kΩ	約5.6kΩ	約5.6kΩ	約3.6kΩ
突入電流		—	—	—	—	—	—	—
動作電圧/電流	ON	14.4V	15.4V/3.5mA	14.4V	15.4V/3.5mA	19V/3mA	19V/3mA	15V/3mA
	OFF	5.0V	5.0V/1mA	5.0V	5.0V/1mA	11V/1.7mA	9.5V/1.5mA	5V/1.7mA
応答時間	OFF→ON	1.0ms以下	1.0ms以下	1.0ms以下	1.0ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	1.0ms以下	1.0ms以下	1.0ms以下	1.0ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外部接続		40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ × 2	40ピンコネクタ × 2	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ

（注）1. 既存ユニットをマイナスコモンで使用の場合は、QX81またはQX81-S2への再配線をご検討ください。
2. □ は、SYSMAC Cシリーズ（C200Hシリーズ）とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なり、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。
接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。
3. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ	MELSEC-Qシリーズ
		C200H-ID111（プラス/マイナスコモン共用タイプ）	QX71（プラス/マイナスコモン共用タイプ）
入力点数		64点	32点
定格入力電圧		DC12V	DC5/12V
定格入力電流		約4.1mA	約3.3mA（DC12V）
入力インピーダンス		2.7kΩ	約3.3kΩ
突入電流		—	—
動作電圧/電流	ON	8.0V	3.5V/1mA
	OFF	3.0V	1V/0.1mA
応答時間	OFF→ON	1.0ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	1.0ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		32点1コモン	32点1コモン
外部接続		40ピンコネクタ × 2	40ピンコネクタ

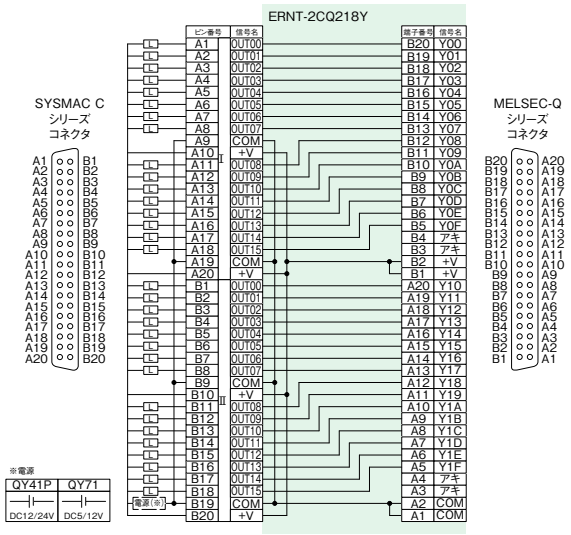
（注）1. □ は、SYSMAC Cシリーズ（C200Hシリーズ）とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なり、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。
接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。
2. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(2)ERNT-2CQ218Y

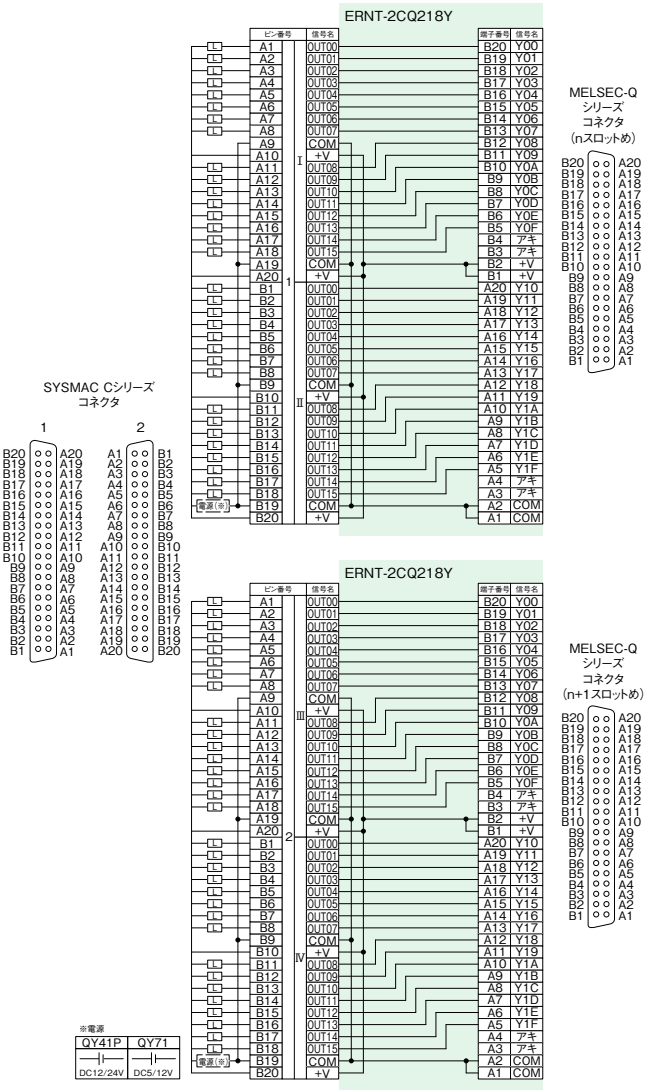
変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-2CQ218Y	C200H-OD218	32点	QY41P QY71
ERNT-2CQ218Y × 2台	C200H-OD219	64点	QY41P × 2台 QY71 × 2台

(注) C200H-OD219からの置換えの場合、MELSEC-Qシリーズユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要となります。

C200H-OD218→QY41P/QY71 の場合



C200H-OD219→QY41P/QY71×2 台の場合



〈仕様比較表〉

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ		MELSEC-Qシリーズ	
		C200H-OD218（シンクタイプ）	C200H-OD219（シンクタイプ）	QY41P（シンクタイプ）	QY71（シンクタイプ）
出力点数		32点	64点	32点	32点
定格負荷電圧		DC4.5-26.4V	DC4.5-26.4V	DC12/24V	DC5/12V
最大負荷電流		16mA/1点（DC4.5V） 100mA/1点（DC26.4V）	16mA/1点（DC4.5V） 100mA/1点（DC26.4V）	0.1A/1点 2A/1コモン	16mA/1点 512mA/1コモン
最小負荷電流		—	—	—	—
最大突入電流		—	—	0.7A 10ms	40mA 10ms
OFF時漏洩電流		0.1mA以下	0.1mA以下	0.1mA以下	—
OFF時出力電圧		—	—	—	V_{OH}：DC3.5V
ON時電圧降下		0.8V以下	0.8V以下	0.2V以下（0.1A）	V_{OL}：DC0.3V
応答時間	OFF→ON	0.1ms以下	0.1ms以下	1ms以下	0.5ms以下
	ON→OFF	0.4ms以下	0.4ms以下	1ms以下（抵抗負荷）	0.5ms以下（抵抗負荷）
サージキラー		ツェナーダイオード	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		あり（コモンに3.5A）	あり（コモンに3.5A）	なし（保護機能あり（サーマルプロテクト・短絡プロテクト））	あり（コモンに1.6A）
外部供給電源		DC5-24V	DC5-24V	DC12/24V	DC5/12V
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外部接続		40ピンコネクタ	40ピンコネクタ × 2	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ

（注）1. □ は、SYSMAC Cシリーズ（C200Hシリーズ）とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なり、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。
接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。
2. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

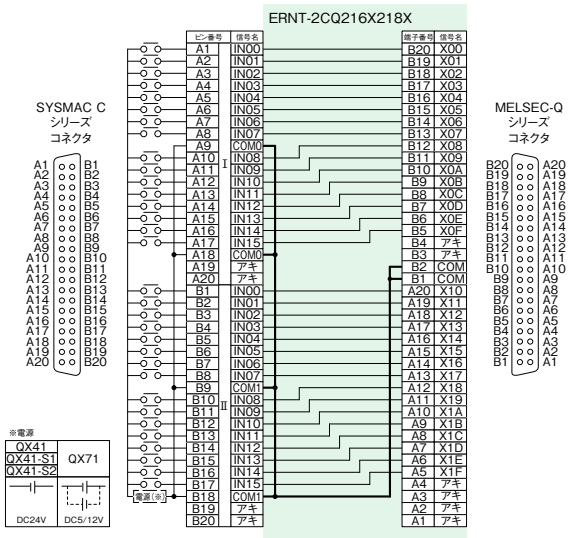
CSシリーズ対応品

(1)ERNT-2CQ216X218X

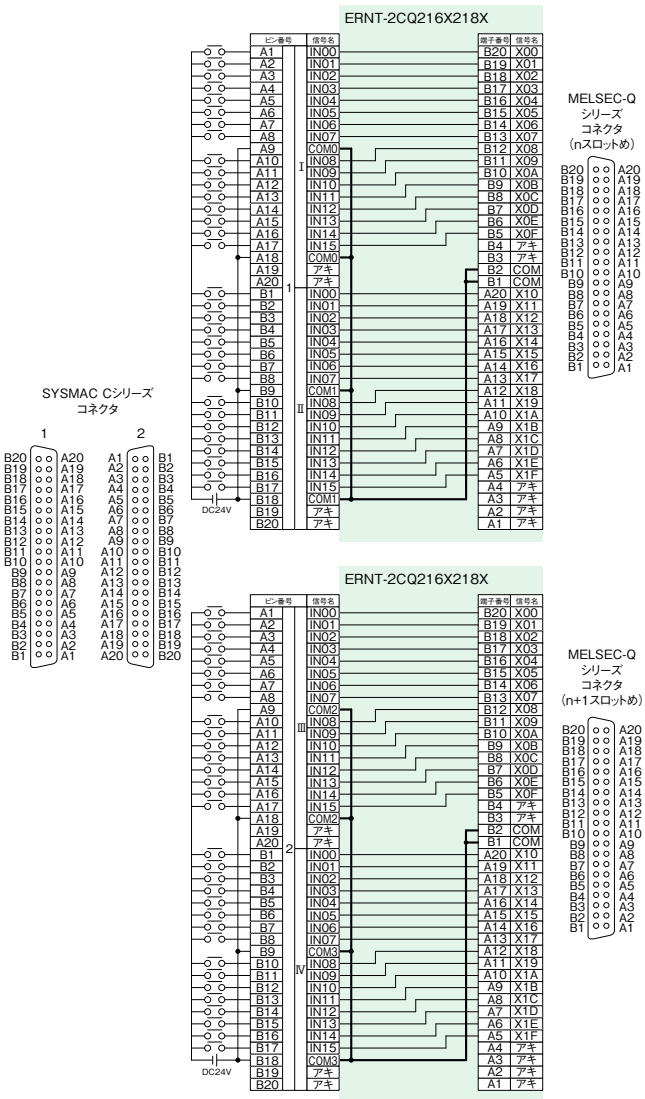
変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-2CQ216X218X	CS1W-ID231 CS1W-MD261(入力部) CS1W-MD262(入力部)	32点	QX41 QX41-S1 QX41-S2
	CS1W-MD561(入力部)		QX71
ERNT-2CQ216X218X × 2台	CS1W-ID261	64点	QX41 × 2台 QX41-S1 × 2台 QX41-S2 × 2台

(注) CS1W-ID261からの置換えの場合、MELSEC-Qシリーズユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要となります。

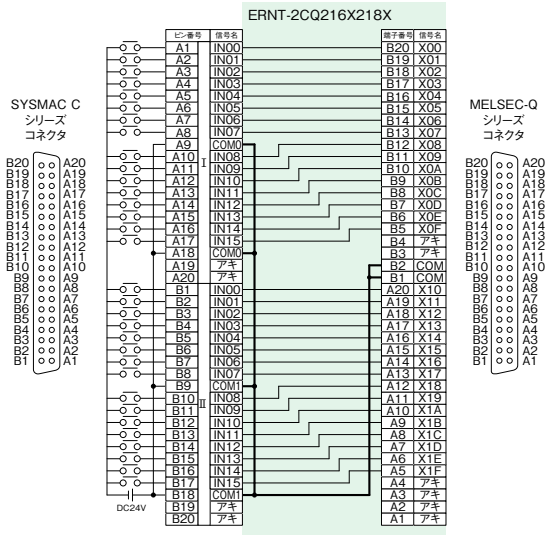
CS1W-MD261(入力部)/CS1W-MD262(入力部)
→QX41/QX41-S1/QX41-S2 の場合
CS1W-MD561(入力部) → QX71の場合



CS1W-ID261→QX41/QX41-S1/QX41-S2×2 台の場合



CS1W-ID231→QX41/QX41-S1/QX41-S2 の場合



〈仕様比較表〉

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ				MELSEC-Qシリーズ		
		CS1W-ID231（プラス/マイナスコモン共用タイプ）	CS1W-MD261（入力部）（プラス/マイナスコモン共用タイプ）	CS1W-MD262（入力部）（プラス/マイナスコモン共用タイプ）	CS1W-ID261（プラス/マイナスコモン共用タイプ）	QX41（プラスコモンタイプ）	QX41-S1（プラスコモンタイプ）	QX41-S2（プラスコモンタイプ）
入力点数		32点	32点	32点	64点	32点	32点	32点
定格入力電圧		DC24V	DC24V	DC24V	DC24V	DC24V	DC24V	DC24V
定格入力電流		約6mA	約6mA	約6mA	約6mA	約4mA	約4mA	約6mA
入力インピーダンス		3.9kΩ	3.9kΩ	3.9kΩ	3.9kΩ	約5.6kΩ	約5.6kΩ	約3.6kΩ
突入電流		—	—	—	—	—	—	—
動作電圧/電流	ON	15.4V/3mA	15.4V/3mA	15.4V/3mA	15.4V/3mA	19V/3mA	19V/3mA	15V/3mA
	OFF	5.0V/1mA	5.0V/1mA	5.0V/1mA	5.0V/1mA	11V/1.7mA	9.5V/1.5mA	5V/1.7mA
応答時間	OFF→ON	0/0.5/1/2/4/8/16/32ms以下	0/0.5/1/2/4/8/16/32ms以下	0/0.5/1/2/4/8/16/32ms以下	0/0.5/1/2/4/8/16/32ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	0/0.5/1/2/4/8/16/32ms以下	0/0.5/1/2/4/8/16/32ms以下	0/0.5/1/2/4/8/16/32ms以下	0/0.5/1/2/4/8/16/32ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外部接続		40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ × 2	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ

（注）1. 1コモンあたりのI/O点数が、16点/1コモン→32点/1コモンとなるため、既存ユニットのコモン接続をご確認ください。
2. CS1W-ID231/MD261（入力部）/MD262（入力部）→QX41/41-S1/41-S2への置換えで、既存ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、QX40 2台またはQX80 2台への再配線をご検討ください。また、既存ユニットをマイナスコモンで使用の場合は、QX81またはQX81-S2への再配線をご検討ください。
3. CS1W-ID261→QX41/41-S1/41-S2 2台への置換えで、既存ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、QX40 4台またはQX80 4台への再配線をご検討ください。また、既存ユニットをマイナスコモンで使用の場合は、QX82またはQX82-S1への再配線をご検討ください。
4. □ は、SYSMAC CシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なり、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。
5. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ	MELSEC-Qシリーズ
		CS1W-MD561（入力部）（プラス/マイナスコモン共用タイプ）	QX71（プラス/マイナスコモン共用タイプ）
入力点数		32点	32点
定格入力電圧		DC5V	DC5/12V
定格入力電流		約3.5mA	約1.2mA（DC5V）
入力インピーダンス		1.1kΩ	約3.3kΩ
突入電流		—	—
動作電圧/電流	ON	3.0V	3.5V/1mA
	OFF	1.0V	1V/0.1mA
応答時間	OFF→ON	0/0.5/1/2/4/8/16/32ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	0/0.5/1/2/4/8/16/32ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		16点1コモン	32点1コモン
外部接続		40ピンコネクタ	40ピンコネクタ

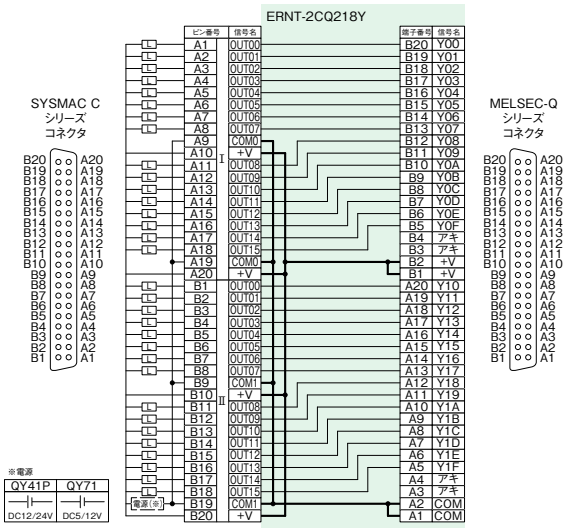
（注）1. 1コモンあたりのI/O点数が、16点/1コモン（2回路）→32点/1コモン（1回路）となるため、既存ユニットのコモンを分離して使用している場合は、QX70 2台への再配線をご検討ください。
2. □ は、SYSMAC CシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なり、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。
3. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(2)ERNT-2CQ218Y

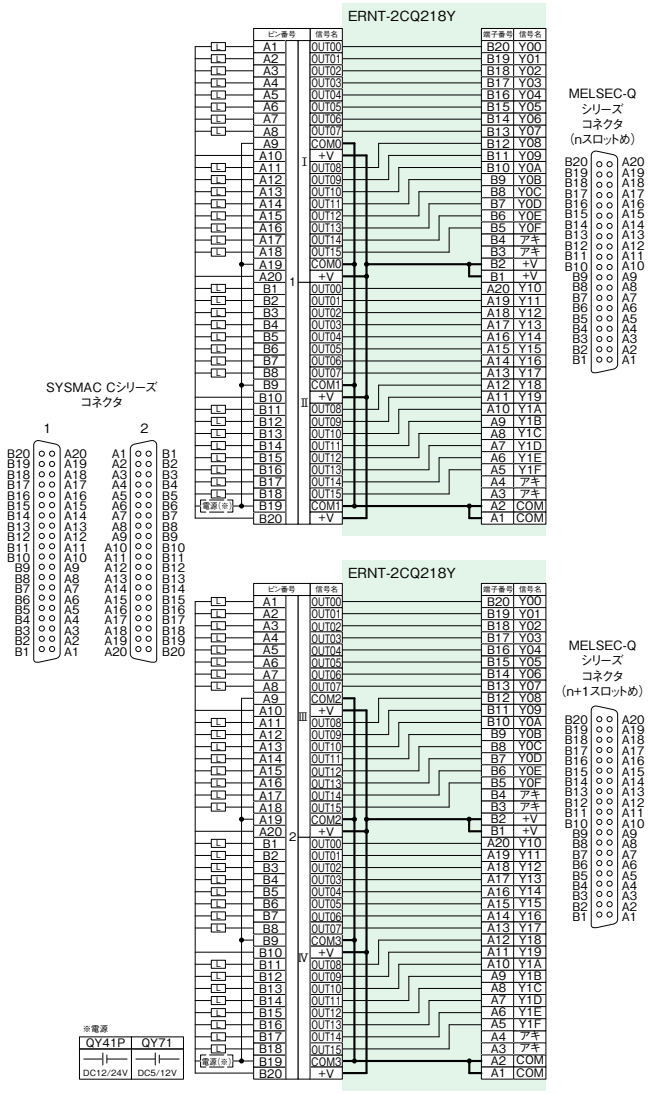
変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-2CQ218Y	CS1W-OD231 CS1W-MD261(出力部)	32点	QY41P QY71
	CS1W-MD561(出力部)		QY71
ERNT-2CQ218Y × 2台	CS1W-OD261	64点	QY41P × 2台 QY71 × 2台

(注) CS1W-OD261からの置換えの場合、MELSEC-Qシリーズユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要となります。

CS1W-OD231/CS1W-MD261(出力部) → QY41P/QY71の場合
CS1W-MD561(出力部) → QY71の場合



CS1W-OD261→QY41P/QY71×2 台の場合



〈仕様比較表〉

形名 / 仕様	SYSMAC Cシリーズ			MELSEC-Qシリーズ	
	CS1W-OD231（シンクタイプ）	CS1W-MD261（出力部）（シンクタイプ）	CS1W-OD261（シンクタイプ）	QY41P（シンクタイプ）	QY71（シンクタイプ）
出力点数	32点	32点	64点	32点	32点
定格負荷電圧	DC12/24V	DC12/24V	DC12/24V	DC12/24V	DC5/12V
最大負荷電流	0.5A/1点 2.5A/1コモン	0.3A/1点 1.6A/1コモン	0.3A/1点 1.6A/1コモン	0.1A/1点 2A/1コモン	16mA/1点 512mA/1コモン
最小負荷電流	—	—	—	—	—
最大突入電流	4.0A 10ms	3.0A 10ms	3.0A 10ms	0.7A 10ms	40mA 10ms
OFF時漏洩電流	0.1mA以下	0.1mA以下	0.1mA以下	0.1mA以下	—
OFF時出力電圧	—	—	—	—	V_{OH}：DC3.5V
ON時電圧降下	1.5V以下	1.5V以下	1.5V以下	0.2V以下（0.1A）	V_{OL}：DC0.3V
応答時間 OFF→ON	0.5ms以下	0.5ms以下	0.5ms以下	1ms以下	0.5ms以下
応答時間 ON→OFF	1.0ms以下	1.0ms以下	1.0ms以下	1ms以下（抵抗負荷）	0.5ms以下（抵抗負荷）
サージキラー	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ	なし	なし	なし	なし（保護機能あり（サーマルプロテクト・短絡プロテクト））	あり（コモンに1.6A）
外部供給電源	DC12/24V	DC12/24V	DC12/24V	DC12/24V	DC5/12V
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式	16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外部接続	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ × 2	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ

（注）1. 1コモンあたりのI/O点数が、16点/1コモン→32点/1コモンとなるため、既存ユニットのコモン接続をご確認ください。
2. CS1W-OD231/CS1W-MD261（出力部）→QY41P/QY71への置換えで、既存ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、QY40P 2台またはQY70 2台への再配線をご検討ください。その際、ERNT-ASQTB20の使用をご検討ください。
3. CS1W-OD261→QY41P/QY71 2台への置換えで、既存ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、QY40P 4台またはQY70 4台への再配線をご検討ください。その際、ERNT-ASQTB20の使用をご検討ください。
4. 電流容量が必要な場合は、QY50（0.5A/1点、16点）2台への再配線をご検討ください。その際、ERNT-ASQTB20の使用をご検討ください。
5. □ は、SYSMAC CシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なり、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。
6. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

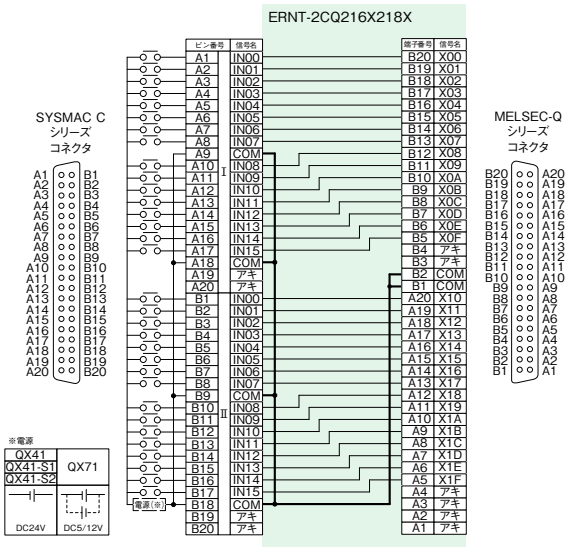
形名 / 仕様	SYSMAC Cシリーズ	MELSEC-Qシリーズ
	CS1W-MD561（出力部）（シンクタイプ）	QY71（シンクタイプ）
出力点数	32点	32点
定格負荷電圧	DC5V	DC5/12V
最大負荷電流	35mA/1点 560mA/1コモン	16mA/1点 512mA/1コモン
最小負荷電流	—	—
最大突入電流	—	40mA 10ms
OFF時漏洩電流	0.1mA以下	—
OFF時出力電圧	—	V_{OH}：DC3.5V
ON時電圧降下	0.4V以下	V_{OL}：DC0.3V
応答時間 OFF→ON	0.2ms以下	0.5ms以下
応答時間 ON→OFF	0.3ms以下	0.5ms以下（抵抗負荷）
サージキラー	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ	なし	あり（コモンに1.6A）
外部供給電源	DC5V	DC5/12V
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式	16点1コモン	32点1コモン
外部接続	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ

（注）1. 1コモンあたりの点数が、16点/1コモン（2回路）→32点/1コモン（1回路）となるため、既存ユニットを16点ごとに別電源で使用の場合は、QY70 2台への再配線をご検討ください。その際、ERNT-ASQTB20の使用をご検討ください。
2. □ は、SYSMAC CシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なり、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。
3. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

CQM1シリーズ対応品

(1)ERNT-2CQ216X218X

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-2CQ216X218X	CQM1-ID213 CQM1-ID214	32点	QX41 QX41-S1 QX41-S2
	CQM1-ID112		QX71



〈仕様比較表〉

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ		MELSEC-Qシリーズ		
		CQM1-ID213 (プラス/マイナスコモン共用タイプ)	CQM1-ID214 (プラス/マイナスコモン共用タイプ)	QX41 (プラスコモンタイプ)	QX41-S1 (プラスコモンタイプ)	QX41-S2 (プラスコモンタイプ)
入力点数		32点	32点	32点	32点	32点
定格入力電圧		DC24V	DC24V	DC24V	DC24V	DC24V
定格入力電流		約5mA	約6mA	約4mA	約4mA	約6mA
入力インピーダンス		4.7kΩ	3.9kΩ	約5.6kΩ	約5.6kΩ	約3.6kΩ
突入電流		—	—	—	—	—
動作電圧/電流	ON	14.4V	15.4V/3.5mA	19V/3mA	19V/3mA	15V/3mA
	OFF	5.0V	5.0V/1mA	11V/1.7mA	9.5V/1.5mA	5V/1.7mA
応答時間	OFF→ON	1/2/4/8/16/32/64/128ms以下	1/2/4/8/16/32/64/128ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	1/2/4/8/16/32/64/128ms以下	1/2/4/8/16/32/64/128ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外部接続		40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ

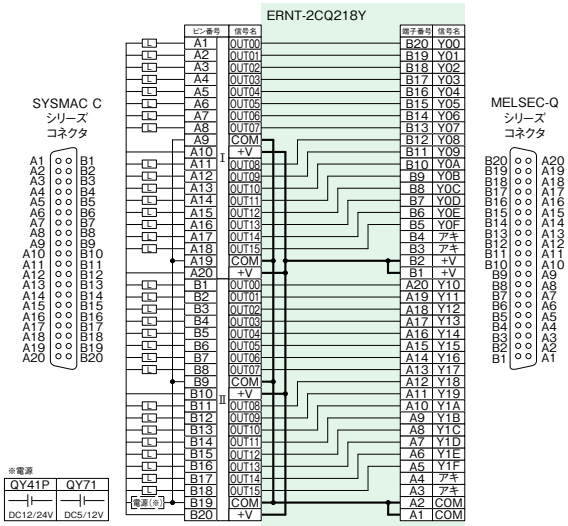
(注) 1. 既存ユニットをマイナスコモンで使用の場合は、QX81またはQX81-S2への再配線をご検討ください。
2. [　　] は、SYSMAC CシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なり、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。
接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。
3. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ	MELSEC-Qシリーズ
		CQM1-ID112 (プラス/マイナスコモン共用タイプ)	QX71 (プラス/マイナスコモン共用タイプ)
入力点数		32点	32点
定格入力電圧		DC12V	DC5/12V
定格入力電流		約4mA	約3.3mA(DC12V)
入力インピーダンス		2.2kΩ	約3.3kΩ
突入電流		—	—
動作電圧/電流	ON	8.0V	3.5V/1mA
	OFF	3.0V	1V/0.1mA
応答時間	OFF→ON	1/2/4/8/16/32/64/128ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	1/2/4/8/16/32/64/128ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		32点1コモン	32点1コモン
外部接続		40ピンコネクタ	40ピンコネクタ

(注) 1. [　　] は、SYSMAC CシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なり、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。
接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。
2. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(2)ERNT-2CQ218Y

変換アダプタ形名	SYSMAC Cシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-2CQ218Y	CQM1-OD213	32点	QY41P QY71



〈仕様比較表〉

仕様＼形名		SYSMAC Cシリーズ	MELSEC-Qシリーズ	
		CQM1-OD213 (シンクタイプ)	QY41P (シンクタイプ)	QY71 (シンクタイプ)
出力点数		32点	32点	32点
定格負荷電圧		DC4.5-26.4V	DC12/24V	DC5/12V
最大負荷電流		16mA/1点(DC4.5V) 100mA/1点(DC26.4V)	0.1A/1点 2A/1コモン	16mA/1点 512mA/1コモン
最小負荷電流		—	—	—
最大突入電流		—	0.7A 10ms	40mA 10ms
OFF時漏洩電流		0.1mA以下	0.1mA以下	—
OFF時出力電圧		—	—	V_{OH}:DC3.5V
ON時電圧降下		0.8V以下	0.2V以下(0.1A)	V_{OL}:DC0.3V
応答時間	OFF→ON	0.1ms以下	1ms以下	0.5ms以下
	ON→OFF	0.4ms以下	1ms以下(抵抗負荷)	0.5ms以下(抵抗負荷)
サージキラー		ツェナーダイオード	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		あり(コモンに3.5A)	なし(保護機能あり (サーマルプロテクト ・短絡プロテクト))	あり(コモンに1.6A)
外部供給電源		DC5-24V	DC12/24V	DC5/12V
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外部接続		40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ

(注) 1. □ は、SYSMAC CシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なり、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。
接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。
2. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

三菱電機株式会社製 ベースユニット

ご注意

ベースユニットの取付穴（4ヶ所）位置は、SYSMAC Cシリーズ（C200H/CS/CQM1）ベースユニットと異なりますので、制御盤への追加ネジ加工が必要です。

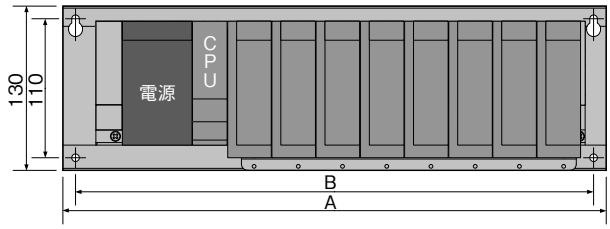
C200Hシリーズ対応品

取付寸法

●SYSMAC C200HシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

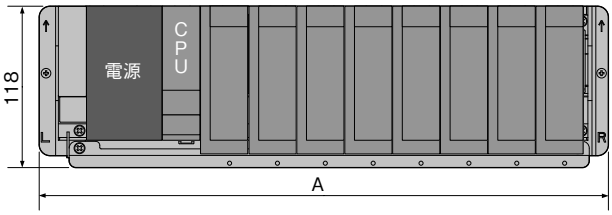
単位:mm

◎AnSサイズ版Qラージベースユニット
盤面取付タイプ



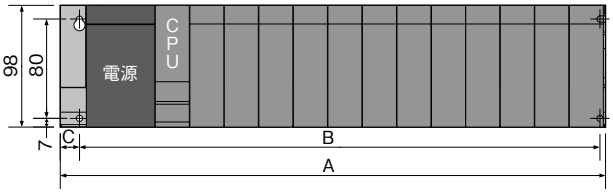
AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内容	A	B	取付穴 ネジサイズ
Q38BLS	基本ベースユニット	430	410	M5
Q35BLS		325	305	
Q68BLS	増設ベースユニット（電源あり）	420	400	
Q65BLS		315	295	
Q55BLS	増設ベースユニット（電源なし）	260	240	

◎AnSサイズ版Qラージベースユニット
DINレール取付タイプ



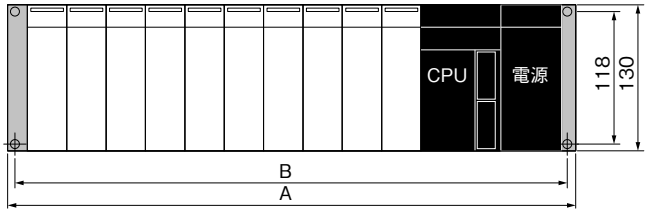
AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内容	A
Q38BLS-D	基本ベースユニット	416
Q35BLS-D		311
Q68BLS-D	増設ベースユニット（電源あり）	409
Q65BLS-D		304
Q55BLS-D	増設ベースユニット（電源なし）	248

◎MELSEC-Qシリーズベースユニット



MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名	内容	A	B	C	取付穴 ネジサイズ
Q312B	基本ベースユニット	439	419	15.5	M4
Q38B		328	308	15.5	
Q35B		245	224.4	15.5	
Q33B		189	169	15.5	
Q612B	増設ベースユニット（電源あり）	439	417	15.5	
Q68B		328	306	15.5	
Q65B		245	222.4	15.5	
Q63B		189	167	15.5	
Q55B	増設ベースユニット（電源なし）	189	167	15.5	
Q52B		106	83.5	15.5	

◎（参考）C200Hシリーズベースユニット



CSシリーズ ベースユニット形名	内容	A	B	取付穴 ネジサイズ
C200HW-BC101-V1	CPUベース ユニット	505	491	M4
C200HW-BC081-V1		435	421	
C200HW-BC051		330	316	
C200HW-BC031		260	246	
C200HW-BI101-V1	I/Oベース ユニット	434	420	
C200HW-BI081-V1		364	350	
C200HW-BI051		259	245	
C200HW-BI031		189	175	

置換え時の外形寸法および取付穴寸法比較

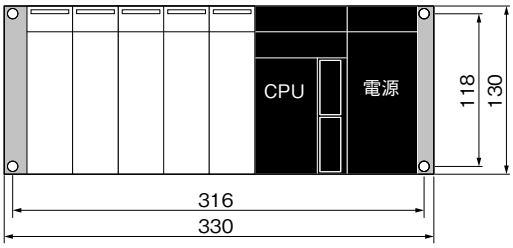
下記の表により、置換え前後の外形寸法および取付穴寸法が確認できます。

ご注意

“▲”の箇所は置換えた際に下記（例）の様に寸法が大きくなり、取付位置を再検討する必要があるためご注意ください。
また、装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。

（例）C200H（C200HW-BC051）からAnSサイズ版Qラージベースユニット（Q38BLS）に置換えた場合

C200HW-BC051



Q38BLS

単位:mm

取付寸法:94mmUP

外形寸法:100mmUP

AnSサイズ版QラージベースユニットまたはMELSEC-Qシリーズベースユニットに置換える場合

① 基本ベースユニットを使用する場合

◎:同一、○:C200Hシリーズの方が大きい、▲:C200Hシリーズの方が小さい

C200Hシリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット							MELSEC-Qシリーズベースユニット							備考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（AnSサイズ版Qラージ-C200Hシリーズ） 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付寸法 ※2 横	取付寸法 ※2 縦	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-C200Hシリーズ） 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付寸法 ※2 横	取付寸法 ※2 縦	
C200HW-BC101-V1	あり	10	Q38BLS	あり	8	○ (-75)	◎	○ (-81)	○ (-8)	Q312B	あり	12	○ (-66)	○ (-32)	○ (-72)	○ (-38)	
C200HW-BC081-V1	あり	8	Q38BLS	あり	8	○ (-5)	◎	○ (-11)	○ (-8)	Q312B	あり	12	▲ (4)	○ (-32)	○ (-2)	○ (-38)	
										Q38B	あり	8	○ (-107)	○ (-32)	○ (-113)	○ (-38)	
C200HW-BC051	あり	5	Q38BLS	あり	8	▲ (100)	◎	▲ (94)	○ (-8)	Q312B	あり	12	▲ (109)	○ (-32)	▲ (103)	○ (-38)	・外形寸法、取付穴ピッチにより盤面の位置を再検討する必要がある
										Q38B	あり	8	○ (-2)	○ (-32)	○ (-8)	○ (-38)	
			Q35BLS	あり	5	○ (-5)	◎	○ (-11)	○ (-8)	Q35B	あり	5	○ (-85)	○ (-32)	○ (-91.6)	○ (-38)	
C200HW-BC031	あり	3	Q35BLS	あり	5	▲ (65)	◎	▲ (59)	○ (-8)	Q38B	あり	8	▲ (68)	○ (-32)	▲ (62)	○ (-38)	
										Q35B	あり	5	○ (-15)	○ (-32)	○ (-21.6)	○ (-38)	
										Q33B	あり	3	○ (-71)	○ (-32)	○ (-77)	○ (-38)	

※1:（ ）値はMELSEC-QシリーズとC200Hシリーズの寸法差[単位:mm]　※2:穴同士の距離が近い場合、注意が必要

② 増設ベースユニットを使用する場合

◎:同一、○:C200Hシリーズの方が大きい、▲:C200Hシリーズの方が小さい

C200Hシリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット							MELSEC-Qシリーズベースユニット							備考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（AnSサイズ版Qラージ-C200Hシリーズ） 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付寸法 ※2 横	取付寸法 ※2 縦	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-C200Hシリーズ） 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付寸法 ※2 横	取付寸法 ※2 縦	
C200HW-BI101-V1	あり	10	Q68BLS	あり	8	○ (-14)	◎	○ (-20)	○ (-8)	Q612B	あり	12	▲ (5)	○ (-32)	○ (-3)	○ (-38)	
C200HW-BI081-V1	あり	8	Q68BLS	あり	8	▲ (56)	◎	▲ (50)	○ (-8)	Q612B	あり	12	▲ (75)	○ (-32)	▲ (67)	○ (-38)	
										Q68B	あり	8	○ (-36)	○ (-32)	○ (-44)	○ (-38)	
C200HW-BI051	あり	5	Q68BLS	あり	8	▲ (161)	◎	▲ (155)	○ (-8)	Q612B	あり	12	▲ (180)	○ (-32)	▲ (172)	○ (-38)	
										Q68B	あり	8	▲ (69)	○ (-32)	▲ (61)	○ (-38)	
			Q65BLS	あり	5	▲ (56)	◎	▲ (50)	○ (-8)	Q65B	あり	5	○ (-14)	○ (-32)	○ (-22.6)	○ (-38)	・外形寸法、取付穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合がある
			Q55BLS	なし	5	▲ (1)	◎	○ (-5)	○ (-8)	Q55B	なし	5	○ (-70)	○ (-32)	○ (-78)	○ (-38)	
C200HW-BI031	あり	3	Q65BLS	あり	5	▲ (126)	◎	▲ (120)	○ (-8)	Q68B	あり	8	▲ (139)	○ (-32)	▲ (131)	○ (-38)	
										Q65B	あり	5	▲ (56)	○ (-32)	▲ (47.4)	○ (-38)	
			Q55BLS	なし	5	▲ (71)	◎	▲ (65)	○ (-8)	Q63B	あり	3	◎	○ (-32)	○ (-8)	○ (-38)	
										Q55B	なし	5	◎	○ (-32)	○ (-8)	○ (-38)	

※1:（ ）値はMELSEC-QシリーズとC200Hシリーズの寸法差[単位:mm]　※2:穴同士の距離が近い場合、注意が必要

スロット位置

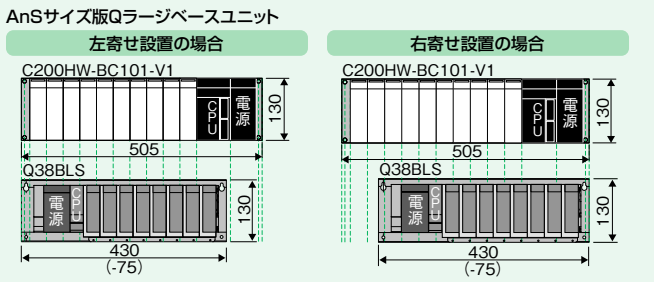
SYSMAC　C200HシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

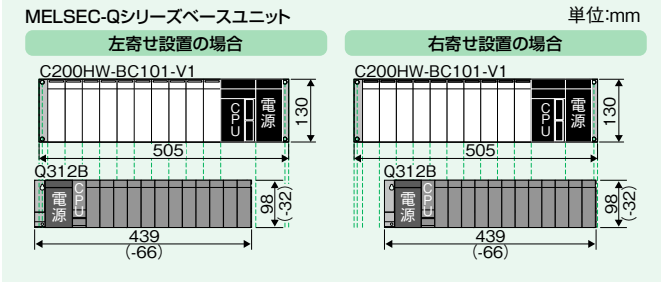
ご注意

AnSサイズ版QラージベースユニットはSYSMAC　C200Hシリーズと取付穴のネジサイズが異なるため、左寄せおよび右寄せはベースユニットの端を基準としています。MELSEC-QシリーズベースユニットはSYSMAC C200Hシリーズと取付穴のネジサイズが同一のため、左寄せおよび右寄せは取付穴を基準としています。尚、カッコ内の数値はSYSMAC C200Hシリーズとの外形寸法差です。

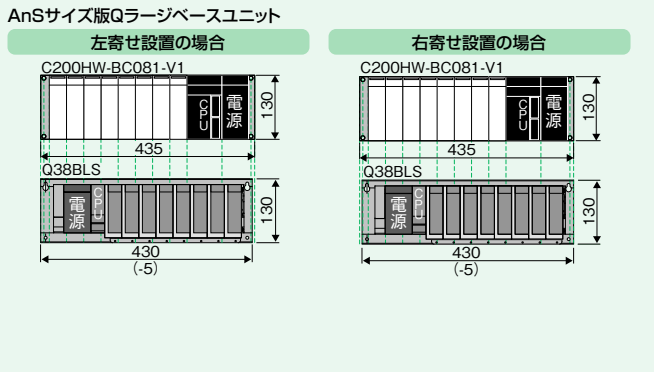
基本ベースユニットを使用する場合

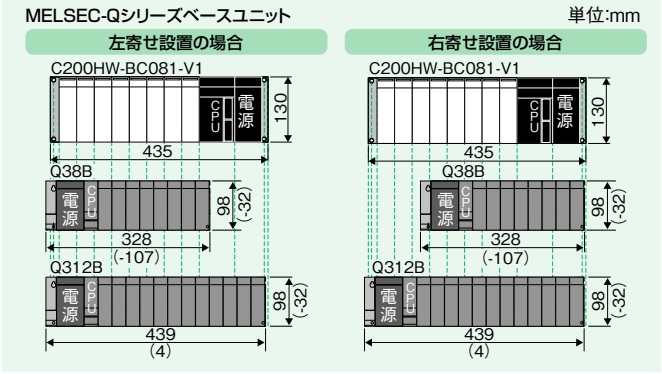
(1) C200HW-BC101-V1 ⇒ Q38BLS / Q312B



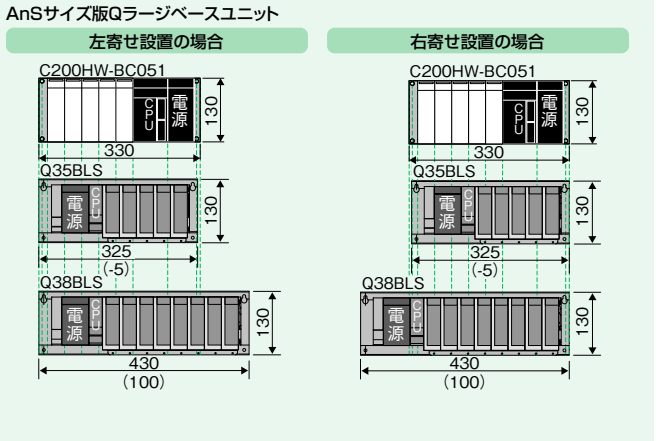


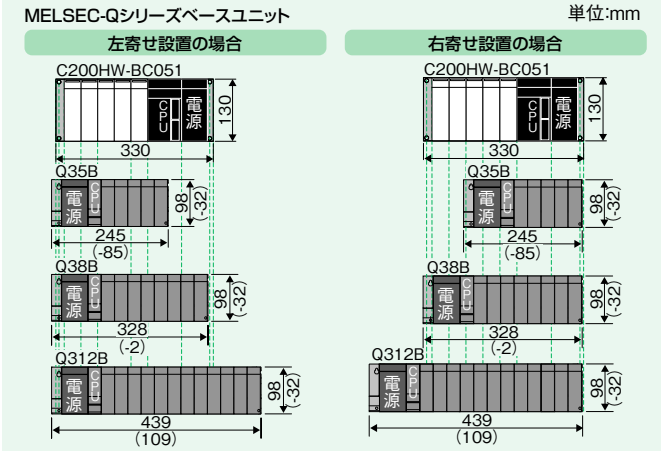
(2) C200HW-BC081-V1 ⇒ Q38BLS / Q38B、Q312B





(3) C200HW-BC051 ⇒ Q35BLS、Q38BLS / Q35B、Q38B、Q312B

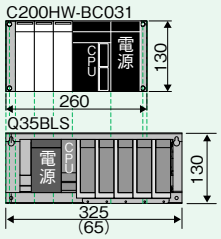




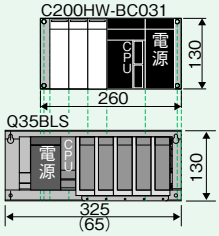
(4) C200HW-BC031 ⇒ Q35BLS / Q33B、Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

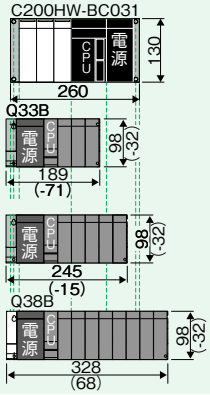


右寄せ設置の場合

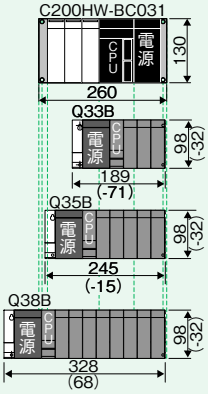


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合

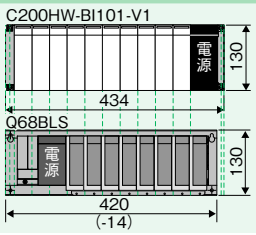


増設ベースユニットを使用する場合

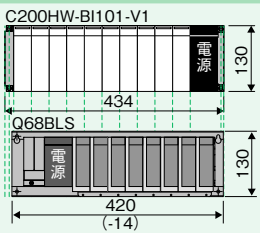
(1) C200HW-BI101-V1 ⇒ Q68BLS / Q612B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

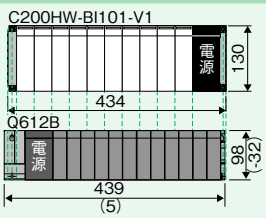


右寄せ設置の場合

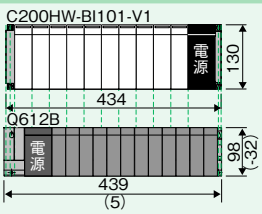


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



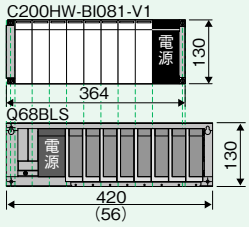
右寄せ設置の場合



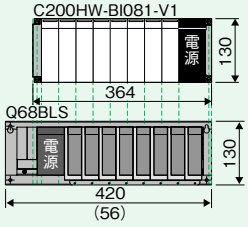
(2) C200HW-BI081-V1 ⇒ Q68BLS / Q68B、Q612B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

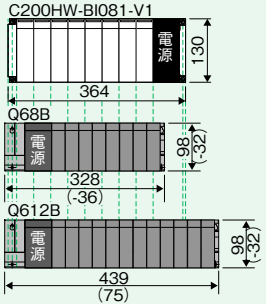


右寄せ設置の場合

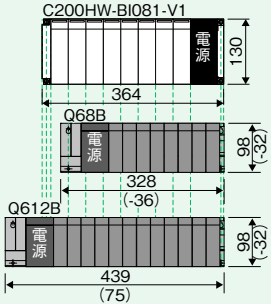


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



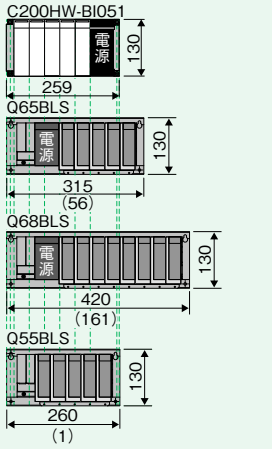
右寄せ設置の場合



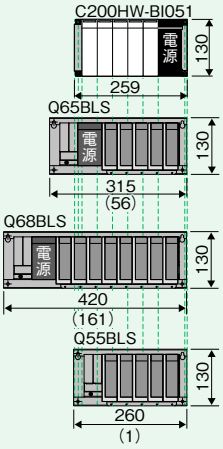
(3) C200HW-BI051 ⇒ Q65BLS、Q68BLS、Q55BLS / Q65B、Q68B、Q612B、Q55B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

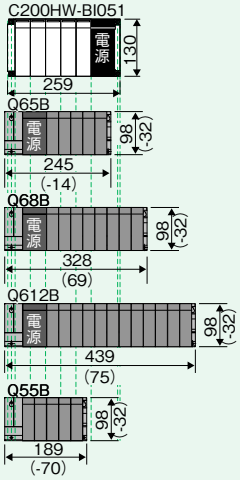


右寄せ設置の場合

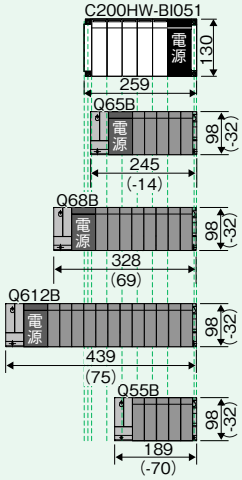


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



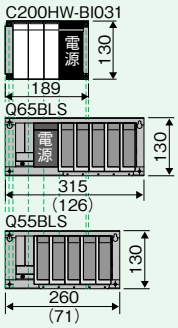
右寄せ設置の場合



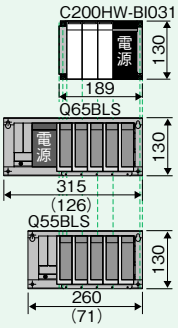
(4) C200HW-BI031 ⇒ Q65BLS、Q55BLS / Q63B、Q65B、Q68B、Q55B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

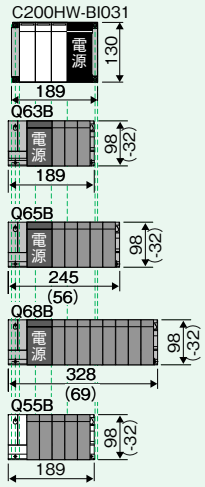


右寄せ設置の場合

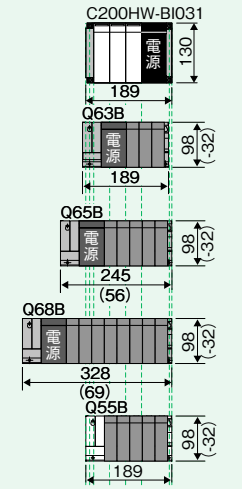


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合



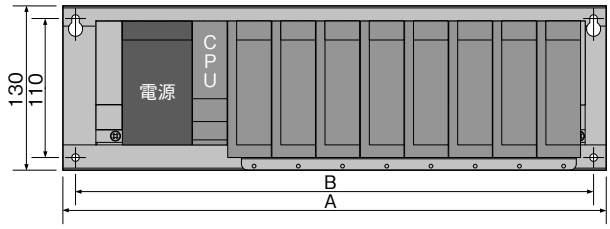
CSシリーズ対応品

取付寸法

●SYSMAC　CSシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

単位:mm

◎AnSサイズ版Qラージベースユニット 盤面取付タイプ

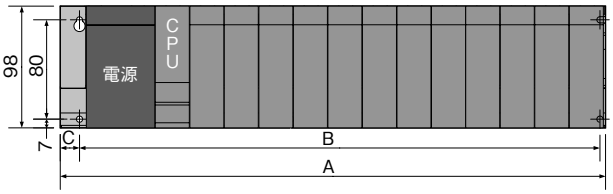


AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内容	A	B	取付穴 ネジサイズ
Q38BLS	基本ベースユニット	430	410	M5
Q35BLS		325	305	
Q68BLS	増設ベースユニット(電源あり)	420	400	
Q65BLS		315	295	
Q55BLS	増設ベースユニット(電源なし)	260	240	

◎AnSサイズ版Qラージベースユニット DINレール取付タイプ

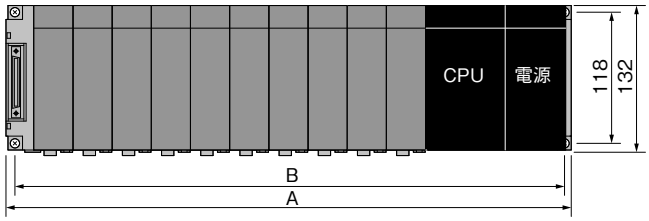
AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内容	A
Q38BLS-D	基本ベースユニット	416
Q35BLS-D		311
Q68BLS-D	増設ベースユニット(電源あり)	409
Q65BLS-D		304
Q55BLS-D	増設ベースユニット(電源なし)	248

◎MELSEC-Qシリーズベースユニット



MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名	内容	A	B	C	取付穴 ネジサイズ
Q312B	基本ベースユニット	439	419	15.5	M4
Q38B		328	308	15.5	
Q35B		245	224.4	15.5	
Q33B		189	169	15.5	
Q612B	増設ベースユニット (電源あり)	439	417	15.5	
Q68B		328	306	15.5	
Q65B		245	222.4	15.5	
Q63B		189	167	15.5	
Q55B	増設ベースユニット (電源なし)	189	167	15.5	
Q52B		106	83.5	15.5	

◎(参考) CSシリーズベースユニット



CSシリーズ ベースユニット形名	内容	A	B	取付穴 ネジサイズ
CS1W-BC102、CS1W-BC103	CPUベース ユニット	505	491	M4
CS1W-BC082、CS1W-BC083		435	421	
CS1W-BC052、CS1W-BC053		330	316	
CS1W-BC032、CS1W-BC033		260	246	
CS1W-BC022、CS1W-BC023		198.5	172.3	
CS1W-BI102、CS1W-BI103	増設ベース ユニット	505	491	
CS1W-BI082、CS1W-BI083		435	421	
CS1W-BI052、CS1W-BI053		330	316	
CS1W-BI032、CS1W-BI033		260	246	

置換え時の外形寸法および取付穴寸法比較

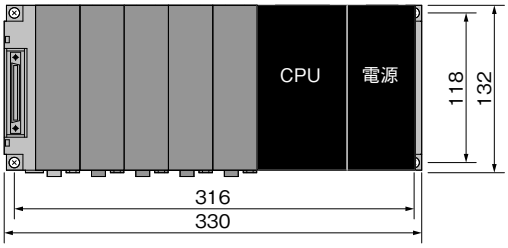
下記の表により、置換え前後の外形寸法および取付穴寸法が確認できます。

ご注意

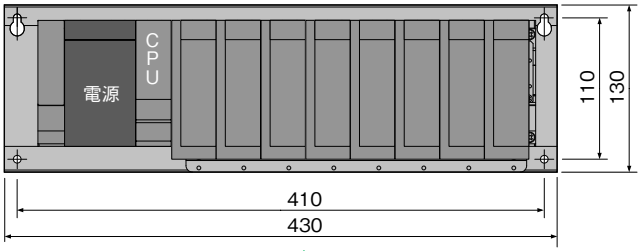
“▲”の箇所は置換えた際に下記（例）の様に寸法が大きくなり、取付位置を再検討する必要があるためご注意ください。
また、装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。

（例）CS（CS1W-BC102/CS1W-BC103）からAnSサイズ版Qラージベースユニット（Q38BLS）に置換えた場合

CS1W-BC052/CS1W-BC053



Q38BLS　　単位:mm



取付寸法:94mmUP

外形寸法:100mmUP

AnSサイズ版QラージベースユニットまたはMELSEC-Qシリーズベースユニットに置換える場合

① 基本ベースユニットを使用する場合

◎:同一、○:CSシリーズの方が大きい、▲:CSシリーズの方が小さい

CSシリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット							MELSEC-Qシリーズベースユニット							備　考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（AnSサイズ版Qラージ-CSシリーズ）				形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-CSシリーズ）				
						外形寸法		取付寸法 ※2					外形寸法		取付寸法 ※2		
						横	縦	横	縦				横	縦	横	縦	
CS1W-BC102、CS1W-BC103	あり	10	Q38BLS	あり	8	○ (-75)	○ (-2)	○ (-81)	○ (-8)	Q312B	あり	12	○ (-66)	○ (-34)	○ (-72)	○ (-38)	
CS1W-BC082、CS1W-BC083	あり	8	Q38BLS	あり	8	○ (-5)	○ (-2)	○ (-11)	○ (-8)	Q312B	あり	12	▲ (4)	○ (-34)	○ (-2)	○ (-38)	
										Q38B	あり	8	○ (-107)	○ (-34)	○ (-113)	○ (-38)	
CS1W-BC052、CS1W-BC053	あり	5	Q38BLS	あり	8	▲ (100)	○ (-2)	▲ (94)	○ (-8)	Q312B	あり	12	▲ (109)	○ (-34)	▲ (103)	○ (-38)	
										Q38B	あり	8	○ (-2)	○ (-34)	○ (-8)	○ (-38)	・外形寸法、取付穴ピッチにより盤面の位置を再検討する必要がある
			Q35BLS	あり	5	○ (-5)	○ (-2)	○ (-11)	○ (-8)	Q35B	あり	5	○ (-85)	○ (-34)	○ (-91.6)	○ (-38)	
CS1W-BC032、CS1W-BC033	あり	3	Q38BLS	あり	8	▲ (170)	○ (-2)	▲ (164)	○ (-8)	Q38B	あり	8	▲ (68)	○ (-34)	▲ (62)	○ (-38)	
										Q35B	あり	5	○ (-15)	○ (-34)	○ (-21.6)	○ (-38)	
			Q35BLS	あり	5	▲ (65)	○ (-2)	▲ (59)	○ (-8)	Q33B	あり	3	○ (-71)	○ (-34)	○ (-77)	○ (-38)	
CS1W-BC022、CS1W-BC023	あり	2	Q35BLS	あり	5	▲ (126.5)	○ (-2)	▲ (132.7)	○ (-8)	Q35B	あり	5	▲ (46.5)	○ (-34)	▲ (52.1)	○ (-38)	
										Q33B	あり	3	○ (-9.5)	○ (-34)	○ (-3.3)	○ (-38)	

※1:（　）値はMELSEC-QシリーズとCSシリーズの寸法差[単位:mm]　※2:穴同士の距離が近い場合、注意が必要

② 増設ベースユニットを使用する場合

◎:同一、○:CSシリーズの方が大きい、▲:CSシリーズの方が小さい

CSシリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット							MELSEC-Qシリーズベースユニット							備　考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（AnSサイズ版Qラージ-CSシリーズ）				形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-CSシリーズ）				
						外形寸法		取付寸法 ※2					外形寸法		取付寸法 ※2		
						横	縦	横	縦				横	縦	横	縦	
CS1W-BI102、CS1W-BI103	あり	10	Q68BLS	あり	8	○ (-85)	○ (-2)	○ (-91)	○ (-8)	Q612B	あり	12	○ (-66)	○ (-34)	○ (-74)	○ (-38)	
CS1W-BI082、CS1W-BI083	あり	8	Q68BLS	あり	8	○ (-15)	○ (-2)	○ (-21)	○ (-8)	Q612B	あり	12	▲ (4)	○ (-34)	○ (-4)	○ (-38)	
										Q68B	あり	8	○ (-107)	○ (-34)	○ (-115)	○ (-38)	
CS1W-BI052、CS1W-BI053	あり	5	Q68BLS	あり	8	▲ (90)	○ (-2)	▲ (84)	○ (-8)	Q612B	あり	12	▲ (109)	○ (-34)	▲ (101)	○ (-38)	
										Q68B	あり	8	○ (-2)	○ (-34)	○ (-10)	○ (-38)	・外形寸法、取付穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合がある
			Q65BLS	あり	5	○ (-15)	○ (-2)	○ (-21)	○ (-8)	Q65B	あり	5	○ (-85)	○ (-34)	○ (-93.6)	○ (-38)	
			Q55BLS	なし	5	○ (-70)	○ (-2)	○ (-76)	○ (-8)	Q55B	なし	5	○ (-141)	○ (-34)	○ (-149)	○ (-38)	
CS1W-BI032、CS1W-BI033	あり	3	Q68BLS	あり	8	▲ (160)	○ (-2)	▲ (154)	○ (-8)	Q68B	あり	8	▲ (68)	○ (-34)	▲ (60)	○ (-38)	
										Q65B	あり	5	○ (-15)	○ (-34)	○ (-23.6)	○ (-38)	
			Q65BLS	あり	5	▲ (55)	○ (-2)	▲ (49)	○ (-8)	Q63B	あり	3	○ (-71)	○ (-34)	○ (-79)	○ (-38)	
			Q55BLS	なし	5	◎	○ (-2)	○ (-6)	○ (-8)	Q55B	なし	5	○ (-71)	○ (-34)	○ (-79)	○ (-38)	

※1:（　）値はMELSEC-QシリーズとCSシリーズの寸法差[単位:mm]　※2:穴同士の距離が近い場合、注意が必要

スロット位置

SYSMAC CSシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

ご注意

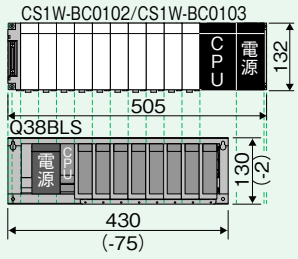
AnSサイズ版QラージベースユニットはSYSMAC CSシリーズと取付穴のネジサイズが異なるため、左寄せおよび右寄せはベースユニットの端を基準としています。MELSEC-QシリーズベースユニットはSYSMAC CSシリーズと取付穴のネジサイズが同一のため、左寄せおよび右寄せは取付穴を基準としています。尚、カッコ内の数値はSYSMAC CSシリーズとの外形寸法差です。

基本ベースユニットを使用する場合

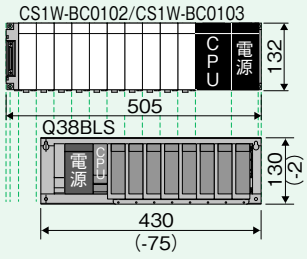
(1) CS1W-BC102、CS1W-BC103 ⇒ Q38BLS / Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

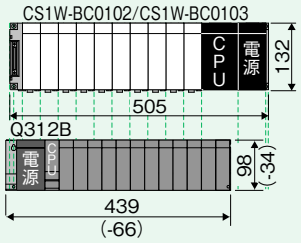


右寄せ設置の場合

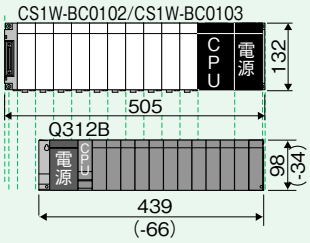


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



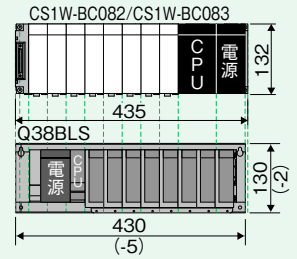
右寄せ設置の場合



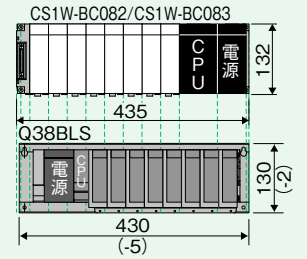
(2) CS1W-BC082、CS1W-BC083 ⇒ Q38BLS / Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

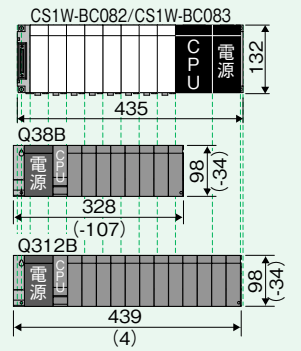


右寄せ設置の場合

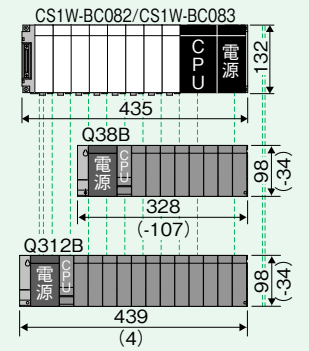


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



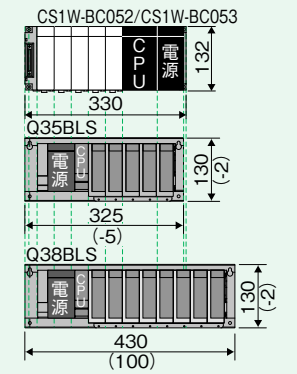
右寄せ設置の場合



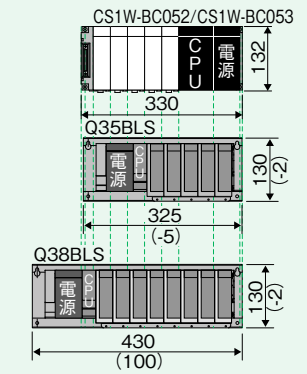
(3) CS1W-BC052、CS1W-BC053 ⇒ Q35BLS、Q38BLS / Q35B、Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

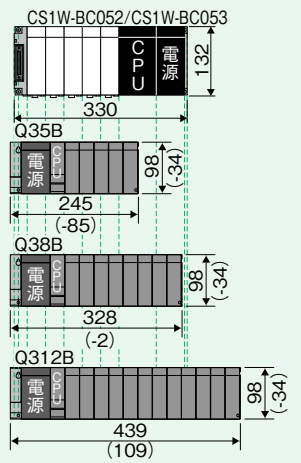


右寄せ設置の場合

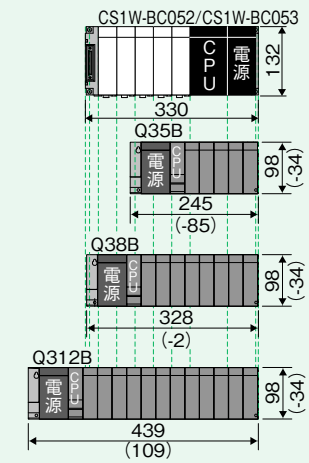


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



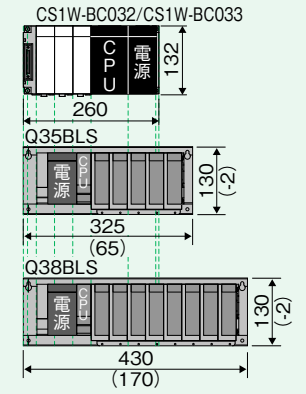
右寄せ設置の場合



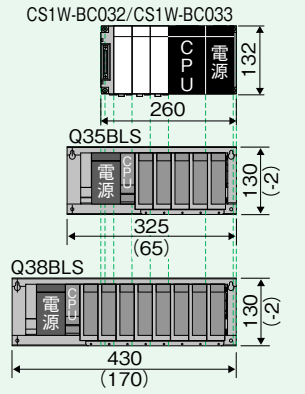
(4) CS1W-BC032、CS1W-BC033 ⇒ Q35BLS、Q38BLS / Q33B、Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

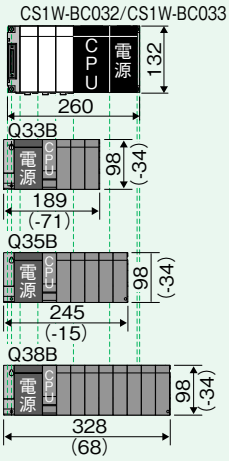


右寄せ設置の場合

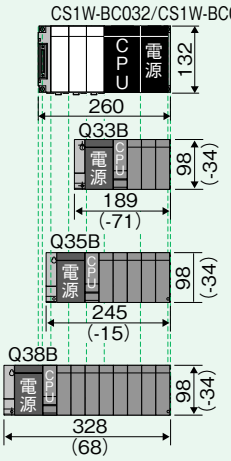


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



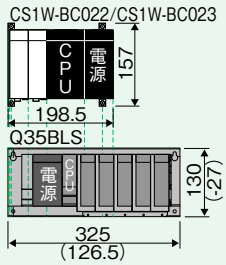
右寄せ設置の場合



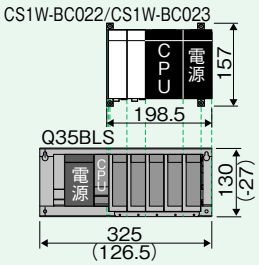
(5) CS1W-BC022、CS1W-BC023 ⇒ Q35BLS / Q33B、Q35B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

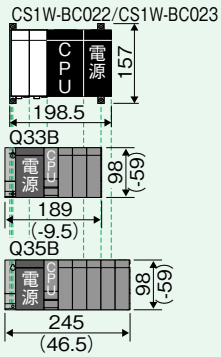


右寄せ設置の場合

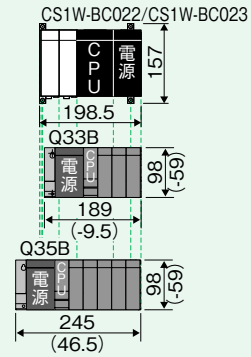


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合

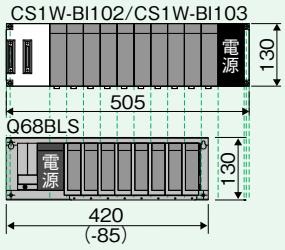


増設ベースユニットを使用する場合

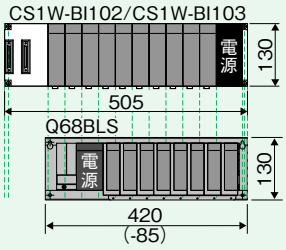
(1) CS1W-BI102、CS1W-BI103 ⇒ Q68BLS / Q612B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

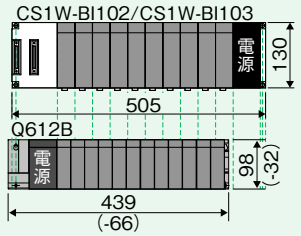


右寄せ設置の場合

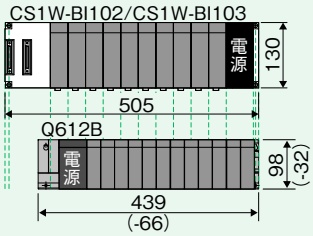


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



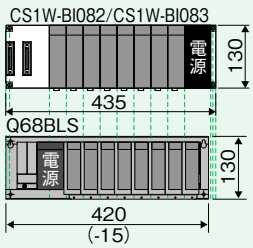
右寄せ設置の場合



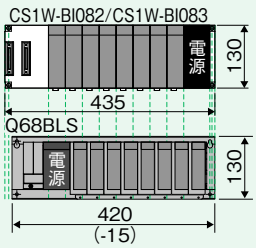
(2) CS1W-BI082、CS1W-BI083 ⇒ Q68BLS / Q68B、Q612B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

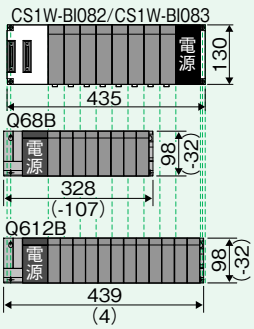


右寄せ設置の場合

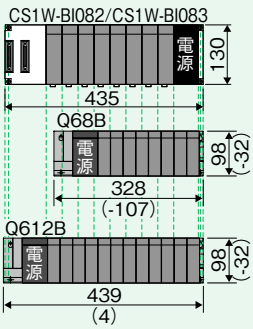


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



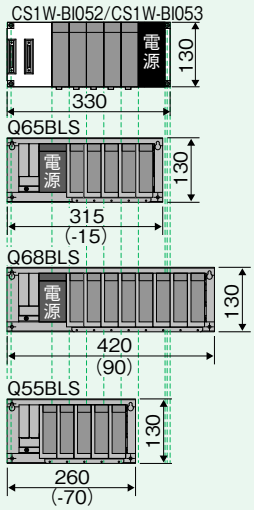
右寄せ設置の場合



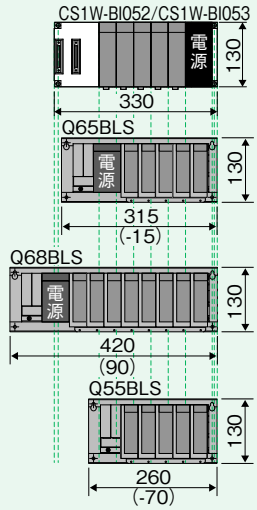
(3) CS1W-BI052、CS1W-BI053 ⇒ Q65BLS、Q68BLS、Q55BLS / Q65B、Q68B、Q612B、Q55B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

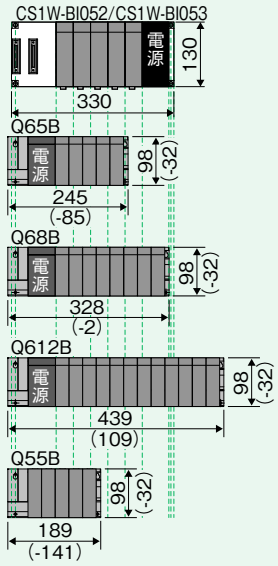


右寄せ設置の場合

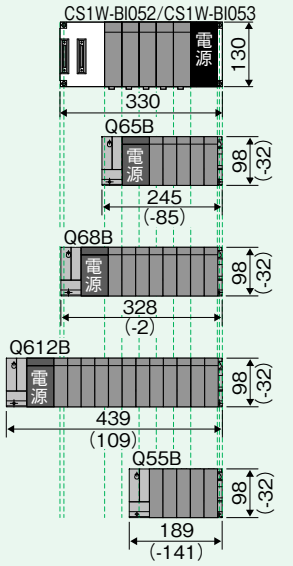


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



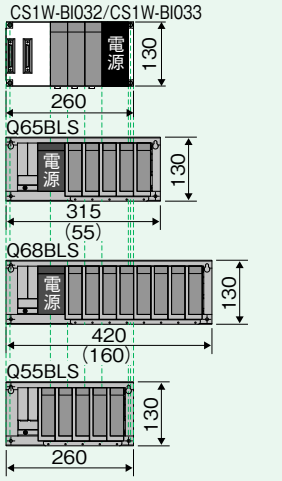
右寄せ設置の場合



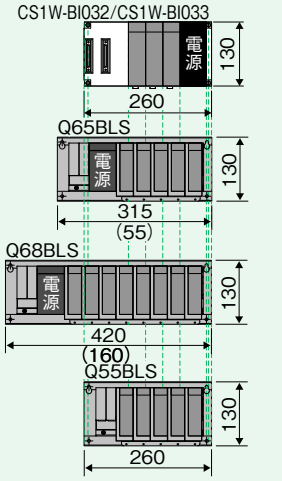
(4) CS1W-BI032、CS1W-BI033 ⇒ Q65BLS、Q68BLS、Q55BLS / Q63B、Q65B、Q68B、Q55B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合



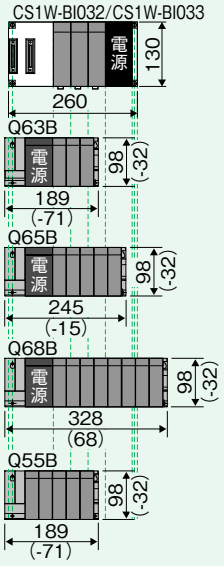
右寄せ設置の場合



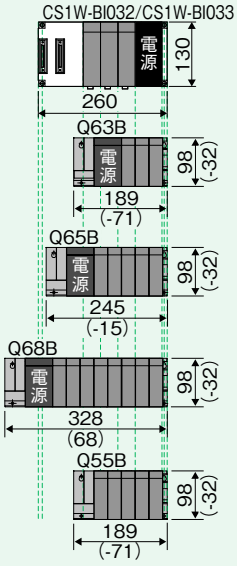
MELSEC-Qシリーズベースユニット

単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合



CQM1シリーズ対応品

ご注意

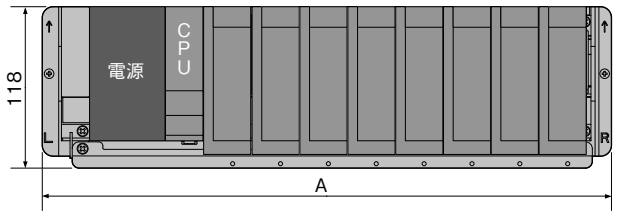
ここでは、SYSMAC CQM1シリーズベースユニットと同様のDINレール取付けに関するベースユニットをご紹介しています。

取付寸法

●SYSMAC　CQM1シリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

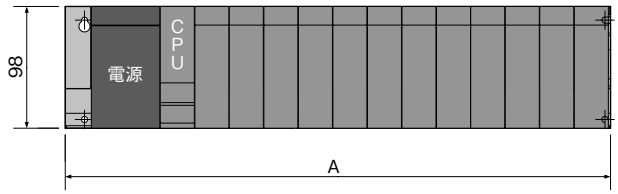
単位:mm

◎AnSサイズ版Qラージベースユニット DINレール取付タイプ



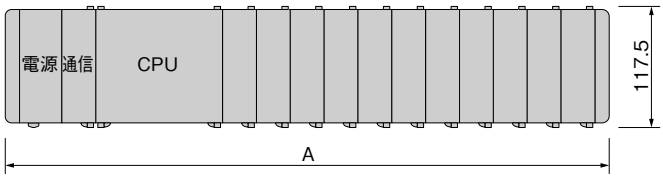
AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内容	A
Q38BLS-D	基本ベースユニット	416
Q35BLS-D		311
Q68BLS-D	増設ベースユニット(電源あり)	409
Q65BLS-D		304
Q55BLS-D	増設ベースユニット(電源なし)	248

◎MELSEC-Qシリーズベースユニット



MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名	内容	A
Q312B	基本ベースユニット	439
Q38B		328
Q35B		245
Q33B		189
Q612B	増設ベースユニット(電源あり)	439
Q68B		328
Q65B		245
Q63B		189
Q55B	増設ベースユニット(電源なし)	189
Q52B		106

◎(参考) CQM1シリーズベースユニット



CQM1シリーズ ベースユニット形名	内容	A
CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり	電源ユニット:CQM1-PA203	571
CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚		539
CQM1-PA203 + I/Oユニット8枚		443
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚		347
CQM1-PA203 + I/Oユニット3枚		283
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり	電源ユニット:CQM1-PA206/PA216/PD026	603
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚		571
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット8枚		475
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚		379
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット3枚		315
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設,通信ユニットあり	電源ユニット:CQM1-PA203 I/O増設あり	411
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり		379
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設,通信ユニットあり	電源ユニット:CQM1-PA206/PA216/PD026 I/O増設あり	443
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり		411
I/O増設装置 I/Oユニット11枚	I/O増設装置	412.2
I/O増設装置 I/Oユニット8枚		316.2
I/O増設装置 I/Oユニット5枚		220.2
I/O増設装置 I/Oユニット3枚		156.2

置換え時の外形寸法および取付穴寸法比較

下記の表により、置換え前後の外形寸法が確認できます。

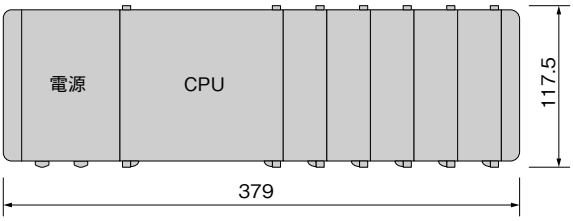
ご注意

“▲”の箇所は置換えた際に下記（例）の様に寸法が大きくなり、取付位置を再検討する必要があるためご注意ください。
また、装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。

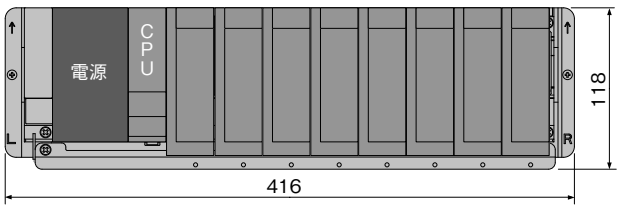
（例）CQM1（電源:CQM1-PA206/PA216/PD026、I/Oユニット:5枚）からAnSサイズ版Qラージベースユニット（Q38BLS-D）に置換えた場合

単位:mm

電源:CQM1-PA206/PA216/PD026、I/Oユニット:5枚



Q38BLS-D



外形寸法:37mmUP

AnSサイズ版QラージベースユニットまたはMELSEC-Qシリーズベースユニットに置換える場合

① 基本ベースユニットを使用する場合

◎:同一、○:CQM1シリーズの方が大きい、▲:CQM1シリーズの方が小さい

CQM1シリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット					MELSEC-Qシリーズベースユニット					備　考
構成例	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	外形寸法比較 ※1（AnSサイズ版Qラージ-CQM1シリーズ）		形名	電源有無	最大スロット数	外形寸法比較 ※1（MELSEC-Q-CQM1シリーズ）		
						横	縦				横	縦	
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり	あり	12	Q38BLS-D	あり	8	○ (-187)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-164)	○ (-19.5)	
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚	あり	11	Q38BLS-D	あり	8	○ (-155)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-132)	○ (-19.5)	
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット8枚	あり	8	Q38BLS-D	あり	8	○ (-59)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-36)	○ (-19.5)	
								Q38B	あり	8	○ (-147)	○ (-19.5)	
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	▲ (37)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-51)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-68)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-134)	○ (-19.5)	
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット3枚	あり	3	Q35BLS-D	あり	5	○ (-4)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-70)	○ (-19.5)	
								Q33B	あり	3	○ (-126)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり	あり	12	Q38BLS-D	あり	8	○ (-155)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-132)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚	あり	11	Q38BLS-D	あり	8	○ (-123)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-100)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット8枚	あり	8	Q38BLS-D	あり	8	○ (-27)	▲ (0.5)	Q312B	あり	12	○ (-4)	○ (-19.5)	・外形寸法により盤面の位置を再検討する必要がある
								Q38B	あり	8	○ (-115)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	▲ (69)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-19)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-36)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-102)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット3枚	あり	3	Q35BLS-D	あり	5	▲ (28)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-38)	○ (-19.5)	
								Q33B	あり	3	○ (-94)	○ (-19.5)	
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設,通信ユニットあり	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	○ (-27)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-115)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-132)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-198)	○ (-19.5)	
CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	▲ (5)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-83)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-100)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-166)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設,通信ユニットあり	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	▲ (5)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-83)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-100)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-166)	○ (-19.5)	
CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり	あり	5	Q38BLS-D	あり	8	▲ (37)	▲ (0.5)	Q38B	あり	8	○ (-51)	○ (-19.5)	
			Q35BLS-D	あり	5	○ (-68)	▲ (0.5)	Q35B	あり	5	○ (-134)	○ (-19.5)	

※1:（　）値はMELSEC-QシリーズとCQM1シリーズの寸法差[単位:mm]　※2:構成システムの一例として一覧表に表示しています。構成例にない場合は、既存システムのご確認をお願いします。

② 増設ベースユニットを使用する場合

◎:同一、○:CQM1シリーズの方が大きい、▲:CQM1シリーズの方が小さい

CQM1シリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット					MELSEC-Qシリーズベースユニット					備　考
構成例	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	外形寸法比較 ※1（AnSサイズ版Qラージ-CQM1シリーズ）		形名	電源有無	最大スロット数	外形寸法比較 ※1（MELSEC-Q-CQM1シリーズ）		
						横	縦				横	縦	
I/O増設装置 I/Oユニット11枚	あり	11	Q68BLS-D	あり	8	○ (-3.2)	▲ (0.5)	Q612B	あり	12	▲ (26.8)	○ (-19.5)	・外形寸法により盤面の位置を再検討する必要がある
I/O増設装置 I/Oユニット8枚	あり	8	Q68BLS-D	あり	8	▲ (92.8)	▲ (0.5)	Q68B	あり	8	▲ (11.8)	○ (-19.5)	
I/O増設装置 I/Oユニット5枚	あり	5	Q65BLS-D	あり	5	▲ (83.8)	▲ (0.5)	Q65B	あり	5	▲ (24.8)	○ (-19.5)	
			Q55BLS-D	なし	5	▲ (27.8)	▲ (0.5)	Q55B	なし	5	○ (-31.2)	○ (-19.5)	
I/O増設装置 I/Oユニット3枚	あり	3	Q65BLS-D	あり	5	▲ (147.8)	▲ (0.5)	Q63B	あり	3	▲ (32.8)	○ (-19.5)	
			Q55BLS-D	なし	5	▲ (91.8)	▲ (0.5)	Q55B	なし	5	▲ (32.8)	○ (-19.5)	

※1:（　）値はMELSEC-QシリーズとCQM1シリーズの寸法差[単位:mm]　※2:構成システムの一例として一覧表に表示しています。構成例にない場合は、既存システムのご確認をお願いします。

スロット位置

SYSMAC CQM1シリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

ご注意

SYSMAC CQM1シリーズのスロット位置に対して、左寄せおよび右寄せはベースユニットの端を基準としています。尚、カッコ内の数値はSYSMAC CQM1シリーズとの外形寸法差です。

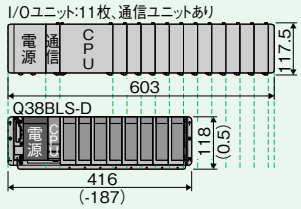
基本ベースユニットを使用する場合

(1) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり ⇒ Q38BLS-D / Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

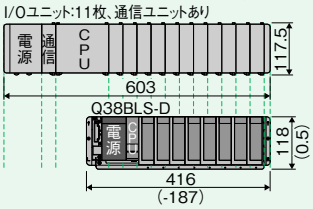
左寄せ設置の場合

電源:CQM1-PA206/PA216/PD026、I/Oユニット:11枚、通信ユニットあり



右寄せ設置の場合

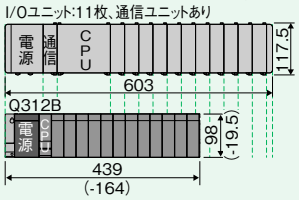
電源:CQM1-PA206/PA216/PD026、I/Oユニット:11枚、通信ユニットあり



MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

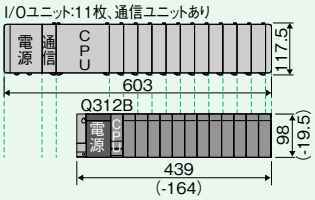
左寄せ設置の場合

電源:CQM1-PA206/PA216/PD026、I/Oユニット:11枚、通信ユニットあり



右寄せ設置の場合

電源:CQM1-PA206/PA216/PD026、I/Oユニット:11枚、通信ユニットあり

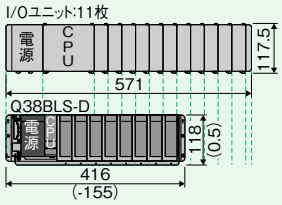


(2) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット11枚 ⇒ Q38BLS-D / Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

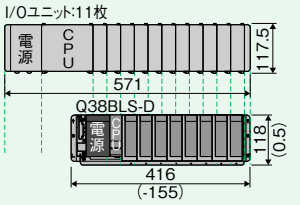
左寄せ設置の場合

電源:CQM1-PA206/PA216/PD026、I/Oユニット:11枚



右寄せ設置の場合

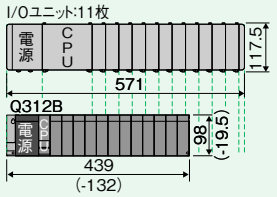
電源:CQM1-PA206/PA216/PD026、I/Oユニット:11枚



MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

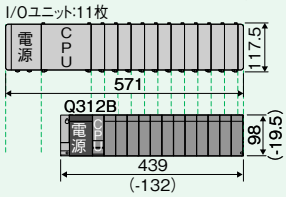
左寄せ設置の場合

電源:CQM1-PA206/PA216/PD026、I/Oユニット:11枚



右寄せ設置の場合

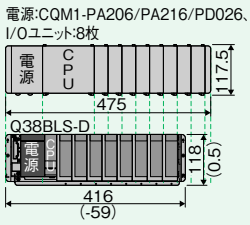
電源:CQM1-PA206/PA216/PD026、I/Oユニット:11枚



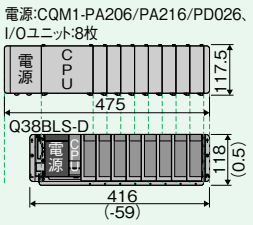
(3) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット8枚 ⇒ Q38BLS-D / Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

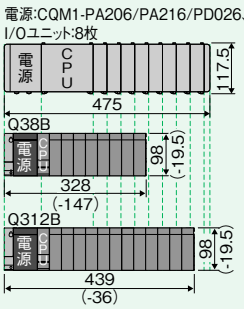


右寄せ設置の場合

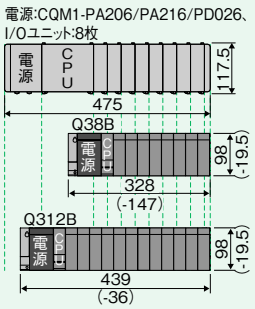


MELSEC-Qシリーズベースユニット　　単位:mm

左寄せ設置の場合



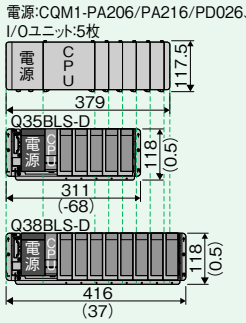
右寄せ設置の場合



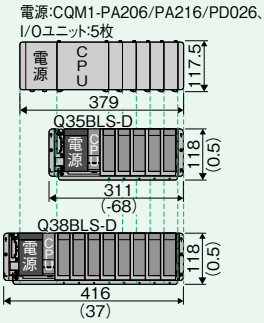
(4) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚 ⇒ Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

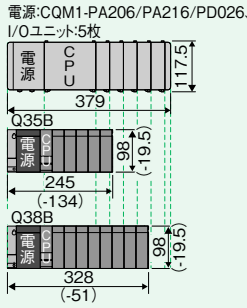


右寄せ設置の場合

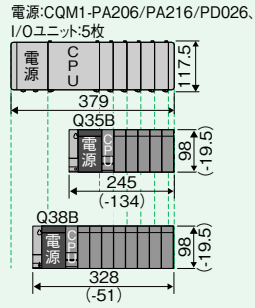


MELSEC-Qシリーズベースユニット　　単位:mm

左寄せ設置の場合



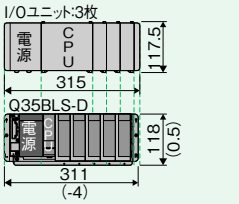
右寄せ設置の場合



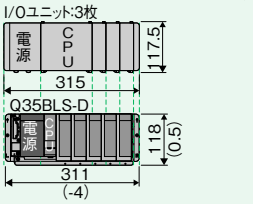
(5) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット3枚 ⇒ Q35BLS-D / Q33B、Q35B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

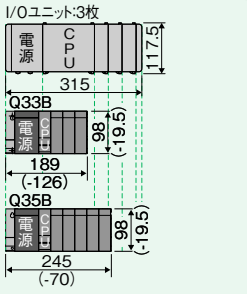


右寄せ設置の場合

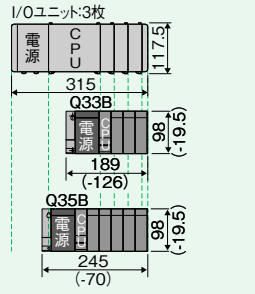


MELSEC-Qシリーズベースユニット　　単位:mm

左寄せ設置の場合



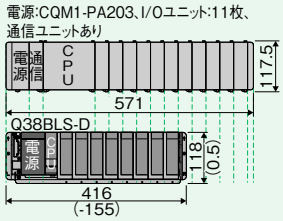
右寄せ設置の場合



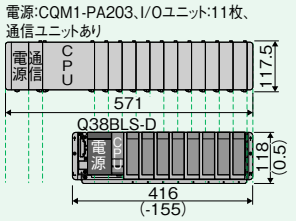
(6) CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚、通信ユニットあり ⇒ Q38BLS-D / Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

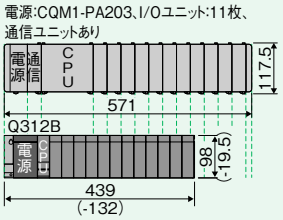


右寄せ設置の場合

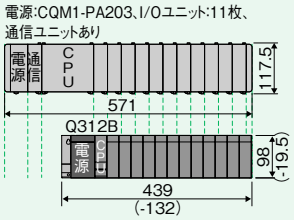


MELSEC-Qシリーズベースユニット　　単位:mm

左寄せ設置の場合



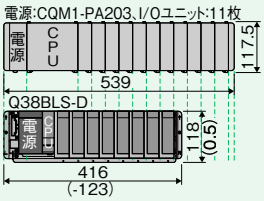
右寄せ設置の場合



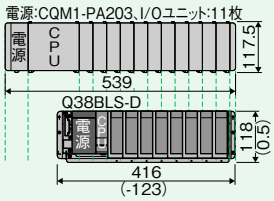
(7) CQM1-PA203 + I/Oユニット11枚 ⇒ Q38BLS-D / Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

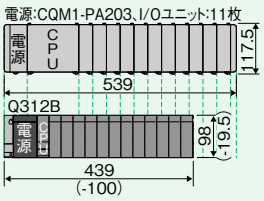


右寄せ設置の場合

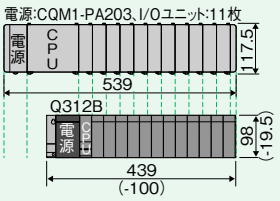


MELSEC-Qシリーズベースユニット　　単位:mm

左寄せ設置の場合



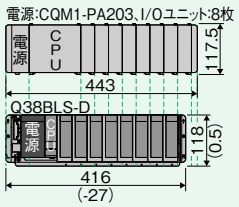
右寄せ設置の場合



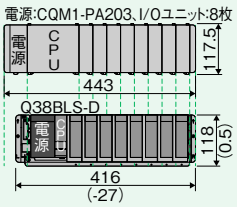
(8) CQM1-PA203 + I/Oユニット8枚 ⇒ Q38BLS-D / Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

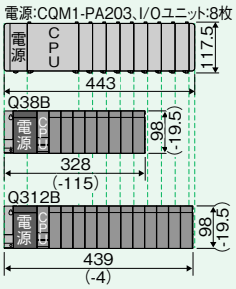


右寄せ設置の場合

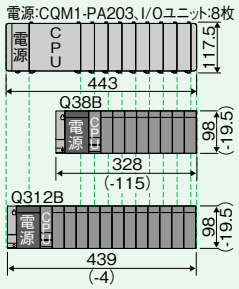


MELSEC-Qシリーズベースユニット　　単位:mm

左寄せ設置の場合



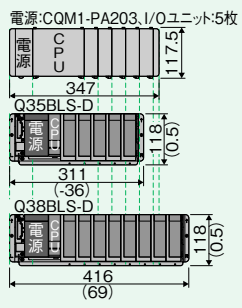
右寄せ設置の場合



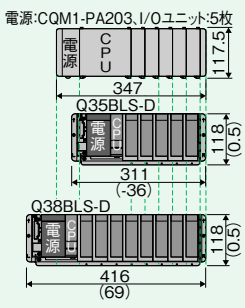
(9) CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚 ⇒ Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

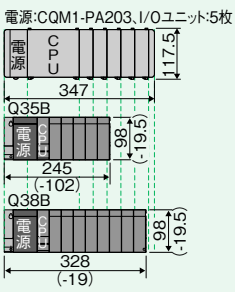


右寄せ設置の場合

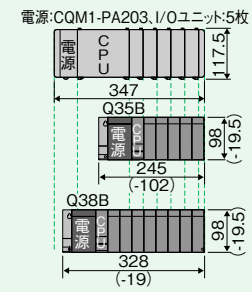


MELSEC-Qシリーズベースユニット　　単位:mm

左寄せ設置の場合



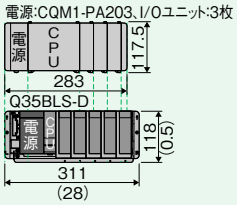
右寄せ設置の場合



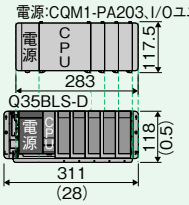
(10) CQM1-PA203 + I/Oユニット3枚 ⇒ Q35BLS-D / Q33B、Q35B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合



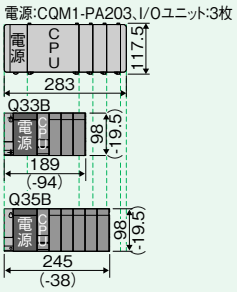
右寄せ設置の場合



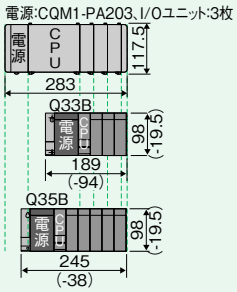
MELSEC-Qシリーズベースユニット

単位:mm

左寄せ設置の場合



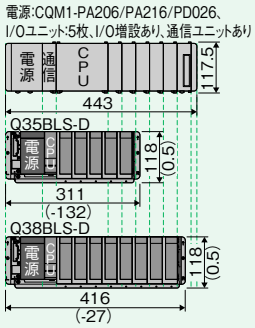
右寄せ設置の場合



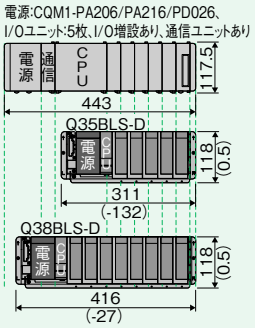
(11) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり ⇒ Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合



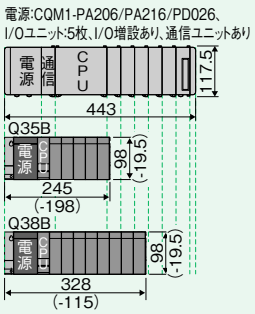
右寄せ設置の場合



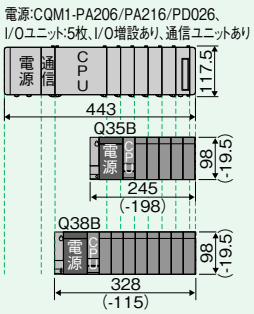
MELSEC-Qシリーズベースユニット

単位:mm

左寄せ設置の場合



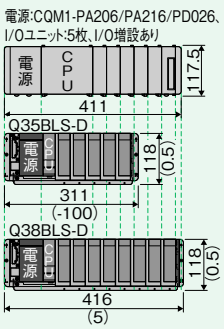
右寄せ設置の場合



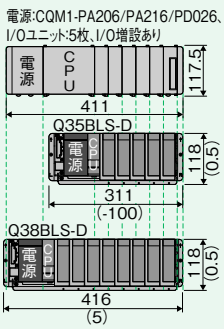
(12) CQM1-PA206/PA216/PD026 + I/Oユニット5枚、I/O増設あり ⇒ Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合



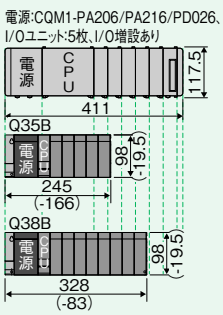
右寄せ設置の場合



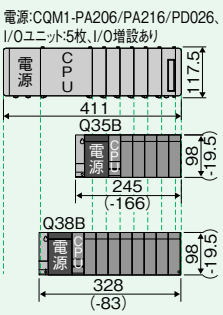
MELSEC-Qシリーズベースユニット

単位:mm

左寄せ設置の場合



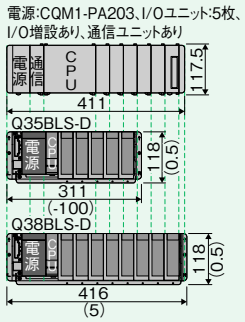
右寄せ設置の場合



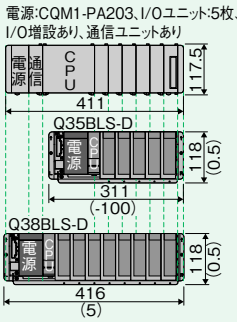
（13）CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設、通信ユニットあり ⇒ Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

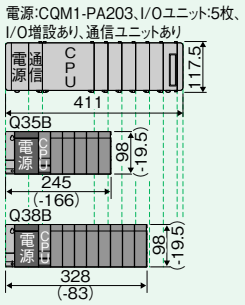


右寄せ設置の場合

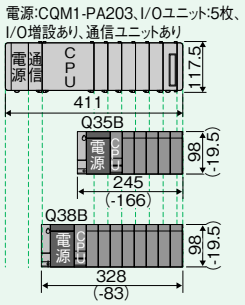


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



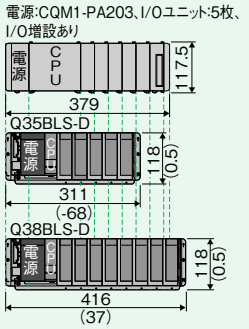
右寄せ設置の場合



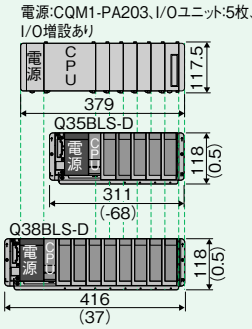
（14）CQM1-PA203 + I/Oユニット5枚、I/O増設 ⇒ Q35BLS-D、Q38BLS-D / Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

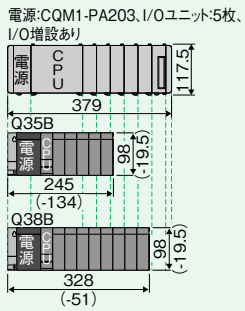


右寄せ設置の場合

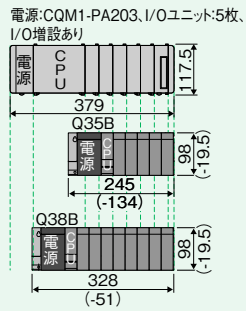


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合

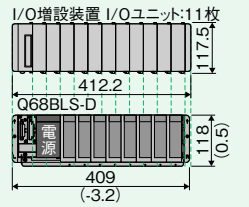


増設ベースユニットを使用する場合

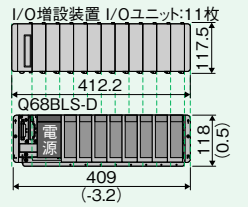
（1）I/O増設装置 I/Oユニット11枚 ⇒ Q68BLS-D / Q612B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

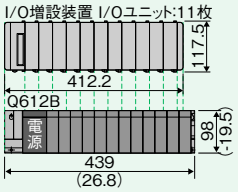


右寄せ設置の場合

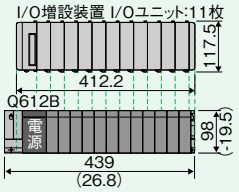


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



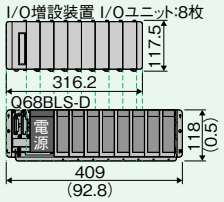
右寄せ設置の場合



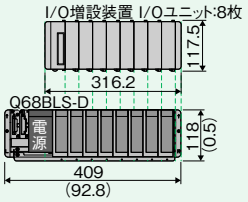
(2) I/O増設装置 I/Oユニット8枚 ⇒ Q68BLS-D / Q68B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

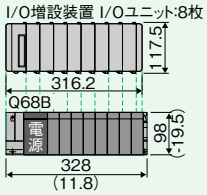


右寄せ設置の場合

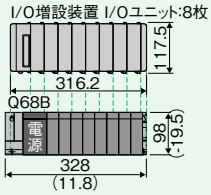


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



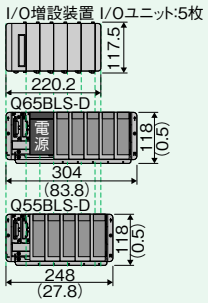
右寄せ設置の場合



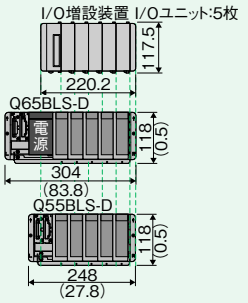
(3) I/O増設装置 I/Oユニット5枚 ⇒ Q65BLS-D、Q55BLS-D / Q65B、Q55B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

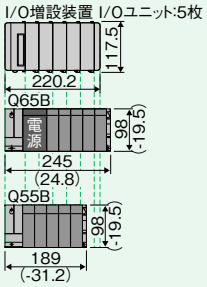


右寄せ設置の場合

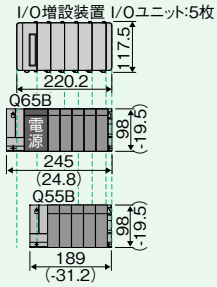


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



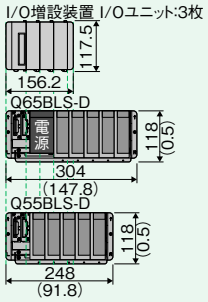
右寄せ設置の場合



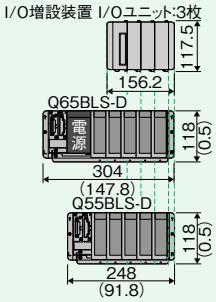
(4) I/O増設装置 I/Oユニット3枚 ⇒ Q65BLS-D、Q55BLS-D / Q63B、Q55B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

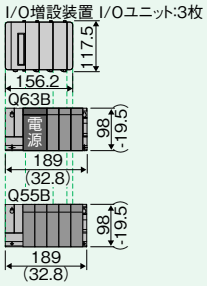


右寄せ設置の場合

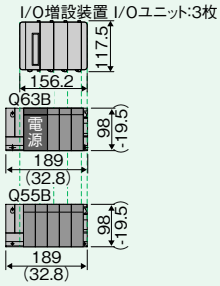


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合

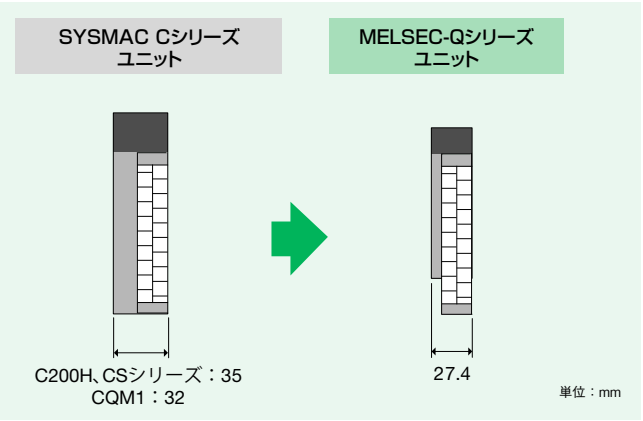


Memo

ご使用上の注意点

ユニット幅

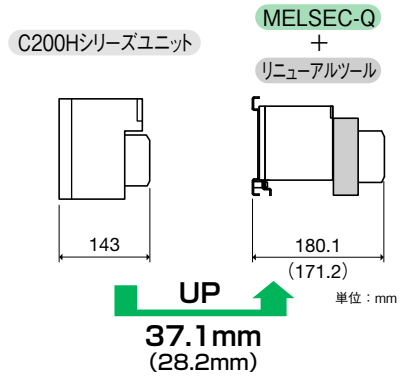
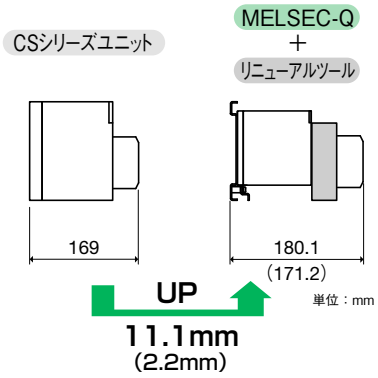
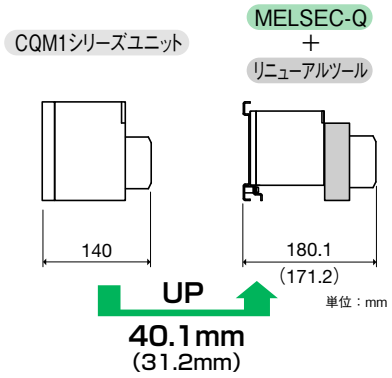
ユニット幅が小さくなり端子台へ再配線領域が小さくなるため、取付け時に確認してください。
装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるもしくは、1スロット分空け配線領域を確保してください。



奥行き

取付けについては、下記の通り寸法が大きくなるため、制御盤の奥行き・高さ寸法に注意が必要となります。
また、三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニットを使用しない場合はカッコ内の数値（8.9mm小さい値）となります。

MELSEC-Q :MELSEC-Qシリーズ

変換アダプタ	ERNT-2CQ216X218X ERNT-2CQ218Y		
奥行き寸法	37.1mm (28.2mm)	11.1mm (2.2mm)	40.1mm (31.2mm)
取付図			

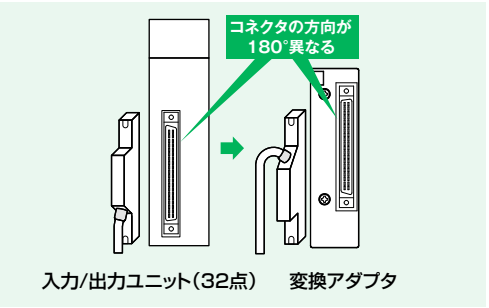
置換え時のコネクタ向き

32点ユニット

以下の対象ユニット（32点）は、変換アダプタとコネクタ方向が180°異なるため、接続するケーブルが変換アダプタへ接続可能か確認する必要があります。既設のFCNコネクタが右図のようにケーブルが下に出るタイプの場合、180°回転するとケーブルの長さが不足する可能性があります。

〈対象ユニット（32点）〉

・CS1W-ID231
・CS1W-OD231

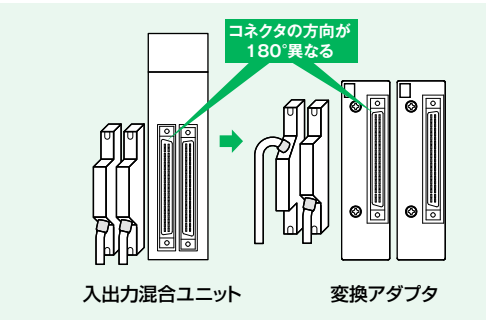


入出力混合ユニットの出力部（32点）

以下の対象ユニット（入出力混合ユニット）は、変換アダプタと出力部（左側）のコネクタ方向が180°異なるため、接続するケーブルが変換アダプタへ接続可能か確認する必要があります。既設のFCNコネクタが右図のようにケーブルが下に出るタイプの場合、180°回転するとケーブルの長さが不足する可能性があります。

〈対象ユニット（入出力混合ユニットの出力部（32点））〉

・CS1W-MD261/561

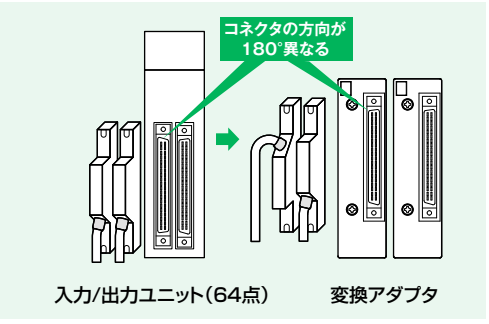


64点ユニット

以下の対象ユニット（64点）は、同じ変換アダプタを2台使用しますが、右図のように2つのコネクタ方向が180°異なるため、180°回転したコネクタに接続するケーブルが接続可能か確認する必要があります。既設のFCNコネクタが右図のようにケーブルが下に出るタイプの場合、180°回転するとケーブルの長さが不足する可能性があります。

〈対象ユニット（64点）〉

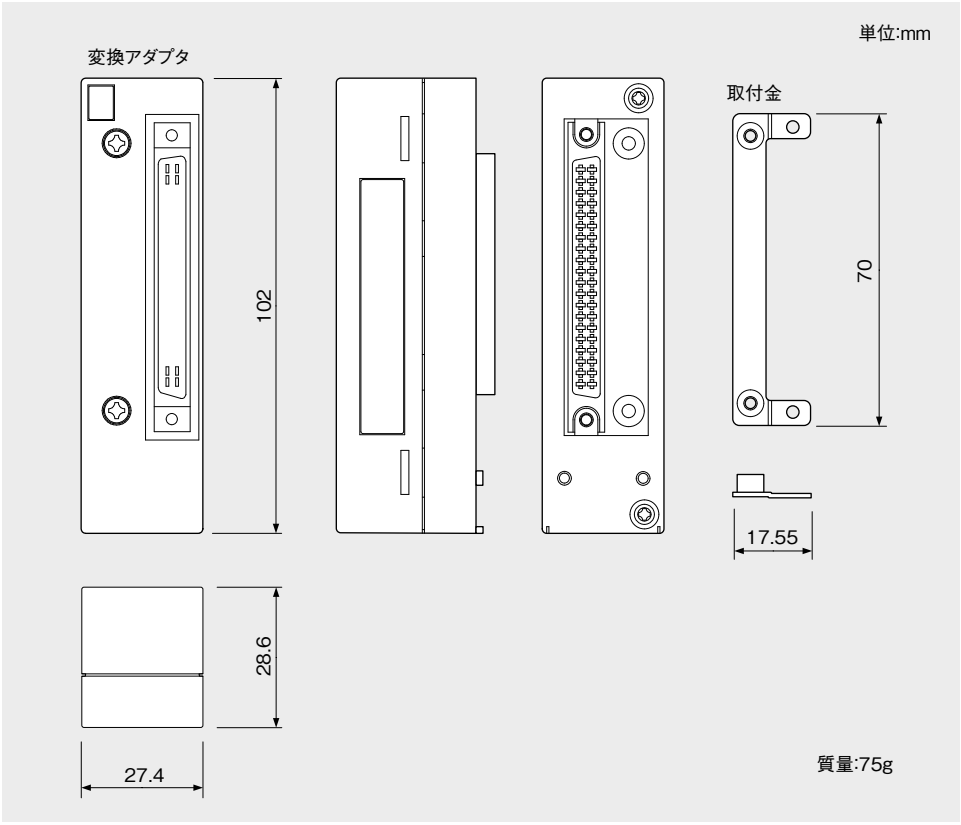
・CS1W-ID261
・CS1W-OD261
・C200H-ID217/219/111
・C200H-OD219



外形寸法図

変換アダプタ

形名:
ERNT-2CQ216X218X
ERNT-2CQ218Y



プログラムコンバータ(ERNT-CQ1W2C)

仕様一覧

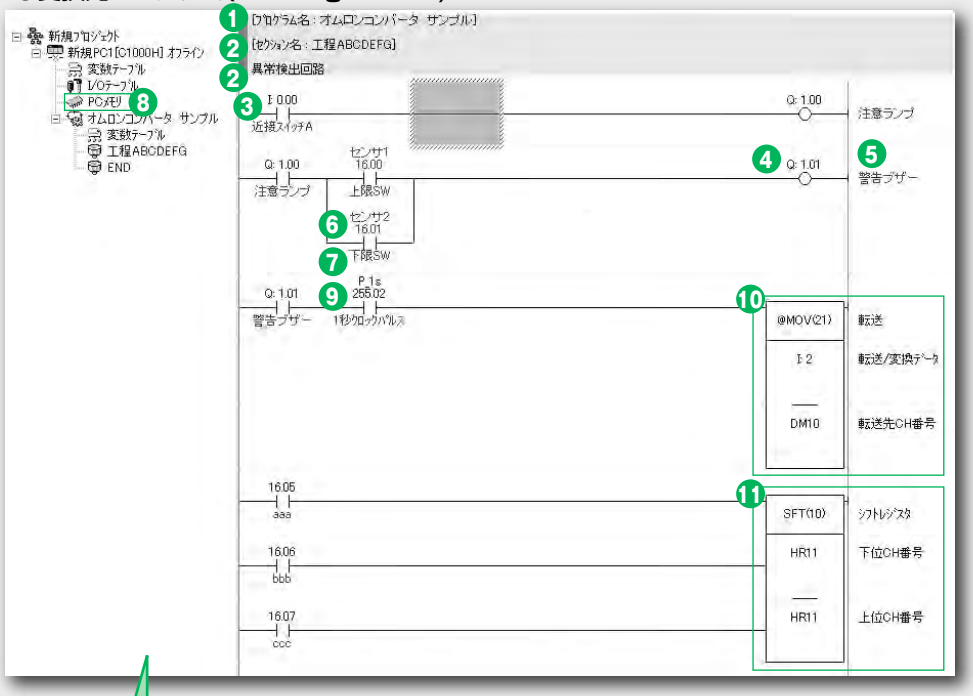
項　目			内　容
CPU選択	変換元PLC		CX-Programmerで保存したプロジェクトファイルからSYSMAC C1000H/C2000H/C200H/CJ1/CS1シリーズの各CPUを自動的に判別します。
	変換先PLC		MELSEC-Qシリーズ(Qモード)のQ00J/Q00/Q01/Q02CPU/Q02H/Q06H/Q12H/Q25H/Q12PH/Q25PH CPUの中から、置換えるシステムに合ったCPUを自由に選択できます。
プログラム変換	シーケンス命令		SYSMAC Cシリーズのシーケンス命令をMELSEC-Qシリーズの該当命令に自動変換します。 MELSEC-Qシリーズに該当する命令がない場合は、変換パラメータの「エラー処理設定」で指定した処理方法に基づき自動変換されます。
	リレー		SYSMAC Cシリーズのリレーを MELSEC-Qシリーズの該当するデバイスに自動変換します。 MELSEC-Qシリーズに同じ機能のデバイスがない場合は、変換パラメータの「代替リレー設定」で指定した代替デバイスに自動変換されます。
	変数	グローバル変数	SYSMAC Cシリーズのグローバル変数をMELSEC-Qシリーズの共通デバイスコメントの機器名に変換します。 【変換可能な最大文字数は半角8文字】
		ローカル変数	SYSMAC Cシリーズのローカル変数をMELSEC-Qシリーズのプログラム別デバイスコメントの機器名に変換します。 【変換可能な最大文字数は半角8文字】
	コメント	グローバル変数I/Oコメント	SYSMAC Cシリーズのグローバル変数I/OコメントをMELSEC-Qシリーズの共通デバイスコメントに変換します。 【変換可能な最大文字数は半角32文字】
		ローカル変数I/Oコメント	SYSMAC Cシリーズのローカル変数I/OコメントをMELSEC-Qシリーズのプログラム別デバイスコメントに変換します。 【変換可能な最大文字数は半角32文字】
		プログラムコメント	MELSEC-Qシリーズの周辺ステートメントに変換されます。プログラムコメントはプログラムの先頭に挿入されます。 セクションコメントは各セクションの先頭回路の前に挿入されます。変換できる文字数は1行あたり最大半角64文字です。 これを超える場合は複数行に分割されます。
		セクションコメント	
		行コメント	
	PCメモリ		SYSMAC CシリーズのCPUから読み出したPCメモリの内容を、MELSEC-Qシリーズのデバイスメモリに設定します。 設定可能なリレー/デバイスはDM→D,TIM→T,CNT→Cの3つです。
変換パラメータ	高機能I/Oユニット設定		SYSMAC Cシリーズで高機能I/Oユニットが使用されていた場合に、I/Oユニットとの区別を設定します。 また、全スロットの入出力割付が確認できます。
	エラー処理設定		自動変換時に、シーケンス命令およびリレーの変換がエラーとなったときの処理方法を指定します。
	代替リレー設定		自動変換時にMELSEC-Qシリーズに同じ機能のリレーが無い場合の代わりとなるデバイスを指定します。
	変換パラメータ設定内容の保存/読出		入出力割付設定、エラー処理設定、代替リレー設定の各内容が保存できます。 また、同じパラメータ設定で変換を行う必要があるとき、保存したパラメータ設定を読み出して変換することができます。
プロジェクトファイル作成			変換されたプログラムをGX Developerのプロジェクトファイルとして保存します。
CSV形式ファイルの作成			変換されたシーケンスプログラムとコメントをCSV形式ファイルに保存します。 GX Works2の回路編集画面とコメント編集画面で直接読み込むことができます。
変換ステータスファイル作成			変換ステータスの内容(エラー、警告、プログラムステップ数、使用デバイス範囲、変換後の注意事項)をログ形式ファイルに保存します。 また、保存されたファイルを読出して、変換エラーや警告の内容を再確認することも可能です。
ヘルプリンク			変換ステータスに表示されるエラーまたは警告をダブルクリックすると、オンラインヘルプが起動してコンバートマニュアルのエラーまたは警告に関する詳細説明が表示されます。
オンラインヘルプ	操作マニュアル		SYSMAC Cシリーズのシーケンスプログラムから MELSEC-Qシリーズのシーケンスプログラムに変換する手順およびプログラムコンバータの操作方法を説明します。
	コンバートマニュアル		SYSMAC Cシリーズのシーケンス命令ごとに、MELSEC-Qシリーズの該当するシーケンス命令、変換のポイント、注意事項およびサンプルプログラムの参照が行えます。
	サンプルプログラムコピー		コンバートマニュアルに記載されているMELSEC-Qシリーズ用のサンプルプログラムを、GX Developerの回路編集画面上にコピーします。
リレー → デバイス変換ツール			SYSMACのリレー番号を入力すると、MELSEC-Qシリーズの該当デバイス番号を表示する機能です。 プログラムを手動で修正するときに利用します。
バージョン情報			プログラムコンバータのバージョンを表示します。

変換の流れ

SYSMAC C1000H/C2000H/C200H/CJ1/CS1シリーズのシーケンスプログラムを、MELSEC-Qシリーズ用に変換します。

※それ以前の機種（C500等）のプログラムもCX-Programmer付属のファイル変換ユーティリティを使用してC1000H/C2000H/C200Hシリーズ用に変換することにより、本プログラムコンバータによりMELSEC-Qシリーズに変換することができます。

◎変換元プログラム（CX-Programmer）

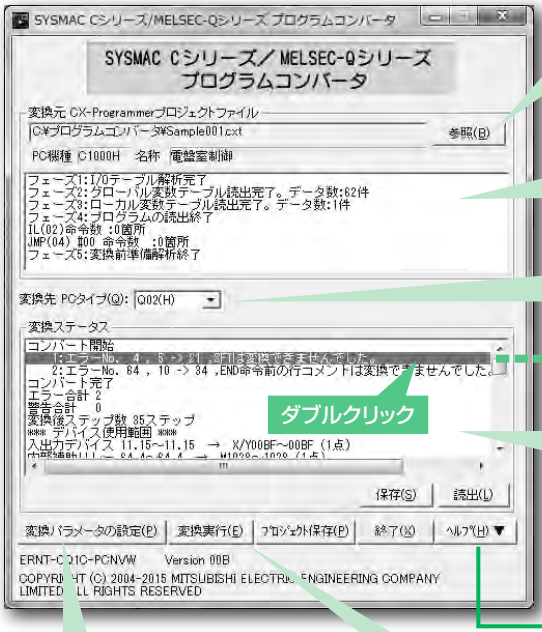


SYSMAC C

1. プログラムコメント
2. セクションコメント
2. 行コメント
3. リレー、チャンネル
4. グローバル変数
5. グローバル変数コメント
6. ローカル変数
7. ローカル変数コメント
8. PCメモリ
9. 特殊補助リレー
10. シーケンス命令
11. シーケンス命令

CX-Programmerにてテキスト形式（.cxt）のプロジェクトファイルで保存

◎プログラムコンバータを起動



①変換元プロジェクトファイル（.cxt）を選択します。

②選択したプロジェクトファイルの解析内容が表示されます。

③MELSEC-Qシリーズの CPUタイプを選択します。

⑥変換エラーや警告行をダブルクリックすると、エラーや警告に対する対策／修正方法および修正例をオンラインヘルプとして表示します。

④変換エラー時の代替リレー、命令、一時使用デバイス等の設定と、I/O割付の確認および高機能ユニットの設定ができます。

⑤変換を実行します。

変換前に確認する事項

①変換元プログラムのチェック

プログラムにエラーが無いことをコンパイルにて確認してください。
プログラムにエラーが存在する場合、プログラムコンバータではそのエラーを見つけることができません。

②I/Oテーブルの設定

SYSMACは、入力/出力/内部リレーが同じ表現になっています。プログラムコンバータは、I/Oテーブルからこれらを識別しますので、事前に設定しておく必要があります。

③ユニット構成の確認

SYSMACとMELSECでは高機能ユニットやネットワークユニットの制御方法が異なるため、変換したプログラムでは正常に動作しない可能性があります。

④回路ブロックの分割

次のプログラムが存在する場合、回路を分割する処理が必要です。

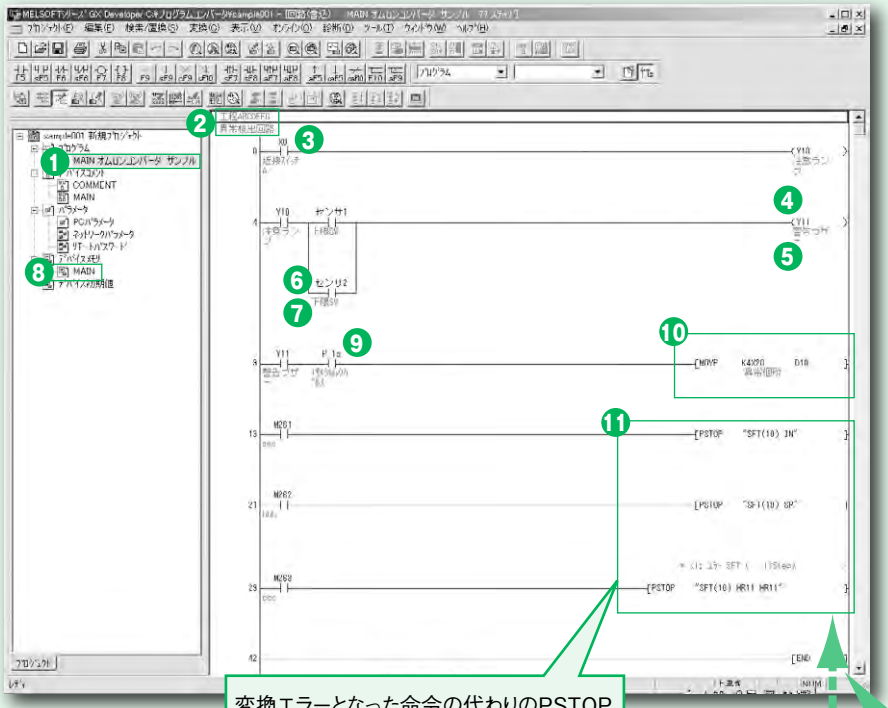
- ●24行を超える回路ブロック
- ●回り込み回路

プログラムコンバータで変換したシーケンスプログラムは、GX　Developer形式のプロジェクトおよびGX　Works2で読出し可能なCSV形式のプログラムファイルとコメントファイルとして保存できます。保存したプロジェクトをGX　Developerで開き、プログラムコンバータの変換ステータスで「警告」「変換エラー」の箇所を、オンラインヘルプを参照しながら修正します。

MELSEC-Q

1. データ名見出し文
2. 行間ステートメント
3. リレー、レジスタ
   （入力X、出力Y、内部リレーMに変換）
4. 共通デバイス
5. 共通デバイスコメント
6. プログラム別デバイスコメント機器名
7. プログラム別デバイスコメント
8. デバイスメモリ
9. 特殊リレー
10. シーケンス命令〈自動変換命令〉
11. シーケンス命令〈自動変換不可〉
    PSTOP命令に変換し、変換前の命令をファイル名で表します。

◎変換後プログラム（GX Developer）

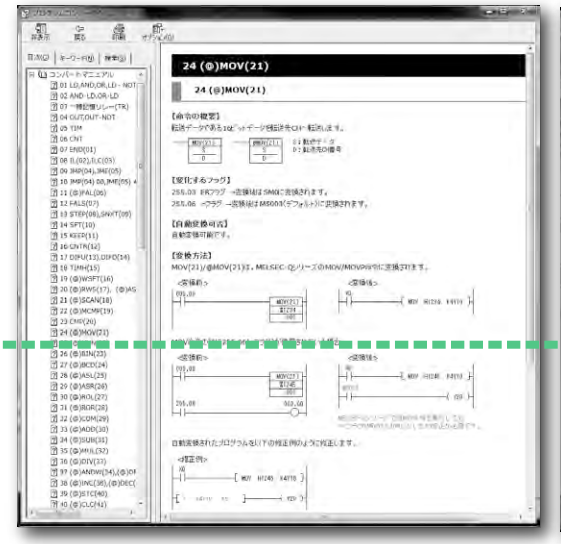


変換エラーとなった命令の代わりのPSTOP命令が全て無い状態になると、実行可能なプログラムの完成です。

貼付け

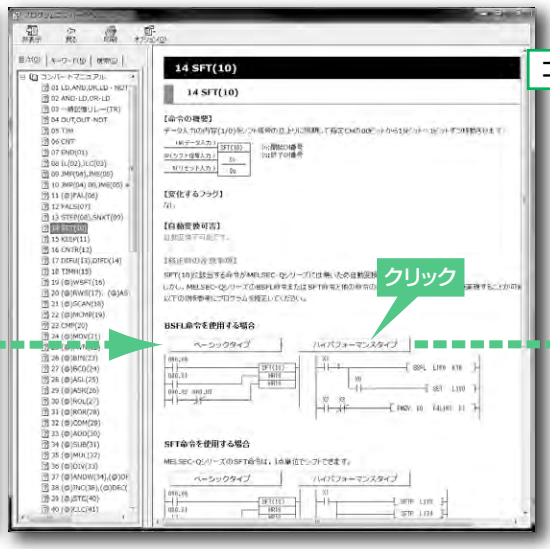
◎オンラインヘルプ

各命令の変換方法を確認することができます。



◎サンプルプログラム

自動変換不可時、オンラインヘルプ上のサンプルプログラムをコピーし、GX Developerに貼付けることができます。

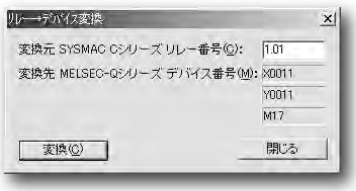


コピー

クリック

◎リレー→デバイス変換

SYSMAC　Cのリレー番号に相当するMELSEC-Qのデバイス（入力X、出力Y、内部リレーM）を確認することができます。



動作環境

項　目		内　容
パソコン本体		Windows®が動作するパーソナルコンピュータ
	CPU	インテル®Core™2 Duoプロセッサ1.06GHz以上推奨
	メモリ	1GB以上推奨
HDD空き容量	インストール時(HD)	3MB以上
	実行時(仮想メモリ)	10MB以上
CD-ROMドライブ		インストール時に必要
ディスプレイ		解像度800×600ドット以上
インストール可能な基本ソフトウェア(OS)		Microsoft® Windows® 7 Home(日本語版) Microsoft® Windows® 7 Professional(日本語版) Microsoft® Windows® 8.1 Home(日本語版) Microsoft® Windows® 8.1 Professional Microsoft® Windows®10 Home Microsoft® Windows®10 Professional Microsoft® Windows®10 Enterprise Microsoft® Windows®10 Education

プログラム変換作業を実行するためには、以下のツールが必要となります。
(1)オムロン株式会社製プログラマブルコントローラ用サポートソフト〈CX-Programmer〉Ver.3.1以降
(2)三菱電機株式会社製プログラミングソフトウェア〈GX DeveloperおよびGX Works2〉

変換率

●C1000H/2000H/200Hシリーズの変換率

シーケンスプログラム命令区分			コンバート率				
			単純比較			命令使用比率	プログラム変換率
			命令数	変換可能命令数	変換率		
シーケンス命令	基本命令		17	17	100%	51%	51%
	タイマ・カウンタ		4	3	75%	3%	2%
データ命令	転送命令		9	7	78%	25%	19%
	四則、関数命令		17	15	88%	8%	7%
	比較論理命令		10	7	70%	6%	4%
	その他	特殊ユニット ステップラダー ブロック命令	22	0	29%	7%	2%
		上記以外	46	20			
合　計			125	69	55%	100%	86%

●C200HSシリーズの変換率

シーケンスプログラム命令区分			コンバート率				
			単純比較			命令使用比率	プログラム変換率
			命令数	変換可能命令数	変換率		
シーケンス命令	基本命令		20	20	100%	51%	51%
	タイマ・カウンタ		5	5	100%	3%	3%
データ命令	転送命令		10	7	70%	25%	18%
	四則、関数命令		50	33	66%	8%	5%
	比較論理命令		16	10	63%	6%	4%
	その他	特殊ユニット ステップラダー ブロック命令	9	0	27%	7%	2%
		上記以外	28	10			
合　計			138	85	62%	100%	82%

●C200HX/HG/HEシリーズの変換率

シーケンスプログラム命令区分			コンバート率				
			単純比較			命令使用比率	プログラム変換率
			命令数	変換可能命令数	変換率		
シーケンス命令	基本命令		22	22	100%	51%	51%
	タイマ・カウンタ		5	5	100%	3%	3%
データ命令	転送命令		13	9	69%	25%	17%
	四則、関数命令		78	49	63%	8%	5%
	比較論理命令		40	22	55%	6%	3%
	その他	特殊ユニット ステップラダー ブロック命令	13	0	23%	7%	2%
		上記以外	31	10			
合　計			202	117	58%	100%	81%

●CS1/CJ1シリーズの変換率

シーケンスプログラム命令区分			コンバート率				
			単純比較			命令使用比率	プログラム変換率
			命令数	変換可能命令数	変換率		
シーケンス命令	基本命令		55	54	98%	51%	50%
	タイマ・カウンタ		22	18	82%	3%	2%
データ命令	転送命令		15	11	73%	25%	18%
	四則、関数命令		193	124	64%	8%	5%
	比較論理命令		54	27	50%	6%	3%
	その他	特殊ユニット ステップラダー ブロック命令	97	7	15%	7%	1%
		上記以外	54	15			
合　計			490	256	52%	100%	80%

※1:命令使用比率は、シーケンス命令やデータ命令の全プログラム中で使われる割合(比率)。

ご使用いただく上での注意事項

三菱電機株式会社製プログラミングソフトウェア GX DeveloperおよびGX Works2のバージョンは以下の組合せで使用してください。

GX Developer	Ver.8.45X以前またはVer.8.68W以降
GX Works2	Ver.1.73B以降

GX DeveloperのVer.8.48AからVer.8.65Tを使用している場合は、最新のバージョンにアップデートしてください。
GX Works2のVer.1.70Y以前を使用している場合は、最新のバージョンにアップデートしてください。

Memo

JW Q series ニューサテライト JWシリーズ／MELSEC-Qシリーズ リニューアルツール

JWシリーズ 大形タイプ（JW50H/70H/100H）

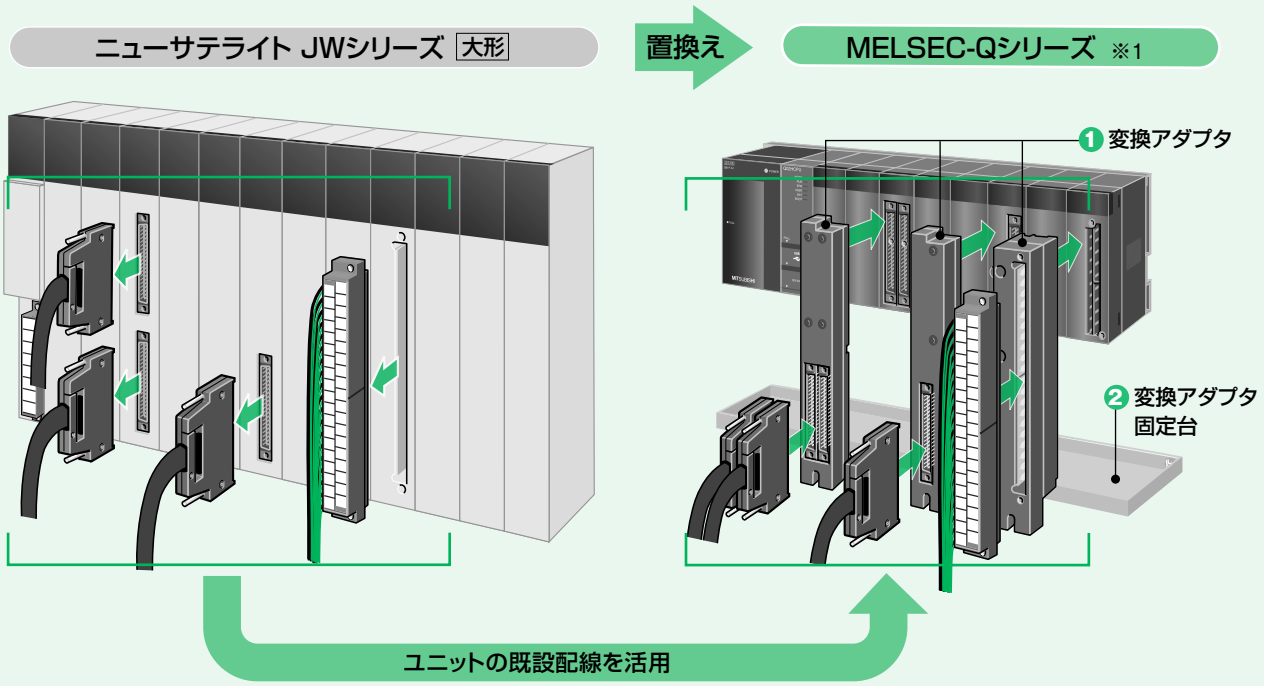
ニューサテライトJWシリーズからMELSEC-Qシリーズへリニューアルする場合

■MELSEC-Qシリーズへ置換えが容易
シャープ株式会社製ニューサテライトJWシリーズPLCから、三菱電機株式会社製MELSEC-Qシリーズシーケンサに置換えることが容易です。

■入力/出力ユニットへの配線作業時間の大幅短縮/配線ミスの大幅低減
ニューサテライトJWシリーズの入力/出力ユニットに接続されていた配線は、変換アダプタを経由することで、MELSEC-Qシリーズにそのまま接続できます。（一部、電源およびコモン端子の接続変更が必要となります。）

製品の概要

本製品は、シャープ株式会社製PLCニューサテライトJWシリーズ（大形:JW50H/70H/100H）の入力/出力ユニットに接続されていた既設配線を三菱電機株式会社製シーケンサMELSEC-Qシリーズの入力/出力ユニットに配線変更する「変換アダプタ」と、変換アダプタの下部を固定するための「変換アダプタ固定台」を組合せた構成となります。



1 変換アダプタ 5-5

2 変換アダプタ固定台 5-12

変換アダプタの下部を固定します。ただし、盤面へ取付けるためのネジ加工（M4ネジ2ヶ所）が必要となります。なおベースアダプタを使用される場合は、ネジ加工は不要です。

※1:シャープ株式会社製PLCニューサテライトJWシリーズ（大形:JW50H/70H/100H）からMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニット幅寸法と奥行き寸法が変わるため、取付け上の確認が必要です。また、隣同士の変換アダプタの端子台が干渉する組合せがあります。詳しくは本カタログの「ご使用上の注意点」（5-24ページ）を参照してください。

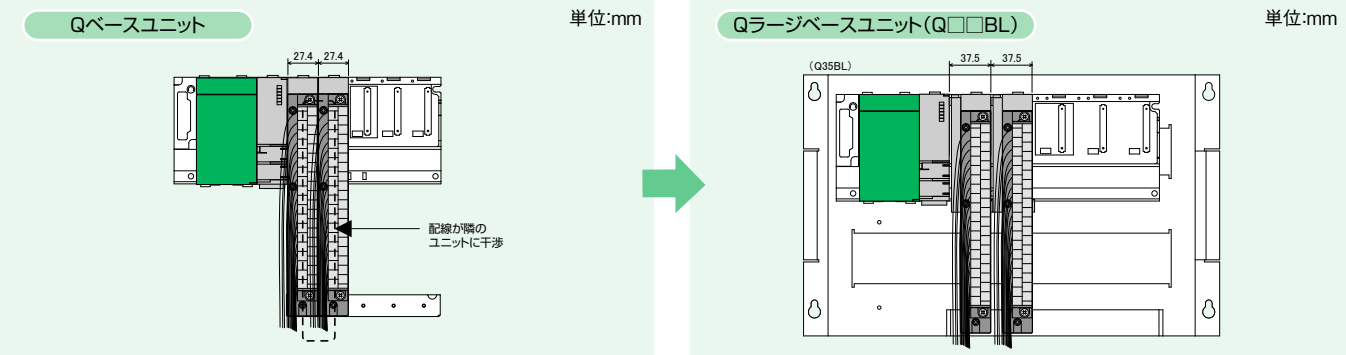
三菱電機株式会社製

Qラージベースユニットを活用したリニューアル

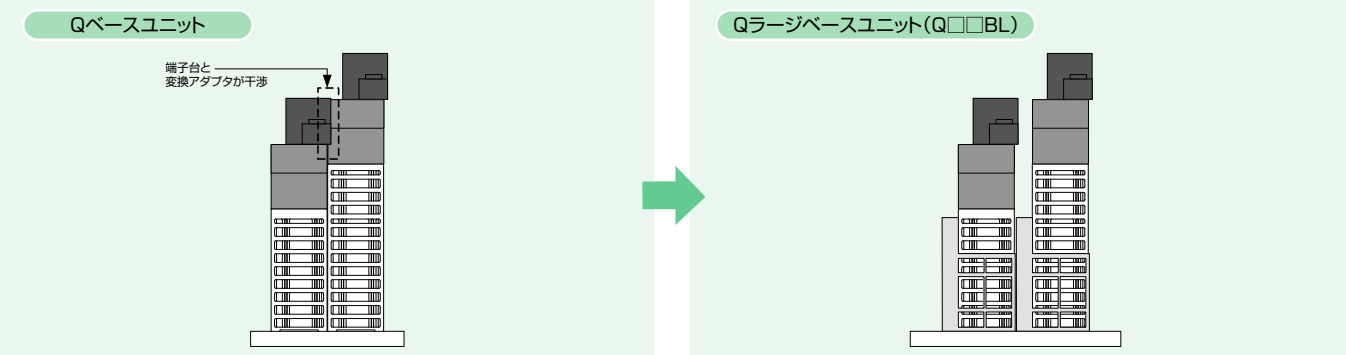
三菱電機株式会社製Qラージベースユニット(Q□□BL)を使用することで、「配線領域の確保」および「隣同士の変換アダプタの端子台が干渉する組合せ確認」が不要となります。

但し、一部機種は取付穴のピッチがJWシリーズと近く、取付位置を再検討する必要があるためご注意ください。

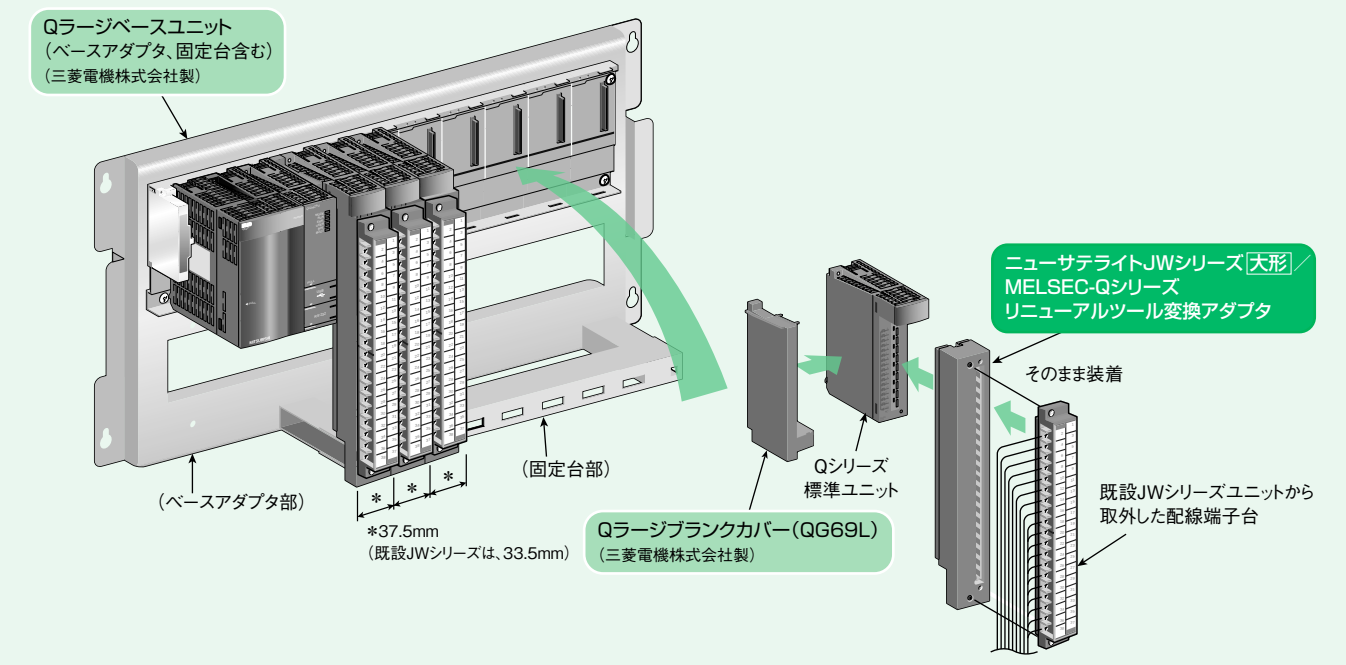
●配線が隣のユニットに干渉する場合、Qラージベースユニットを用いることにより、配線領域の確保が可能になります。



●隣同士の変換アダプタの端子台が干渉する組合せでご使用の場合、Qラージベースユニットを用いることにより端子台の干渉を避けることが可能になります。



●Qラージベースユニットの構成



●2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

●詳細は「取付寸法」(5-16ページ)を参照してください。

Qラージベースユニット一覧

形名	内容	スロット数
Q38BL	基本ベースユニット	8
Q35BL		5
Q68BL	増設ベースユニット(電源あり)	8
Q65BL		5
Q55BL	増設ベースユニット(電源なし)	5

Qラージブランクカバー

形名	内容
QG69L	ユニット間の隙間調整用備品

機種一覧

❶ 変換アダプタ

変換アダプタを選定する際は、5-5～5-11ページのユニット仕様比較表および（注）文を必ず参照してください。1コモンあたりの点数が異なる等の注意文が記載されています。
また、ユニット仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、ニューサテライトJWシリーズ 大形 とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

入力／出力ユニット用

〈1スロットタイプ〉 （三菱電機株式会社製Qラージベースユニット（Q□□BL）にも取付け可能）

入力／出力	置換前 ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 ニューサテライトJWシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力／出力 点数	掲載ページ
入力	JW-11N	QX10	ERNT-1JQ11N12N	端子台（20点）	端子台（18点）	16点	5-5
	JW-12N	QX40、QX40-S1、QX70※3※7					
	JW-32N	QX41、QX41-S2、QX71※4※8	ERNT-1JQ32N34N	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点	5-6
	JW-34N	QX41、QX41-S1、QX41-S2、QX71※4※8					
	JW-64NC	QX42、QX42-S1、QX72※5	ERNT-1JQ64NC※1	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	64点	5-7
	JW-34NC						
出力	JW-13S	QY22	ERNT-1JQ13S	端子台（20点）	端子台（18点）	16点	5-8
	JW-12S	QY40P、QY50、QY70	ERNT-1JQ12S				5-8
	JW-32S	QY41H※6	ERNT-1JQ32S	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点	5-9
	JW-32SC	QY41H	ERNT-1JQ32SC62SC	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点	5-9
	JW-62SC	QY41H × 2台	ERNT-1JQ32SC62SC×2台※2	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	32点×2	

※1:JW-34NCからの置換えの場合、MELSEC-Qシリーズユニットは64点入力ユニットとなります。（32点空きで使用）32点入力ユニットへ置換える場合、
ERNT-2JQ234N264N＋QX41/QX41-S1/QX41-S2/QX71への置換えも可能です。
※2:JW-62SCからの置換えの場合、変換アダプタが2台必要です。
※3:既存ユニットをDC24Vマイナスコモンでご使用の場合は、QX80、またはQX80Hへの再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。
※4:既存ユニットをDC24Vマイナスコモンでご使用の場合は、QX81、またはQX81-S2への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB38-Eの使用をご検討ください。
※5:既存ユニットをDC24Vマイナスコモンでご使用の場合は、以下のいずれかの方法をご検討ください。
1）JW-64NC
①QX82またはQX82-S1への再配線
②QX81またはQX81-S2 2台とERNT-AQTB38-E 2台への再配線
2）JW-34NC
①QX81またはQX81-S2 1台とERNT-AQTB38-E 1台への再配線
※6:電流容量が必要な場合は、QY50（0.5A、16点）、またはQY68A（2A、8点）への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。
※7:既存ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40H、またはQX80Hへの再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。
※8:既存ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40H 2台、またはQX80H 2台への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。

〈2スロットタイプ〉 （三菱電機株式会社製Qラージベースユニット（Q□□BL）には使用できません。）

入力／出力	置換前 ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 ニューサテライトJWシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力／出力 点数	掲載ページ
入力	JW-31N	QX10 × 2台	ERNT-1JQ31N34S	端子台（38点）	端子台（18点）× 2	32点	5-10
出力	JW-34S	QY10 × 2台					
	JW-33S	QY22 × 2台	ERNT-1JQ33S				5-11

☆ユニバーサル変換アダプタの活用（※再配線が必要です。詳細は本誌7-1ページを参照してください。）

下表に示す入力/出力ユニットおよびアナログ/高速カウンタユニットは未対応となります。但し、ユニバーサル変換アダプタの活用をいただくことで、再配線が必要となりますがご使用いただけます。
なお、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

入力／出力ユニット用

入力／出力	ニューサテライトJWシリーズユニット形名 形名	仕様	点数	MELSEC-Qシリーズユニット形名 形名	仕様	点数	必要台数	ユニバーサル変換アダプタの活用
入力	JW-13N	AC200-240V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台	（※9）
出力	JW-35S	DC12/24Vソースタイプ	32点	QY81P	DC12/24Vソースタイプ	32点	1台	（※9）

※9:ユニバーサル変換アダプタ（7-7ページ参照）を置換えに活用いただけます。

アナログ／高速カウンタユニット用

入力／出力	ニューサテライトJWシリーズユニット形名 形名	仕様	チャンネル数	MELSEC-Qシリーズユニット形名 形名	仕様	チャンネル数	必要台数	ユニバーサル変換アダプタの活用
アナログ出力	JW-2DA	DC0～±10V, DC0～±20mA 11ビット符号付バイナリ	2	Q62DAN	DC-10～+10V, DC0～20mA 16ビット符号付バイナリ	2	1台	（※10）
高速カウンタ入力	JW-2HC	50/20/15/8kpps 24ビットバイナリ	2	QD62	200/100/10kpps 32ビットバイナリ	2	1台	（※10）

※10:ユニバーサル変換アダプタ（7-7ページ参照）を置換えに活用いただけます。

❷ 変換アダプタ固定台(必須)

MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズリニューアルツールと同じ製品を使用します。
変換アダプタの下部を固定するもので、1ベースユニットあたり1個必要となります。

ご注意

変換アダプタ固定台を盤面に取付けるためのネジ穴加工2ヶ所(M4ネジ)が必要となります。
ベースアダプタを使用される場合、ネジ穴加工は不要です。

変換アダプタ固定台形名	仕　様	掲載ページ
ERNT-AQF12	12スロット分変換アダプタ固定台	5-12
ERNT-AQF8	8スロット分変換アダプタ固定台	
ERNT-AQF5	5スロット分変換アダプタ固定台	
ERNT-AQF3	3スロット分変換アダプタ固定台	

❸ ベースアダプタ

MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズリニューアルツールと同じ製品を使用します。
ベースアダプタを使用することにより、MELSEC-Qシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台をネジ穴加工なしで、同時に設置できます。
なお、同じベースユニット(※1～※5)が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

ご注意

ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工2ヶ所(M5ネジ)、および取付M5ネジ4本(お客様手配)が必要となります。
(尚、置換え前後で取付寸法が4ヶ所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。)

ベースアダプタ形名	取付け可能						製品寸法	掲載ページ
	MELSEC-Qシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ(mm)	
	12スロット	8スロット	5スロット	3スロット	2スロット			
ERNT-AQB38N	Q312B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	480×240	5-15
		Q38B(※1)				ERNT-AQF8		
ERNT-AQB35N		Q38B(※1)				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	382×240	
			Q35B			ERNT-AQF5		
ERNT-AQB32				Q33B		ERNT-AQF3	247×240	
ERNT-AQB68N	Q612B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	466×240	
		Q68B(※2)				ERNT-AQF8		
ERNT-AQB65N		Q68B(※2)				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	352×240	
			Q65B(※3) Q55B(※4)			ERNT-AQF5		
ERNT-AQB62				Q63B	Q52B(※5)	ERNT-AQF3	238×240	
ERNT-AQB58N		Q68B(※2)				ERNT-AQF8	411×240	
ERNT-AQB55N			Q65B(※3) Q55B(※4)			ERNT-AQF5	297×240	
ERNT-AQB52					Q52B(※5)	ERNT-AQF3	183×240	

変換アダプタ

仕　様

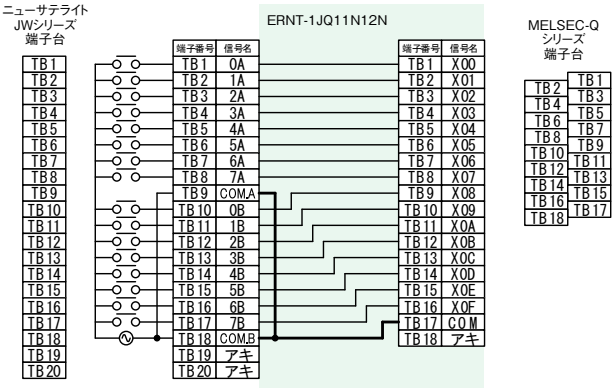
入力／出力ユニット用

1スロットタイプ（三菱電機株式会社製 Qラージベースユニット（Q□□BL）にも取付け可能）

(1)ERNT-1JQ11N12N　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-1JQ11N12N	JW-11N	16点	QX10
	JW-12N	16点	QX40 QX40-S1 QX70

JW-11N → QX10の場合

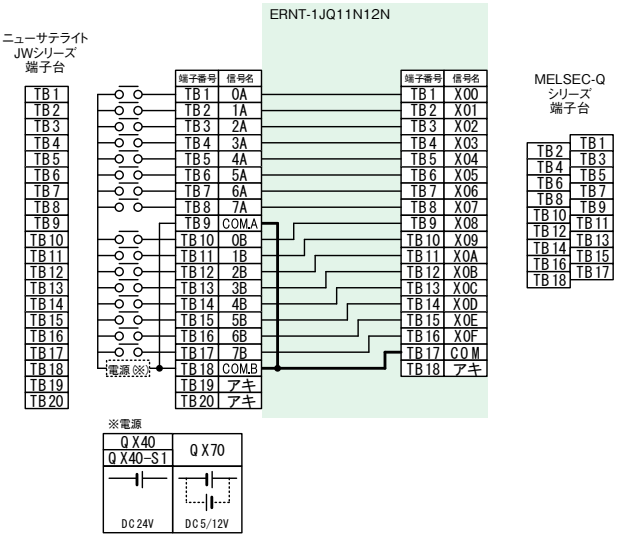


〈仕様比較表〉

仕様＼形名		ニューサテライトJWシリーズ JW-11N	MELSEC-Qシリーズ QX10
入力点数		16点	16点
定格入力電圧		AC100-120V 50/60Hz	AC100-120V 50/60Hz
定格入力電流		約10mA（AC100V 60Hz） 約8.4mA（AC100V 50Hz）	約8mA（AC100V 60Hz） 約7mA（AC100V 50Hz）
入力インピーダンス		約10kΩ（60Hz） 約12kΩ（50Hz）	約12kΩ（60Hz） 約15kΩ（50Hz）
突入電流		最大480mA 0.2ms（AC132V）	最大200mA 1ms（AC132V）
動作電圧／電流	ON	AC80V / 7mA	AC80V / 5mA
	OFF	AC30V / 3mA	AC30V / 1.7mA
応答時間	OFF→ON	25ms以下	15ms以下
	ON→OFF	25ms以下	20ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		20点端子台	18点端子台

（注）1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン（2回路）→16点／1コモンとなるため、ニューサテライトJWシリーズ側の端子番号TB9とTB18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、ニューサテライトJWシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

JW-12N → QX40/QX40-S1/QX70の場合



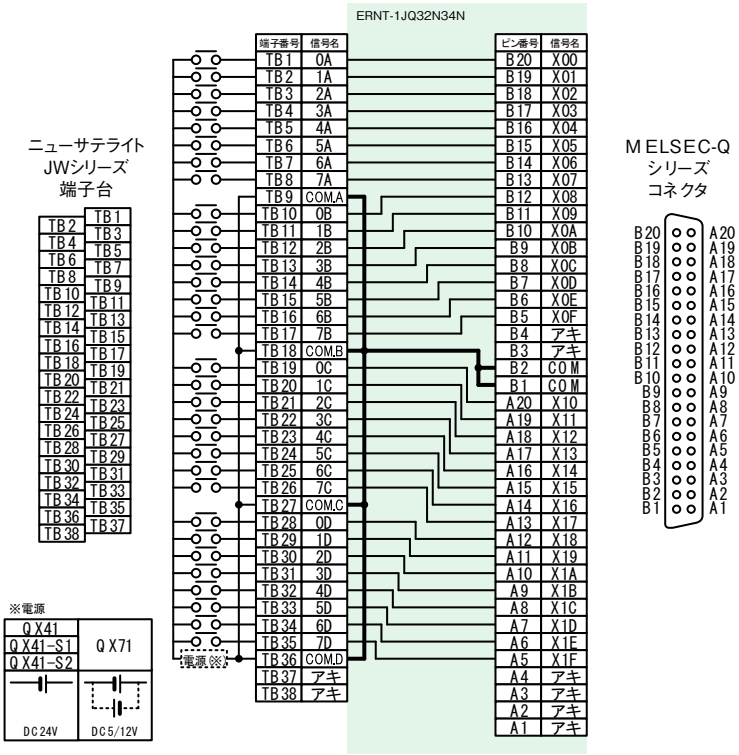
〈仕様比較表〉

仕様＼形名		ニューサテライトJWシリーズ	MELSEC-Qシリーズ		
		JW-12N プラス/マイナスコモン共用タイプ	QX40 プラスコモンタイプ	QX40-S1 プラスコモンタイプ	QX70 プラス/マイナスコモン共用タイプ
入力点数		16点	16点	16点	16点
定格入力電圧		DC12/24V AC24V 50/60Hz	DC24V	DC24V	DC5/12V
定格入力電流		約8.4mA（DC/AC24V） 約4mA（DC12V）	約4mA	約6mA	約3.3mA（DC12V） 約1.2mA（DC5V）
入力インピーダンス		約2.9kΩ	約5.6kΩ	約3.9kΩ	約3.3kΩ
突入電流		—	—	—	—
動作電圧／電流	ON	10V / 3mA	19V / 3mA	19V / 4mA	3.5V / 1mA
	OFF	4.7V / 1.5mA	11V / 1.7mA	11V / 1.7mA	1V / 0.1mA
応答時間	OFF→ON	25ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	25ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		20点端子台	18点端子台	18点端子台	18点端子台

（注）1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン（2回路）→16点／1コモンとなるため、ニューサテライトJWシリーズ側の端子番号TB9とTB18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、ニューサテライトJWシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
4. 既存ユニットをDC24V　マイナスコモンでご使用の場合は、QX80、またはQX80Hへの再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。
5. 既存ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40H、またはQX80Hへの再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。

(2) ERNT-1JQ32N34N　端子台(38p)→コネクタ(40p)

変換アダプタ形名	ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-1JQ32N34N	JW-32N	32点	QX41 QX41-S2 QX71
	JW-34N	32点	QX41 QX41-S1 QX41-S2 QX71



〈仕様比較表〉

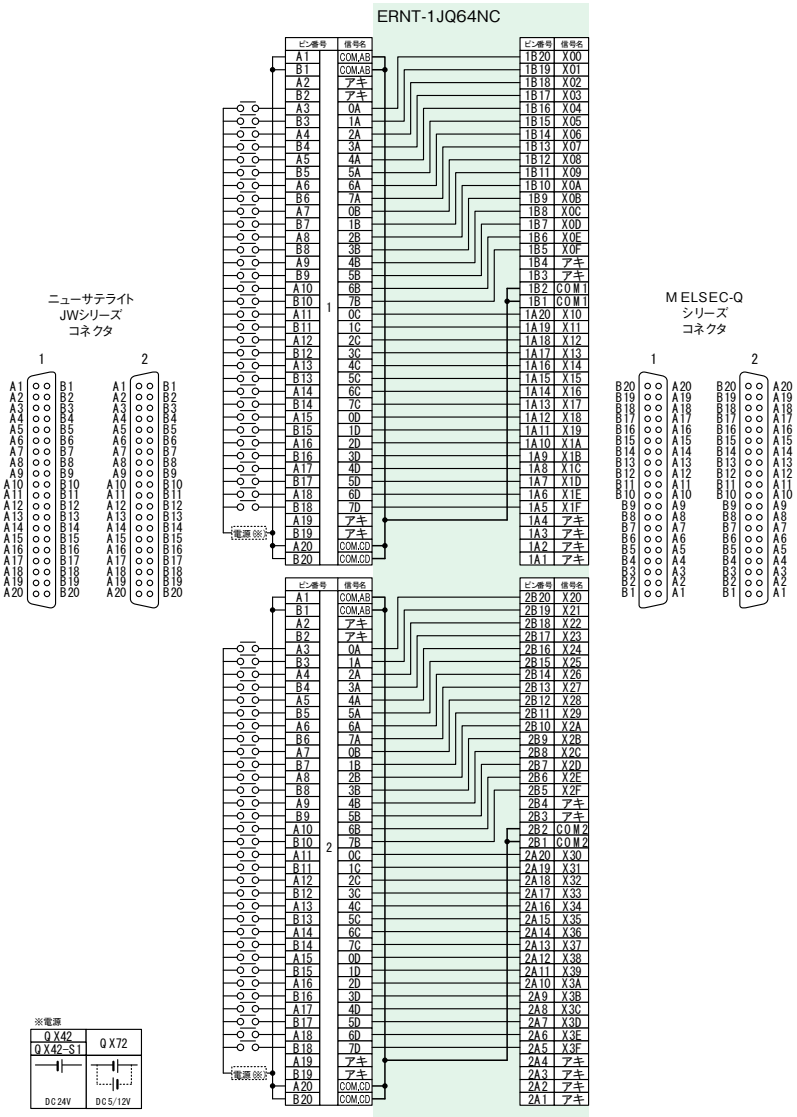
仕様 ＼ 形名		ニューサテライトJWシリーズ		MELSEC-Qシリーズ			
		JW-32N プラス/マイナスコモン共用タイプ	JW-34N プラス/マイナスコモン共用タイプ	QX41 プラスコモンタイプ	QX41-S1 プラスコモンタイプ	QX41-S2 プラスコモンタイプ	QX71 プラス/マイナスコモン共用タイプ
入力点数		32点	32点	32点	32点	32点	32点
定格入力電圧		DC12/24V AC24V 50/60Hz	DC12/24V	DC24V	DC24V	DC24V	DC5/12V
定格入力電流		約8.4mA(DC/AC24V) 約4mA(DC12V)	約8.4mA(DC24V) 約4mA(DC12V)	約4mA	約4mA	約6mA	約3.3mA(DC12V) 約1.2mA(DC5V)
入力インピーダンス		約2.9kΩ	約2.9kΩ	約5.6kΩ	約5.6kΩ	約3.6kΩ	約3.3kΩ
突入電流		—	—	—	—	—	—
動作電圧/電流	ON	10V / 3mA	10V / 3mA	19V / 3mA	19V / 3mA	15V / 3mA	3.5V / 1mA
	OFF	4.7V / 1.5mA	4.7V / 1.5mA	11V / 1.7mA	9.5V / 1.5mA	5V / 1.7mA	1V / 0.1mA
応答時間	OFF→ON	25ms以下	0.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	25ms以下	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		8点1コモン	8点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外線接続方式		38点端子台	38点端子台	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(4回路)→32点／1コモンとなるため、ニューサテライトJWシリーズ側の端子番号TB9、TB18、TB27、TB36を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、ニューサテライトJWシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
4.既存ユニットをDC24V マイナスコモンでご使用の場合は、QX81、またはQX81-S2への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB38-Eの使用をご検討ください。
5.既存ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40H 2台、またはQX80H 2台への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。

(3) ERNT-1JQ64NC コネクタ(40p)×2→コネクタ(40p)×2

変換アダプタ形名	ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-1JQ64NC	JW-64NC	64点	QX42 QX42-S1 QX72
	JW-34NC	32点※1	

※1:JW-34NCからの置換えの場合、MELSEC-Qシリーズユニットは64点入力ユニットとなります。(32点空きで使用)
32点入力ユニットへ置換える場合、ERNT-2JQ234N264N+QX41/QX41-S1/QX41-S2/QX71への置換えも可能です。



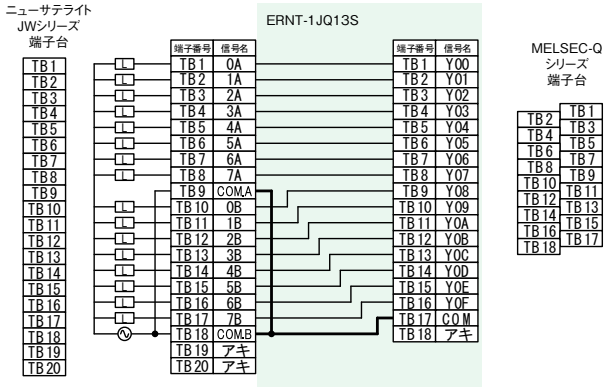
〈仕様比較表〉

仕様＼形名		ニューサテライトJWシリーズ JW-64NC プラス/マイナスコモン共用タイプ	ニューサテライトJWシリーズ JW-34NC プラス/マイナスコモン共用タイプ	MELSEC-Qシリーズ QX42 プラスコモンタイプ	MELSEC-Qシリーズ QX42-S1 プラスコモンタイプ	MELSEC-Qシリーズ QX72 プラス/マイナスコモン共用タイプ
入力点数		64点	32点	64点	64点	64点
定格入力電圧		DC12/24V	DC12/24V	DC24V	DC24V	DC5/12V
定格入力電流		約7.5mA(DC24V) 約3.5mA(DC12V)	約7.5mA(DC24V) 約3.5mA(DC12V)	約4mA	約4mA	約3.3mA(DC12V) 約1.2mA(DC5V)
入力インピーダンス		約3.3kΩ	約3.3kΩ	約5.6kΩ	約5.6kΩ	約3.3kΩ
突入電流		—	—	—	—	—
動作電圧/電流	ON	10.5V / 3.2mA	10.5V / 3.2mA	19V / 3mA	19V / 3mA	3.5V / 1mA
	OFF	5V / 1.5mA	5V / 1.5mA	11V / 1.7mA	9.5V / 1.5mA	1V / 0.1mA
応答時間	OFF→ON	0.5ms以下	0.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	1.5ms以下	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		16点1コモン	16点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外線接続方式		40ピンコネクタ×2	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ×2	40ピンコネクタ×2	40ピンコネクタ×2

(注)1.1コモンあたりの点数が16点/1コモン(4回路)→32点/1コモン(2回路)となるため、ニューサテライトJWシリーズ側のピン番号1のA1、B1、A20、B20および、2のA1、B1、A20、B20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.JW-34NCからの置換えの場合、MELSEC-Qシリーズユニットは64点入力ユニットとなります。(32点空きで使用)
3. □ は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、ニューサテライトJWシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
5.既存ユニットをDC24V マイナスコモンでご使用の場合は、以下のいずれかの方法をご検討ください。
1) JW-64NC
①QX82への再配線 ②QX81 2台とERNT-AQTB38-E 2台への再配線
2) JW-34NC
①QX81 1台とERNT-AQTB38-E 1台への再配線

(4) ERNT-1JQ13S　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-1JQ13S	JW-13S	16点	QY22



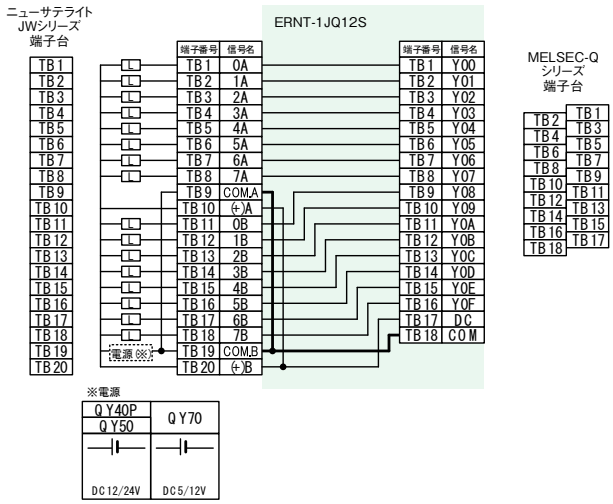
〈仕様比較表〉

仕様＼形名		ニューサテライトJWシリーズ JW-13S (トライアック出力)	MELSEC-Qシリーズ QY22 (トライアック出力)
出力点数		16点	16点
定格負荷電圧		AC100-240V 50/60Hz	AC100-240V 50/60Hz
最大負荷電流		2A/1点 4A/1コモン	0.6A/1点 4.8A/1コモン
最小負荷電流		10mA	25mA
最大突入電流		6A, 100ms 以下	20A 1サイクル以下
OFF時漏洩電流		1.5mA以下(AC120V 60Hz) 3mA以下(AC240V 60Hz)	1.5mA以下(AC120V 60Hz) 3mA以下(AC240V 60Hz)
ON時電圧降下		2V以下(2A)	1.5V以下
応答時間	OFF→ON	1ms以下	電源半サイクル+1ms以下
	ON→OFF	電源半サイクル+1ms以下	電源半サイクル+1ms以下
サージキラー		CRアブソーバ/バリスタ	CRアブソーバ
ヒューズ		4A(交換不可)	なし
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		20点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、ニューサテライトJWシリーズ側の端子番号TB9とTB18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、ニューサテライトJWシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(5) ERNT-1JQ12S　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-1JQ12S	JW-12S	16点	QY40P QY50 QY70



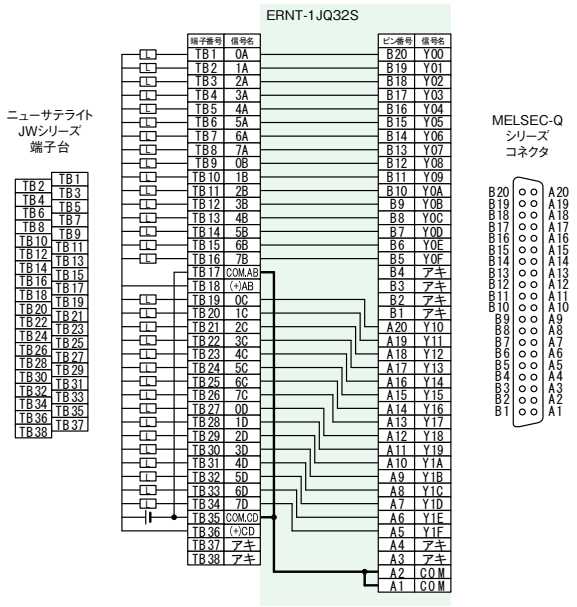
〈仕様比較表〉

仕様＼形名		ニューサテライトJWシリーズ JW-12S シンクタイプ	MELSEC-Qシリーズ QY40P シンクタイプ	QY50 シンクタイプ	QY70 シンクタイプ
出力点数		16点	16点	16点	16点
定格負荷電圧		DC5/12/24V	DC12/24V	DC12/24V	DC5/12V
最大負荷電流		1A/1点 8A/1コモン	0.1A/1点 1.6A/1コモン	0.5A/1点 4A/1コモン	16mA/1点 256mA/1コモン
最大突入電流		4A, 100ms	0.7A, 10ms	4A, 10ms	40mA, 10ms
OFF時漏洩電流		0.2mA以下	0.1mA以下	0.1mA以下	—
ON時電圧降下		DC1V (MAX.)1A	DC0.2V (MAX.)0.1A	DC0.3V (MAX.)0.5A	V_{OL}: DC0.3V
応答時間	OFF→ON	1ms以下	1ms以下	1ms以下	0.5ms以下
	ON→OFF	1ms以下 (抵抗負荷)	1ms以下 (抵抗負荷)	1ms以下 (抵抗負荷)	0.5ms以下 (抵抗負荷)
サージキラー		ツェナーダイオード	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード	なし
ヒューズ		8A (交換不可)	無	6.7A (交換不可)	1.6A (交換不可)
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		20点端子台	18点端子台	18点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、ニューサテライトJWシリーズ側の端子番号TB9とTB18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、ニューサテライトJWシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(6) ERNT-1JQ32S　端子台(38p)→コネクタ(40p)

変換アダプタ形名	ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-1JQ32S	JW-32S	32点	QY41H



〈仕様比較表〉

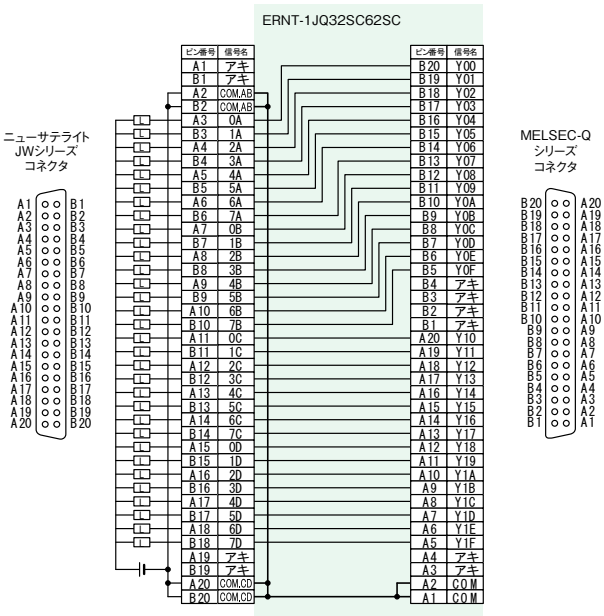
仕様＼形名	ニューサテライトJWシリーズ JW-32S シンクタイプ	MELSEC-Qシリーズ QY41H シンクタイプ
出力点数	32点	32点
定格負荷電圧	DC5/12/24V	DC5/12/24V
最大負荷電流	1A/1点　8A/1コモン	0.2A/1点　2A/1コモン
最小負荷電流	—	—
最大突入電流	4A 100ms以下	0.7A 10ms以下
OFF時漏洩電流	0.2mA以下	0.1mA以下
ON時電圧降下	DC1V(MAX.)1A	DC0.2V(MAX.)0.1A
応答時間 OFF→ON	1ms以下	2μs以下
応答時間 ON→OFF	1ms以下(抵抗負荷)	2μs以下(抵抗負荷)
サージキラー	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ	8A(交換不可)	なし
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式	16点1コモン	32点1コモン
外線接続方式	38点端子台	40ピンコネクタ

(注)1.1コモンあたりの点数が16点／1コモン(2回路)→32点／1コモンとなるため、ニューサテライトJWシリーズ側の端子番号TB17とTB35を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、ニューサテライトJWシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
4.電流容量が必要な場合は、QY50(0.5A、16点)、またはQY68A(2A、8点)への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。

(7) ERNT-1JQ32SC62SC　コネクタ(40p)→コネクタ(40p)

変換アダプタ形名	ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-1JQ32SC62SC	JW-32SC	32点	QY41H
ERNT-1JQ32SC62SC×2台	JW-62SC※1	64点	QY41H×2台

※1:JW-62SCからの置換えの場合、QY41Hと変換アダプタを2セット使用して32点ずつ必要となります。



〈仕様比較表〉

仕様＼形名	ニューサテライト JWシリーズ JW-32SC シンクタイプ	ニューサテライト JWシリーズ JW-62SC シンクタイプ	MELSEC-Qシリーズ QY41H シンクタイプ
出力点数	32点	64点	32点
定格負荷電圧	DC5/12/24V	DC5/12/24V	DC5/12/24V
最大負荷電流	0.3A/1点 4.8A/1コモン	0.1A/1点 1.6A/1コモン	0.2A/1点 2A/1コモン
最大突入電流	1A 100ms以下	0.12A 100ms以下	0.7A 10ms以下
OFF時漏洩電流	0.2mA以下	0.2mA以下	0.1mA以下
ON時電圧降下	DC1V(MAX.)1A	DC1.3V(MAX.)0.1A	DC0.2V(MAX.)0.1A
応答時間 OFF→ON	1ms以下	1ms以下	2μs以下
応答時間 ON→OFF	1ms以下(抵抗負荷)	1ms以下(抵抗負荷)	2μs以下(抵抗負荷)
サージキラー	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ	なし	なし	なし
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式	16点1コモン	16点1コモン	32点1コモン
外線接続方式	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ×2	40ピンコネクタ

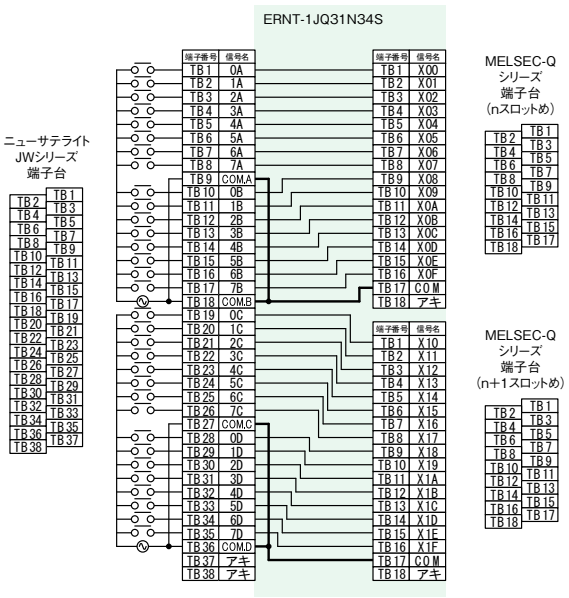
(注)1.1コモンあたりの点数が16点／1コモン(2回路)→32点／1コモンとなるため、ニューサテライトJWシリーズ側のピン番号1のA2、B2、A20、B20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.JW-62SCからの置換えの場合、QY41Hと変換アダプタを2セット使用して32点ずつ必要となります。
3. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、ニューサテライトJWシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

2スロットタイプ (三菱電機株式会社製 Qラージベースユニット(Q□□BL)には使用できません。)

(1) ERNT-1JQ31N34S 端子台(38p)→端子台(18p)×2

変換アダプタ形名	ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	入力／出力 点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-1JQ31N34S	JW-31N	32点	QX10	2台
	JW-34S	32点	QY10	2台

JW-31N → QX10の場合

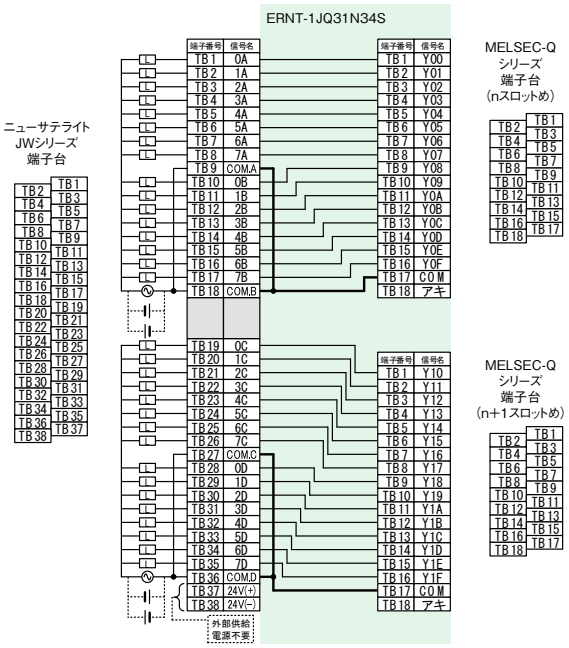


〈仕様比較表〉

仕様＼形名		ニューサテライトJWシリーズ JW-31N	MELSEC-Qシリーズ QX10
入力点数		32点	16点
定格入力電圧		AC100-120V 50/60Hz	AC100-120V 50/60Hz
定格入力電流		約10mA(AC100V 60Hz) 約8.4mA(AC100V 50Hz)	約8mA(AC100V 60Hz) 約7mA(AC100V 50Hz)
入力インピーダンス		約10kΩ(60Hz) 約12kΩ(50Hz)	約12kΩ(60Hz) 約15kΩ(50Hz)
突入電流		最大480mA 0.2ms(AC132V)	最大200mA 1ms(AC132V)
動作電圧／電流	ON	AC80V / 7mA	AC80V / 5mA
	OFF	AC30V / 3mA	AC30V / 1.7mA
応答時間	OFF→ON	25ms以下	15ms以下
	ON→OFF	25ms以下	20ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		38点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(4回路)→16点／1コモン(2回路)となるため、ニューサテライトJWシリーズ側の端子番号TB9とTB18および、TB27とTB36を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、ニューサテライトJWシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

JW-34S → QY10の場合



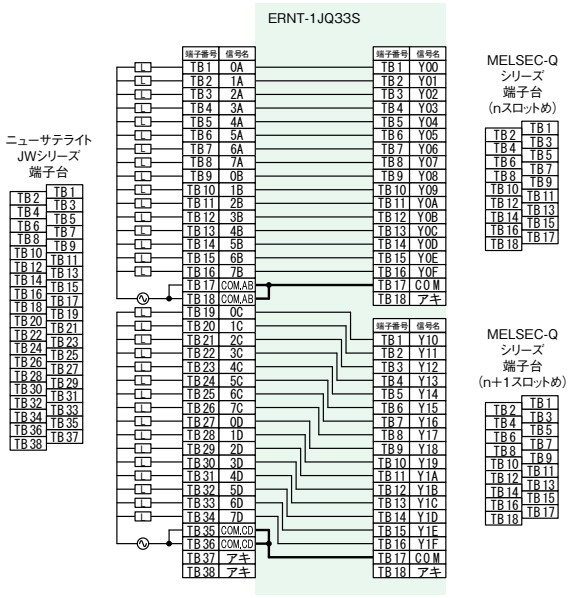
〈仕様比較表〉

仕様＼形名		ニューサテライトJWシリーズ JW-34S	MELSEC-Qシリーズ QY10
出力点数		32点	16点
定格負荷電圧		DC30V / AC264V	DC24V / AC240V
最大負荷電流		2A/1点 5A/1コモン	2A/1点 8A/1コモン
最小負荷電流		1mA(DC5V)	1mA(DC5V)
最大突入電流		—	—
OFF時漏洩電流		—	—
ON時電圧降下		—	—
応答時間	OFF→ON	10ms以下	10ms以下
	ON→OFF	10ms以下	12ms以下
サージキラー		なし	なし
ヒューズ		なし	なし
絶縁方式		リレー絶縁	リレー絶縁
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		38点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(4回路)→16点／1コモン(2回路)となるため、ニューサテライトJWシリーズ側の端子番号TB9とTB18および、TB27とTB36を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.ニューサテライトJWシリーズ側の端子番号TB37、TB38に接続されていた外部供給電源は不要となります。ただし、変換アダプタ内部では未配線状態のため、接続したままの状態でも問題ありません。
3. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、ニューサテライトJWシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(2) ERNT-1JQ33S　端子台(38p)→端子台(18p)×2

変換アダプタ形名	ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-1JQ33S	JW-33S	32点	QY22	2台



〈仕様比較表〉

仕様＼形名		ニューサテライトJWシリーズ JW-33S トライアック出力	MELSEC-Qシリーズ QY22 トライアック出力
出力点数		32点	16点
定格負荷電圧		AC100-240V 50/60Hz	AC100-240V 50/60Hz
最大負荷電流		1A/1点 4A/1コモン	0.6A/1点 4.8A/1コモン
最小負荷電流		10mA	25mA
最大突入電流		6A 100ms 以下	20A 1サイクル以下
OFF時漏洩電流		1.5mA以下(AC120V 60Hz) 3mA以下(AC240V 60Hz)	1.5mA以下(AC120V 60Hz) 3mA以下(AC240V 60Hz)
ON時電圧降下		2V以下(1A)	1.5V以下
応答時間	OFF→ON	1ms以下	電源半サイクル+1ms以下
	ON→OFF	電源半サイクル+1ms以下	電源半サイクル+1ms以下
サージキラー		CRアブソーバ / バリスタ	CRアブソーバ
ヒューズ		4A(交換不可)	なし
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		16点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		38点端子台	18点端子台

(注)1. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
2. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、ニューサテライトJWシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

変換アダプタ固定台(必須)

仕　様

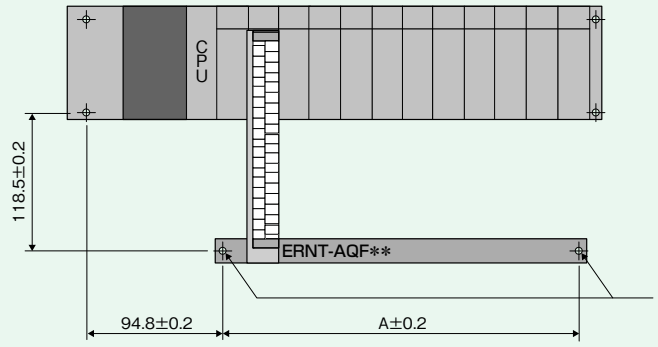
変換アダプタの下部を固定するもので、変換アダプタ使用時に必要となります。また、1ベースユニットあたり1個必要となります。
MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールと同じ製品を使用します。

変換アダプタ固定台形名	仕　様
ERNT-AQF12	MELSEC-Qシリーズユニット12スロット分の変換アダプタ固定台
ERNT-AQF8	MELSEC-Qシリーズユニット8スロット分の変換アダプタ固定台
ERNT-AQF5	MELSEC-Qシリーズユニット5スロット分の変換アダプタ固定台
ERNT-AQF3	MELSEC-Qシリーズユニット3スロット分の変換アダプタ固定台

基本ベースユニットを使用する場合

◎Q312B、Q38B、Q35B、Q33Bの場合

単位:mm



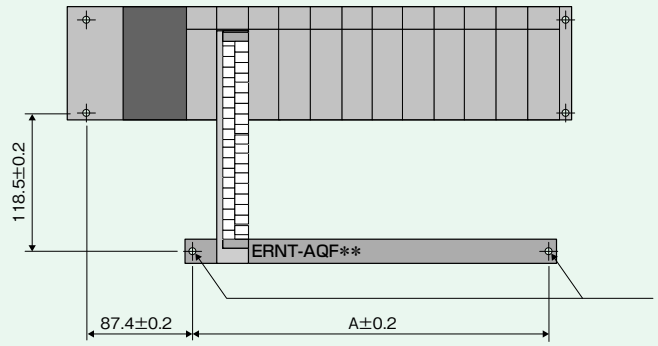
変換アダプタ固定台	A(mm)
ERNT-AQF12	321.2
ERNT-AQF8	210
ERNT-AQF5	126.6
ERNT-AQF3	71

この位置にネジ穴加工(M4×2ヶ所)を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

増設ベースユニットを使用する場合

◎Q612B、Q68B、Q65B、Q63Bの場合

単位:mm

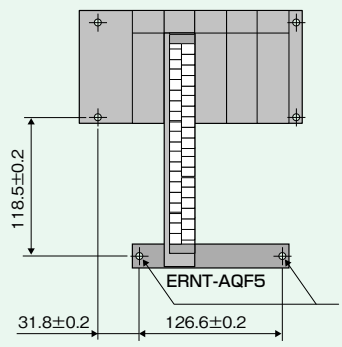


変換アダプタ固定台	A(mm)
ERNT-AQF12	321.2
ERNT-AQF8	210
ERNT-AQF5	126.6
ERNT-AQF3	71

この位置にネジ穴加工(M4×2ヶ所)を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

◎Q55Bの場合

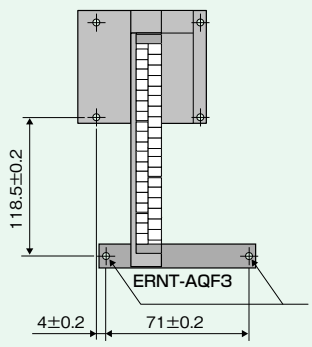
単位:mm



この位置にネジ穴加工(M4×2ヶ所)を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

◎Q52Bの場合

単位:mm



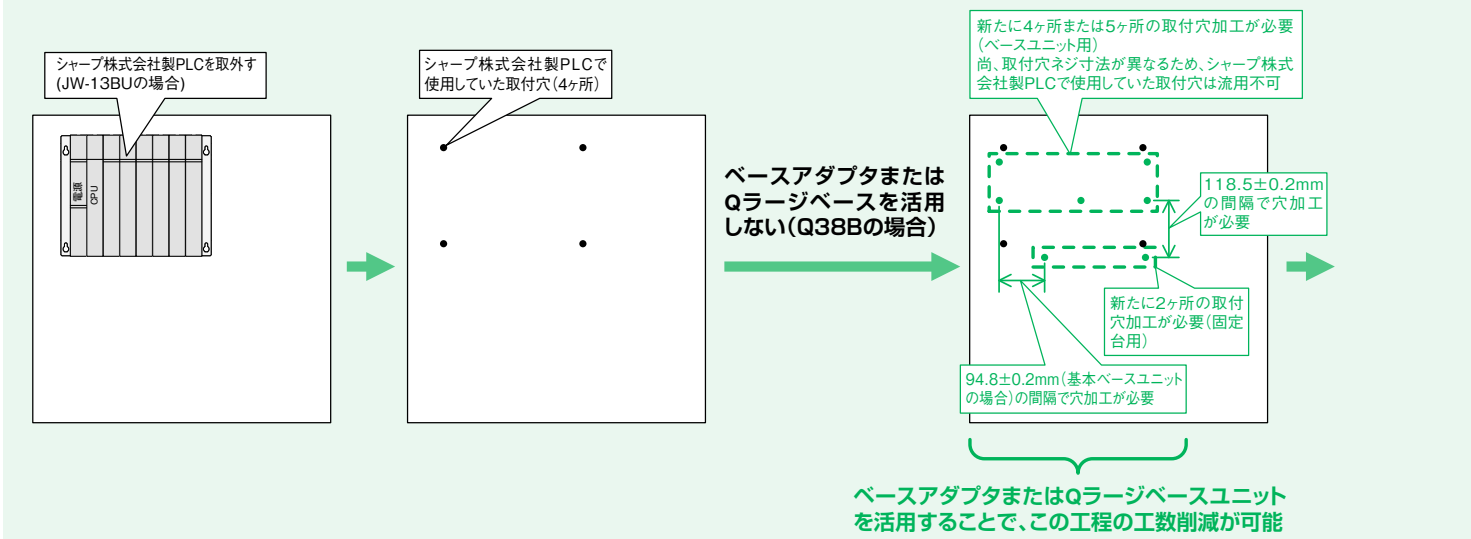
この位置にネジ穴加工(M4×2ヶ所)を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

ベースアダプタまたはQラージベースユニット（三菱電機株式会社製）を活用したリニューアル

ベースアダプタまたはQラージベースユニットを活用することで、「取付穴加工工数の削減」および「固定台の取付寸法位置出しが不要」となります。

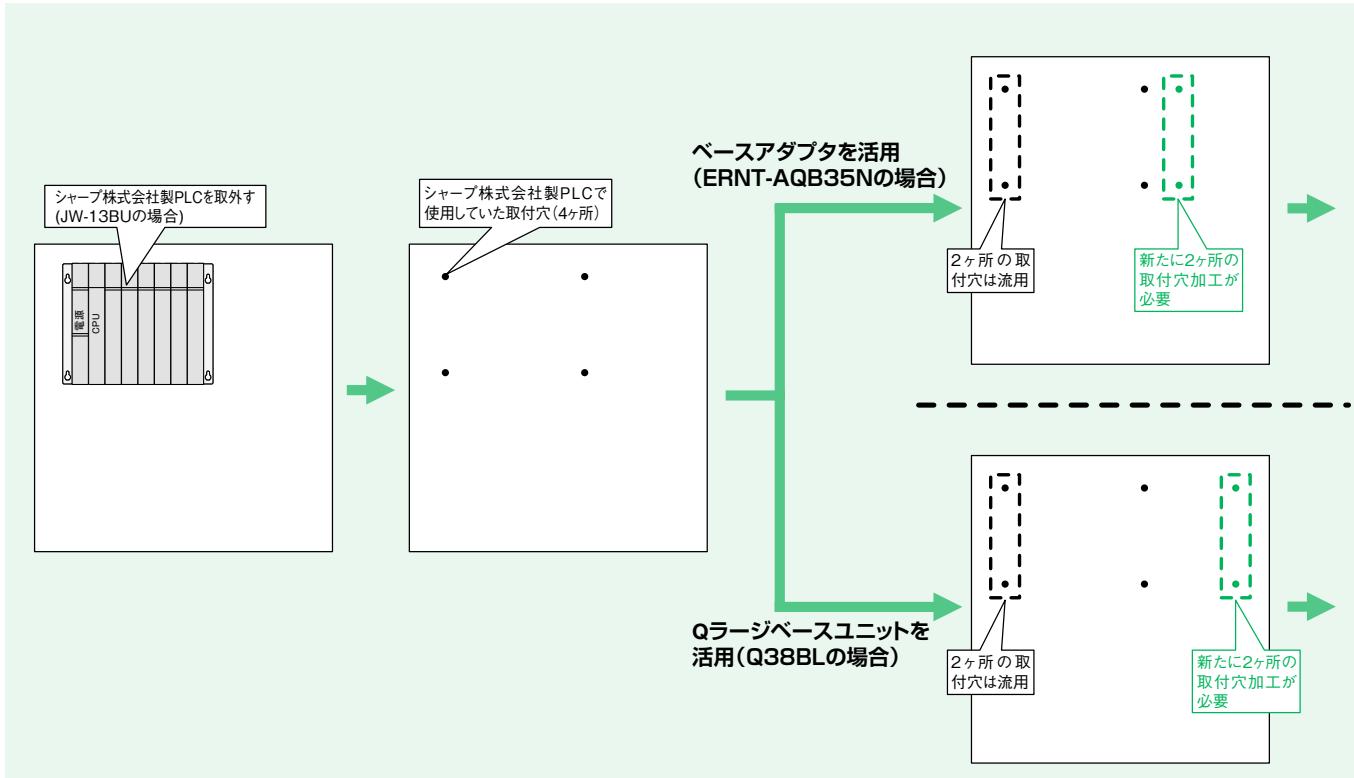
ベースアダプタまたはQラージベースユニットを活用しない場合

新たな6ヶ所または7ヶ所の穴加工だけでなく、Qベースユニットと固定台間の寸法出しが必要となります。

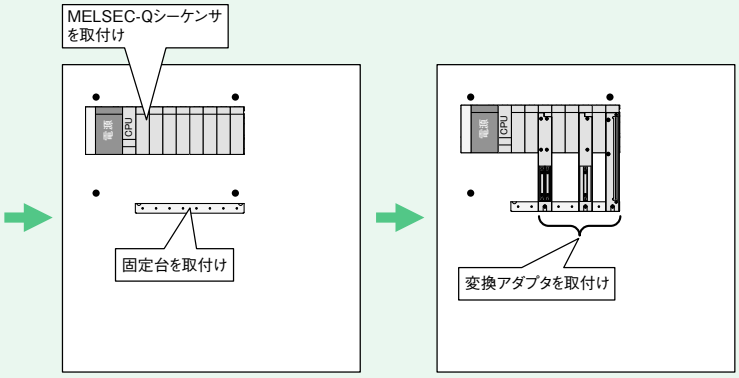


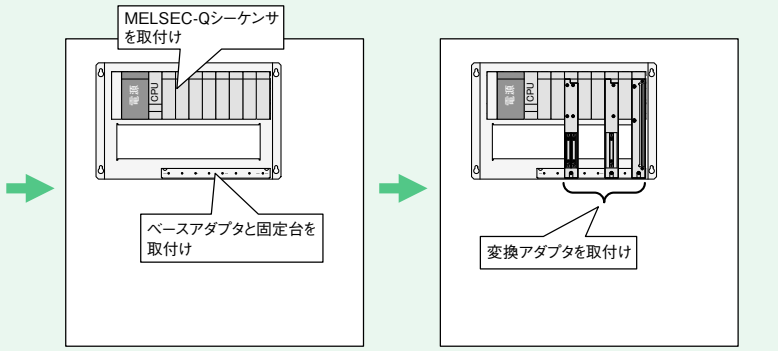
ベースアダプタまたはQラージベースユニット（MELSEC-Aシリーズ 大形 ⇒MELSEC-Qシリーズ用）を活用する場合

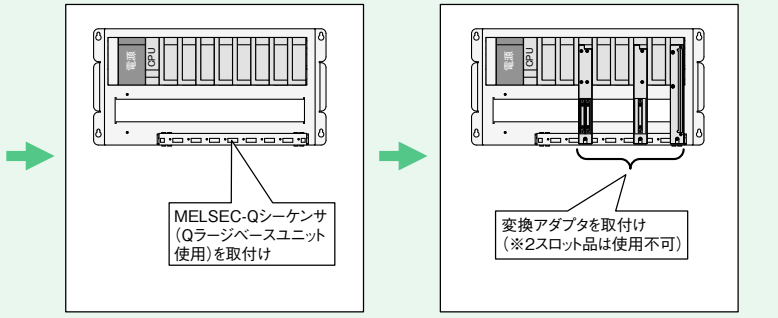
ベースアダプタまたはQラージベースユニットは、取付穴の縦寸法がJWシリーズベースユニットと同一のため、穴加工は2ヶ所以下となります。
（尚、置換え前後で取付寸法が4ヶ所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要の場合もあります）
左側の取付穴2ヶ所を流用すると、下図のようになります。



詳細は、「取付寸法」（5-16ページ）、「置換え時の外形寸法および取付穴寸法比較」（5-17ページ）および「スロット位置」（5-19ページ）を参照ください。


MELSEC-Qシーケンサ
を取付け
電源
CPU
固定台を取付け
電源
CPU
変換アダプタを取付け


MELSEC-Qシーケンサ
を取付け
電源
CPU
ベースアダプタと固定台を
取付け
電源
CPU
変換アダプタを取付け

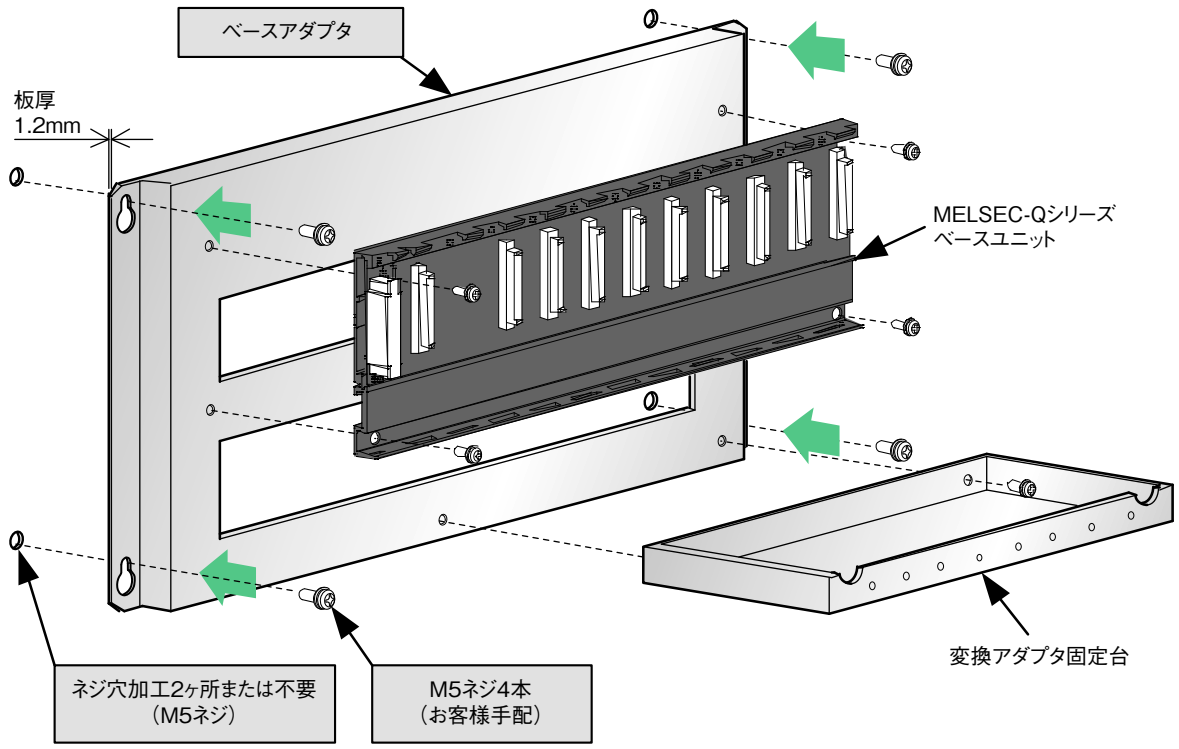

電源
CPU
MELSEC-Qシーケンサ
(Qラージベースユニット
使用)を取付け
電源
CPU
変換アダプタを取付け
(※2スロット品は使用不可)

ベースアダプタ

仕　様

ベースアダプタを使用することにより、MELSEC-Qシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台を、ネジ穴加工なしで同時に設置できます。
MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールと同じ製品を使用します。

ご注意
●ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工2ヶ所（M5ネジ）および取付M5ネジ4本（お客様手配）が必要となります。
（尚、置換え前後で取付寸法が4ヶ所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。）



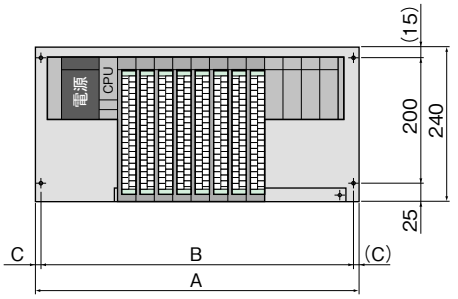
同じベースユニット（*1～*5）が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

ベースアダプタ形名	取付け可能						製品寸法
	MELSEC-Qシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ (mm)
	12スロット	8スロット	5スロット	3スロット	2スロット		
ERNT-AQB38N	Q312B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	480×240
		Q38B(*1)				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB35N		Q38B(*1)				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	382×240
			Q35B			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB32				Q33B		ERNT-AQF3	247×240
ERNT-AQB68N	Q612B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	466×240
		Q68B(*2)				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB65N		Q68B(*2)				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	352×240
			Q65B(*3) Q55B(*4)			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB62				Q63B	Q52B(*5)	ERNT-AQF3	238×240
ERNT-AQB58N		Q68B(*2)				ERNT-AQF8	411×240
ERNT-AQB55N			Q65B(*3) Q55B(*4)			ERNT-AQF5	297×240
ERNT-AQB52					Q52B(*5)	ERNT-AQF3	183×240

取付寸法

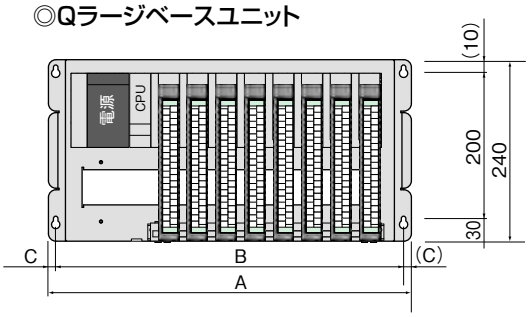
●ニューサテライトJWシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。
●ニューサテライトJWシリーズより縦寸法が小さくなります。
（但し、ユニット幅寸法および奥行き寸法については、「ご使用上の注意点」（5-24ページ）を参照。）
●ベースアダプタおよびQラージベースユニットの取付穴（4ヶ所）のうち2ヶ所は、ニューサテライトJWシリーズベースユニットと同一取付寸法ですので、制御盤への追加ネジ穴加工は残り2ヶ所のみです。
（尚、置換え前後で取付寸法が4ヶ所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。）

◎ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット



◎Qラージベースユニット

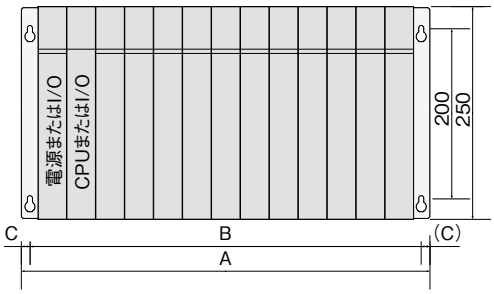
単位:mm



ベースアダプタ形名	内 容	A	B	C	取付穴ネジサイズ
ERNT-AQB38N	基本ベースユニット用	480	460	10	M5
ERNT-AQB35N		382	362	10	
ERNT-AQB32		247	227	10	
ERNT-AQB68N	増設ベースユニット用（電源あり）	466	446	10	
ERNT-AQB65N		352	332	10	
ERNT-AQB62		238	218	10	
ERNT-AQB55N	増設ベースユニット用（電源なし）	297	277	10	
ERNT-AQB52		183	163	10	

Qラージベースユニット形名	内 容	A	B	C	取付穴ネジサイズ
Q38BL	基本ベースユニット	480	460	10	M5
Q35BL		382	362	10	
Q68BL	増設ベースユニット（電源あり）	466	446	10	
Q65BL		352	332	10	
Q55BL	増設ベースユニット（電源なし）	297	277	10	

◎（参考）ニューサテライトJWシリーズベースユニット



JWシリーズベースユニット形名	内 容	A	B	C	取付穴ネジサイズ
JW-13BU	基本/増設ベースユニット共用	480	460	10	M5
JW-8BU		310	290	10	
JW-6BU		242	222	10	
JW-4BU		174	154	10	

置換え時の外形寸法および取付穴寸法比較

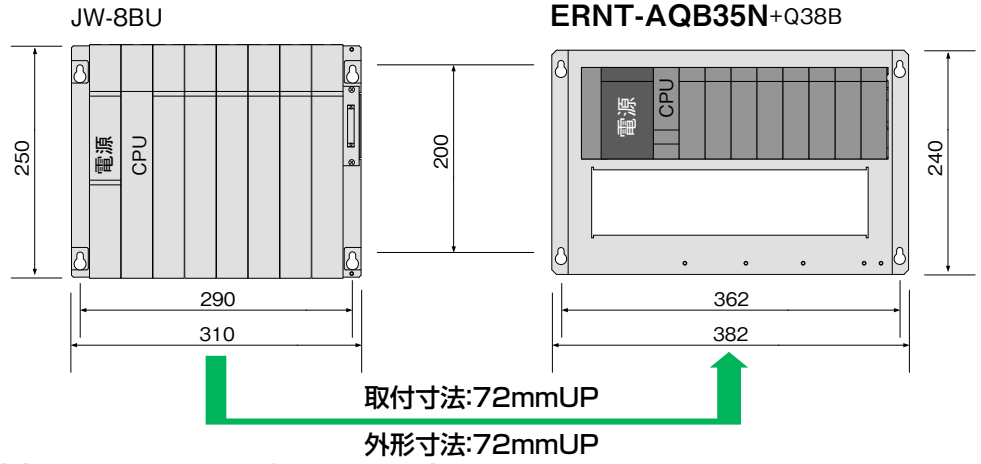
下記の表により、置換え前後の外形寸法および取付穴寸法が確認できます。

ご注意

- ●"▲"の箇所は置換えた際に下記(例)の様に寸法が大きくなり、取付位置を再検討する必要があるためご注意ください。
- ●装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。
- ●ニューサテライトJWシリーズのJW□□BUは基本/増設ベースユニット共用であり、電源・CPUの使用有無によりスロット数が変化するため、ご注意ください。
- ●記載がないJWシリーズベースユニット形名については、お客様にてスロット数・外形寸法・取付寸法等をご確認いただき、最適なベースアダプタまたはQラージベースユニットをご選定ください。

(例) ニューサテライトJWシリーズ(JW-8BU)からベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット(ERNT-AQB35N+Q38B)に置換えた場合

単位:mm



基本ベースユニットを使用する場合

① MELSEC-Qシリーズベースユニットまたは MELSEC-Qシリーズベースユニット+ベースアダプタに置換える場合

◎:同一、○:JWシリーズの方が大きい、▲:JWシリーズの方が小さい

JWシリーズベースユニット			MELSEC-Qシリーズベースユニット							ベースアダプタ					取付変換アダプタ固定台	備考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 (MELSEC-Q-JWシリーズ) 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付寸法 横	取付寸法 縦	形名	寸法比較 ※2 (ベースアダプタ-JWシリーズ) 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付寸法 横	取付寸法 縦		
JW-13BU	あり	11	Q312B	あり	12	○ (-41)	○ (-152)	○ (-41)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF12	・ベースアダプタを使用した場合は、盤面の取付穴加工不要
			Q38B	あり	8	○ (-152)	○ (-152)	○ (-152)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF8	
JW-8BU	あり	6	Q312B	あり	12	▲ (129)	○ (-152)	▲ (129)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	▲ (170)	○ (-10)	▲ (170)	◎	ERNT-AQF12	・ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要
			Q38B	あり	8	▲ (18)	○ (-152)	▲ (18)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	▲ (72)	○ (-10)	▲ (72)	◎	ERNT-AQF8	
			Q35B	あり	5	○ (-65)	○ (-152)	○ (-65.6)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	▲ (72)	○ (-10)	▲ (72)	◎	ERNT-AQF5	
JW-6BU	あり	4	Q312B	あり	12	▲ (197)	○ (-152)	▲ (197)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	▲ (238)	○ (-10)	▲ (238)	◎	ERNT-AQF12	
			Q38B	あり	8	▲ (86)	○ (-152)	▲ (86)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	▲ (140)	○ (-10)	▲ (140)	◎	ERNT-AQF8	
			Q35B	あり	5	▲ (3)	○ (-152)	▲ (2.4)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	▲ (140)	○ (-10)	▲ (140)	◎	ERNT-AQF5	
			Q33B	あり	3	○ (-53)	○ (-152)	○ (-53)	○ (-120)	ERNT-AQB32	▲ (5)	○ (-10)	▲ (5)	◎	ERNT-AQF3	
JW-4BU	あり	2	Q35B	あり	5	▲ (71)	○ (-152)	▲ (70.4)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	▲ (208)	○ (-10)	▲ (208)	◎	ERNT-AQF5	
			Q33B	あり	3	▲ (15)	○ (-152)	▲ (15)	○ (-120)	ERNT-AQB32	▲ (73)	○ (-10)	▲ (73)	◎	ERNT-AQF3	

※1:( )値はMELSEC-Qシリーズ対応ユニットとJWシリーズの寸法差[単位:mm]
※2:( )値はベースアダプタとJWシリーズの寸法差[単位:mm]

②MELSEC-Qラージベースユニットに置換える場合

◎:同一、○:JWシリーズの方が大きい、▲:JWシリーズの方が小さい

JWシリーズベースユニット			MELSEC-Qラージベースユニット							備考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 (MELSEC-Q-JWシリーズ) 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付寸法 横	取付寸法 縦	
JW-13BU	あり	11	Q38BL	あり	8	◎	○ (-10)	◎	◎	・9スロット以上のラージベースユニットなし ・最大8スロットのため、3スロット不足 ・盤面の取付穴加工不要
JW-8BU	あり	6	Q38BL	あり	8	▲ (170)	○ (-10)	▲ (170)	◎	・縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要
			Q35BL	あり	5	▲ (72)	○ (-10)	▲ (72)	◎	
JW-6BU	あり	4	Q35BL	あり	5	▲ (140)	○ (-10)	▲ (140)	◎	
JW-4BU	あり	2	Q35BL	あり	5	▲ (208)	○ (-10)	▲ (208)	◎	

※1:( )値はQラージベースユニットとJWシリーズの寸法差[単位:mm]

増設ベースユニットを使用する場合

① MELSEC-Qシリーズベースユニットまたは MELSEC-Qシリーズベースユニット＋ベースアダプタに置換える場合

◎:同一、○:JWシリーズの方が大きい、▲:JWシリーズの方が小さい

JWシリーズベースユニット			MELSEC-Qシリーズベースユニット							ベースアダプタ					取付変換アダプタ固定台	備考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 (MELSEC-Q-JWシリーズ) 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付寸法 横	取付寸法 縦	形名	寸法比較 ※2 (ベースアダプタ-JWシリーズ) 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付寸法 横	取付寸法 縦		
JW-13BU	あり	12	Q612B	あり	12	○ (-41)	○ (-152)	○ (-43)	○ (-120)	ERNT-AQB68N	○ (-14)	○ (-10)	○ (-14)	◎	ERNT-AQF12	
			Q68B	あり	8	○ (-152)	○ (-152)	○ (-154)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	○ (-128)	○ (-10)	○ (-128)	◎	ERNT-AQF12	・6スロット以上の電源なしベースユニットなし ・最大12スロットのため、1スロット不足
	なし	13	Q612B	あり	12	○ (-41)	○ (-152)	○ (-43)	○ (-120)	ERNT-AQB68N	○ (-14)	○ (-10)	○ (-14)	◎	ERNT-AQF12	
JW-8BU	あり	7	Q612B	あり	12	▲ (129)	○ (-152)	▲ (127)	○ (-120)	ERNT-AQB68N	▲ (156)	○ (-10)	▲ (156)	◎	ERNT-AQF12	
			Q68B	あり	8	▲ (18)	○ (-152)	▲ (16)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎	ERNT-AQF8	
	なし	8	Q612B	あり	12	▲ (129)	○ (-152)	▲ (127)	○ (-120)	ERNT-AQB68N	▲ (156)	○ (-10)	▲ (156)	◎	ERNT-AQF12	・6スロット以上の電源なしベースユニットなし
			Q68B	あり	8	▲ (18)	○ (-152)	▲ (16)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎	ERNT-AQF8	
JW-6BU	あり	5	Q612B	あり	12	▲ (197)	○ (-152)	▲ (195)	○ (-120)	ERNT-AQB68N	▲ (224)	○ (-10)	▲ (224)	◎	ERNT-AQF12	
			Q68B	あり	8	▲ (86)	○ (-152)	▲ (84)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	▲ (110)	○ (-10)	▲ (110)	◎	ERNT-AQF8	
			Q65B	あり	5	▲ (3)	○ (-152)	▲ (0.4)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (55)	○ (-10)	▲ (55)	◎	ERNT-AQF5	
			Q55B	なし	5	○ (-53)	○ (-152)	○ (-55)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (55)	○ (-10)	▲ (55)	◎	ERNT-AQF5	
	なし	6	Q612B	あり	12	▲ (197)	○ (-152)	▲ (195)	○ (-120)	ERNT-AQB68N	▲ (224)	○ (-10)	▲ (224)	◎	ERNT-AQF12	・6スロット以上の電源なしベースユニットなし
			Q68B	あり	8	▲ (86)	○ (-152)	▲ (84)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	▲ (110)	○ (-10)	▲ (110)	◎	ERNT-AQF8	
			Q65B	あり	5	▲ (3)	○ (-152)	▲ (0.4)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (55)	○ (-10)	▲ (55)	◎	ERNT-AQF5	・最大5スロットのため、1スロット不足
			Q55B	なし	5	○ (-53)	○ (-152)	○ (-55)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (55)	○ (-10)	▲ (55)	◎	ERNT-AQF5	
JW-4BU	あり	3	Q68B	あり	8	▲ (154)	○ (-152)	▲ (152)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	▲ (178)	○ (-10)	▲ (178)	◎	ERNT-AQF8	
			Q65B	あり	5	▲ (71)	○ (-152)	▲ (68.4)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (123)	○ (-10)	▲ (123)	◎	ERNT-AQF5	
			Q63B	あり	3	▲ (15)	○ (-152)	▲ (13)	○ (-120)	ERNT-AQB62	▲ (64)	○ (-10)	▲ (64)	◎	ERNT-AQF3	
			Q55B	なし	5	▲ (15)	○ (-152)	▲ (13)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (123)	○ (-10)	▲ (123)	◎	ERNT-AQF5	
			Q52B	なし	5	○ (-68)	○ (-152)	○ (-70.5)	○ (-120)	ERNT-AQB52	▲ (9)	○ (-10)	▲ (9)	◎	ERNT-AQF3	・最大2スロットのため、1スロット不足
	なし	4	Q612B	あり	12	▲ (265)	○ (-152)	▲ (263)	○ (-120)	ERNT-AQB68N	▲ (292)	○ (-10)	▲ (292)	◎	ERNT-AQF12	・6スロット以上の電源なしベースユニットなし
			Q68B	あり	8	▲ (154)	○ (-152)	▲ (152)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	▲ (178)	○ (-10)	▲ (178)	◎	ERNT-AQF8	
			Q65B	あり	5	▲ (71)	○ (-152)	▲ (68.4)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (123)	○ (-10)	▲ (123)	◎	ERNT-AQF5	
			Q63B	あり	3	▲ (15)	○ (-152)	▲ (13)	○ (-120)	ERNT-AQB62	▲ (64)	○ (-10)	▲ (64)	◎	ERNT-AQF3	・最大3スロットのため、1スロット不足
			Q55B	なし	5	▲ (15)	○ (-152)	▲ (13)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (123)	○ (-10)	▲ (123)	◎	ERNT-AQF5	
			Q52B	なし	5	○ (-68)	○ (-152)	○ (-70.5)	○ (-120)	ERNT-AQB52	▲ (9)	○ (-10)	▲ (9)	◎	ERNT-AQF3	・最大2スロットのため、2スロット不足

※1:( )値はMELSEC-Qシリーズ対応ユニットとJWシリーズの寸法差[単位:mm]
※2:( )値はベースアダプタとJWシリーズの寸法差[単位:mm]

② MELSEC-Qラージベースユニットに置換える場合

◎:同一、○:JWシリーズの方が大きい、▲:JWシリーズの方が小さい

JWシリーズベースユニット			MELSEC-Qラージベースユニット							備考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1 (MELSEC-Q-JWシリーズ) 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付寸法 横	取付寸法 縦	
JW-13BU	あり	12	Q68BL	あり	8	○ (-14)	○ (-10)	○ (-14)	◎	・9スロット以上のラージベースユニットなし ・最大8スロットのため、4スロット不足 ・縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要
	なし	13	Q68BL	あり	8	○ (-14)	○ (-10)	○ (-14)	◎	・9スロット以上のラージベースユニットなし ・最大8スロットのため、5スロット不足 ・縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要
JW-8BU	あり	7	Q68BL	あり	8	▲ (156)	○ (-10)	▲ (156)	◎	
	なし	8	Q68BL	あり	8	▲ (156)	○ (-10)	▲ (156)	◎	
JW-6BU	あり	5	Q65BL	あり	6	▲ (110)	○ (-10)	▲ (110)	◎	・縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要
			Q55BL	なし	5	▲ (55)	○ (-10)	▲ (55)	◎	
	なし	6	Q68BL	あり	8	▲ (224)	○ (-10)	▲ (224)	◎	
			Q65BL	あり	6	▲ (110)	○ (-10)	▲ (110)	◎	
			Q55BL	なし	5	▲ (55)	○ (-10)	▲ (55)	◎	・縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要 ・最大5スロットのため、1スロット不足
JW-4BU	あり	3	Q65BL	あり	6	▲ (178)	○ (-10)	▲ (178)	◎	・縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要
			Q55BL	なし	5	▲ (123)	○ (-10)	▲ (123)	◎	
	なし	4	Q65BL	あり	6	▲ (178)	○ (-10)	▲ (178)	◎	
			Q55BL	なし	5	▲ (123)	○ (-10)	▲ (123)	◎	

※1:( )値はQラージベースユニットとJWシリーズの寸法差[単位:mm]

スロット位置

ニューサテライトJWシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

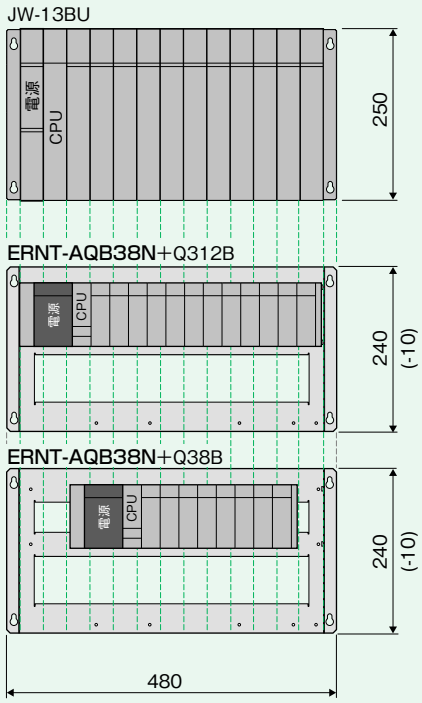
ご注意

カッコ内の数値はJWシリーズとの寸法差です。

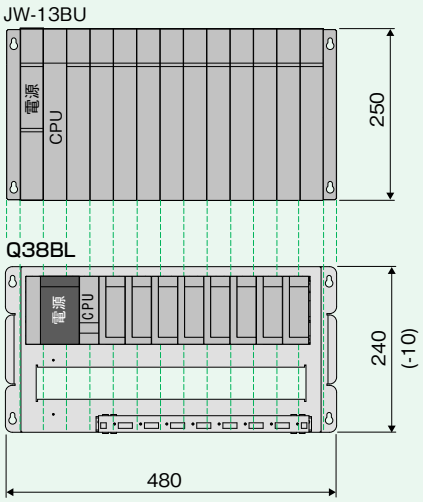
基本ベースユニットを使用する場合

(1) JW-13BU ⇒ ERNT-AQB38N + Q312B / Q38BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

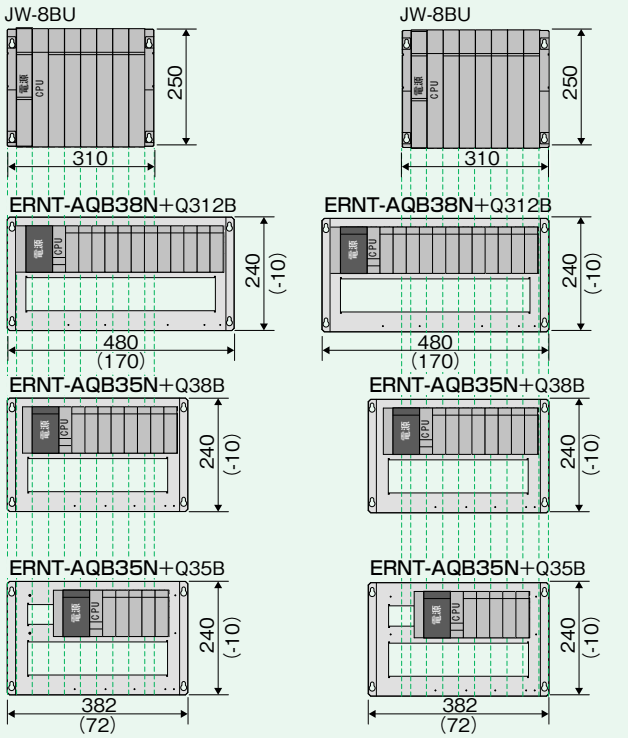


Qラージベースユニット　単位:mm

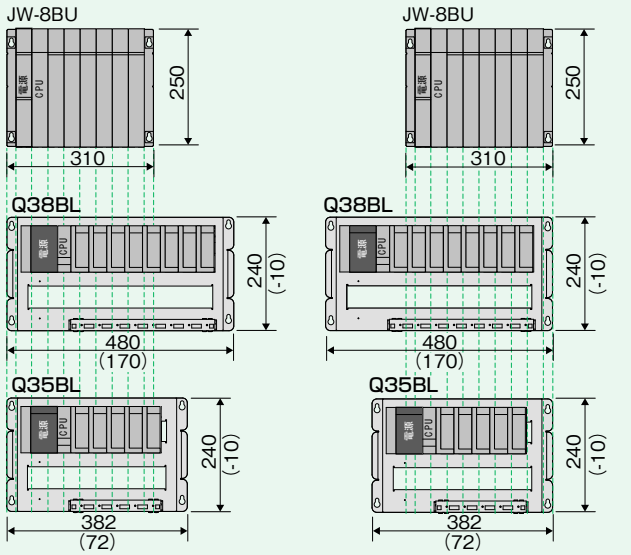


(2) JW-8BU ⇒ ERNT-AQB38N+Q312B / ERNT-AQB35N+Q38B / ERNT-AQB35N+Q35B / Q38BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット



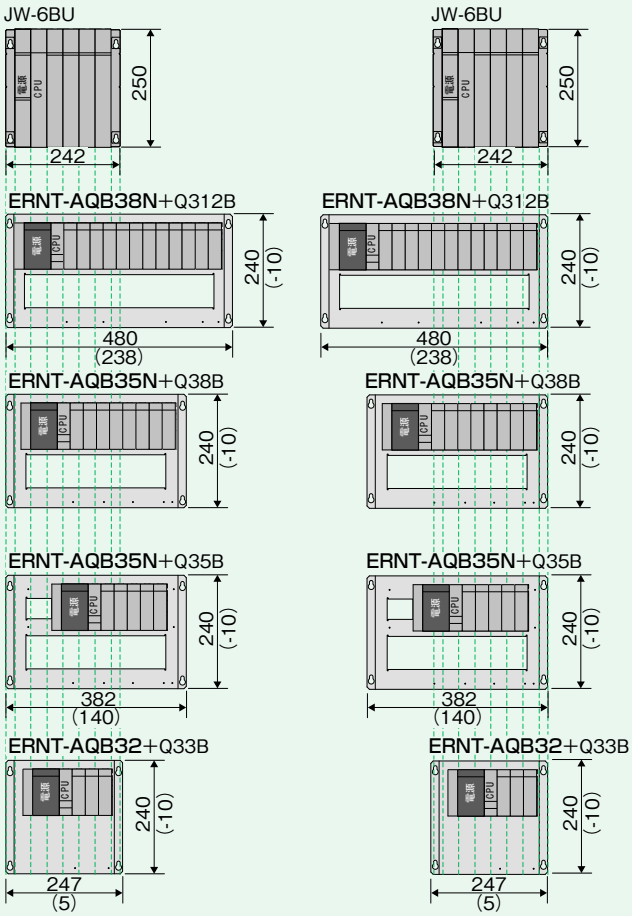
Qラージベースユニット　単位:mm



(3) JW-6BU ⇒ ERNT-AQB38N+Q312B / ERNT-AQB35N+Q38B / ERNT-AQB35N+Q35B / ERNT-AQB32+Q33B / Q35BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット

左寄せ設置の場合

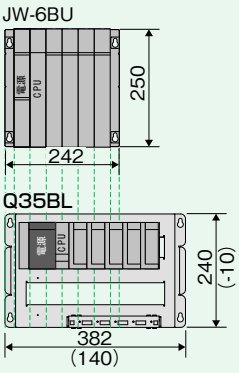


右寄せ設置の場合

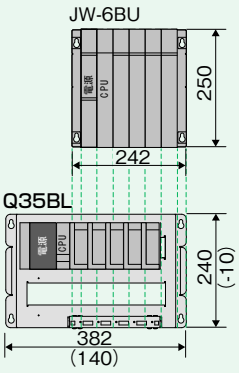
Qラージベースユニット

単位:mm

左寄せ設置の場合



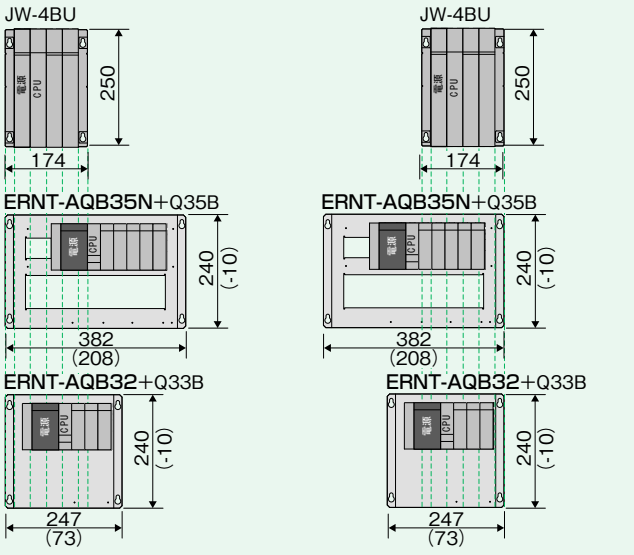
右寄せ設置の場合



(4) JW-4BU ⇒ ERNT-AQB35N+Q35B / ERNT-AQB32+Q33B / Q35BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット

左寄せ設置の場合

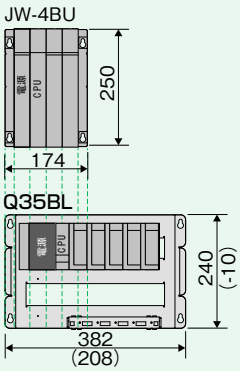


右寄せ設置の場合

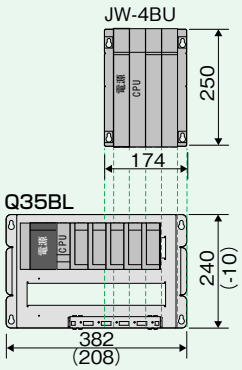
Qラージベースユニット

単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合

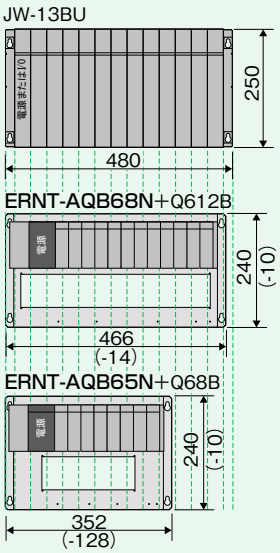


増設ベースユニットを使用する場合

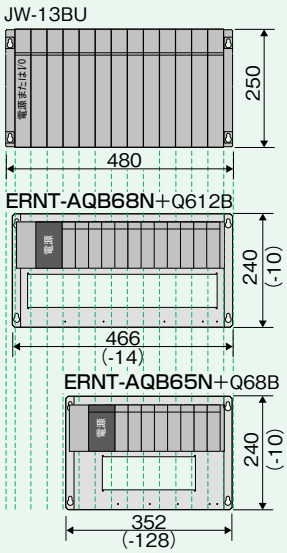
(1) JW-13BU ⇒ ERNT-AQB68N+Q612B / ERNT-AQB65N+Q68B / Q68BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット

左寄せ設置の場合

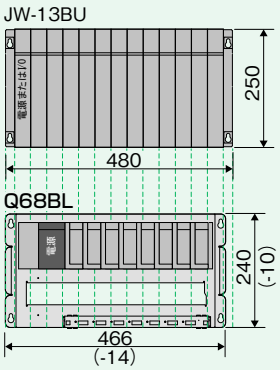


右寄せ設置の場合

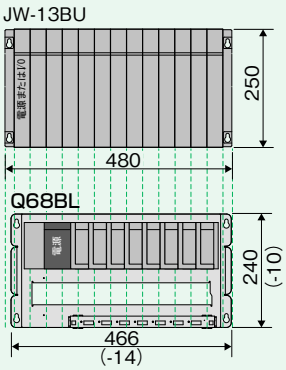


Qラージベースユニット　　単位:mm

左寄せ設置の場合



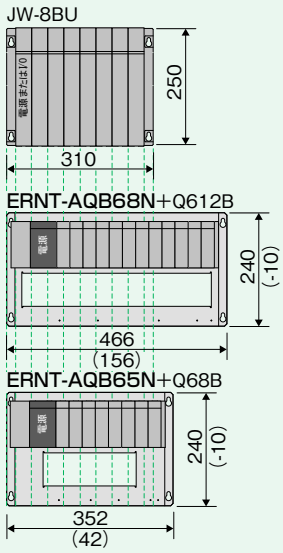
右寄せ設置の場合



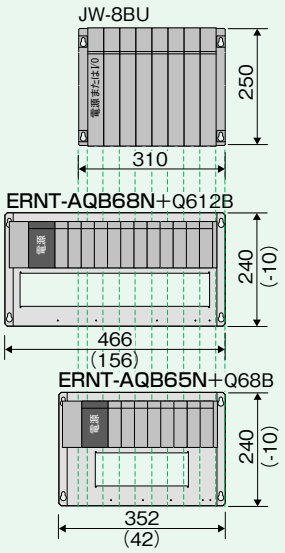
(2) JW-8BU ⇒ ERNT-AQB68N+Q612B / ERNT-AQB65N+Q68B / Q68BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット

左寄せ設置の場合

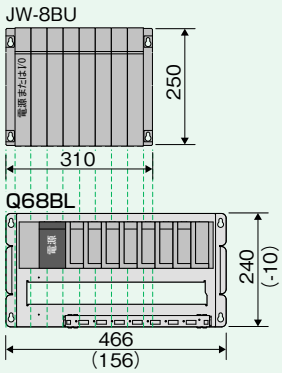


右寄せ設置の場合

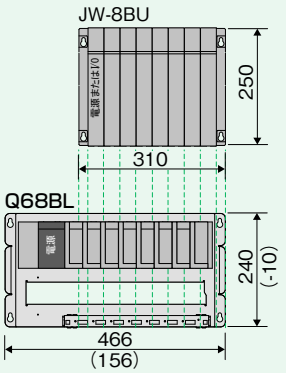


Qラージベースユニット　　単位:mm

左寄せ設置の場合



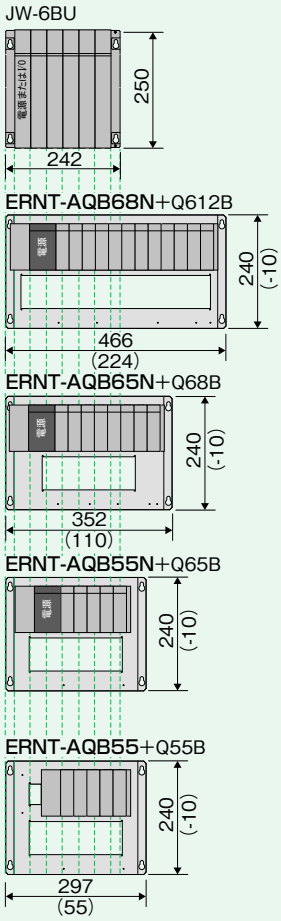
右寄せ設置の場合



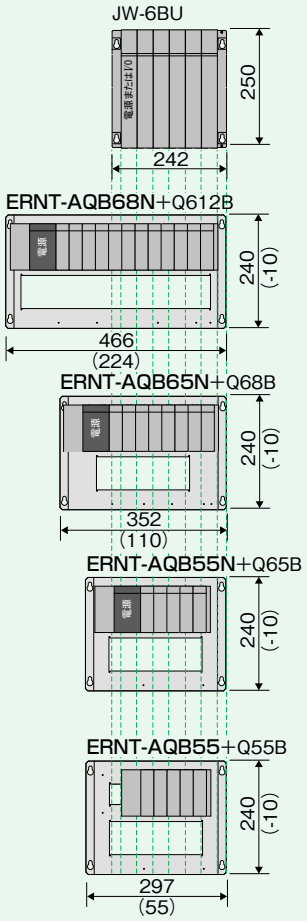
(3) JW-6BU ⇒ ERNT-AQB68N+Q612B / ERNT-AQB65N+Q68B / ERNT-AQB55N+Q65B / ERNT-AQB55N+Q55B / Q68BL / Q65BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット

左寄せ設置の場合



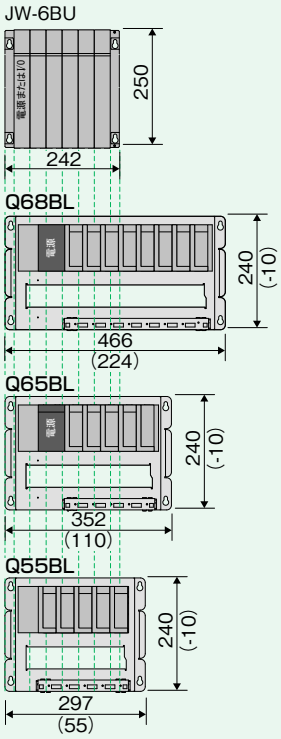
右寄せ設置の場合



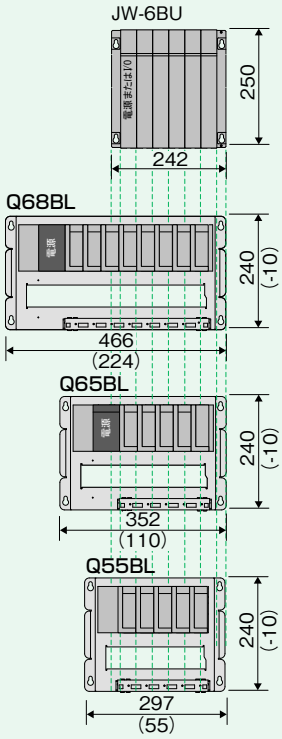
Qラージベースユニット

単位:mm

左寄せ設置の場合



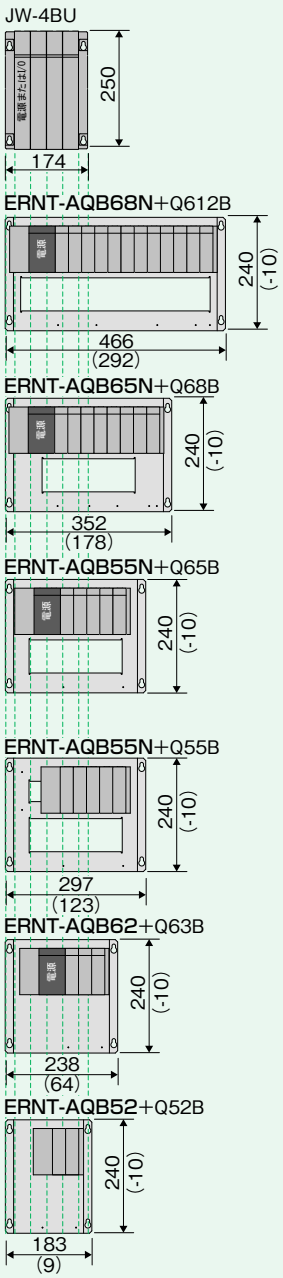
右寄せ設置の場合



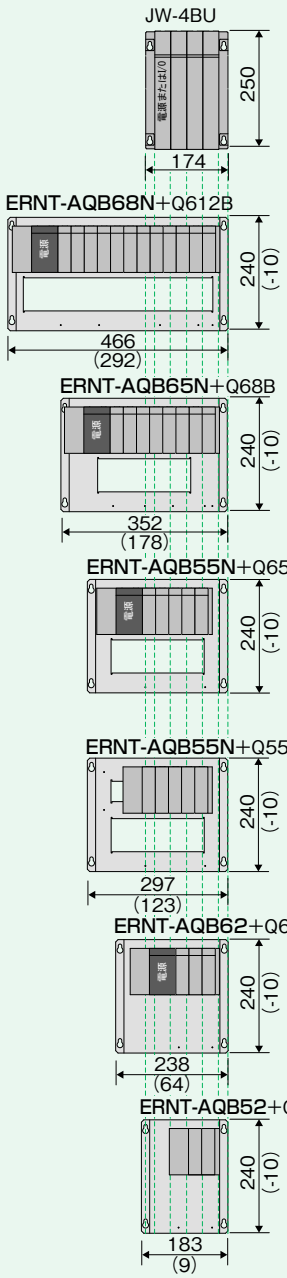
(4) JW-4BU ⇒ ERNT-AQB68N+Q612B / ERNT-AQB65N+Q68B / ERNT-AQB55N+Q65B / ERNT-AQB55N+Q55B / ERNT-AQB62+Q63B / ERNT-AQB52+Q52B / Q65BL / Q55BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット

左寄せ設置の場合



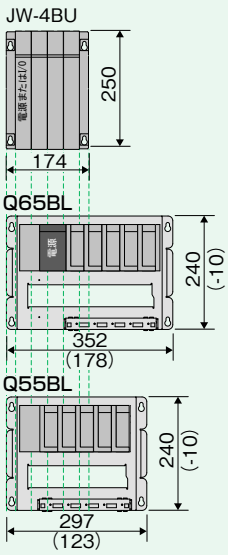
右寄せ設置の場合



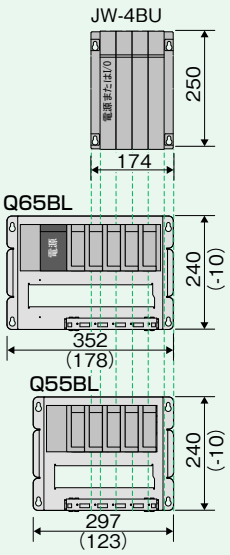
Qラージベースユニット

単位:mm

左寄せ設置の場合



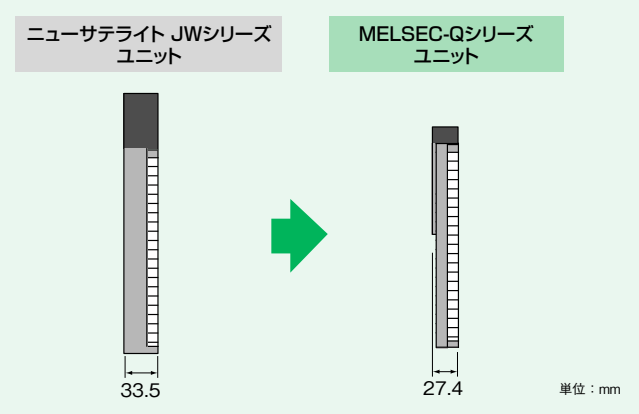
右寄せ設置の場合



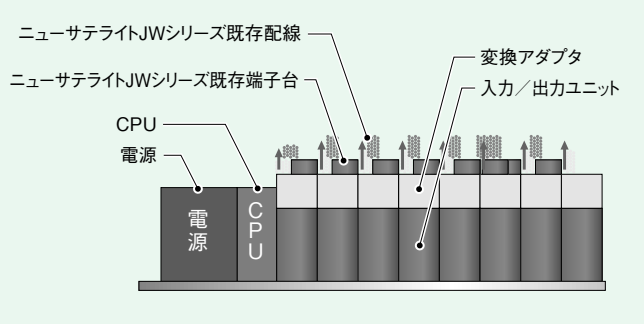
ご使用上の注意点

ユニット幅

(1)ユニット幅寸法がニューサテライトJWシリーズ33.5mm⇒MELSEC-Qシリーズ27.4mmと小さくなり、配線領域が小さくなりますので、取付け時に確認が必要です。

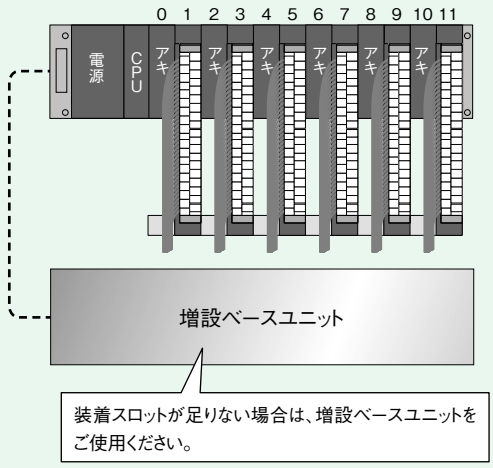


(2)装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3)配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例)Q312Bの場合



ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(QG60)を装着してください。

(4)上記(2)、(3)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製Qラージベースユニット(配線領域は37.5mm)の使用をご検討ください。

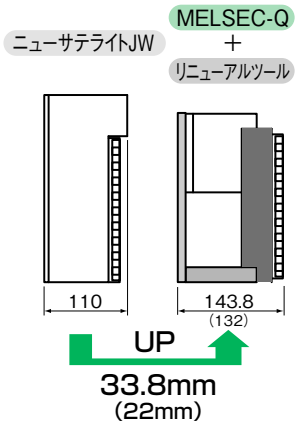
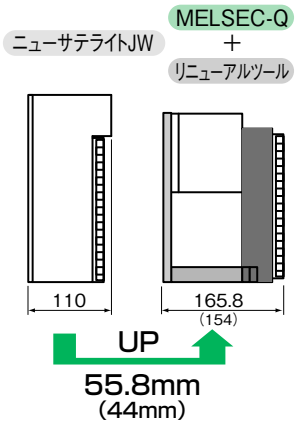
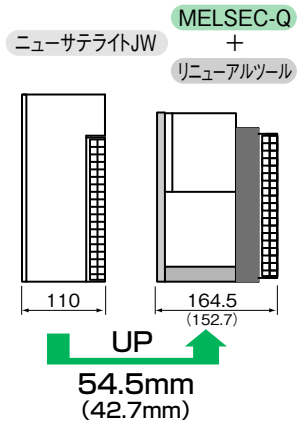
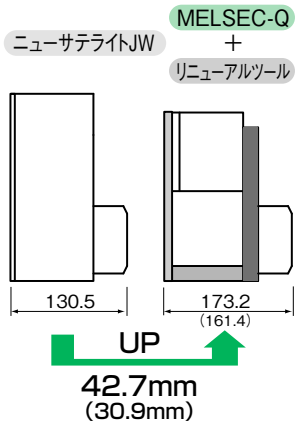
注) 2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

奥行き

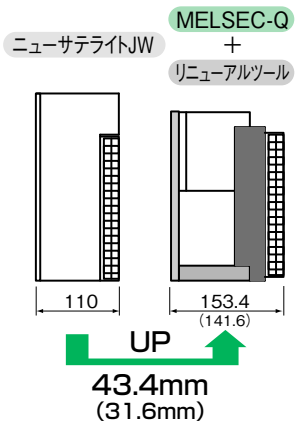
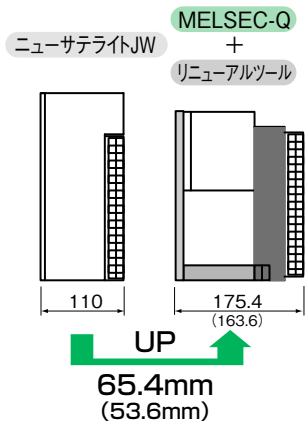
奥行き寸法は以下のようになります。奥行き寸法が大きくなりますので取付け上の確認が必要です。
ベースアダプタを使用しない場合および、三菱電機株式会社製Qラージベースユニットを使用せず標準ベースユニットを使用する場合はカッコ内の数値（11.8mm小さい値）になります。

1スロットタイプ

ニューサテライトJW :ニューサテライトJWシリーズ　MELSEC-Q :MELSEC-Qシリーズ

変換アダプタ	ERNT-1JQ11N12N ERNT-1JQ12S	ERNT-1JQ13S	ERNT-1JQ32N34N ERNT-1JQ32S	ERNT-1JQ64NC ERNT-1JQ32SC62SC
奥行き寸法	143.8mm （132mm）	165.8mm （154mm）	164.5mm （152.7mm）	173.2mm （161.4mm）
取付図				

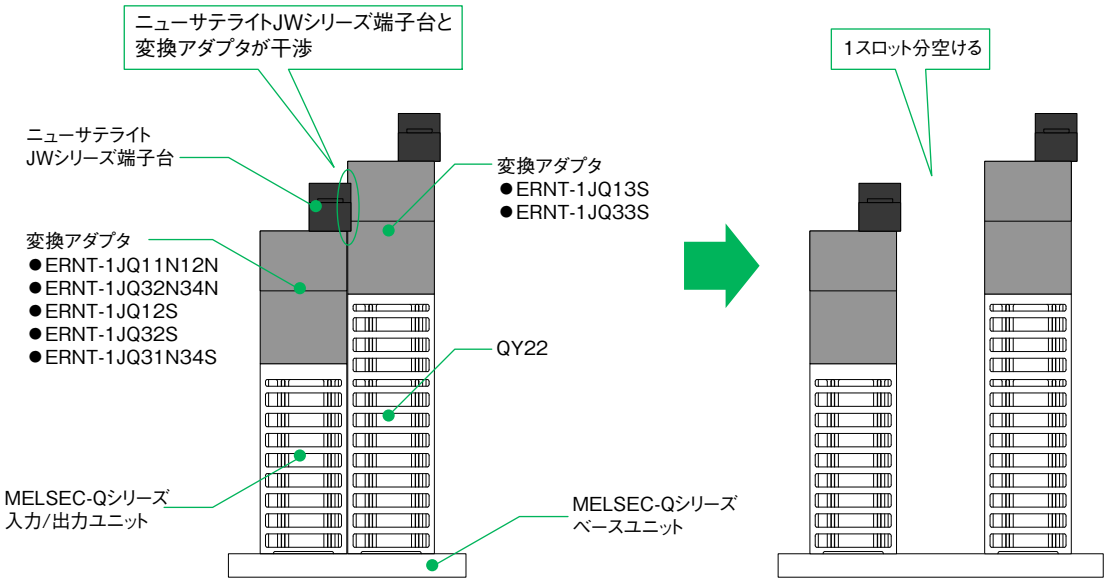
2スロットタイプ

変換アダプタ	ERNT-1JQ31N34S	ERNT-1JQ33S
奥行き寸法	153.4mm （141.6mm）	175.4mm （163.6mm）
取付図		

※:上記奥行き寸法は、各々盤面からの寸法です。
（ニューサテライトJWシリーズはベースユニット+入力／出力ユニット+端子台（コネクタ）、MELSEC-Qシリーズ+リニューアルツールは、ベースアダプタ+ベースユニット+入力／出力ユニット+変換アダプタ+端子台（コネクタ））

隣接ユニット干渉確認

隣同士の変換アダプタが以下となる場合は、端子台の干渉を避けるために1スロット分空けてください。
但し、三菱電機株式会社製Qラージベースユニット使用時はユニット間に隙間があるため、1スロット分空ける必要はありません。
注）2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。



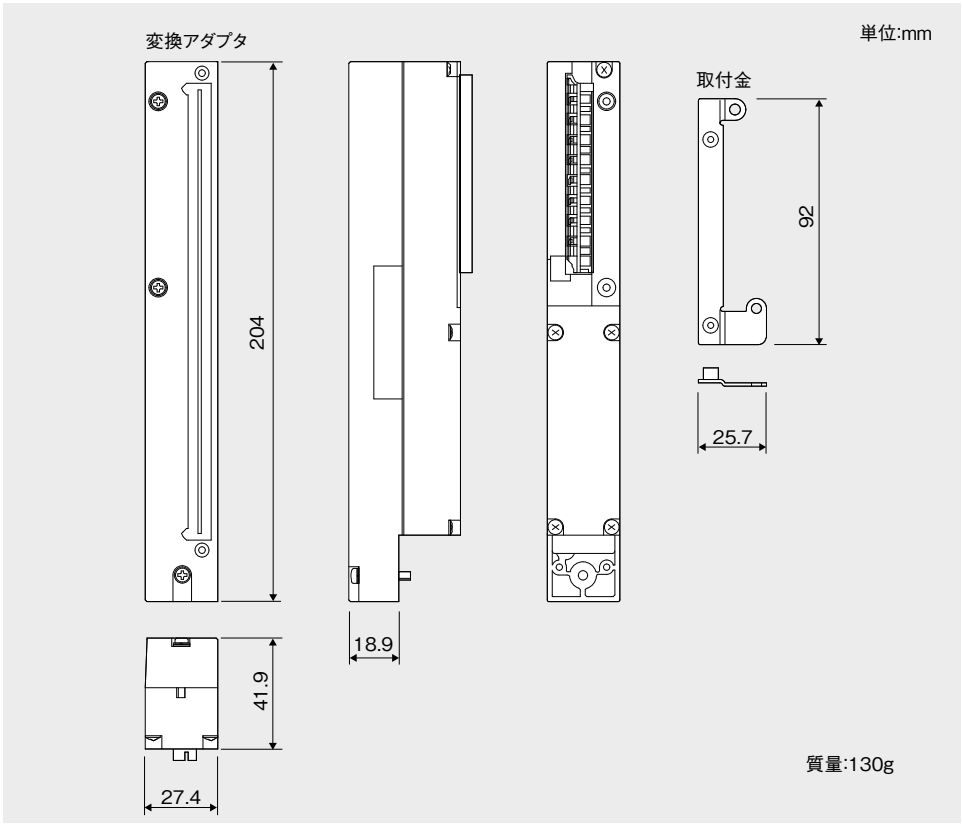
変換アダプタ固定台・ベースアダプタ

変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台が必要です。また、ニューサテライトJWシリーズの取付穴を利用し、MELSEC-Qシリーズが設置可能（追加穴加工削減）なベースアダプタのご使用を推奨します。

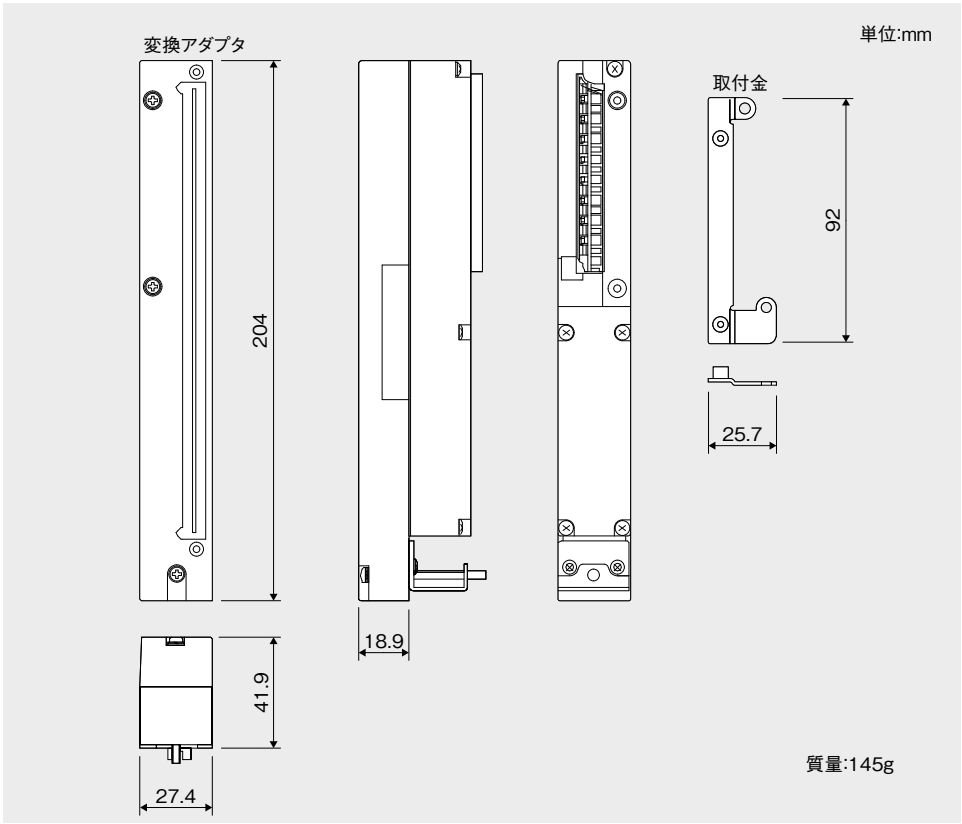
外形寸法図

変換アダプタ

形名:
ERNT-1JQ11N12N
ERNT-1JQ12S

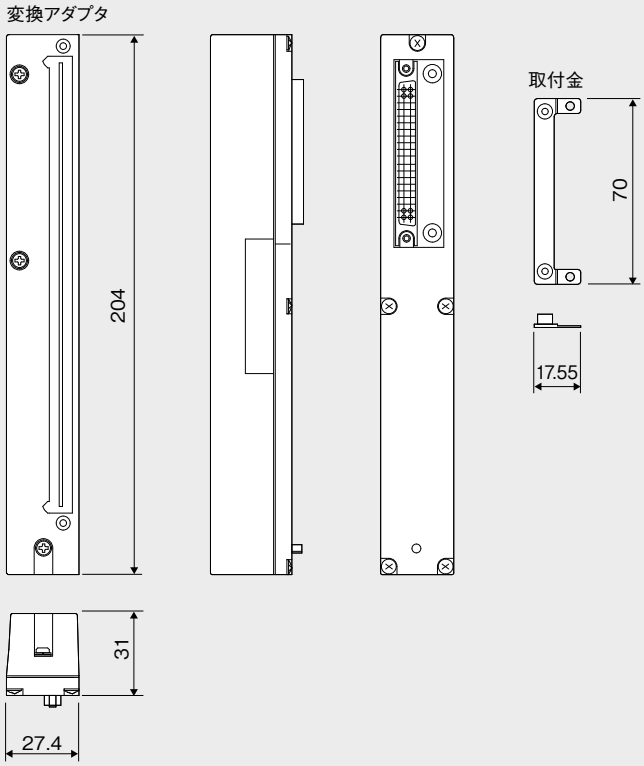


形名:
ERNT-1JQ13S



形名:
ERNT-1JQ32N34N
ERNT-1JQ32S

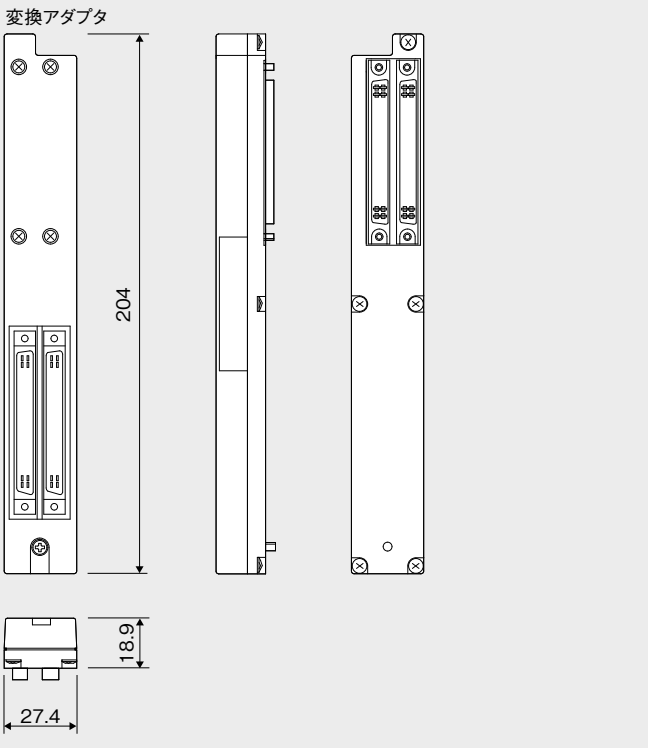
単位:mm



質量:125g

形名:
ERNT-1JQ64NC

単位:mm

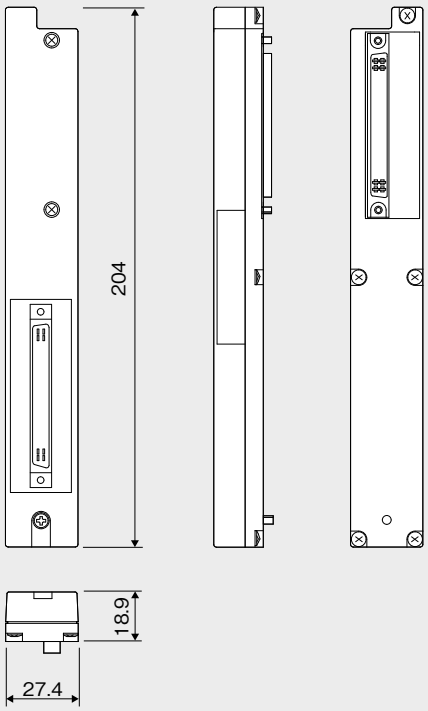


質量:105g

形名:
ERNT-1JQ32SC62SC

単位:mm

変換アダプタ

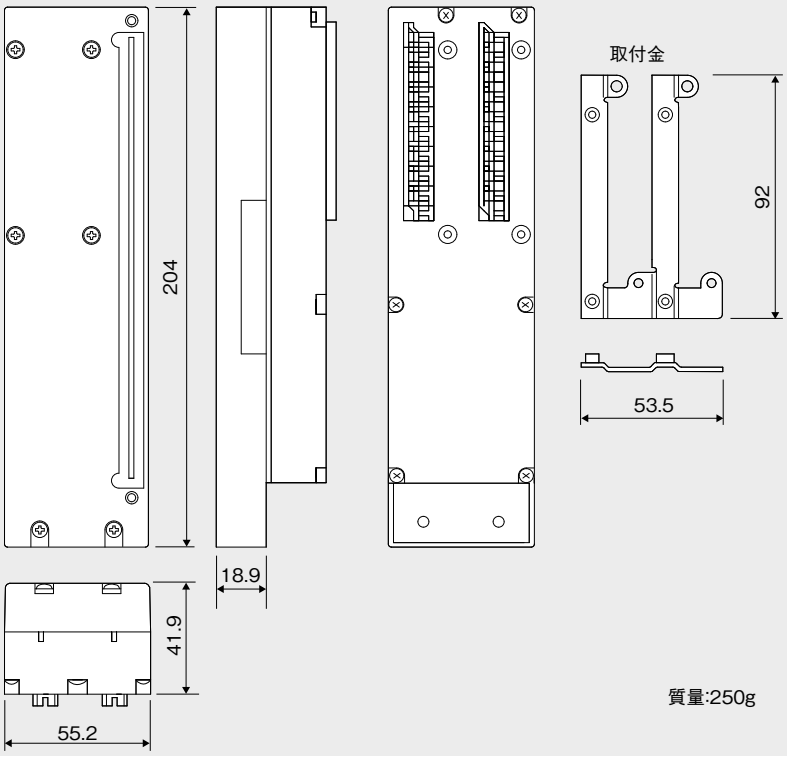


質量:85g

形名:
ERNT-1JQ31N34S

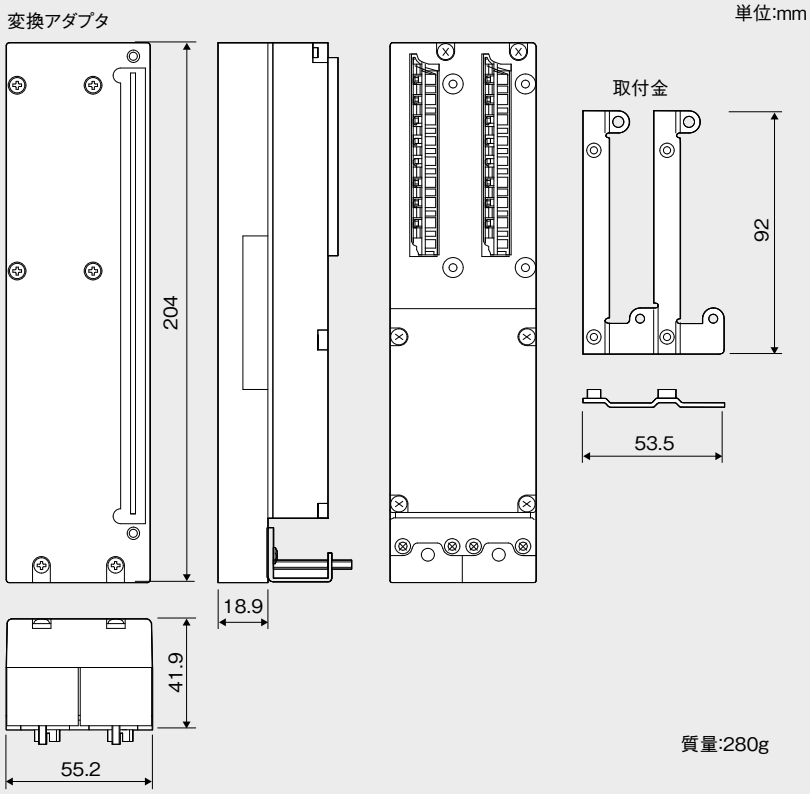
単位:mm

変換アダプタ



質量:250g

形名:
ERNT-1JQ33S



ベースアダプタ

MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールと同じ製品です。
1-37ページを参照ください。

変換アダプタ固定台

MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールと同じ製品です。
1-37ページを参照ください。

JWシリーズ 小形タイプ（JW300/30H/20H）

ニューサテライトJWシリーズからMELSEC-Qシリーズへリニューアルする場合

■MELSEC-Qシリーズへ置換えが容易

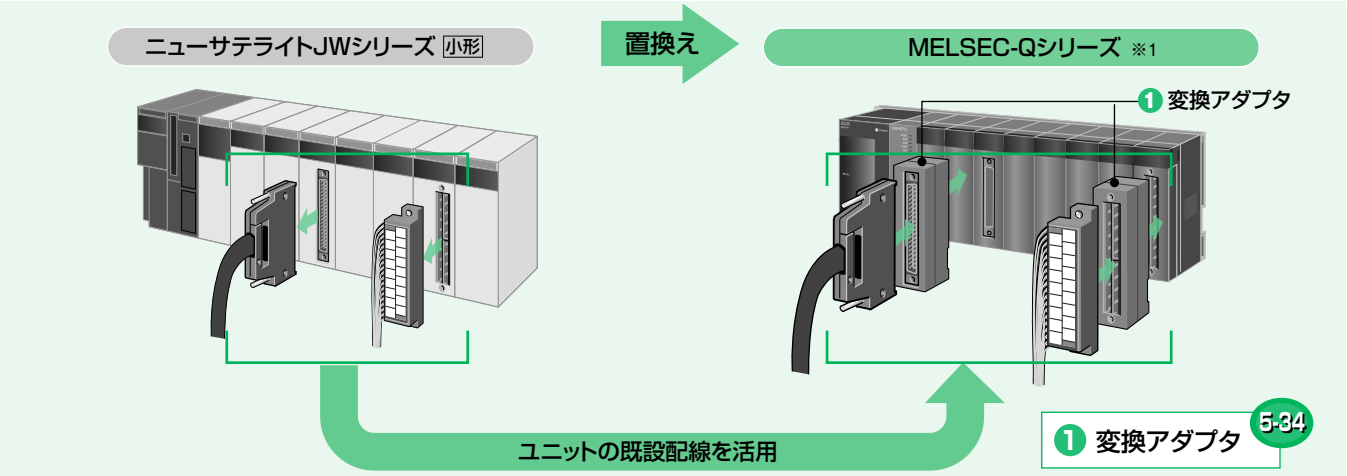
シャープ株式会社製ニューサテライトJWシリーズPLCから、三菱電機株式会社製MELSEC-Qシリーズシーケンサに置換えることが容易です。

■入力/出力ユニットへの配線作業時間の大幅短縮/配線ミスの大幅低減

ニューサテライトJWシリーズの入力/出力ユニットに接続されていた配線は、変換アダプタを経由することで、MELSEC-Qシリーズにそのまま接続できます。
（一部、電源およびコモン端子の接続変更が必要となります。）

製品の概要

本製品は、シャープ株式会社製PLCニューサテライトJWシリーズ（小形:JW300/30H/20H）の入力/出力ユニットに接続されていた既設配線を三菱電機株式会社製シーケンサMELSEC-Qシリーズの入力/出力ユニットに配線変更する「変換アダプタ」です。

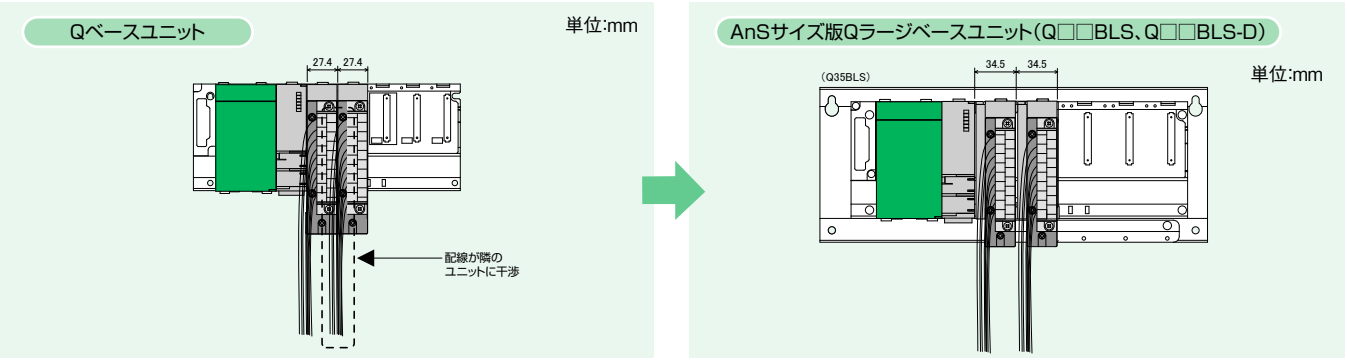


※1:シャープ株式会社製PLCニューサテライトJWシリーズ（小形:JW300/30H/20H）からMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニット幅寸法と奥行き寸法が変わるため、取付け上の確認が必要です。また、隣同士の変換アダプタの端子台が干渉する組合せがあります。詳しくは本カタログの「ご使用上の注意点」（5-45ページ）を参照してください。

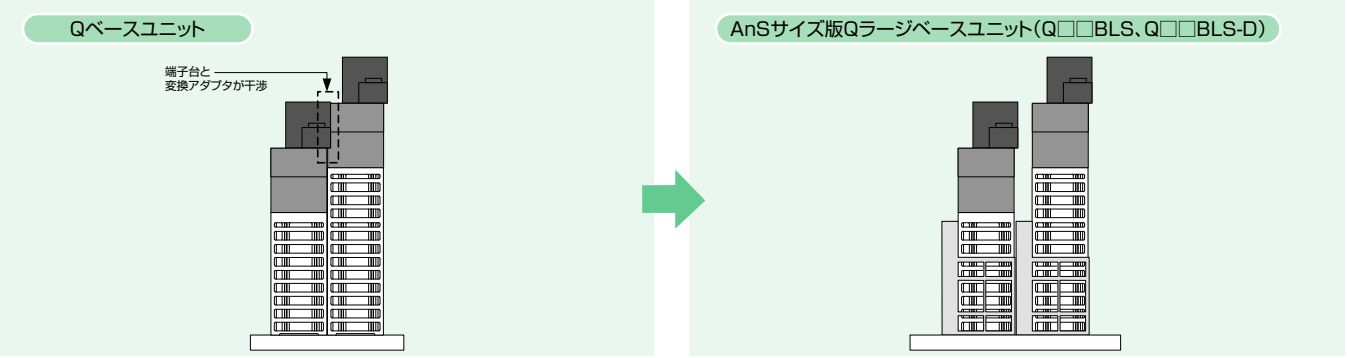
三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニット（推奨）

以下の場合があるため、三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニット（Q□□BLS、Q□□BLS-D）のご使用を推奨します。
但し、一部機種は取付穴のピッチがJWシリーズと近く、取付けの位置を再検討する必要があるためご注意ください。

●配線が隣のユニットに干渉する場合、AnSサイズ版Qラージベースユニットを用いることにより、配線領域の確保が可能になります。



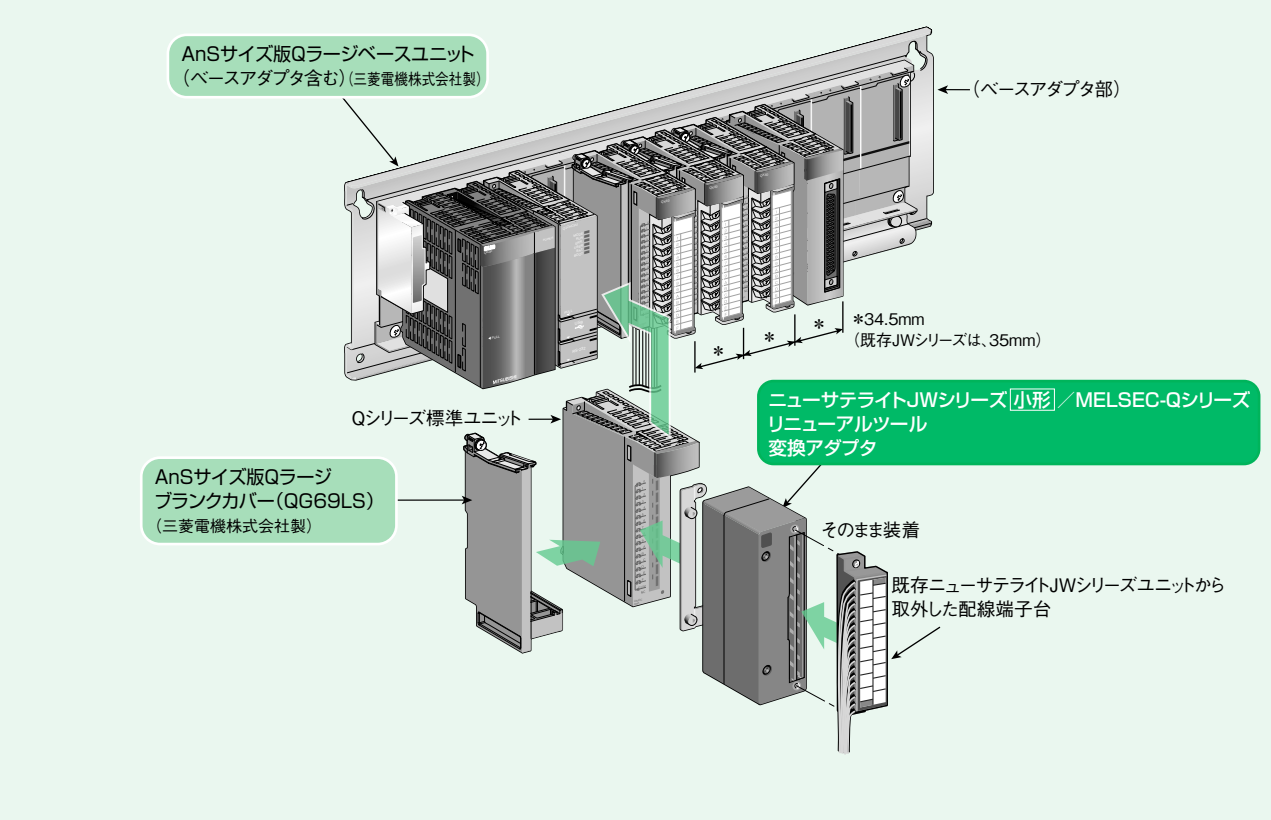
●隣同士の変換アダプタの端子台が干渉する組合せでご使用の場合、AnSサイズ版Qラージベースユニットを用いることにより端子台の干渉を避けることが可能になります。



三菱電機株式会社製

AnSサイズ版Qラージベースユニットを活用したリニューアル

三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニット（Q□□BLS、Q□□BLS-D）の使用することで、「配線領域の確保」および「隣同士の変換アダプタの端子台が干渉する組合せ確認」が不要となります。
但し、一部機種は取付穴のピッチがJWシリーズと近く、取付位置を再検討する必要があるためご注意ください。



●詳しくは「取付寸法」（5-39ページ）を参照してください。

AnSサイズ版Qラージベースユニット一覧

形名		内容	スロット数
盤面取付タイプ	DINレール取付タイプ		
Q38BLS	Q38BLS-D	基本ベースユニット	8
Q35BLS	Q35BLS-D		5
Q68BLS	Q68BLS-D	増設ベースユニット（電源あり）	8
Q65BLS	Q65BLS-D		5
Q55BLS	Q55BLS-D	増設ベースユニット（電源なし）	5

AnSサイズ版Qラージブランクカバー

形名	内容
QG69LS	ユニット間の隙間調整用備品

機種一覧

❶ 変換アダプタ

変換アダプタを選定する際は、5-34～5-38ページのユニット仕様比較表および（注）文を必ず参照してください。1コモンあたりの点数が異なる等の注意文が記載されています。また、ユニット仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、ニューサテライトJWシリーズ小形とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

入力／出力ユニット用

〈1スロットタイプ〉（三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニット（Q□□BLS、Q□□BLS-D）にも取付け可能）

入力／出力	置換前 ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 ニューサテライトJWシリーズ	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力／出力 点数	掲載ページ
入力	JW-211N JW-211NA	QX10	ERNT-2JQ210NS	端子台（18点）	端子台（18点）	16点	5-34
出力	JW-213S JW-213SA	QY22					
	JW-214S JW-214SA	QY10					
入力	JW-212N JW-212NA JW-214N JW-214NA	QX40、QX40-S1、QX70※3					
		QX80	ERNT-2JQ212S				5-35
出力	JW-212S JW-212SA	QY40P、QY50、QY70※4					
入力	JW-234N	QX41、QX41-S1、 QX41-S2、QX71※5※6	ERNT-2JQ234N264N	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点	5-36
	JW-264N	QX41 × 2台、QX41-S1 × 2台、 QX41-S2 × 2台※7※8	ERNT-2JQ234N264N×2台※1	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	32点×2	5-37
出力	JW-232S	QY41H	ERNT-2JQ232S262S	コネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点	5-38
	JW-262S	QY41H × 2台	ERNT-2JQ232S262S×2台※2	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	32点×2	

※1:JW-264Nからの置換えの場合、変換アダプタが2台必要です。　※2:JW-262Sからの置換えの場合、変換アダプタが2台必要です。
※3:既存ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40H、またはQX80Hへの再配線をご検討ください。その際、ERNT-ASQTB20 の使用をご検討ください。
※4:QY40P、QY50にはDC12/24Vが、QY70にはDC5/12Vが別途必要となります。
※5:DC24Vマイナスコモンでご使用の場合は、QX81、またはQX81-S2への再配線をご検討ください。
※6:既存ユニットを16点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40 2台、QX40-S1 2台、QX70 2台、またはQX80 2台への再配線をご検討ください。
その際、ERNT-ASQTB20の使用をご検討ください。
※7:マイナスコモン入力での使用はできません。
※8:DC24Vマイナスコモンでご使用の場合は、QX82、またはQX82-S1への再配線をご検討ください。

☆ユニバーサル変換アダプタの活用（※再配線が必要です。詳細は本誌7-1ページを参照してください。）

下表に示す入力/出力ユニットおよびアナログ/高速カウンタユニットは未対応となります。但し、ユニバーサル変換アダプタの活用をいただくことで、再配線が必要となりますがご使用いただけます。
なお、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

入力／出力ユニット用

入力／出力	ニューサテライトJWシリーズユニット形名 形名		ニューサテライトJWシリーズユニット形名 仕様	ニューサテライトJWシリーズユニット形名 点数	MELSEC-Qシリーズユニット形名 形名	MELSEC-Qシリーズユニット形名 仕様	MELSEC-Qシリーズユニット形名 点数	MELSEC-Qシリーズユニット形名 必要台数	ユニバーサル変換アダプタの活用
入力	JW-203N		AC200/240V	8点	QX28	AC100-240V	8点	1台	※9
	JW-201N		AC100/120V	8点	QX28	AC100-240V	8点	1台	
	JW-202N		DC12/24V	8点	QX40、QX40-S1	DC24Vプラスコモン	16点	1台	
					QX70	DC5/12Vプラス/マイナスコモン			
出力	JW-203S		AC100/200V	8点	QY22	AC100-240V	16点	1台	
	JW-204S JW-204SA		AC250V/DC30V 2A 独立	8点	QY18A	AC240V/DC24V 2A 独立	8点	1台	
	JW-202S		DC5/12/24Vシンクタイプ	8点	QY68A	DC5-24V 2A 独立 シンク/ソースタイプ	8点	1台	
	JW-215SA		DC5/12/24Vソースタイプ	16点	QY80	DC12/24Vソースタイプ	16点	1台	
入出力混合	JW-232M	入力部	DC12/24V	16点	QH42P	DC24Vプラスコモン	32点	1台	該当機種なし
		出力部	DC5/12/24Vシンクタイプ	16点		DC12/24Vシンクタイプ	32点		

※9:ユニバーサル変換アダプタ（7-7ページ参照）を置換えに活用いただけます。

アナログ／高速カウンタユニット用

入力／出力	ニューサテライトJWシリーズユニット形名 形名	ニューサテライトJWシリーズユニット形名 仕様	ニューサテライトJWシリーズユニット形名 チャンネル数	MELSEC-Qシリーズユニット形名 形名	MELSEC-Qシリーズユニット形名 仕様	MELSEC-Qシリーズユニット形名 チャンネル数	MELSEC-Qシリーズユニット形名 必要台数	ユニバーサル変換アダプタの活用
アナログ入力	JW-24AD	DC0～±10V, DC0～±20mA 13ビット符号付バイナリ	4	Q64AD	DC-10～0～+10V, DC0～20mA 16ビット符号付バイナリ	4	1台	※10
アナログ出力	JW-222DA	DC0～±10V, DC0～±20mA 15ビット符号付バイナリ	2	Q62DAN	DC-10～+10V, DC0～20mA 16ビット符号付バイナリ	2	1台	※10
高速カウンタ入力	JW-21HC	60kpps 32ビットバイナリ	1	QD62	200/100/10kpps 32ビットバイナリ	2	1台	該当機種なし
	JW-22HC	240kpps 32ビットバイナリ	2	QD62	200/100/10kpps 32ビットバイナリ	2	1台	

※10:ユニバーサル変換アダプタ（7-7ページ参照）を置換えに活用いただけます。

変換アダプタ

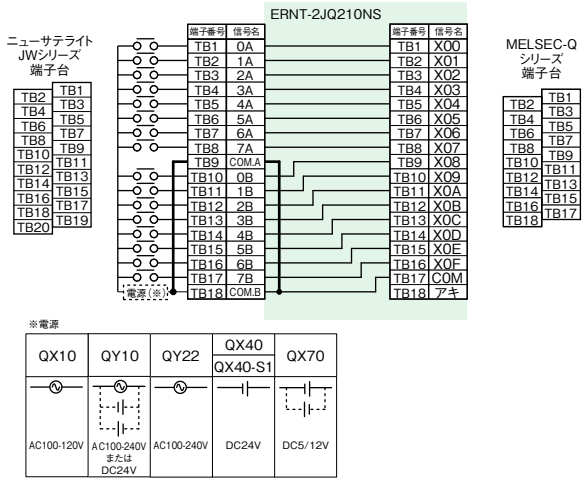
仕　様

入力／出力ユニット用

1スロットタイプ (三菱電機株式会社製 AnSサイズ版Qラージベースユニット(Q□□BLS、Q□□BLS-D)にも取付け可能)

(1)ERNT-2JQ210NS　端子台(18p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	入力／出力 点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-2JQ210NS	JW-211N/JW-211NA	16点	QX10
	JW-212N/JW-212NA	16点	QX40 QX40-S1 QX70
	JW-214N/JW-214NA	16点	
	JW-213S/JW-213SA	16点	QY22
	JW-214S/JW-214SA	16点	QY10



※電源

〈仕様比較表〉

仕様＼形名		ニューサテライトJWシリーズ JW-211N/JW-211NA	MELSEC-Qシリーズ QX10
入力点数		16点	16点
定格入力電圧		AC100-120V 50/60Hz	AC100-120V 50/60Hz
定格入力電流		約10mA(AC100V 60Hz) 約8.4mA(AC100V 50Hz)	約8mA(AC100V 60Hz) 約7mA(AC100V 50Hz)
入力インピーダンス		約10kΩ(60Hz) 約12kΩ(50Hz)	約12kΩ(60Hz) 約15kΩ(50Hz)
突入電流		最大480mA 0.2ms(AC132V)	最大200mA 1ms(AC132V)
動作電圧/電流	ON	AC80V / 7mA	AC80V / 5mA
	OFF	AC30V / 3mA	AC30V / 1.7mA
応答時間	OFF→ON	30ms以下	15ms以下
	ON→OFF	40ms以下	20ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		18点端子台	18点端子台

仕様＼形名		ニューサテライトJWシリーズ JW-212N/JW-212NA プラス/マイナスコモン共用タイプ	ニューサテライトJWシリーズ JW-214N/JW-214NA プラス/マイナスコモン共用タイプ	MELSEC-Qシリーズ QX40 プラスコモンタイプ	MELSEC-Qシリーズ QX40-S1 プラスコモンタイプ	MELSEC-Qシリーズ QX70 プラス/マイナスコモン共用タイプ
入力点数		16点	16点	16点	16点	16点
定格入力電圧		DC12/24V	DC12/24V	DC24V	DC24V	DC5/12V
定格入力電流		約7.5mA(DC24V) 約3.5mA(DC12V)	約7.5mA(DC24V) 約3.5mA(DC12V)	約4mA	約6mA	約3.3mA(DC12V) 約1.2mA(DC5V)
入力インピーダンス		約3.3kΩ	約3.3kΩ	約5.6kΩ	約3.9kΩ	約3.3kΩ
突入電流		—	—	—	—	—
動作電圧/電流	ON	10.5V / 3mA	10.5V / 3mA	19V / 3mA	19V / 4mA	3.5V / 1mA
	OFF	5V / 1.5mA	5V / 1.5mA	11V / 1.7mA	11V / 1.7mA	1V / 0.1mA
応答時間	OFF→ON	10ms以下	0.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	10ms以下	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		8点1コモン	8点1コモン	16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		18点端子台	18点端子台	18点端子台	18点端子台	18点端子台

仕様＼形名		ニューサテライトJWシリーズ JW-213S トライアック出力	ニューサテライトJWシリーズ JW-213SA トライアック出力	MELSEC-Qシリーズ QY22 トライアック出力
出力点数		16点	16点	16点
定格負荷電圧		AC100-240V 50/60Hz	AC100-240V 50/60Hz	AC100-240V 50/60Hz
最大負荷電流		0.5A/点 2A/1コモン	1A/点 2A/1コモン	0.6A/点 4.8A/1コモン
最小負荷電流		15mA	15mA	25mA
最大突入電流		6A 100ms以下	6A 100ms以下	20A 1サイクル以下
OFF時漏洩電流		1.5mA以下 (AC120V) 3mA以下 (AC240V)	1.5mA以下 (AC120V) 3mA以下 (AC240V)	1.5mA以下 (AC120V 60Hz) 3mA以下 (AC240V 60Hz)
ON時電圧降下		1.6V以下(0.3A)	1.6V以下(0.3A)	1.5V以下
応答時間	OFF→ON	1ms以下	1ms以下	電源半サイクル +1ms以下
	ON→OFF	電源半サイクル +1ms以下	電源半サイクル +1ms以下	電源半サイクル +1ms以下
サージキラー		容量性バリスタ	容量性バリスタ	CRアブソーバ
ヒューズ		3A(交換不可)	3.15A(交換不可)	なし
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		8点1コモン	8点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		18点端子台	18点端子台	18点端子台

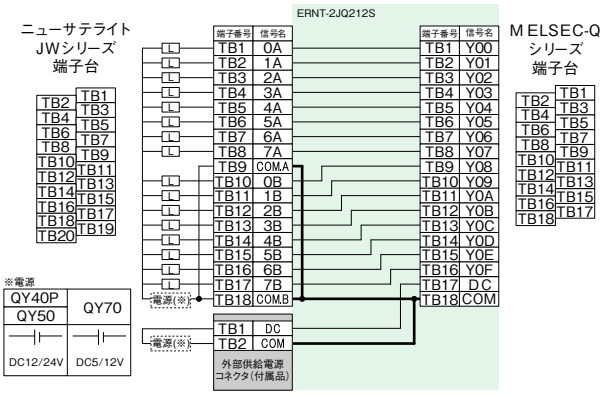
仕様＼形名		ニューサテライトJWシリーズ JW-214S/JW-214SA	MELSEC-Qシリーズ QY10
出力点数		16点	16点
定格負荷電圧		DC30V / AC250V	DC24V / AC240V
最大負荷電流		2A/点 5A/1コモン	2A/点 8A/1コモン
最小負荷電流		10mA(DC5V)	1mA(DC5V)
最大突入電流		—	—
OFF時漏洩電流		—	—
ON時電圧降下		—	—
応答時間	OFF→ON	10ms以下	10ms以下
	ON→OFF	10ms以下	12ms以下
サージキラー		なし	なし
ヒューズ		なし	なし
絶縁方式		リレー絶縁	リレー絶縁
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		18点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、ニューサテライトJWシリーズ側の端子番号TB9とTB18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、ニューサテライトJWシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
4.既存ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40H、またはQX80Hへの再配線をご検討ください。その際、ERNT-ASQTB20 の使用をご検討ください。

(2) ERNT-2JQ212S　端子台(18p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	入力／出力 点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-2JQ212S	JW-212S/JW-212SA	16点	QY40P QY50 QY70
	JW-212N/JW-212NA	16点	QX80
	JW-214N/JW-214NA	16点	

JW-212S/JW-212SA → QY40P/QY50/QY70の場合

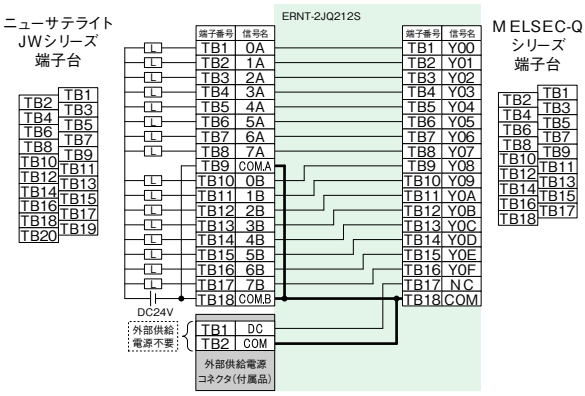


〈仕様比較表〉

形名 / 仕様		ニューサテライトJWシリーズ JW-212S シンクタイプ	JW-212SA シンクタイプ	MELSEC-Qシリーズ QY40P シンクタイプ	QY50 シンクタイプ	QY70 シンクタイプ
出力点数		16点	16点	16点	16点	16点
定格負荷電圧		DC5/12/24V	DC5/12/24V	DC12/24V	DC12/24V	DC5/12V
最大負荷電流		0.5A/1点 2A/1コモン	0.5A/1点 2A/1コモン	0.1A/1点 1.6A/1コモン	0.5A/1点 4A/1コモン	16mA/1点 256mA/1コモン
最大突入電流		1A, 100ms	1A, 100ms	0.7A, 10ms	4A, 10ms	40mA, 10ms
OFF時 漏洩電流		0.2mA以下	0.2mA以下	0.1mA以下	0.1mA以下	—
ON時 電圧降下		DC1.2V (MAX.)0.3A	DC1.2V (MAX.)0.3A	DC0.2V (MAX.)0.1A	DC0.3V (MAX.)0.5A	V_{OL}: DC0.3V
応答時間	OFF→ON	1ms以下	1ms以下	1ms以下	1ms以下	0.5ms以下
	ON→OFF	1ms以下 (抵抗負荷)	1ms以下 (抵抗負荷)	1ms以下 (抵抗負荷)	1ms以下 (抵抗負荷)	0.5ms以下 (抵抗負荷)
サージキラー		ツェナーダイオード	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード	なし
ヒューズ		3A (交換不可)	3.15A (交換不可)	無	6.7A (交換不可)	1.6A (交換不可)
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		8点1コモン	8点1コモン	16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		18点端子台	18点端子台	18点端子台	18点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(4回路)→16点／1コモンとなるため、ニューサテライトJWシリーズ側の端子番号TB9とTB18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.外部供給電源コネクタの端子番号TB1、TB2にDC5/12/24Vの追加供給が必要となります。
3.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、ニューサテライトJWシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

JW-212N/JW-212NA/JW-214N/JW-214NA → QX80の場合



〈仕様比較表〉

形名 / 仕様		ニューサテライトJWシリーズ JW-212N/JW-212NA プラス/マイナスコモン共用タイプ	JW-214N/JW-214NA プラス/マイナスコモン共用タイプ	MELSEC-Qシリーズ QX80 マイナスコモンタイプ
入力点数		16点	16点	16点
定格入力電圧		DC12/24V	DC12/24V	DC24V
定格入力電流		約7.5mA(DC24V) 約3.5mA(DC12V)	約7.5mA(DC24V) 約3.5mA(DC12V)	約4mA
入力インピーダンス		約3.3kΩ	約3.3kΩ	約5.6kΩ
突入電流		—	—	—
動作電圧/電流	ON	10.5V / 3mA	10.5V / 3mA	19V / 3mA
	OFF	5V / 1.5mA	5V / 1.5mA	11V / 1.7mA
応答時間	OFF→ON	10ms以下	0.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	10ms以下	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		8点1コモン	8点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		18点端子台	18点端子台	18点端子台

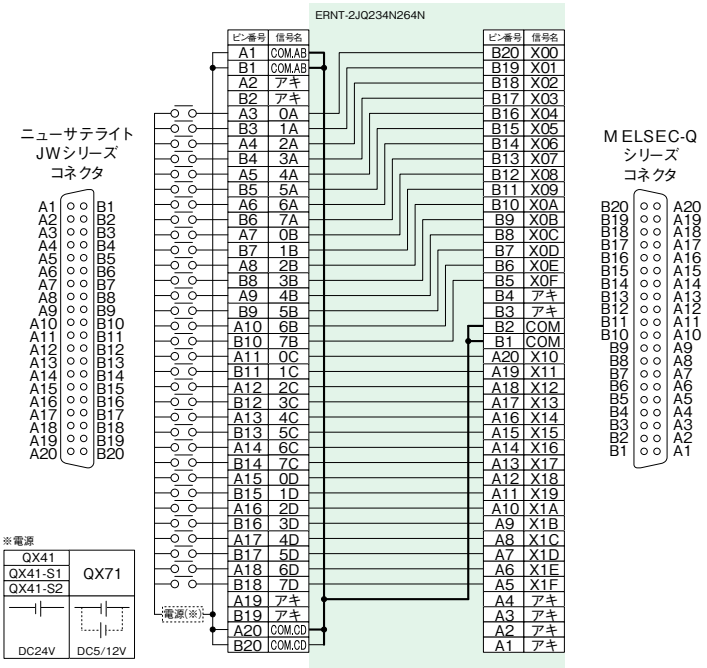
(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、ニューサテライトJWシリーズ側の端子番号TB9とTB18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.外部供給電源コネクタの端子番号TB1、TB2への外部供給電源は不要となります。
3.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、ニューサテライトJWシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(3)ERNT-2JQ234N264N　コネクタ(40p)→コネクタ(40p)

変換アダプタ形名	ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-2JQ234N264N	JW-234N	32点	QX41 QX41-S1 QX41-S2 QX71
ERNT-2JQ234N264N×2台	JW-264N※1	64点	QX41×2台 QX41-S1×2台 QX41-S2×2台

※1:JW-264Nからの置換えの場合、MELSEC-Qシリーズ対象ユニットと変換アダプタを2セット使用して32点ずつ必要となります。

JW-234N → QX41/QX41-S1/QX41-S2/QX71の場合

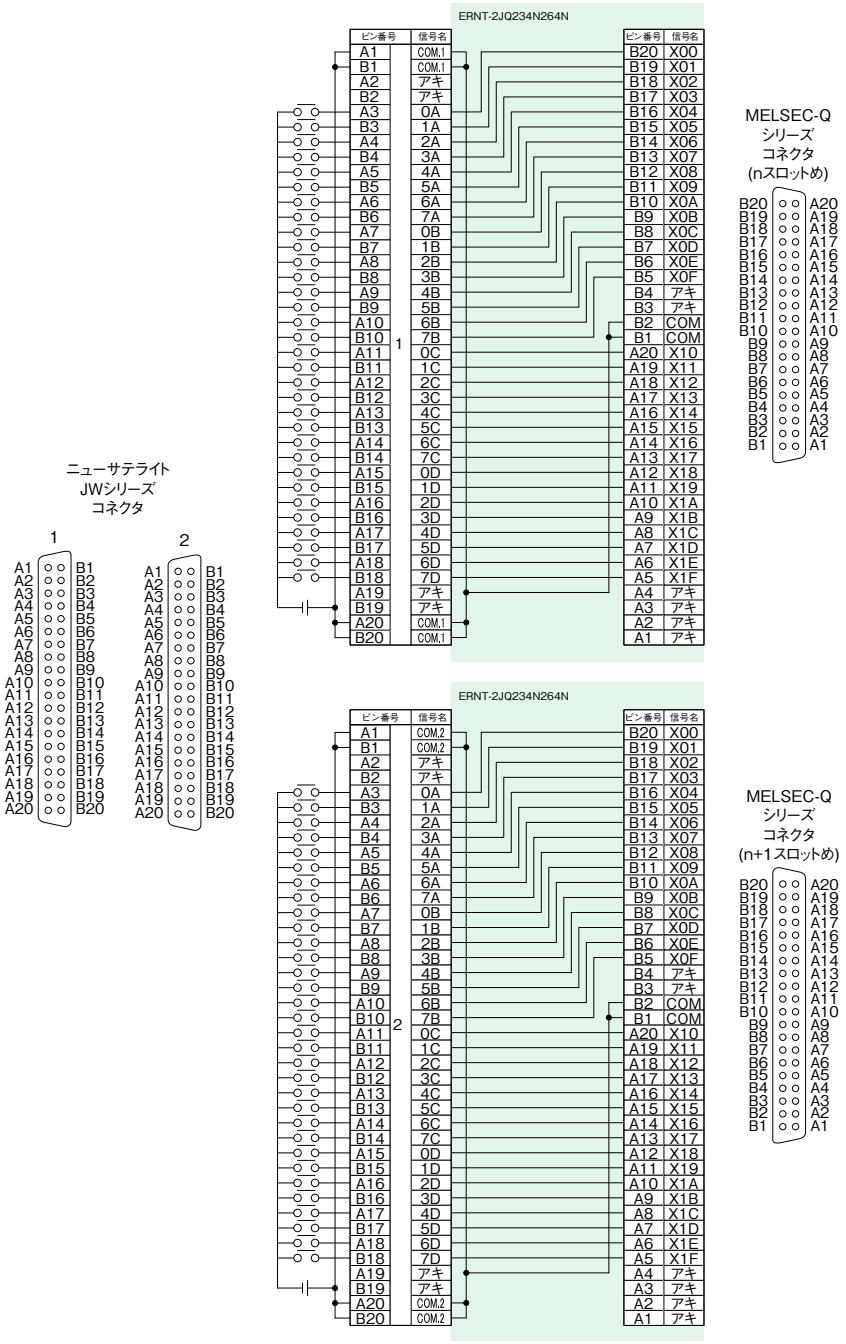


〈仕様比較表〉

形名 / 仕様		ニューサテライトJWシリーズ	MELSEC-Qシリーズ			
		JW-234N プラス/マイナスコモン共用タイプ	QX41 プラスコモンタイプ	QX41-S1 プラスコモンタイプ	QX41-S2 プラスコモンタイプ	QX71 プラス/マイナスコモン共用タイプ
入力点数		32点	32点	32点	32点	32点
定格入力電圧		DC12/24V	DC24V	DC24V	DC24V	DC5/12V
定格入力電流		約7mA(DC24V) 約3.5mA(DC12V)	約4mA	約4mA	約6mA	約3.3mA(DC12V) 約1.2mA(DC5V)
入力インピーダンス		約3.5kΩ	約5.6kΩ	約5.6kΩ	約3.6kΩ	約3.3kΩ
突入電流		—	—	—	—	—
動作電圧/電流	ON	10.5V / 3mA	19V / 3mA	19V / 3mA	15V / 3mA	3.5V / 1mA
	OFF	5V / 1.5mA	11V / 1.7mA	9.5V / 1.5mA	5V / 1.7mA	1V / 0.1mA
応答時間	OFF→ON	0.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		16点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外線接続方式		40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ

(注)1.1コモンあたりの点数が16点／1コモン(2回路)→32点／1コモンとなるため、ニューサテライトJWシリーズ側のピン番号A1とB1および、A20とB20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、ニューサテライトJWシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
4.既存ユニットをDC24V マイナスコモンでご使用の場合は、QX81、またはQX81-S2 への再配線をご検討ください。
5.既存ユニットを16 点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40 2 台、QX40-S1 2 台、QX70 2 台、またはQX80 2 台への再配線をご検討ください。
その際、ERNT-ASQTB20 の使用をご検討ください。

JW-264N → QX41/QX41-S1/QX41-S2 ×2台の場合



〈仕様比較表〉

形名 / 仕様		ニューサテライト JWシリーズ	MELSEC-Qシリーズ		
		JW-264N プラス/マイナス コモン共用タイプ	QX41 プラスコモン タイプ	QX41-S1 プラスコモン タイプ	QX41-S2 プラスコモン タイプ
入力点数		64点	32点	32点	32点
定格入力電圧		DC24V	DC24V	DC24V	DC24V
定格入力電流		約4.1mA	約4mA	約4mA	約6mA
入力インピーダンス		約5.9kΩ	約5.6kΩ	約5.6kΩ	約3.6kΩ
突入電流		—	—	—	—
動作電圧/電流	ON	18V / 3mA	19V / 3mA	19V / 3mA	15V / 3mA
	OFF	8V / 1.5mA	11V / 1.7mA	9.5V / 1.5mA	5V / 1.7mA
応答時間	OFF→ON	0.5ms以下	1/5/10/20/70ms 以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms 以下	1/5/10/20/70ms 以下
	ON→OFF	1.5ms以下	1/5/10/20/70ms 以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms 以下	1/5/10/20/70ms 以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外線接続方式		40ピン コネクタx2	40ピン コネクタ	40ピン コネクタ	40ピン コネクタ

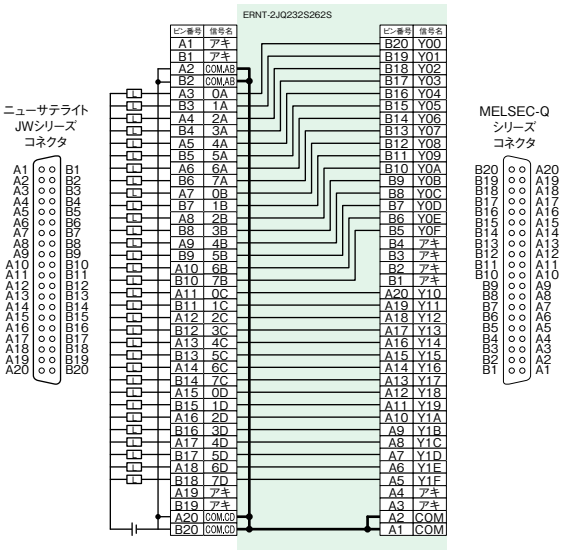
(注)1.JW-264Nからの置換えの場合、MELSEC-Qシリーズ対象ユニットと変換アダプタを2セット使用して32点ずつ必要となります。
2.プラスコモン入力にて使用してください。(マイナスコモン入力での使用はできません。)
3. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、ニューサテライトJWシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
5.既存ユニットをDC24Vマイナスコモンでご使用の場合は、QX82、またはQX82-S1への再配線をご検討ください。

(4) ERNT-2JQ232S262S　コネクタ(40p)→コネクタ(40p)

変換アダプタ形名	ニューサテライトJWシリーズ ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-2JQ232S262S	JW-232S	32点	QY41H
ERNT-2JQ232S262S×2台	JW-262S※1	64点	QY41H×2台

※1: JW-262Sからの置換えの場合、QY41Hと変換アダプタを2セット使用して32点ずつ必要となります。

JW-232S → QY41Hの場合

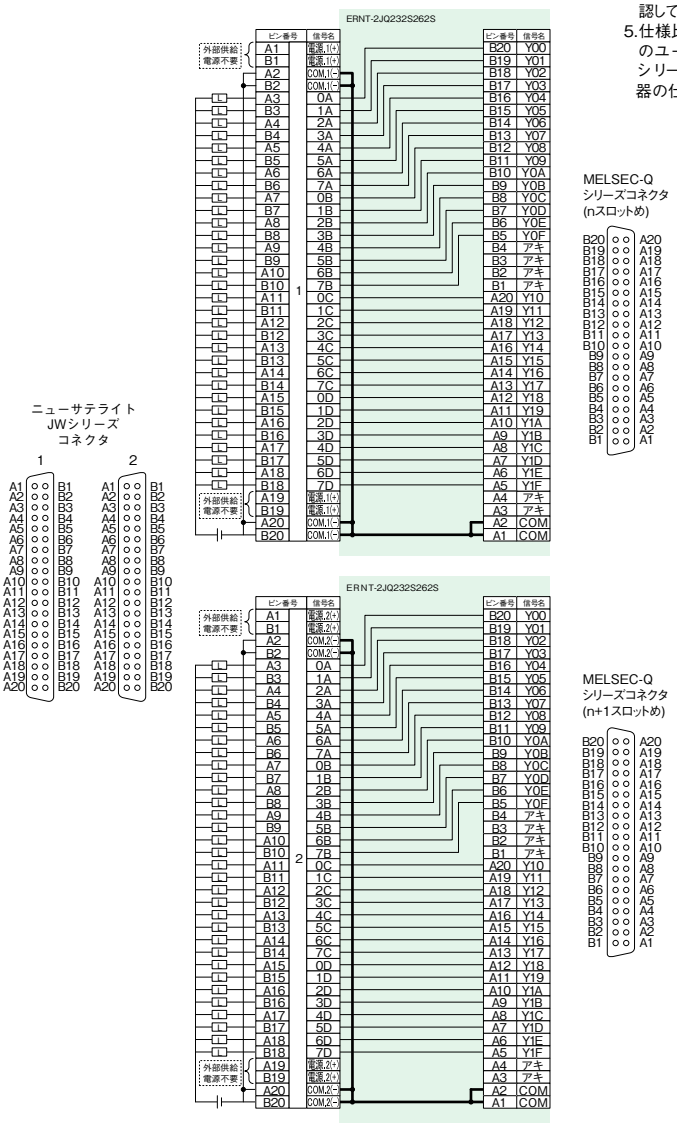


〈仕様比較表〉

仕様＼形名		ニューサテライトJWシリーズ JW-232S シンクタイプ	ニューサテライトJWシリーズ JW-262S シンクタイプ	MELSEC-Qシリーズ QY41H シンクタイプ
出力点数		32点	64点	32点
定格負荷電圧		DC5/12/24V	DC5/12/24V	DC5/12/24V
最大負荷電流		0.1A/1点 1.6A/1コモン	0.1A/1点 2A/1コモン	0.2A/1点 2A/1コモン
最大突入電流		0.15A 10ms以下	0.15A 100ms以下	0.7A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.2mA以下	0.2mA以下	0.1mA以下
ON時電圧降下		DC1.3V(MAX.)0.1A	DC1.2V(MAX.)0.1A	DC0.2V(MAX.)0.1A
応答時間	OFF→ON	1ms以下	0.5ms以下	2μs以下
	ON→OFF	1ms以下(抵抗負荷)	1ms以下(抵抗負荷)	2μs以下(抵抗負荷)
サージキラー		ツェナーダイオード	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		2A(交換不可)	2.5A(交換不可)	なし
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		16点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外線接続方式		40ピンコネクタ	40ピンコネクタ x2	40ピンコネクタ

(注)1.JW-232Sからの置換えの場合、1コモンあたりの点数が16点／1コモン(2回路)→32点／1コモンとなるため、ニューサテライトJWシリーズ側のピン番号A2とB2および、A20とB20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.JW-262Sからの置換えの場合、QY41Hと変換アダプタを2セット使用して32点ずつ必要となります。
3.JW-262Sからの置換えの場合、ニューサテライトJWシリーズ側のピン番号1のA1とB1およびピン番号2のA1とB1に接続されていた外部供給電源は不要となります。ただし,変換アダプタ内部では未配線状態のため,接続したままの状態でも問題ありません。
4.□は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
5.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、ニューサテライトJWシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

JW-262S → QY41H ×2台の場合



三菱電機株式会社製 ベースユニット

ご注意

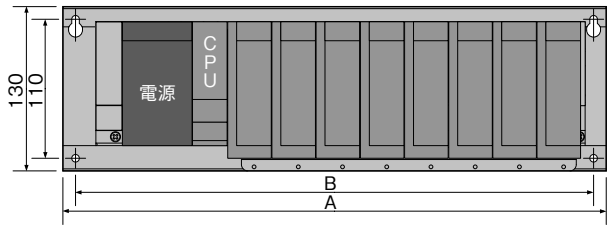
ベースユニットの取付穴（4ヶ所）位置は、ニューサテライトJWシリーズベースユニットと異なりますので、制御盤への追加ネジ加工が必要です。

取付寸法

●ニューサテライトJWシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

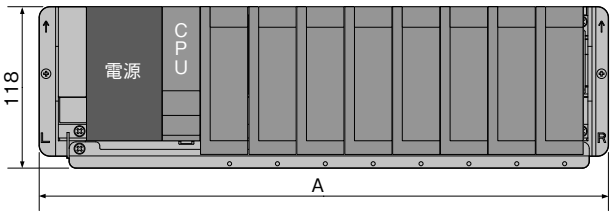
単位:mm

◎AnSサイズ版Qラージベースユニット 盤面取付タイプ



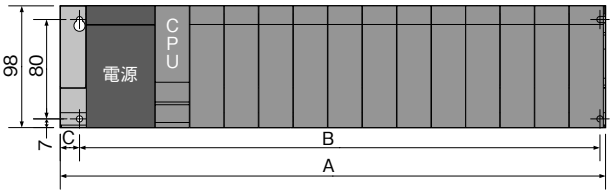
AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内容	A	B	取付穴 ネジサイズ
Q38BLS	基本ベースユニット	430	410	M5
Q35BLS		325	305	
Q68BLS	増設ベースユニット（電源あり）	420	400	
Q65BLS		315	295	
Q55BLS	増設ベースユニット（電源なし）	260	240	

◎AnSサイズ版Qラージベースユニット DINレール取付タイプ



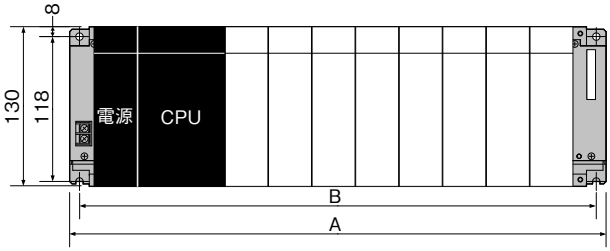
AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内容	A
Q38BLS-D	基本ベースユニット	416
Q35BLS-D		311
Q68BLS-D	増設ベースユニット（電源あり）	409
Q65BLS-D		304
Q55BLS-D	増設ベースユニット（電源なし）	248

◎MELSEC-Qシリーズベースユニット



MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名	内容	A	B	C	取付穴 ネジサイズ
Q312B	基本ベースユニット	439	419	15.5	M4
Q38B		328	308	15.5	
Q35B		245	224.4	15.5	
Q33B		189	169	15.5	
Q612B	増設ベースユニット（電源あり）	439	417	15.5	
Q68B		328	306	15.5	
Q65B		245	222.4	15.5	
Q63B		189	167	15.5	
Q55B	増設ベースユニット（電源なし）	189	167	15.5	
Q52B		106	83.5	15.5	

◎（参考）ニューサテライトJWシリーズベースユニット



ニューサテライト JWシリーズ ベースユニット形名	内容	A	B	取付穴 ネジサイズ
JW-28KB、JW-38KB	JW20H/30Hシリーズ 基本ベースユニット	437	421	M5
JW-26KB、JW-36KB		368	352	
JW-24KB、JW-34KB		297	281	
JW-318KB	JW300シリーズ 基本ベースユニット	403.5	387.5	
JW-316KB		332.5	316.5	
JW-314KB		261.5	245.5	
JW-38ZB	増設ベースユニット（電源あり）	368	352	
JW-36ZB		297	281	
JW-34ZB		226	210	

置換え時の外形寸法および取付穴寸法比較

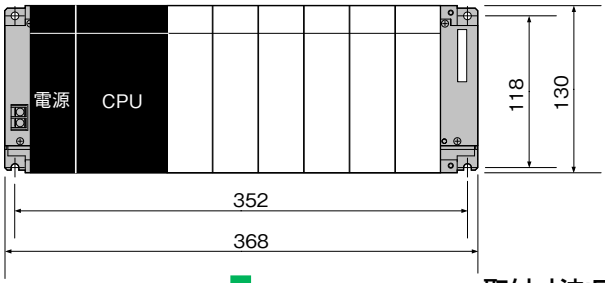
下記の表により、置換え前後の外形寸法および取付穴寸法が確認できます。

ご注意

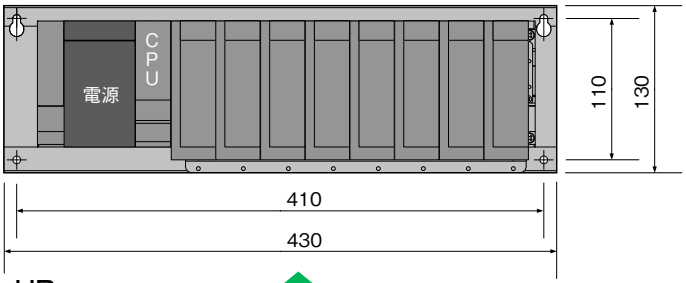
“▲”の箇所は置換えた際に下記（例）の様に寸法が大きくなり、取付位置を再検討する必要があるためご注意ください。
また、装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。

（例）ニューサテライトJWシリーズ（JW-26KB、JW-36KB）からAnSサイズ版Qラージベースユニット（Q38BLS）に置換えた場合

JW-26KB、JW-36KB



Q38BLS　　単位:mm



取付寸法:58mmUP

外形寸法:62mmUP

AnSサイズ版QラージベースユニットまたはMELSEC-Qシリーズベースユニットに置換える場合

① 基本ベースユニットを使用する場合

◎:同一、○:JWシリーズの方が大きい、▲:JWシリーズの方が小さい

JWシリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット							MELSEC-Qシリーズベースユニット							備考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（AnSサイズ版Qラージ-JWシリーズ） 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付寸法 ※2 横	取付寸法 ※2 縦	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-JWシリーズ） 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付寸法 ※2 横	取付寸法 ※2 縦	
JW-28KB/JW-38KB	あり	8	Q38BLS	あり	8	○ (-7)	◎	○ (-11)	○ (-8)	Q312B	あり	12	▲ (2)	○ (-32)	○ (-2)	○ (-38)	・外形寸法、取付穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合がある
										Q38B	あり	8	○ (-109)	○ (-32)	○ (-113)	○ (-38)	
JW-26KB/JW-36KB	あり	6	Q38BLS	あり	8	▲ (62)	◎	▲ (58)	○ (-8)	Q312B	あり	12	▲ (71)	○ (-32)	▲ (67)	○ (-38)	・外形寸法、取付穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合がある
										Q38B	あり	8	○ (-40)	○ (-32)	○ (-44)	○ (-38)	
			Q35BLS	あり	5	○ (-43)	◎	○ (-47)	○ (-8)	Q35B	あり	5	○ (-123)	○ (-32)	○ (-127.6)	○ (-38)	
JW-24KB/JW-34KB	あり	4	Q35BLS	あり	5	▲ (28)	◎	▲ (24)	○ (-8)	Q38B	あり	8	▲ (31)	○ (-32)	▲ (27)	○ (-38)	・外形寸法、取付穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合がある
										Q35B	あり	5	○ (-52)	○ (-32)	○ (-56.6)	○ (-38)	
										Q33B	あり	3	○ (-108)	○ (-32)	○ (-112)	○ (-38)	
JW-318KB	あり	8	Q38BLS	あり	8	▲ (26.5)	◎	▲ (22.5)	○ (-8)	Q312B	あり	12	▲ (35.5)	○ (-32)	▲ (31.5)	○ (-38)	・外形寸法、取付穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合がある
										Q38B	あり	8	○ (-75.5)	○ (-32)	○ (-79.5)	○ (-38)	
JW-316KB	あり	6	Q38BLS	あり	8	▲ (97.5)	◎	▲ (93.5)	○ (-8)	Q312B	あり	12	▲ (106.5)	○ (-32)	▲ (102.5)	○ (-38)	・外形寸法、取付穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合がある
										Q38B	あり	8	○ (-4.5)	○ (-32)	○ (-8.5)	○ (-38)	
			Q35BLS	あり	5	○ (-7.5)	◎	○ (-11.5)	○ (-8)	Q35B	あり	5	○ (-87.5)	○ (-32)	○ (-92.1)	○ (-38)	
JW-314KB	あり	4	Q35BLS	あり	5	▲ (63.5)	◎	▲ (59.5)	○ (-8)	Q38B	あり	8	▲ (66.5)	○ (-32)	▲ (62.5)	○ (-38)	・外形寸法、取付穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合がある
										Q35B	あり	5	○ (-16.5)	○ (-32)	○ (-21.1)	○ (-38)	
										Q33B	あり	3	○ (-72.5)	○ (-32)	○ (-76.5)	○ (-38)	

※1:（ ）値はMELSEC-Qシリーズ対応ユニットとJWシリーズの寸法差［単位:mm］　※2:穴同士の距離が近い場合、注意が必要

② 増設ベースユニットを使用する場合

◎:同一、○:JWシリーズの方が大きい、▲:JWシリーズの方が小さい

JWシリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット							MELSEC-Qシリーズベースユニット							備考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-JWシリーズ） 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付寸法 ※2 横	取付寸法 ※2 縦	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-JWシリーズ） 外形寸法 横	外形寸法 縦	取付寸法 ※2 横	取付寸法 ※2 縦	
JW-38ZB	あり	8	Q68BLS	あり	8	▲ (52)	◎	▲ (48)	○ (-8)	Q612B	あり	12	▲ (71)	○ (-32)	▲ (65)	○ (-38)	・外形寸法、取付穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合がある
										Q68B	あり	8	○ (-40)	○ (-32)	○ (-46)	○ (-38)	
JW-36ZB	あり	6	Q68BLS	あり	8	▲ (123)	◎	▲ (119)	○ (-8)	Q612B	あり	12	▲ (142)	○ (-32)	▲ (136)	○ (-38)	・外形寸法、取付穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合がある
										Q68B	あり	8	▲ (31)	○ (-32)	▲ (25)	○ (-38)	
			Q65BLS	あり	5	▲ (18)	◎	▲ (14)	○ (-8)	Q65B	あり	5	○ (-52)	○ (-32)	○ (-58.6)	○ (-38)	
			Q55BLS	なし	5	○ (-37)	◎	○ (-41)	○ (-8)	Q55B	なし	5	○ (-108)	○ (-32)	○ (-114)	○ (-38)	
JW-34ZB	あり	4	Q68BLS	あり	8	▲ (194)	◎	▲ (190)	○ (-8)	Q68B	あり	8	▲ (102)	○ (-32)	▲ (96)	○ (-38)	・外形寸法、取付穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合がある
			Q65BLS	あり	5	▲ (89)	◎	▲ (85)	○ (-8)	Q65B	あり	5	▲ (19)	○ (-32)	▲ (12.4)	○ (-38)	
										Q63B	あり	3	○ (-37)	○ (-32)	○ (-43)	○ (-38)	
			Q55BLS	なし	5	▲ (34)	◎	▲ (30)	○ (-8)	Q55B	なし	5	○ (-37)	○ (-32)	○ (-43)	○ (-38)	
										Q52B	なし	2	○ (-120)	○ (-32)	○ (-126.5)	○ (-38)	

※1:（ ）値はMELSEC-Qシリーズ対応ユニットとJWシリーズの寸法差［単位:mm］　※2:穴同士の距離が近い場合、注意が必要

スロット位置

ニューサテライトJWシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

ご注意

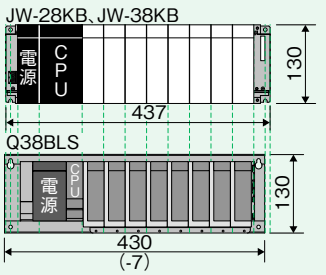
AnSサイズ版Qラージベースユニットはニューサテライト JWシリーズと取付穴のネジサイズが同一のため、左寄せおよび右寄せは取付穴を基準としています。ただし、MELSEC-QシリーズベースユニットはニューサテライトJWシリーズと取付穴のネジサイズが異なるため、左寄せおよび右寄せはベースユニットの端を基準としています。尚、カッコ内の数値はニューサテライトJWシリーズとの外形寸法差です。

基本ベースユニットを使用する場合

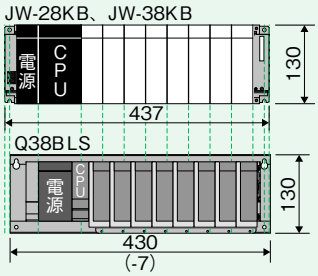
(1) JW-28KB、JW-38KB ⇒ Q38BLS / Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

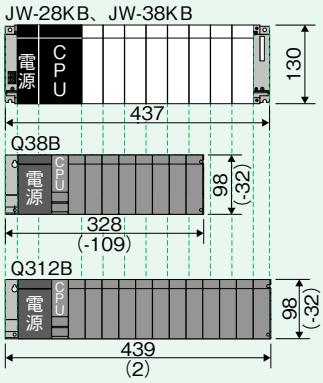


右寄せ設置の場合

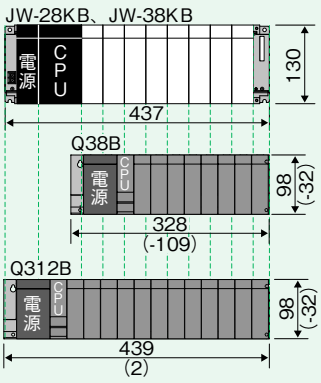


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



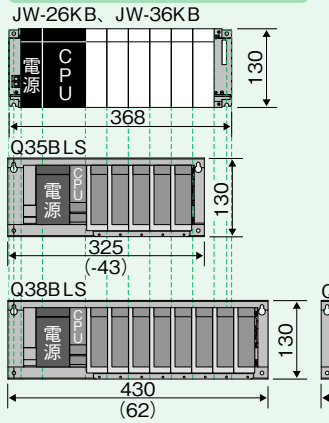
右寄せ設置の場合



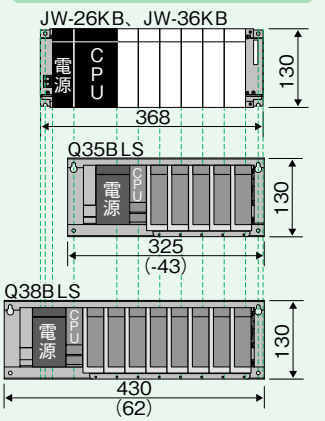
(2) JW-26KB、JW-36KB ⇒ Q35BLS、Q38BLS / Q35B、Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

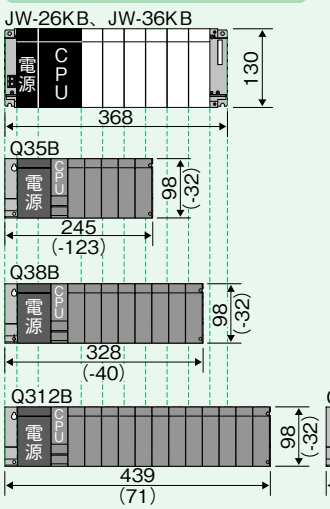


右寄せ設置の場合

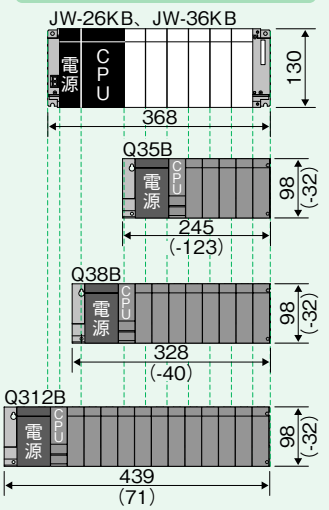


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



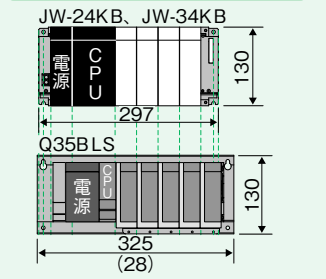
右寄せ設置の場合



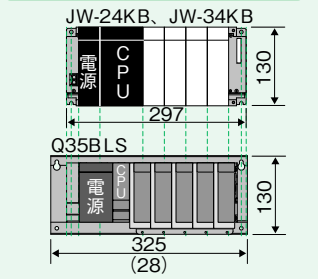
(3) JW-24KB、JW-34KB ⇒ Q35BLS / Q33B、Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

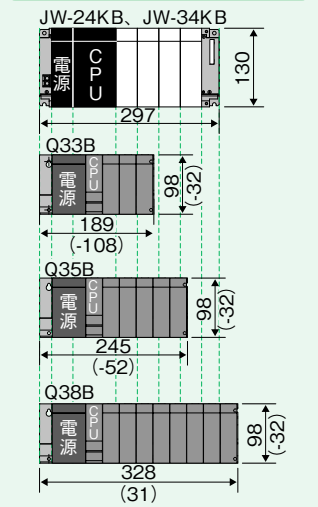


右寄せ設置の場合

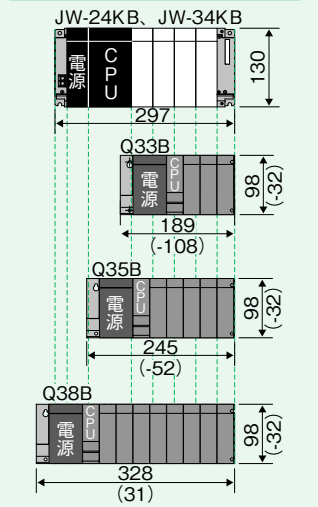


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



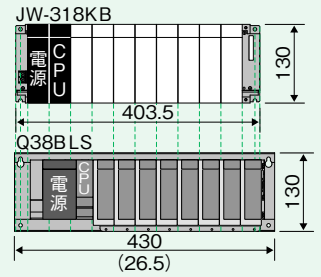
右寄せ設置の場合



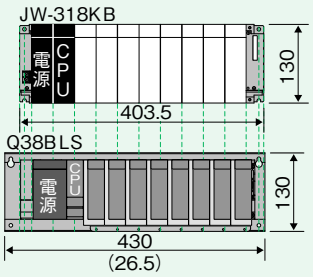
(4) JW-318KB ⇒ Q38BLS / Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

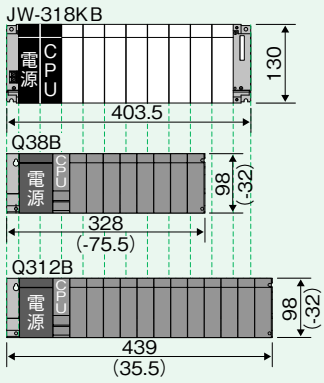


右寄せ設置の場合

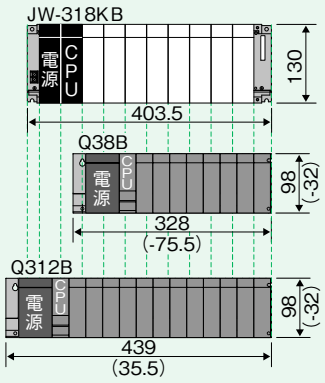


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



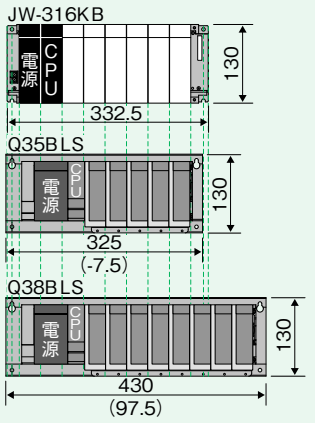
右寄せ設置の場合



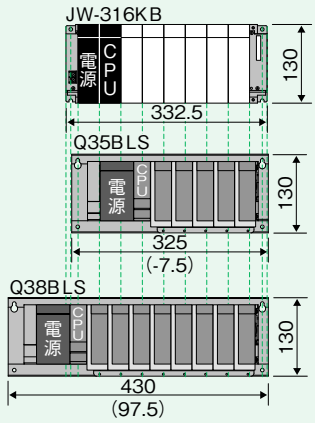
(5) JW-316KB ⇒ Q35BLS、Q38BLS / Q35B、Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

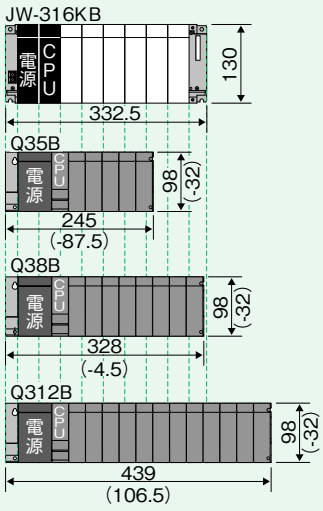


右寄せ設置の場合

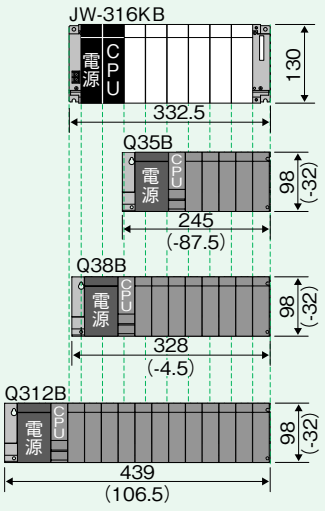


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



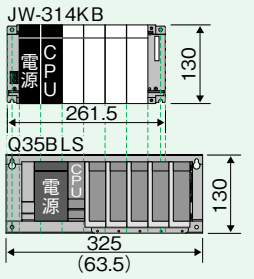
右寄せ設置の場合



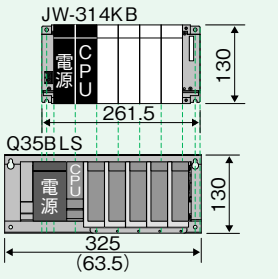
(6) JW-314KB ⇒ Q35BLS / Q33B、Q35B、Q38B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

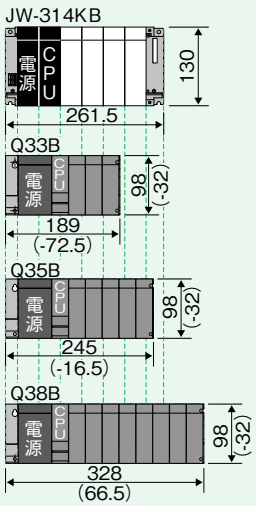


右寄せ設置の場合

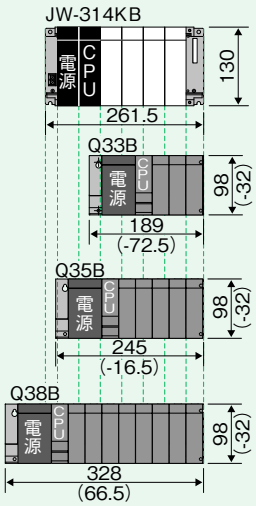


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

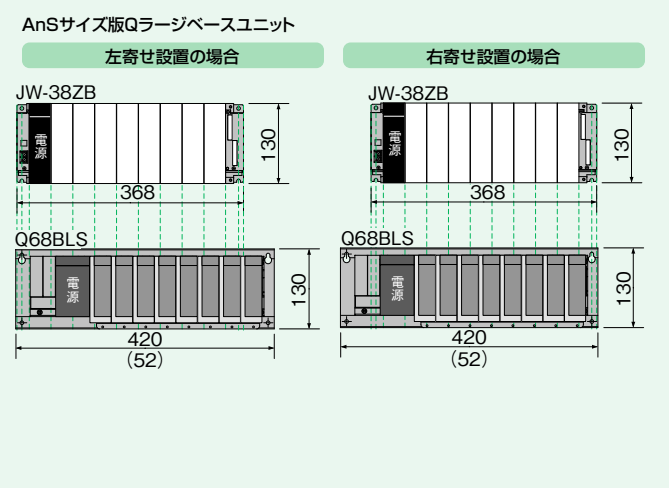


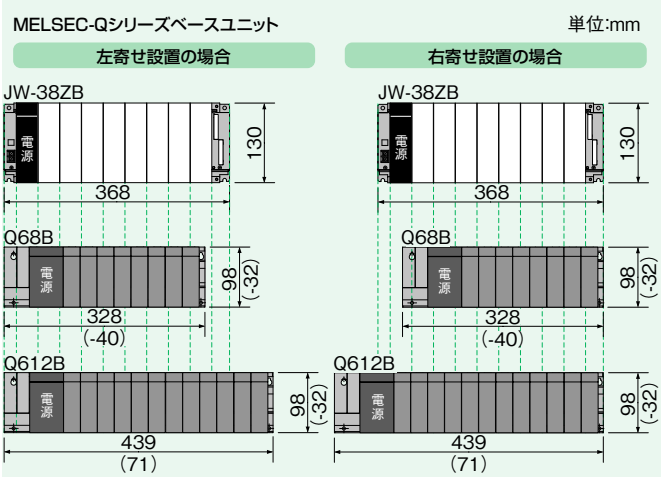
右寄せ設置の場合



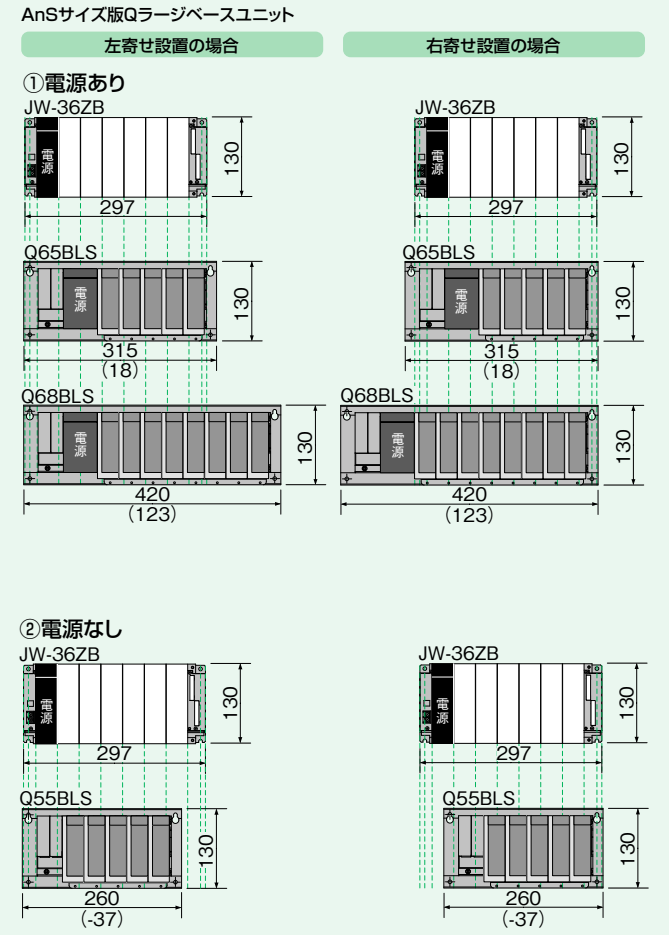
増設ベースユニットを使用する場合

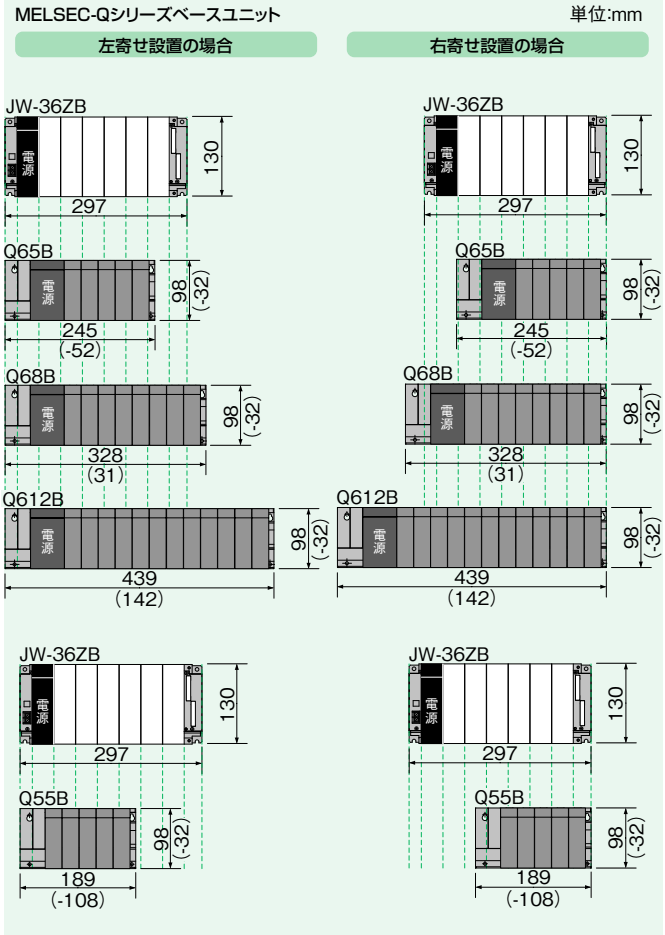
(1) JW-38ZB ⇒ Q68BLS / Q68B、Q612B





(2) JW-36ZB ⇒ Q65BLS、Q68BLS / Q55BLS / Q65B、Q68B、Q612B / Q55B



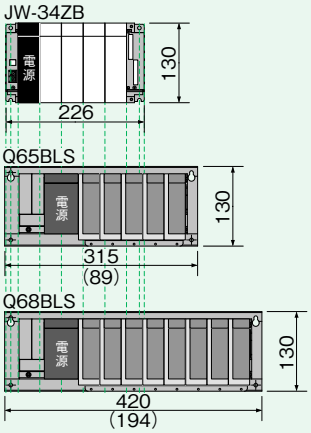


(3) JW-34ZB ⇒ Q65BLS、Q68BLS / Q55BLS / Q63B、Q65B、Q68B / Q52B、Q55B

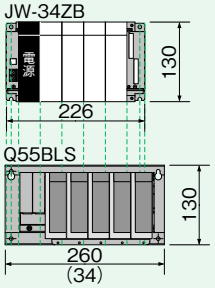
AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

①電源あり

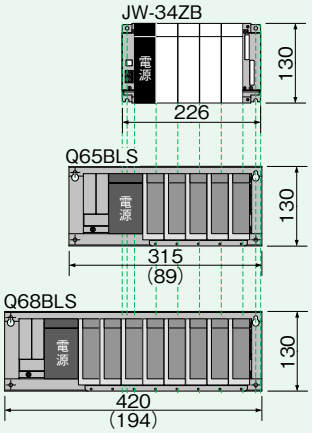


②電源なし

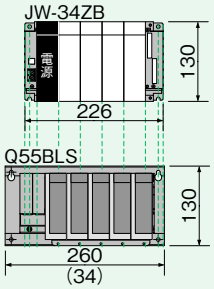


右寄せ設置の場合

①電源あり



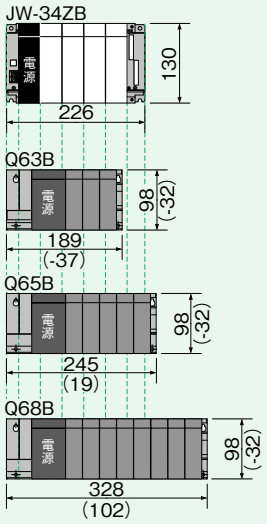
②電源なし

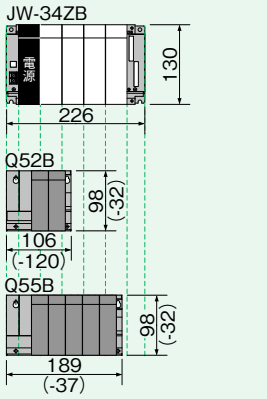


MELSEC-Qシリーズベースユニット

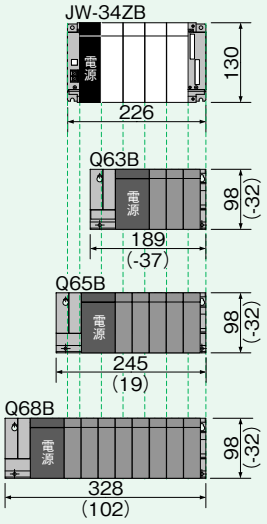
単位:mm

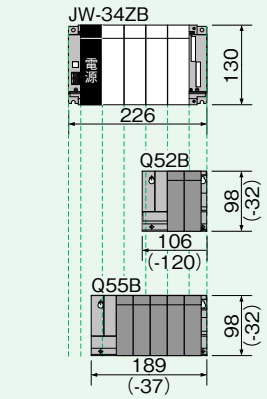
左寄せ設置の場合





右寄せ設置の場合



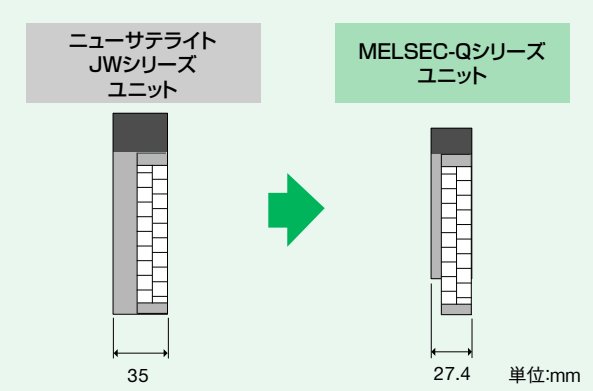


ご使用上の注意点

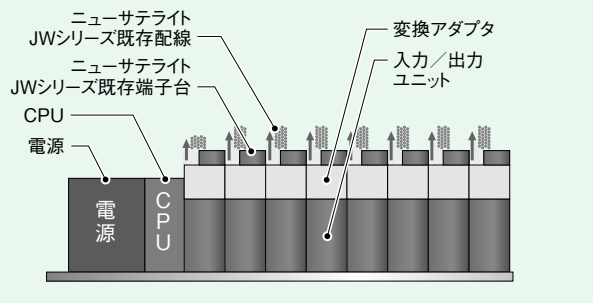
ユニット幅

下記(1)より、装着ユニットに配線が干渉する場合は、三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニット(配線領域は34.5mm)の使用を推奨します。

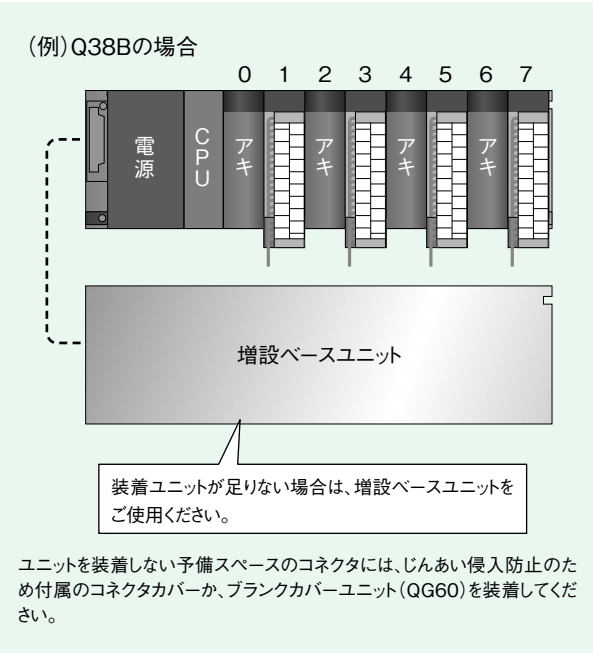
(1)ユニット幅寸法がニューサテライトJWシリーズ35mm ⇒ MELSEC-Qシリーズ27.4mmと小さくなり、配線領域が小さくなりますので、
取付け時に確認が必要です。



(2)装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3)配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

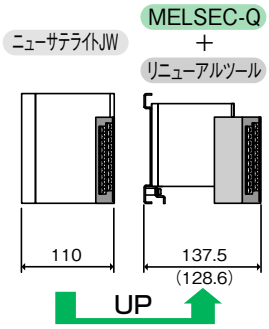
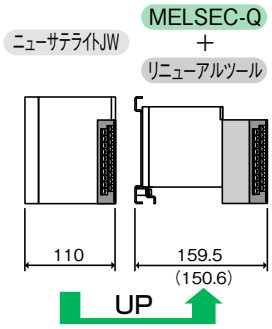
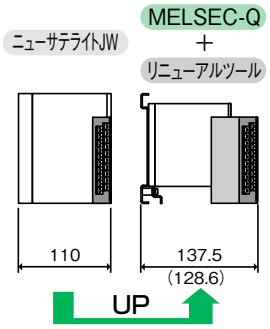
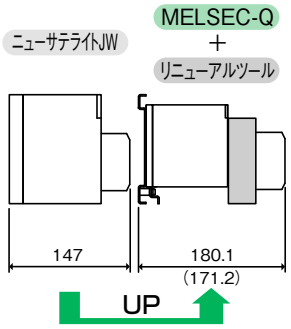


ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい侵入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(QG60)を装着してください。

奥行き

奥行き寸法は以下のようになります。奥行き寸法が大きくなりますので取付け上の確認が必要です。
三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニットを使用せず標準ベースユニットを使用する場合はカッコ内の数値(8.9mm小さい値)になります。

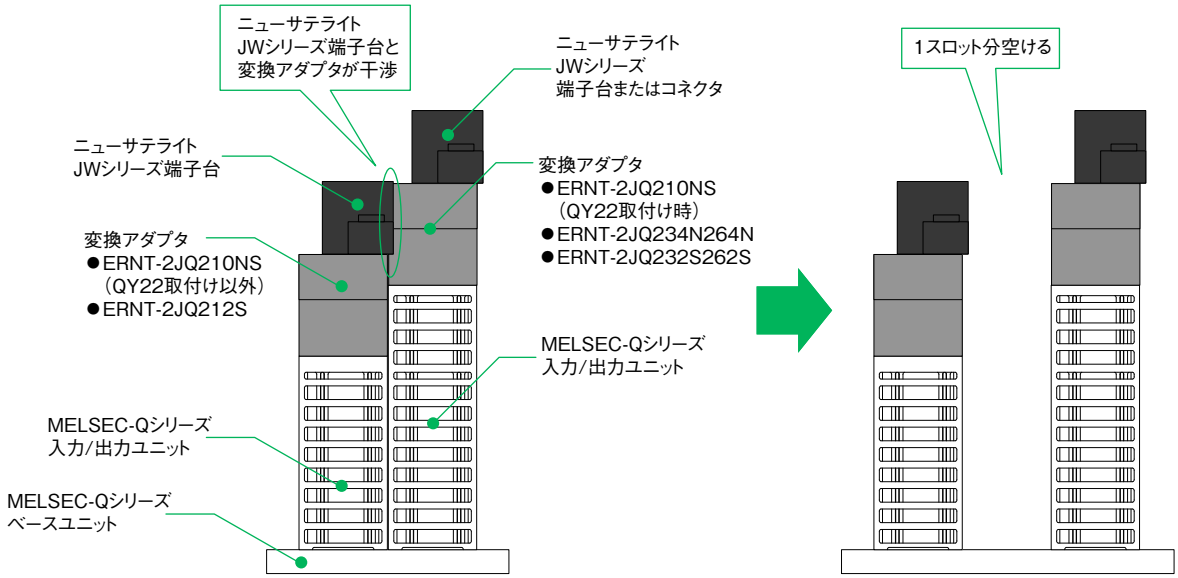
ニューサテライトJW :ニューサテライトJWシリーズ　MELSEC-Q :MELSEC-Qシリーズ

変換アダプタ	ERNT-2JQ210NS		ERNT-2JQ212S	ERNT-2JQ234N264N ERNT-2JQ232S262S
MELSEC-Qシリーズユニット	QX10/QX40/QX40-S1/ QX70/QY10	QY22	QY40P/QY50/QY70/ QX80	QX41/QX41-S1/ QX41-S2/QX71/QY41H
奥行き寸法	137.5mm (128.6mm)	159.5mm (150.6mm)	137.5mm (128.6mm)	180.1mm (171.2mm)
取付図				

※:上記奥行き寸法は、各々盤面からの寸法です。
(ニューサテライトJWシリーズはベースユニット+入力／出力ユニット+端子台(コネクタ)、MELSEC-Qシリーズ+リニューアルツールは、ベースユニット+入力／出力ユニット+変換アダプタ+端子台(コネクタ))

隣接ユニット干渉確認

隣同士の変換アダプタの端子台が干渉する組合せがあるため、三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニットをご使用いただくことを推奨します。
なお、MELSEC-Qシリーズベースユニットをご使用いただき、隣同士の変換アダプタが以下となる場合は、端子台の干渉を避けるために1スロット分空けてください。

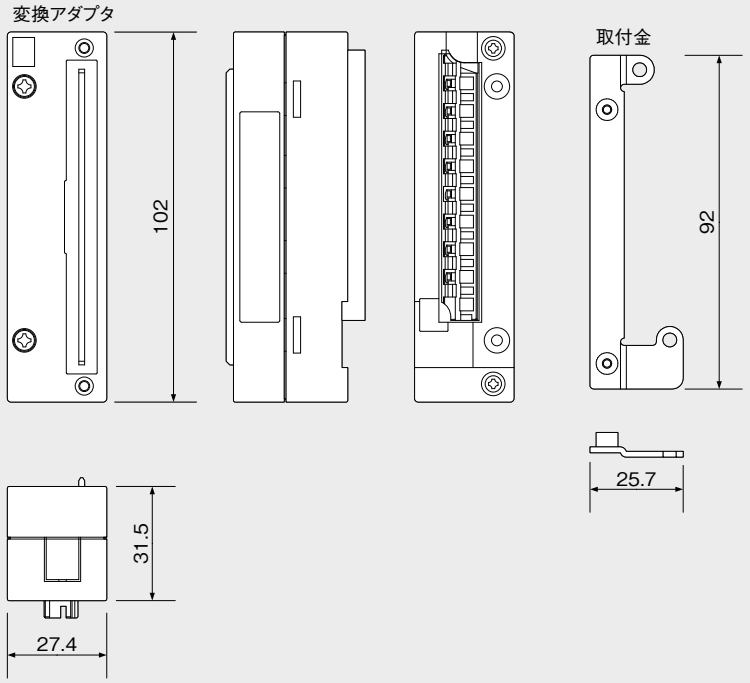


外形寸法図

変換アダプタ

形名:
ERNT-2JQ210NS

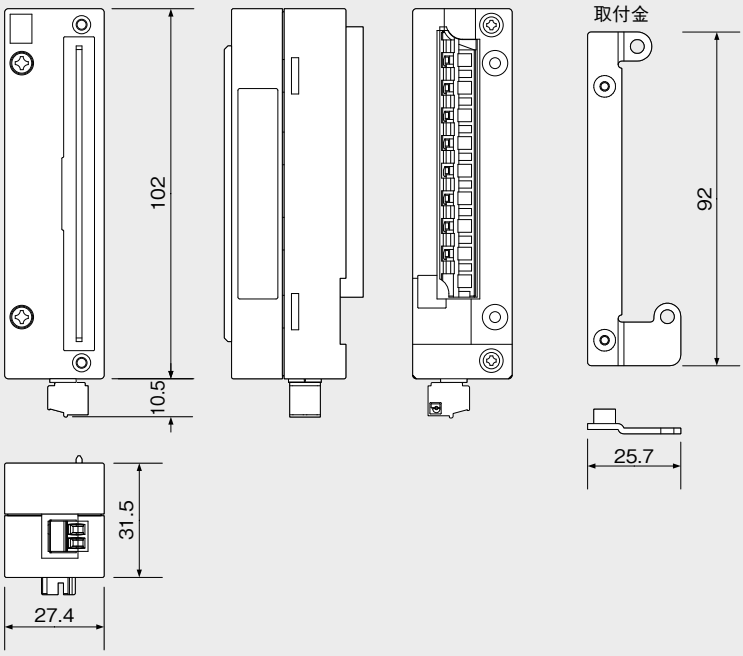
単位:mm



質量:75g

形名:
ERNT-2JQ212S

単位:mm

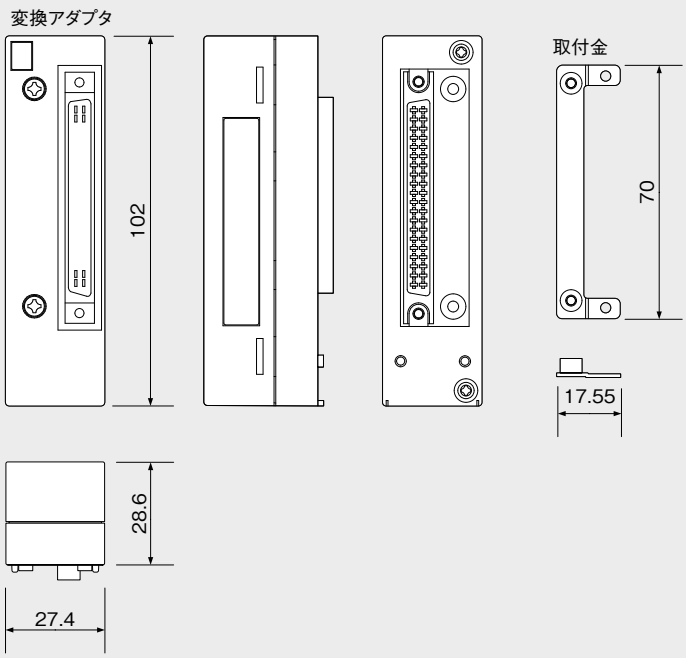


質量:80g

形名:

ERNT-2JQ234N264N
ERNT-2JQ232S262S

単位:mm



質量:75g

GL Q series MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)／MELSEC-Qシリーズ　リニューアルツール

GLシリーズ 大形タイプ (2000シリーズI/O)

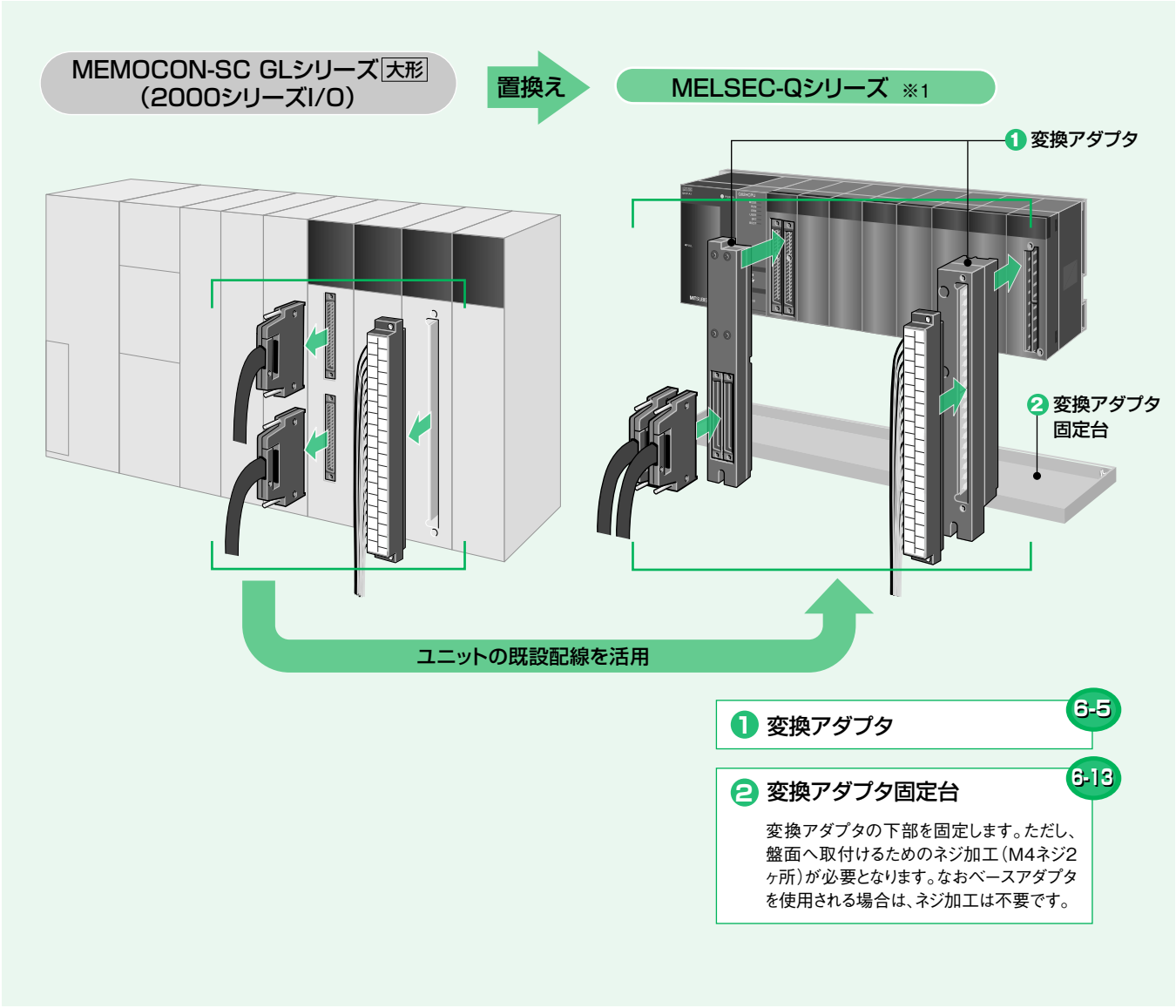
MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)からMELSEC-Qシリーズへリニューアルする場合

■MELSEC-Qシリーズへ置換えが容易
株式会社安川電機製PLC MEMOCON-SC GLシリーズの入力/出力ユニット(2000シリーズI/O)から、
三菱電機株式会社製MELSEC-Qシリーズシーケンサに置換えることが容易です。

■入力/出力ユニットへの配線作業時間の大幅短縮/配線ミスの大幅低減
MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)の入力/出力ユニットに接続されていた配線は、変換アダプタを経由することで、MELSEC-Qシリーズにそのまま接続できます。(一部、電源およびコモン端子の接続変更が必要となります。)

製品の概要

本製品は、株式会社安川電機製PLC　MEMOCON-SC　GLシリーズ(大形:GL40S/60S/60H/70H)の入力/出力ユニット(2000シリーズI/O)に接続されていた既設配線を三菱電機株式会社製シーケンサMELSEC-Qシリーズの入力/出力ユニットに配線変更する「変換アダプタ」と、変換アダプタの下部を固定するための「変換アダプタ固定台」を組合せた構成となります。



1 変換アダプタ 6-5

2 変換アダプタ固定台 6-13

変換アダプタの下部を固定します。ただし、盤面へ取付けるためのネジ加工(M4ネジ2ヶ所)が必要となります。なおベースアダプタを使用される場合は、ネジ加工は不要です。

※1:株式会社安川電機製PLC　MEMOCON-SC　GLシリーズ(大形:GL40S/60S/60H/70H)の入力/出力ユニット(2000シリーズI/O)からMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニット幅寸法と奥行き寸法が変わるため、取付け上の確認が必要です。また、隣同士の変換アダプタの端子台が干渉する組合せがあります。詳しくは「ご使用上の注意点」(6-28ページ)を参照してください。

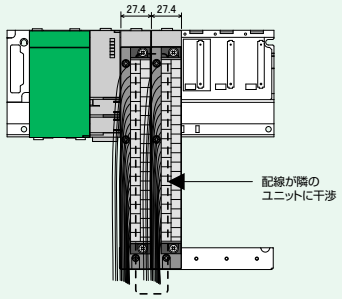
三菱電機株式会社製

Qラージベースユニットを活用したリニューアル

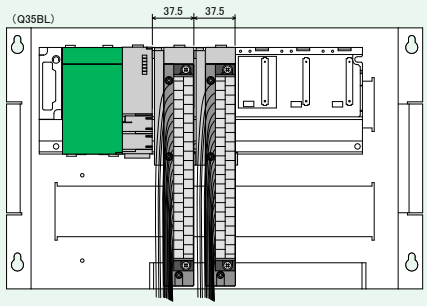
三菱電機株式会社製Qラージベースユニット(Q□□BL)を使用することで、「配線領域の確保」および「隣同士の変換アダプタの端子台が干渉する組合せ確認」が不要となります。
但し、一部機種は取付穴のピッチがGLシリーズと近く、取付けの位置を再検討する必要があるためご注意ください。

●配線が隣のユニットに干渉する場合、Qラージベースユニットを用いることにより、配線領域の確保が可能になります。

Qベースユニット　単位:mm

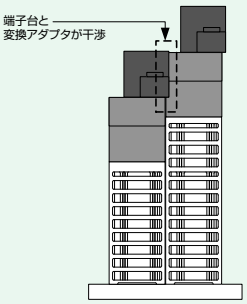


Qラージベースユニット(Q□□BL)　単位:mm

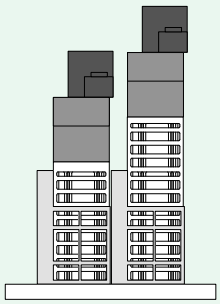


●隣同士の変換アダプタの端子台が干渉する組合せでご使用の場合、Qラージベースユニットを用いることにより端子台の干渉を避けることが可能になります。

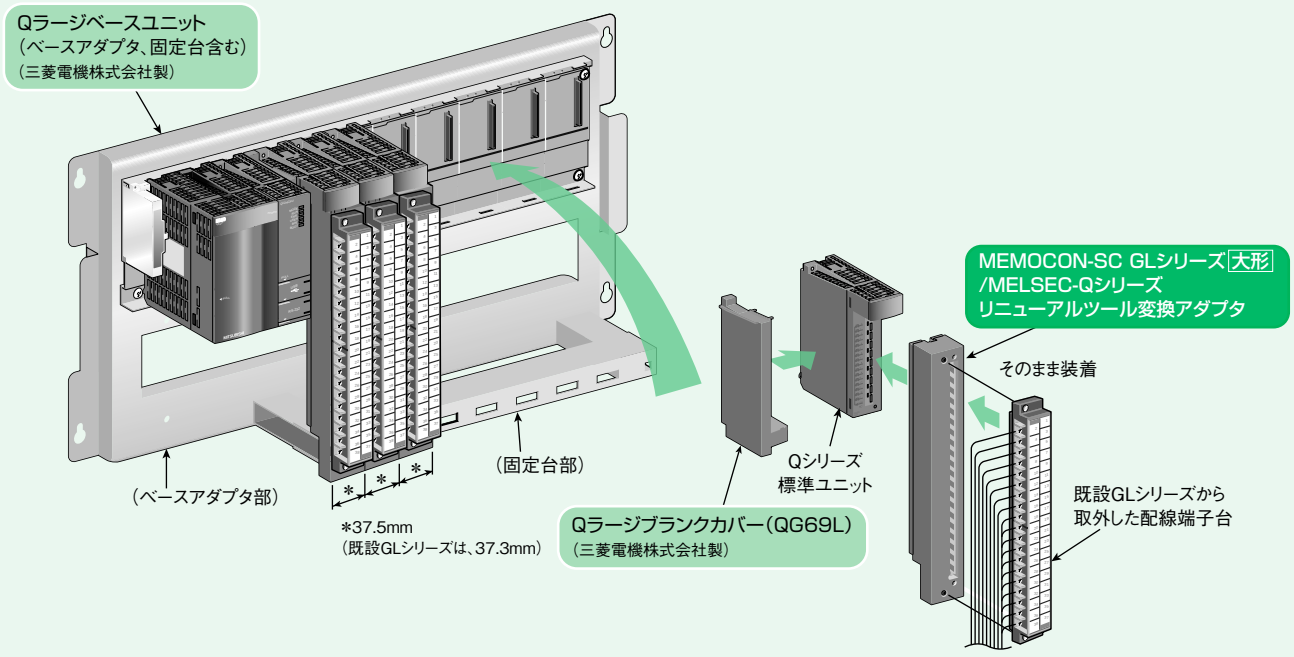
Qベースユニット



Qラージベースユニット(Q□□BL)



●Qラージベースユニットの構成



●2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。
●詳しくは「取付寸法」(6-18ページ)を参照してください。

Qラージベースユニット一覧

形名	内容	スロット数
Q38BL	基本ベースユニット	8
Q35BL		5
Q68BL	増設ベースユニット(電源あり)	8
Q65BL		5
Q55BL	増設ベースユニット(電源なし)	5

Qラージブランクカバー

形名	内容
QG69L	ユニット間の隙間調整用備品

機種一覧

❶ 変換アダプタ

変換アダプタを選定する際は、6-5～6-12ページのユニット仕様比較表および（注）文を必ず参照してください。1コモンあたりの点数が異なる等の注意文が記載されています。また、ユニット仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MEMOCON-SC GLシリーズ 大形 (2000シリーズI/O)とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

入力／出力ユニット用

〈1スロットタイプ〉 （三菱電機株式会社製Qラージベースユニット（Q□□BL）にも取付け可能）

入力／出力	置換前 MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O) ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 2000シリーズI/O	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力／出力点数	掲載ページ
入力	JAMSC-B2501A	QX10	ERNT-1Y2Q501	端子台（20点）	端子台（18点）	16点	6-5
	JAMSC-B2601	QX40、QX40-S1、QX70※3※7	ERNT-1Y2Q601611				6-5
	JAMSC-B2611	QX50					
	JAMSC-B2603	QX41、QX41-S2、QX71※4※8	ERNT-1JQ32N34N※1	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点	6-6
	JAMSC-B2607	QX71					
	JAMSC-B2605	QX42、QX42-S1、QX72※5	ERNT-1Y2Q615625	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	64点	6-7 〜 6-8
	JAMSC-B2615						
	JAMSC-B2625	QX72					
出力	JAMSC-B2500	QY22	ERNT-1Y2Q500	端子台（20点）	端子台（18点）	16点	6-8
	JAMSC-B2600	QY40P、QY50	ERNT-1Y2Q600				6-9
	JAMSC-B2602A	QY41H※6	ERNT-1Y2Q602606	端子台（38点）	コネクタ（40P）	32点	6-9
	JAMSC-B2606						
	JAMSC-B2604	QY42P	ERNT-CQCY213※2	コネクタ（40P）×2	コネクタ（40P）×2	64点	6-10

※1:シャープ株式会社製JWシリーズ（大形タイプ）からMELSEC-Qへの置換え用の変換アダプタを使用します。
※2:オムロン株式会社製 SYSMAC CからMELSEC-Qへの置換え用の変換アダプタを使用します。
※3:既存ユニットをDC24V マイナスコモンでご使用の場合は、QX80への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。
※4:既存ユニットをDC24V マイナスコモンでご使用の場合は、QX81、またはQX81-S2への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB38-Eの使用をご検討ください。
※5:既存ユニットをDC24V マイナスコモンでご使用の場合は、QX82またはQX82-S1への再配線をご検討ください。もしくはERNT-AQTB38-Eを使用してQX81 2台または QX81-S2 2台で置換えをご検討ください。（再配線は必要です）
※6:電流容量が必要な場合は、QY50（0.5A、16点）、またはQY68A（2A、8点）への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。
※7:既存ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40H、またはQX80Hへの再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。
※8:既存ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40H 2台、またはQX80H 2台への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。

〈2スロットタイプ〉 （三菱電機株式会社製Qラージベースユニット（Q□□BL）には使用できません。）

入力／出力	置換前 MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O) ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 2000シリーズI/O	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力／出力点数	掲載ページ
入力	JAMSC-B2505A	QX10×2台	ERNT-1Y2Q505	端子台（38点）	端子台（18点）×2	32点	6-11
出力	JAMSC-B2504	QY22×2台	ERNT-1JQ33S※9				6-11
	JAMSC-B2902	QY10×2台	ERNT-1JQ31N34S※9				6-12
	JAMSC-B2904	QY18A×2台	ERNT-1Y2Q904914			16点	6-12
	JAMSC-B2914						

※9:シャープ株式会社製JWシリーズ（大形タイプ）からMELSEC-Qへの置換え用の変換アダプタを使用します。

☆ユニバーサル変換アダプタの活用（※再配線が必要です。詳細は本誌7-1ページを参照してください。）

下表に示す入力/出力ユニットは未対応となります。但し、ユニバーサル変換アダプタの活用をいただくことで、再配線が必要となりますがご使用いただけます。なお、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

入力／出力ユニット用

入力／出力	MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）ユニット形名 形名	仕様	点数	MELSEC-Qシリーズユニット形名 形名	仕様	点数	必要台数	ユニバーサル変換アダプタの活用
入力	JAMSC-B2503A	AC200V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台	※10
	JAMSC-B2507A	AC200V	32点	QX28	AC100-240V	8点	4台	※10
出力	JAMSC-B2912	AC100/200V DC24V	32点	QY10	AC100-200V DC24V	16点	2台	※10
	JAMSC-B2610	DC48Vシンクタイプ	16点	MELSEC-Qシリーズに該当するユニットがありません。				
	JAMSC-B2624	DC5Vシンクタイプ	64点	QY41H	DC5/12/24Vシンクタイプ	32点	2台	※10
	JAMSC-B2630	DC12/24Vソースタイプ	16点	QY80	DC12/24Vソースタイプ	16点	1台	※10
	JAMSC-B2632	DC12/24Vソースタイプ	32点	QY81P	DC12/24Vソースタイプ	32点	1台	※10

※10:ユニバーサル変換アダプタ（7-7ページ参照）を置換えに活用いただけます。

❷ 変換アダプタ固定台（必須）

MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズリニューアルツールと同じ製品を使用します。
変換アダプタの下部を固定するもので、1ベースユニットあたり1個必要となります。

ご注意

変換アダプタ固定台を盤面に取付けるためのネジ穴加工2ヶ所（M4ネジ）が必要となります。
ベースアダプタを使用される場合、ネジ穴加工は不要です。

変換アダプタ固定台形名	仕　様	掲載ページ
ERNT-AQF12	12スロット分変換アダプタ固定台	6-13
ERNT-AQF8	8スロット分変換アダプタ固定台	
ERNT-AQF5	5スロット分変換アダプタ固定台	
ERNT-AQF3	3スロット分変換アダプタ固定台	

❸ ベースアダプタ

MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズリニューアルツールと同じ製品を使用します。
ベースアダプタを使用することにより、MELSEC-Qシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台をネジ穴加工なしで、同時に設置できます。
なお、同じベースユニット（※1～※5）が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

ご注意

ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工2ヶ所（M5ネジ）、および取付M5ネジ4本（お客様手配）が必要となります。
（尚、置換え前後で取付寸法が4ヶ所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。）

ベースアダプタ形名	取付け可能						製品寸法	掲載ページ
	MELSEC-Qシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ（mm）	
	12スロット	8スロット	5スロット	3スロット	2スロット			
ERNT-AQB38N	Q312B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	480×240	6-17
		Q38B（※1）				ERNT-AQF8		
ERNT-AQB35N		Q38B（※1）				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	382×240	
			Q35B			ERNT-AQF5		
ERNT-AQB32				Q33B		ERNT-AQF3	247×240	
ERNT-AQB68N	Q612B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	466×240	
		Q68B（※2）				ERNT-AQF8		
ERNT-AQB65N		Q68B（※2）				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	352×240	
			Q65B（※3） Q55B（※4）			ERNT-AQF5		
ERNT-AQB62				Q63B	Q52B（※5）	ERNT-AQF3	238×240	
ERNT-AQB58N		Q68B（※2）				ERNT-AQF8	411×240	
ERNT-AQB55N			Q65B（※3） Q55B（※4）			ERNT-AQF5	297×240	
ERNT-AQB52					Q52B（※5）	ERNT-AQF3	183×240	

変換アダプタ

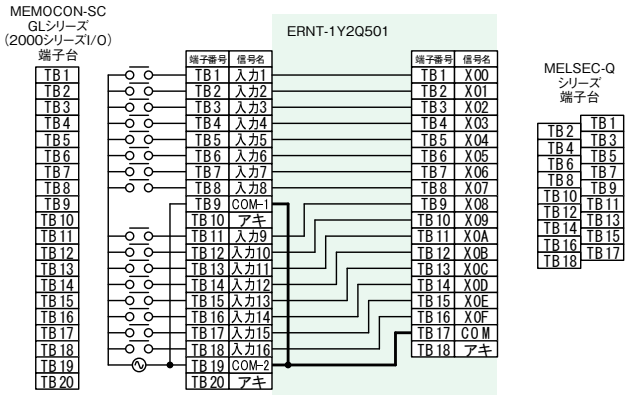
仕　様

入力／出力ユニット用

1スロットタイプ（三菱電機株式会社製 Qラージベースユニット（Q□□BL）にも取付け可能）

(1)ERNT-1Y2Q501　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-1Y2Q501	JAMSC-B2501A	16点	QX10



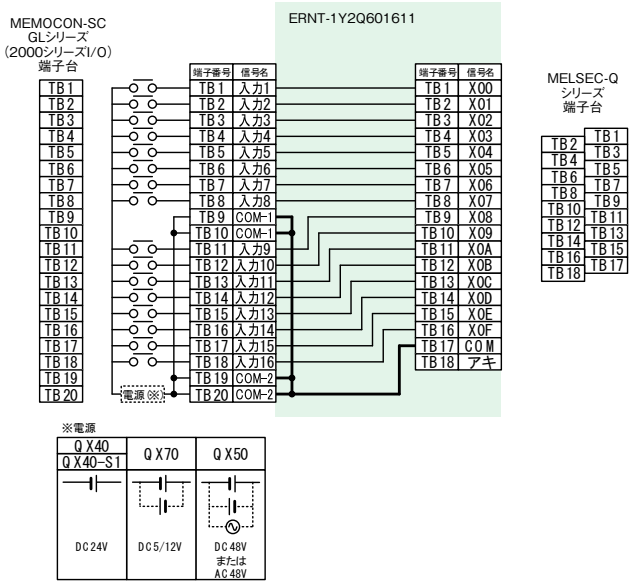
〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)	MELSEC-Qシリーズ
		JAMSC-B2501A	QX10
入力点数		16点	16点
定格入力電圧		AC100-120V 50/60Hz	AC100-120V 50/60Hz
定格入力電流		約10mA(AC100V 60Hz)	約8mA(AC100V 60Hz) 約7mA(AC100V 50Hz)
入力インピーダンス		約10kΩ(60Hz)	約12kΩ(60Hz) 約15kΩ(50Hz)
突入電流		—	最大200mA 1ms(AC132V)
動作電圧/電流	ON	—	AC80V / 5mA
	OFF	—	AC30V / 1.7mA
応答時間	OFF→ON	15ms以下	15ms以下
	ON→OFF	25ms以下	20ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		20点端子台	18点端子台

（注）1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)側の端子番号TB9とTB18を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MEMOCON-SC　GLシリーズ(2000シリーズI/O)とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(2)ERNT-1Y2Q601611　端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-1Y2Q601611	JAMSC-B2601	16点	QX40 QX40-S1 QX70
	JAMSC-B2611	16点	QX50



〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)	MELSEC-Qシリーズ		
		JAMSC-B2601 プラス/マイナスコモン共用タイプ	QX40 プラスコモンタイプ	QX40-S1 プラスコモンタイプ	QX70 プラス/マイナスコモン共用タイプ
入力点数		16点	16点	16点	16点
定格入力電圧		DC12/24V	DC24V	DC24V	DC5/12V
定格入力電流		約10mA(DC24V) 約5mA(DC12V)	約4mA	約6mA	約3.3mA(DC12V) 約1.2mA(DC5V)
入力インピーダンス		約2.4kΩ	約5.6kΩ	約3.9kΩ	約3.3kΩ
突入電流		—	—	—	—
動作電圧/電流	ON	8V	19V / 3mA	19V / 4mA	3.5V / 1mA
	OFF	4V	11V / 1.7mA	11V / 1.7mA	1V / 0.1mA
応答時間	OFF→ON	5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン	16点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		20点端子台	18点端子台	18点端子台	18点端子台

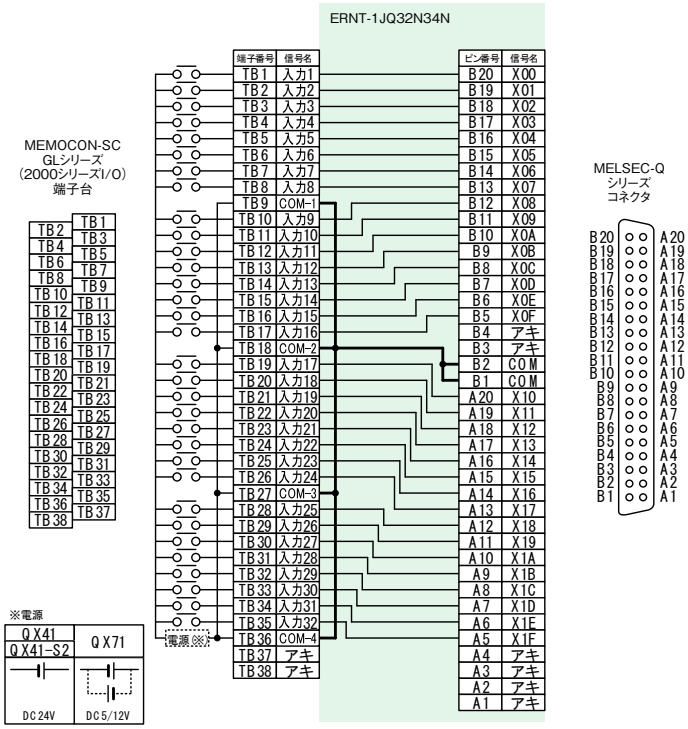
仕様＼形名		MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)	MELSEC-Qシリーズ	
		JAMSC-B2611 プラス/マイナスコモン共用タイプ	QX50 DC:プラス/マイナスコモン共用タイプ	
入力点数		16点	16点	
定格入力電圧		DC48V	DC48V	AC48V
定格入力電流		約9.4mA	約4mA	
入力インピーダンス		約5kΩ	約11.2kΩ	
動作電圧/電流	ON	30V	28V / 2.5mA	
	OFF	20V	10V / 1.0mA	
応答時間	OFF→ON	5ms以下	5ms以下	15ms以下
	ON→OFF	5ms以下	20ms以下	20ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン	
外線接続方式		20点端子台	18点端子台	

（注）1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)側の端子番号TB9、TB10とTB19、TB20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MEMOCON-SC　GLシリーズ(2000シリーズI/O)とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
4.既存ユニットをDC24V　マイナスコモンでご使用の場合は、QX80への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。
5.既存ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40H、またはQX80Hへの再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。

(3) ERNT-1JQ32N34N　端子台(38p)→コネクタ(40p)

変換アダプタ形名	MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-1JQ32N34N※1	JAMSC-B2603	32点	QX41 QX41-S2 QX71
	JAMSC-B2607	32点	QX71

※1:シャープ株式会社製JWシリーズ(大形タイプ)からMELSEC-Qシリーズへの置換え用の変換アダプタを使用します。



〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)	MELSEC-Qシリーズ		
		JAMSC-B2603 プラス/マイナスコモン共用タイプ	QX41 プラスコモンタイプ	QX41-S2 プラスコモンタイプ	QX71 プラス/マイナスコモン共用タイプ
入力点数		32点	32点	32点	32点
定格入力電圧		DC12/24V	DC24V	DC24V	DC5/12V
定格入力電流		約10mA (DC24V) 約5mA (DC12V)	約4mA	約6mA	約3.3mA (DC12V) 約1.2mA (DC5V)
入力インピーダンス		約2.4kΩ	約5.6kΩ	約3.6kΩ	約3.3kΩ
突入電流		—	—	—	—
動作電圧/電流	ON	9V	19V / 3mA	15V / 3mA	3.5V / 1mA
	OFF	6V	11V / 1.7mA	5V / 1.7mA	1V / 0.1mA
応答時間	OFF→ON	7ms以下	1/5/10/20 /70ms以下	1/5/10/20 /70ms以下	1/5/10/20 /70ms以下
	ON→OFF	10ms以下	1/5/10/20 /70ms以下	1/5/10/20 /70ms以下	1/5/10/20 /70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		8点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外線接続方式		38点端子台	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ

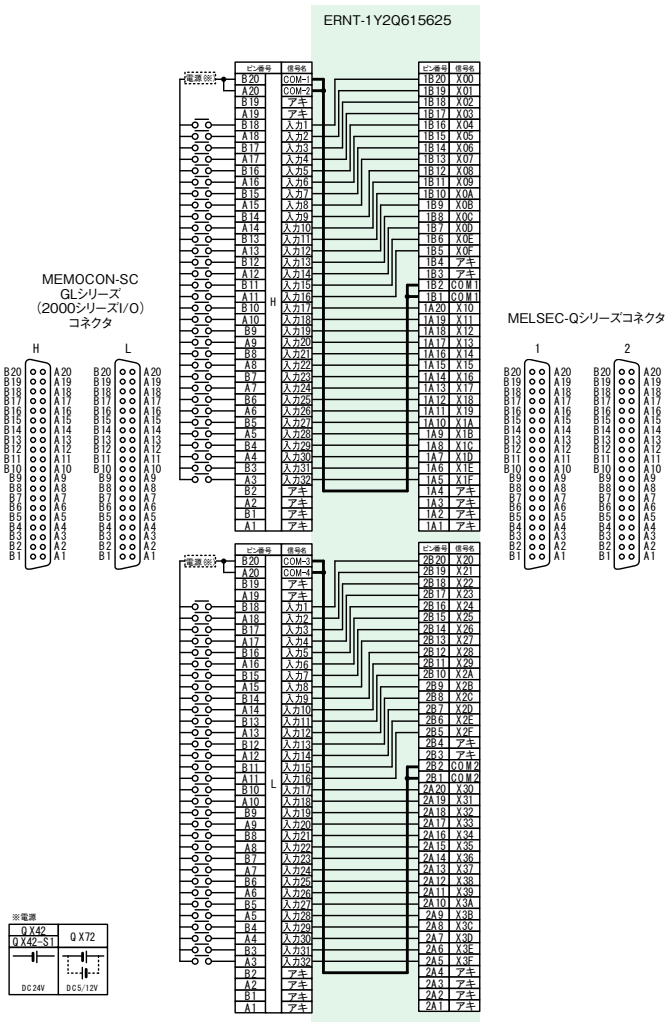
仕様＼形名		MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)	MELSEC-Q シリーズ
		JAMSC-B2607 プラス/マイナスコモン共用タイプ	QX71 プラス/マイナスコモン共用タイプ
入力点数		32点	32点
定格入力電圧		DC5/12V	DC5/12V
定格入力電流		約11mA (DC12V) 約4mA (DC5V)	約3.3mA (DC12V) 約1.2mA (DC5V)
入力インピーダンス		約1.2kΩ	約3.3kΩ
突入電流		—	—
動作電圧/電流	ON	3.5V	3.5V / 1mA
	OFF	1.0V	1V / 0.1mA
応答時間	OFF→ON	0.5ms以下	1/5/10/20 /70ms以下
	ON→OFF	0.5ms以下	1/5/10/20 /70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		8点1コモン	32点1コモン
外線接続方式		38点端子台	40ピンコネクタ

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(4回路)→32点／1コモンとなるため、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)側の端子番号TB9、TB18、TB27、TB36を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
4.既存ユニットをDC24V マイナスコモンでご使用の場合は、QX81、またはQX81-S2への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB38-Eの使用をご検討ください。
5.既存ユニットを8点ごとに別電源でご使用の場合は、QX40H 2台、またはQX80H 2台への再配線をご検討ください。その際、ERNT-AQTB20の使用をご検討ください。

(4) ERNT-1Y2Q615625　コネクタ(40p)×2→コネクタ(40p)×2

変換アダプタ形名	MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-1Y2Q615625	JAMSC-B2615	64点	QX42 QX42-S1 QX72
	JAMSC-B2625	64点	QX72
	JAMSC-B2605	64点	QX42 QX42-S1 QX72

JAMSC-B2615 → QX42/QX42-S1/QX72の場合
JAMSC-B2625 → QX72の場合



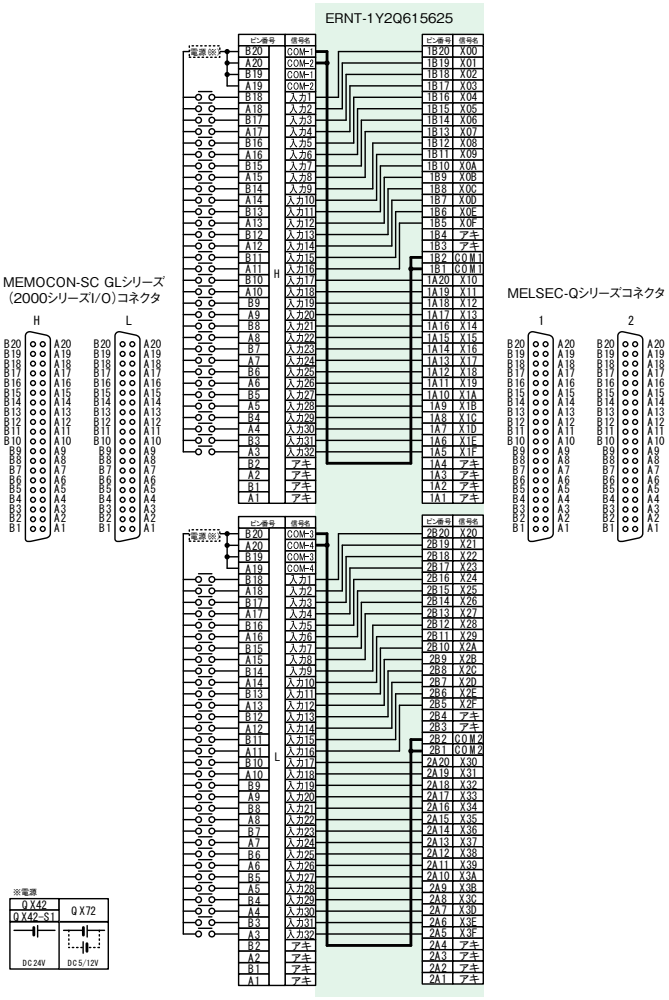
〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)	MELSEC-Qシリーズ		
		JAMSC-B2615 プラス/マイナス コモン共用タイプ	QX42 プラスコモン タイプ	QX42-S1 プラスコモン タイプ	QX72 プラス/マイナス コモン共用タイプ
入力点数		64点	64点	64点	64点
定格入力電圧		DC12/24V	DC24V	DC24V	DC5/12V
定格入力電流		約5mA (DC24V) 約2.5mA (DC12V)	約4mA	約4mA	約3.3mA (DC12V) 約1.2mA (DC5V)
入力インピーダンス		約4.7kΩ	約5.6kΩ	約5.6kΩ	約3.3kΩ
突入電流		—	—	—	—
動作電圧/電流	ON	9V	19V / 3mA	19V / 3mA	3.5V / 1mA
	OFF	6V	11V / 1.7mA	9.5V / 1.5mA	1V / 0.1mA
応答時間	OFF→ON	5ms以下	1/5/10/20 /70ms以下	0.1/0.2/0.4 /0.6/1ms以下	1/5/10/20 /70ms以下
	ON→OFF	10ms以下	1/5/10/20 /70ms以下	0.1/0.2/0.4 /0.6/1ms以下	1/5/10/20 /70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		16点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外線接続方式		40ピン コネクタx2	40ピン コネクタx2	40ピン コネクタx2	40ピン コネクタx2

仕様＼形名		MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)	MELSEC-Q シリーズ
		JAMSC-B2625 プラス/マイナス コモン共用タイプ	QX72 プラス/マイナス コモン共用タイプ
入力点数		64点	64点
定格入力電圧		DC5V	DC5/12V
定格入力電流		約3.2mA (DC5V)	約3.3mA (DC12V) 約1.2mA (DC5V)
入力インピーダンス		約1.5kΩ	約3.3kΩ
突入電流		—	—
動作電圧/電流	ON	3V	3.5V / 1mA
	OFF	2V	1V / 0.1mA
応答時間	OFF→ON	1ms以下	1/5/10/20 /70ms以下
	ON→OFF	1ms以下	1/5/10/20 /70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		16点1コモン	32点1コモン
外線接続方式		40ピン コネクタx2	40ピン コネクタx2

(注)1.1コモンあたりの点数が16点／1コモン(4回路)→32点／1コモン(2回路)となるため、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)側のピン番号HのA20、B20および、LのA20、B20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
4.既存ユニットをDC24V マイナスコモンでご使用の場合は、QX81 2台、またはQX81-S2 2台への再配線をご検討ください。

JAMSC-B2605 → QX42/QX42-S1/QX72の場合



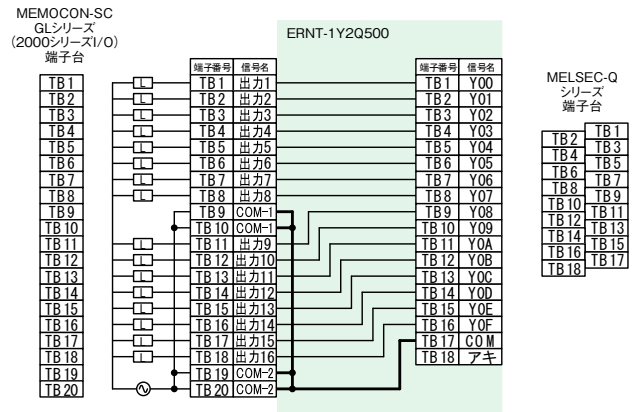
〈仕様比較表〉

形名 / 仕様		MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)	MELSEC-Qシリーズ		
		JAMSC-B2605 プラス/マイナスコモン共用タイプ	QX42 プラスコモンタイプ	QX42-S1 プラスコモンタイプ	QX72 プラス/マイナスコモン共用タイプ
入力点数		64点	64点	64点	64点
定格入力電圧		DC12/24V	DC24V	DC24V	DC5/12V
定格入力電流		約5mA (DC24V) 約2.5mA (DC12V)	約4mA	約4mA	約3.3mA (DC12V) 約1.2mA (DC5V)
入力インピーダンス		約4.7kΩ	約5.6kΩ	約5.6kΩ	約3.3kΩ
突入電流		—	—	—	—
動作電圧/電流	ON	9V	19V / 3mA	19V / 3mA	3.5V / 1mA
	OFF	6V	11V / 1.7mA	9.5V / 1.5mA	1V / 0.1mA
応答時間	OFF→ON	5ms以下	1/5/10/20 /70ms以下	0.1/0.2/0.4 /0.6/1ms以下	1/5/10/20 /70ms以下
	ON→OFF	10ms以下	1/5/10/20 /70ms以下	0.1/0.2/0.4 /0.6/1ms以下	1/5/10/20 /70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		16点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外線接続方式		40ピン コネクタx2	40ピン コネクタx2	40ピン コネクタ×2	40ピン コネクタ×2

(注)1.1コモンあたりの点数が16点／1コモン(4回路)→32点／1コモン(2回路)となるため、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)側のピン番号HのA20、B20、A19、B19およびLのA20、B20、A19、B19を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
4. 既存ユニットをDC24V マイナスコモンでご使用の場合は、QX81 2台、またはQX81-S2 2台への再配線をご検討ください。

(5) ERNT-1Y2Q500 端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-1Y2Q500	JAMSC-B2500	16点	QY22



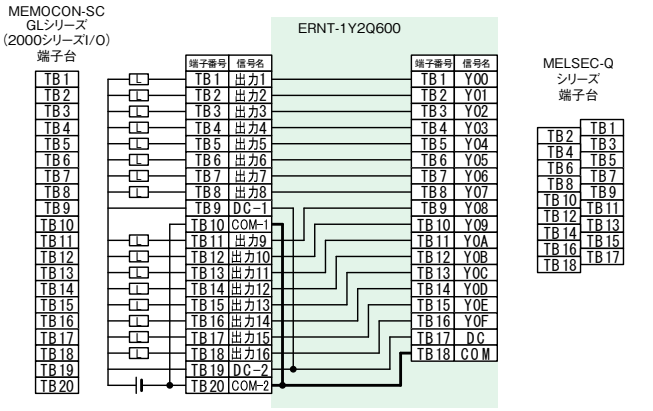
〈仕様比較表〉

形名 / 仕様	MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)	MELSEC-Qシリーズ
	JAMSC-B2500 トライアック出力	QY22 トライアック出力
出力点数	16点	16点
定格負荷電圧	AC80-240V 50/60Hz	AC100-240V 50/60Hz
最大負荷電流	1A/点 3A/1コモン	0.6A/1点 4.8A/1コモン
最小負荷電流	10mA	25mA
最大突入電流	20A 10ms以下	20A 1サイクル以下
OFF時漏洩電流	1.5mA以下(AC100V 50Hz) 3mA以下(AC240V 50Hz)	1.5mA以下(AC120V 60Hz) 3mA以下(AC240V 60Hz)
ON時電圧降下	1.5V以下(1A)	1.5V以下
応答時間 OFF→ON	1ms以下	電源半サイクル+1ms以下
応答時間 ON→OFF	電源半サイクル+1ms以下	電源半サイクル+1ms以下
サージキラー	CRアブソーバ/バリスタ	CRアブソーバ
ヒューズ	7.5A(交換不可)	なし
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式	8点1コモン	16点1コモン
外線接続方式	20点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)側の端子番号TB9、TB10とTB19、TB20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(6) ERNT-1Y2Q600 端子台(20p)→端子台(18p)

変換アダプタ形名	MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-1Y2Q600	JAMSC-B2600	16点	QY40P QY50



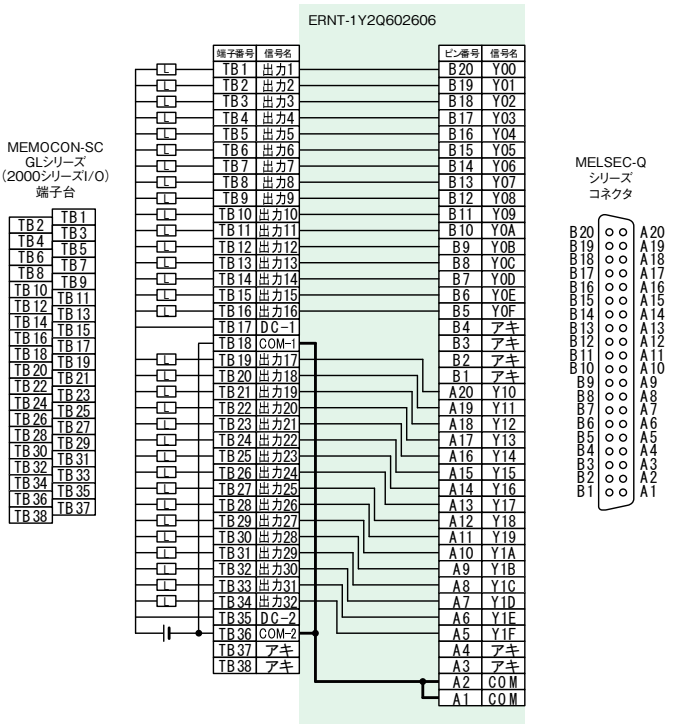
〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)	MELSEC-Qシリーズ	
		JAMSC-B2600 シンクタイプ	QY40P シンクタイプ	QY50 シンクタイプ
出力点数		16点	16点	16点
定格負荷電圧		DC12/24V	DC12/24V	DC12/24V
最大負荷電流		2A/1点 5A/1コモン	0.1A/1点 1.6A/1コモン	0.5A/1点 4A/1コモン
最大突入電流		7A, 10ms	0.7A, 10ms	4A, 10ms
OFF時漏洩電流		0.2mA以下	0.1mA以下	0.1mA以下
ON時電圧降下		DC1.5V(MAX.)2A	DC0.2V(MAX.)0.1A	DC0.3V(MAX.)0.5A
応答時間	OFF→ON	1ms以下	1ms以下	1ms以下
	ON→OFF	1ms以下(抵抗負荷)	1ms以下(抵抗負荷)	1ms以下(抵抗負荷)
サージキラー		バリスタ	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		7.5A(交換不可)	なし	6.7A(交換不可)
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		8点1コモン	16点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		20点端子台	18点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(2回路)→16点／1コモンとなるため、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)側の端子番号TB9、TB19および、TB10、TB20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(7) ERNT-1Y2Q602606 端子台(38p)→コネクタ(40p)

変換アダプタ形名	MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-1Y2Q602606	JAMSC-B2602A JAMSC-B2606	32点	QY41H



〈仕様比較表〉

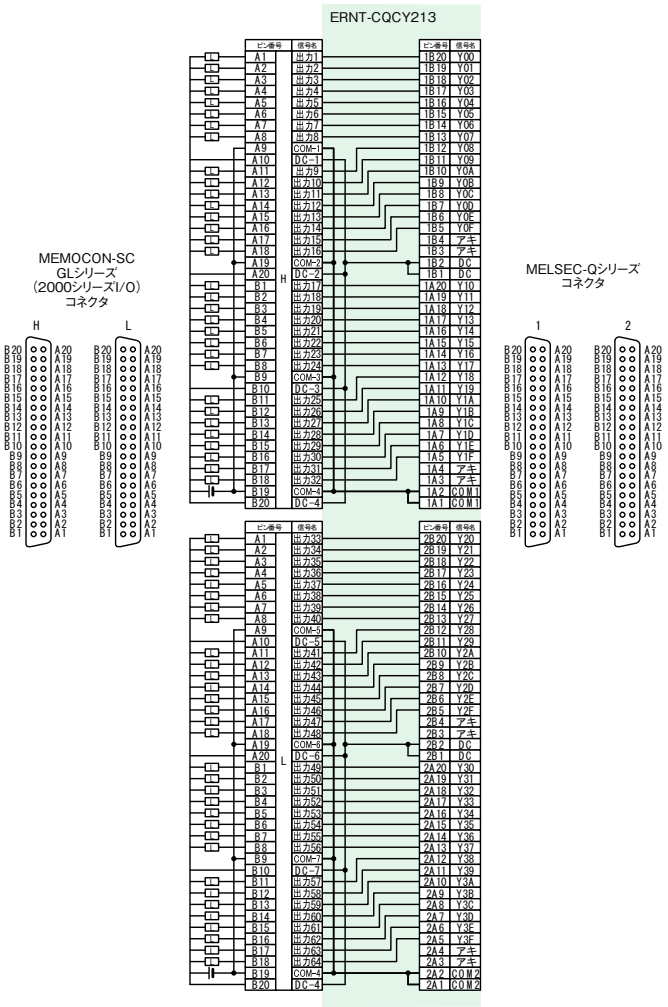
仕様＼形名		MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)		MELSEC-Qシリーズ
		JAMSC-B2602A シンクタイプ	JAMSC-B2606 シンクタイプ	QY41H シンクタイプ
出力点数		32点	32点	32点
定格負荷電圧		DC12/24V	DC5/12V	DC5/12/24V
最大負荷電流		0.3A/1点 0.6A/隣接4点	20mA/1点 640mA/モジュール	0.2A/1点 2A/1コモン
最小負荷電流		—	—	—
最大突入電流		1A 10ms以下	300mA 10ms以下	0.7A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.2mA以下	0.2mA以下	0.1mA以下
ON時電圧降下		DC1.5V(MAX.)0.3A	DC0.3V(MAX.)20mA	DC0.2V(MAX.)0.1A
応答時間	OFF→ON	1ms以下	1ms以下	2μs以下
	ON→OFF	1ms以下(抵抗負荷)	1ms以下(抵抗負荷)	2μs以下(抵抗負荷)
サージキラー		なし	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		4A(交換不可)	なし	なし
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		16点1コモン	16点1コモン	32点1コモン
外線接続方式		38点端子台	38点端子台	40ピンコネクタ

(注)1.1コモンあたりの点数が16点／1コモン(2回路)→32点／1コモンとなるため、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)側の端子番号TB17、TB35および、TB18、TB36を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。
4.電流容量が必要な場合は、QY50(0.5A、16点)、またはQY68A(2A、8点)への再配線をご検討ください。その際、ERNT-ASQTB20の使用をご検討ください。

(8) ERNT-CQCY213 コネクタ(40p)×2→コネクタ(40p)×2

変換アダプタ形名	MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-CQCY213※1	JAMSC-B2604	64点	QY42P

※1: オムロン株式会社製SYSMAC CからMELSEC-Qシリーズへの置換えアダプタを使用します。



〈仕様比較表〉

形名 / 仕様	MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O) JAMSC-B2604 シンクタイプ	MELSEC-Qシリーズ QY42P シンクタイプ
出力点数	64点	64点
定格負荷電圧	DC12/24V	DC12/24V
最大負荷電流	0.1A/1点 0.4A/1コモン	0.1A/1点 2A/1コモン
最大突入電流	0.5A 10ms以下	0.7A 10ms以下
OFF時漏洩電流	0.2mA以下	0.1mA以下
応答時間 OFF→ON	1ms以下	1ms以下
応答時間 ON→OFF	1ms以下(抵抗負荷)	1ms以下(抵抗負荷)
サージキラー	無	ツェナーダイオード
ヒューズ	無	無
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式	8点1コモン	32点1コモン
外線接続方式	40ピンコネクタx2	40ピンコネクタx2

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(8回路)→32点／1コモン(2回路)となるため、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)側のピン番号HのA9、A10、A19、A20、B9、B10、B19、B20、LのA9、A10、A19、A20、B9、B10、B19、B20を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。

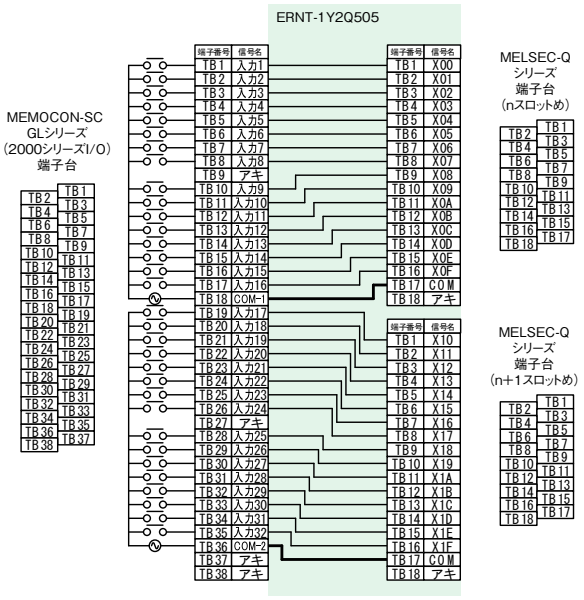
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

3.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

2スロットタイプ (三菱電機株式会社製 Qラージベースユニット(Q□□BL)には使用できません。)

(1) ERNT-1Y2Q505 端子台(38p)→端子台(18p)×2

変換アダプタ形名	MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-1Y2Q505	JAMSC-B2505A	32点	QX10	2台



〈仕様比較表〉

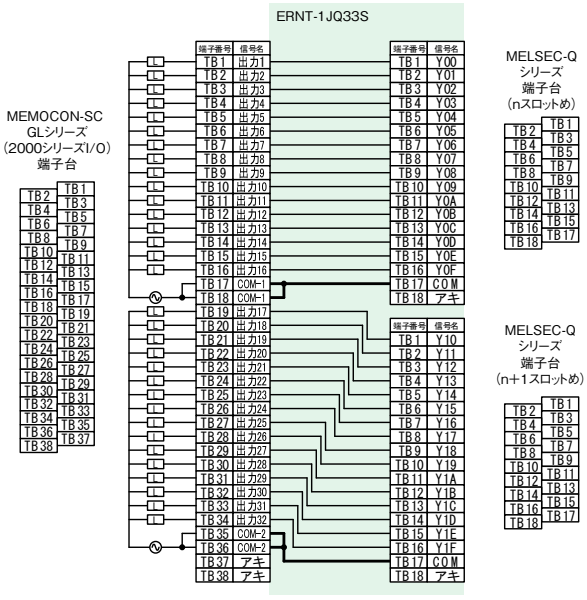
形名 / 仕様		MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O) JAMSC-B2505A	MELSEC-Qシリーズ QX10
入力点数		32点	16点
定格入力電圧		AC100-120V 50/60Hz	AC100-120V 50/60Hz
定格入力電流		約10mA(AC100V 60Hz)	約8mA(AC100V 60Hz) 約7mA(AC100V 50Hz)
入力インピーダンス		約10kΩ(60Hz)	約12kΩ(60Hz) 約15kΩ(50Hz)
突入電流		—	最大200mA 1ms(AC132V)
動作電圧/電流	ON	—	AC80V / 5mA
	OFF	—	AC30V / 1.7mA
応答時間	OFF→ON	15ms以下	15ms以下
	ON→OFF	25ms以下	20ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		16点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		38点端子台	18点端子台

(注)1. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
2. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(2) ERNT-1JQ33S 端子台(38p)→端子台(18p)×2

変換アダプタ形名	MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-1JQ33S※1	JAMSC-B2504	32点	QY22	2台

※1: シャープ株式会社製JWシリーズ(大形タイプ)からMELSEC-Qシリーズへの置換え用の変換アダプタを使用します。



〈仕様比較表〉

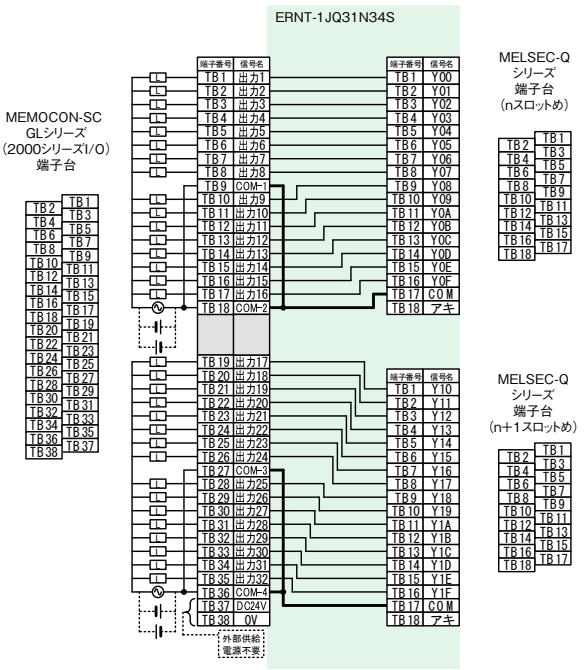
形名 / 仕様		MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O) JAMSC-B2504 トライアック出力	MELSEC-Qシリーズ QY22 トライアック出力
出力点数		32点	16点
定格負荷電圧		AC80-240V 50/60Hz	AC100-240V 50/60Hz
最大負荷電流		0.3A/点 1.2A/8回路	0.6A/点 4.8A/1コモン
最小負荷電流		10mA	25mA
最大突入電流		20A 10ms以下	20A 1サイクル以下
OFF時漏洩電流		1.5mA以下(AC100V 60Hz) 3mA以下(AC240V 60Hz)	1.5mA以下(AC120V 60Hz) 3mA以下(AC240V 60Hz)
ON時電圧降下		1.5V以下(1A)	1.5V以下
応答時間	OFF→ON	1ms以下	電源半サイクル+1ms以下
	ON→OFF	電源半サイクル+1ms以下	電源半サイクル+1ms以下
サージキラー		CRアブソーバ	CRアブソーバ
ヒューズ		4A(交換不可)	なし
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		16点1コモン	16点1コモン
外線接続方式		38点端子台	18点端子台

(注)1. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
2. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(3) ERNT-1JQ31N34S　端子台(38p)→端子台(18p)×2

変換アダプタ形名	MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-1JQ31N34S※1	JAMSC-B2902	32点	QY10	2台

※1: シャープ株式会社製JWシリーズ(大形タイプ)からMELSEC-Qシリーズへの置換え用の変換アダプタを使用します。



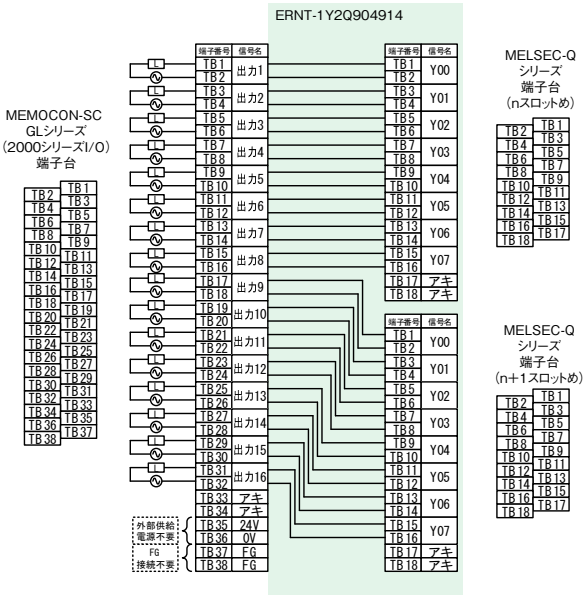
〈仕様比較表〉

形名 / 仕様	MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O) JAMSC-B2902	MELSEC-Qシリーズ QY10
出力点数	32点	16点
定格負荷電圧	DC24V / AC110V / AC220V	DC24V / AC240V
最大負荷電流	1.2A(AC110V) 1A(AC220V) 1A(DC24V)	2A/1点 8A/1コモン
最小負荷電流	10mA(DC5V)	1mA(DC5V)
最大突入電流	—	—
OFF時漏洩電流	—	—
ON時電圧降下	—	—
応答時間 OFF→ON	10ms以下	10ms以下
応答時間 ON→OFF	15ms以下	12ms以下
サージキラー	なし	なし
ヒューズ	なし	なし
絶縁方式	リレー絶縁	リレー絶縁
コモン方式	8点1コモン	16点1コモン
外線接続方式	38点端子台	18点端子台

(注)1.1コモンあたりの点数が8点／1コモン(4回路)→16点／1コモン(2回路)となるため、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)側の端子番号TB9、TB18および、TB27とTB36を分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。
2.MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)側の端子番号TB37、TB38に接続されていた外部供給電源は不要となります。ただし、変換アダプタ内部では未配線状態のため、接続したままの状態でも問題ありません。
2. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
3.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

(4) ERNT-1Y2Q904914　端子台(38p)→端子台(18p)×2

変換アダプタ形名	MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O)ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	必要台数
ERNT-1Y2Q904914	JAMSC-B2904 JAMSC-B2914	16点	QY18A	2台



〈仕様比較表〉

形名 / 仕様	MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O) JAMSC-B2904	MEMOCON-SC GLシリーズ (2000シリーズI/O) JAMSC-B2914	MELSEC-Qシリーズ QY18A
出力点数	16点	16点	8点
定格開閉電圧・電流	DC110V 0.3A AC220V 0.5A	DC110V 0.3A AC220V 0.5A	DC24V 2A(抵抗負荷)/1点 AC240V 2A(COSφ=1) /1点 8A/1ユニット
最小開閉負荷	DC5V 1mA	DC24V 10mA	DC5V 1mA
最大開閉負荷	DC110V 0.5A AC220V 15A	DC110V 0.5A AC220V 15A	DC125V AC264V
応答時間 OFF→ON	6ms以下	6ms以下	10ms以下
応答時間 ON→OFF	4ms以下	4ms以下	12ms以下
サージキラー	なし	なし	なし
ヒューズ	なし	なし	なし
絶縁方式	リレー絶縁	リレー絶縁	リレー絶縁
コモン方式	独立コモン	独立コモン	独立コモン
外線接続方式	38点端子台	38点端子台	18点端子台

(注)1.MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)側の端子番号TB35、TB36に接続されていた外部供給電源は不要となります。ただし、変換アダプタ内部では未配線状態のため、接続したままの状態でも問題ありません。
2.MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)側の端子番号TB37、TB38に接続されていたFG端子は不要となります。ただし、変換アダプタ内部では未配線状態のため、接続したままの状態でも問題ありません。
3. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

変換アダプタ固定台（必須）

仕　様

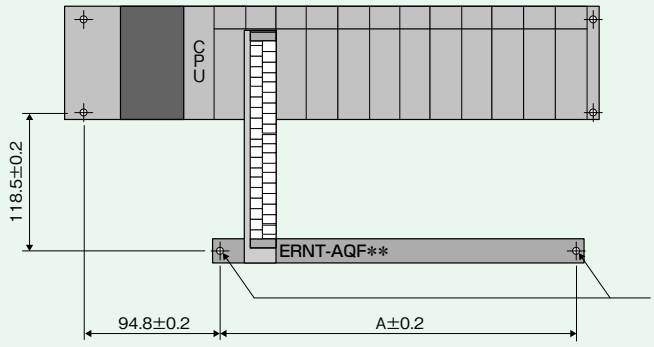
変換アダプタの下部を固定するもので、変換アダプタ使用時に必要となります。また、1ベースユニットあたり1個必要となります。
MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールと同じ製品を使用します。

変換アダプタ固定台形名	仕　様
ERNT-AQF12	MELSEC-Qシリーズユニット12スロット分の変換アダプタ固定台
ERNT-AQF8	MELSEC-Qシリーズユニット8スロット分の変換アダプタ固定台
ERNT-AQF5	MELSEC-Qシリーズユニット5スロット分の変換アダプタ固定台
ERNT-AQF3	MELSEC-Qシリーズユニット3スロット分の変換アダプタ固定台

基本ベースユニットを使用する場合

◎Q312B、Q38B、Q35B、Q33Bの場合

単位:mm



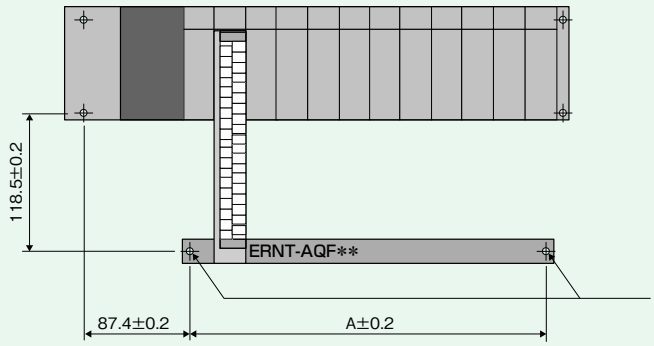
変換アダプタ固定台	A(mm)
ERNT-AQF12	321.2
ERNT-AQF8	210
ERNT-AQF5	126.6
ERNT-AQF3	71

この位置にネジ穴加工（M4×2ヶ所）を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

増設ベースユニットを使用する場合

◎Q612B、Q68B、Q65B、Q63Bの場合

単位:mm

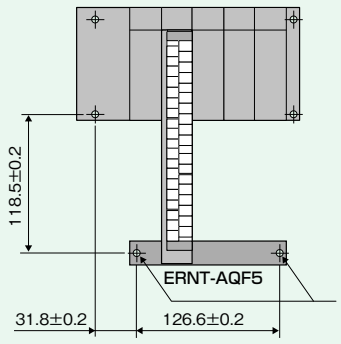


変換アダプタ固定台	A(mm)
ERNT-AQF12	321.2
ERNT-AQF8	210
ERNT-AQF5	126.6
ERNT-AQF3	71

この位置にネジ穴加工（M4×2ヶ所）を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

◎Q55Bの場合

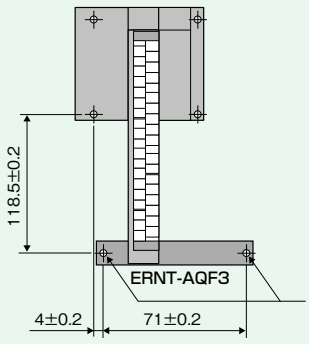
単位:mm



この位置にネジ穴加工（M4×2ヶ所）を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

◎Q52Bの場合

単位:mm



この位置にネジ穴加工（M4×2ヶ所）を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

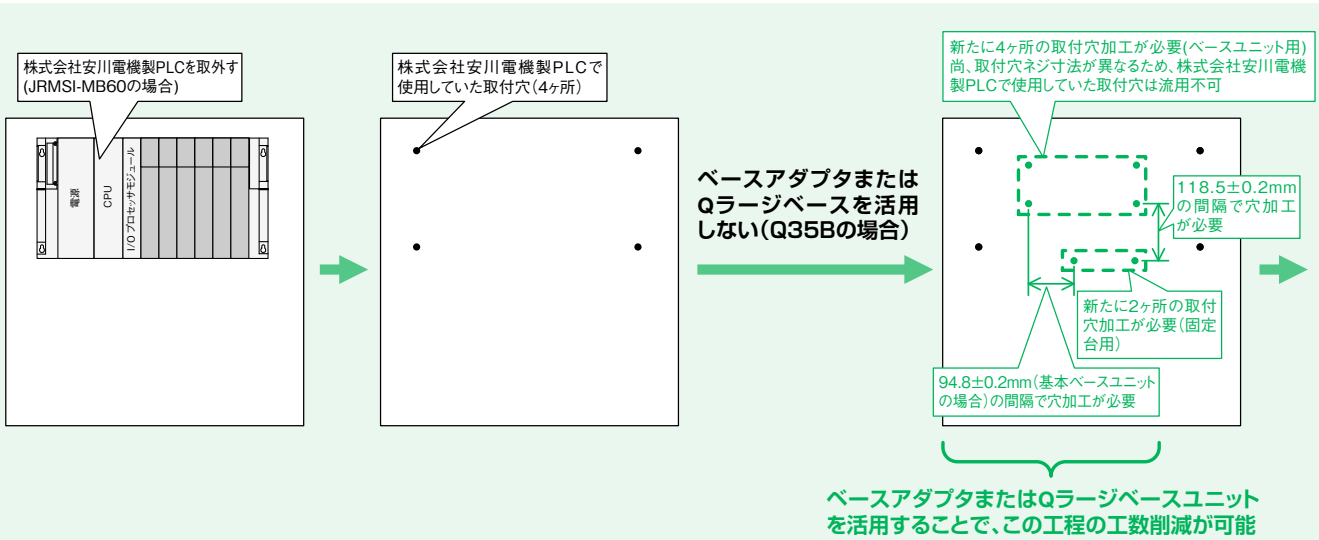
Memo

ベースアダプタまたはQラージベースユニット(三菱電機株式会社製)を活用したリニューアル

ベースアダプタまたはQラージベースユニットを活用することで、「取付穴加工工数の削減」および「固定台の取付寸法位置出しが不要」となります。

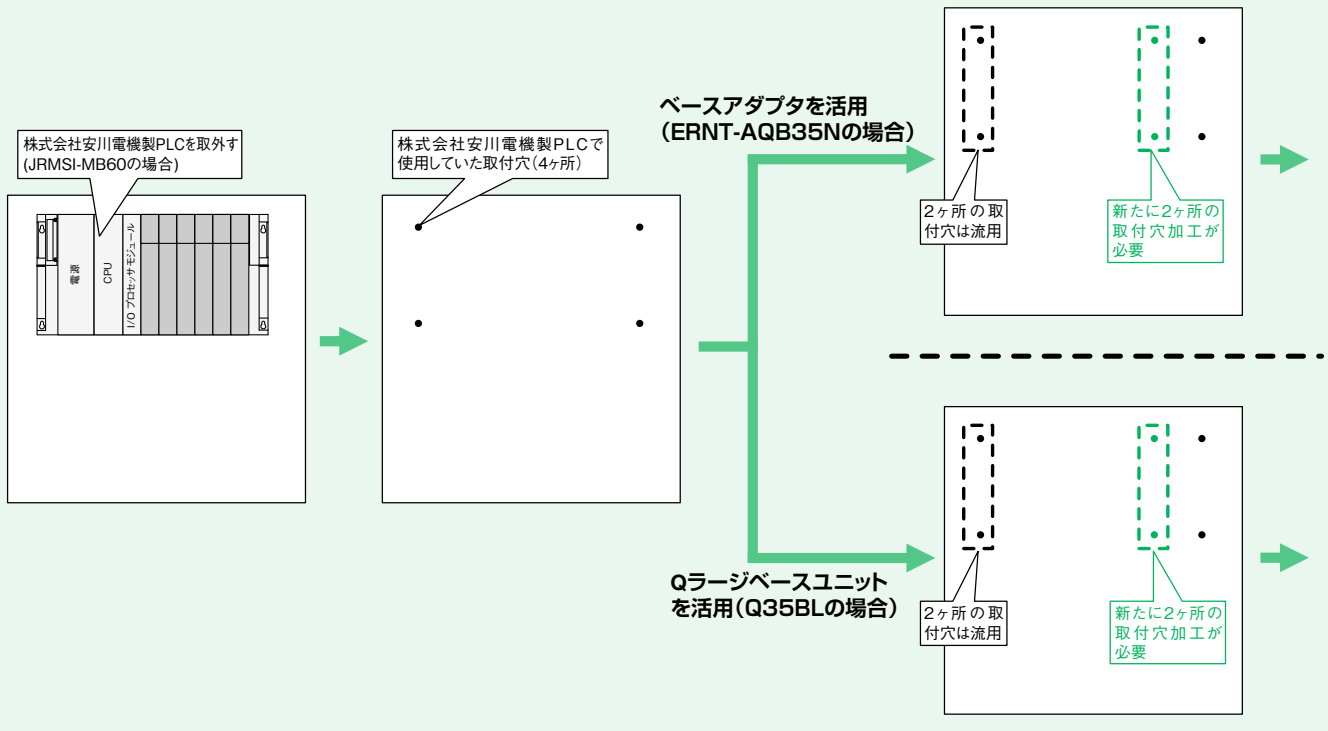
ベースアダプタまたはQラージベースユニットを活用しない場合

新たな6ヶ所または7ヶ所の穴加工だけでなく、Qベースユニットと固定台間の寸法出しが必要となります。

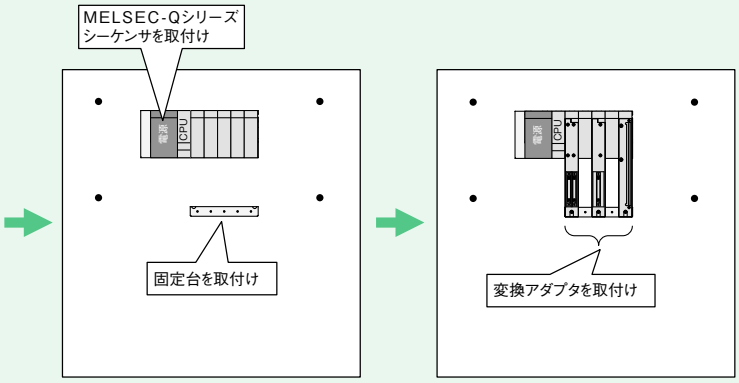


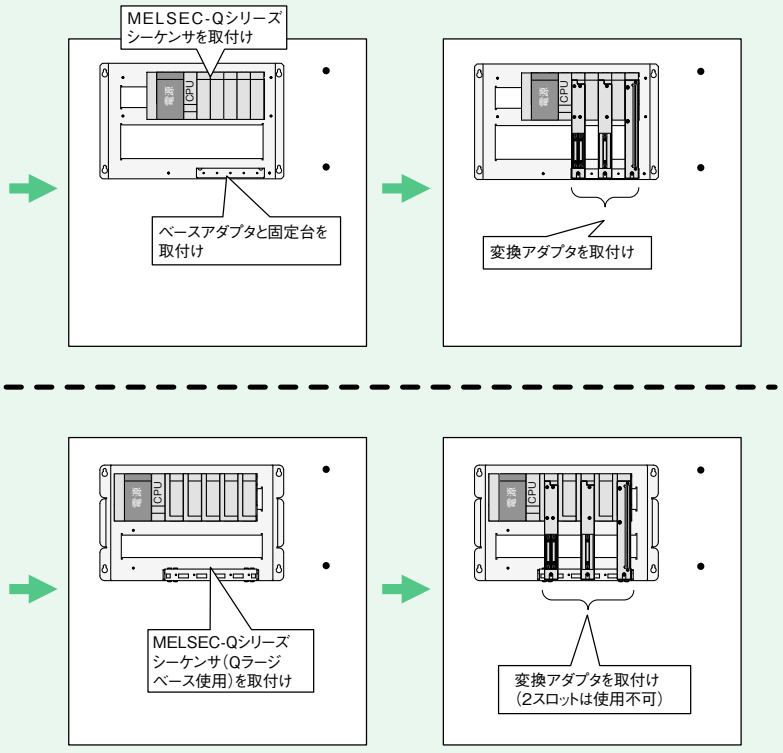
ベースアダプタまたはQラージベースユニット (MELSEC-Aシリーズ 大形 ⇒MELSEC-Qシリーズ用)を活用する場合

ベースアダプタまたはQラージベースユニットは、取付穴の縦寸法がGLシリーズベースユニットと同一のため、穴加工は2ヶ所以下となります。
(尚、置換え前後で取付寸法が4ヶ所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要の場合もあります)
左側の取付穴2ヶ所を流用すると、下図のようになります。



詳細は、「取付寸法」(6-18ページ)、「置換え時の外形寸法および取付穴寸法比較」(6-19ページ)および「スロット位置」(6-21ページ)を参照ください。


MELSEC-Qシリーズ
シーケンサを取付け
電源
CPU
固定台を取付け
電源
CPU
変換アダプタを取付け

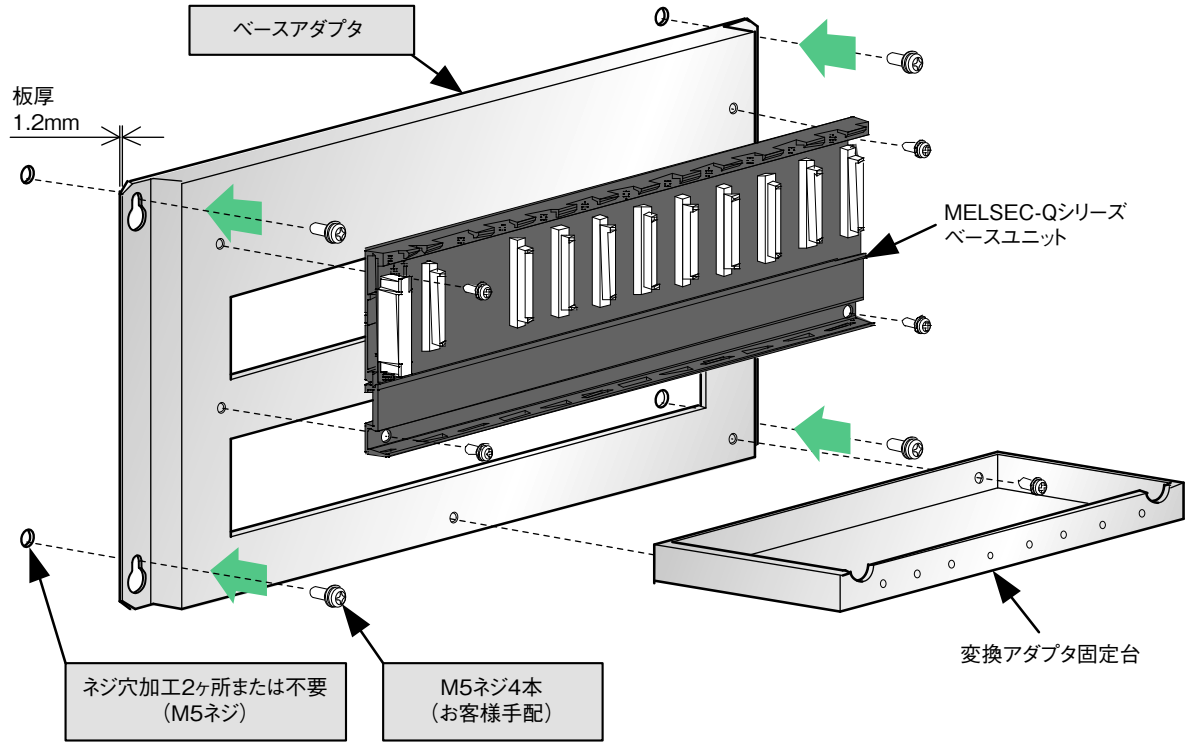

MELSEC-Qシリーズ
シーケンサを取付け
電源
CPU
ベースアダプタと固定台を
取付け
電源
CPU
変換アダプタを取付け
電源
CPU
MELSEC-Qシリーズ
シーケンサ(Qラージ
ベース使用)を取付け
電源
CPU
変換アダプタを取付け
(2スロットは使用不可)

ベースアダプタ

仕　様

ベースアダプタを使用することにより、MELSEC-Qシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台を、ネジ穴加工なしで同時に設置できます。
MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールと同じ製品を使用します。

ご注意
●ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工2ヶ所（M5ネジ）および取付M5ネジ4本（お客様手配）が必要となります。
（尚、置換え前後で取付寸法が4ヶ所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。）



同じベースユニット（*1～*5）が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

ベースアダプタ形名	取付け可能						製品寸法
	MELSEC-Qシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ（mm）
	12スロット	8スロット	5スロット	3スロット	2スロット		
ERNT-AQB38N	Q312B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	480×240
		Q38B（*1）				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB35N		Q38B（*1）				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	382×240
			Q35B			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB32				Q33B		ERNT-AQF3	247×240
ERNT-AQB68N	Q612B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	466×240
		Q68B（*2）				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB65N		Q68B（*2）				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	352×240
			Q65B（*3） Q55B（*4）			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB62				Q63B	Q52B（*5）	ERNT-AQF3	238×240
ERNT-AQB58N		Q68B（*2）				ERNT-AQF8	411×240
ERNT-AQB55N			Q65B（*3） Q55B（*4）			ERNT-AQF5	297×240
ERNT-AQB52					Q52B（*5）	ERNT-AQF3	183×240

取付寸法

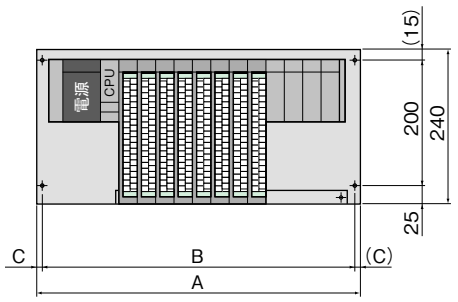
●MEMOCON-SC　GLシリーズ(2000シリーズI/O)からMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

●MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)より縦寸法が小さくなります。
(但し、ユニット幅寸法および奥行き寸法については、「ご使用上の注意点」(6-28ページ)を参照。)

●ベースアダプタおよびQラージベースユニットの取付穴(4ヶ所)のうち2ヶ所は、MEMOCON-SC　GLシリーズ(2000シリーズI/O)ベースユニットと同一取付寸法ですので、制御盤への追加ネジ穴加工は残り2ヶ所のみです。
(尚、置換え前後で取付寸法が4ケ所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要となる場合もあります。)

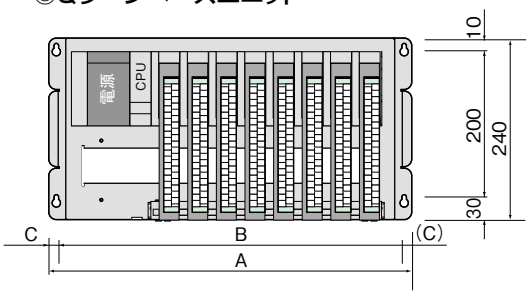
単位:mm

◎ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット



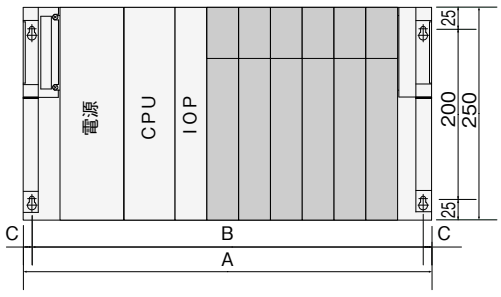
ベースアダプタ形名	内 容	A	B	C	取付穴ネジサイズ
ERNT-AQB38N	基本ベースユニット	480	460	10	M5
ERNT-AQB35N		382	362	10	
ERNT-AQB32		247	227	10	
ERNT-AQB68N	増設ベースユニット(電源あり)	466	446	10	
ERNT-AQB65N		352	332	10	
ERNT-AQB62		238	218	10	
ERNT-AQB55N	増設ベースユニット(電源なし)	297	277	10	
ERNT-AQB52		183	163	10	

◎Qラージベースユニット



Qラージベースユニット形名	内 容	A	B	C	取付穴ネジサイズ
Q38BL	基本ベースユニット	480	460	10	M5
Q35BL		382	362	10	
Q68BL	増設ベースユニット(電源あり)	466	446	10	
Q65BL		352	332	10	
Q55BL	増設ベースユニット(電源なし)	297	277	10	

◎(参考)MEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)ベースユニット



GLシリーズ ベースユニット形名	内 容	A	B	C	取付穴ネジサイズ
JRMSI-MB40	基本ベースユニット	480	460	10	M5
JRMSI-MB60		480	460	10	
JRMSI-MB60S3		370	350	10	
JRMSI-MB70	基本ベースユニット(リモート局用)	480	460	10	
JRMSI-MB70AS4		340	320	10	
JRMSI-MB70AS2		255	235	10	
JRMSI-MB22／JRMSI-MB22A	増設ベースユニット	480	460	10	
JRMSI-MB22AS6		370	350	10	
JRMSI-MB22S5		340	320	10	
JRMSI-MB22S3		255	235	10	

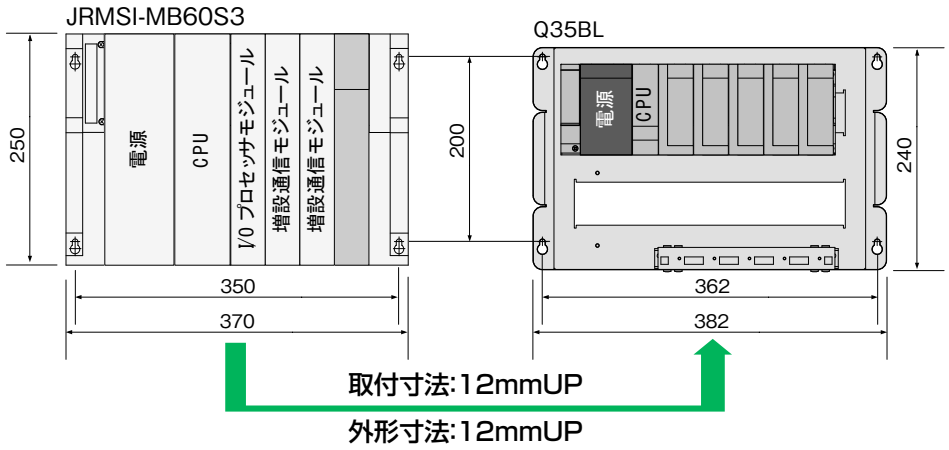
置換え時の外形寸法および取付穴寸法比較

下記の表により、置換え前後の外形寸法および取付穴寸法が確認できます。

ご注意

- ●"▲"の箇所は置換えた際に下記（例）の様に寸法が大きくなり、取付位置を再検討する必要があるためご注意ください。
- ●装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。
- ●記載がないMEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）形式については、お客様にてスロット数・外形寸法・取付寸法等をご確認いただき、最適なベースアダプタまたはQラージベースユニットをご選定ください。

（例）MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）（JRMSI-MB60S3）からMELSEC-Qシリーズラージベースユニット（Q35BL）に置換えた場合



基本ベースユニットを使用する場合

① MELSEC-Qシリーズベースユニットまたは MELSEC-Qシリーズベースユニット＋ベースアダプタに置換える場合

◎:同一、○:GLシリーズの方が大きい、▲:GLシリーズの方が小さい

GLシリーズベースユニット			MELSEC-Qシリーズベースユニット							ベースアダプタ					取付変換アダプタ固定台	備　考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-GLシリーズ）				形名	寸法比較 ※2（ベースアダプタ-GLシリーズ）					
						外形寸法		取付寸法			外形寸法		取付寸法			
						横	縦	横	縦		横	縦	横	縦		
JRMSI-MB40	あり	8	Q312B	あり	12	○ (-41)	○ (-152)	○ (-41)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF12	・ベースアダプタを使用した場合は、盤面の取付穴加工不要
			Q38B	あり	8	○ (-152)	○ (-152)	○ (-152)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF8	
			Q35B	あり	5	○ (-235)	○ (-152)	○ (-235.6)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	○ (-98)	○ (-10)	○ (-98)	◎	ERNT-AQF5	・ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要
			Q33B	あり	3	○ (-291)	○ (-152)	○ (-291)	○ (-120)	ERNT-AQB32	○ (-233)	○ (-10)	○ (-233)	◎	ERNT-AQF3	
JRMSI-MB60	あり	6	Q312B	あり	12	○ (-41)	○ (-152)	○ (-41)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF12	・ベースアダプタを使用した場合は、盤面の取付穴加工不要
			Q38B	あり	8	○ (-152)	○ (-152)	○ (-152)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF8	
			Q35B	あり	5	○ (-235)	○ (-152)	○ (-235.6)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	○ (-98)	○ (-10)	○ (-98)	◎	ERNT-AQF5	・ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要
			Q33B	あり	3	○ (-291)	○ (-152)	○ (-291)	○ (-120)	ERNT-AQB32	○ (-233)	○ (-10)	○ (-233)	◎	ERNT-AQF3	
JRMSI-MB60S3	あり	1	Q33B	あり	3	○ (-181)	○ (-152)	○ (-181)	○ (-120)	ERNT-AQB32	○ (-123)	○ (-10)	○ (-123)	◎	ERNT-AQF3	
JRMSI-MB70	あり	8	Q312B	あり	12	○ (-41)	○ (-152)	○ (-41)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF12	・ベースアダプタを使用した場合は、盤面の取付穴加工不要
			Q38B	あり	8	○ (-152)	○ (-152)	○ (-152)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	◎	○ (-10)	◎	◎	ERNT-AQF8	
			Q35B	あり	5	○ (-235)	○ (-152)	○ (-235.6)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	○ (-98)	○ (-10)	○ (-98)	◎	ERNT-AQF5	・ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要
			Q33B	あり	3	○ (-291)	○ (-152)	○ (-291)	○ (-120)	ERNT-AQB32	○ (-233)	○ (-10)	○ (-233)	◎	ERNT-AQF3	
JRMSI-MB70AS4	あり	4	Q312B	あり	12	▲ (99)	○ (-152)	▲ (99)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	▲ (140)	○ (-10)	▲ (140)	◎	ERNT-AQF12	・ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要
			Q38B	あり	8	○ (-12)	○ (-152)	○ (-12)	○ (-120)	ERNT-AQB38N	▲ (140)	○ (-10)	▲ (140)	◎	ERNT-AQF8	
			Q35B	あり	5	○ (-95)	○ (-152)	○ (-95.6)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎	ERNT-AQF5	
			Q33B	あり	3	○ (-151)	○ (-152)	○ (-151)	○ (-120)	ERNT-AQB32	○ (-93)	○ (-10)	○ (-93)	◎	ERNT-AQF3	
JRMSI-MB70AS2	あり	2	Q35B	あり	5	○ (-10)	○ (-152)	○ (-10.6)	○ (-120)	ERNT-AQB35N	▲ (127)	○ (-10)	▲ (127)	◎	ERNT-AQF3	
			Q33B	あり	3	○ (-66)	○ (-152)	○ (-66)	○ (-120)	ERNT-AQB32	○ (-8)	○ (-10)	○ (-8)	◎	ERNT-AQF3	

※1:（　）値はMELSEC-QシリーズベースユニットとGLシリーズの寸法差［単位:mm］
※2:（　）値はベースアダプタとGLシリーズの寸法差［単位:mm］

②MELSEC-Qシリーズラージベースユニットに置換える場合

◎:同一、○:GLシリーズの方が大きい、▲:GLシリーズの方が小さい

GLシリーズベースユニット			MELSEC-Qシリーズラージベースユニット							備　考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-GLシリーズ）				
						外形寸法		取付寸法		
						横	縦	横	縦	
JRMSI-MB40	あり	8	Q38BL	あり	8	◎	○ (-10)	◎	◎	·盤面の取付穴加工不要
			Q35BL	あり	5	○ (-98)	○ (-10)	○ (-98)	◎	·縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要
JRMSI-MB60	あり	6	Q38BL	あり	8	◎	○ (-10)	◎	◎	·盤面の取付穴加工不要
			Q35BL	あり	5	○ (-98)	○ (-10)	○ (-98)	◎	·縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要
JRMSI-MB60S3	あり	1	Q35BL	あり	5	▲ (12)	○ (-10)	▲ (12)	◎	
JRMSI-MB70	あり	8	Q38BL	あり	8	◎	○ (-10)	◎	◎	·盤面の取付穴加工不要
			Q35BL	あり	5	○ (-98)	○ (-10)	○ (-98)	◎	·縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要
JRMSI-MB70AS4	あり	4	Q35BL	あり	5	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎	
JRMSI-MB70AS2	あり	2	Q35BL	あり	5	▲ (127)	○ (-10)	▲ (127)	◎	

※1:(　)値はQラージベースとGLシリーズの寸法差[単位:mm]

増設ベースユニットを使用する場合

① MELSEC-QシリーズベースユニットまたはMELSEC-Qシリーズベースユニット+ベースアダプタに置換える場合

◎:同一、○:GLシリーズの方が大きい、▲:GLシリーズの方が小さい

GLシリーズベースユニット			MELSEC-Qシリーズベースユニット							ベースアダプタ						取付変換アダプタ固定台	備　考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-GLシリーズ）				形名	寸法比較 ※2（ベースアダプタ-GLシリーズ）						
						外形寸法		取付寸法			外形寸法		取付寸法				
						横	縦	横	縦		横	縦	横	縦			
JRMSI-MB22／JRMSI-MB22A	あり	9	Q612B	あり	12	○ (-41)	○ (-152)	○ (-43)	○ (-120)	ERNT-AQB68N	○ (-14)	○ (-10)	○ (-14)	◎		ERNT-AQF12	
			Q68B	あり	8	○ (-152)	○ (-152)	○ (-154)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	○ (-128)	○ (-10)	○ (-128)	◎		ERNT-AQF8	
JRMSI-MB22AS6	あり	6	Q612B	あり	12	▲ (69)	○ (-152)	▲ (67)	○ (-120)	ERNT-AQB68N	▲ (96)	○ (-10)	▲ (96)	◎		ERNT-AQF12	
			Q68B	あり	8	○ (-42)	○ (-152)	○ (-44)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	○ (-18)	○ (-10)	○ (-18)	◎		ERNT-AQF8	
JRMSI-MB22S5	あり	5	Q612B	あり	12	▲ (99)	○ (-152)	▲ (97)	○ (-120)	ERNT-AQB68N	▲ (126)	○ (-10)	▲ (126)	◎		ERNT-AQF12	
			Q68B	あり	8	○ (-12)	○ (-152)	○ (-14)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	▲ (12)	○ (-10)	▲ (12)	◎		ERNT-AQF8	·ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要
			Q65B	あり	5	○ (-95)	○ (-152)	○ (-97.6)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	○ (-43)	○ (-10)	○ (-43)	◎		ERNT-AQF5	
			Q55B	なし	5	○ (-151)	○ (-152)	○ (-153)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	○ (-43)	○ (-10)	○ (-43)	◎		ERNT-AQF5	
JRMSI-MB22S3	あり	3	Q68B	あり	8	▲ (73)	○ (-152)	▲ (71)	○ (-120)	ERNT-AQB65N	▲ (97)	○ (-10)	▲ (97)	◎		ERNT-AQF8	
			Q65B	あり	5	○ (-10)	○ (-152)	○ (-12.6)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎		ERNT-AQF5	
			Q63B	あり	3	○ (-66)	○ (-152)	○ (-68)	○ (-120)	ERNT-AQB62	○ (-17)	○ (-10)	○ (-17)	◎		ERNT-AQF3	
			Q55B	なし	5	○ (-66)	○ (-152)	○ (-68)	○ (-120)	ERNT-AQB55N	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎		ERNT-AQF5	
			Q52B	なし	2	○ (-149)	○ (-152)	○ (-151.5)	○ (-120)	ERNT-AQB52	○ (-72)	○ (-10)	○ (-72)	◎		ERNT-AQF3	·最大2スロットのため、1スロット不足 ベースアダプタを使用した場合は、縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要

※1:(　)値はMELSEC-QシリーズベースユニットとGLシリーズの寸法差[単位:mm]
※2:(　)値はベースアダプタとGLシリーズの寸法差[単位:mm]

② MELSEC-Qシリーズラージベースユニットに置換える場合

◎:同一、○:GLシリーズの方が大きい、▲:GLシリーズの方が小さい

GLシリーズベースユニット			MELSEC-Qシリーズラージベースユニット							備　考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-GLシリーズ）				
						外形寸法		取付寸法		
						横	縦	横	縦	
JRMSI-MB22／JRMSI-MB22A	あり	9	Q68BL	あり	8	○ (-14)	○ (-10)	○ (-14)	◎	·9スロット以上のラージベースなし ·最大8スロットのため、1スロット不足 ·縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要
JRMSI-MB22AS6	あり	6	Q68BL	あり	8	▲ (96)	○ (-10)	▲ (96)	◎	
JRMSI-MB22S5	あり	5	Q65BL	あり	5	▲ (12)	○ (-10)	▲ (12)	◎	
			Q55BL	なし	5	○ (-43)	○ (-10)	○ (-43)	◎	·縦方向の2点のみ、盤面の取付穴加工不要
JRMSI-MB22S3	あり	3	Q65BL	あり	5	▲ (97)	○ (-10)	▲ (97)	◎	
			Q55BL	なし	5	▲ (42)	○ (-10)	▲ (42)	◎	

※1:(　)値はQラージベースとGLシリーズの寸法差[単位:mm]

スロット位置

MEMOCON-SC　GLシリーズ(2000シリーズI/O)からMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

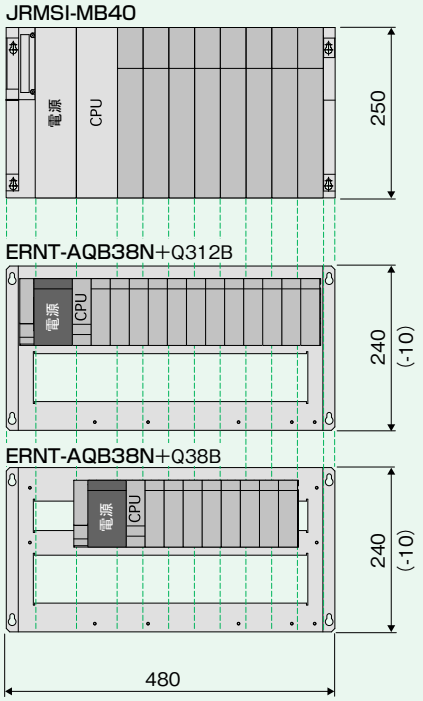
ご注意

カッコ内の数値はMEMOCON-SC GLシリーズ(2000シリーズI/O)との外形寸法差です。

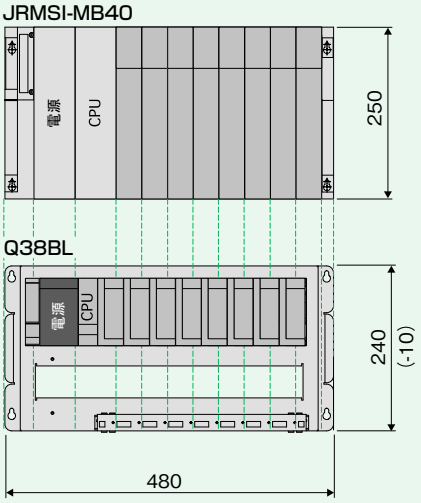
基本ベースユニットを使用する場合

(1)JRMSI-MB40 ⇒ ERNT-AQB38N+Q312B / ERNT-AQB38N+Q38B / ERNT-AQB35N+Q35B / ERNT-AQB32+Q33B / Q38BL / Q35BL

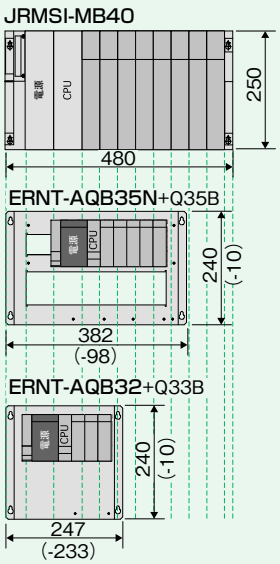
ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm



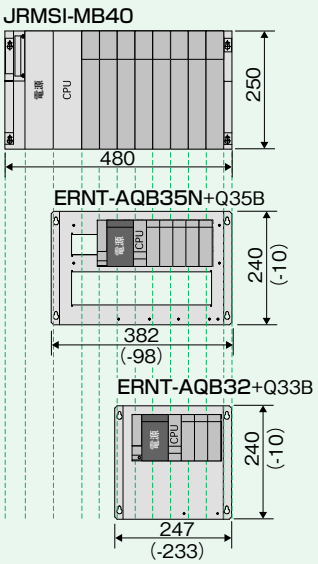
Qラージベースユニット　単位:mm



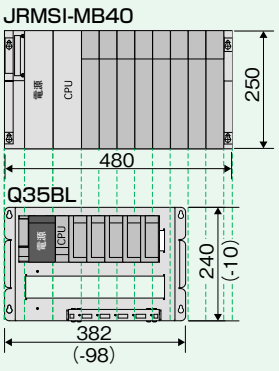
左寄せ設置の場合



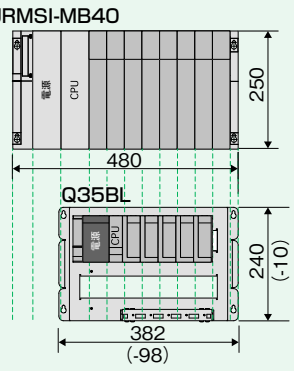
右寄せ設置の場合



左寄せ設置の場合



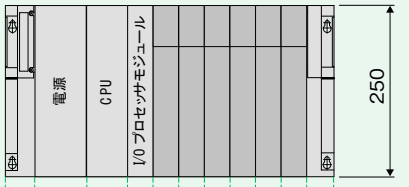
右寄せ設置の場合



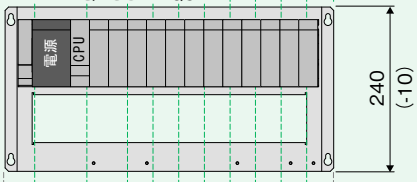
(2)JRMSI-MB60 ⇒ ERNT-AQB38N+Q312B / ERNT-AQB38N+Q38B / ERNT-AQB35N+Q35B / ERNT-AQB32+Q33B / Q38BL / Q35BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

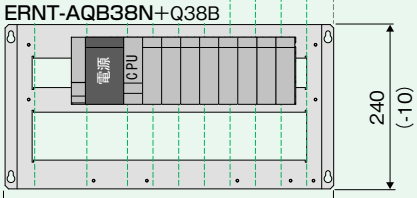
JRMSI-MB60

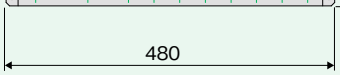


ERNT-AQB38N+Q312B



ERNT-AQB38N+Q38B

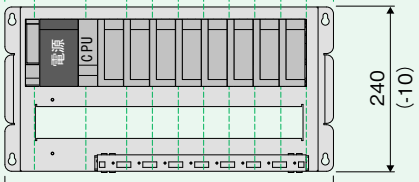


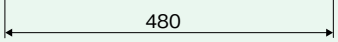


Qラージベースユニット　単位:mm

JRMSI-MB60

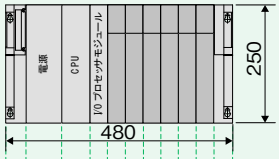
Q38BL



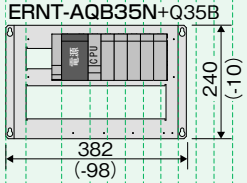


左寄せ設置の場合

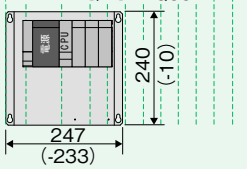
JRMSI-MB60



ERNT-AQB35N+Q35B

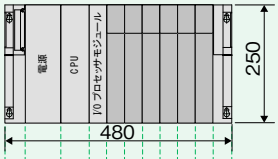


ERNT-AQB32+Q33B

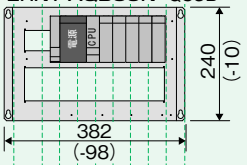


右寄せ設置の場合

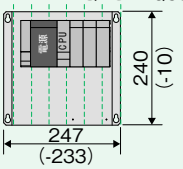
JRMSI-MB60



ERNT-AQB35N+Q35B

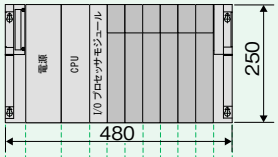


ERNT-AQB32+Q33B

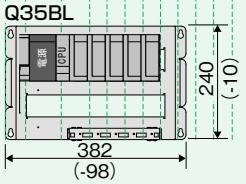


左寄せ設置の場合

JRMSI-MB60

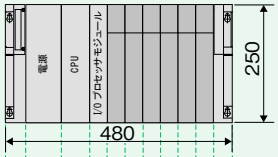


Q35BL

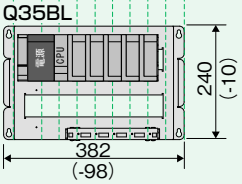


右寄せ設置の場合

JRMSI-MB60



Q35BL



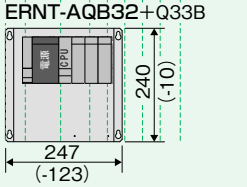
(3)JRMSI-MB60S3 ⇒ ERNT-AQB32+Q33B / Q35BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット

左寄せ設置の場合

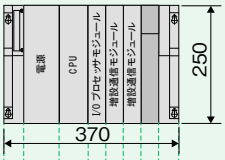
JRMSI-MB60S3

ERNT-AQB32+Q33B

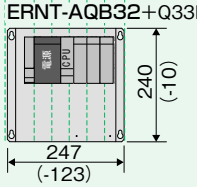


右寄せ設置の場合

JRMSI-MB60S3



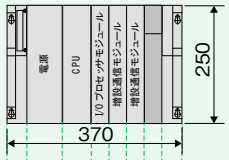
ERNT-AQB32+Q33B



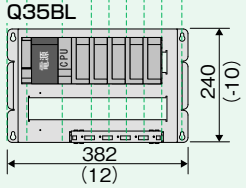
Qラージベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

JRMSI-MB60S3

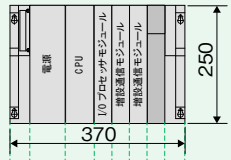


Q35BL

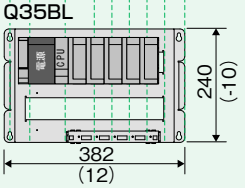


右寄せ設置の場合

JRMSI-MB60S3

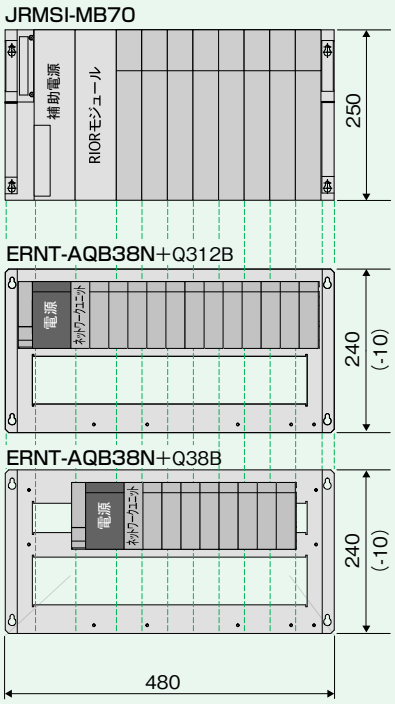


Q35BL

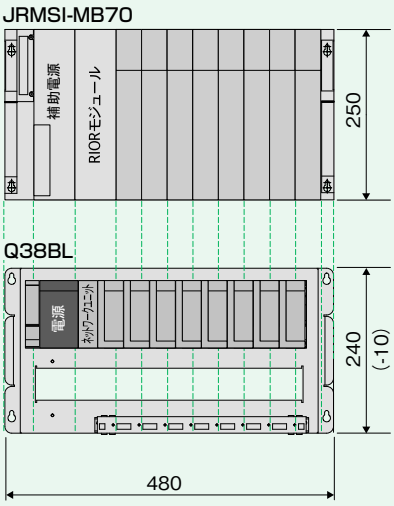


(4)JRMSI-MB70 ⇒ ERNT-AQB38N+Q312B / ERNT-AQB38N+Q38B / ERNT-AQB35N+Q35B / ERNT-AQB32+Q33B / Q38BL / Q35BL

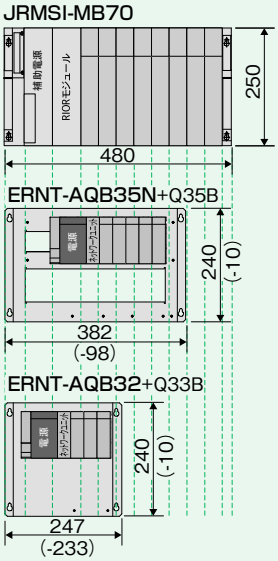
ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm



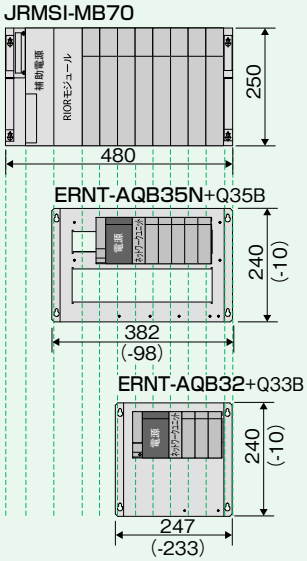
Qラージベースユニット　単位:mm



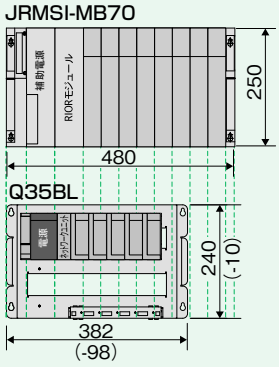
左寄せ設置の場合



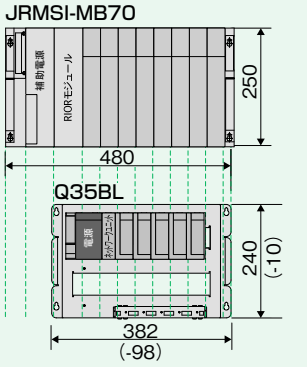
右寄せ設置の場合



左寄せ設置の場合



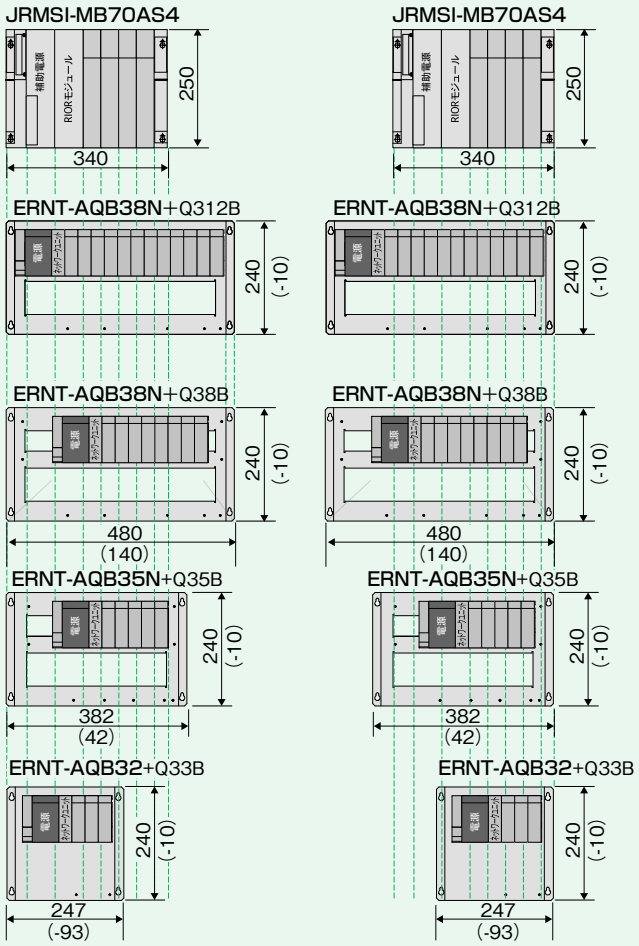
右寄せ設置の場合



(5)JRMSI-MB70AS4 ⇒ ERNT-AQB38N+Q312B / ERNT-AQB38N+Q38B / ERNT-AQB35N+Q35B / ERNT-AQB32+Q33B / Q35BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット

左寄せ設置の場合

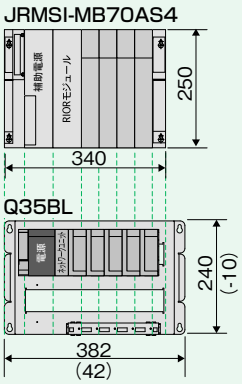


右寄せ設置の場合

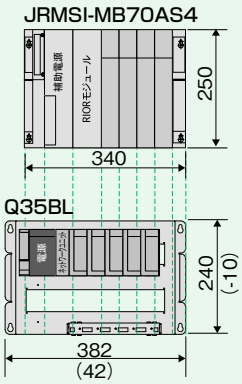
Qラージベースユニット

単位:mm

左寄せ設置の場合



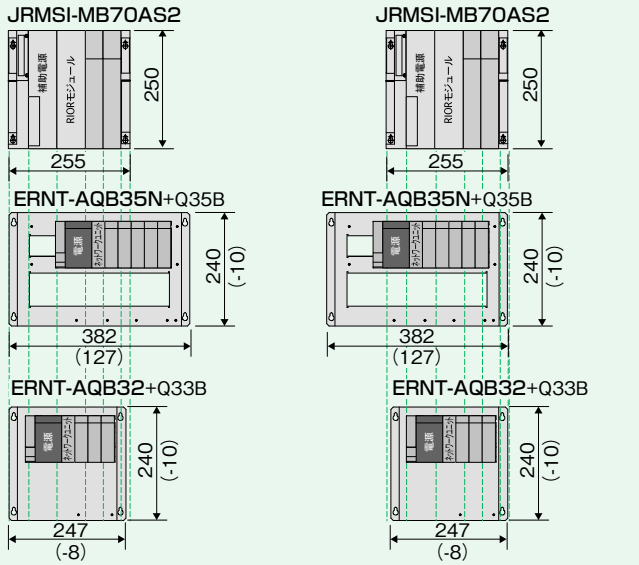
右寄せ設置の場合



(6)JRMSI-MB70AS2 ⇒ ERNT-AQB35N+Q35B / ERNT-AQB32+Q33B / Q35BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット

左寄せ設置の場合

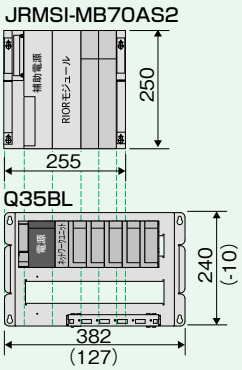


右寄せ設置の場合

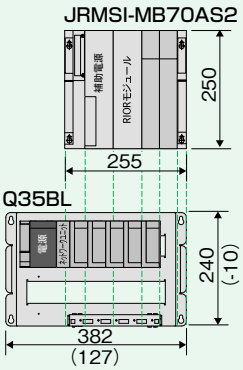
Qラージベースユニット

単位:mm

左寄せ設置の場合



右寄せ設置の場合



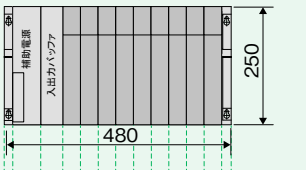
増設ベースユニットを使用する場合

(1)JRMSI-MB22／JRMSI-MB22A ⇒ ERNT-AQB68N+Q612B / ERNT-AQB65N+Q68B / Q68BL

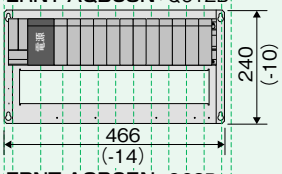
ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット

左寄せ設置の場合

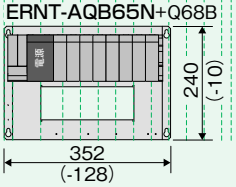
JRMSI-MB22／JRMSI-MB22A



ERNT-AQB68N+Q612B

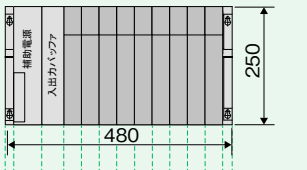


ERNT-AQB65N+Q68B

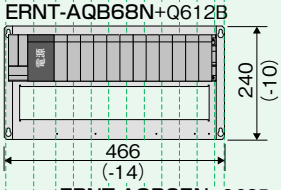


右寄せ設置の場合

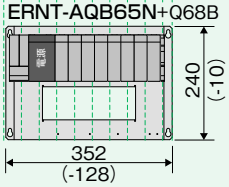
JRMSI-MB22／JRMSI-MB22A



ERNT-AQB68N+Q612B



ERNT-AQB65N+Q68B

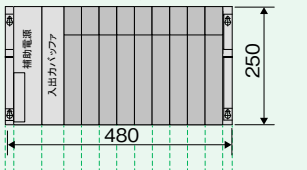


Qラージベースユニット

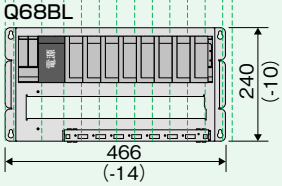
単位:mm

左寄せ設置の場合

JRMSI-MB22／JRMSI-MB22A

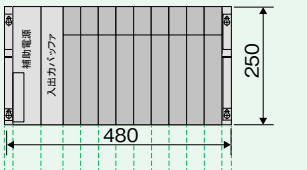


Q68BL

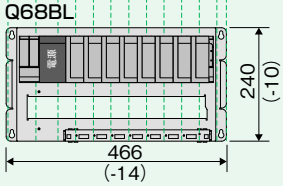


右寄せ設置の場合

JRMSI-MB22／JRMSI-MB22A



Q68BL

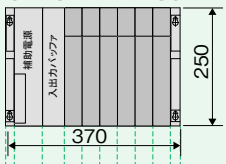


(2)JRMSI-MB22AS6 ⇒ ERNT-AQB68N+Q612B / ERNT-AQB65N+Q68B / Q68BL

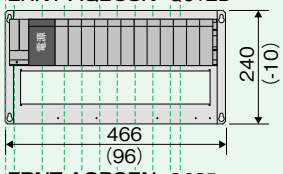
ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット

左寄せ設置の場合

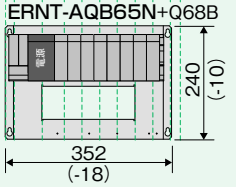
JRMSI-MB22AS6



ERNT-AQB68N+Q612B

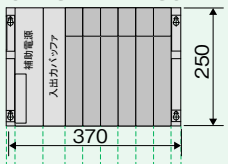


ERNT-AQB65N+Q68B

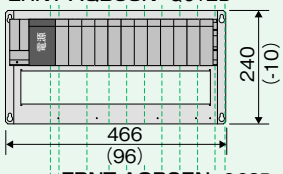


右寄せ設置の場合

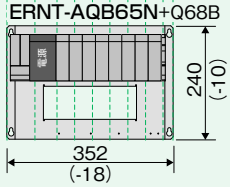
JRMSI-MB22AS6



ERNT-AQB68N+Q612B



ERNT-AQB65N+Q68B

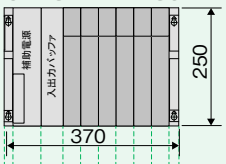


Qラージベースユニット

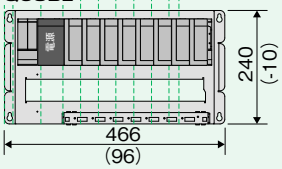
単位:mm

左寄せ設置の場合

JRMSI-MB22AS6

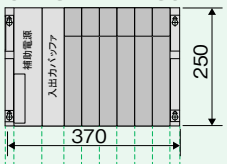


Q68BL

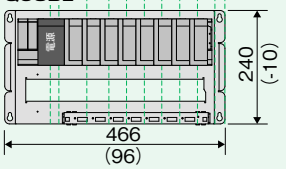


右寄せ設置の場合

JRMSI-MB22AS6



Q68BL



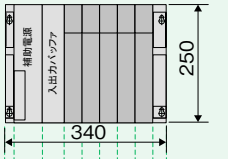
(3)JRMSI-MB22S5 ⇒ ERNT-AQB68N+Q612B / ERNT-AQB65N+Q68B / ERNT-AQB55N+Q65B / ERNT-AQB55N+Q55B / Q65BL / Q55BL

ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット

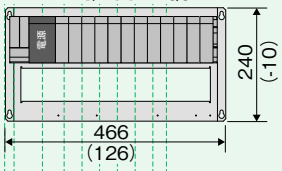
単位:mm

左寄せ設置の場合

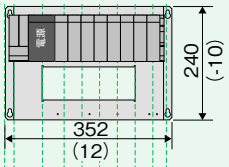
JRMSI-MB22S5



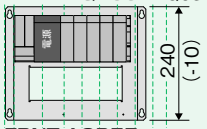
ERNT-AQB68N+Q612B



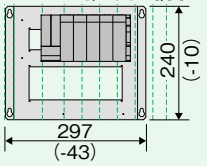
ERNT-AQB65N+Q68B



ERNT-AQB55N+Q65B

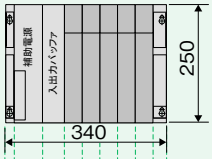


ERNT-AQB55+Q55B

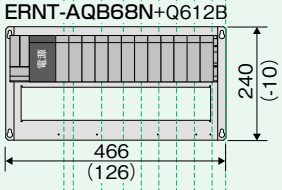


右寄せ設置の場合

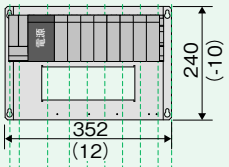
JRMSI-MB22S5



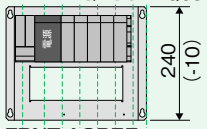
ERNT-AQB68N+Q612B



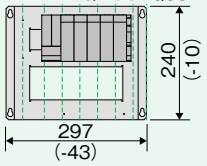
ERNT-AQB65N+Q68B



ERNT-AQB55N+Q65B



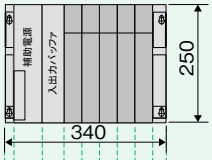
ERNT-AQB55+Q55B



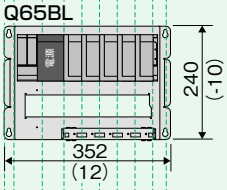
Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

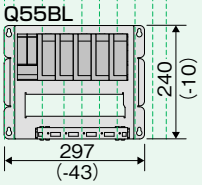
JRMSI-MB22S5



Q65BL

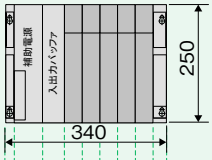


Q55BL

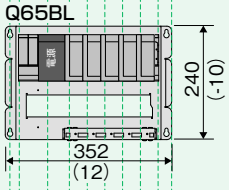


右寄せ設置の場合

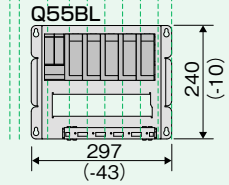
JRMSI-MB22S5



Q65BL



Q55BL

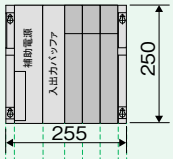


(4)JRMSI-MB22S3 ⇒ ERNT-AQB65N+Q68B / ERNT-AQB55N+Q65B / ERNT-AQB62+Q63B / ERNT-AQB55N+Q55B / ERNT-AQB52+Q52B / Q65BL / Q55BL

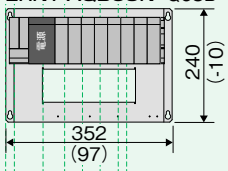
ベースアダプタ+MELSEC-Qシリーズベースユニット

左寄せ設置の場合

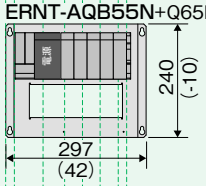
JRMSI-MB22S3



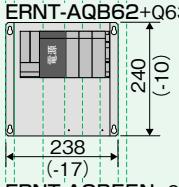
ERNT-AQB65N+Q68B



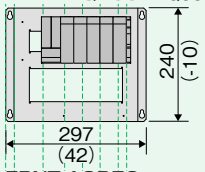
ERNT-AQB55N+Q65B



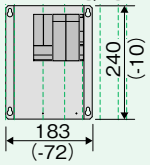
ERNT-AQB62+Q63B



ERNT-AQB55N+Q55B

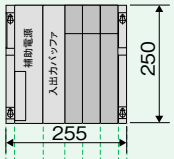


ERNT-AQB52+Q52B

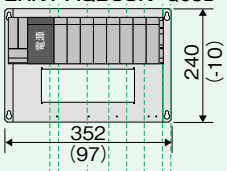


右寄せ設置の場合

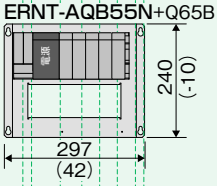
JRMSI-MB22S3



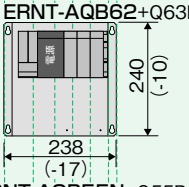
ERNT-AQB65N+Q68B



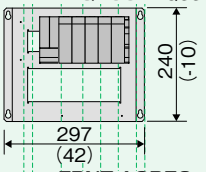
ERNT-AQB55N+Q65B



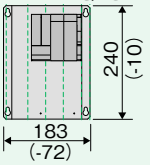
ERNT-AQB62+Q63B



ERNT-AQB55N+Q55B



ERNT-AQB52+Q52B

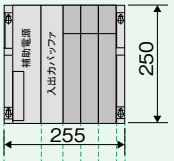


Qラージベースユニット

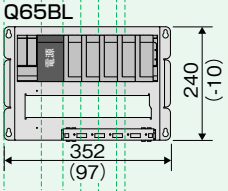
単位:mm

左寄せ設置の場合

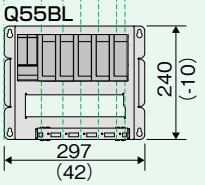
JRMSI-MB22S3



Q65BL

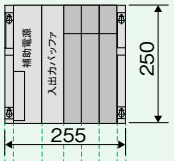


Q55BL

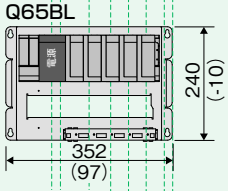


右寄せ設置の場合

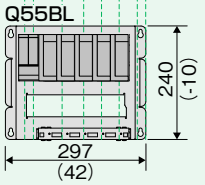
JRMSI-MB22S3



Q65BL



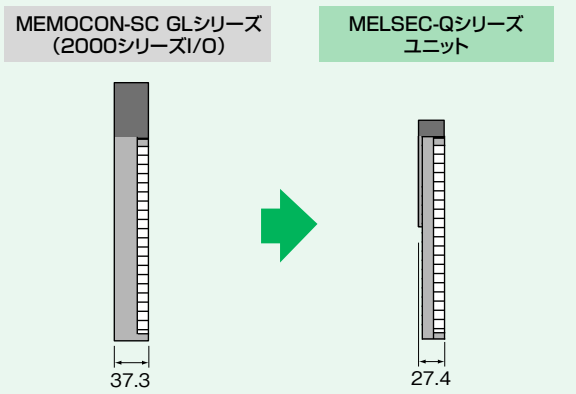
Q55BL



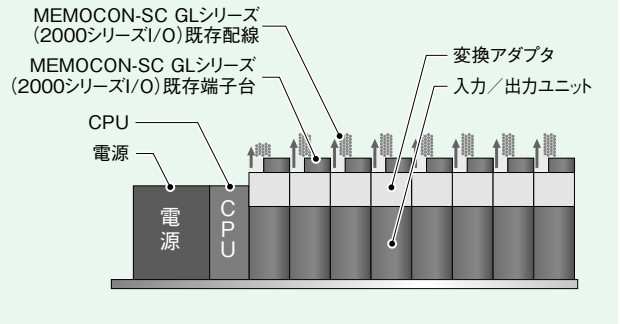
ご使用上の注意点

ユニット幅

(1)ユニット幅寸法がMEMOCON-SC　GLシリーズ(2000シリーズI/O)　37.3mm ⇒ MELSEC-Qシリーズ27.4mmと小さくなり、配線領域が小さくなりますので、取付け時に確認が必要です。

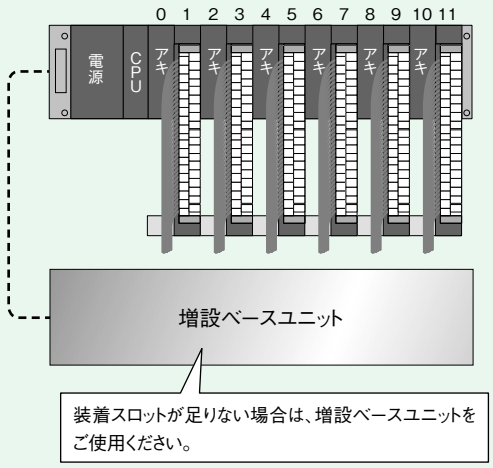


(2)装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3)配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例)Q312Bの場合



ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(QG60)を装着してください。

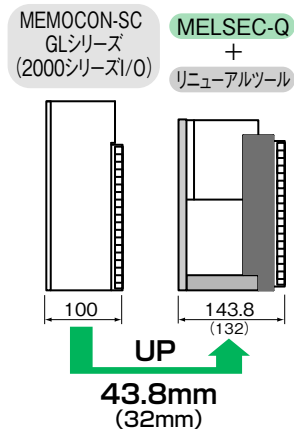
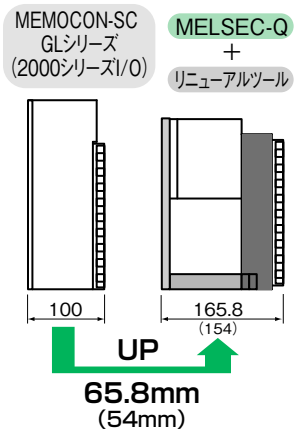
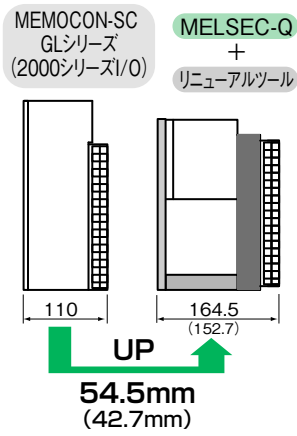
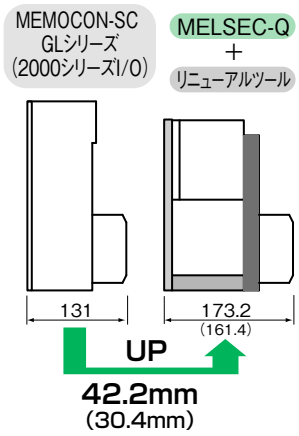
(4)上記(2)、(3)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製Qラージベースユニット(配線領域は37.5mm)の使用をご検討ください。
注) 2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。

奥行き

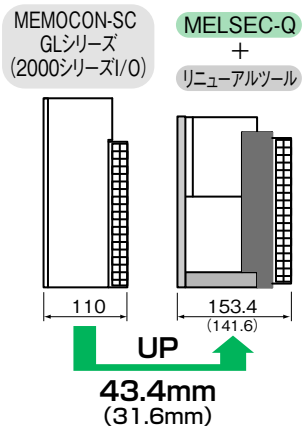
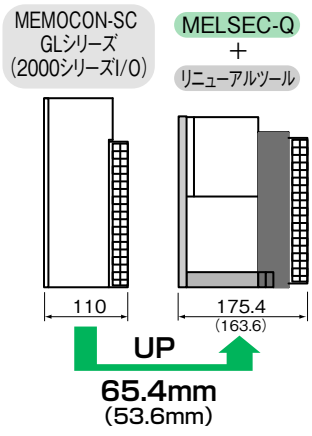
奥行き寸法は以下のようになります。奥行き寸法が大きくなりますので取付け上の確認が必要です。
ベースアダプタを使用しない場合および、三菱電機株式会社製Qラージベースユニットを使用せず標準ベースユニットを使用する場合はカッコ内の数値（11.8mm小さい値）になります。

MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O） :MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）
MELSEC-Q :MELSEC-Qシリーズ

1スロットタイプ

変換アダプタ	ERNT-1Y2Q501 ERNT-1Y2Q601611 ERNT-1Y2Q600	ERNT-1Y2Q500	ERNT-1JQ32N34N ERNT-1Y2Q602606	ERNT-1Y2Q615625 ERNT-CQCY213
奥行き寸法	143.8mm （132mm）	165.8mm （154mm）	164.5mm （152.7mm）	173.2mm （161.4mm）
取付図				

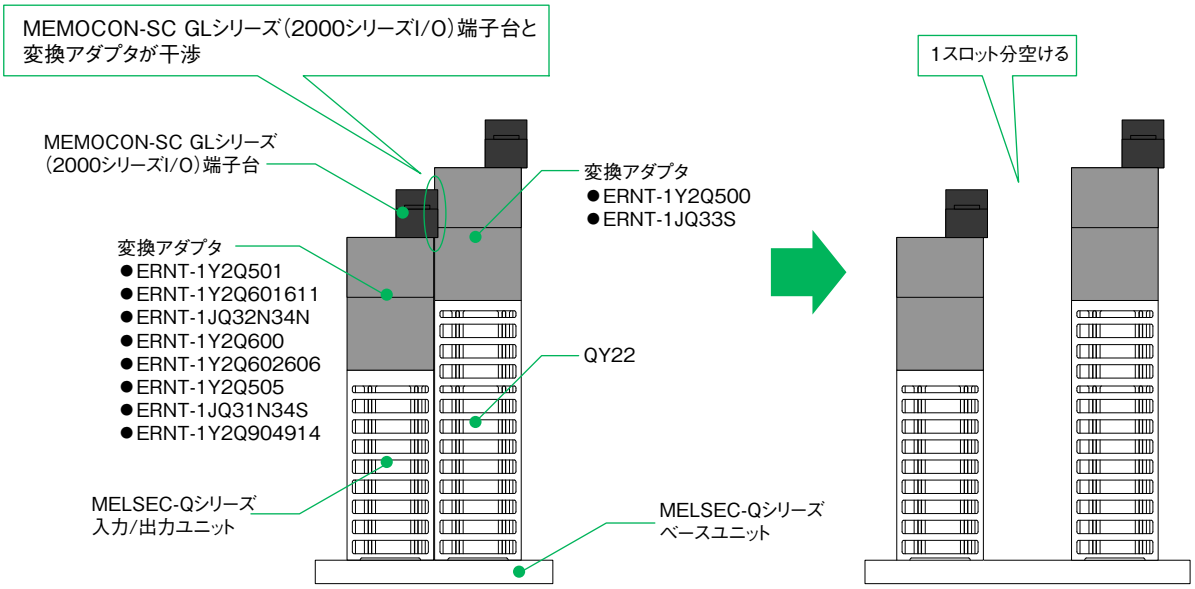
2スロットタイプ

変換アダプタ	ERNT-1Y2Q505 ERNT-1JQ31N34S ERNT-1Y2Q904914	ERNT-1JQ33S
奥行き寸法	153.4mm （141.6mm）	175.4mm （163.6mm）
取付図		

※:上記奥行き寸法は、各々盤面からの寸法です。
（MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）はベースユニット＋入力／出力ユニット＋端子台（コネクタ）、
MELSEC-Qシリーズ＋リニューアルツールは、ベースアダプタ＋ベースユニット＋入力／出力ユニット＋変換アダプタ＋端子台（コネクタ））

隣接ユニット干渉確認

隣同士の変換アダプタが以下となる場合、端子台の干渉を避けるため1スロット分空けてください。
但し、三菱電機株式会社製Qラージベースユニット使用時はユニット間に隙間があるため、1スロット分空ける必要はありません。
注）2スロットタイプ変換アダプタは使用できません。



変換アダプタ固定台・ベースアダプタ

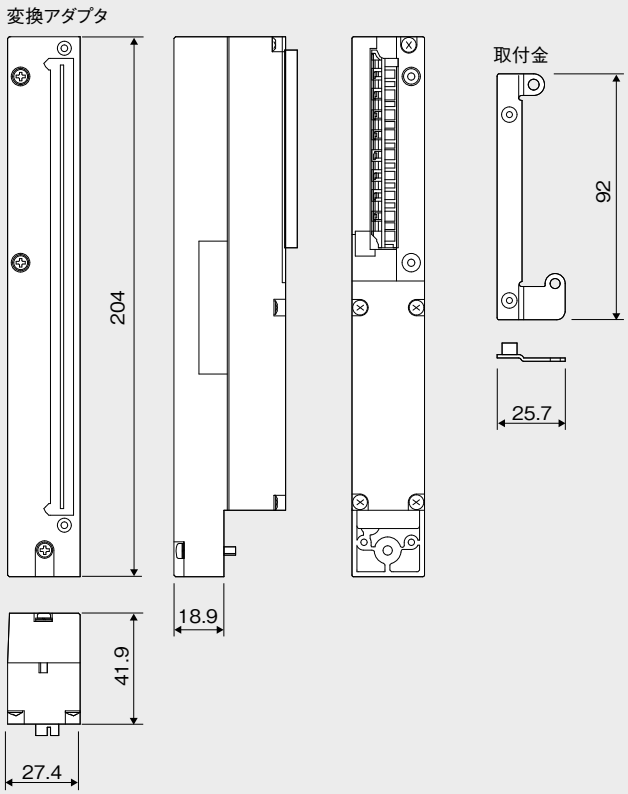
変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台が必要です。また、MEMOCON-SC GLシリーズ（2000シリーズI/O）の取付穴を利用し、MELSEC-Qシリーズが設置可能（追加穴加工削減）なベースアダプタのご使用を推奨します。

外形寸法図

変換アダプタ

形名:
ERNT-1Y2Q501
ERNT-1Y2Q601611
ERNT-1Y2Q600

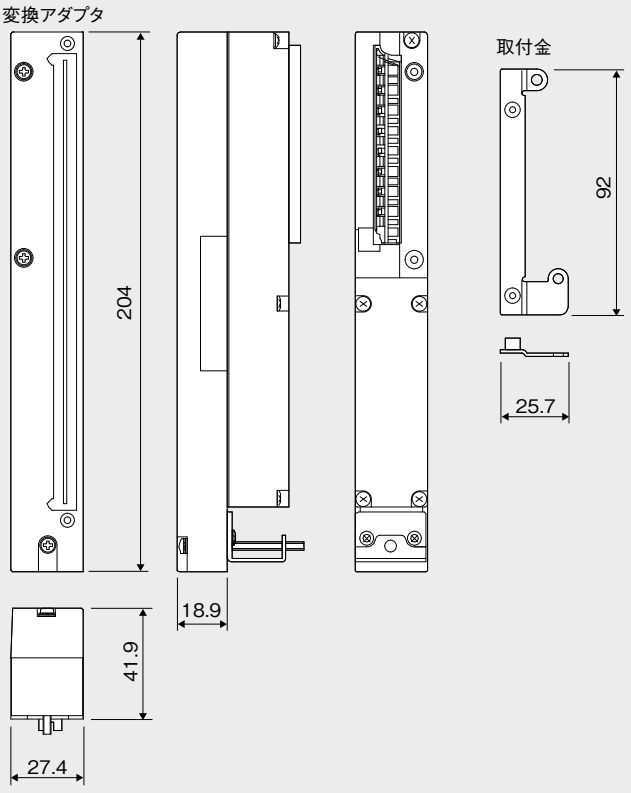
単位:mm



質量:130g

形名:
ERNT-1Y2Q500

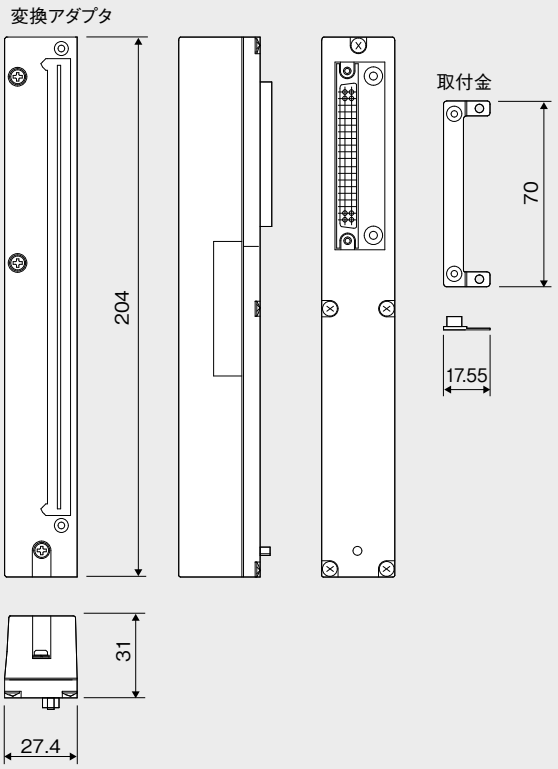
単位:mm



質量:145g

形名:
ERNT-1JQ32N34N
ERNT-1Y2Q602606

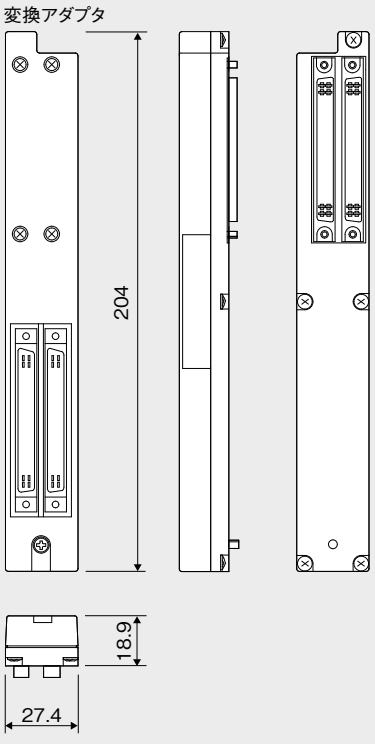
単位:mm



質量:125g

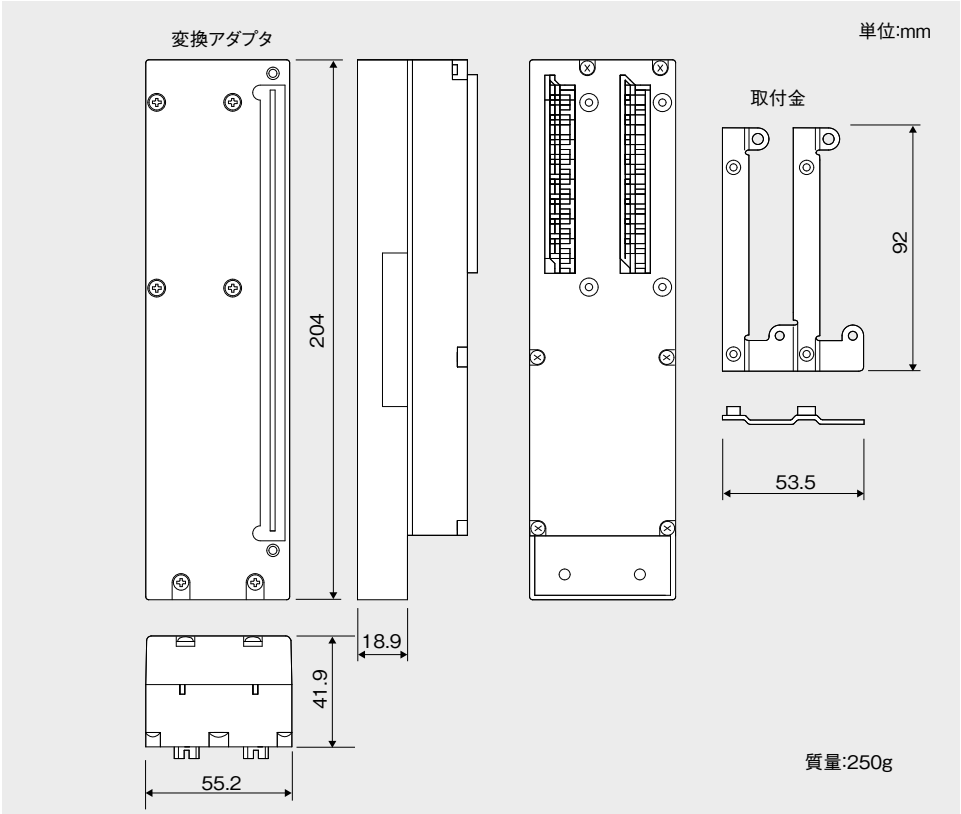
形名:
ERNT-1Y2Q615625

単位:mm

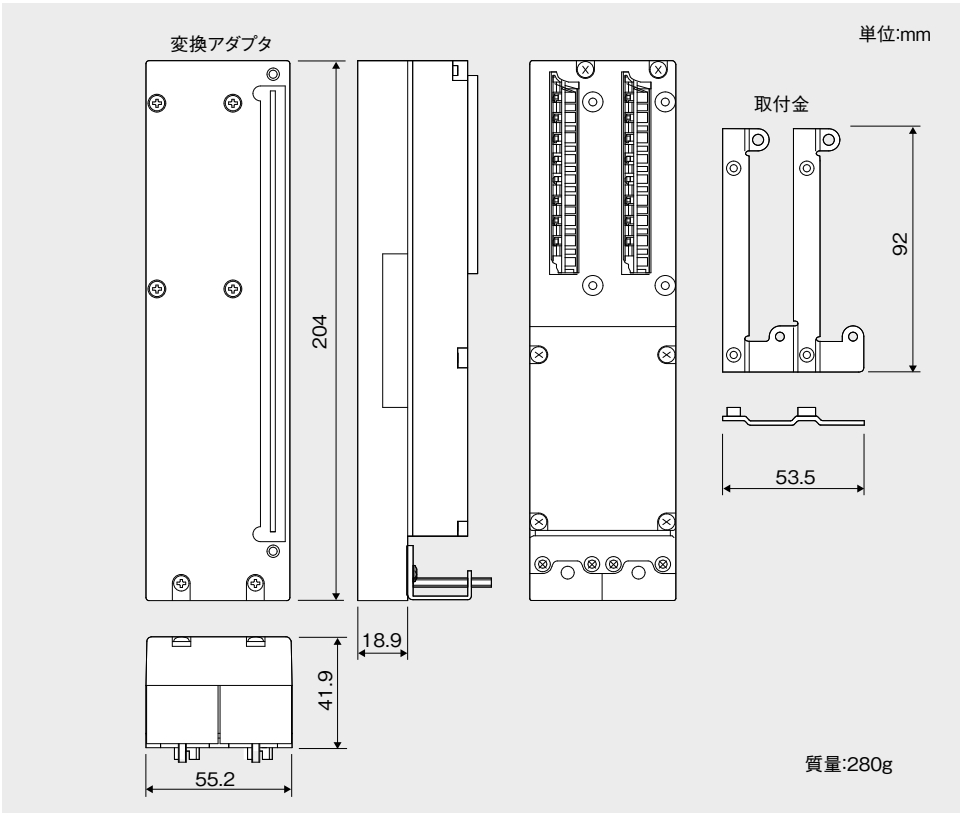


質量:105g

形名:
ERNT-1JQ31N34S
ERNT-1Y2Q505
ERNT-1Y2Q904914



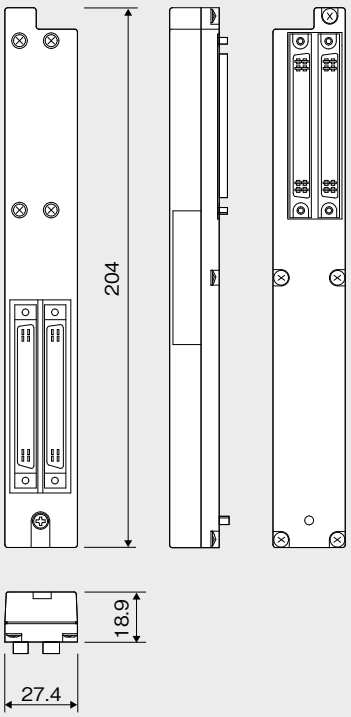
形名:
ERNT-1JQ33S



形名:
ERNT-CQCY213

変換アダプタ

単位:mm



質量:102g

ベースアダプタ

MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールと同じ製品です。
1-37ページを参照ください。

変換アダプタ固定台

MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールと同じ製品です。
1-37ページを参照ください。

GLシリーズ 小形タイプ（120シリーズI/O）

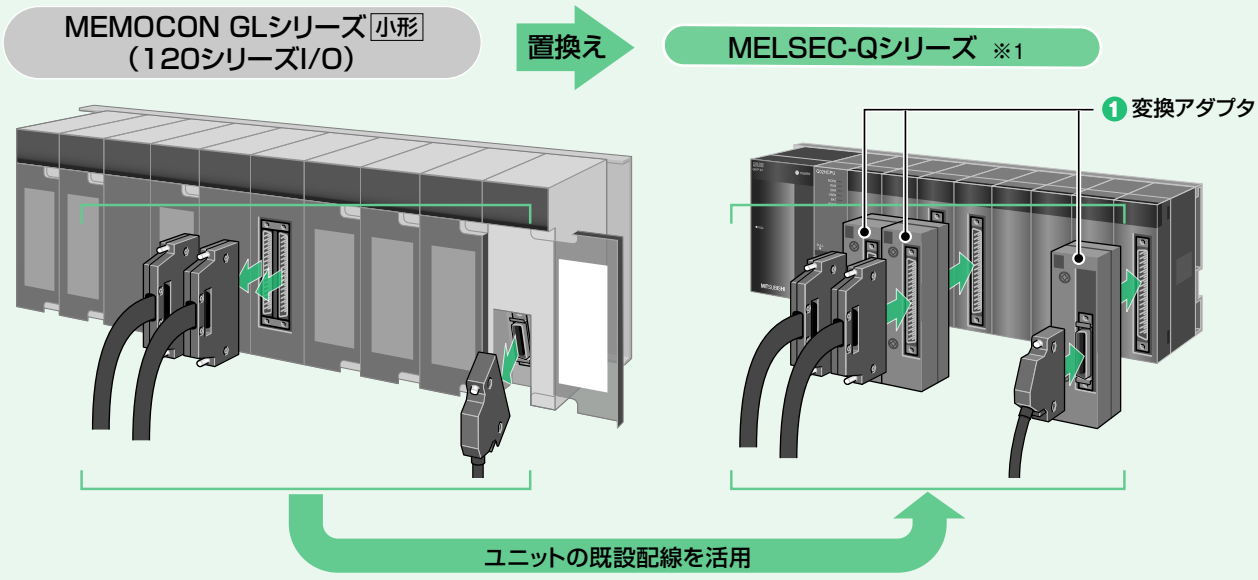
MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）からMELSEC-Qシリーズへリニューアルする場合

■MELSEC-Qシリーズへ置換えが容易
株式会社安川電機製PLC MEMOCON GLシリーズの入力/出力ユニット（120シリーズI/O）から、
三菱電機株式会社製MELSEC-Qシリーズシーケンサに置換えることが容易です。

■入力/出力ユニットへの配線作業時間の大幅短縮/配線ミスの大幅低減
MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）の入力/出力ユニットに接続されていた配線は、変換アダプタを経由することで、MELSEC-Qシリーズにそのまま接続できます。（一部、電源およびコモン端子の接続変更が必要となります。）

製品の概要

本製品は、株式会社安川電機製PLC MEMOCON GLシリーズの入出力ユニット（120シリーズI/O）に接続されていた既設配線を三菱電機株式会社製シーケンサMELSEC-Qシリーズの入力/出力ユニットに配線変更する「変換アダプタ」です。



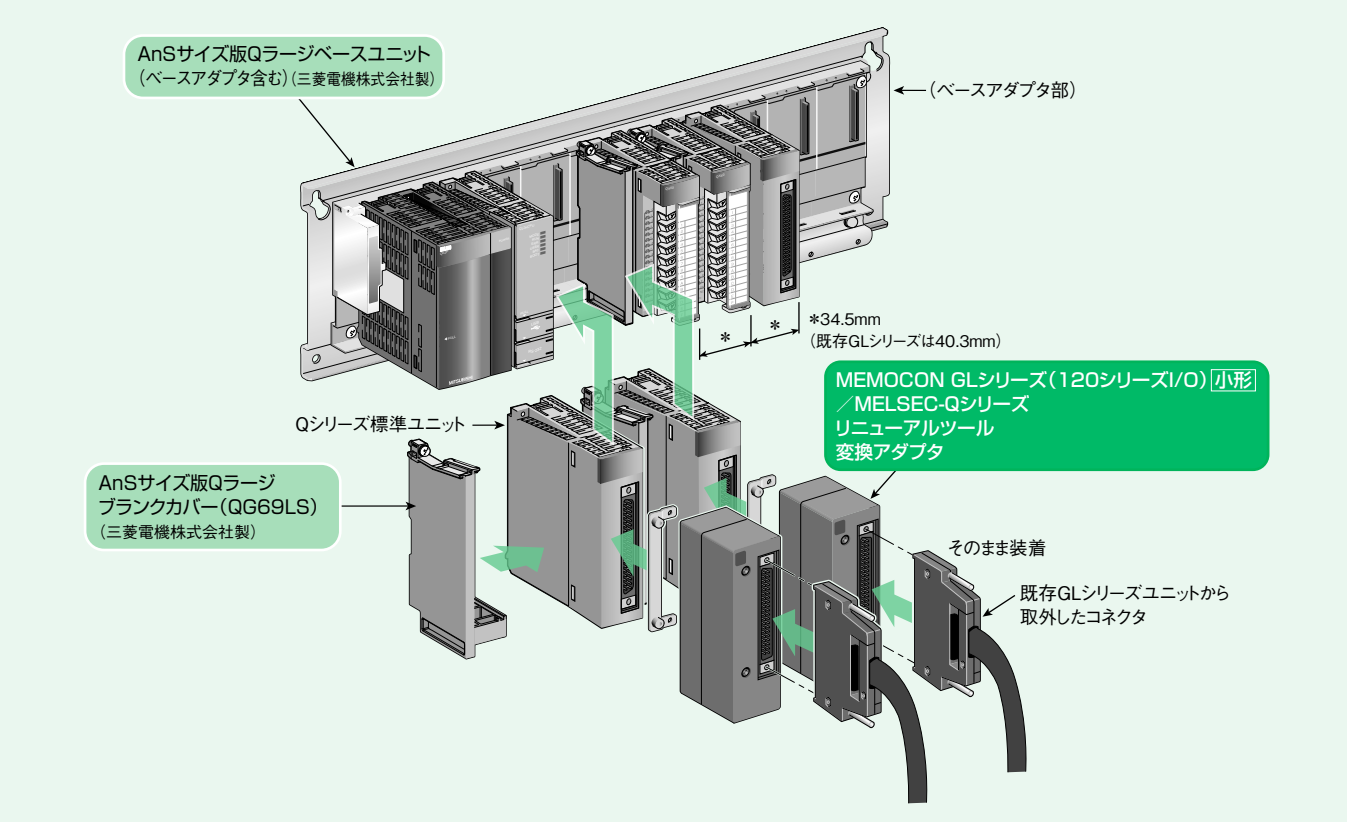
❶ 変換アダプタ 6-38

※1:株式会社安川電機製PLC MEMOCON GLシリーズ（小形:120シリーズI/O）からMELSEC-Qシリーズに置換える場合、ユニット幅寸法と奥行き寸法が異なりますので、取付け可否を確認してください。詳しくは「ご使用上の注意点」（6-48ページ）を参照してください。

三菱電機株式会社製

AnSサイズ版Qラージベースユニットを活用したリニューアル

三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニット(Q□□BLS、Q□□BLS-D)を使用することで、MELSEC-Qシリーズ端子台ユニットへの再配線領域がMELSEC-Qシリーズベースユニット使用時(27.4mm)と比較して、7.1mm広く確保できます。



AnSサイズ版Qラージベースユニット一覧

形名		内容	スロット数
盤面取付タイプ	DINレール取付タイプ		
Q38BLS	Q38BLS-D	基本ベースユニット	8
Q35BLS	Q35BLS-D		5
Q68BLS	Q68BLS-D	増設ベースユニット(電源あり)	8
Q65BLS	Q65BLS-D		5
Q55BLS	Q55BLS-D	増設ベースユニット(電源なし)	5

AnSサイズ版Qラージブランクカバー

形名	内容
QG69LS	ユニット間の隙間調整用備品

機種一覧

❶ 変換アダプタ

変換アダプタを選定する際は、6-38～6-41ページのユニット仕様比較表および（注）文を必ず参照してください。1コモンあたりの点数が異なる等の注意文が記載されています。また、ユニット仕様比較表に記載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。尚、MEMOCON-SC GLシリーズ（120シリーズI/O）とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

入力/出力ユニット用〈1スロットタイプ〉

入力/出力	置換前 MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）ユニット形名	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	注意事項		変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	入力/出力点数
入力	JAMSC-120DDI35400	QX41、QX41-S1、QX41-S2、QX71	※1	※2	ERNT-2YQ35400	MDRコネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
	JAMSC-120DDI36400	QX41 × 2台、QX41-S1 × 2台、QX41-S2 × 2台、QX71 × 2台		※3	ERNT-2YQ36400×2台	コネクタ（40P） × 2	コネクタ（40P） × 2台	64点
出力	JAMSC-120DDO35410	QY41P、QY71		※4	ERNT-2YQ35410	MDRコネクタ（40P）	コネクタ（40P）	32点
	JAMSC-120DDO36410	QY41P × 2台、QY71 × 2台		※5	ERNT-2YQ36410× 2台	コネクタ（40P） × 2	コネクタ（40P） × 2台	64点

※1:1コモンあたりのI/O点数が、16点/1コモン→32点/1コモンとなるため、既存ユニットのコモン接続をご確認ください。
※2: 既存ユニットのコモンを分離して使用されている場合は、QX40 2台またはQX80 2台への再配線をご検討ください。既存ユニットをDC24V マイナスコモンで使用の場合は、QX81またはQX81-S2への再配線をご検討ください。
※3: JAMSC-120DDI36400からの置換えの場合、MELSEC-Qユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要です。既存ユニットのコモンを分離して使用されている場合は、QX40 4台またはQX80 4台への再配線をご検討ください。既存ユニットをDC24V マイナスコモンで使用の場合は、QX82またはQX82-S1への再配線をご検討ください。
※4: 既存ユニットのコモンを分離して使用されている場合は、QY40P 2台またはQY70 2台への再配線をご検討ください。電流容量が必要な場合は、QY50（0.5A/1点、16点） 2台への再配線をご検討ください。
※5: JAMSC-120DDO36410からの置換えの場合、MELSEC-Qユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要です。既存ユニットのコモンを分離して使用されている場合は、QY40P 4台またはQY70 4台への再配線をご検討ください。

☆変換アダプタ非対応機種の置換え案

下表に示す入力/出力ユニットは変換アダプタ非対応のため、再配線による置換えをご検討ください。

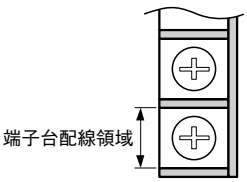
入力/出力	置換前 MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）ユニット 形名	仕様	点数	置換後 MELSEC-Qシリーズユニット 形名	仕様	点数	必要台数
入力	JAMSC-120DAI54300	AC100V	16点	QX10	AC100-120V	16点	1台
	JAMSC-120DAI74300	AC200V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台
	JAMSC-120DDI34300	DC12/24V プラス/マイナスコモン共用	16点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台
				QX70	DC5/12V プラス/マイナスコモン共用	16点	1台
出力	JAMSC-120DAO83000	AC100/200V 独立	8点	QY18A※6	AC240V DC24V 独立	8点	1台
	JAMSC-120DAO84300	AC100/200V	16点	QY22	AC100-240V	16点	1台
	JAMSC-120DDO33000	DC12/24V 独立シンク/ソース共用	8点	QY68A	DC5-24V 独立シンク/ソース共用	8点	1台
	JAMSC-120DDO34310	DC12/24V シンク	16点	QY40P	DC12-24V シンク	16点	1台
	JAMSC-120DDO34320	DC12/24V ソース	16点	QY80	DC12-24V ソース	16点	1台
	JAMSC-120DRA84300	AC200V DC24V リレー接点	16点	QY10	AC240V DC24V リレー接点	16点	1台

※6：JAMSC-120DAO84300はトライアック出力ですが、QY18Aは接点出力となります。

〈参考：圧着端子および電線仕様〉

項　目	置換前 MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）ユニット	置換後 MELSEC-Qシリーズユニット
圧着端子サイズ	M3	M3
端子台配線領域	7mm	6mm

※7：変換アダプタ非対応のMEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）からMELSEC-Qシリーズユニットに置換える場合、適応圧着端子サイズはいずれもM3となりますが端子台配線領域が狭くなりますので、既設配線にてご使用の圧着端子によっては接続不可となる場合があります。



変換アダプタ

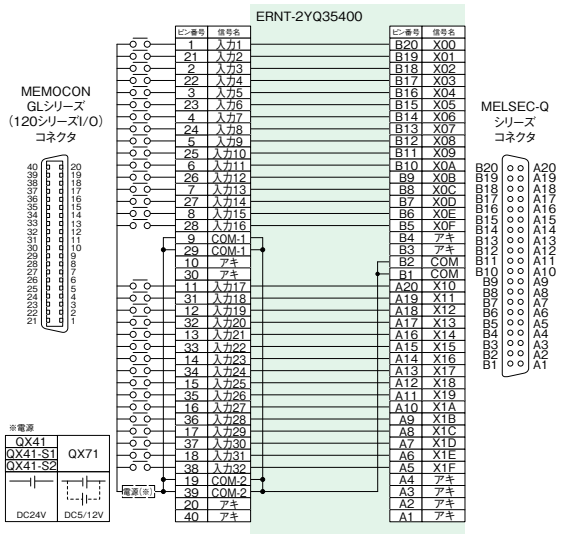
仕　様

入力／出力ユニット用

1スロットタイプ（三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニット（Q□□BLS、Q□□BLS-D）にも取付け可能）

(1)ERNT-2YQ35400

変換アダプタ形名	MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-2YQ35400	JAMSC-120DDI35400	32点	QX41、QX41-S1 QX41-S2、QX71



〈仕様比較表〉

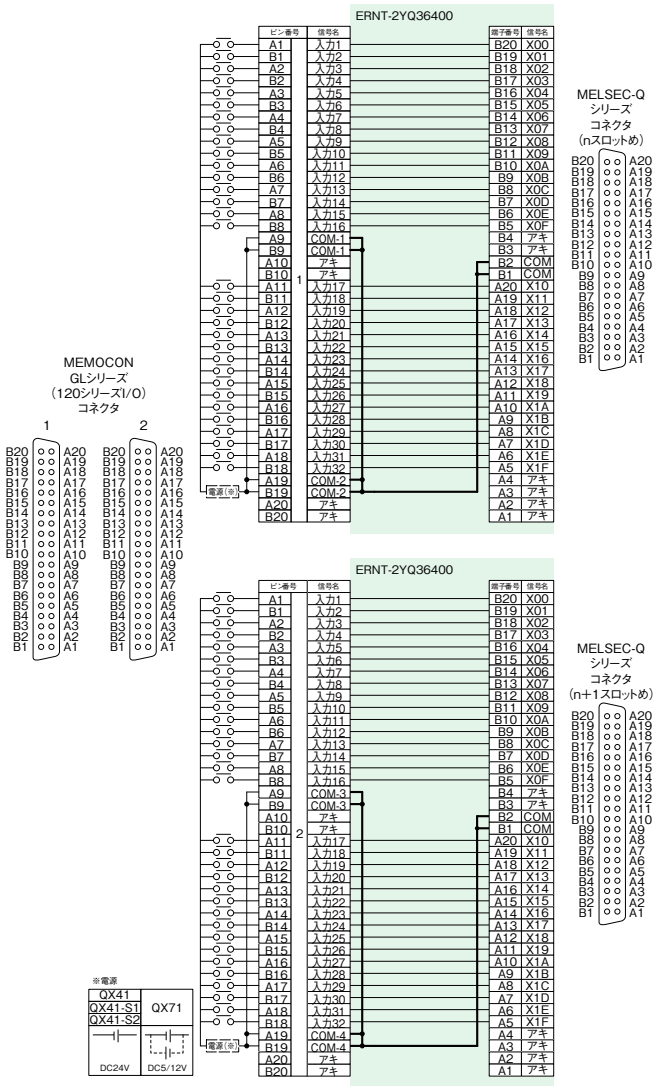
形名 / 仕様		MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）	MELSEC-Qシリーズ			
			DC24V			DC12V
		JAMSC-120DDI35400（プラス/マイナスコモン共用タイプ）	QX41（プラスコモンタイプ）	QX41-S1（プラスコモンタイプ）	QX41-S2（プラスコモンタイプ）	QX71（プラス/マイナスコモン共用タイプ）
入力点数		32点	32点	32点	32点	32点
定格入力電圧		DC12/24V	DC24V	DC24V	DC24V	DC5/12V
定格入力電流		約4mA（DC24V）約2mA（DC12V）	約4mA	約4mA	約6mA	約3.3mA（DC12V）
入力インピーダンス		5.6kΩ	約5.6kΩ	約5.6kΩ	約3.6kΩ	約3.3kΩ
突入電流		—	—	—	—	—
動作電圧/電流	ON	9V	19V/3mA	19V/3mA	15V/3mA	3.5V/1mA
	OFF	5V	11V/1.7mA	9.5V/1.5mA	5V/1.7mA	1V/0.1mA
応答時間	OFF→ON	5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		16点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外部接続		40ピンMDRコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ

（注）1. 1コモンあたりの点数が、16点/1コモン（2回路）→32点/1コモン（1回路）となるため、既存ユニットのコモンを分離して使用している場合は、QX40 2台またはQX80 2台への再配線をご検討ください。
2. 既存ユニットをDC24V マイナスコモンで使用の場合は、QX81またはQX81-S2への再配線をご検討ください。
3. □ は、MEMOCON GLシリーズ（120シリーズI/O）とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なり、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。
接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。
4. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(2)ERNT-2YQ36400

変換アダプタ形名	MEMOCON GLシリーズ(120シリーズI/O)ユニット形名	入力点数	MELSEC-Qシリーズ ユニット形名
ERNT-2YQ36400 × 2台	JAMSC-120DDI36400	64点	QX41 × 2台、QX41-S1 × 2台 QX41-S2 × 2台、QX71 × 2台

(注) JAMSC-120DDI36400からの置換えの場合、MELSEC-Qシリーズユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要となります。



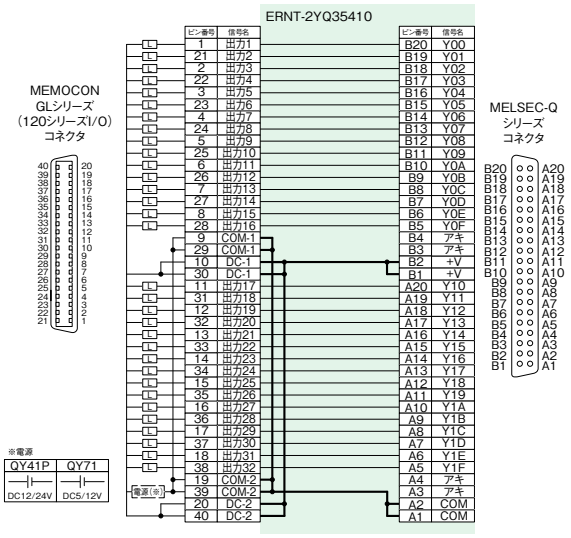
〈仕様比較表〉

仕様 \ 形名		MEMOCON GLシリーズ(120シリーズI/O)	MELSEC-Qシリーズ			
			DC24V			DC12V
		JAMSC-120DDI36400 (プラス/マイナスコモン共用タイプ)	QX41 (プラスコモンタイプ)	QX41-S1 (プラスコモンタイプ)	QX41-S2 (プラスコモンタイプ)	QX71 (プラス/マイナスコモン共用タイプ)
入力点数		64点	32点	32点	32点	32点
定格入力電圧		DC12/24V	DC24V	DC24V	DC24V	DC5/12V
定格入力電流		約4mA(DC24V) 約2mA(DC12V)	約4mA	約4mA	約6mA	約3.3mA(DC12V)
入力インピーダンス		5.6kΩ	約5.6kΩ	約5.6kΩ	約3.6kΩ	約3.3kΩ
突入電流		—	—	—	—	—
動作電圧/電流	ON	9V	19V/3mA	19V/3mA	15V/3mA	3.5V/1mA
	OFF	5V	11V/1.7mA	9.5V/1.5mA	5V/1.7mA	1V/0.1mA
応答時間	OFF→ON	5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	5ms以下	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		16点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外部接続		40ピンコネクタ × 2	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ

(注)1. 1コモンあたりの点数が、16点/1コモン(4回路)→32点/1コモン(1回路)×2台となるため、既存ユニットのコモンを分離して使用している場合は、QX40 4台またはQX80 4台への再配線をご検討ください。
2. 既存ユニットをDC24V マイナスコモンで使用の場合は、QX82またはQX82-S1への再配線をご検討ください。
3. [ ] は、MEMOCON GLシリーズ(120シリーズI/O)とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なり、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。
接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。
4. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(3)ERNT-2YQ35410

変換アダプタ形名	MEMOCON GLシリーズ(120シリーズI/O)ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズユニット形名
ERNT-2YQ35410	JAMSC-120DDO35410	32点	QY41P、QY71



〈仕様比較表〉

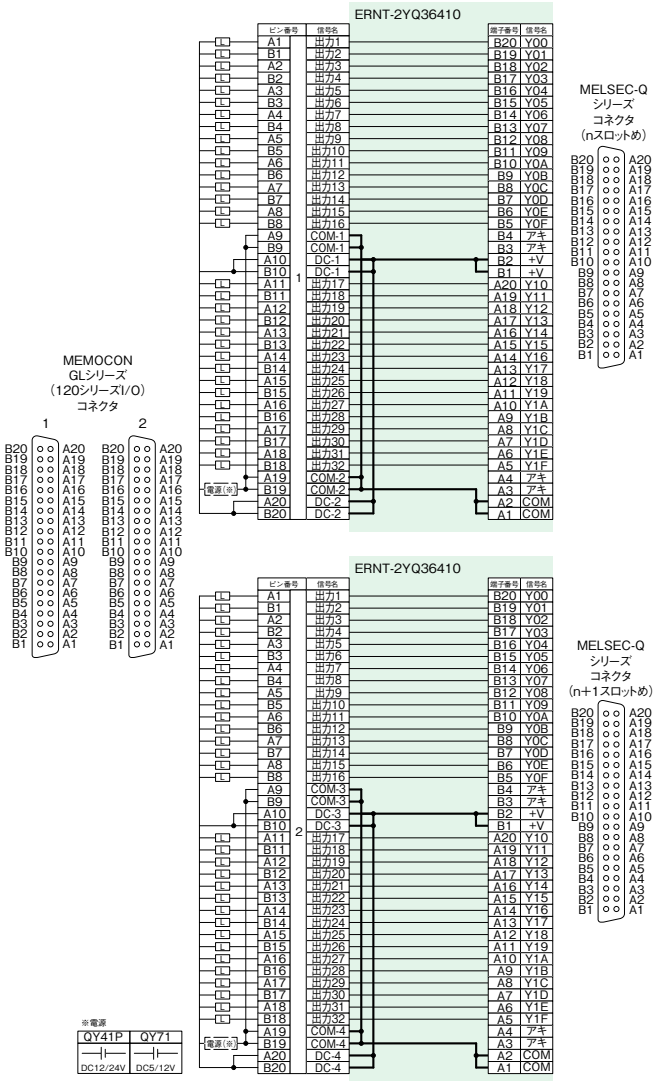
仕様＼形名	MEMOCON GLシリーズ(120シリーズI/O)	MELSEC-Qシリーズ	
	JAMSC-120DDO35410(シンクタイプ)	QY41P(シンクタイプ)	QY71(シンクタイプ)
出力点数	32点	32点	32点
定格負荷電圧	DC12/24V	DC12/24V	DC5/12V
最大負荷電流	0.3A/1点 0.4A/4点	0.1A/1点 2A/1コモン	16mA/1点 512mA/1コモン
最小負荷電流	—	—	—
最大突入電流	—	0.7A 10ms	40mA 10ms
OFF時漏洩電流	1mA以下	0.1mA以下	—
OFF時出力電圧	—	—	V_{OH}:DC3.5V
ON時電圧降下	1.5V以下(0.3A)	0.2V以下(0.1A)	V_{OL}:DC0.3V
応答時間 OFF→ON	1ms以下	1ms以下	0.5ms以下
応答時間 ON→OFF	1ms以下(抵抗負荷)	1ms以下(抵抗負荷)	0.5ms以下(抵抗負荷)
サージキラー	なし	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ	あり(コモンに3.5A)	なし(保護機能あり (サーマルプロテクト・短絡プロテクト))	あり(コモンに1.6A)
外部供給電源	DC12/24V	DC12/24V	DC5/12V
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式	16点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外部接続	40ピンMDRコネクタ	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ

(注)1. 1コモンあたりの点数が、16点/1コモン(2回路)→32点/1コモン(1回路)となるため、既存ユニットのコモンを分離して使用している場合は、QX40 2台またはQX80 2台への再配線をご検討ください。
2. 既存ユニットをDC24V マイナスコモンで使用の場合は、QX81またはQX81-S2への再配線をご検討ください。
3. [ ] は、MEMOCON GLシリーズ(120シリーズI/O)とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なり、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。
接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。
4. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

(4)ERNT-2YQ36410

変換アダプタ形名	MEMOCON GLシリーズ(120シリーズI/O)ユニット形名	出力点数	MELSEC-Qシリーズユニット形名
ERNT-2YQ36410 × 2台	JAMSC-120DDO36410	64点	QY41P × 2台、QY71 × 2台

(注) JAMSC-120DDO36410からの置換えの場合、MELSEC-Qシリーズユニットおよび変換アダプタが2台ずつ必要となります。



〈仕様比較表〉

仕様＼形名		MEMOCON GLシリーズ(120シリーズI/O)	MELSEC-Qシリーズ	
		JAMSC-120DDO36410(シンクタイプ)	QY41P(シンクタイプ)	QY71(シンクタイプ)
出力点数		64点	32点	32点
定格負荷電圧		DC12/24V	DC12/24V	DC5/12V
最大負荷電流		0.1A/1点	0.1A/1点 2A/1コモン	16mA/1点 512mA/1コモン
最小負荷電流		—	—	—
最大突入電流		—	0.7A 10ms	40mA 10ms
OFF時漏洩電流		1mA以下	0.1mA以下	—
OFF時出力電圧		—	—	V_{OH}:DC3.5V
ON時電圧降下		1.5V以下(0.1A)	0.2V以下(0.1A)	V_{OL}:DC0.3V
応答時間	OFF→ON	1ms以下	1ms以下	0.5ms以下
	ON→OFF	1ms以下(抵抗負荷)	1ms以下(抵抗負荷)	0.5ms以下(抵抗負荷)
サージキラー		なし	ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		あり(コモンに3.5A)	なし(保護機能あり (サーマルプロテクト・短絡プロテクト))	あり(コモンに1.6A)
外部供給電源		DC12/24V	DC12/24V	DC5/12V
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
コモン方式		16点1コモン	32点1コモン	32点1コモン
外部接続		40ピンコネクタ × 2	40ピンコネクタ	40ピンコネクタ

(注)1. 1コモンあたりの点数が、16点/1コモン(4回路)→32点/1コモン(1回路) 2台となるため、既存ユニットのコモンを分離して使用している場合は、QY40P 4台またはQY70 4台への再配線をご検討ください。
2. □ は、MEMOCON GLシリーズ(120シリーズI/O)とMELSEC-Qシリーズで仕様が異なり、置換える上で仕様的な制限を受けるところです。接続する機器・設備の仕様を満たすことを確認してください。
3. 仕様比較表に記載されていない詳細仕様および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

三菱電機株式会社製 ベースユニット

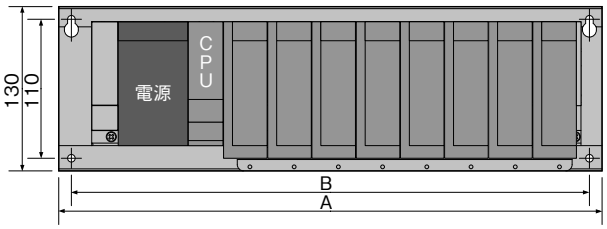
ご注意

ベースユニットの取付穴(4ヶ所)位置は、MEMOCON GLシリーズベースユニットと異なりますので、制御盤への追加ネジ加工が必要です。

取付寸法

●MEMOCON GLシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、ユニットを装着するスロット位置が異なりますので、配線長を調節してご使用ください。

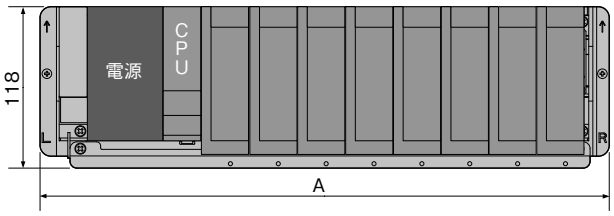
◎AnSサイズ版Qラージベースユニット 盤面取付タイプ



AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内容	A	B	取付穴 ネジサイズ
Q38BLS	基本ベースユニット	430	410	M5
Q35BLS		325	305	
Q68BLS	増設ベースユニット(電源あり)	420	400	
Q65BLS		315	295	
Q55BLS	増設ベースユニット(電源なし)	260	240	

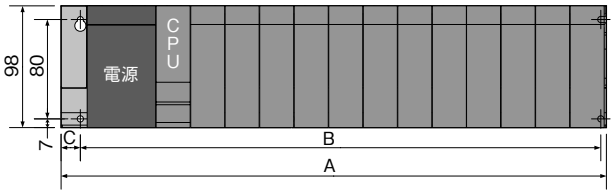
◎AnSサイズ版Qラージベースユニット DINレール取付タイプ

単位:mm



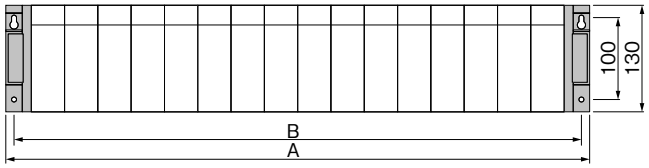
AnSサイズ版 Qラージベース ユニット形名	内容	A
Q38BLS-D	基本ベースユニット	416
Q35BLS-D		311
Q68BLS-D	増設ベースユニット(電源あり)	409
Q65BLS-D		304
Q55BLS-D	増設ベースユニット(電源なし)	248

◎MELSEC-Qシリーズベースユニット



MELSEC-Qシリーズ ベースユニット形名	内容	A	B	C	取付穴 ネジサイズ
Q312B	基本ベースユニット	439	419	15.5	M4
Q38B		328	308	15.5	
Q35B		245	224.4	15.5	
Q33B		189	169	15.5	
Q612B	増設ベースユニット (電源あり)	439	417	15.5	
Q68B		328	306	15.5	
Q65B		245	222.4	15.5	
Q63B		189	167	15.5	
Q55B	増設ベースユニット (電源なし)	189	167	15.5	
Q52B		106	83.5	15.5	

◎(参考) MEMOCON GLシリーズベースユニット



GLシリーズ ベースユニット形名	内容	A	B	取付穴 ネジサイズ
JRMSI-120XBP01600	ベース ユニット	710	690	M5
JRMSI-120XBP01200		540	520	
JRMSI-120XBP01000		460	440	
JRMSI-120XBP00800		380	360	
JRMSI-120XBP00600		300	280	

置換え時の外形寸法および取付穴寸法比較

下記の表により、置換え前後の外形寸法および取付穴寸法が確認できます。

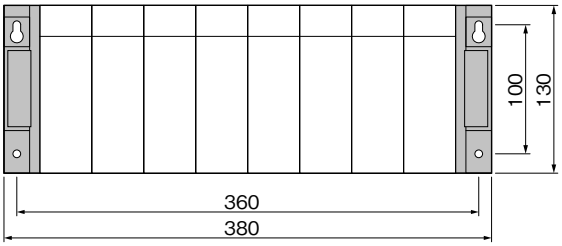
ご注意

“▲”の箇所は置換えた際に下記（例）の様に寸法が大きくなり、取付位置を再検討する必要があるため注意してください。
また、装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。

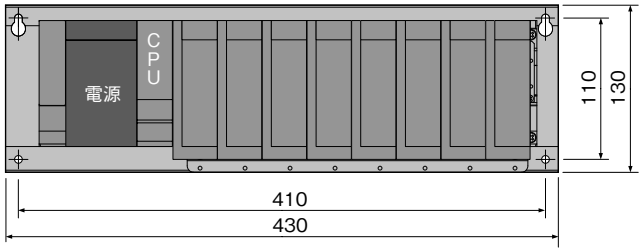
（例）GLシリーズ（JRMSI-120XBP00800）からAnSサイズ版Qラージベースユニット（Q38BLS）に置換えた場合

単位:mm

JRMSI-120XBP00800



Q38BLS



取付寸法:50mmUP

外形寸法:50mmUP

AnSサイズ版QラージベースユニットまたはMELSEC-Qシリーズベースユニットに置換える場合

① 基本ベースユニットを使用する場合

◎:同一、○:GLシリーズの方が大きい、▲:GLシリーズの方が小さい

GLリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット							MELSEC-Qシリーズベースユニット								備　考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（AnSサイズ版Qラージ-GLシリーズ）				形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-GLシリーズ）					
						外形寸法		取付寸法 ※2					外形寸法		取付寸法 ※2			
						横	縦	横	縦				横	縦	横	縦		
JRMSI-120XBP01600	あり	16	Q38BLS	あり	8	○(-280)	◎	○(-280)	▲(10)	Q312B	あり	12	○(-271)	○(-32)	○(-271)	○(-20)		
JRMSI-120XBP01200	あり	12	Q38BLS	あり	8	○(-110)	◎	○(-110)	▲(10)	Q312B	あり	12	○(-101)	○(-32)	○(-101)	○(-20)		
										Q38B	あり	8	○(-212)	○(-32)	○(-212)	○(-20)		
JRMSI-120XBP01000	あり	10	Q38BLS	あり	8	○(-30)	◎	○(-30)	▲(10)	Q312B	あり	12	○(-21)	○(-32)	○(-21)	○(-20)		
										Q38B	あり	8	○(-132)	○(-32)	○(-132)	○(-20)		
JRMSI-120XBP00800	あり	8	Q38BLS	あり	8	▲(50)	◎	▲(50)	▲(10)	Q312B	あり	12	▲(59)	○(-32)	▲(59)	○(-20)		・外形寸法、取付穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合がある
										Q38B	あり	8	○(-52)	○(-32)	○(-52)	○(-20)		
										Q35B	あり	5	○(-135)	○(-32)	○(-135.6)	○(-20)		
JRMSI-120XBP00600	あり	6	Q38BLS	あり	8	▲(130)	◎	▲(130)	▲(10)	Q312B	あり	12	▲(139)	○(-32)	▲(139)	○(-20)		
										Q38B	あり	8	▲(28)	○(-32)	▲(28)	○(-20)		
			Q35BLS	あり	5	▲(25)	◎	▲(25)	▲(10)	Q35B	あり	5	○(-55)	○(-32)	○(-55.6)	○(-20)		

※1:（　）値はMELSEC-QシリーズとGLシリーズの寸法差[単位:mm]　※2:穴同士の距離が近い場合、注意が必要

② 増設ベースユニットを使用する場合

◎:同一、○:GLシリーズの方が大きい、▲:GLシリーズの方が小さい

GLリーズベースユニット			AnSサイズ版Qラージベースユニット							MELSEC-Qシリーズベースユニット								備　考
形名	電源有無	最大スロット数	形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（AnSサイズ版Qラージ-GLシリーズ）				形名	電源有無	最大スロット数	寸法比較 ※1（MELSEC-Q-GLシリーズ）					
						外形寸法		取付寸法 ※2					外形寸法		取付寸法 ※2			
						横	縦	横	縦				横	縦	横	縦		
JRMSI-120XBP01600	あり	16	Q68BLS	あり	8	○(-290)	◎	○(-290)	▲(10)	Q612B	あり	12	○(-271)	○(-32)	○(-273)	○(-20)		
JRMSI-120XBP01200	あり	12	Q68BLS	あり	8	○(-120)	◎	○(-120)	▲(10)	Q612B	あり	12	○(-101)	○(-32)	○(-103)	○(-20)		
										Q68B	あり	8	○(-212)	○(-32)	○(-214)	○(-20)		
JRMSI-120XBP01000	あり	10	Q68BLS	あり	8	○(-40)	◎	○(-40)	▲(10)	Q612B	あり	12	○(-21)	○(-32)	○(-23)	○(-20)		
										Q68B	あり	8	○(-132)	○(-32)	○(-134)	○(-20)		
JRMSI-120XBP00800	あり	8	Q68BLS	あり	8	▲(40)	◎	▲(40)	▲(10)	Q612B	あり	12	▲(59)	○(-32)	▲(57)	○(-20)		・外形寸法、取付穴ピッチにより盤面の位置を再検討する場合がある
										Q68B	あり	8	○(-52)	○(-32)	○(-54)	○(-20)		
										Q65B	あり	5	○(-135)	○(-32)	○(-137.6)	○(-20)		
										Q55B	なし	5	○(-191)	○(-32)	○(-193)	○(-20)		
JRMSI-120XBP00600	あり	6	Q68BLS	あり	8	▲(120)	◎	▲(120)	▲(10)	Q612B	あり	12	▲(139)	○(-32)	▲(137)	○(-20)		
			Q65BLS	あり	5	▲(15)	◎	▲(15)	▲(10)	Q68B	あり	8	▲(28)	○(-32)	▲(26)	○(-20)		
										Q65B	あり	5	○(-55)	○(-32)	○(-57.6)	○(-20)		
			Q55BLS	なし	5	○(-40)	◎	○(-40)	▲(10)	Q55B	なし	5	○(-111)	○(-32)	○(-113)	○(-20)		

※1:（　）値はMELSEC-QシリーズとGLシリーズの寸法差[単位:mm]　※2:穴同士の距離が近い場合、注意が必要

スロット位置

MEMOCON GLシリーズからMELSEC-Qシリーズに置換えた際、スロット位置が異なりますので、ユニットを装着するユニット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

ご注意

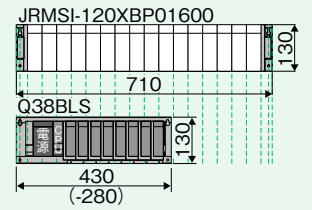
AnSサイズ版QラージベースユニットはMEMOCON GLシリーズと取付穴のネジサイズが同一のため、左寄せおよび右寄せは取付穴を基準としています。ただし、MELSEC-QシリーズベースユニットはMEMOCON GLシリーズと取付穴のネジサイズが異なるため、左寄せおよび右寄せはベースユニットの端を基準としています。尚、カッコ内の数値はMEMOCON GLシリーズとの外形寸法差です。

基本ベースユニットを使用する場合

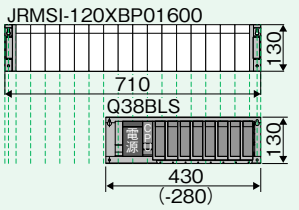
(1) JRMSI-120XBP01600 ⇒ Q38BLS / Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

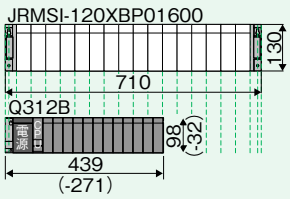


右寄せ設置の場合

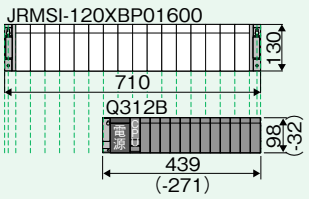


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



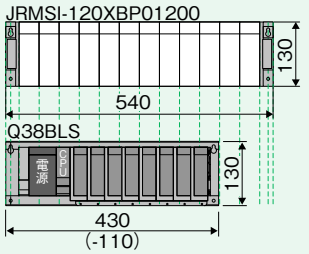
右寄せ設置の場合



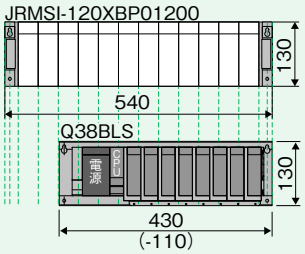
(2) JRMSI-120XBP01200 ⇒ Q38BLS / Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

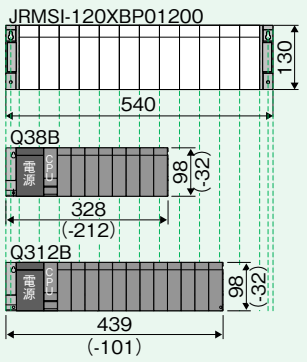


右寄せ設置の場合

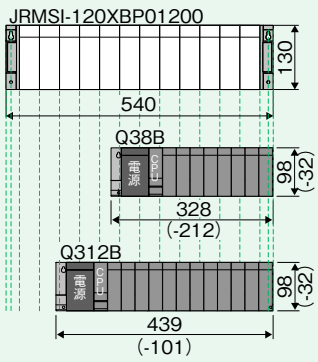


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



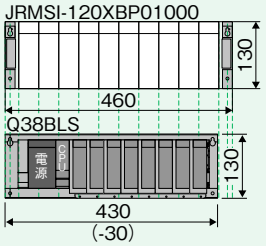
右寄せ設置の場合



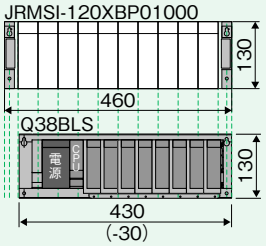
(3) JRMSI-120XBP01000 ⇒ Q38BLS / Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

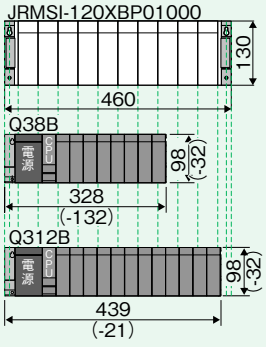


右寄せ設置の場合

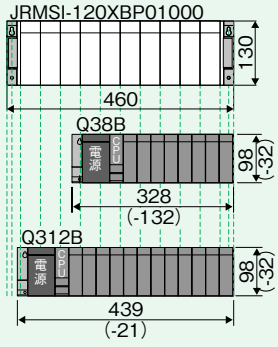


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



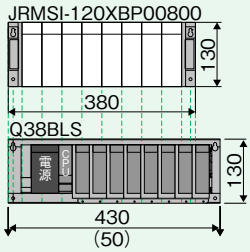
右寄せ設置の場合



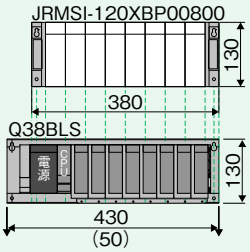
(4) JRMSI-120XBP00800 ⇒ Q38BLS / Q35B、Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

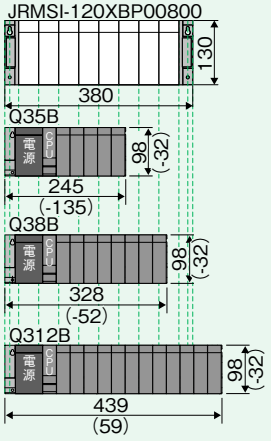


右寄せ設置の場合

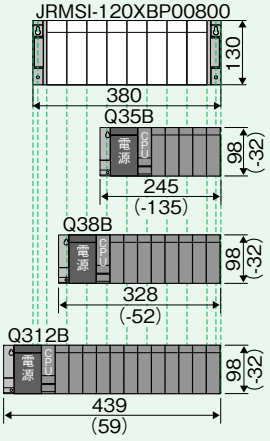


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



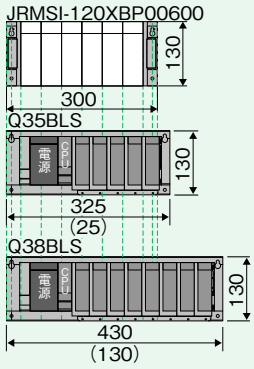
右寄せ設置の場合



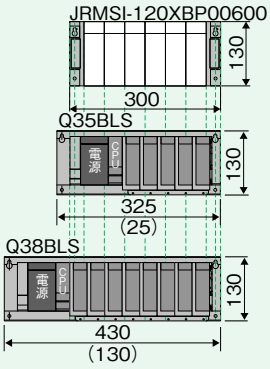
(5) JRMSI-120XBP00600 ⇒ Q35BLS、Q38BLS / Q35B、Q38B、Q312B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

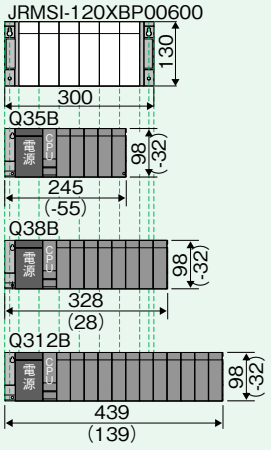


右寄せ設置の場合

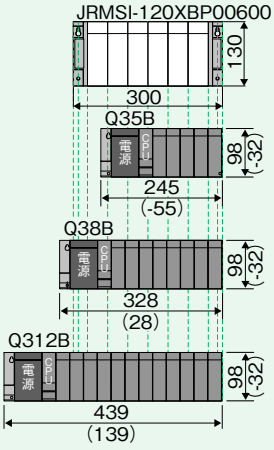


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合

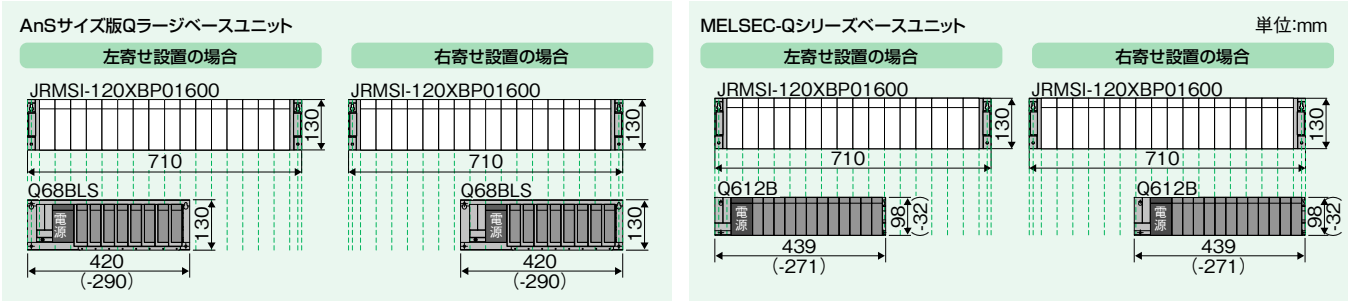


右寄せ設置の場合

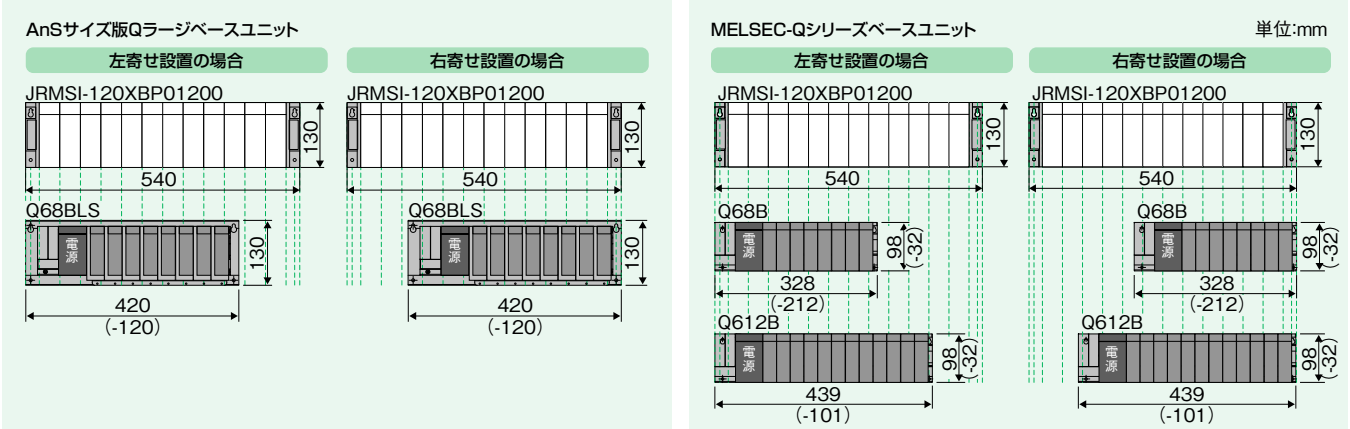


増設ベースユニットを使用する場合

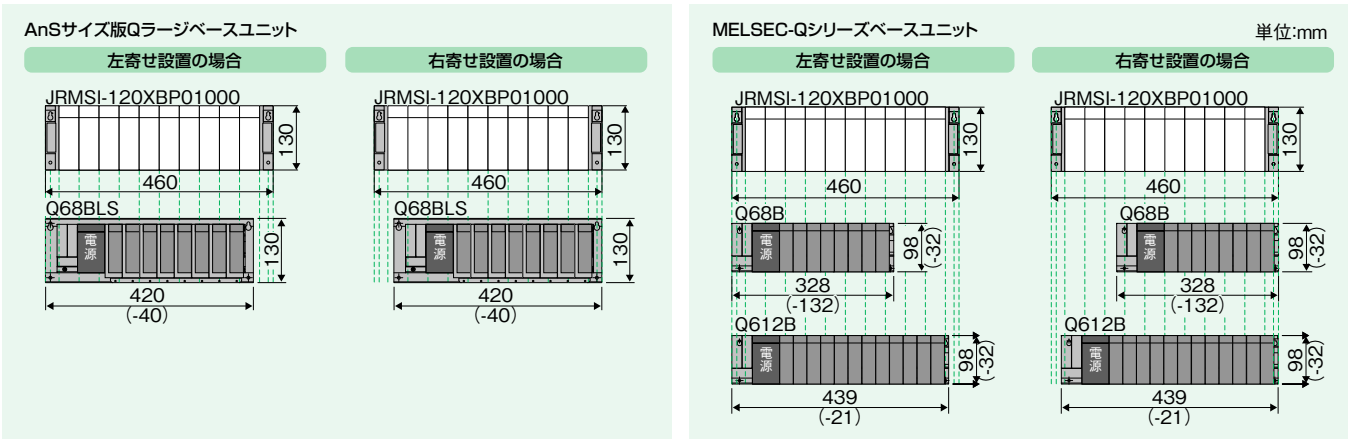
(1) JRMSI-120XBP01600 ⇒ Q68BLS / Q612B



(2) JRMSI-120XBP01200 ⇒ Q68BLS / Q68B、Q612B



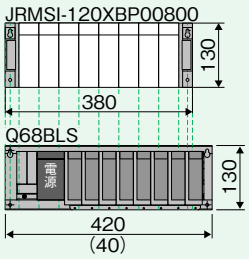
(3) JRMSI-120XBP01000 ⇒ Q68BLS / Q68B、Q612B



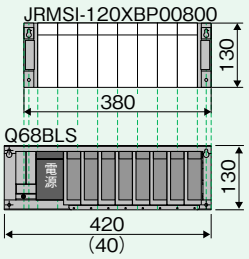
(4) JRMSI-120XBP00800 ⇒ Q68BLS / Q65B、Q68B、Q612B、Q55B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

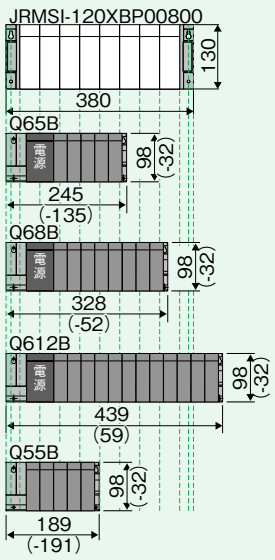


右寄せ設置の場合

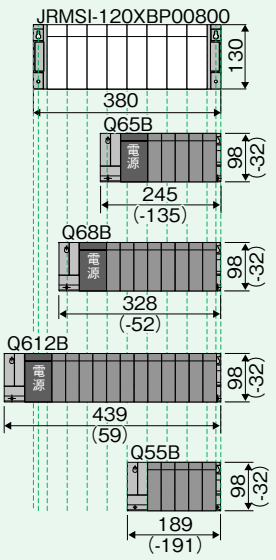


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



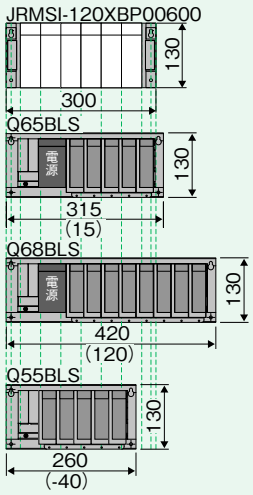
右寄せ設置の場合



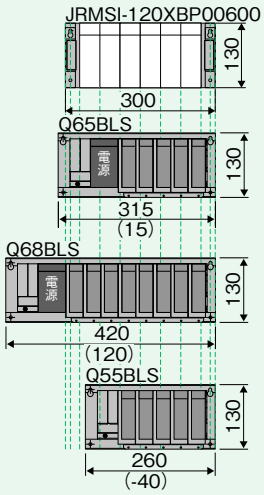
(5) JRMSI-120XBP00600 ⇒ Q65BLS、Q68BLS、Q55BLS / Q65B、Q68B、Q612B、Q55B

AnSサイズ版Qラージベースユニット

左寄せ設置の場合

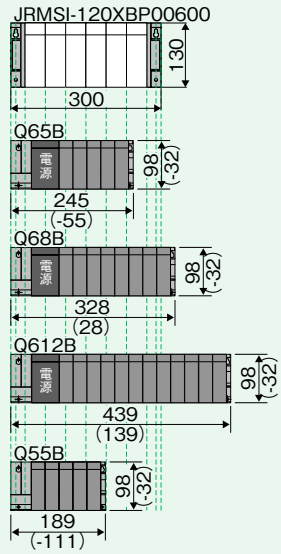


右寄せ設置の場合

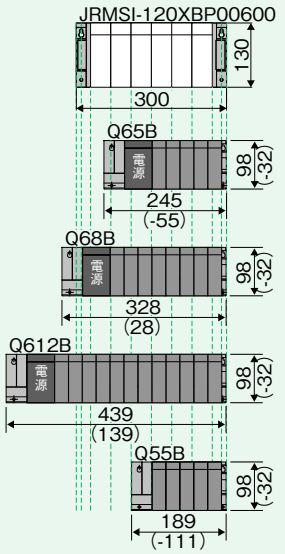


MELSEC-Qシリーズベースユニット　単位:mm

左寄せ設置の場合



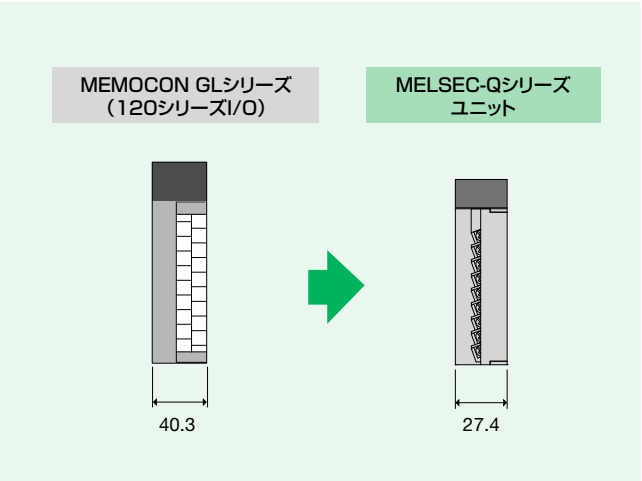
右寄せ設置の場合



ご使用上の注意点

ユニット幅

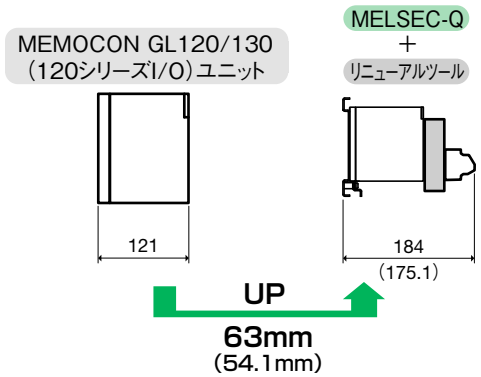
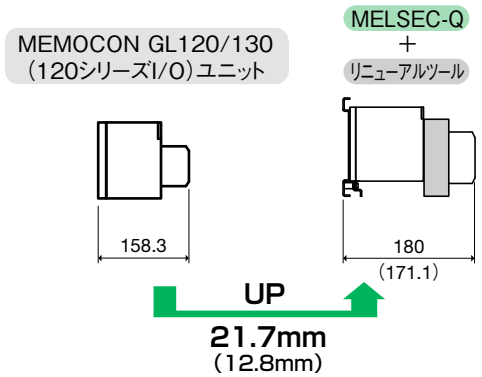
ユニット幅が小さくなり（40.3mm→27.4mm）端子台へ配線領域が小さくなるため、取付け時に確認してください。
装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるもしくは、1スロット分空け配線領域を確保してください。



奥行き

取付けについては、下記の通り寸法が大きくなるため、制御盤の奥行き・高さ寸法に注意が必要となります。
また、三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニットを使用しない場合はカッコ内の数値（8.9mm小さい値）となります。

MELSEC-Q :MELSEC-Qシリーズ

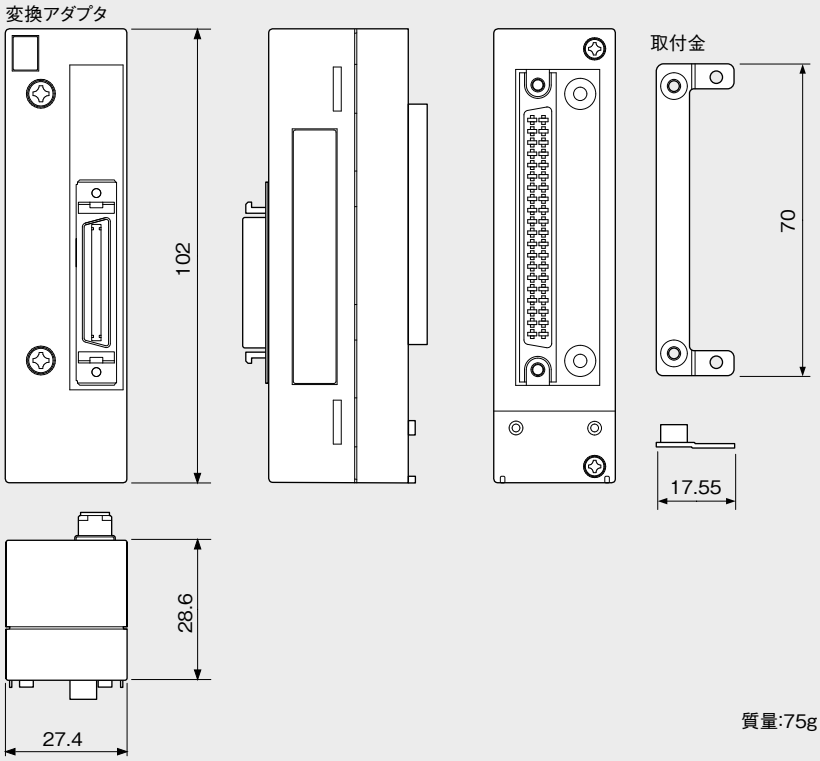
変換アダプタ	ERNT-2YQ35400 ERNT-2YQ35410	ERNT-2YQ36400 ERNT-2YQ36410
寸法 奥行き	63mm （54.1mm）	180mm （12.8mm）
取付図		

外形寸法図

変換アダプタ

形名:
ERNT-2YQ35400
ERNT-2YQ35410

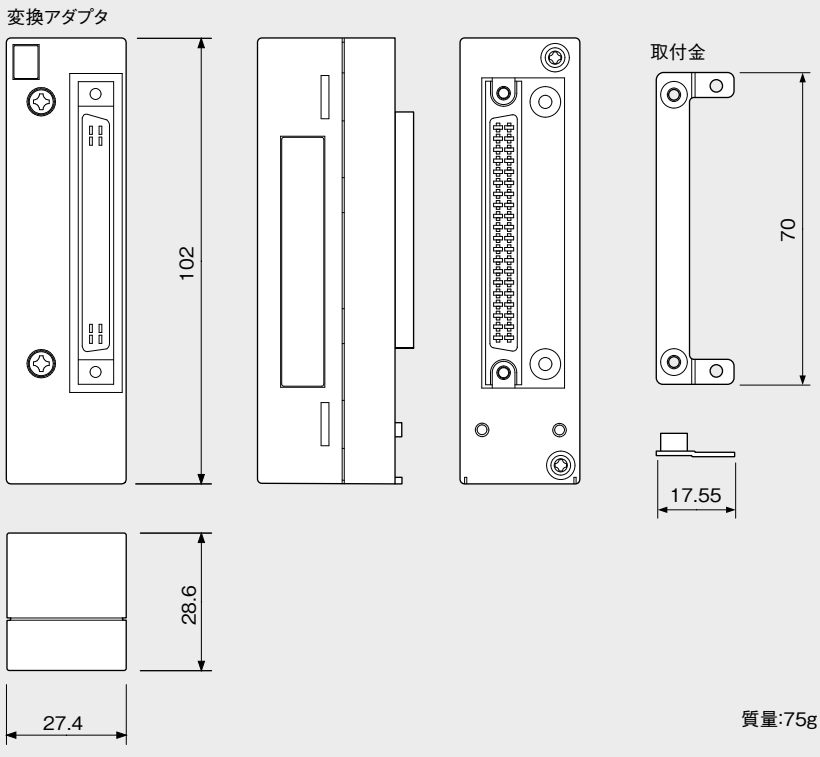
単位:mm



質量:75g

形名:
ERNT-2YQ36400
ERNT-2YQ36410

単位:mm



質量:75g

Memo

他社 Q series 他社PLC／MELSEC-Qシリーズ リニューアルツール「ユニバーサル変換アダプタ」

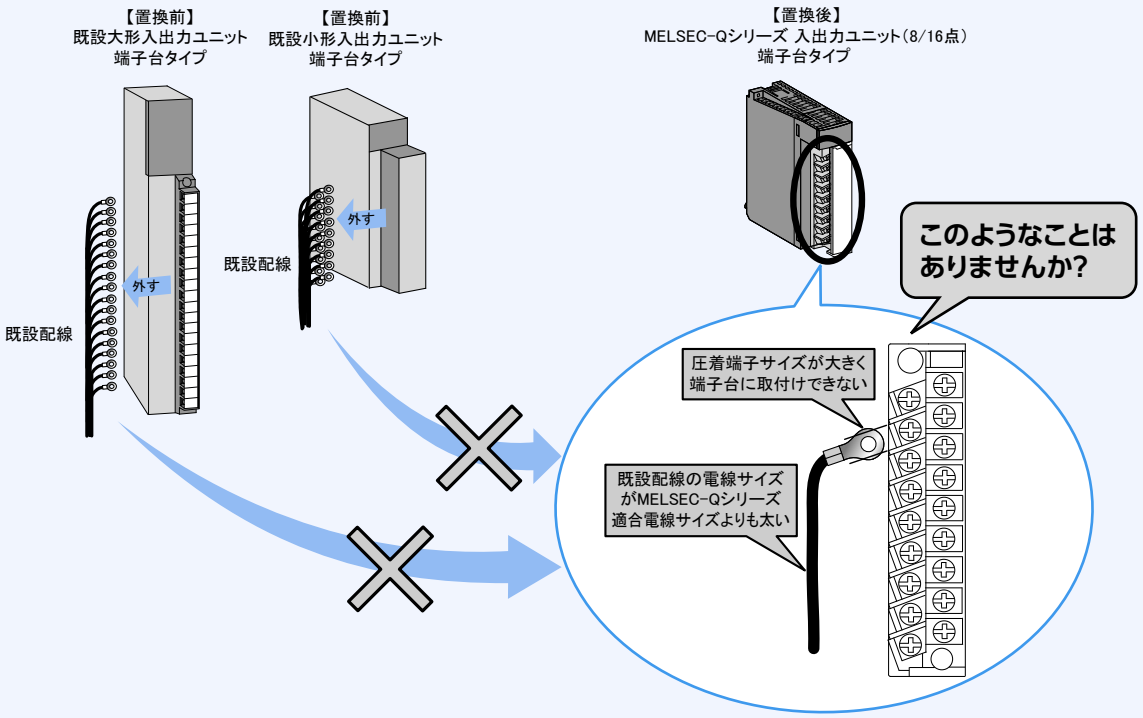
他社PLCからMELSEC-Qシリーズへリニューアルする場合

■ユニバーサル変換アダプタ

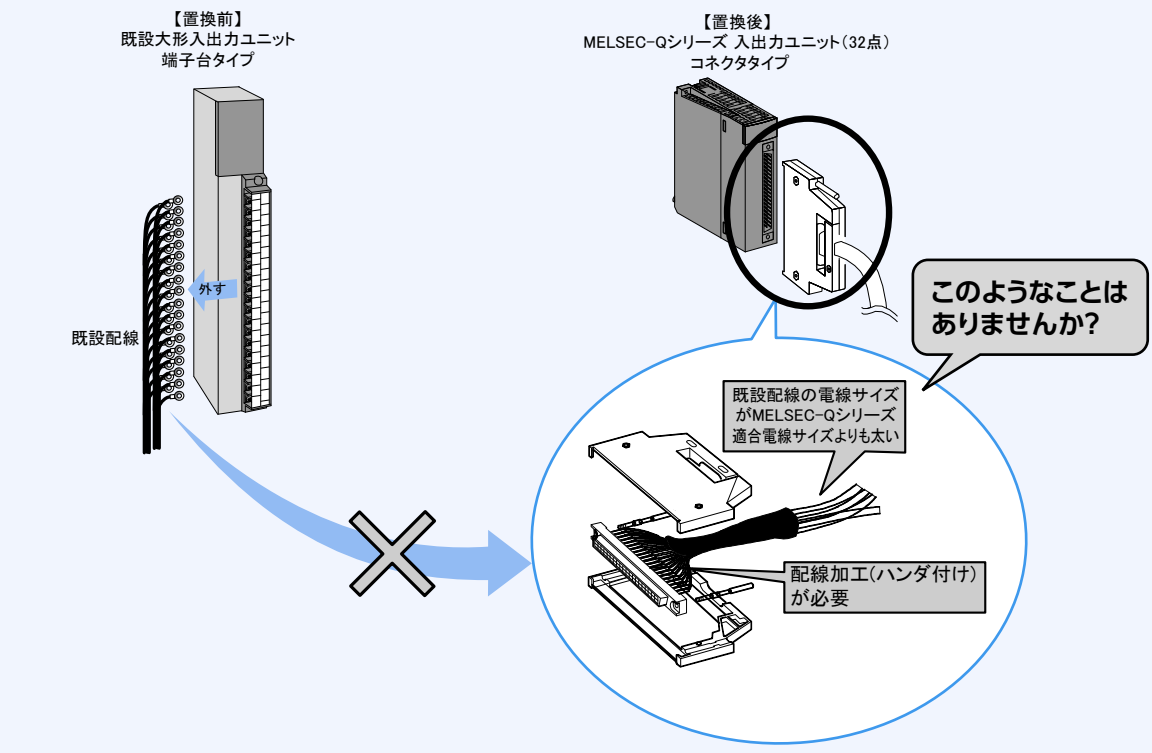
ユニバーサル変換アダプタを使用することにより、他社PLCから三菱電機株式会社製MELSEC-Qシリーズへの置換え時、入力／出力ユニット（端子台タイプ）の再配線作業を負担軽減できます。

製品の概要

●他社PLC（端子台タイプ）からMELSEC-Qシリーズ（端子台タイプ）に置換えたいけど…



●他社PLC（端子台タイプ）からMELSEC-Qシリーズ（コネクタタイプ）に置換えたいけど…



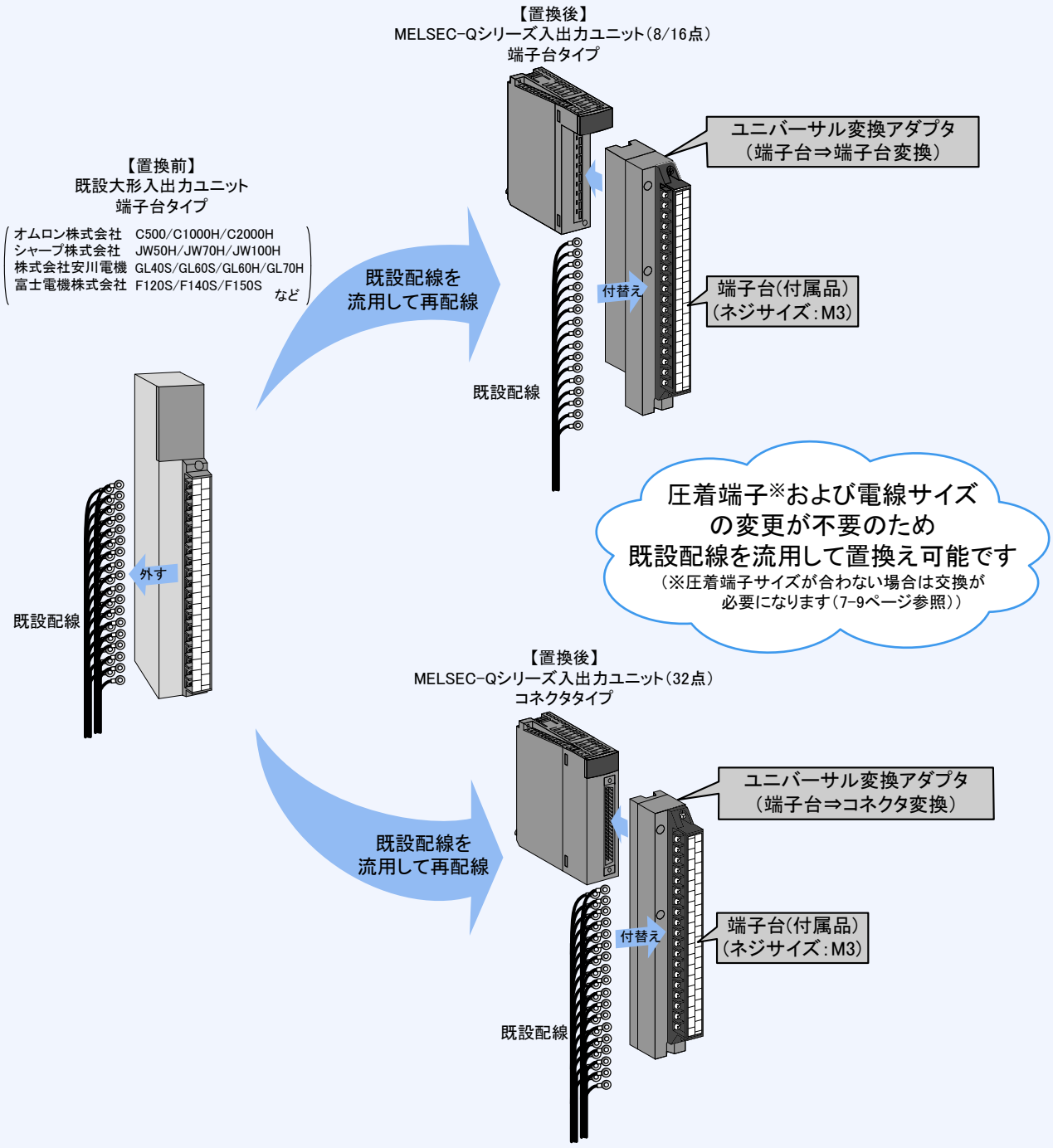
このようなとき「ユニバーサル変換アダプタ」の活用をご検討ください

既設接続機器の仕様がMELSEC-Qシリーズ入出力ユニットの仕様を満足していれば、置換前PLCメーカに関係なく置換えにご使用いただけます!

なお本製品（ユニバーサル変換アダプタ）は、お客様による再配線（端子台への既設配線付け替え）を前提とした製品となります。

他社PLCから三菱電機MELSEC-Qシリーズへ置換え時のお悩みを解消します!

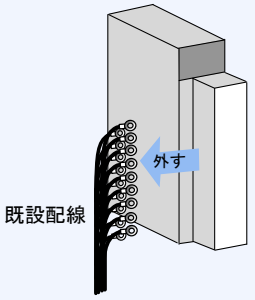
他社PLC(大形)からMELSEC-Qシリーズに置換える場合



他社PLC(小形)からMELSEC-Qシリーズに置換える場合

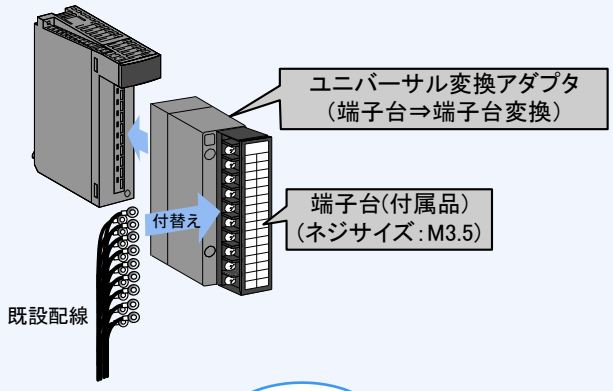
【置換前】
既設小形入出力ユニット
端子台タイプ

（オムロン株式会社　C200H/C200HS/C200HX/C200HE/C200HG
シャープ株式会社　JW20H/JW30H/JW300
富士電機株式会社 F55/F70　など）



既設配線を
流用して再配線

【置換後】
MELSEC-Qシリーズ入出力ユニット(8/16点)
端子台タイプ



圧着端子※および電線サイズ
の変更が不要のため
既設配線を流用して置換え可能です
（※圧着端子サイズが合わない場合は交換が
必要になります(7-9ページ参照)）

さらにユニバーサル変換アダプタを使用して…

●今まで変換アダプタを使用して置換えできなかった「MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズ」「MELSEC-AnSシリーズ/MELSEC-Qシリーズ」「SYSMAC Cシリーズ/MELSEC-Qシリーズ」の変換アダプタ未対応ユニットの置換えに活用いただけます。
●8点/1コモンに分離して使用されている既設の接続機器をコモン分離ユニット「QX40H/QX70H/QX80H/QX90H」への置換えに活用いただけます。

MELSEC-Aシリーズ／MELSEC-Qシリーズ
〈変換アダプタ未対応ユニット〉

入力／出力	置換前MELSEC-Aシリーズユニット			置換後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕様(※)	点　数	形　名	仕様(※)	点　数	必要台数
入力	AX20(-UL)	AC200-240V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台
	AX21(EU)		32点	QX28			4台
	AX80	DC12/24V ソース	16点	QX70	DC5/12V プラス/マイナスコモン	16点	1台
	AX80E		16点	QX70			1台
	AX81	DC12/24V ソース	32点	QX71	DC5/12V プラス/マイナスコモン	32点	1台
	AX81-S1	DC12/24V シンク/ソース	32点	QX71			1台
	AX31	DC12/24V AC12/24V	32点	QX41	DC24V	32点	1台
				QX71	DC12V	32点	1台
出力	AY20EU	AC100-240V	16点	QY22	AC100-240V	16点	1台
	AY40A	DC12/24V 0.3A 独立	16点	QY68A	DC5-24V 2A 独立	8点	2台
	AY60	DC24V/(12/48V) 2A	16点	QY68A			2台
	AY60E		16点	QY68A			2台
	AY60EP	DC12/24V 2A	16点	QY68A			2台
	AY60S(-UL)	DC24/48V/(12V) 2A	16点	QY68A			2台
	AY15EU	AC240V 2A	24点	QY10	AC240V 2A	16点	2台

※入力仕様:シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン

〈コモン分離ユニット〉

入力／出力	置換前MELSEC-Aシリーズユニット			置換後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕様(※)	点　数	形　名	仕様(※)	点　数	必要台数
入力	AX40(-UL)	DC12/24V シンク 8点/コモン	16点	QX40H	DC24V プラスコモン 8点/コモン	16点	1台
	AX70(-UL)	DC5/12/24V シンク/ソース 8点/コモン	16点	QX70H	DC5V プラスコモン 8点/コモン	16点	1台
				QX90H	DC5V マイナスコモン 8点/コモン	16点	1台
	AX80(-UL)	DC12/24V ソース 8点/コモン	16点	QX80H	DC24V マイナスコモン 8点/コモン	16点	1台
	AX80E						

※入力仕様:シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン

MELSEC-AnSシリーズ／MELSEC-Qシリーズ
〈変換アダプタ未対応ユニット〉

入力／出力	置換前MELSEC-AnSシリーズユニット			置換後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕様(※)	点　数	形　名	仕様(※)	点　数	必要台数
入力	A1SX30	DC12/24V AC12/24V	16点	QX40	DC24V プラスコモン	16点	1台
出力	A1SY14EU	DC24V/AC240V	12点	QY10	DC24V/AC240V	16点	1台
出力 ☆	A1SY18A(EU)	DC24V/AC240V	8点	QY18A	DC24V/AC240V	8点	1台
☆	A1SY68A	DC5/12/24/48V シンク/ソース	8点	QY68A	DC5-24V シンク/ソース	8点	1台
複合入出力	A1SX48Y58	入力 DC24V シンク 出力 DC12/24V シンク	入力8点 出力8点	QX48Y57	入力 DC24V プラスコモン 出力 DC12-24V シンク	入力8点 出力7点	1台
	A1SX48Y18	入力 DC24V シンク 出力 DC24V/AC240V	入力8点 出力8点	QX40+QY10	入力 DC24V プラスコモン 出力 DC24V/AC240V	入力16点 出力16点	1台+1台

※入力仕様:シンク=プラスコモン
☆ユニバーサル変換アダプタに付属の端子台への再配線は不要で、既設の端子台をユニバーサル変換アダプタに取付可能です。(ただし、標準ベースユニットの場合、端子台に付属のカバーは使用します。)

SYSMAC Cシリーズ／MELSEC-Qシリーズ
〈変換アダプタ未対応ユニット〉

入力／出力	置換前SYSMAC Cシリーズユニット			置換後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕様(※)	点　数	形　名	仕様(※)	点　数	必要台数
入力	C500-IA222	AC200-240V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台
	C500-IA223	AC200-240V	32点	QX28	AC100-240V	8点	4台
出力	C500-OC223	DC24V/AC250V 独立	16点	QY18A	DC24/AC240V 独立	8点	2台
	C500-OD215	DC24V シンク 独立	16点	QY68A	DC5-24V シンク/ソース 独立	8点	2台
	C500-OD212	DC12-24V ソース	32点	QY81P	DC12-24V ソース	32点	1台
	C500-OA223	AC250V	24点	QY22	AC100-240V	16点	2台

※入力仕様:シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン

〈コモン分離ユニット〉

入力／出力	置換前SYSMAC Cシリーズユニット			置換後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕様(※)	点　数	形　名	仕様(※)	点　数	必要台数
入力	C500-ID112	DC5-12V シンク 8点/コモン	16点	QX70H	DC5V プラスコモン 8点/コモン	16点	1台
	C500-ID213	DC12-24V シンク 8点/コモン	16点	QX40H	DC24V プラスコモン 8点/コモン	16点	1台

※入力仕様:シンク=プラスコモン

SYSMAC Cシリーズ(C200Hシリーズ)／MELSEC-Qシリーズ
〈変換アダプタ未対応ユニット〉

入力／出力	置換前 SYSMAC Cシリーズユニット			置換後 MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕　様	点数	形　名	仕　様	点数	必要台数
入力	C200H-IA121	AC100～120V	8点	QX10	AC100-120V	16点	1台
	C200H-IA122		16点				
	C200H-IA122V						
	C200H-IA221	AC200～240V	8点	QX28	AC100-240V	8点	1台
	C200H-IA222		16点				2台
	C200H-IA222V						
	C200H-ID001※2※3	無電圧接点入力 NPNタイプ出力用	8点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台
	C200H-ID002※2※3	無電圧接点入力 PNPタイプ出力用		QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台
	C200H-ID211※1	DC12～24V プラス/マイナス コモン共用	8点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台
				QX70	DC5/12V プラス/マイナス コモン共用	16点	1台
	C200H-ID212	DC24V プラス/マイナス コモン共用	16点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台
	C200H-IM211※1	AC/DC12～24V	8点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台
				QX70	DC5/12V プラス/マイナス コモン共用	16点	1台
	C200H-IM212	AC/DC24V	16点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台
出力	C200H-OA221	最大AC250V 1A	8点	QY22	AC100-240V	16点	1台
	C200H-OA222	最大AC250V 0.5A	12点				
	C200H-OA222V	最大AC250V 0.3A	12点				
	C200H-OA223	最大AC250V 1.2A	8点				
	C200H-OA224	最大AC250V 0.5A	12点				
	C200H-OC221※1	最大AC250V/DC24V 2A	8点	QY10	AC240V DC24V	16点	1台
	C200H-OC222		12点				
	C200H-OC222N						
	C200H-OC222V						
	C200H-OC225		16点				
	C200H-OC226						
	C200H-OC226N						
	C200H-OC223	最大AC250V/DC24V 2A 独立接点	5点	QY18A	AC240V DC24V 独立	8点	1台
	C200H-OC224		8点				
	C200H-OC224N						
	C200H-OC224V						
	C200H-OD411※1	DC12～48V 1A シンク	8点	QY40P	DC12-24V シンク	16点	1台
	C200H-OD211	DC24V 0.3A シンク	12点				
	C200H-OD212		16点				
	C200H-OD213※1	DC24V 2.1A シンク	8点				
	C200H-OD214	DC24V 0.8A ソース	8点	QY80	DC12-24V ソース	16点	1台
	C200H-OD216	DC5～24V 0.3A ソース	8点				
	C200H-OD217		12点				
	C200H-OD21A	DC24V 1A ソース	16点				

※1：DC24V/8点/プラスコモンの入力ユニット、およびDC12-24V/8点/シンクタイプの出力ユニットを使用の場合は、QX48Y57への置換えをご検討ください。
※2：配線側にて5Vまたは12Vの追加電源入力が必要です。
※3：DC5Vまたは12Vで使用する場合は、QX70（プラス/マイナスコモン共用）への置換えをご検討ください。

SYSMAC Cシリーズ(CSシリーズ)／MELSEC-Qシリーズ
〈変換アダプタ未対応ユニット〉

入力/出力	置換前SYSMAC Cシリーズユニット			置換後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕　様	点数	形　名	仕　様	点数	必要台数
入力	CS1W-IA111	AC/DC100～120V	16点	QX10	AC100-120V	16点	1台
	CS1W-IA211	AC200～240V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台
	CS1W-ID211	DC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	QX40、QX40-S1、QX40H	DC24V プラスコモン	16点	1台
				QX80、QX80H	DC24V マイナスコモン	16点	1台
出力	CS1W-OC201	AC250V/DC24V 2A、DC120V 0.1A 独立接点	8点	QY18A	AC240V DC24V 独立	8点	1台
	CS1W-OC211	AC250V/DC24V 2A、DC120V 0.1A	16点	QY10	AC240V DC24V	16点	1台
	CS1W-OA201	AC250V 1.2A	8点	QY22	AC100-240V	16点	1台
	CS1W-OA211	AC250V 0.5A	16点				
	CS1W-OD211	DC12～24V 0.5A シンク	16点	QY40P	DC12-24V シンク	16点	1台
	CS1W-OD212	DC24V 0.5A ソース	16点	QY80	DC12-24V ソース	16点	1台

ニューサテライトJWシリーズ大形／MELSEC-Qシリーズ

〈変換アダプタ未対応ユニット〉

入力／出力	置換前ニューサテライトJWシリーズ大形ユニット			置換後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕様(※)	点　数	形　名	仕様(※)	点　数	必要台数
入力	JW-13N	AC200-240V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台
出力	JW-35S	DC12/24V ソース	32点	QY81P	DC12/24V ソース	32点	1台
アナログ出力	JW-2DA	DC0～±10V, DC0～±20mA 11ビット符号付バイナリ	2 チャンネル	Q62DAN	DC-10～+10V, DC0～20mA 16ビット符号付バイナリ	2 チャンネル	1台
高速カウンタ入力	JW-2HC	50/20/15/8kpps 24ビットバイナリ	2 チャンネル	QD62	200/100/10kpps 32ビットバイナリ	2 チャンネル	1台

※入力仕様:ソース=マイナスコモン

〈コモン分離ユニット〉

入力／出力	置換前ニューサテライトJWシリーズ大形ユニット			置換後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕様(※)	点　数	形　名	仕様(※)	点　数	必要台数
入力	JW-12N	DC12/24V、AC24V プラス/マイナスコモン共用	16点	QX40H	DC24V プラスコモン 8点/コモン	16点	1台
				QX80H	DC24V マイナスコモン 8点/コモン	16点	1台
	JW-32N	DC12/24V、AC24V プラス/マイナスコモン共用	32点	QX40H	DC24V プラスコモン 8点/コモン	16点	2台
				QX80H	DC24V マイナスコモン 8点/コモン	16点	2台
	JW-34N	DC12/24V プラス/マイナスコモン共用	32点	QX40H	DC24V プラスコモン 8点/コモン	16点	2台
				QX80H	DC24V マイナスコモン 8点/コモン	16点	2台

※入力仕様:シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン

ニューサテライトJWシリーズ小形／MELSEC-Qシリーズ

〈変換アダプタ未対応ユニット〉

入力／出力	置換前ニューサテライトJWシリーズ小形ユニット			置換後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕様(※)	点　数	形　名	仕様(※)	点　数	必要台数
入力	JW-203N	AC200/240V	8点	QX28	AC100-240V	8点	1台
	JW-201N	AC100/120V	8点	QX28	AC100-240V	8点	1台
	JW-202N	DC12/24V	8点	QX40,QX40-S1	DC24V プラスコモン	16点	1台
				QX70	DC12V プラスコモン	16点	1台
出力	JW-203S	AC100/120V	8点	QY22	AC100-240V	16点	1台
	JW-204S JW-204SA	AC250V/DC30V 2A 独立	8点	QY18A	AC240V/DC24V 2A 独立	8点	1台
	JW-202S	DC5/12/24V シンク	8点	QY68A	DC5-24V 2A 独立	8点	1台
	JW-215SA	DC5/12/24V ソース	16点	QY80P	DC12/24V ソース	16点	1台
アナログ入力	JW-24AD	DC0～±10V, DC0～±20mA 13ビット符号付バイナリ	4 チャンネル	Q64AD	DC-10～0～+10V, DC0～20mA 16ビット符号付バイナリ	4 チャンネル	1台
アナログ出力	JW-222DA	DC0～±10V, DC0～±20mA 15ビット符号付バイナリ	2 チャンネル	Q62DAN	DC-10～+10V, DC0～20mA 16ビット符号付バイナリ	2 チャンネル	1台

※入力仕様:シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン

〈コモン分離ユニット〉

入力／出力	置換前ニューサテライトJWシリーズ大形ユニット			置換後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕様(※)	点　数	形　名	仕様(※)	点　数	必要台数
入力	JW-212N JW-212NA JW-214N JW-214NA	DC12/24V プラス/マイナスコモン共用	16点	QX40H	DC24V プラスコモン 8点/コモン	16点	1台
				QX80H	DC24V マイナスコモン 8点/コモン	16点	1台

※入力仕様:シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン

MEMOCON-SC GLシリーズ大形(2000シリーズI/O)／MELSEC-Qシリーズ

〈変換アダプタ未対応ユニット〉

入力／出力	置換前MEMOCON-SC GLシリーズ大形(2000シリーズI/O)ユニット			置換後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕様(※)	点　数	形　名	仕様(※)	点　数	必要台数
入力	JAMSC-B2503A	AC200V	16点	QX28	AC100-240V	8点	2台
	JAMSC-B2507A	AC200V	32点	QX28	AC100-240V	8点	4台
出力	JAMSC-B2912	AC100/200V　DC24V	32点	QY10	AC100-200V　DC24V	16点	2台
	JAMSC-B2624	DC5V シンク	64点	QY41H	DC5/12/24V シンク	32点	2台
	JAMSC-B2630	DC12/24V ソース	16点	QY80	DC12/24V ソース	16点	1台
	JAMSC-B2632	DC12/24V ソース	32点	QY81P	DC12/24V ソース	32点	1台

※入力仕様:シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン

〈コモン分離ユニット〉

入力／出力	置換前ニューサテライトJWシリーズ大形ユニット			置換後MELSEC-Qシリーズユニット			
	形　名	仕様(※)	点　数	形　名	仕様(※)	点　数	必要台数
入力	JAMSC-B2601	DC12/24V プラス/マイナスコモン共用	16点	QX40H	DC24V プラスコモン 8点/コモン	16点	1台
				QX80H	DC24V マイナスコモン 8点/コモン	16点	1台
	JAMSC-B2603	DC12/24V プラス/マイナスコモン共用	32点	QX40H	DC24V プラスコモン 8点/コモン	16点	2台
				QX80H	DC24V マイナスコモン 8点/コモン	16点	2台

※入力仕様:シンク=プラスコモン、ソース=マイナスコモン

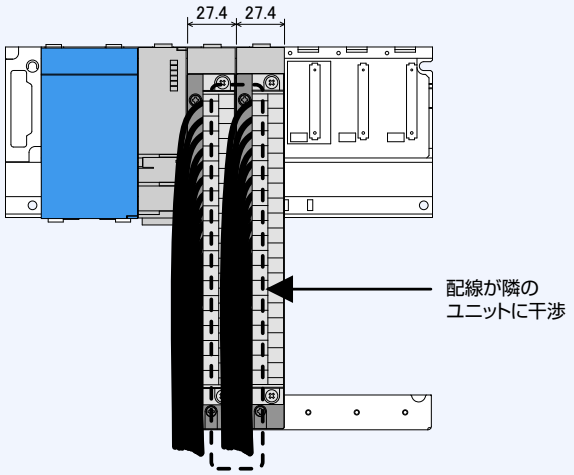
ポイント　MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続機器、設備の仕様を満足することを確認してください。

三菱電機株式会社製Qラージ／AnS サイズ版Qラージベースユニットの活用

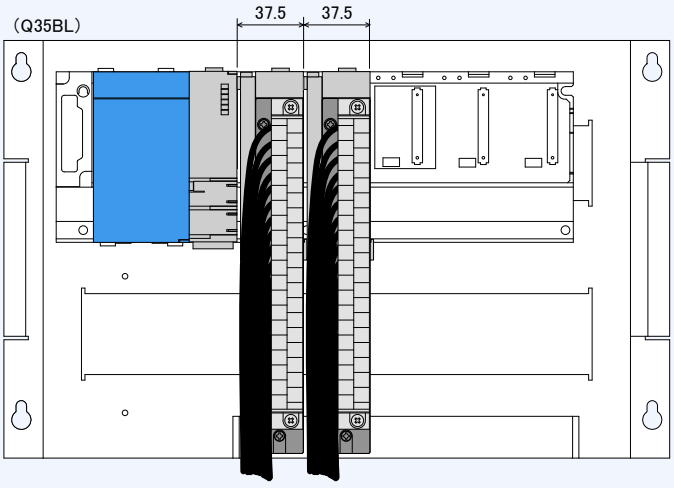
MELSEC-Qシリーズでは入出力ユニットの幅が27.4mmになります。
既設ユニット幅より小さくなり配線領域が確保できず、配線が隣のユニットに干渉する場合、三菱電機株式会社製Qラージベースユニット（Q□□BL）およびAnSサイズ版Qラージベースユニット（Q□□BLS、Q□□BLS-D）を使用することにより、配線領域が大きくなり干渉を軽減できます。

ユニバーサル変換アダプタ（大形）

Qベースユニット

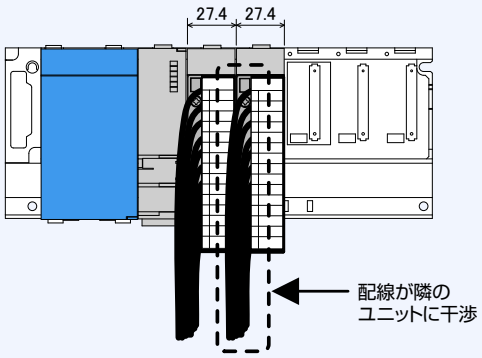


Qラージベースユニット（Q□□BL）

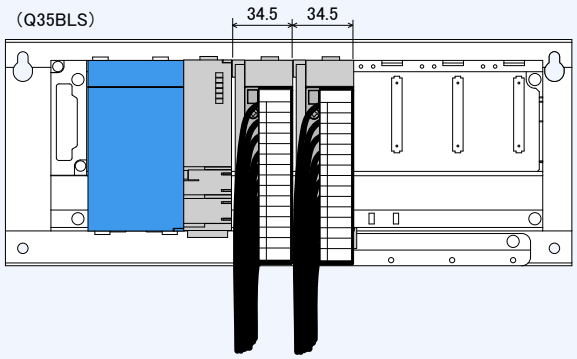


ユニバーサル変換アダプタ（小形）

Qベースユニット



AnSサイズ版Qラージベースユニット（Q□□BLS、Q□□BLS-D）



Qラージベースユニット一覧

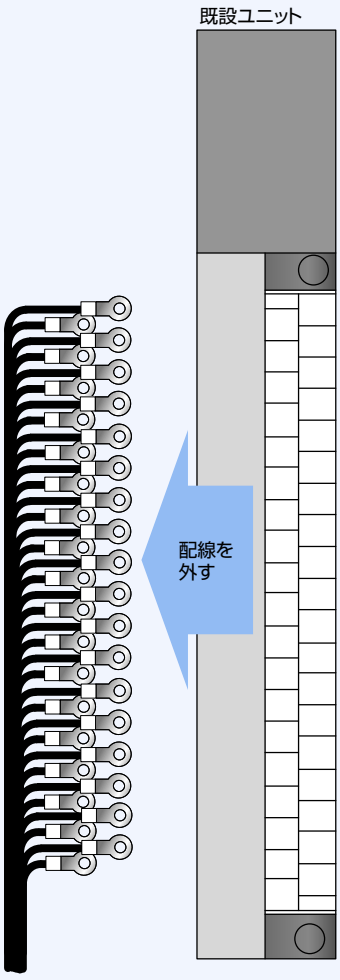
基本/増設	Qラージベースユニット形名
基本	Q35BL
	Q38BL
増設	Q65BL
	Q68BL
	Q55BL

AnSサイズ版Qラージベースユニット一覧

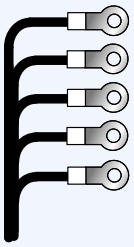
基本/増設	Qラージベースユニット形名	
	盤面取付タイプ	DIN レール取付タイプ
基本	Q35BLS	Q35BLS-D
	Q38BLS	Q38BLS-D
増設	Q65BLS	Q65BLS-D
	Q68BLS	Q68BLS-D
	Q55BLS	Q55BLS-D

置換えの流れ

①既設ユニットの端子台から既設配線を外す



②圧着端子を確認

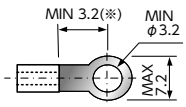


・圧着端子の寸法を確認します。
・適合圧着端子以外は変更が必要です。

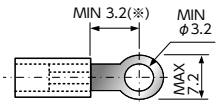
大形用ユニバーサル変換アダプタ

●適合圧着端子　単位：mm

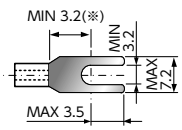
丸形裸圧着端子



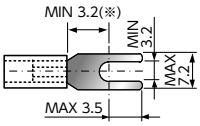
丸形絶縁付圧着端子



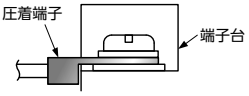
Y形裸圧着端子



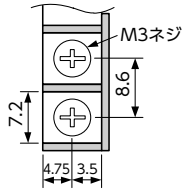
Y形絶縁付圧着端子



※圧着端子を右図のように裏返し状態で取付ける場合「MIN 4.75」となります。



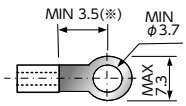
●端子台形状　単位：mm



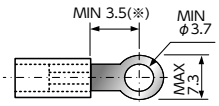
小形用ユニバーサル変換アダプタ

●適合圧着端子　単位：mm

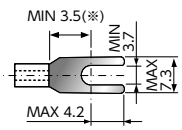
丸形裸圧着端子



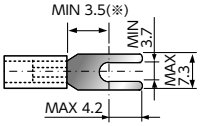
丸形絶縁付圧着端子



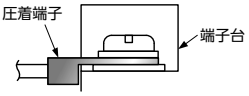
Y形裸圧着端子



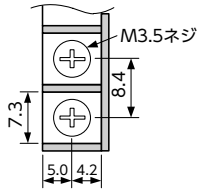
Y形絶縁付圧着端子



※圧着端子を右図のように裏返し状態で取付ける場合「MIN 5.0」となります。



●端子台形状　単位：mm



③ユニバーサル変換アダプタの端子台に既設配線を付け替え

使用する各MELSEC-Qシリーズユニットの外部接続図を確認の上、ユニバーサル変換アダプタの端子台に既設配線を付替えます。

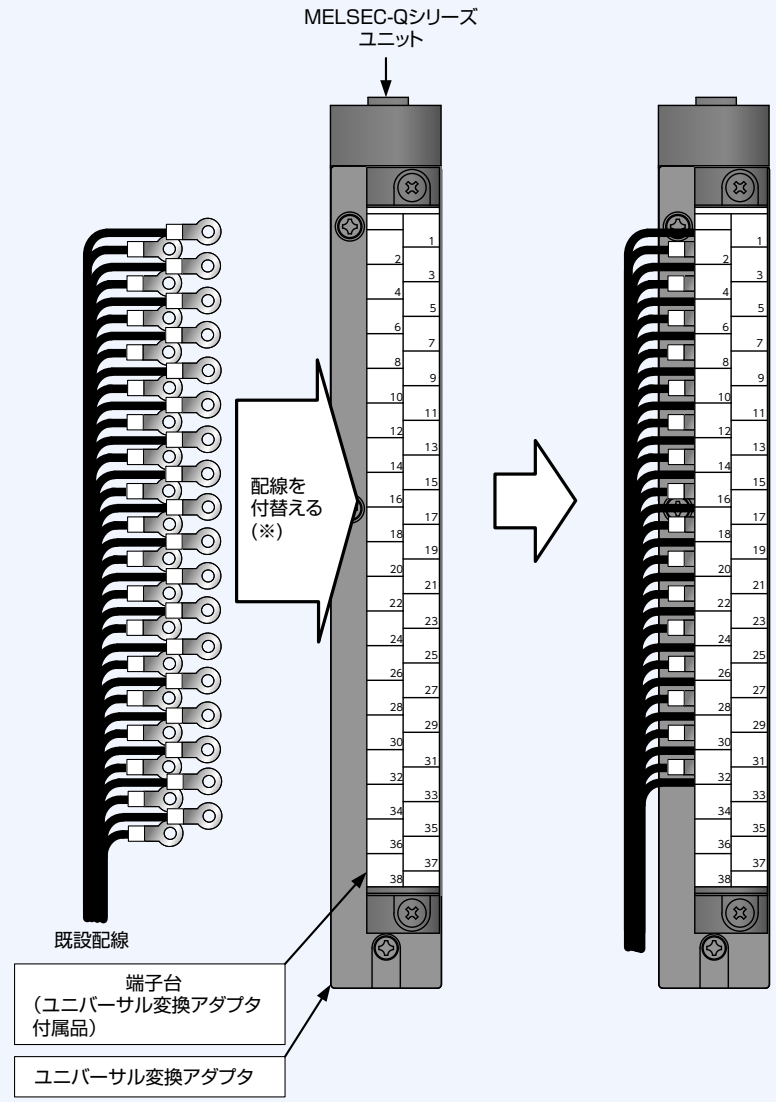
外部接続図(例)

端子台

TB1	X00
TB2	X01
TB3	X02
TB4	X03
TB5	X04
TB6	X05
TB7	X06
TB8	X07
TB9	X08
TB10	X09
TB11	X0A
TB12	X0B
TB13	X0C
TB14	X0D
TB15	X0E
TB16	X0F
TB17	X10
TB18	X11
TB19	X12
TB20	X13
TB21	X14
TB22	X15
TB23	X16
TB24	X17
TB25	X18
TB26	X19
TB27	X1A
TB28	X1B
TB29	X1C
TB30	X1D
TB31	X1E
TB32	X1F
TB33	COM
TB34	アキ
TB35	アキ
TB36	アキ
TB37	アキ
TB38	アキ

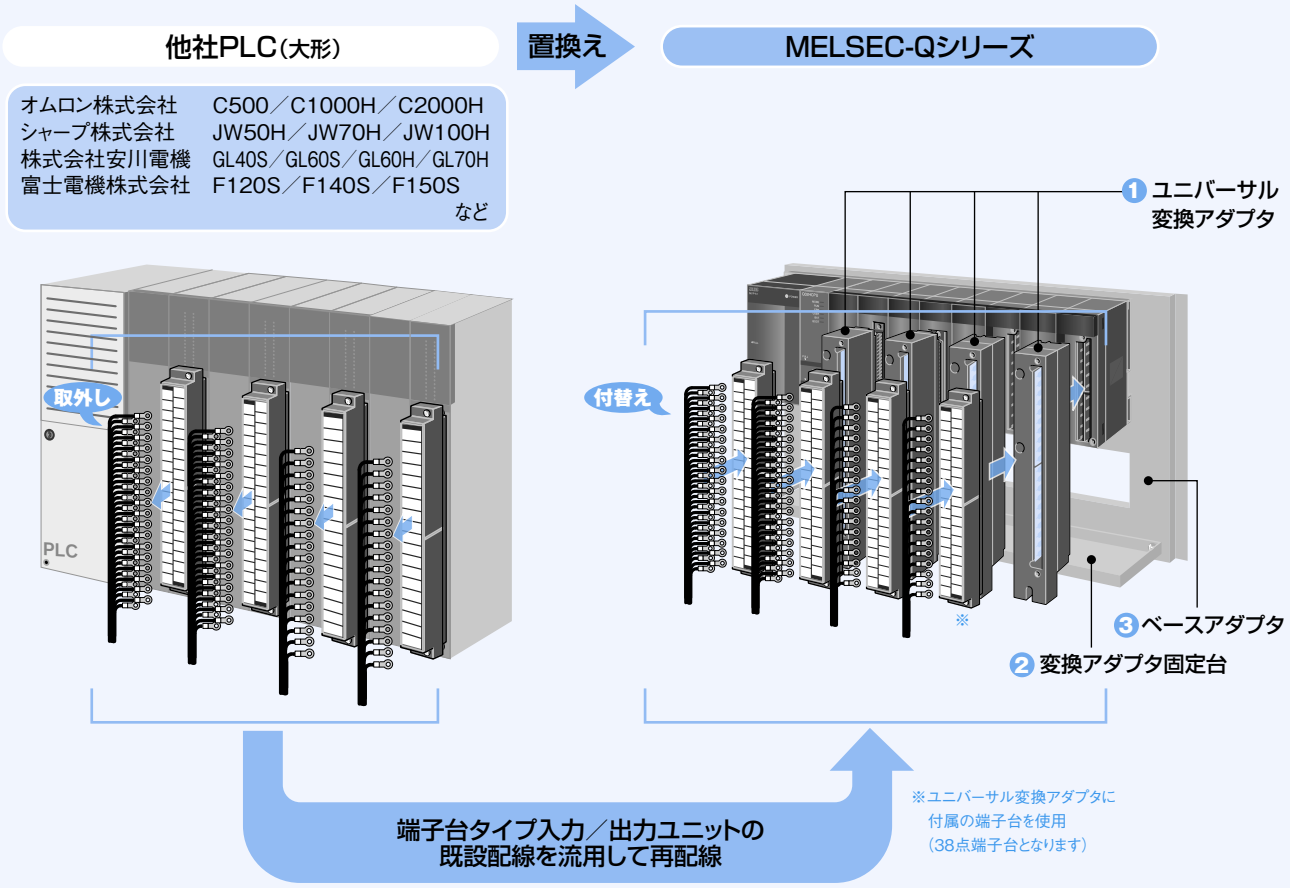
DC24V

端子番号	信号名
TB1	X00
TB2	X01
TB3	X02
TB4	X03
TB5	X04
TB6	X05
TB7	X06
TB8	X07
TB9	X08
TB10	X09
TB11	X0A
TB12	X0B
TB13	X0C
TB14	X0D
TB15	X0E
TB16	X0F
TB17	X10
TB18	X11
TB19	X12
TB20	X13
TB21	X14
TB22	X15
TB23	X16
TB24	X17
TB25	X18
TB26	X19
TB27	X1A
TB28	X1B
TB29	X1C
TB30	X1D
TB31	X1E
TB32	X1F
TB33	COM
TB34	アキ
TB35	アキ
TB36	アキ
TB37	アキ
TB38	アキ



※置換え後の配線は、ユニバーサル変換アダプタを使用した際の端子番号・信号名に合わせて接続してください。
※8点/1コモン→16点/1コモンに変更になるなど1コモンあたりの点数の違いにより、接続機器(スイッチなど)側の接続変更が必要になる場合があります。
※接続不要となった配線の処理は、アキ端子に接続または絶縁処理を行ってください。

他社PLC(大形)からMELSEC-Qシリーズへの置換えイメージ



1 ユニバーサル変換アダプタ(大形)

7-15

MELSEC-Qシリーズユニットの信号がそのまま端子台に現れます。

2 変換アダプタ固定台

7-29

変換アダプタの下部を固定します。
ただし盤面へ取付けるためのネジ穴加工(M4ネジ2ヶ所)が必要となります。なおベースアダプタを使用される場合、ネジ穴加工は不要です。

3 ベースアダプタ

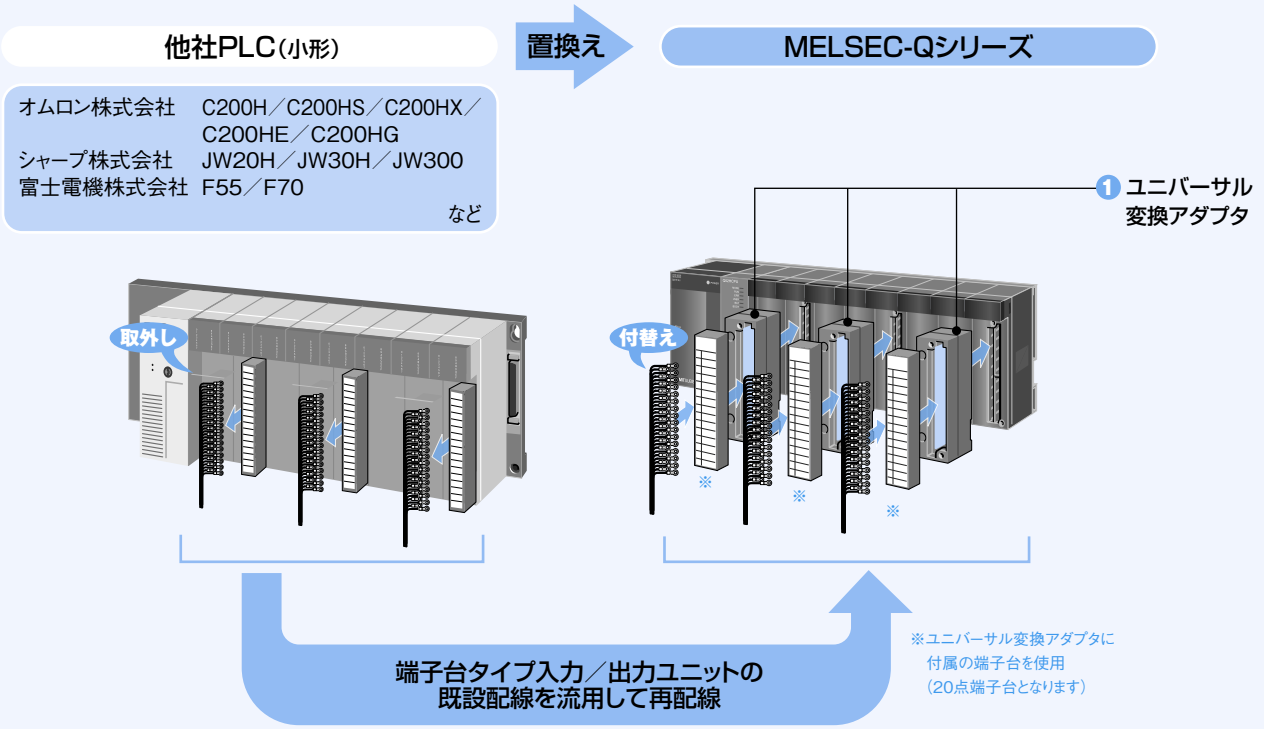
7-31

MELSEC-Qシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台をネジ穴加工(6ヶ所)なしで同時に設置することができます。
ただし盤面へ取付けるためのネジ穴加工(M5ネジ)および取付M5ネジ4本(お客様手配)必要となります。

ポイント

ユニバーサル変換アダプタ(大形)は、MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズリニューアルツールによる置換えシステム、SYSMAC Cシリーズ(大形)/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールによる置換えシステム、ニューサテライトJWシリーズ(大形)/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールによる置換えシステムおよびMEMOCON-SC GLシリーズ(大形)/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールによる置換えシステムに使用することができます。
また、三菱電機株式会社製Qラージベースユニット(Q□□BL)に使用できます。

他社PLC（小形）からMELSEC-Qシリーズへの置換えイメージ



1 ユニバーサル変換アダプタ（小形） 7-41

MELSEC-Qシリーズユニットの信号がそのまま端子台に現れます。

ポイント

ユニバーサル変換アダプタ（小形）は、MELSEC-AnSシリーズ/MELSEC-Qシリーズリニューアルツールによる置換えシステム、SYSMAC Cシリーズ（C200H、CSシリーズのみ）/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールによる置換えシステムおよびニューサテライトJWシリーズ（小形）/MELSEC-Qシリーズリニューアルツールによる置換えシステムによる置換えシステムに使用することができます。
また、三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニット（Q□□BLS、Q□□BLS-D）に使用できます。

他社PLC（大形）からMELSEC-Qシリーズへの置換え

機種一覧

1 ユニバーサル変換アダプタ（大形）

MELSEC-Qシリーズユニットの電気仕様が、既設接続機器の仕様を満足することを確認してください。

入力／出力ユニット用

〈1スロットタイプ〉（三菱電機株式会社製 Qラージベースユニット（Q□□BL）にも取付け可能）

入力／出力	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 付属端子台	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	掲載ページ
入力	QX10	ERNT-AQTB20	端子台（※）（38点）	端子台（18点）	7-15 7-16～7-22
	QX28				
	QX40				
	QX40-S1				
	QX40H				
	QX50				
	QX70				
	QX70H				
	QX80				
	QX80H				
	QX90H				
出力	QY10				
	QY18A				
	QY40P				
	QY50				
	QY68A				
	QY70				
	QY80				
入出力混合	QX48Y57				
出力	QY22	ERNT-AQTB20-S1	端子台（※）（38点）	端子台（18点）	7-15 7-23
入力	QX41	ERNT-AQTB38	端子台（38点）	FCNコネクタ（40P）	7-15 7-24～7-26
	QX41-S1				
	QX41-S2				
	QX71				
出力	QY41P				
	QY41H				
	QY71				
入力	QX81	ERNT-AQTB38-E	端子台（38点）	D-Subコネクタ（37P）	7-15 7-27～7-28
	QX81-S2				
出力	QY81P				

※付属端子台は38点端子台となります。

ポイント

MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズリニューアルツールによる置換えシステム、SYSMAC Cシリーズ（大形）/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールによる置換えシステム、ニューサテライトJWシリーズ（大形）/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールによる置換えシステムおよびMEMOCON-SC GLシリーズ（大形）/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールによる置換えシステムに使用することができます。

② 変換アダプタ固定台（必須）

MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールと同じ製品を使用します。
変換アダプタの下部を固定するもので、1ベースユニットあたり1個必要となります。

ご注意

●変換アダプタ固定台を盤面に取付けるためのネジ穴加工2ヶ所（M4ネジ）が必要となります。
ベースアダプタを使用される場合、ネジ穴加工は不要です。

変換アダプタ固定台形名	仕様	掲載ページ
ERNT-AQF12	12スロット分変換アダプタ固定台	7-29～7-30
ERNT-AQF8	8スロット分変換アダプタ固定台	
ERNT-AQF5	5スロット分変換アダプタ固定台	
ERNT-AQF3	3スロット分変換アダプタ固定台	

③ ベースアダプタ

MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールと同じ製品を使用します。
ベースアダプタを使用することにより、MELSEC-Qシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台をネジ穴加工なしで、同時に設置できます。
なお、同じベースユニット（※1～※5）が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

ご注意

●ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工4ヶ所（M5ネジ）、および取付M5ネジ4本（お客様手配）が必要となります。

ベースアダプタ形名	取付け可能						製品寸法	掲載ページ
	MELSEC-Qシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ (mm)	
	12スロット	8スロット	5スロット	3スロット	2スロット			
ERNT-AQB38N	Q312B					ERNT-AQF12,ERNT-AQF8	480×240	7-31～7-32
		Q38B（※1）				ERNT-AQF8		
ERNT-AQB35N		Q38B（※1）				ERNT-AQF8,ERNT-AQF5	382×240	
			Q35B			ERNT-AQF5		
ERNT-AQB32				Q33B		ERNT-AQF3	247×240	
ERNT-AQB68N	Q612B					ERNT-AQF12,ERNT-AQF8	466×240	
		Q68B（※2）				ERNT-AQF8		
ERNT-AQB65N		Q68B（※2）				ERNT-AQF8,ERNT-AQF5	352×240	
			Q65B（※3） Q55B（※4）			ERNT-AQF5		
ERNT-AQB62				Q63B	Q52B（※5）	ERNT-AQF3	238×240	
ERNT-AQB58N		Q68B（※2）				ERNT-AQF8	411×240	
ERNT-AQB55N			Q65B（※3） Q55B（※4）			ERNT-AQF5	297×240	
ERNT-AQB52					Q52B（※5）	ERNT-AQF3	183×240	

ユニバーサル変換アダプタ

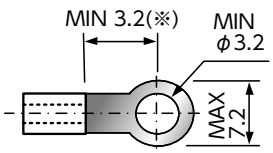
仕　様

38点端子台仕様(ERNT-AQTB20、ERNT-AQTB20-S1、ERNT-AQTB38、ERNT-AQTB38-E共通)

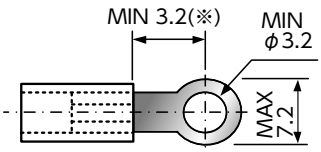
●適合圧着端子

単位：mm

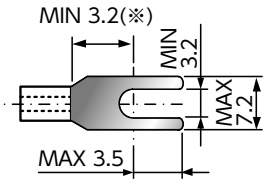
丸形裸圧着端子



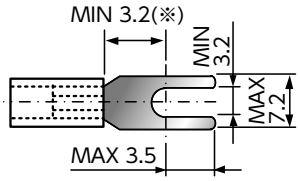
丸形絶縁付圧着端子



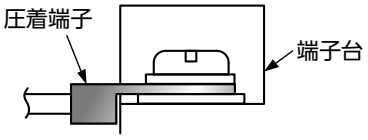
Y形裸圧着端子



Y形絶縁付圧着端子

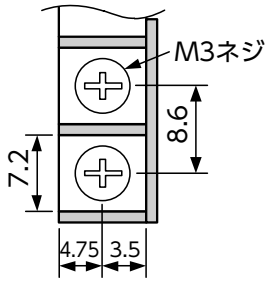


※圧着端子を右図のように
裏返し状態で取付ける場合
「MIN 4.75」となります。



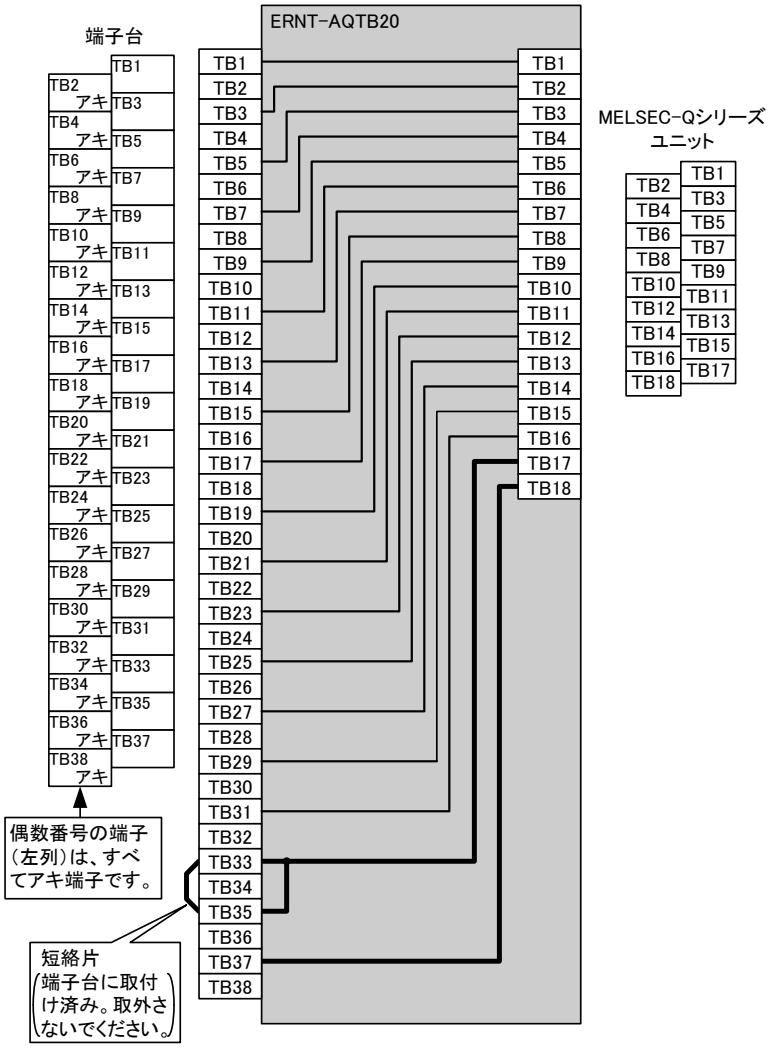
●端子台形状

単位：mm



(1)ERNT-AQTB20

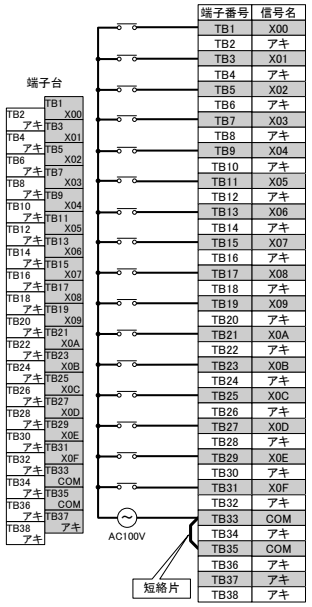
接続図



入力ユニット

使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様

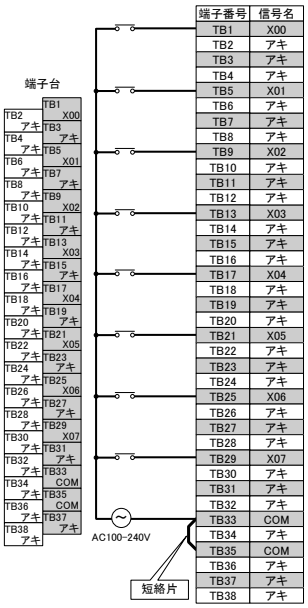
QX10
＋
ERNT-AQTB20



形名 / 仕様		QX10
入力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		AC100-120V(+10/-15%) 50/60Hz(±3Hz)
定格入力電流		約8mA(AC100V、60Hz) 約7mA(AC100V、50Hz)
突入電流		最大200mA 1ms以内(AC132V)
ON電圧/ON電流		AC80V以上/5mA以上(50Hz、60Hz)
OFF電圧/OFF電流		AC30V以下/1.7mA以下(50Hz、60Hz)
入力インピーダンス		約12kΩ (60Hz) 約15kΩ (50Hz)
応答時間	OFF→ON	15ms以下(AC100V 50Hz、60Hz)
	ON→OFF	20ms以下(AC100V 50Hz、60Hz)
内部消費電流		50mA(TYP.全点ON)
コモン方式		16点1コモン

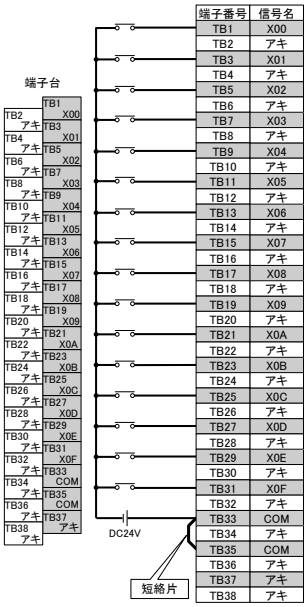
使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様

QX28 + ERNT-AQTB20



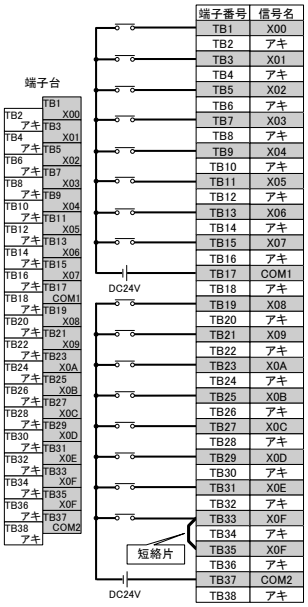
形名 / 仕様		QX28
入力点数		8点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		AC100-240V(+10/-15%) 50/60Hz(±3Hz)
定格入力電流		約17mA(AC200V、60Hz)、約14mA(AC200V、50Hz) 約8mA(AC100V、60Hz)、約7mA(AC100V、50Hz)
突入電流		最大950mA 1ms以内(AC264V)
ON電圧/ON電流		AC80V以上/5mA以上(50Hz、60Hz)
OFF電圧/OFF電流		AC30V以下/1.7mA以下(50Hz、60Hz)
入力インピーダンス		約12kΩ (60Hz) 約15kΩ (50Hz)
応答時間	OFF→ON	10ms以下(AC100V 50Hz、60Hz)
	ON→OFF	15ms以下(AC100V 50Hz、60Hz)
内部消費電流		50mA(TYP.全点ON)
コモン方式		8点1コモン

QX40 QX40-S1 + ERNT-AQTB20



形名 / 仕様		QX40 (プラスコモン)	QX40-S1 (プラスコモン)
入力点数		16点	16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC24V(+20/-15%)	DC24V(+20/-15%)
定格入力電流		約4mA	約6mA
ON電圧/ON電流		19V以上/3mA以上	19V以上/4.0mA以上
OFF電圧/OFF電流		11V以下/1.7mA以下	11V以下/1.7mA以下
入力抵抗		約5.6kΩ	約3.9kΩ
応答時間	OFF→ON	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
	ON→OFF	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
内部消費電流		50mA(TYP.全点ON)	60mA(TYP.全点ON)
コモン方式		16点1コモン	16点1コモン

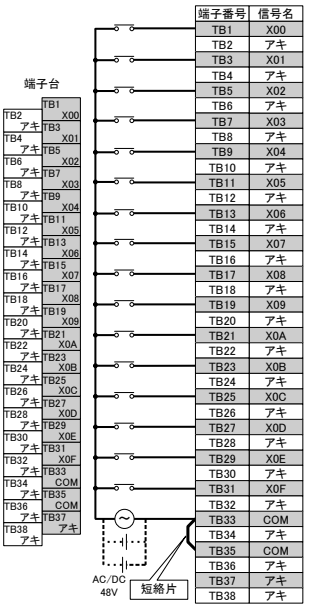
QX40H + ERNT-AQTB20



形名 / 仕様		QX40H (プラスコモン)
入力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC24V(+20/-15%)
定格入力電流		約6mA
ON電圧/ON電流		13V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		8V以下/1.6mA以下
入力抵抗		約3.9kΩ
応答時間	OFF→ON	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
	ON→OFF	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
内部消費電流		80mA(TYP.全点ON)
コモン方式		8点1コモン

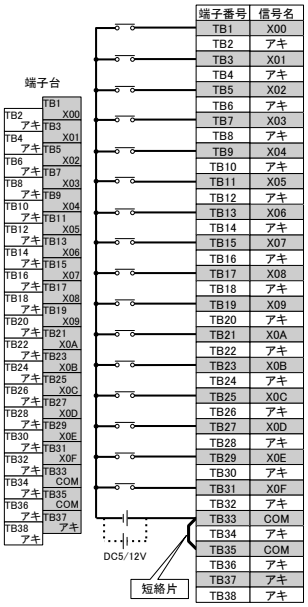
使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様

QX50 + ERNT-AQTB20



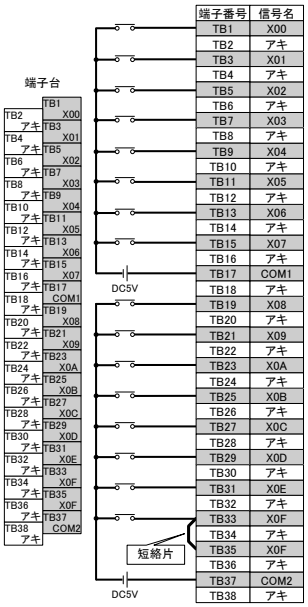
形名 / 仕様		QX50（プラスコモン/マイナスコモン共用、AC）	
入力点数		16点	
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	
定格入力電圧		DC48V(+20/-15%)	AC48V(+10/-15%) 50/60Hz(±3Hz)
定格入力電流		約4mA	
ON電圧/ON電流		28V以上/2.5mA以上	
OFF電圧/OFF電流		10V以下/1.0mA以下	
入力抵抗		約11.2kΩ	
応答時間	OFF→ON	5ms以下	15ms以下
	ON→OFF	20ms以下	20ms以下
内部消費電流		50mA(TYP.全点ON)	
コモン方式		16点1コモン	

QX70 + ERNT-AQTB20



形名 / 仕様		QX70（プラスコモン/マイナスコモン共用）	
入力点数		16点	
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	
定格入力電圧		DC5V(+20/-10%)	DC12V(+20/-15%)
定格入力電流		約1.2mA	約3.3mA
ON電圧/ON電流		3.5V以上/1mA以上	
OFF電圧/OFF電流		1V以下/0.1mA以下	
入力抵抗		約3.3kΩ	
応答時間	OFF→ON	1/5/10/20/70ms以下	
	ON→OFF	1/5/10/20/70ms以下	
内部消費電流		55mA(TYP.全点ON)	
コモン方式		16点1コモン	

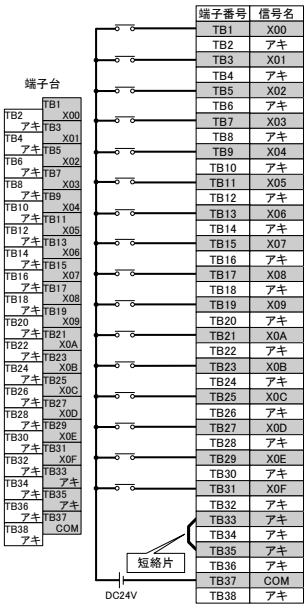
QX70H + ERNT-AQTB20



形名 / 仕様		QX70H（プラスコモン）
入力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC5V(+20/-15%)
定格入力電流		約6mA
ON電圧/ON電流		3.5V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		1V以下/1mA以下
入力抵抗		約470Ω
応答時間	OFF→ON	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
	ON→OFF	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
内部消費電流		80mA(TYP.全点ON)
コモン方式		8点1コモン

使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様

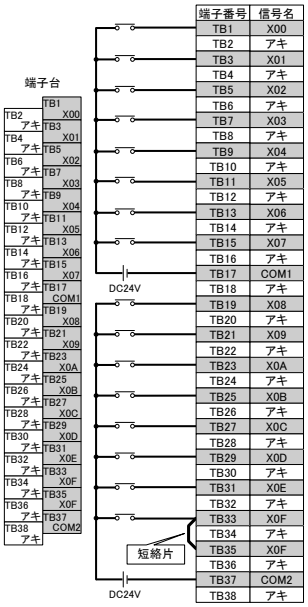
QX80 + ERNT-AQTB20



端子番号	信号名
TB1	X00
TB2	アキ
TB3	X01
TB4	アキ
TB5	X02
TB6	アキ
TB7	X03
TB8	アキ
TB9	X04
TB10	アキ
TB11	X05
TB12	アキ
TB13	X06
TB14	アキ
TB15	X07
TB16	アキ
TB17	X08
TB18	アキ
TB19	X09
TB20	アキ
TB21	X0A
TB22	アキ
TB23	X0B
TB24	アキ
TB25	X0C
TB26	アキ
TB27	X0D
TB28	アキ
TB29	X0E
TB30	アキ
TB31	X0F
TB32	アキ
TB33	アキ
TB34	アキ
TB35	アキ
TB36	アキ
TB37	COM
TB38	アキ

仕様＼形名		QX80（マイナスコモン）
入力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC24V（+20/-15%）
定格入力電流		約4mA
ON電圧/ON電流		19V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		11V以下/1.7mA以下
入力抵抗		約5.6kΩ
応答時間	OFF→ON	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	1/5/10/20/70ms以下
内部消費電流		50mA（TYP.全点ON）
コモン方式		16点1コモン

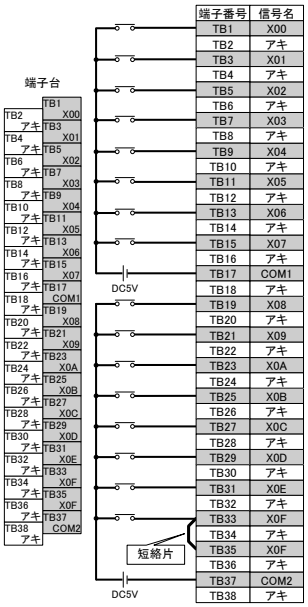
QX80H + ERNT-AQTB20



端子番号	信号名
TB1	X00
TB2	アキ
TB3	X01
TB4	アキ
TB5	X02
TB6	アキ
TB7	X03
TB8	アキ
TB9	X04
TB10	アキ
TB11	X05
TB12	アキ
TB13	X06
TB14	アキ
TB15	X07
TB16	アキ
TB17	COM1
TB18	アキ
TB19	X08
TB20	アキ
TB21	X09
TB22	アキ
TB23	X0A
TB24	アキ
TB25	X0B
TB26	アキ
TB27	X0C
TB28	アキ
TB29	X0D
TB30	アキ
TB31	X0E
TB32	アキ
TB33	X0F
TB34	アキ
TB35	X0F
TB36	アキ
TB37	COM2
TB38	アキ

仕様＼形名		QX80H（マイナスコモン）
入力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC24V（+20/-15%）
定格入力電流		約6mA
ON電圧/ON電流		13V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		8V以下/1.6mA以下
入力抵抗		約3.9kΩ
応答時間	OFF→ON	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
	ON→OFF	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
内部消費電流		80mA（TYP.全点ON）
コモン方式		8点1コモン

QX90H + ERNT-AQTB20



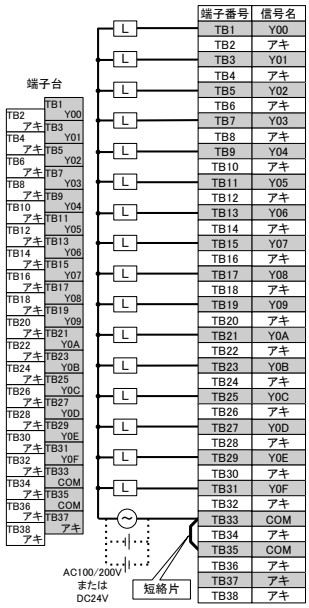
端子番号	信号名
TB1	X00
TB2	アキ
TB3	X01
TB4	アキ
TB5	X02
TB6	アキ
TB7	X03
TB8	アキ
TB9	X04
TB10	アキ
TB11	X05
TB12	アキ
TB13	X06
TB14	アキ
TB15	X07
TB16	アキ
TB17	COM1
TB18	アキ
TB19	X08
TB20	アキ
TB21	X09
TB22	アキ
TB23	X0A
TB24	アキ
TB25	X0B
TB26	アキ
TB27	X0C
TB28	アキ
TB29	X0D
TB30	アキ
TB31	X0E
TB32	アキ
TB33	X0F
TB34	アキ
TB35	X0F
TB36	アキ
TB37	COM2
TB38	アキ

仕様＼形名		QX90H（マイナスコモン）
入力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC5V（+20/-15%）
定格入力電流		約6mA
ON電圧/ON電流		3.5V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		1V以下/1mA以下
入力抵抗		約470Ω
応答時間	OFF→ON	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
	ON→OFF	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
内部消費電流		80mA（TYP.全点ON）
コモン方式		8点1コモン

出力ユニット

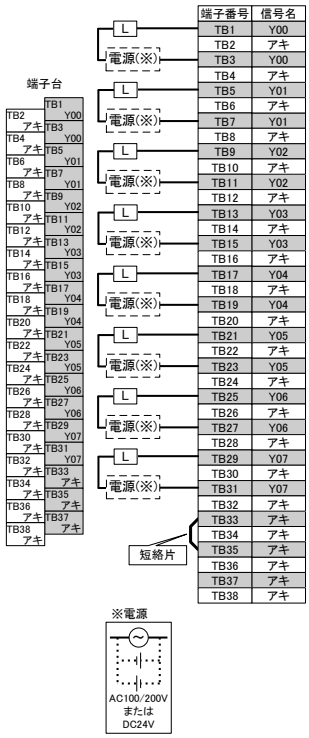
使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様

QY10 + ERNT-AQTB20



形名 / 仕様		QY10
出力点数		16点
絶縁方式		リレー絶縁
定格開閉電圧・電流		DC24V 2A(抵抗負荷)/1点 AC240V 2A(COSΦ =1)/1点 8A/1コモン
最小開閉負荷		DC5V 1mA
最大開閉電圧		AC264V DC125V
応答時間	OFF→ON	10ms以下
	ON→OFF	12ms以下
サージキラー		なし
ヒューズ		なし
内部消費電流		430mA(TYP.全点ON)
コモン方式		16点1コモン

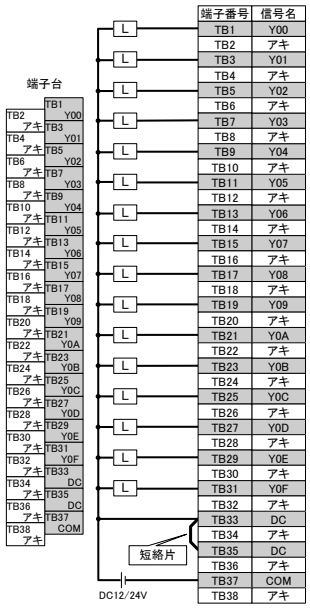
QY18A + ERNT-AQTB20



形名 / 仕様		QY18A
出力点数		8点
絶縁方式		リレー絶縁
定格開閉電圧・電流		DC24V 2A(抵抗負荷)/1点 AC240V 2A(COSΦ =1)/1点 8A/1ユニット
最小開閉負荷		DC5V 1mA
最大開閉電圧		AC264V DC125V
応答時間	OFF→ON	10ms以下
	ON→OFF	12ms以下
サージキラー		なし
ヒューズ		なし
内部消費電流		240mA(TYP.全点ON)
コモン方式		全点独立

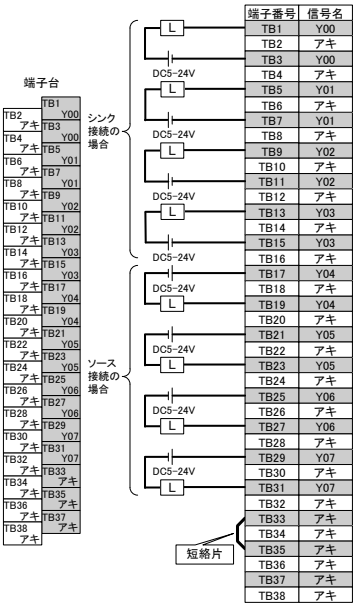
使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様

QY40P
QY50
＋
ERNT-AQTB20



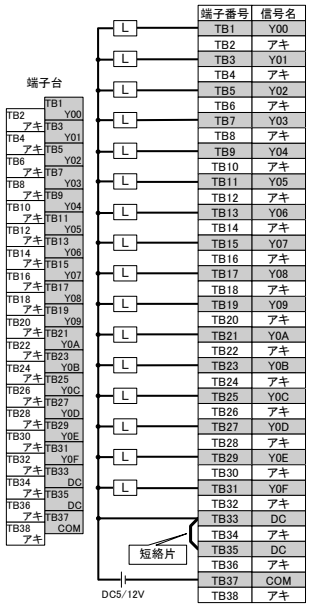
形名 / 仕様		QY40P (シンクタイプ)	QY50 (シンクタイプ)
出力点数		16点	16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12-24V(+20/-15%)	DC12-24V(+20/-15%)
最大負荷電流		0.1A/1点、1.6A/1コモン	0.5A/1点、4A/1コモン
最大突入電流		0.7A 10ms以下	4A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC0.1V(TYP.)0.1A DC0.2V(MAX.)0.1A	DC0.2V(TYP.)0.5A DC0.3V(MAX.)0.5A
応答時間	OFF→ON	1ms以下	1ms以下
	ON→OFF	1ms以下 (定格負荷、抵抗負荷)	1ms以下 (定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー		ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		なし	6.7A(交換不可) (ヒューズ遮断容量:50A)
保護機能		有(過負荷保護、過熱保護)	なし
内部消費電流		65mA(TYP.全点ON)	80mA(TYP.全点ON)
コモン方式		16点1コモン	16点1コモン

QY68A
＋
ERNT-AQTB20



形名 / 仕様		QY68A (シンク/ソースタイプ)
出力点数		8点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC5-24V(+20/-10%)
最大負荷電流		2A/1点、8A/ユニット
最大突入電流		8A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC0.3V(MAX.)2A
応答時間	OFF→ON	3ms以下
	ON→OFF	10ms以下(抵抗負荷)
サージキラー		ツェナーダイオード
ヒューズ		なし
保護機能		なし
内部消費電流		110mA(TYP.全点ON)
コモン方式		全点独立

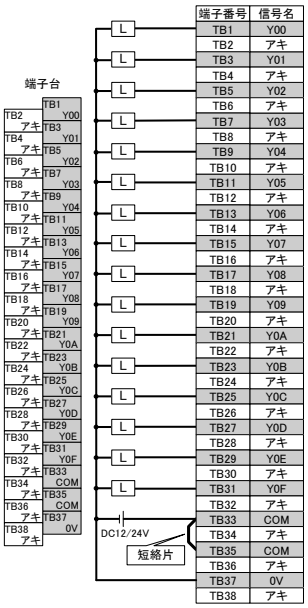
QY70
＋
ERNT-AQTB20



形名 / 仕様		QY70 (シンクタイプ)
出力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC5-12V(+25/-10%)
最大負荷電流		16mA/1点、256mA/1コモン
最大突入電流		40mA 10ms以下
OFF時漏洩電流		V_{OH}:DC3.5V (Vcc=DC5V、I_{OH}=0.4mA)
ON時最大電圧降下		V_{OL}:DC0.3V
応答時間	OFF→ON	0.5ms以下
	ON→OFF	0.5ms以下(抵抗負荷)
サージキラー		なし
ヒューズ		1.6A(交換不可) (ヒューズ遮断容量:50A)
保護機能		なし
内部消費電流		95mA(TYP.全点ON)
コモン方式		16点1コモン

使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様

QY80
＋
ERNT-AQTB20

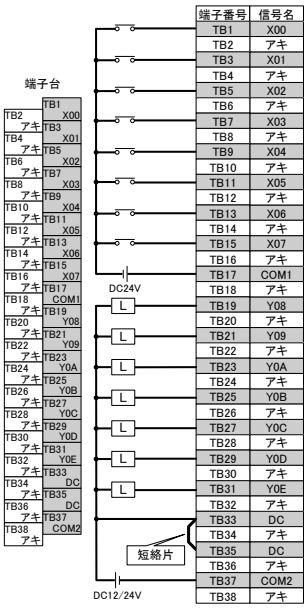


形名 / 仕様		QY80（ソースタイプ）
出力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12-24V（+20/-15%）
最大負荷電流		0.5A/1点、4A/1コモン
最大突入電流		4A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC0.2V（TYP.）0.5A DC0.3V（MAX.）0.5A
応答時間	OFF→ON	1ms以下
	ON→OFF	1ms以下（定格負荷、抵抗負荷）
サージキラー		ツェナーダイオード
ヒューズ		6.7A（交換不可） （ヒューズ遮断容量:50A）
保護機能		なし
内部消費電流		80mA（TYP.全点ON）
コモン方式		16点1コモン

入出力混合ユニット

使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様

QX48Y57
＋
ERNT-AQTB20



〈入力仕様〉

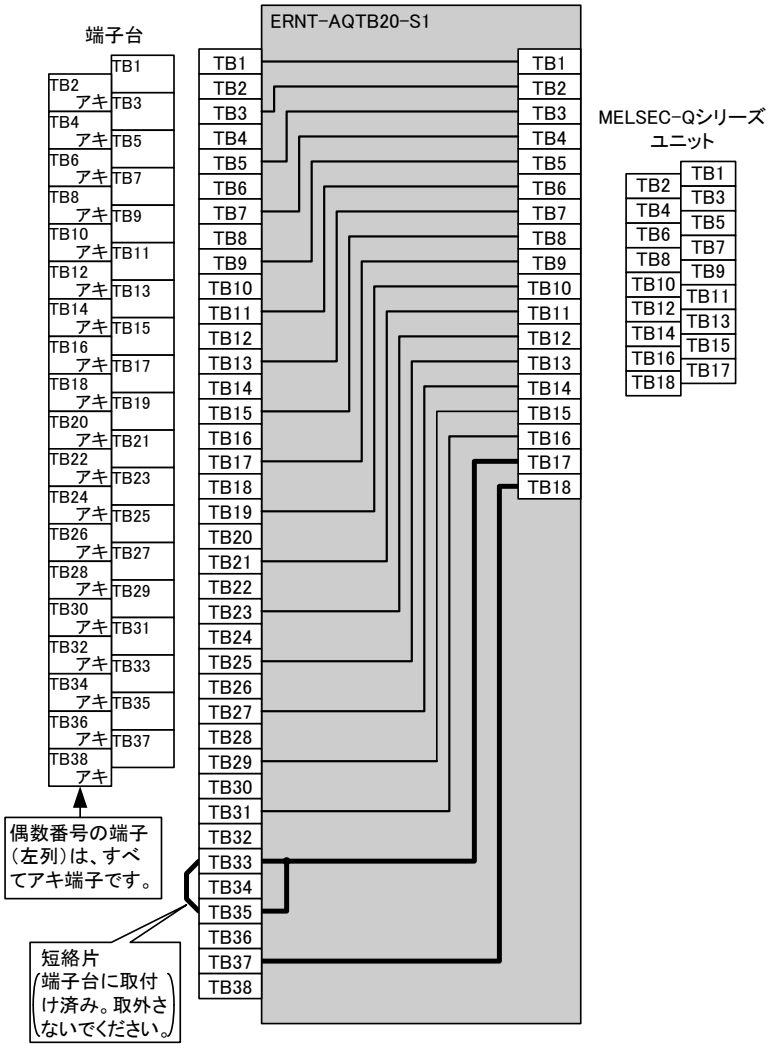
形名 / 仕様		QX48Y57（プラスコモン）
入力点数		8点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC24V（+20/-15%）
定格入力電流		約4mA
ON電圧/ON電流		19V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		11V以下/1.7mA以下
入力抵抗		約5.6kΩ
応答時間	OFF→ON	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	1/5/10/20/70ms以下
内部消費電流		80mA（TYP.全点ON）
コモン方式		8点1コモン

〈出力仕様〉

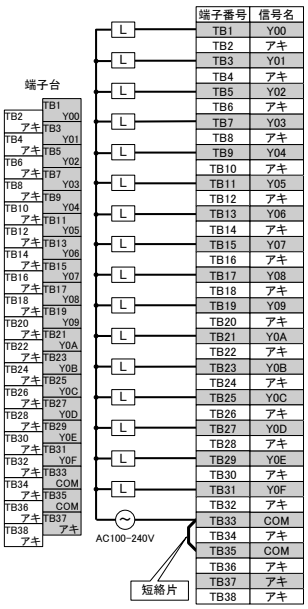
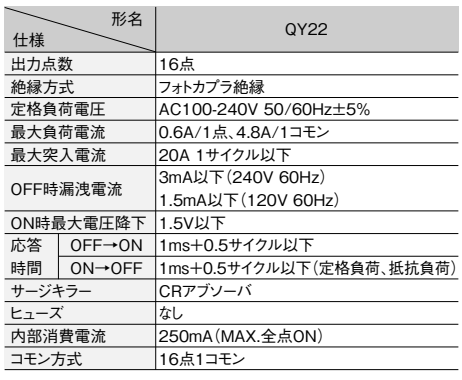
形名 / 仕様		QX48Y57（シンクタイプ）
出力点数		7点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12-24V（+20/-15%）
最大負荷電流		0.5A/1点、2A/1コモン
最大突入電流		4A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC0.2V（TYP.）0.5A DC0.3V（MAX.）0.5A
応答時間	OFF→ON	1ms以下
	ON→OFF	1ms以下（定格負荷、抵抗負荷）
サージキラー		ツェナーダイオード
ヒューズ		4A（交換不可） （ヒューズ遮断容量:50A）
保護機能		なし
コモン方式		7点1コモン

(2)ERNT-AQTB20-S1

接続図



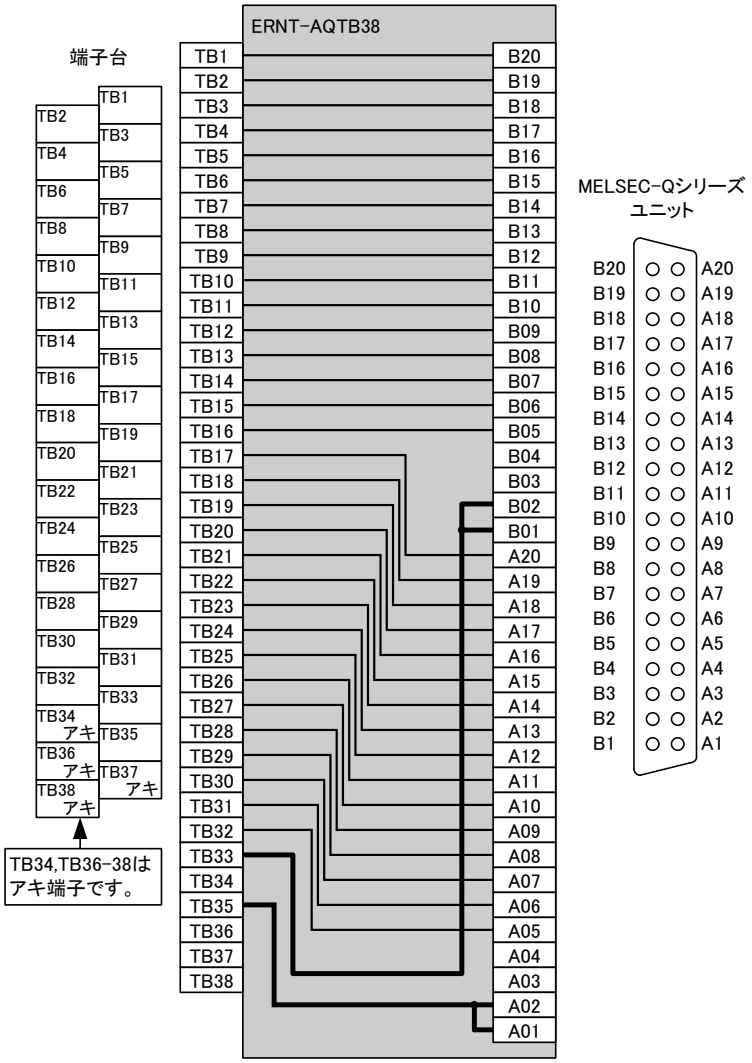
出力ユニット

使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様
QY22 ＋ ERNT-AQTB20-S1		

形名 / 仕様		QY22
出力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		AC100-240V 50/60Hz±5%
最大負荷電流		0.6A/1点、4.8A/1コモン
最大突入電流		20A 1サイクル以下
OFF時漏洩電流		3mA以下(240V 60Hz) 1.5mA以下(120V 60Hz)
ON時最大電圧降下		1.5V以下
応答時間	OFF→ON	1ms+0.5サイクル以下
	ON→OFF	1ms+0.5サイクル以下(定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー		CRアブソーバ
ヒューズ		なし
内部消費電流		250mA(MAX.全点ON)
コモン方式		16点1コモン

(3)ERNT-AQTB38

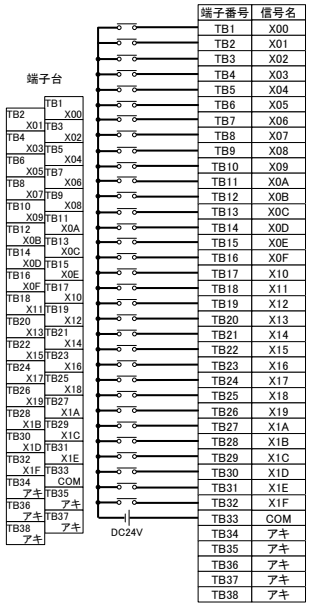
接続図



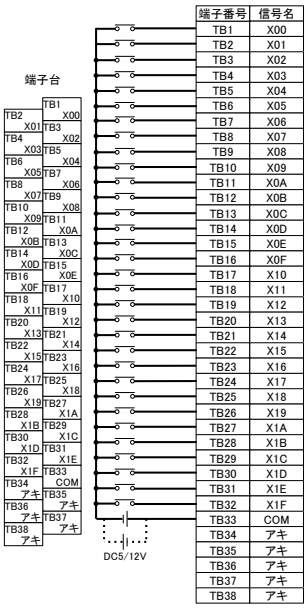
入力ユニット

使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様

QX41
QX41-S1
QX41-S2
＋
ERNT-AQTB38

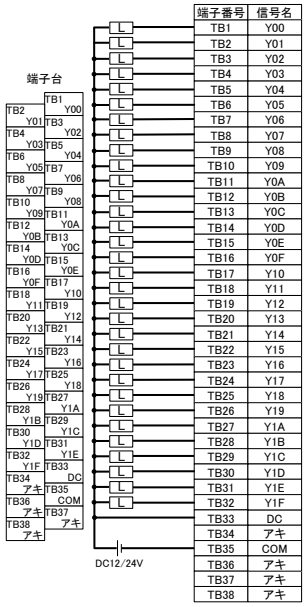


形名 / 仕様		QX41 (プラスコモン)	QX41-S1 (プラスコモン)	QX41-S2 (プラスコモン)
入力点数		32点	32点	32点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC24V(+20/-15%)	DC24V(+20/-15%)	DC24V(+20/-15%)
定格入力電流		約4mA	約4mA	約6mA
ON電圧/ON電流		19V以上/3mA以上	19V以上/3mA以上	15V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		11V以下/1.7mA以下	9.5V以下/1.5mA以下	5V以下/1.7mA以下
入力抵抗		約5.6kΩ	約5.6kΩ	約3.6kΩ
応答時間	OFF→ON	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下	1/5/10/20/70ms以下
内部消費電流		75mA (TYP.全点ON)	75mA (TYP.全点ON)	75mA (TYP.全点ON)
コモン方式		32点1コモン	32点1コモン	32点1コモン

使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様
QX71 ＋ ERNT-AQTB38		

仕様＼形名	QX71（プラスコモン/マイナスコモン共用）	
入力点数	32点	
絶縁方式	フォトカプラ絶縁	
定格入力電圧	DC5V（+20/-10%）	DC12V（+20/-15%）
定格入力電流	約1.2mA	約3.3mA
ON電圧/ON電流	3.5V以上/1mA以上	
OFF電圧/OFF電流	1V以下/0.1mA以下	
入力抵抗	約3.3kΩ	
応答時間	OFF→ON	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	1/5/10/20/70ms以下
内部消費電流	70mA（TYP.全点ON）	
コモン方式	32点1コモン	

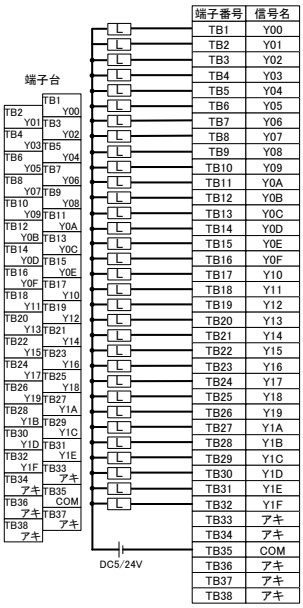
出力ユニット

使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様
QY41P ＋ ERNT-AQTB38		

仕様＼形名	QY41P（シンクタイプ）
出力点数	32点
絶縁方式	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧	DC12-24V（+20/-15%）
最大負荷電流	0.1A/1点、2A/1コモン
最大突入電流	0.7A 10ms以下
OFF時漏洩電流	0.1mA以下
ON時最大電圧降下	DC0.1V（TYP.）0.1A DC0.2V（MAX.）0.1A
応答時間 OFF→ON	1ms以下
応答時間 ON→OFF	1ms以下（定格負荷、抵抗負荷）
サージキラー	ツェナーダイオード
ヒューズ	なし
保護機能	有（過負荷保護、過熱保護）
内部消費電流	105mA（TYP.全点ON）
コモン方式	32点1コモン

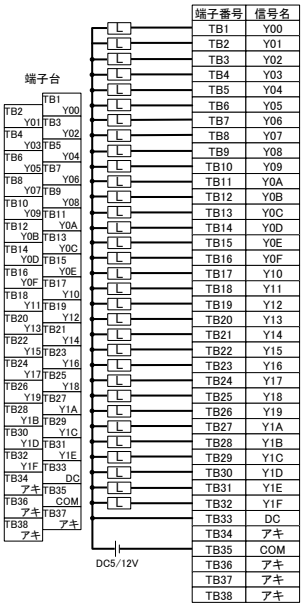
使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様

QY41H + ERNT-AQTB38



仕様＼形名		QY41H (シンクタイプ)
出力点数		32点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC5-24V(+20/-15%)
最大負荷電流		0.2A/1点、2A/1コモン
最大突入電流		0.7A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC0.1V(TYP.)0.1A DC0.2V(MAX.)0.1A
応答時間	OFF→ON	2μs以下
	ON→OFF	2μs以下(定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー		ツェナーダイオード
ヒューズ		なし
保護機能		なし
内部消費電流		370mA(TYP.全点ON)
コモン方式		32点1コモン

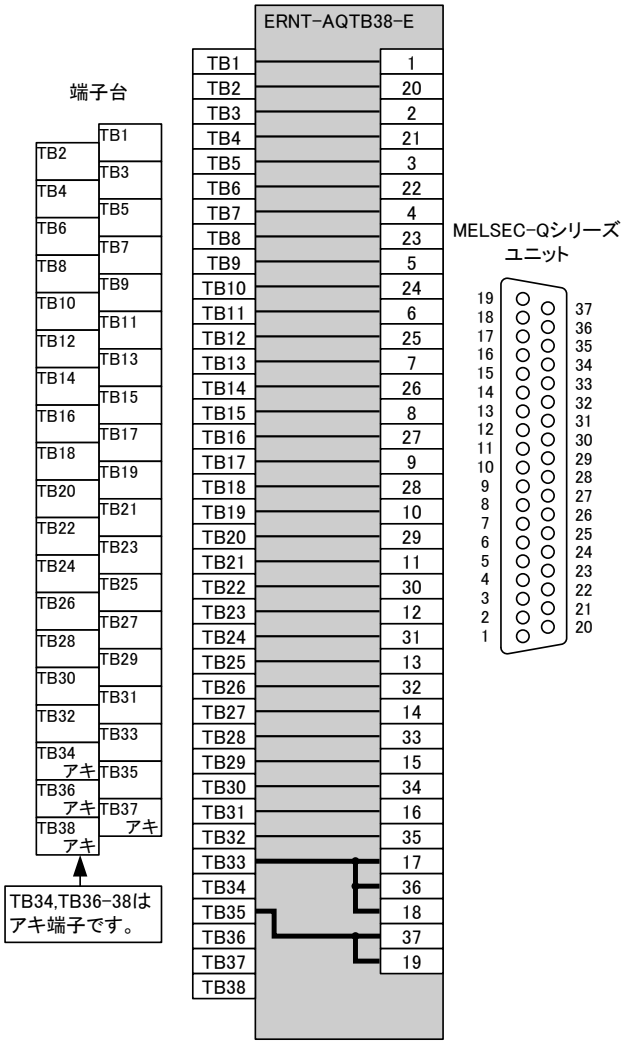
QY71 + ERNT-AQTB38



仕様＼形名		QY71 (シンクタイプ)
出力点数		32点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC5-12V(+25/-10%)
最大負荷電流		16mA/1点、512mA/1コモン
最大突入電流		40mA 10ms以下
OFF時漏洩電流		V_{OH}:DC3.5V (V_{CC}=DC5V、I_{OH}=0.4mA)
ON時最大電圧降下		V_{OL}:DC0.3V
応答時間	OFF→ON	0.5ms以下
	ON→OFF	0.5ms以下(抵抗負荷)
サージキラー		なし
ヒューズ		1.6A(交換不可) (ヒューズ遮断容量:50A)
保護機能		なし
内部消費電流		150mA(TYP.全点ON)
コモン方式		32点1コモン

(4)ERNT-AQTB38-E

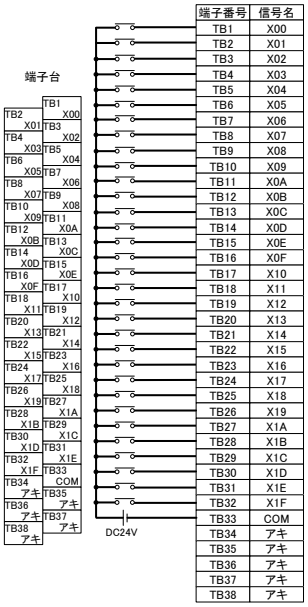
接続図



入力ユニット

使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様

QX81
QX81-S2
+
ERNT-AQTB38-E

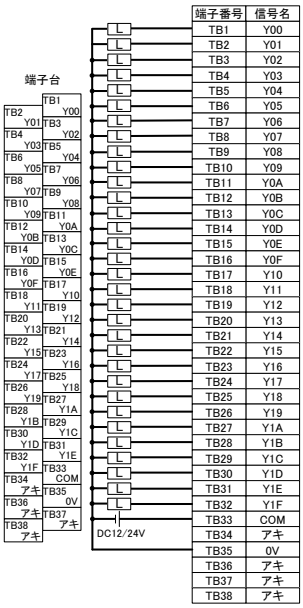


形名 / 仕様		QX81 (マイナスコモン)	QX81-S2 (マイナスコモン)
入力点数		32点	32点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC24V(+20/-15%)	DC24V(+20/-15%)
定格入力電流		約4mA	約6mA
ON電圧/ON電流		19V以上/3mA以上	15V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		11V以下/1.7mA以下	5V以下/1.7mA以下
入力抵抗		約5.6kΩ	約3.6kΩ
応答時間	OFF→ON	1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	1/5/10/20/70ms以下	1/5/10/20/70ms以下
内部消費電流		75mA(TYP.全点ON)	75mA(TYP.全点ON)
コモン方式		32点1コモン	32点1コモン

出力ユニット

使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様

QY81P
＋
ERNT-AQTB38-E



仕様＼形名		QY81P（ソースタイプ）
出力点数		32点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12-24V（+20/-15%）
最大負荷電流		0.1A/1点、2A/1コモン
最大突入電流		0.7A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC0.1V（TYP.）0.1A DC0.2V（MAX.）0.1A
応答時間	OFF→ON	1ms以下
	ON→OFF	1ms以下（定格負荷、抵抗負荷）
サージキラー		ツェナーダイオード
ヒューズ		なし
保護機能		有（過負荷保護、過熱保護）
内部消費電流		95mA（TYP.全点ON）
コモン方式		32点1コモン

変換アダプタ固定台(必須)

仕　様

変換アダプタの下部を固定するもので、変換アダプタ使用時に必要となります。また、1ベースユニットあたり1個必要となります。
MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールと同じ製品を使用します。

変換アダプタ固定台形名	仕　様
ERNT-AQF12	MELSEC-Qシリーズユニット12スロット分の変換アダプタ固定台
ERNT-AQF8	MELSEC-Qシリーズユニット8スロット分の変換アダプタ固定台
ERNT-AQF5	MELSEC-Qシリーズユニット5スロット分の変換アダプタ固定台
ERNT-AQF3	MELSEC-Qシリーズユニット3スロット分の変換アダプタ固定台

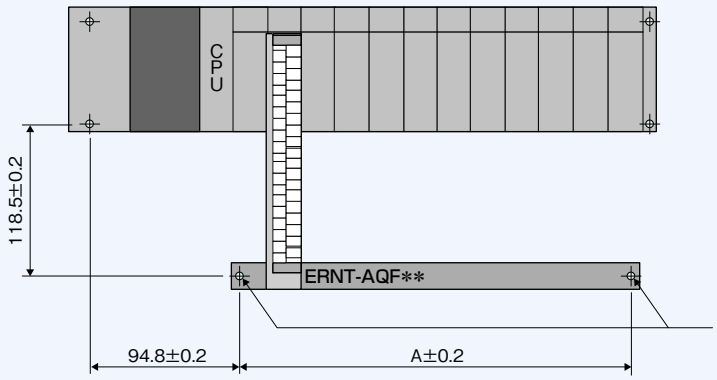
ベースアダプタを使用しない場合

ベースアダプタを使用しない場合は、下記のように変換アダプタ固定台を取付けるためのネジ穴加工(M4×2ヶ所)が必要です。
尚、変換アダプタ固定台は必ず取付けてください。

基本ベースユニットを使用する場合

◎Q312B、Q38B、Q35B、Q33Bの場合

単位:mm



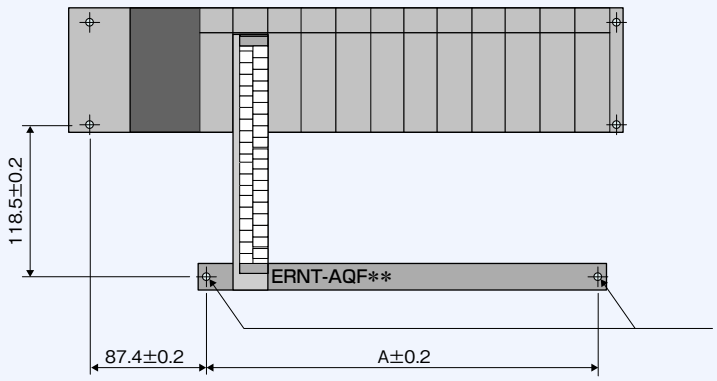
変換アダプタ固定台	A(mm)
ERNT-AQF12	321.2
ERNT-AQF8	210
ERNT-AQF5	126.6
ERNT-AQF3	71

この位置にネジ穴加工(M4×2ヶ所)を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

増設ベースユニットを使用する場合

◎Q612B、Q68B、Q65B、Q63Bの場合

単位:mm

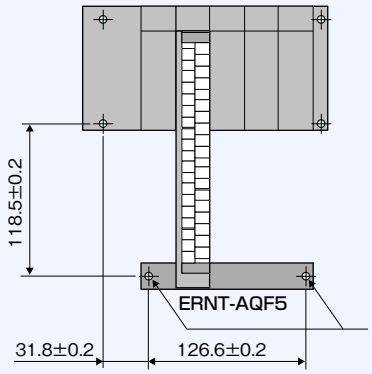


変換アダプタ固定台	A(mm)
ERNT-AQF12	321.2
ERNT-AQF8	210
ERNT-AQF5	126.6
ERNT-AQF3	71

この位置にネジ穴加工(M4×2ヶ所)を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

◎Q55Bの場合

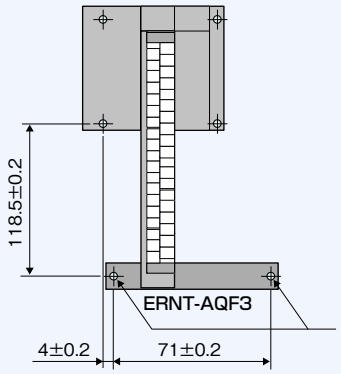
単位:mm



この位置にネジ穴加工(M4×2ヶ所)を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

◎Q52Bの場合

単位:mm



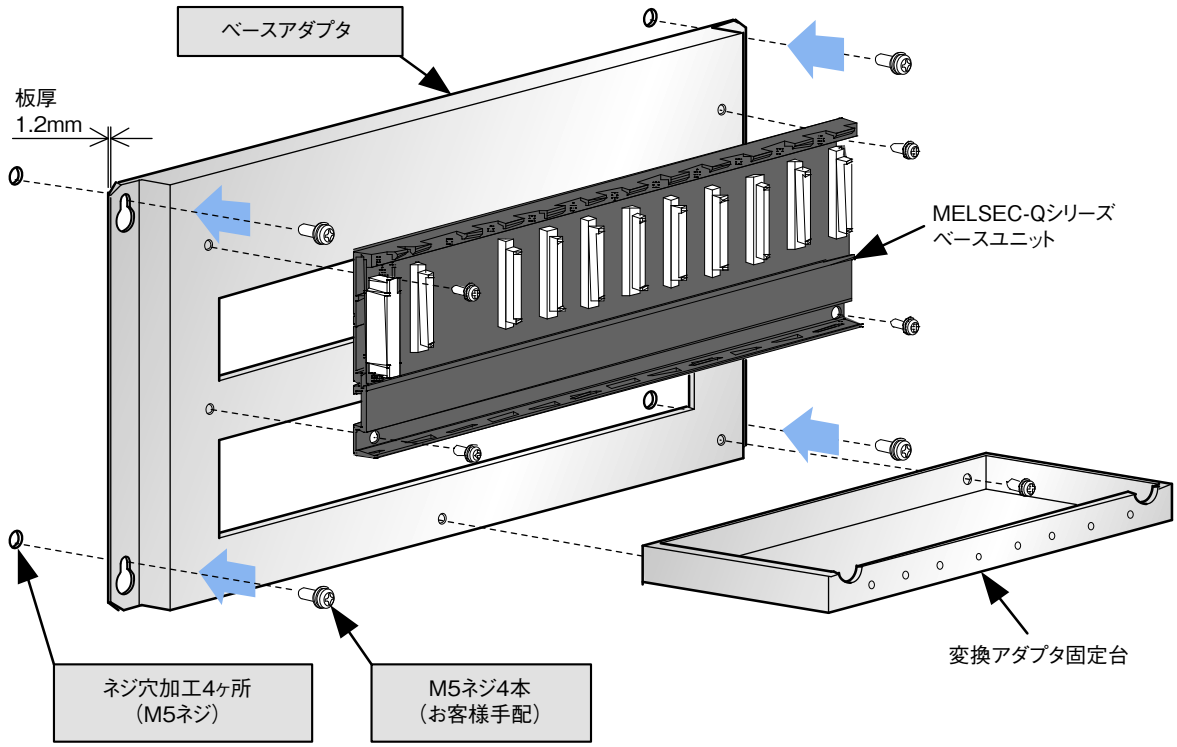
この位置にネジ穴加工(M4×2ヶ所)を行い、変換アダプタ固定台を取付けます。

ベースアダプタ

仕　様

ベースアダプタを使用することにより、MELSEC-Qシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台を、ネジ穴加工なしで同時に設置できます。
MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールと同じ製品を使用します。

ご注意
●ベースアダプタを盤面に取付けるためのネジ穴加工4ヶ所（M5ネジ）および取付M5ネジ4本（お客様手配）が必要となります。

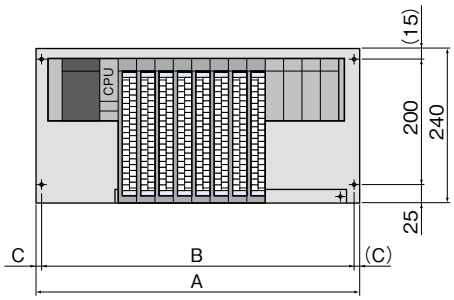


同じベースユニット（*1～*5）が複数のベースアダプタにおいて取付けできますので、製品寸法により最適なベースアダプタをご使用ください。

ベースアダプタ形名	取付け可能						製品寸法
	MELSEC-Qシリーズベースユニット					変換アダプタ固定台	幅×高さ（mm）
	12スロット	8スロット	5スロット	3スロット	2スロット		
ERNT-AQB38N	Q312B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	480×240
		Q38B（*1）				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB35N		Q38B（*1）				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	382×240
			Q35B			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB32				Q33B		ERNT-AQF3	247×240
ERNT-AQB68N	Q612B					ERNT-AQF12、ERNT-AQF8	466×240
		Q68B（*2）				ERNT-AQF8	
ERNT-AQB65N		Q68B（*2）				ERNT-AQF8、ERNT-AQF5	352×240
			Q65B（*3） Q55B（*4）			ERNT-AQF5	
ERNT-AQB62				Q63B	Q52B（*5）	ERNT-AQF3	238×240
ERNT-AQB58N		Q68B（*2）				ERNT-AQF8	411×240
ERNT-AQB55N			Q65B（*3） Q55B（*4）			ERNT-AQF5	297×240
ERNT-AQB52					Q52B（*5）	ERNT-AQF3	183×240

取付寸法

単位:mm



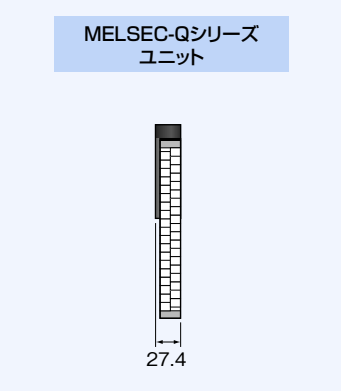
ベースアダプタ形名	A	B	C
ERNT-AQB38N	480	460	10
ERNT-AQB68N	466	446	10
ERNT-AQB58N	411	391	10
ERNT-AQB35N	382	362	10
ERNT-AQB65N	352	332	10
ERNT-AQB55N	297	277	10
ERNT-AQB32	247	227	10
ERNT-AQB62	238	218	10
ERNT-AQB52	183	163	10

ご使用上の注意点

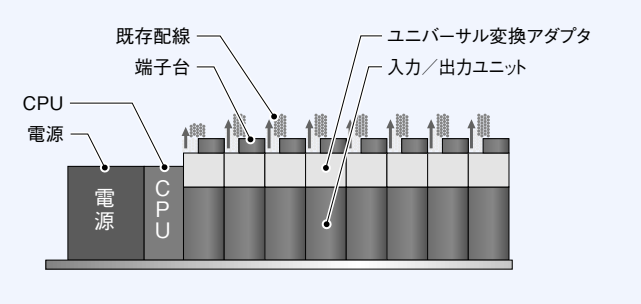
MELSEC-Qシリーズユニットの仕様が、既設接続機器の仕様を満足することを確認してください。
MELSEC-Qシリーズの各ユニットのマニュアルを参照し、使用いただきますようお願いいたします。

ユニット幅

(1)ユニット幅寸法が27.4mmになります。配線領域が小さくなる場合がありますので取付け上の確認が必要です。

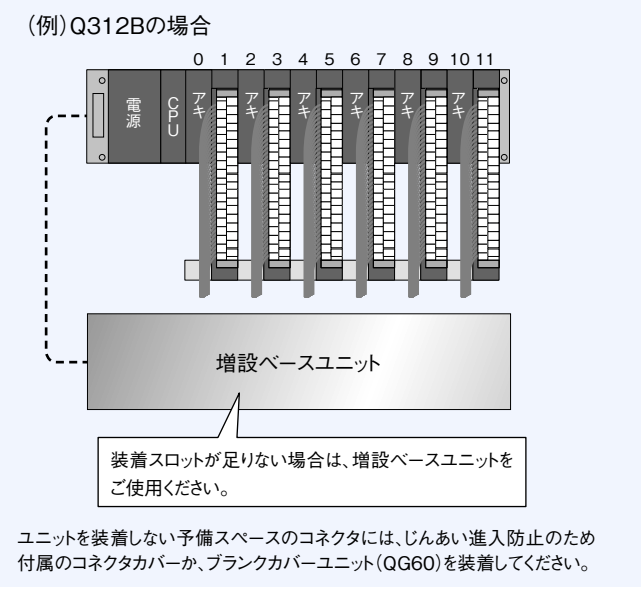


(2)装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3)配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例)Q312Bの場合



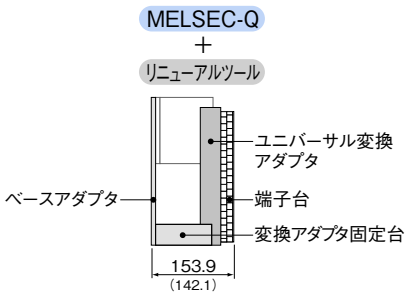
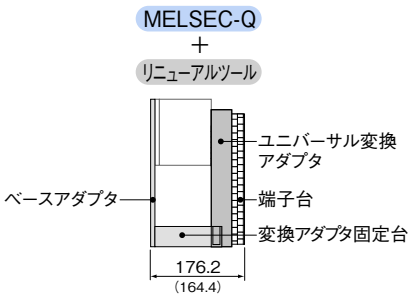
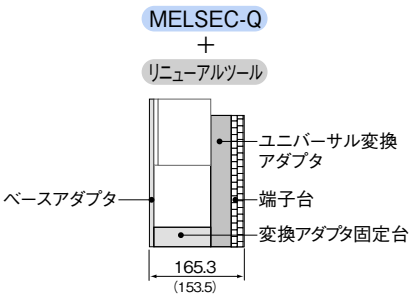
ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(QG60)を装着してください。

(4)上記(2)、(3)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製Qラージベースユニットの使用をご検討ください。7-8

奥行き

奥行き寸法は以下のようになります。奥行き寸法が大きくなる場合がありますので取付け上の確認が必要です。
ベースアダプタを使用しない場合はカッコ内の数値（11.8mm小さい値）になります。

MELSEC-Q :MELSEC-Qシリーズ

ユニバーサル変換アダプタ	ERNT-AQTB20	ERNT-AQTB20-S1	ERNT-AQTB38 ERNT-AQTB38-E
寸法 奥行き	153.9mm （142.1mm）	176.2mm （164.4mm）	165.3mm （153.5mm）
取付図			

変換アダプタ固定台・ベースアダプタ

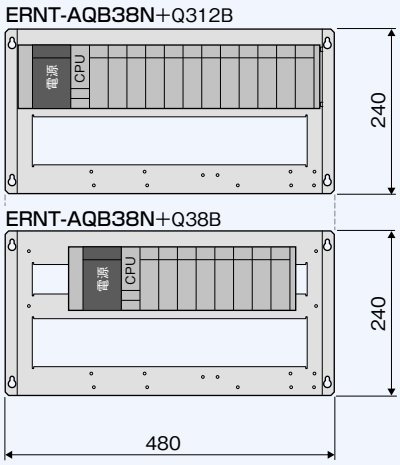
ユニバーサル変換アダプタをご使用の際には、必ず変換アダプタ固定台が必要です。
また、MELSEC-Qシリーズベースユニットと変換アダプタ固定台を、ネジ穴加工なしで同時に設置できるベースアダプタのご使用を推奨します。

スロット位置

MELSEC-Qシリーズに置換えた際、ベースアダプタごとのユニット位置は以下のようになります。
ユニットを装着するスロット位置の変更や配線長を調節してご使用ください。

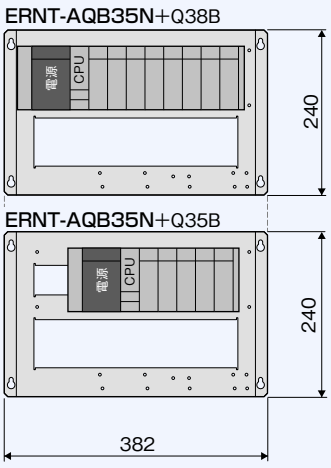
(1)ERNT-AQB38N

単位:mm



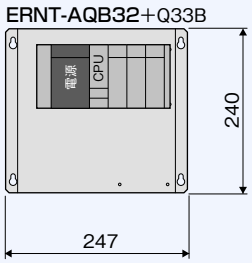
(2)ERNT-AQB35N

単位:mm



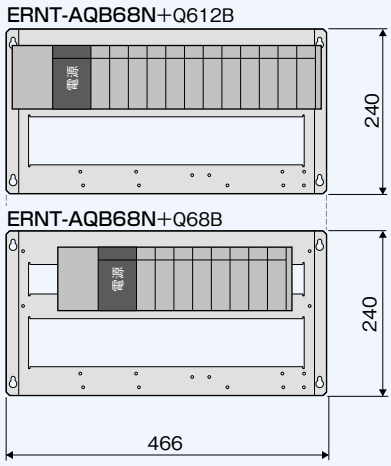
(3)ERNT-AQB32

単位:mm



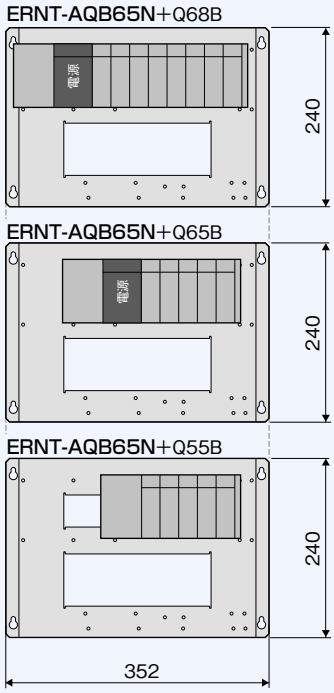
(4)ERNT-AQB68N

単位:mm



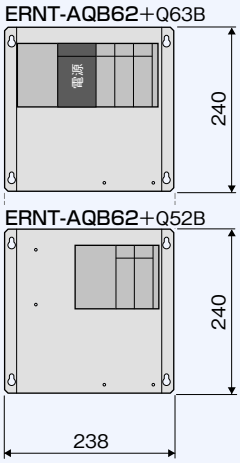
(5)ERNT-AQB65N

単位:mm



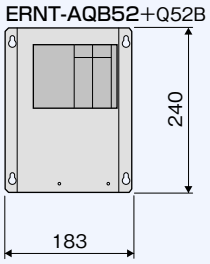
(6)ERNT-AQB62

単位:mm



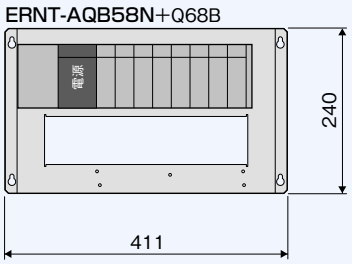
(9)ERNT-AQB52

単位:mm



(7)ERNT-AQB58N

単位:mm



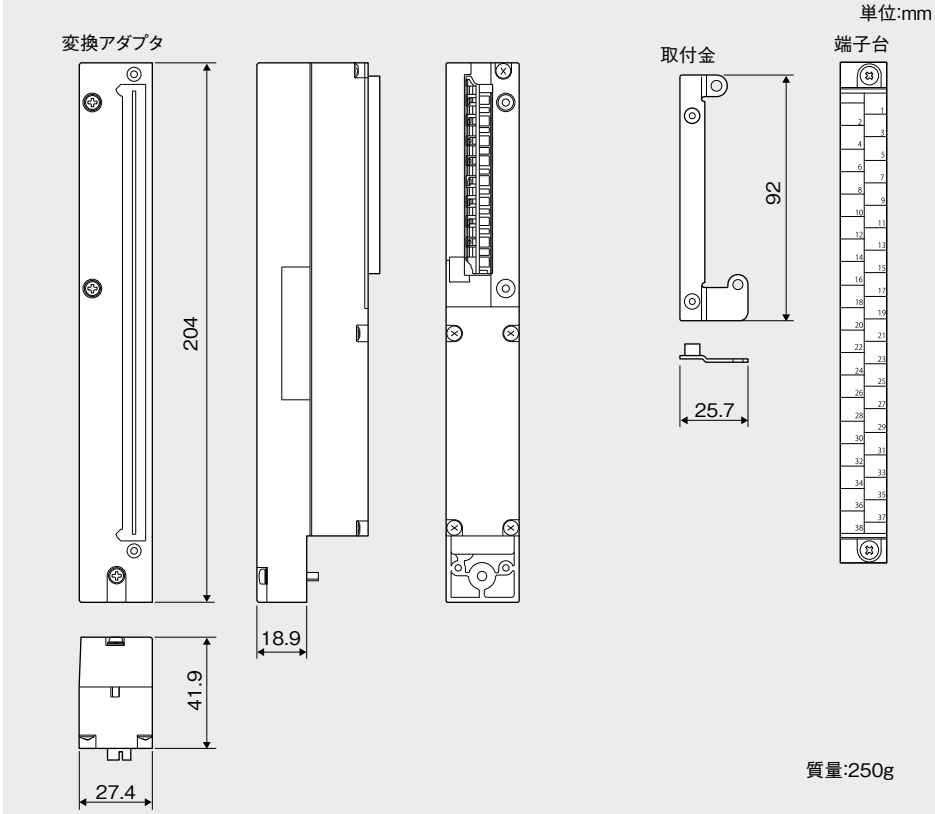
(8)ERNT-AQB55N

単位:mm

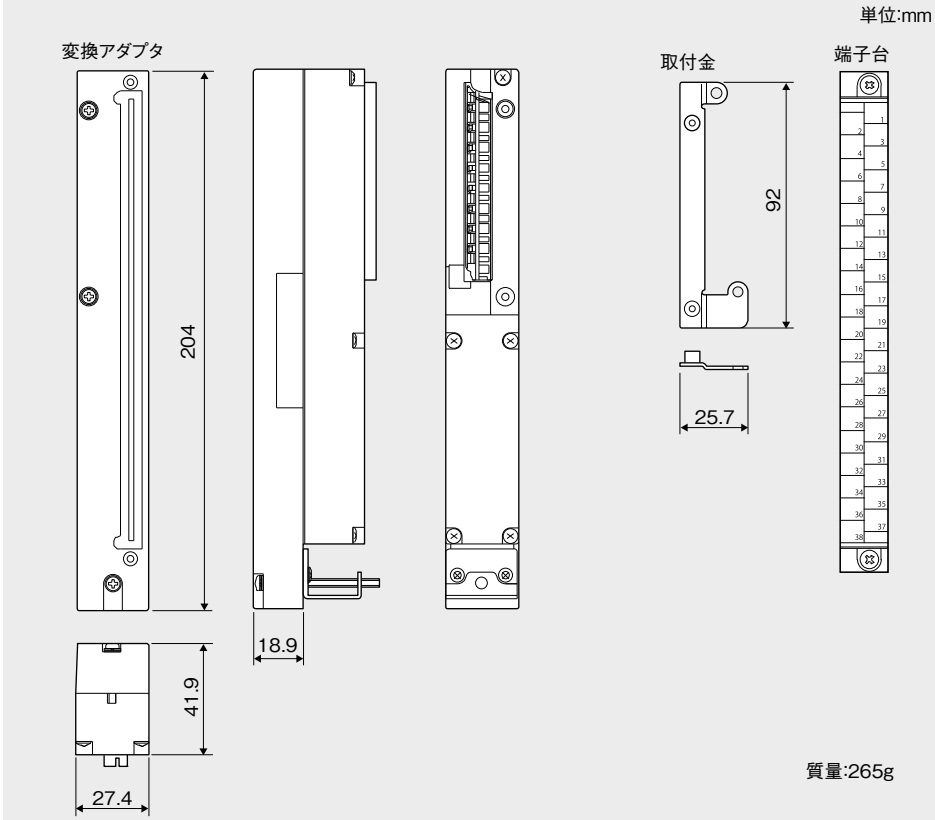
外形寸法図

ユニバーサル変換アダプタ

形名:
ERNT-AQTB20

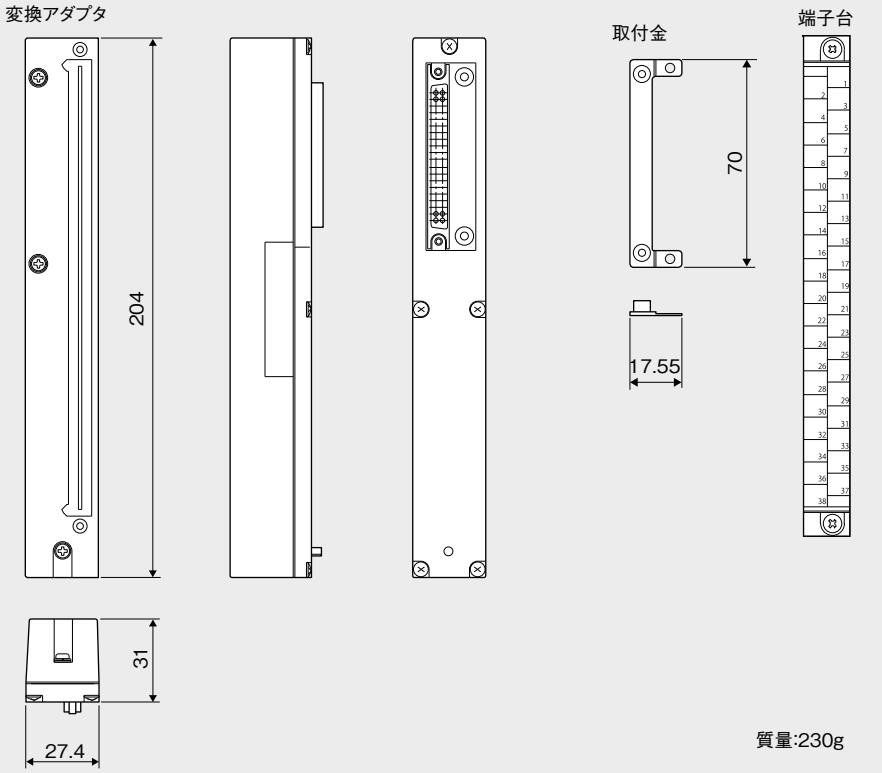


形名:
ERNT-AQTB20-S1



形名:
ERNT-AQTB38

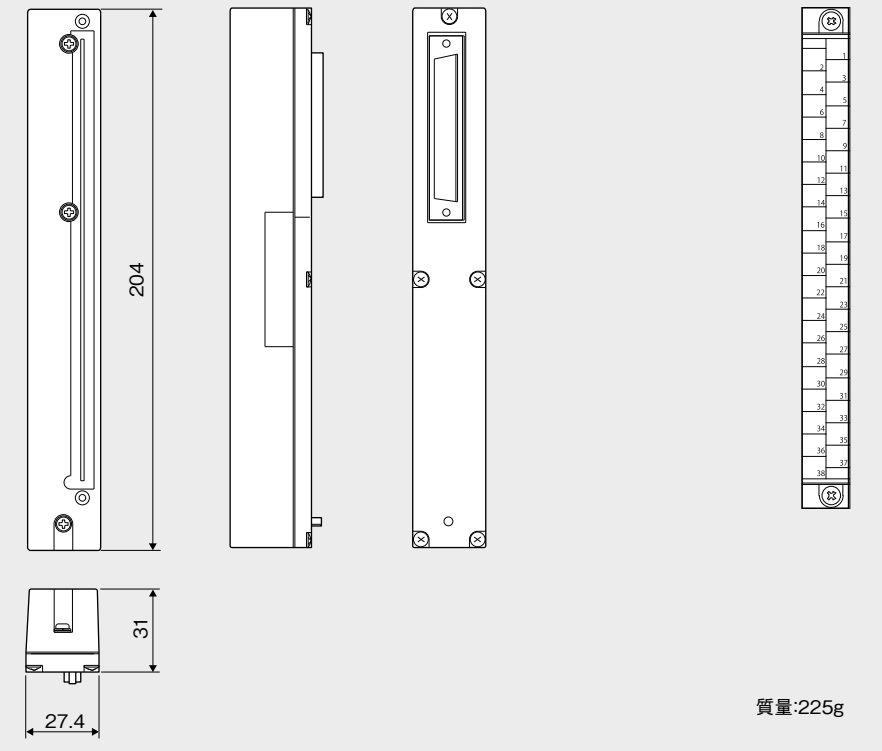
単位:mm



質量:230g

形名:
ERNT-AQTB38-E

単位:mm



質量:225g

ベースアダプタ

MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールと同じ製品です。
1-37ページを参照ください。

変換アダプタ固定台

MELSEC-Aシリーズ/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールと同じ製品です。
1-37ページを参照ください。

他社PLC(小形)からMELSEC-Qシリーズへの置換え

機種一覧

1 ユニバーサル変換アダプタ(小形)

MELSEC-Qシリーズユニットの電気仕様が、既設接続機器の仕様を満足することを確認してください。

入力／出力ユニット用

〈1スロットタイプ〉 (三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニット(Q□□BLS、Q□□BLS-D)にも取付け可能)

入力／出力	置換後 MELSEC-Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ 形名	変換アダプタ 形状 付属端子台	変換アダプタ 形状 MELSEC-Qシリーズ	掲載ページ
入力	QX10	ERNT-ASQTB20	端子台(20点)	端子台(18点)	7-41 〜 7-47
	QX28				
	QX40				
	QX40-S1				
	QX40H				
	QX50				
	QX70				
	QX70H				
	QX80				
	QX80H				
	QX90H				
出力	QY10				
	QY18A				
	QY22				
	QY40P				
	QY50				
	QY68A				
	QY70				
	QY80				
入出力混合	QX48Y57				

ポイント

MELSEC-AnSシリーズ/MELSEC-Qシリーズリニューアルツールによる置換えシステム、SYSMAC Cシリーズ(C200H、CSシリーズのみ)/MELSEC-Qシリーズ リニューアルツールによる置換えシステムおよびニューサテライトJWシリーズ(小形)/MELSEC-Qシリーズリニューアルツールによる置換えシステムに使用することができます。

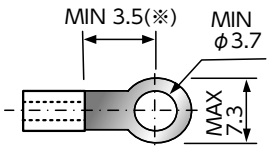
ユニバーサル変換アダプタ

仕　様

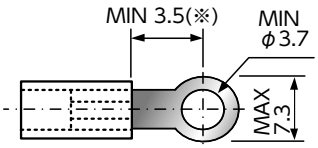
20点端子台仕様

●適合圧着端子　　単位：mm

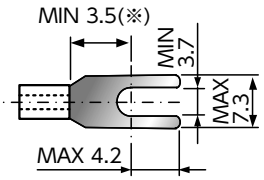
丸形裸圧着端子



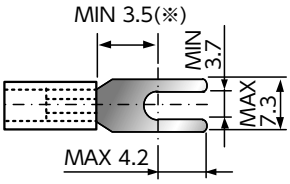
丸形絶縁付圧着端子



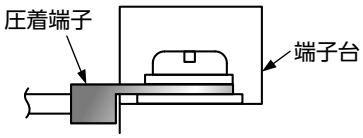
Y形裸圧着端子



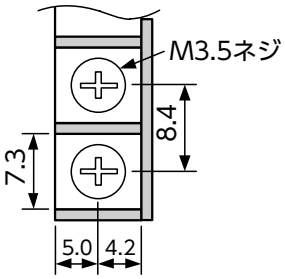
Y形絶縁付圧着端子



※圧着端子を右図のように
裏返し状態で取付ける場合
「MIN 5.0」となります。

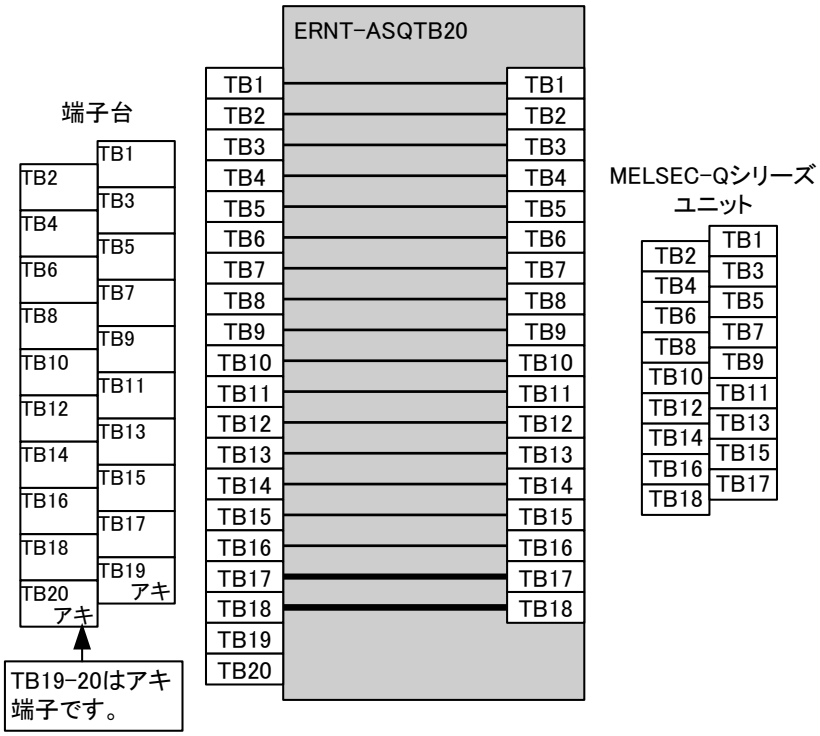


●端子台形状　　単位：mm



(1)ERNT-ASQTB20

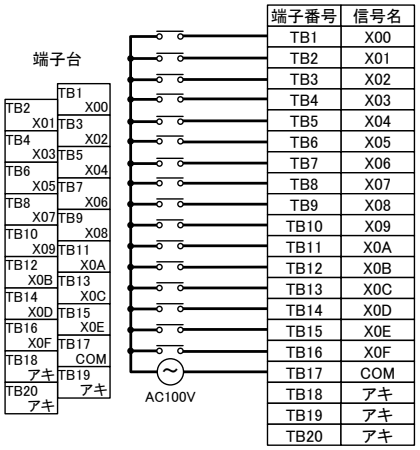
接続図



入力ユニット

使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様

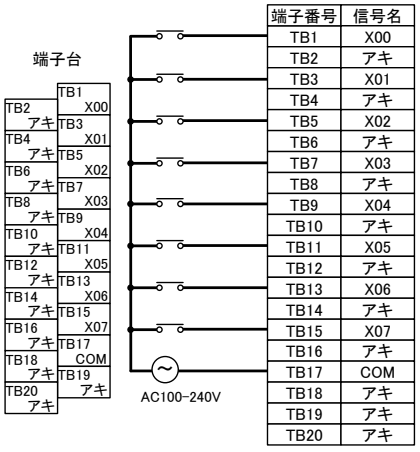
QX10 + ERNT-ASQTB20



端子番号	信号名
TB1	X00
TB2	X01
TB3	X02
TB4	X03
TB5	X04
TB6	X05
TB7	X06
TB8	X07
TB9	X08
TB10	X09
TB11	X0A
TB12	X0B
TB13	X0C
TB14	X0D
TB15	X0E
TB16	X0F
TB17	COM
TB18	アキ
TB19	アキ
TB20	アキ

仕様＼形名		QX10
入力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		AC100-120V(+10/−15%) 50/60Hz(±3Hz)
定格入力電流		約8mA(AC100V、60Hz) 約7mA(AC100V、50Hz)
突入電流		最大200mA 1ms以内(AC132V)
ON電圧/ON電流		AC80V以上/5mA以上(50Hz、60Hz)
OFF電圧/OFF電流		AC30V以下/1.7mA以下(50Hz、60Hz)
入力インピーダンス		約12kΩ(60Hz) 約15kΩ(50Hz)
応答時間	OFF→ON	15ms以下(AC100V 50Hz、60Hz)
	ON→OFF	20ms以下(AC100V 50Hz、60Hz)
内部消費電流		50mA(TYP.全点ON)
コモン方式		16点1コモン

QX28 + ERNT-ASQTB20

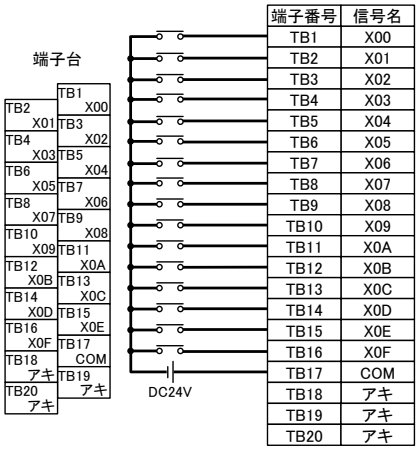


端子番号	信号名
TB1	X00
TB2	アキ
TB3	X01
TB4	アキ
TB5	X02
TB6	アキ
TB7	X03
TB8	アキ
TB9	X04
TB10	アキ
TB11	X05
TB12	アキ
TB13	X06
TB14	アキ
TB15	X07
TB16	アキ
TB17	COM
TB18	アキ
TB19	アキ
TB20	アキ

仕様＼形名		QX28
入力点数		8点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		AC100-240V(+10/−15%) 50/60Hz(±3Hz)
定格入力電流		約17mA(AC200V、60Hz)、約14mA(AC200V、50Hz) 約8mA(AC100V、60Hz)、約7mA(AC100V、50Hz)
突入電流		最大950mA 1ms以内(AC264V)
ON電圧/ON電流		AC80V以上/5mA以上(50Hz、60Hz)
OFF電圧/OFF電流		AC30V以下/1.7mA以下(50Hz、60Hz)
入力インピーダンス		約12kΩ(60Hz) 約15kΩ(50Hz)
応答時間	OFF→ON	10ms以下(AC100V 50Hz、60Hz)
	ON→OFF	15ms以下(AC100V 50Hz、60Hz)
内部消費電流		50mA(TYP.全点ON)
コモン方式		8点1コモン

使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様

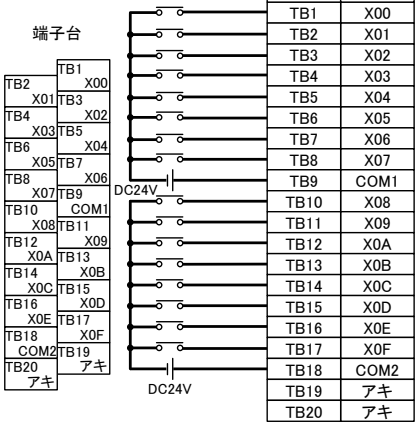
QX40 QX40-S1 + ERNT-ASQTB20



端子番号	信号名
TB1	X00
TB2	X01
TB3	X02
TB4	X03
TB5	X04
TB6	X05
TB7	X06
TB8	X07
TB9	X08
TB10	X09
TB11	X0A
TB12	X0B
TB13	X0C
TB14	X0D
TB15	X0E
TB16	X0F
TB17	COM
TB18	アキ
TB19	アキ
TB20	アキ

仕様＼形名		QX40（プラスコモン）	QX40-S1（プラスコモン）
入力点数		16点	16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC24V(+20/−15%)	DC24V(+20/−15%)
定格入力電流		約4mA	約6mA
ON電圧/ON電流		19V以上/3mA以上	19V以上/4.0mA以上
OFF電圧/OFF電流		11V以下/1.7mA以下	11V以下/1.7mA以下
入力抵抗		約5.6kΩ	約3.9kΩ
応答時間	OFF→ON	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
	ON→OFF	1/5/10/20/70ms以下	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
内部消費電流		50mA(TYP.全点ON)	60mA(TYP.全点ON)
コモン方式		16点1コモン	16点1コモン

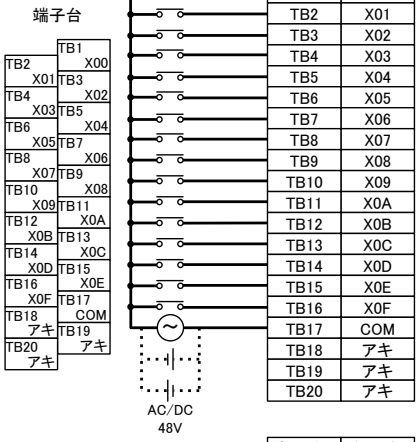
QX40H + ERNT-ASQTB20



端子番号	信号名
TB1	X00
TB2	X01
TB3	X02
TB4	X03
TB5	X04
TB6	X05
TB7	X06
TB8	X07
TB9	COM1
TB10	X08
TB11	X09
TB12	X0A
TB13	X0B
TB14	X0C
TB15	X0D
TB16	X0E
TB17	X0F
TB18	COM2
TB19	アキ
TB20	アキ

仕様＼形名		QX40H（プラスコモン）
入力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC24V(+20/−15%)
定格入力電流		約6mA
ON電圧/ON電流		13V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		8V以下/1.6mA以下
入力抵抗		約3.9kΩ
応答時間	OFF→ON	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
	ON→OFF	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
内部消費電流		80mA(TYP.全点ON)
コモン方式		8点1コモン

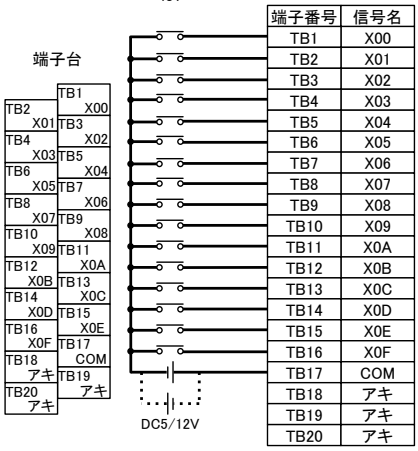
QX50 + ERNT-ASQTB20



端子番号	信号名
TB1	X00
TB2	X01
TB3	X02
TB4	X03
TB5	X04
TB6	X05
TB7	X06
TB8	X07
TB9	X08
TB10	X09
TB11	X0A
TB12	X0B
TB13	X0C
TB14	X0D
TB15	X0E
TB16	X0F
TB17	COM
TB18	アキ
TB19	アキ
TB20	アキ

仕様＼形名		QX50（プラスコモン/マイナスコモン共用、AC）	
入力点数		16点	
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	
定格入力電圧		DC48V(+20/−15%)	AC48V(+10/−15%) 50/60Hz(±3Hz)
定格入力電流		約4mA	
ON電圧/ON電流		28V以上/2.5mA以上	
OFF電圧/OFF電流		10V以下/1.0mA以下	
入力抵抗		約11.2kΩ	
応答時間	OFF→ON	5ms以下	15ms以下
	ON→OFF	20ms以下	20ms以下
内部消費電流		50mA(TYP.全点ON)	
コモン方式		16点1コモン	

QX70 + ERNT-ASQTB20

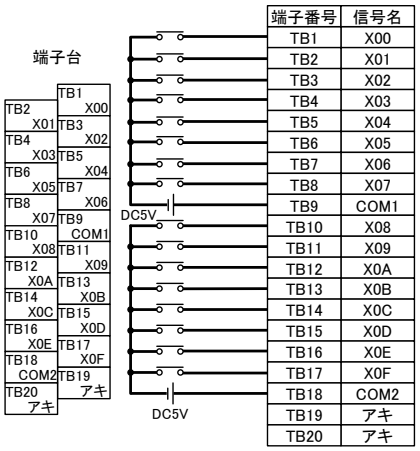


端子番号	信号名
TB1	X00
TB2	X01
TB3	X02
TB4	X03
TB5	X04
TB6	X05
TB7	X06
TB8	X07
TB9	X08
TB10	X09
TB11	X0A
TB12	X0B
TB13	X0C
TB14	X0D
TB15	X0E
TB16	X0F
TB17	COM
TB18	アキ
TB19	アキ
TB20	アキ

仕様＼形名		QX70（プラスコモン/マイナスコモン共用）	
入力点数		16点	
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	
定格入力電圧		DC5V(+20/−10%)	DC12V(+20/−15%)
定格入力電流		約1.2mA	約3.3mA
ON電圧/ON電流		3.5V以上/1mA以上	
OFF電圧/OFF電流		1V以下/0.1mA以下	
入力抵抗		約3.3kΩ	
応答時間	OFF→ON	1/5/10/20/70ms以下	
	ON→OFF	1/5/10/20/70ms以下	
内部消費電流		55mA(TYP.全点ON)	
コモン方式		16点1コモン	

使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様

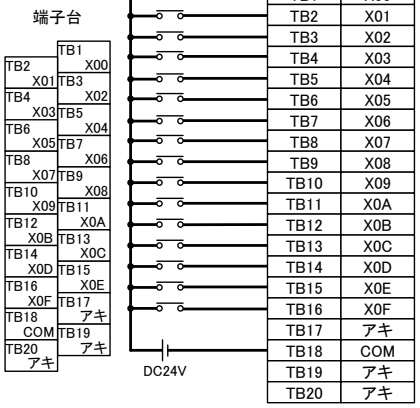
QX70H + ERNT-ASQTB20



端子番号	信号名
TB1	X00
TB2	X01
TB3	X02
TB4	X03
TB5	X04
TB6	X05
TB7	X06
TB8	X07
TB9	COM1
TB10	X08
TB11	X09
TB12	X0A
TB13	X0B
TB14	X0C
TB15	X0D
TB16	X0E
TB17	X0F
TB18	COM2
TB19	アキ
TB20	アキ

仕様＼形名		QX70H（プラスコモン）
入力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC5V（+20/−15%）
定格入力電流		約6mA
ON電圧/ON電流		3.5V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		1V以下/1mA以下
入力抵抗		約470Ω
応答時間	OFF→ON	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
	ON→OFF	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
内部消費電流		80mA（TYP.全点ON）
コモン方式		8点1コモン

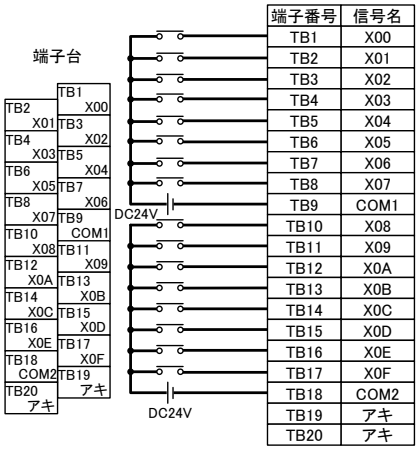
QX80 + ERNT-ASQTB20



端子番号	信号名
TB1	X00
TB2	X01
TB3	X02
TB4	X03
TB5	X04
TB6	X05
TB7	X06
TB8	X07
TB9	X08
TB10	X09
TB11	X0A
TB12	X0B
TB13	X0C
TB14	X0D
TB15	X0E
TB16	X0F
TB17	アキ
TB18	COM
TB19	アキ
TB20	アキ

仕様＼形名		QX80（マイナスコモン）
入力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC24V（+20/−15%）
定格入力電流		約4mA
ON電圧/ON電流		19V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		11V以下/1.7mA以下
入力抵抗		約5.6kΩ
応答時間	OFF→ON	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	1/5/10/20/70ms以下
内部消費電流		50mA（TYP.全点ON）
コモン方式		16点1コモン

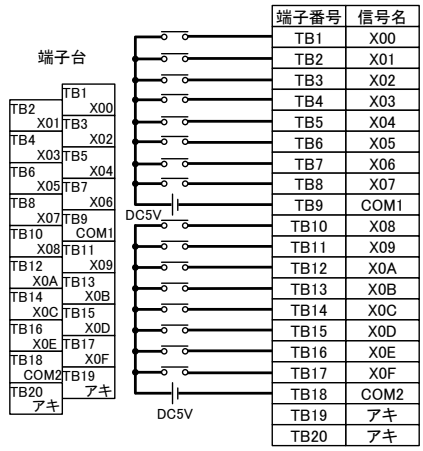
QX80H + ERNT-ASQTB20



端子番号	信号名
TB1	X00
TB2	X01
TB3	X02
TB4	X03
TB5	X04
TB6	X05
TB7	X06
TB8	X07
TB9	COM1
TB10	X08
TB11	X09
TB12	X0A
TB13	X0B
TB14	X0C
TB15	X0D
TB16	X0E
TB17	X0F
TB18	COM2
TB19	アキ
TB20	アキ

仕様＼形名		QX80H（マイナスコモン）
入力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC24V（+20/−15%）
定格入力電流		約6mA
ON電圧/ON電流		13V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		8V以下/1.6mA以下
入力抵抗		約3.9kΩ
応答時間	OFF→ON	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
	ON→OFF	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
内部消費電流		80mA（TYP.全点ON）
コモン方式		8点1コモン

QX90H + ERNT-ASQTB20

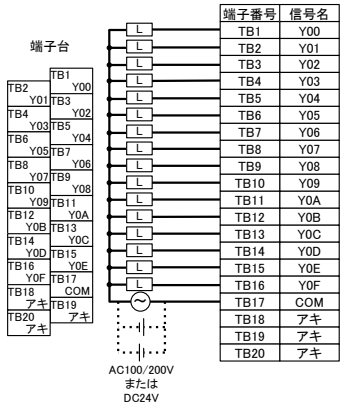


端子番号	信号名
TB1	X00
TB2	X01
TB3	X02
TB4	X03
TB5	X04
TB6	X05
TB7	X06
TB8	X07
TB9	COM1
TB10	X08
TB11	X09
TB12	X0A
TB13	X0B
TB14	X0C
TB15	X0D
TB16	X0E
TB17	X0F
TB18	COM2
TB19	アキ
TB20	アキ

仕様＼形名		QX90H（マイナスコモン）
入力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC5V（+20/−15%）
定格入力電流		約6mA
ON電圧/ON電流		3.5V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		1V以下/1mA以下
入力抵抗		約470Ω
応答時間	OFF→ON	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
	ON→OFF	0.1/0.2/0.4/0.6/1ms以下
内部消費電流		80mA（TYP.全点ON）
コモン方式		8点1コモン

出力ユニット

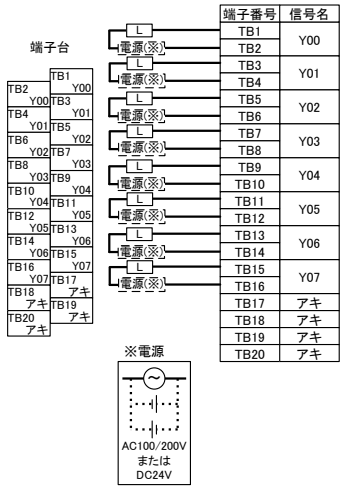
QY10 + ERNT-ASQTB20



端子番号	信号名
TB1	Y00
TB2	Y01
TB3	Y02
TB4	Y03
TB5	Y04
TB6	Y05
TB7	Y06
TB8	Y07
TB9	Y08
TB10	Y09
TB11	Y0A
TB12	Y0B
TB13	Y0C
TB14	Y0D
TB15	Y0E
TB16	Y0F
TB17	COM
TB18	アキ
TB19	アキ
TB20	アキ

仕様＼形名		QY10
出力点数		16点
絶縁方式		リレー絶縁
定格開閉電圧・電流		DC24V 2A（抵抗負荷）/1点 AC240V 2A（cosφ=1）/1点 8A/1コモン
最小開閉負荷		DC5V 1mA
最大開閉電圧		AC264V DC125V
応答時間	OFF→ON	10ms以下
	ON→OFF	12ms以下
サージキラー		なし
ヒューズ		なし
内部消費電流		430mA（TYP.全点ON）
コモン方式		16点1コモン

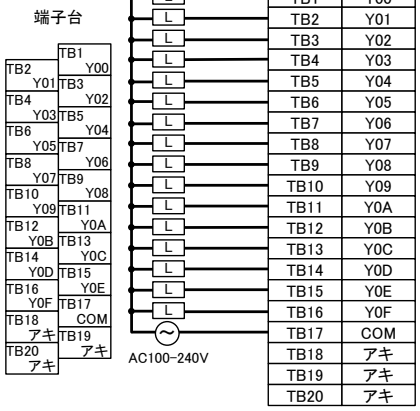
QY18A + ERNT-ASQTB20



端子番号	信号名
TB1	Y00
TB2	
TB3	Y01
TB4	
TB5	Y02
TB6	
TB7	Y03
TB8	
TB9	Y04
TB10	
TB11	Y05
TB12	
TB13	Y06
TB14	
TB15	Y07
TB16	
TB17	アキ
TB18	アキ
TB19	アキ
TB20	アキ

仕様＼形名		QY18A
出力点数		8点
絶縁方式		リレー絶縁
定格開閉電圧・電流		DC24V 2A（抵抗負荷）/1点 AC240V 2A（cosφ=1）/1点 8A/1ユニット
最小開閉負荷		DC5V 1mA
最大開閉電圧		AC264V DC125V
応答時間	OFF→ON	10ms以下
	ON→OFF	12ms以下
サージキラー		なし
ヒューズ		なし
内部消費電流		240mA（TYP.全点ON）
コモン方式		全点独立

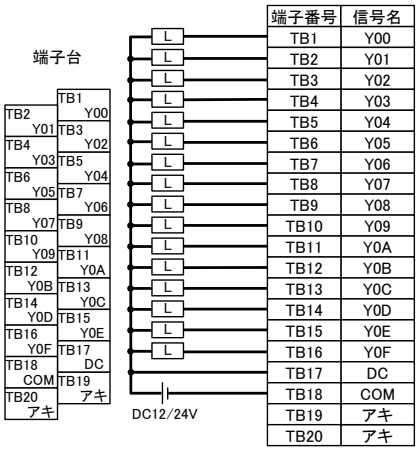
QY22 + ERNT-ASQTB20



端子番号	信号名
TB1	Y00
TB2	Y01
TB3	Y02
TB4	Y03
TB5	Y04
TB6	Y05
TB7	Y06
TB8	Y07
TB9	Y08
TB10	Y09
TB11	Y0A
TB12	Y0B
TB13	Y0C
TB14	Y0D
TB15	Y0E
TB16	Y0F
TB17	COM
TB18	アキ
TB19	アキ
TB20	アキ

仕様＼形名		QY22
出力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		AC100-240V 50/60Hz±5%
最大負荷電流		0.6A/1点、4.8A/1コモン
最大突入電流		20A 1サイクル以下
OFF時漏洩電流		3mA以下（240V 60Hz） 1.5mA以下（120V 60Hz）
ON時最大電圧降下		1.5V以下
応答時間	OFF→ON	1ms+0.5サイクル以下
	ON→OFF	1ms+0.5サイクル以下（定格負荷・抵抗負荷）
サージキラー		CRアブソーバ
ヒューズ		なし
内部消費電流		250mA（MAX.全点ON）
コモン方式		16点1コモン

QY40P QY50 + ERNT-ASQTB20

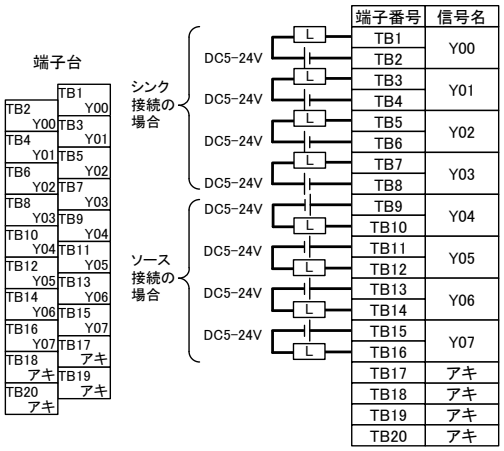


端子番号	信号名
TB1	Y00
TB2	Y01
TB3	Y02
TB4	Y03
TB5	Y04
TB6	Y05
TB7	Y06
TB8	Y07
TB9	Y08
TB10	Y09
TB11	Y0A
TB12	Y0B
TB13	Y0C
TB14	Y0D
TB15	Y0E
TB16	Y0F
TB17	DC
TB18	COM
TB19	アキ
TB20	アキ

仕様＼形名		QY40P（シンクタイプ）	QY50（シンクタイプ）
出力点数		16点	16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁	フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12-24V(+20/−15%)	DC12-24V(+20/−15%)
最大負荷電流		0.1A／1点、1.6A/1コモン	0.5A／1点、4A/1コモン
最大突入電流		0.7A 10ms以下	4A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下	0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC0.1V（TYP.）0.1A DC0.2V（MAX.）0.1A	DC0.2V（TYP.）0.5A DC0.3V（MAX.）0.5A
応答時間	OFF→ON	1ms以下	1ms以下
	ON→OFF	1ms以下 （定格負荷、抵抗負荷）	1ms以下 （定格負荷、抵抗負荷）
サージキラー		ツェナーダイオード	ツェナーダイオード
ヒューズ		なし	6.7A（交換不可） （ヒューズ遮断容量:50A）
保護機能		有（過負荷保護、過熱保護）	なし
内部消費電流		65mA（TYP.全点ON）	80mA（TYP.全点ON）
コモン方式		16点1コモン	16点1コモン

使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様

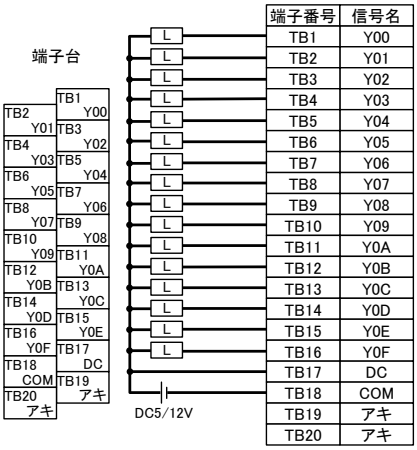
QY68A + ERNT-ASQTB20



端子番号	信号名
TB1	Y00
TB2	
TB3	Y01
TB4	
TB5	Y02
TB6	
TB7	Y03
TB8	
TB9	Y04
TB10	
TB11	Y05
TB12	
TB13	Y06
TB14	
TB15	Y07
TB16	
TB17	アキ
TB18	アキ
TB19	アキ
TB20	アキ

仕様＼形名		QY68A (シンク/ソースタイプ)
出力点数		8点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC5-24V (+20/−10%)
最大負荷電流		2A/1点、8A/1ユニット
最大突入電流		8A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC0.3V(MAX.)2A
応答時間	OFF→ON	3ms以下
	ON→OFF	10ms以下(抵抗負荷)
サージキラー		ツェナーダイオード
ヒューズ		なし
保護機能		なし
内部消費電流		110mA(TYP.全点ON)
コモン方式		全点独立

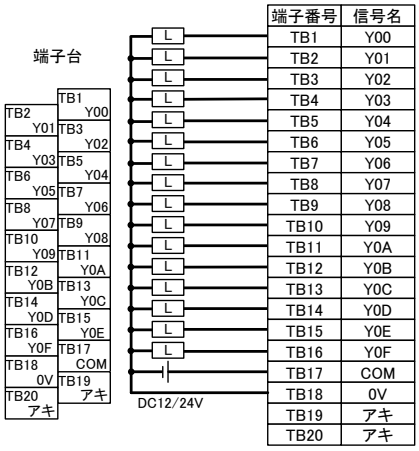
QY70 + ERNT-ASQTB20



端子番号	信号名
TB1	Y00
TB2	Y01
TB3	Y02
TB4	Y03
TB5	Y04
TB6	Y05
TB7	Y06
TB8	Y07
TB9	Y08
TB10	Y09
TB11	Y0A
TB12	Y0B
TB13	Y0C
TB14	Y0D
TB15	Y0E
TB16	Y0F
TB17	DC
TB18	COM
TB19	アキ
TB20	アキ

仕様＼形名		QY70 (シンクタイプ)
出力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC5-12V (+25/−10%)
最大負荷電流		16mA/1点、256mA/1コモン
最大突入電流		40mA 10ms以下
OFF時漏洩電流		VOH:DC3.5V (Vcc=DC5V、IOH=0.4mA)
ON時最大電圧降下		VOL:DC0.3V
応答時間	OFF→ON	0.5ms以下
	ON→OFF	0.5ms以下(抵抗負荷)
サージキラー		なし
ヒューズ		1.6A(交換不可) (ヒューズ遮断容量:50A)
保護機能		なし
内部消費電流		95mA(TYP.全点ON)
コモン方式		16点1コモン

QY80 + ERNT-ASQTB20



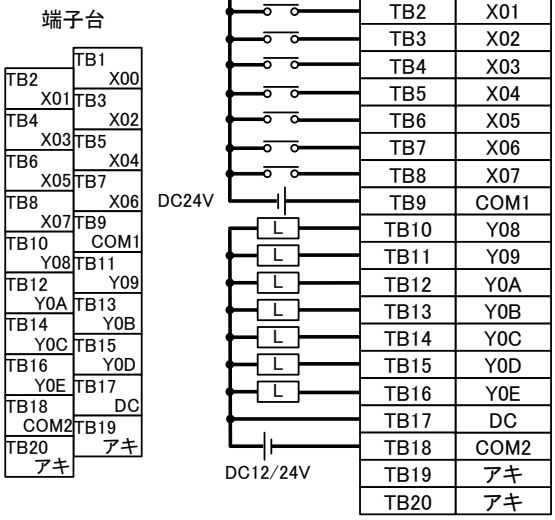
端子番号	信号名
TB1	Y00
TB2	Y01
TB3	Y02
TB4	Y03
TB5	Y04
TB6	Y05
TB7	Y06
TB8	Y07
TB9	Y08
TB10	Y09
TB11	Y0A
TB12	Y0B
TB13	Y0C
TB14	Y0D
TB15	Y0E
TB16	Y0F
TB17	COM
TB18	0V
TB19	アキ
TB20	アキ

仕様＼形名		QY80 (ソースタイプ)
出力点数		16点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12-24V (+20/−15%)
最大負荷電流		0.5A/1点、4A/1コモン
最大突入電流		4A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC0.2V(TYP.)0.5A DC0.3V(MAX.)0.5A
応答時間	OFF→ON	1ms以下
	ON→OFF	1ms以下(定格負荷、抵抗負荷)
サージキラー		ツェナーダイオード
ヒューズ		6.7A(交換不可) (ヒューズ遮断容量:50A)
保護機能		なし
内部消費電流		80mA(TYP.全点ON)
コモン方式		16点1コモン

入出力混合ユニット

使用MELSEC-Qシリーズ ユニット	外部接続図	MELSEC-Qシリーズ ユニット仕様

QX48Y57
＋
ERNT-ASQTB20



端子番号	信号名
TB1	X00
TB2	X01
TB3	X02
TB4	X03
TB5	X04
TB6	X05
TB7	X06
TB8	X07
TB9	COM1
TB10	Y08
TB11	Y09
TB12	Y0A
TB13	Y0B
TB14	Y0C
TB15	Y0D
TB16	Y0E
TB17	DC
TB18	COM2
TB19	アキ
TB20	アキ

〈入力仕様〉

仕様＼形名		QX48Y57（プラスコモン）
入力点数		8点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格入力電圧		DC24V（+20/−15%）
定格入力電流		約4mA
ON電圧/ON電流		19V以上/3mA以上
OFF電圧/OFF電流		11V以下/1.7mA以下
入力抵抗		約5.6kΩ
応答時間	OFF→ON	1/5/10/20/70ms以下
	ON→OFF	1/5/10/20/70ms以下
内部消費電流		80mA（TYP.全点ON）
コモン方式		8点1コモン

〈出力仕様〉

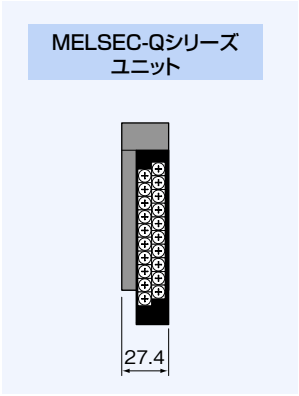
仕様＼形名		QX48Y57（シンクタイプ）
出力点数		7点
絶縁方式		フォトカプラ絶縁
定格負荷電圧		DC12-24V（+20/−15%）
最大負荷電流		0.5A/1点、2A/1コモン
最大突入電流		4A 10ms以下
OFF時漏洩電流		0.1mA以下
ON時最大電圧降下		DC0.2V（TYP.）0.5A DC0.3V（MAX.）0.5A
応答時間	OFF→ON	1ms以下
	ON→OFF	1ms以下（定格負荷、抵抗負荷）
サージキラー		ツェナーダイオード
ヒューズ		4A（交換不可） （ヒューズ遮断容量:50A）
保護機能		なし
コモン方式		7点1コモン

ご使用上の注意点

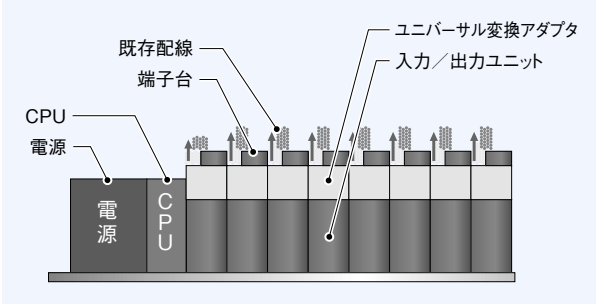
MELSEC-Qシリーズユニットの仕様が、既設接続機器の仕様を満足することを確認してください。
MELSEC-Qシリーズの各ユニットのマニュアルを参照し、使用いただきますようお願いいたします。

ユニット幅

(1)ユニット幅寸法が27.4mmになります。配線領域が小さくなる場合がありますので取付け上の確認が必要です。

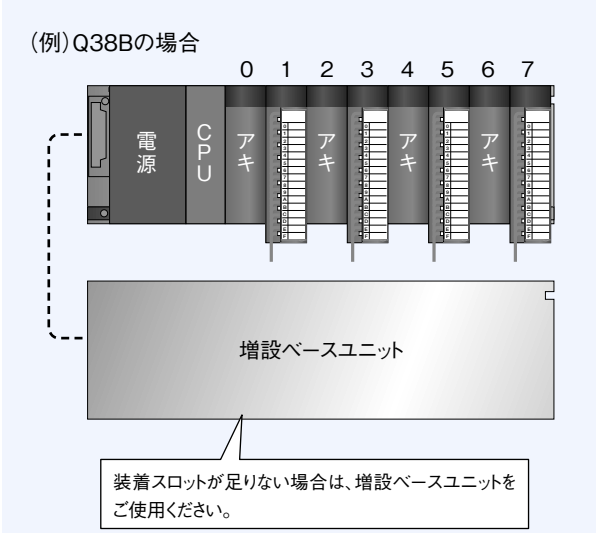


(2)装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(3)配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。

(例)Q38Bの場合

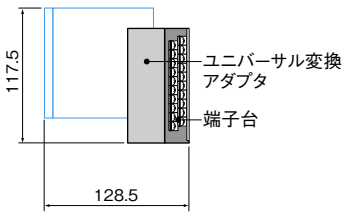
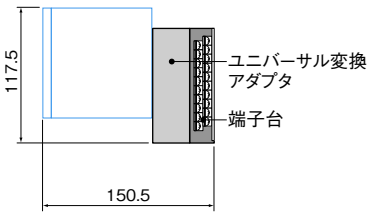


ユニットを装着しない予備スペースのコネクタには、じんあい進入防止のため付属のコネクタカバーか、ブランクカバーユニット(QG60)を装着してください。

(4)上記(2)、(3)での置換えができない場合、三菱電機株式会社製AnSサイズ版Qラージベースユニットの使用をご検討ください。7-8

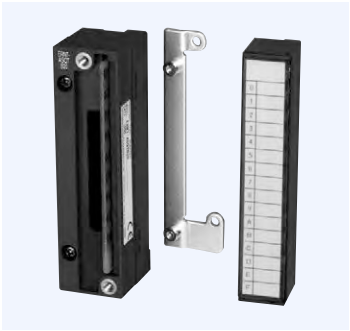
奥行き・高さ

MELSEC-Q :MELSEC-Qシリーズ

MELSEC-Qシリーズユニット	QY22以外	QY22
寸法 奥行き	128.5mm	150.5mm
寸法 高さ	117.5mm	117.5mm
取付図	MELSEC-Q ＋ リニューアルツール  	MELSEC-Q ＋ リニューアルツール 

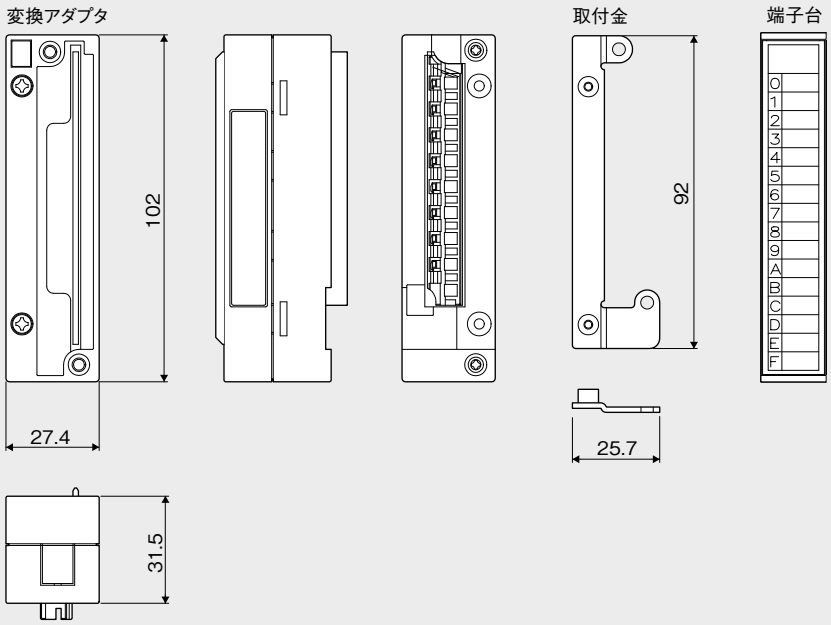
外形寸法図

ユニバーサル変換アダプタ



形名:
ERNT-ASQTB20

単位:mm



質量:140g

■規格適合一覧表

MELSEC-Aシリーズ／MELSEC-Qシリーズリニューアルツール

○:対応　×:未対応　ー:対象外

品　名		形　名	規　格		
			UL	cUL	CE(LVD)
入力/出力 ユニット用 変換アダプタ	1スロットタイプ	ERNT-AQTX10	○	○	○
		ERNT-AQTX40	○	○	○
		ERNT-AQTX80	○	○	○
		ERNT-AQTX41	○	○	○
		ERNT-AQTX81	○	○	○
		ERNT-AQTY10	○	○	○
		ERNT-AQTY22	○	○	○
		ERNT-AQTY40	○	○	○
		ERNT-AQTY50	○	○	○
		ERNT-AQTY80	○	○	○
		ERNT-AQTY41	○	○	○
		ERNT-AQTY81	○	○	○
	2スロットタイプ	ERNT-AQTX11	○	○	○
		ERNT-AQTY10A	○	○	○
		ERNT-AQTY13	○	○	○
		ERNT-AQTY23	○	○	○
		ERNT-AQTY51	○	○	○
アナログ/高速 カウンタ用 変換アダプタ	1スロットタイプ	ERNT-AQT68AD	○	○	○
		ERNT-AQT68ADN	○	○	○
		ERNT-AQT62DA	○	○	○
		ERNT-AQT68DA	○	○	○
		ERNT-AQTD61	○	○	○
	2スロットタイプ	ERNT-AQT68AD-GH	○	○	○
		ERNT-AQT616AD	○	○	○
		ERNT-AQT616DA	○	○	○
変換アダプタ固定台		ERNT-AQF12	ー	ー	ー
		ERNT-AQF8	ー	ー	ー
		ERNT-AQF5	ー	ー	ー
		ERNT-AQF3	ー	ー	ー
ベースアダプタ		ERNT-AQB38N	ー	ー	ー
		ERNT-AQB68N	ー	ー	ー
		ERNT-AQB58N	ー	ー	ー
		ERNT-AQB35N	ー	ー	ー
		ERNT-AQB65N	ー	ー	ー
		ERNT-AQB55N	ー	ー	ー
		ERNT-AQB32	ー	ー	ー
		ERNT-AQB62	ー	ー	ー
		ERNT-AQB52	ー	ー	ー

MELSEC-AnSシリーズ／MELSEC-Lシリーズリニューアルツール

○:対応　×:未対応　ー:対象外

品　名		形　名	規　格		
			UL	cUL	CE(LVD)
入力/出力 ユニット用 変換アダプタ	1ユニットタイプ	ERNT-ASLTXY10	○	○	○
		ERNT-ASLTX40	○	○	○
		ERNT-ASLTX80	○	○	○
		ERNT-ASLTY22	○	○	○
		ERNT-ASLTY40	○	○	○
		ERNT-ASLTY50	○	○	○
		ERNT-ASLTY80	○	○	○
		ERNT-ASLCXY81	○	○	○
アナログ用 変換アダプタ	1ユニットタイプ	ERNT-ASLT64AD	○	○	○
		ERNT-ASLT62DA	○	○	○
高速カウンタ用 変換アダプタ	1ユニットタイプ	ERNT-ASLTD61	○	○	○
		ERNT-ASLTD62	○	○	○
ベースアダプタ		ERNT-ASLB38	ー	ー	ー
		ERNT-ASLB35	ー	ー	ー
		ERNT-ASLB33	ー	ー	ー
		ERNT-ASLB32	ー	ー	ー
		ERNT-ASLBJ	ー	ー	ー
		ERNT-ASLB68	ー	ー	ー
		ERNT-ASLB65	ー	ー	ー
		ERNT-ASLB58	ー	ー	ー
		ERNT-ASLB55	ー	ー	ー
		ERNT-ASLB52	ー	ー	ー

MELSEC-AnSシリーズ／MELSEC-Qシリーズリニューアルツール

○:対応　×:未対応　ー:対象外

品　名		形　名	規　格		
			UL	cUL	CE(LVD)
入力/出力 ユニット用 変換アダプタ	1スロットタイプ	ERNT-ASQTXY10	○	○	○
		ERNT-ASQTX40	○	○	○
		ERNT-ASQTX80	○	○	○
		ERNT-ASQTY22	○	○	○
		ERNT-ASQTY40	○	○	○
		ERNT-ASQTY50	○	○	○
		ERNT-ASQTY80	○	○	○
	2スロットタイプ	ERNT-ASQTX20	○	○	○
		ERNT-ASQTY60	○	○	○
		ERNT-ASQTY60E	○	○	○
アナログ/高速カウンタ/ 温度入力用 変換アダプタ	1スロットタイプ	ERNT-ASQT64AD	○	○	○
		ERNT-ASQT68AD	○	○	○
		ERNT-ASQT62DA	○	○	○
		ERNT-ASQT68DA	○	○	○
		ERNT-ASQT68AD-G	○	○	○
		ERNT-ASQT63ADA	○	○	○
		ERNT-ASQTD61	○	○	○
		ERNT-ASQTD62	○	○	○
		ERNT-ASQTD62D	○	○	○
		ERNT-ASQT68TD-H01	○	○	○
		ERNT-ASQT68TD-H02	○	○	○
		ERNT-ASQT62RD	○	○	○
		ERNT-ASQT64TCTT	○	○	○
		ERNT-ASQT64TCRT	○	○	○
		ERNT-ASQT62TCTT	○	○	○
		ERNT-ASQT62TCRT	○	○	○
	1スロットタイプ ＋ 変換ケーブル	ERNT-ASQT64TCTTBW	○	○	○ (※)
		ERNT-ASQT64TCRTBW	○	○	○ (※)
		ERNT-ASQT62TCTTBW	○	○	○ (※)
		ERNT-ASQT62TCRTBW	○	○	○ (※)
ベースアダプタ		ERNT-ASQB38N	ー	ー	ー
		ERNT-ASQB35N	ー	ー	ー
		ERNT-ASQB33N	ー	ー	ー
		ERNT-ASQB32N	ー	ー	ー
		ERNT-ASQB00JN	ー	ー	ー
		ERNT-ASQB68N	ー	ー	ー
		ERNT-ASQB65N	ー	ー	ー
		ERNT-ASQB58N	ー	ー	ー
		ERNT-ASQB55N	ー	ー	ー
		ERNT-ASQB52N	ー	ー	ー
		ERNT-ASQB38N-S1	ー	ー	ー
		ERNT-ASQB35N-S1	ー	ー	ー
		ERNT-ASQB33N-S1	ー	ー	ー
変換アダプタDINレール取付金具		ERNT-ASQDIN3868	ー	ー	ー
		ERNT-ASQDIN356500J	ー	ー	ー
		ERNT-ASQDIN3355	ー	ー	ー
		ERNT-ASQDIN52	ー	ー	ー

※:変換アダプタのみCE(LVD)に対応しています。断線検知コネクタ変換ケーブルはCE(LVD)対象外です。

SYSMAC Cシリーズ／MELSEC-Qシリーズリニューアルツール

○:対応　×:未対応　ー:対象外

品　名		形　名	規　格		
			UL	cUL	CE(LVD)
入力/出力 ユニット用 変換アダプタ	1スロットタイプ	ERNT-CQTX121	○	○	○
		ERNT-CQTX112213	○	○	○
		ERNT-CQTX215218	○	○	○
		ERNT-CQCX218501	○	○	○
		ERNT-CQCX114219	○	○	○
		ERNT-CQTY221	○	○	○
		ERNT-CQTY226	○	○	○
		ERNT-CQTY219217	○	○	○
		ERNT-CQTY411	○	○	○
		ERNT-CQTY412	○	○	○
		ERNT-CQTY414218	○	○	○
		ERNT-CQCY415	○	○	○
		ERNT-CQCY501	○	○	○
		ERNT-CQCY213	○	○	○
		ERNT-2CQ216X218X	○	○	○
		ERNT-2CQ218Y	○	○	○
	2スロットタイプ	ERNT-CQTX122	○	○	○
		ERNT-CQTY224	○	○	○
		ERNT-CQTY225	○	○	○
		ERNT-CQTY218	○	○	○
変換アダプタ固定台		ERNT-QF12	ー	ー	ー
		ERNT-QF8	ー	ー	ー
		ERNT-QF5	ー	ー	ー
ベースアダプタ		ERNT-CQB081N	ー	ー	ー
		ERNT-CQB051N	ー	ー	ー
		ERNT-CQB031N	ー	ー	ー

JWシリーズ／MELSEC-Qシリーズリニューアルツール

○:対応　×:未対応　ー:対象外

品　名		形　名	規　格		
			UL	cUL	CE(LVD)
入力/出力 ユニット用 変換アダプタ	1スロットタイプ	ERNT-1JQ11N12N	×	×	○
		ERNT-1JQ32N34N	×	×	○
		ERNT-1JQ64NC	×	×	○
		ERNT-1JQ13S	×	×	○
		ERNT-1JQ12S	×	×	○
		ERNT-1JQ32S	×	×	○
		ERNT-1JQ32SC62SC	×	×	○
		ERNT-2JQ210NS	×	×	○
		ERNT-2JQ212S	×	×	○
		ERNT-2JQ234N264N	×	×	○
		ERNT-2JQ232S262S	×	×	○
	2スロットタイプ	ERNT-1JQ31N34S	×	×	○
		ERNT-1JQ33S	×	×	○

MEMOCON-SC GLシリーズ／MELSEC-Qシリーズリニューアルツール

○:対応　×:未対応　ー:対象外

品　名		形　名	規　格		
			UL	cUL	CE(LVD)
入力/出力 ユニット用 変換アダプタ	1スロットタイプ	ERNT-1Y2Q501	×	×	○
		ERNT-1Y2Q601611	×	×	○
		ERNT-1JQ32N34N	×	×	○
		ERNT-1Y2Q615625	×	×	○
		ERNT-1Y2Q500	×	×	○
		ERNT-1Y2Q600	×	×	○
		ERNT-1Y2Q602606	×	×	○
		ERNT-CQCY213	○	○	○
		ERNT-2YQ35400	×	×	○
		ERNT-2YQ35410	×	×	○
		ERNT-2YQ36400	×	×	○
		ERNT-2YQ36410	×	×	○
	2スロットタイプ	ERNT-1Y2Q505	×	×	○
		ERNT-1JQ33S	×	×	○

他社PLC／MELSEC-Qシリーズリニューアルツール

○:対応　×:未対応　ー:対象外

品　名		形　名	規　格		
			UL	cUL	CE(LVD)
入力/出力 ユニット用 ユニバーサル 変換アダプタ	1スロットタイプ	ERNT-AQTB20	×	×	○
		ERNT-AQTB20-S1	×	×	○
		ERNT-AQTB38	×	×	○
		ERNT-AQTB38-E	×	×	○
		ERNT-ASQTB20	×	×	○

■製品構成・価格一覧

MELSEC-Aシリーズ／MELSEC-Qシリーズリニューアルツール

品　名		形　名	製品構成	標準価格(税抜)	納期
入力／出力ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ	ERNT-AQTX10	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(2個)、ユーザーズマニュアル	10,000円	○
		ERNT-AQTX40		10,000円	○
		ERNT-AQTX80		10,000円	○
		ERNT-AQTX41		11,000円	○
		ERNT-AQTX81	変換アダプタ(本体)、ユーザーズマニュアル	12,000円	○
		ERNT-AQTY10	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(2個)、ユーザーズマニュアル	10,000円	○
		ERNT-AQTY22		10,000円	○
		ERNT-AQTY40		10,000円	○
		ERNT-AQTY50		10,000円	○
		ERNT-AQTY80		10,000円	○
		ERNT-AQTY41		11,000円	○
		ERNT-AQTY81	変換アダプタ(本体)、ユーザーズマニュアル	12,000円	○
	2スロットタイプ	ERNT-AQTX11	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(4個)、ユーザーズマニュアル	18,700円	○
		ERNT-AQTY10A		18,700円	○
		ERNT-AQTY13		18,700円	○
		ERNT-AQTY23		18,700円	○
		ERNT-AQTY51		18,700円	○
アナログ／高速カウンタ用変換アダプタ	1スロットタイプ	ERNT-AQT68AD	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(2個)、ユーザーズマニュアル	16,000円	○
		ERNT-AQT68ADN		16,000円	○
		ERNT-AQT62DA		16,000円	○
		ERNT-AQT68DA		16,000円	○
		ERNT-AQTD61		18,000円	○
	2スロットタイプ	ERNT-AQT68AD-GH	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(4個)、ユーザーズマニュアル	24,000円	○
		ERNT-AQT616AD		24,000円	○
		ERNT-AQT616DA		24,000円	○
変換アダプタ固定台		ERNT-AQF12	変換アダプタ固定台(本体)、取付ネジ(2個)	6,500円	○
		ERNT-AQF8		6,500円	○
		ERNT-AQF5		6,000円	○
		ERNT-AQF3		5,500円	○
ベースアダプタ		ERNT-AQB38N	ベースアダプタ(本体)、MELSEC-Qシリーズベースユニット取付ネジ(4個)、ユーザーズマニュアル	9,000円	○
		ERNT-AQB68N		9,000円	○
		ERNT-AQB58N		9,000円	○
		ERNT-AQB35N		8,500円	○
		ERNT-AQB65N		8,500円	○
		ERNT-AQB55N		8,500円	○
		ERNT-AQB32		8,000円	○
		ERNT-AQB62		8,000円	○
		ERNT-AQB52		8,000円	○

○:仕込生産品

MELSEC-AnSシリーズ／MELSEC-Lシリーズリニューアルツール

品　名		形　名	製品構成	標準価格(税抜)	納期
入力／出力ユニット用変換アダプタ	1ユニットタイプ	ERNT-ASLTXY10	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(1個)、端子台カバー、ユーザーズマニュアル	10,000円	○
		ERNT-ASLTX40		10,000円	○
		ERNT-ASLTX80		10,000円	○
		ERNT-ASLTY22		10,000円	○
		ERNT-ASLTY40		10,000円	○
		ERNT-ASLTY50		10,000円	○
		ERNT-ASLTY80		10,000円	○
		ERNT-ASLCXY81	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(2個)、ユーザーズマニュアル	16,000円	○
アナログ用変換アダプタ	1ユニットタイプ	ERNT-ASLT64AD	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(1個)、端子台カバー、ユーザーズマニュアル	16,000円	○
		ERNT-ASLT62DA		16,000円	○
高速カウンタ用変換アダプタ	1ユニットタイプ	ERNT-ASLTD61	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(2個)、端子台カバー、ユーザーズマニュアル	22,000円	○
		ERNT-ASLTD62		22,000円	○
ベースアダプタ		ERNT-ASLB38	ベースアダプタ(本体)、ベースアダプタ取付ネジ(4個)、止め金具(2個)、ユーザーズマニュアル	9,000円	○
		ERNT-ASLB35		8,500円	○
		ERNT-ASLB33		8,000円	○
		ERNT-ASLB32		8,000円	○
		ERNT-ASLBJ		8,500円	○
		ERNT-ASLB68		9,000円	○
		ERNT-ASLB65		8,500円	○
		ERNT-ASLB58		9,000円	○
		ERNT-ASLB55		8,500円	○
		ERNT-ASLB52		8,000円	○

○:仕込生産品

MELSEC-AnSシリーズ／MELSEC-Qシリーズリニューアルツール

品　名		形　名	製品構成	標準価格(税抜)	納期
入力／出力ユニット用変換アダプタ	1スロットタイプ	ERNT-ASQTXY10	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(2個)、端子台カバー、ユーザーズマニュアル	10,000円	○
		ERNT-ASQTX40		10,000円	○
		ERNT-ASQTX80		10,000円	○
		ERNT-ASQTY22		10,000円	○
		ERNT-ASQTY40		10,000円	○
		ERNT-ASQTY50		10,000円	○
		ERNT-ASQTY80		10,000円	○
	2スロットタイプ	ERNT-ASQTX20	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(4個)、ユーザーズマニュアル	22,000円	○
		ERNT-ASQTY60		22,000円	○
		ERNT-ASQTY60E		22,000円	○
アナログ／高速カウンタ／温度入力用変換アダプタ	1スロットタイプ	ERNT-ASQT64AD	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(2個)、端子台カバー、ユーザーズマニュアル	16,000円	○
		ERNT-ASQT68AD		16,000円	○
		ERNT-ASQT62DA		16,000円	○
		ERNT-ASQT68DA		16,000円	○
		ERNT-ASQT68AD-G	変換アダプタ(本体)、固定台取付ネジ(1個)、端子台カバー、ユーザーズマニュアル	22,000円	○
		ERNT-ASQT63ADA	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(2個)、端子台カバー、ユーザーズマニュアル	20,000円	○
		ERNT-ASQTD61	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(2個)、固定台取付ネジ(1個)、端子台カバー、ユーザーズマニュアル	22,000円	○
		ERNT-ASQTD62		22,000円	○
		ERNT-ASQTD62D		22,000円	○
		ERNT-ASQT68TD-H01	変換アダプタ(本体)、固定台取付ネジ(1個)、端子台カバー、ユーザーズマニュアル	24,000円	○
		ERNT-ASQT68TD-H02		24,000円	○
		ERNT-ASQT62RD	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(2個)、端子台カバー、ユーザーズマニュアル	23,000円	○
		ERNT-ASQT64TCTT	変換アダプタ、取付板、取付板固定ネジ(2個)、端子台カバー、ユーザーズマニュアル 冷接点温度補償抵抗(ERNT-ASQT6□TCTTのみ)	23,000円	○
		ERNT-ASQT64TCRT		23,000円	○
		ERNT-ASQT62TCTT		23,000円	○
		ERNT-ASQT62TCRT		23,000円	○
	1スロットタイプ＋変換ケーブル	ERNT-ASQT64TCTTBW	変換アダプタ、取付板、取付板固定ネジ(2個)、端子台カバー、断線検知コネクタ変換ケーブル、断線検知コネクタ変換ケーブル取付ネジ(2個)、ユーザーズマニュアル 冷接点温度補償抵抗(ERNT-ASQT6□TCTTBWのみ)	30,000円	○
		ERNT-ASQT64TCRTBW		30,000円	○
		ERNT-ASQT62TCTTBW		30,000円	○
		ERNT-ASQT62TCRTBW		30,000円	○
ベースアダプタ		ERNT-ASQB38N	ベースアダプタ(本体)、MELSEC-Qシリーズベースユニット取付ネジ(4個)、ベースアダプタ取付ネジ(4個)、ユーザーズマニュアル	9,000円	○
		ERNT-ASQB35N		8,500円	○
		ERNT-ASQB33N		8,000円	○
		ERNT-ASQB32N		8,000円	○
		ERNT-ASQB00JN		8,500円	○
		ERNT-ASQB68N		9,000円	○
		ERNT-ASQB65N		8,500円	○
		ERNT-ASQB58N		9,000円	○
		ERNT-ASQB55N		8,500円	○
		ERNT-ASQB52N		8,000円	○
		ERNT-ASQB38N-S1	ベースアダプタ(本体)、ベースアダプタ取付ネジ(4個)、ユーザーズマニュアル	11,000円	○
		ERNT-ASQB35N-S1		11,000円	※
		ERNT-ASQB33N-S1		11,000円	※
変換アダプタDINレール取付金具		ERNT-ASQDIN3868	変換アダプタDINレール取付金具(本体)、取付ネジ(4個)、ユーザーズマニュアル	10,000円	○
		ERNT-ASQDIN356500J		9,500円	○
		ERNT-ASQDIN3355		9,500円	○
		ERNT-ASQDIN52	変換アダプタDINレール取付金具(本体)、取付ネジ(3個)、ユーザーズマニュアル	9,500円	○

○:仕込生産品　※:納期につきましては最寄の営業支社へお問合わせください。

SYSMAC Cシリーズ／MELSEC-Qシリーズリニューアルツール

品　名		形　名	製品構成	標準価格(税抜)	納期
変換アダプタ	1スロットタイプ	ERNT-CQTX121	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(2個)、ユーザーズマニュアル	10,000円	○
		ERNT-CQTX112213		10,000円	○
		ERNT-CQTX215218		11,000円	○
		ERNT-CQCX218501	変換アダプタ(本体)、ユーザーズマニュアル	11,000円	○
		ERNT-CQCX114219		9,000円	○
		ERNT-CQTY221	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(2個)、ユーザーズマニュアル	10,000円	○
		ERNT-CQTY226		10,000円	○
		ERNT-CQTY219217		10,000円	○
		ERNT-CQTY411		10,000円	○
		ERNT-CQTY412		11,000円	○
		ERNT-CQTY414218		11,000円	○
		ERNT-CQCY415	変換アダプタ(本体)、ユーザーズマニュアル	11,000円	○
		ERNT-CQCY501		11,000円	○
		ERNT-CQCY213		9,000円	○
	2スロットタイプ	ERNT-CQTX122	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(4個)、ユーザーズマニュアル	18,700円	○
		ERNT-CQTY224		18,700円	○
		ERNT-CQTY225		18,700円	○
		ERNT-CQTY218		18,700円	○
	1スロットタイプ	ERNT-2CQ216X218X	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(2個)、ユーザーズマニュアル	18,000円	○
		ERNT-2CQ218Y		18,000円	○
変換アダプタ固定台		ERNT-QF12	変換アダプタ固定台(本体)、取付ネジ(2個)	6,500円	○
		ERNT-QF8		6,500円	○
		ERNT-QF5		6,000円	○
ベースアダプタ		ERNT-CQB081N	ベースアダプタ(本体)、MELSEC-Qシリーズベースユニット取付ネジ(4個)、ユーザーズマニュアル	9,000円	○
		ERNT-CQB051N		8,500円	○
		ERNT-CQB031N		8,000円	○
プログラムコンバータS/Wパッケージ		ERNT-CQ1W2C	プログラムコンバータ(本体)、オペレーティングマニュアル	200,000円	○

○:仕込生産品

他社PLC／MELSEC-Qシリーズリニューアルツール

品　名		形　名	製品構成	標準価格(税抜)	納期
ユニバーサル変換アダプタ	1スロットタイプ	ERNT-AQTB20	ユニバーサル変換アダプタ、取付金、取付金固定ネジ(2個)、端子台、ユーザーズマニュアル	10,000円	○
		ERNT-AQTB20-S1		10,000円	○
		ERNT-AQTB38		11,000円	○
		ERNT-AQTB38-E	ユニバーサル変換アダプタ、端子台、ユーザーズマニュアル	12,000円	○
		ERNT-ASQTB20	ユニバーサル変換アダプタ、取付金、取付金固定ネジ(2個)、端子台、ユーザーズマニュアル	10,000円	○

○:仕込生産品

シャープ株式会社・株式会社安川電機製PLC/MELSEC-Qシリーズリニューアルツール

品　名		形　名	製品構成	標準価格(税抜)	納期
変換アダプタ	1スロットタイプ	ERNT-1JQ11N12N	変換アダプタ(本体)、取付金、 取付金固定ネジ(2個)、ユーザーズマニュアル	13,000円	○
		ERNT-1JQ12S		13,000円	○
		ERNT-1JQ13S		13,000円	○
		ERNT-1JQ32N34N		16,000円	○
		ERNT-1JQ32S		16,000円	○
		ERNT-1JQ32SC62SC	変換アダプタ(本体)、ユーザーズマニュアル	16,000円	○
		ERNT-1JQ64NC		16,000円	○
	2スロットタイプ	ERNT-1JQ31N34S	変換アダプタ(本体)、取付金、 取付金固定ネジ(4個)、ユーザーズマニュアル	24,000円	○
		ERNT-1JQ33S		24,000円	○
	1スロットタイプ	ERNT-2JQ210NS	変換アダプタ(本体)、取付金、 取付金固定ネジ(2個)、ユーザーズマニュアル	13,000円	○
		ERNT-2JQ212S	変換アダプタ(本体)、取付金、取付金固定ネジ(2個)、 外部供給電源コネクタ、ユーザーズマニュアル	13,000円	○
		ERNT-2JQ234N264N	変換アダプタ(本体)、取付金、 取付金固定ネジ(2個)、ユーザーズマニュアル	18,000円	○
		ERNT-2JQ232S262S	変換アダプタ(本体)、取付金、 取付金固定ネジ(2個)、ユーザーズマニュアル	18,000円	○
	1スロットタイプ	ERNT-1Y2Q501	変換アダプタ(本体)、取付金、 取付金固定ネジ(2個)、ユーザーズマニュアル	13,000円	○
		ERNT-1Y2Q601611		13,000円	○
		ERNT-1Y2Q600		13,000円	○
		ERNT-1Y2Q500		13,000円	○
		ERNT-1Y2Q602606		16,000円	○
		ERNT-1Y2Q615625	変換アダプタ(本体)、ユーザーズマニュアル	16,000円	○
	2スロットタイプ	ERNT-1Y2Q505	変換アダプタ(本体)、取付金、 取付金固定ネジ(2個)、ユーザーズマニュアル	24,000円	○
		ERNT-1Y2Q904914	変換アダプタ(本体)、取付金、 取付金固定ネジ(4個)、ユーザーズマニュアル	24,000円	○
	1スロットタイプ	ERNT-2YQ35400	変換アダプタ(本体)、取付金、 取付金固定ネジ(2個)、ユーザーズマニュアル	18,000円	○
		ERNT-2YQ35410		18,000円	○
		ERNT-2YQ36400		18,000円	○
		ERNT-2YQ36410		18,000円	○

○:仕込生産品

保証について

ご使用に際しましては、以下の製品保証内容をご確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

無償保証期間と無償保証範囲

無償保証期間中に、製品に当社側の責任による故障や瑕疵（以下併せて「故障」と呼びます）が発生した場合、当社はお買い上げいただきました販売店を通じて、無償で製品を修理させていただきます。
ただし、出張修理が必要な場合は、技術者派遣に要する実費を申し受けます。（国内対応のみと致しました。）
また、故障ユニットの取替えに伴う現地再調整、試運転は当社責務外とさせていただきます。

■無償保証期間

製品の無償保証期間は、お客様にてご購入後またはご指定場所に納入後1年間とさせていただきます。
ただし、当社製造出荷後の流通期間を最長6ヶ月として、製造から18ヶ月を無償保証期間の上限とさせていただきます。また修理品の無償保証期間は、修理前の無償保証期間を超えて長くなることはありません。

■無償保証範囲

（1）使用状態、使用方法および使用環境などが、取扱説明書、ユーザーズマニュアル、製品本体注意ラベルなどに記載された条件、注意事項などにしたがった正常な状態で使用されている場合に限定させていただきます。

（2）無償保証期間内であっても、以下の場合には有償修理とさせていただきます。

①お客様における不適切な保管や取扱い、不注意、過失などにより生じた故障およびお客様のハードウェアまたはソフトウェア設計内容に起因した故障。

②お客様にて当社の了解なく製品に改造などの手を加えたことに起因する故障。

③当社製品がお客様の機器に組み込まれて使用された場合、お客様の機器が受けている法的規制による安全装置または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造などを備えていれば回避できたと認められる故障。

④取扱説明書などに指定された消耗部品が正常に保守・交換されていれば防げたと認められる故障。

⑤火災、異常電圧などの不可抗力による外部要因および地震、雷、風水害などの天変地異による故障。

⑥当社出荷当時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障。

⑦その他、当社の責任外の場合またはお客様が当社責任外と認めた故障。

生産中止以後の有償保証期間

（1）当社が有償にて製品修理を受け付けることができる期間は、その製品の生産中止後7年間です。
生産中止に関しましては、当社営業窓口より報じさせていただきます。

（2）生産中止後の製品供給（補用品も含む）はできません。

海外でのサービス

海外におけるサービスは対象外と致します。

機会損失、二次損失などへの保証責務の除外

無償保証期間の内外を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた損害、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失、逸失利益、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、当社製品以外への損傷および、お客様による交換作業、現地機械設備の再調整、立上げ試運転その他の業務に対する補償については、当社は責任を負いかねます。

製品仕様の変更

カタログ、マニュアルもしくは技術資料に記載されている仕様は、お断りなしに変更される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

製品の適用について

（1）本製品ををご使用いただくにあたりましては、万一本製品に故障・不具合などが発生した場合でも重大な事故にいたらない用途であること、および故障・不具合発生時にはバックアップやフェールセーフ機能が機器外部でシステム的に実施されていることを、ご使用の条件とさせていただきます。

（2）本製品は、一般工業などへの用途を対象とした汎用品として設計・製作されています。したがいまして、各電力会社殿の原子力発電所およびその他発電所向けなどの公共への影響が大きい用途や、鉄道各社殿および官公庁殿向けの用途などで、特別品質保証体制をご要求になる用途には、適用を除外させていただきます。また、航空、医療、燃焼・燃料装置、有人搬送装置、娯楽機械、安全機械など人命や財産に大きな影響が予測される用途へのご使用についても、適用を除外させていただきます。
ただし、これらの用途であっても、事前に当社営業窓口へご相談いただき、用途を限定して特別な品質をご要求されないことをお客様にご承認いただいた場合には、必要な文書の取り交わしの上、適用可能とさせていただきます。

関連カタログ

関連する製品の詳しい内容につきましては、各種カタログをご用意しております。最寄りの営業所までお問い合わせください。

■FAグッズ総合カタログ(産C015・019)

●コネクタ式ディジタル入出力用変換ユニット
●端子台式ディジタル入出力用変換ユニット
●インタフェースターミナルユニット
●短絡バー、コネクタ変換アダプタ
●アナログ信号絶縁変換ユニット
●アナログ信号チャンネル間絶縁アダプタ
●シーケンサアナログ用
　端子台変換ユニット・ケーブル
●シーケンサ高速カウンタユニット用
　端子台変換ユニット・ケーブル
●シーケンサ位置決め用ケーブル
●シーケンサ用通信ケーブル
●CC-Link用グッズ
●端子台記号紙印刷ソフトウェア

技術お問合せ先
名古屋事業所(FAグッズ技術課)
TEL.052-723-8058 FAX.052-723-8062

■ドライブグッズ®総合カタログ(名C129・173)

三菱電機　汎用　サーボシステムをより便利にご利用いただくための、補完機器及び、リニューアル機器の詳細情報を掲載。
●サーボシステムリニューアル機器
●サーボシステム関連製品
●サーボシステム補完機器

技術お問合せ先
名古屋事業所
(ソリューション企画プロジェクトチーム)
TEL.0568-36-2005 FAX.0568-36-2044

■国家技能検定試験受検対策ユニット(産C001・006)

●国家技能検定試験『電気機器組立て(シーケンス制御作業)』受検対策として最適
●シーケンス制御設計技術者の育成に最適
●各社プログラマブルコントローラの入出力機器として使用可能
●各種シーケンス制御の問題と回答例のテキストを付属
●プログラマブルコントローラと受検対策ユニット間の接続については、検定試験時と同一にできます。

技術お問合せ先
名古屋事業所(サーボ応用技術課)
TEL.052-723-7964 FAX.052-723-7966

三菱電機エンジニアリング株式会社
MITSUBISHI ELECTRIC ENGINEERING COMPANY LIMITED
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-13-5(ヒューリック九段ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

営　業　拠　点

営業統括部…… 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-13-5(ヒューリック九段ビル)
TEL(03)3288-1103　FAX(03)3288-1575

東日本営業支社…… 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-13-5(ヒューリック九段ビル)
(関東甲信越以北担当) TEL(03)3288-1743　FAX(03)3288-1575

中日本営業支社…… 〒450-0002 名古屋市中村区名駅2-45-7 (松岡ビルディング)
(中部・北陸地区担当) TEL(052)565-3435　FAX(052)541-2558

北陸駐在…… 〒920-0031 金沢市広岡3-1-1(金沢パークビル4F)[三菱電機(株)北陸支社内]
TEL(076)233-6011　FAX(076)233-5510

西日本営業支社…… 〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2(近鉄堂島ビル)
(近畿地区担当) TEL(06)6347-2926　FAX(06)6347-2983

中四国支店…… 〒730-0037 広島市中区中町7-32(ニッセイ広島ビル)
(中国・四国地区担当) TEL(082)248-5390　FAX(082)248-5391

九州支店…… 〒810-0001 福岡市中央区天神1-12-14(紙与渡辺ビル)
(九州地区担当) TEL(092)721-2202　FAX(092)721-2109

ホームページURL http://www.mee.co.jp/

製品の特長、Q&A等の最新情報が満載

MEEFAN® 三菱電機エンジニアリング株式会社の FA機器製品情報を提供するページです。
www.mee.co.jp/sales/fa/meefan/

▶ホームページへのアクセスは　MEEFAN　検索

技術お問い合わせ

リニューアルツール (形名が「ERNT-〜」で始まる場合はこちら)	名古屋事業所 技術サポートセンター	TEL.0568-36-2068 FAX.0568-36-2045
FA周辺機器		
FAグッズ (形名が「FA-〜」で始まる場合はこちら)	名古屋事業所 (FAグッズ技術課)	TEL.052-723-8058 FAX.052-723-8062

受付時間／9:00〜12:00、13:00〜17:00　月曜〜金曜(土・日・祝祭日、春期・夏期・年末年始の休日を除く通常業務日)

ご採用に際してのご注意

このカタログは、三菱電機汎用シーケンサ用リニューアルツールの代表的な特長・機能を説明した資料です。使用上の制約事項、ユニットの組合せによる制約事項については記載されておりません。またご使用にあたりましては、必ず製品のユーザーズマニュアル、オペレーティングマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。当社の責に帰すことができない事由から生じた損害、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失、逸失利益、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、二次損害、当社製品以外への損傷およびその他の業務に対する保証については、当社は責任を負いかねます。

⚠安全にお使いいただくために

- このカタログに記載された製品を正しくお使いいただくために、ご使用の前に必ず「マニュアル」をお読みください。
- この製品は一般工業等を対象とした汎用品として製作されたもので、人命にかかわるような状況下で使用される機器あるいはシステムに用いられることを目的として設計、製造されたものではありません。
- この製品を原子力用、電力用、航空宇宙用、医療用、乗用移動体用の機器あるいはシステムなど特殊用途への適用をご検討の際には、当社の営業担当窓口までご照会ください。
- この製品は厳重な品質管理体制の下に製造しておりますが、この製品の故障により重大な事故または損失の発生が予測される設備への適用に際しては、バックアップやフェールセーフ機能をシステム的に設置してください。